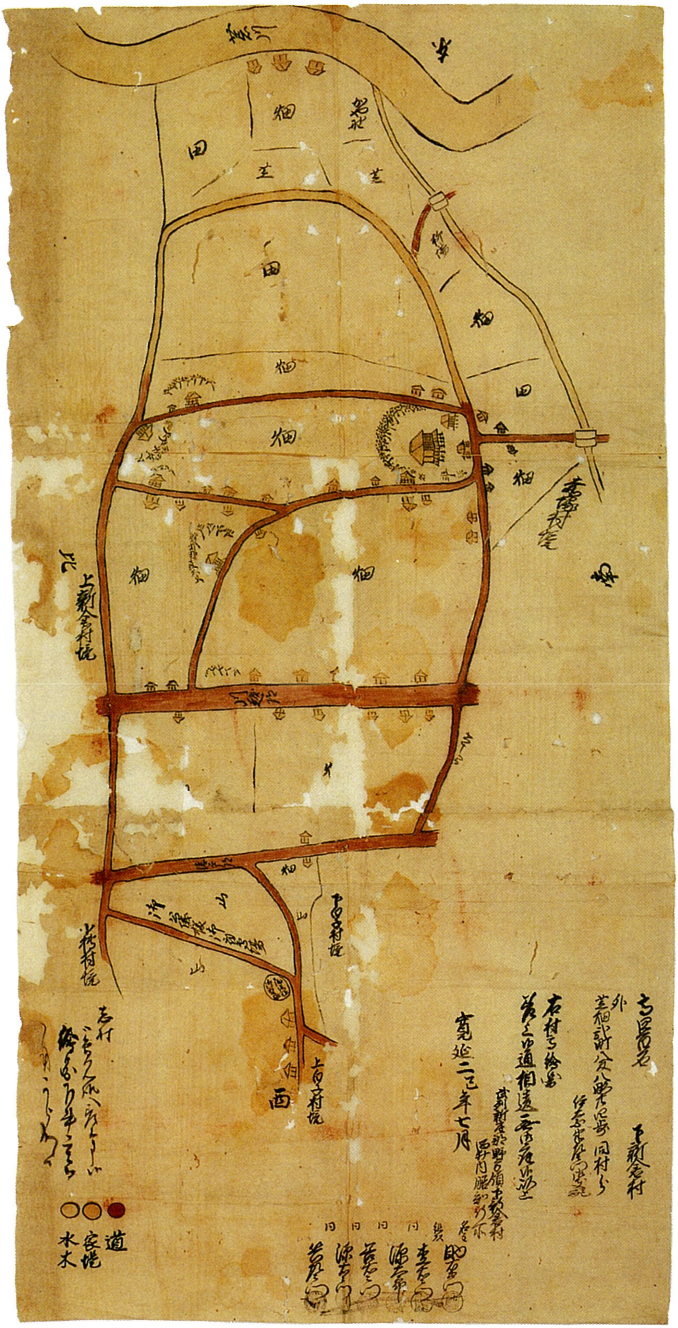
和光市史

史料編二

近世

題字　市長　柳下　潔



寛延二年七月　下新倉村絵図（栁下　満家所蔵）

序

和光市長　柳下　潔

わが和光市は、埼玉県の最南部に位置し、東京都板橋区および練馬区に隣接して、池袋より電車の便を以て十数分のところにあります。都心に近く生活万般至便の地でありますが、今に武蔵野の面影がそこここに残っております。「あおさみなぎる文化都市」を標ぼうして、わがまちづくりを推進している所以であります。

近年産業文化の飛躍的発展に伴い、伝来の生活様式や習俗が急変し、古きよきものまでも含めてそれらは消滅の一途をたどっております。このような情勢の中で、市の歴史をたずね、郷土のために尽した先人の足跡を明らかにし、これを後世に伝えることは極めて意義あることと信じます。明日の和光市発展のため、市民ひとりひとりがこの郷土和光市の歴史を知りかつ理解するとき、より一層の郷土愛と連帯の輪が広がり、明るい和光市の未来が開かれるものと確信いたします。

さきに和光市史『史料編一』を刊行し、続いていまここに『史料編二　近世』を上梓する運びとなりました。本編には、市内の旧家に所蔵された多数の近世文書のうちから、市のあゆみのあとを

明らかにする史料が精選され収録されております。なお当時の人々の生活をうかがい知る興味あるユニークな史料も収められております。

編集委員の伊藤先生はじめ編集にたずさわった方々の御労苦に対し深く感謝いたし、また大切に保存された貴重な文書を快く貸与され、さらに収載を承諾され多大の便宜を賜った文書所蔵者各位に対し、深甚の謝意を表します。

『史料編二』の刊行に寄せて

和光市史編さん委員会委員長　六ツ崎道文

今回は、和光市史二冊目の刊行として、『史料編二　近世』をお届けすることになり、ご同慶至極に存ずる次第である。

本巻には、和光市にかかわる江戸時代の古文書を収録しており、同時代の支配と生活を垣間見るようで、たいへん興味深いものがある。

市史編さんは、失われつつある有形、無形の資・史料を体系的に組み立て、政治、経済、文化等を網羅した総合史とするとともに、市民に理解され、永く活用され得るものであることを、基本方針に進められている。これには、正しい和光市の姿を明らかにし、郷土愛を高める一助にも、との念願が込められていることを見逃してはならない。市民各位のご協力とご参加を、改めて呼びかける所以である。

父祖代々に伝わる貴重な古文書を良好に保存され、市史編さんに際し、史料として提供された方々には、この機会に心よりの敬意と、深甚な謝意を申しあげたい。

また、監修者萩原龍夫先生並びに本編担当の編集委員伊藤好一先生はじめ、資・史料の調査、収集、研究、執筆、編集等にご協力いただいた関係者の方々に、厚くお礼を申しあげる次第である。

凡例

一、本書は、和光市内に現存する近世文書を中心として、それに国立公文書館内閣文庫所蔵の『元禄郷帳』『天保郷帳』より市内関係分を抄出して編さんした。

一、史料は、一支配と年貢、二村と生活、三水利普請、四産業、五交通、六鷹場の六項目に大別し、さらに小項目に分けた上で原則として上新倉村、下新倉村、白子村の順にまとめ、年代順に配列した。

一、史料の末尾に、所蔵者と文書番号を付記した。

一、史料本文については、つとめて原史料の記載を生かすようにしたが、読解の便宜上読点と並列点を付した。

一、ト・部・歩・分は面積表示の場合は歩に、重量や貨幣の単位は分に統一した。

一、変体仮名は原則としてひらがなに改めたが、江(え)・而(て)・茂(も)・者(は)・ゟ(より)・〆(しめ・かん)などはそのままとした。

一、原文の破損・虫損などで文字の判読ができない部分は、□ ▭で示した。

一、誤字・脱字については、右傍に(ママ)と付記するか、(・カ)(・脱カ)として正字を付記した。

一、冊物の文書の場合は、その形態を表紙の左下に(縦帳)・(横帳)・(横小帳)などと付

した。

一、付箋のある場合は□で囲み、上または右肩に、（付箋）と付した。

一、朱書は、その部分を「　」で囲み、右肩に（朱書）と付した。なお、朱書の箇所が多数に及ぶ場合は、その最初のものだけに記すこととした。

一、抹消部分は、左傍に〻を付し、原文に訂正のあるものは右傍に記した。

一、表敬の欠字や平出は一字あけとした。

目次

口絵
序
『史料編二』の刊行に寄せて
凡例

一　支配と年貢

1　支配

一　元禄　新座郡元禄郷帳……一
二　天保　新座郡天保郷帳……二
三　天保一一年　四月　上新倉村御用留……三
四　慶応　元年一〇月　下新倉村御年貢米地払に付下知状……二七
五　寛延　四年　五月　伊賀者永代地方目録……二八
六　元禄　六年一〇月　上新倉村年貢割付……五六
七　享保一〇年一二月　上新倉村納目録之覚帳……五七
八　延享　元年一一月　上新倉村年貢米御蔵納諸入用帳……五九
九　寛政　九年　六月　上新倉村定免御請証文覚帳……六一
一〇　弘化　三年一一月　上新倉村年貢計立帳……六四
一一　元治　元年一〇月　上新倉村年貢割付……七七
一二　元禄一五年　八月　下新倉村堤外田方取付帳……八二
一三　明和　七年　六月　下新倉村畑方御年貢皆済帳……九一
一四　文化　元年　六月　下新倉村田畑御年貢納辻通帳……九七
一五　慶応　三年　二月　下新倉村仮免状……一〇八
一六　寛文　六年一一月　白子村野畑取付勘定帳……一〇八
一七　延宝　元年一二月　白子村野畑取付帳・勘定納帳……一二〇
一八　延宝　元年一二月　白子村田畑勘定帳……一二七

2　年貢

一九　延宝　四年　正月　白子村丑寅卯三歳分取〆帳……一八五
二〇　貞享　三年一一月　白子村年貢割付……一八七
二一　元禄　四年一一月　白子村年貢割付……一八七
二二　元禄一三年　四月　白子村年貢皆済目録……一八九
二三　明和　三年　九月　白子村堰破損に付冬納差免下知状写……一八九
二四　天保　二年　六月　白子村小麦年貢取立帳……一九〇
二五　天保一五年一〇月　白子村年貢米拵方に付連印証文……一九四
二六　弘化　三年　九月　白子村田方不作に付減免願書……一九五

二　村と生活

1　村

二七　享保　六年　八月　上新倉村明細帳……一九六
二八　享保一五年　三月　上新倉村明細帳……二〇二
二九　宝暦　八年　三月　上新倉村新屋敷書上帳……二〇五
三〇　天保一〇年　七月　上新倉村村入用その他不正出入訴状……二〇九
三一　弘化　二年一一月　上新倉村高改小前覚帳……二一二
三二　嘉永　四年　正月　上新倉村村入用覚帳……二一三
三三　嘉永　五年　三月　上新倉村五人組帳……二二八
三四　安政　二年　三月　上新倉村姓名其外書上帳……二四二
三五　文久　元年　三月　上新倉村食割渡帳……二四三
三六　元治　元年　三月　上新倉村村入用書上帳……二四六
三七　享保一八年　八月　下新倉村村中法度証文……二五〇
三八　宝暦　九年　七月　下新倉村村法度証文……二五二
三九　安永　三年　四月　下新倉村広沢原雑丹袋新田村入用帳……二五六
四〇　安永　七年　四月　下新倉村広沢原雑丹袋新田五ケ年分村入用帳……二五八
四一　享和　二年一二月　下新倉村村入用取立帳……二五九

四三　文化一四年　六月　下新倉村村入用帳……二六七
四三　文政　四年　四月　下新倉村名主跡役願書……二七五
四四　元文　四年　七月　白子村組頭退役願書……二七七
四五　寛保　三年　四月　白子村五人組頭不足に付願書……二七七
四六　寛保　三年　四月　白子村新規五人組に付証文持参下知状……二七九
四七　寛保　三年　四月　白子村新規五人組に付請書……二八〇
四八　文政一二年一二月　白子村御料所小物成村入用割合帳……二八一

2　戸口

四九　安政　六年　三月　上新倉村人別差引帳……二八五
五〇　安政　七年　三月　上新倉村人別差引帳……二八八
五一　慶応　三年　三月　上新倉村宗門人別帳……二九一
五二　慶応　三年　四月　上新倉村宗門人別帳……三二五
五三　文政　二年　六月　下新倉村人別改帳……三四六
五四　天保　七年　下新倉村宗門人別帳……三五一
五五　天保一三年　四月　下新倉村宗門人別帳……三五三

3　生活

五六　延宝　三年一二月　上新倉村畑売渡し証文……三六〇
五七　延宝　七年　六月　上新倉村こう銭覚帳……三六〇
五八　元禄一四年一二月　上新倉村質地証文……三六三
五九　宝暦一三年　七月　上新倉村香典覚帳……三六四
六〇　文政一〇年　三月　上新倉村地境に付取替し証文……三六五
六一　天保　四年一二月　上新倉村夫食割渡し帳……三六六
六二　弘化　四年　三月　上新倉村人別送り状……三六九
六三　弘化　五年　二月　上新倉村貯穀詰戻割合帳……三七〇
六四　嘉永　七年　五月　上新倉村家作畑諸道具値段書上帳……三七一

六五　万延　元年　八月　上新倉村出火訴状……三七三
六六　文久　四年　二月　上新倉村給人究方覚帳……三七三
六七　文久　四年　三月　上新倉村葬礼入用覚帳……三八四
六八　上新倉村盗難訴状……三八五
六九　天明　六年一一月　下新倉村馬飼料拝借帳……三八六
七〇　文政一〇年　九月　下新倉村農間渡世書上帳……三八八
七一　天保　三年一〇月　下新倉村祝儀入用覚帳……三八九
七二　天保　六年　四月　下新倉村金銀諸入用覚帳……三九〇
七三　慶応　二年　六月　下新倉村貧徒暴賊打毀値難見舞受記……三九六
七四　白子村宛人足夕飯支度催促触状……四〇三
七五　元禄　九年　三月　白子村替地証文……四〇三
七六　宝永　三年　三月　白子村地代金請取証文……四〇四
七七　宝永　三年　三月　白子村替地証文……四〇五
七八　享保二〇年　三月　白子村地境証文……四〇六
七九　宝暦　六年一一月　白子村水かご渡覚帳……四〇六
八〇　嘉永　五年　二月　白子村熟酔酒狂に付吟味下げ請書……四〇九

4　社寺と信仰

八一　文政一一年一二月　上新倉村満願寺祠堂金元利取立帳……四一〇
八二　文政一三年一二月　上新倉村氷川鳥居諸色覚帳……四一三
八三　天保　二年　二月　上新倉村鹿島参詣講中登山帳……四一四
八四　弘化　三年　三月　上新倉村観世音奉納覚帳……四一六
八五　弘化　四年　九月　上新倉村祭礼入用帳……四一七
八六　嘉永　六年一二月　上新倉村大神宮御祓名前覚帳……四一八
八七　安政　二年　八月　上新倉村一切経補欠勧進帳……四一八
八八　安政　三年　六月　上新倉村雨乞出銭高割取立帳……四一八

八九　安政　四年　三月　上新倉村東林寺萱替修復入用覚帳……四三八
九〇　安政　五年　八月　上新倉村大般若入用帳……四四二
九一　文久　三年　九月　上新倉村神門石挾幟寄進連名帳……四四四
九二　天保　五年　二月　下新倉村金泉寺転位入用割付帳……四五〇
九三　安政　三年　六月　下新倉村雨乞御祈祷諸入用割合出銭……四五一
九四　安政　四年一一月　下新倉村一万度御払毎年覚帳……四五三
九五　文久　三年　二月　下新倉村御嶽山代参講中連名帳……四五四
九六　宝永　三年　三月　白子村寄進証文……四五七
九七　享保　三年　二月　白子村万正寺書上……四五九
九八　享保　三年　二月　白子村観音寺書上……四六〇
九九　享保　三年　二月　白子村久城寺書上……四六一
一〇〇　寛保　元年一〇月　白子村地福寺相続に付覚……四六二
一〇一　延享　三年　八月　白子村地福寺座順争論内済証文……四六三
一〇二　寛政　三年一〇月　白子村地福寺慶寛一件済口証文……四六五

三　水利普請

一〇三　安永一〇年　正月　上新倉村用悪水圦樋伐組仕様帳……四六八
一〇四　寛政一〇年一二月　上新倉村御普請仕用帳……四八〇
一〇五　寛政一一年　三月　上新倉村杭出し普請人足割合帳……四八一
一〇六　寛政一三年　正月　上新倉村圦樋普請仕用帳……四八六
一〇七　寛政一三年　正月　上新倉村出杭普請仕用帳……四九三
一〇八　天保一二年　二月　上新倉村普請諸入用付立帳……四九四
一〇九　天保一二年　八月　上新倉村普請場所書上帳……四九八
一一〇　天保一四年　正月　上新倉村岩渕・川口仮橋普請に付人足諸色割賦差出すべき村名帳……四九八
一一一　弘化　二年　三月　上新倉村雑丹袋杭出普請仕用帳……五〇四

一三　嘉永　五年　三月　上新倉村坂樋普請人足帳……五〇六
一三　安政　三年　六月　上新倉村小江戸橋諸入用覚帳……五〇九
一四　安政　六年　八月　上新倉村赤池堤切所人足覚帳……五一〇
一五　嘉永　三年　正月　下新倉村渡船場普請他力助成帳……五一八
一六　明和　四年　六月　白子村牛房堰普請下げ金下知状……五一八

四　産　業

1　農　業

一七　天保　八年　二月　上新倉村田畑小作帳……五一〇
一八　弘化　二年　九月　上新倉村田方入作小前差引帳……五一三
一九　嘉永　三年一〇月　上新倉村田米小作覚帳……五一五
二〇　安政　四年一〇月　上新倉村田畑小作覚帳……五一七
二一　文久　元年　正月　上新倉村船肥河岸揚覚帳……五二四
二二　寛政　元年一二月　下新倉村下肥値段引下げに付儀定連印帳写……五三二
二三　寛政　三年　二月　下新倉村下掃除対談掛合書上帳……五三四
二四　享和　三年　六月　下新倉村広沢原雑丹袋新田検地帳……五三八
二五　天保一五年　七月　下新倉村雑丹袋新田畑田成内見毛付帳……五七〇
二六　嘉永　三年　三月　下新倉村下肥家普請に付入用人足帳……五七二
二七　寛永一六年　二月　下白子村検地帳……五七四
二八　寛文　四年　七月　白子村辰改畑野検地帳……五九三

2　工　業

二九　文化一〇年　五月　上新倉村水車油絞願書……五九九
三〇　文化一一年　二月　上新倉村水車稼願書……六〇〇
三一　天保一五年　二月　上新倉村水車稼継続願書……六〇一

3　商業・金融

一三三　文久　二年　正月　上新倉村槇山売覚帳……六〇二
一三三　文久　二年　四月　上新倉村封金講割合覚帳……六二一
一三四　文久　二年　九月　上新倉村船肥相場付覚帳……六二三
一三五　天保一〇年　正月　下新倉村仕入物勘定帳……六二九
一三六　文久　二年一二月　下新倉村下肥代金取立帳……六二三
一三七　安永　四年　三月　白子村市復活願書……六二六
一三八　弘化　三年一〇月　白子村買預鉛出入訴状……六三〇
一三九　嘉永　三年　二月　白子村新規商売無断開業に付詫状……六三一
一四〇　嘉永　五年　七月　白子村愛宕山社縁日地所割出入に付願書……六三二
一四一　安政　三年一〇月　白子村村方積金借用証文……六三四
一四二　元禄一七年　三月　白子宿伝馬役争論訴状……六三六
一四三　宝永　二年一〇月　白子宿伝馬役高割願書……六三九
一四四　明和　五年　白子宿継立人馬に付願書……六三九
一四五　寛政　五年　三月　白子宿仮問屋場借用証文……六四〇
一四六　文化　五年　八月　白子宿助合人馬出入済口証文……六四一
一四七　文政　四年一二月　白子宿駄賃稼争論返答書……六四二
一四八　文政　五年　正月　白子宿駄賃稼争論済口証文……六四四
一四九　文政　七年　二月　白子宿御用御先触留帳……六四六
一五〇　文政　七年　四月　白子宿継立人馬日〆帳……六七〇
一五一　文政　八年　八月　白子宿買揚銭延滞に付願書……六七七
一五二　天保　四年　二月　白子宿助郷月仕切役金滞高調帳……六七九
一五三　弘化　三年　九月　白子宿人足差出遅延寛恕願書……六八〇

五　交　通

1　白子宿と川越街道

一五四　嘉永　四年　四月　白子宿乱暴一件検使願書……六八一
一五五　慶応　元年一一月　下新倉村白子宿助郷議定証文……六八二
一五六　慶応　四年　七月　下新倉村白子宿助郷伝馬議定証文写……六八三

2　助郷

一五七　嘉永　三年　四月　上新倉村日光御法事に付岩渕・川口両宿増助郷村々高割控帳……六八六
一五八　文久　元年一一月　上新倉村板橋・川口両宿伝馬人足帳……六九五
一五九　文久　元年一二月　上新倉村板橋・岩渕両宿伝馬割合帳……七〇四
一六〇　文久　二年　正月　上新倉村伝馬村人馬覚帳……七一〇
一六一　天保　三年　八月　下新倉村板橋・白子御代参村人足諸入用書抜帳……七一〇

3　柴宮河岸

一六二　正徳　三年一〇月　柴宮河岸出入訴状……七二三
一六三　正徳　三年一一月　柴宮河岸出入済口証文……七二五
一六四　文政　九年　四月　柴宮河岸問屋議定に付訴訟取下げ願書……七二六
一六五　弘化　五年　二月　上新倉村河岸争論訴訟に付議定連印帳……七二九
一六六　文政　四年一二月　下新倉村船問屋争論裁許御請証文……七三一

六　鷹場

一六七　天保　七年　六月　上新倉村御用蝙蝠外品々減らし願写帳……七三三
一六八　弘化　三年　九月　上新倉村えびつる虫取立帳……七三八
一六九　宝暦　五年　下新倉村御拳場村々触書請書……七四八
一七〇　文政　六年　六月　下新倉村御鷹場法度証文控……七五三
解説……七五九
あとがき……七六七
市史編さん関係者氏名……七六九

近世史料

一　支配と年貢

1　支　配

一　新座郡元禄郷帳

新座郡

一高三百四拾壱石四升九合　白子村
一高四百石　下新座村
一高九百五拾四石六升五合　上新座村
一高三百四拾五石三斗四升九合弐夕　台村
一高四百弐拾九石六斗三升五合　根岸村
一高百七拾石　田島村
一高五百弐拾弐石五斗壱升弐合　岡村
一高三百八拾石三斗八升　膝折村
一高百六拾石　片山下村○
一高七拾三石　同十二天村○
一高八拾五石　同原ヶ谷戸村○
一高五百石　溝沼村
一高四百拾九石三斗壱合　浜崎村
一高弐百石　宮戸村
一高拾七石　内間木村
一高千四拾四石七斗七升壱合　館村
一高四拾七石壱斗弐升　北野村
一高五百七拾壱石三斗五升七合　大和田町
一高百六拾四石壱斗　菅沢村
一高五百八拾三石三斗三升　片山野火止宿
一高弐百六拾三石五斗　辻村○
一高百五拾九石　堀之内村枝郷栗原村
一高六拾四石六斗三升七合　片山堀ノ内村○
一高七拾九石五斗四升六合　同野寺村○
一高百六拾石　片山下中沢村○

一高百石　片山
一高百五拾石　同　中沢村○
一高弐百八拾弐石五升六合　○印五村合九ゝ　正簿片山村石神村○
一高千四百六拾八石九斗七升壱合　橋戸村
一高七百七拾弐石九升七合　小榑村
一高千三百三拾九石弐斗八升四合　下保ゥ谷村
小以壱万弐千弐百四拾七石六升弐夕　上保ゥ谷村

新座郡三拾壱箇村

（国立公文書館所蔵『元禄郷帳』）

二　新座郡天保郷帳

新座郡

一高弐百六拾石五斗四升三合弐才　古者白子村橋戸村弐ヶ村之内　上白子村
一高三百五拾石弐升六合九夕　古者白子村橋戸村弐ヶ村之内　下白子村
一高弐拾七石七升四合　古者白子村橋戸村弐ヶ村之内　橋戸村
一高四百石　古者下新座村　下新倉村
一高千百拾石五斗弐合　古者上新座村　上新倉村
一高三拾九石九斗五升三合　広沢下雑丹袋新田
一高三百六拾壱石六斗三合弐夕　根岸台村
一高四百五拾三石三斗九升七合　根岸村
一高百九拾四石弐斗　田島村
一高五百四拾弐石七斗六升七合　岡村
一高四百五拾九石三斗五升　古者片山下村　膝折村
一高百五拾八石五斗　片山村
一高七拾三石　片山十二天村
一高百五拾九石四斗五升弐合　片山原ヶ谷戸村
一高六百四石六斗五升七合　溝沼村
一高四百七拾九石壱斗六合　浜崎村
一高弐百弐拾七石九斗三升五合　宮戸村
一高四百七拾七石五斗六升九合　内間木村
一高千百八石七斗八升八合　館村
一高四拾九石弐斗五升　北野村

一高九百七拾四石五斗三升四合　大和田町
一高百六拾五石弐斗壱升　菅沢村
一高六百三石八斗弐升七合　片山野火止宿
一高三百四拾壱石三斗八升壱合　辻村
一高百五拾九石　堀之内村枝郷
一高六拾六石壱斗五升壱合　片山栗原村
一高九拾九石五斗七升六合　片山堀之内村
一高百六拾石　野寺村
一高七斗八合　下中沢村
一高百石　広沢新田
一高百六拾九石七斗四升八合　片山中沢村
一高千四百八拾三石三斗七升三合　片山石神村
一高七百七拾弐石九升七合　小樽村
一高九拾弐石四斗三升六合　下保谷村
一高千三百三拾九石弐斗八升四合　下保谷新田
一高百八拾三石四斗壱升三合　上保谷村
一高三斗四升八合　上保谷新田
小以高壱万四千弐百四拾八石七斗五升九合壱夕弐才　広沢原新田

新座郡　三拾七箇村

（国立公文書館所蔵『天保郷帳』）

三　天保一一年四月　上新倉村御用留

（表紙）

天保十一年
御用留
子四月吉
新座郡
上新倉村

（縦帳）

覚

子七月廿四日　人足三拾人
馬拾疋　相勤申候

右者今廿四日昼七ッ半時詰
御宿割御出立
同御先登御方々御逗留御出立
大御番頭
戸田隼人正様川明早々御通行

戸川播磨守様御同勢多分
諸々方様落合御逗留多分御出立
右者書面之御番衆様方落合御通行、并自余御通行相嵩居一同御継立ニ付、老人子供相除き触当之通り、壱人壱疋不参無之様詰刻無間違御差出被成(可脱カ)候、此廻状村名主被成御請印、早々御順達留村ゟ御返シ被成(可脱カ)候、以上
卯上刻出　　問屋　宇兵衛

子七月廿五日　　人足三拾人　馬拾疋　相勤申候
大御番頭
戸田隼人正様　御通行
大御番頭御預り御与力衆・御同心衆大勢御通行
同御預り御道具荷物多分
今廿五日夕四ッ時詰
右者書面之御番衆様方荷物落合御通行、并日余(ママ)御通行相嵩居一同御継立ニ付、老人子供相除触当之通り、壱人壱疋不参遅参無之様、詰刻(刻)無間違御差出可被成候、

此廻状村名下江御請印、早々御順達留村ゟ御返被成候、以上
子七月廿五日　　板橋　問屋　宇兵衛
辰上刻出

子七月廿六日　　人足三拾人　馬拾疋　相勤申候
大坂御番衆様御通行
戸田川明きニ付、諸家様御落合御通行
今夕七ッ時詰
右者御通行相嵩候ニ付、書面之通り人足馬触当之通り老人子供相除、壱人壱疋不参遅参無之様、詰刻無間違御差出可被成候、此廻状村名下江御請印被成、早々御順達留ゟ(村脱カ)御返シ可被成候、以上
子七月廿六日　　板橋宿　問屋　宇兵衛
辰上刻出

子七月廿七日　　人足三拾人　馬拾疋　不参仕候

大坂御番衆様方　御通行
上筋川口明き諸家落合御通行
今夕七ッ半時詰
右御通行相嵩候間、書面人足馬触当之通老人子供相除き、不参遅参無之様詰刻無間違御差出被成、此廻状名(付脱カ)下被成(江)請印早々順立(達)、留村ゟ御返ッ被成候、以上
七月廿七日　板橋宿　問屋　宇兵衛
辰上刻出

差上申御請書之事
一中村長七郎様此度御鳥見(見脱カ)習並仰付(被脱カ)、御拳場村々一同右之趣被仰渡候ニ付承知奉畏候、依之御請書差上申候、仍而如件
天保十一子七月
前野村　名主　五兵衛　年寄　浅右衛門　百姓代　彦右衛門
小豆沢村　名主　六左衛門　年寄　熊五郎　百姓代　源右衛門
蓮沼村　名主　太郎左衛門　年寄　五左衛門　百姓代　五郎左衛門
志村　名主　藤左衛門　年寄　五郎右衛門　百姓代　弥右衛門
中台村　名主　伝内　年寄　平右衛門　百姓代　助左衛門
根葉村　名主　庄兵衛　年寄　惣七

百姓代　孫兵衛
白子村
名主　茂兵衛
年寄　栄治郎
百姓代　政右衛門
下新倉村
名主　治太夫
年寄　六兵衛
百姓代　留五郎
台村
名主
年寄
百姓代
根岸村
名主
年寄
百姓代
岡村
名主
年寄
百姓代

御鷹野
御役所

御鳥見習並
中村長七郎

右者此度御鳥見見習並　被仰付候間得其意、御拳場触下村々江不残可差出者也

御鷹野役所

子七月

右之通被仰渡候間此段御達申候、別紙帳面ハ村役人中名前御書入三判被成、早々順立之上留村ゟ来ル廿九日迄無間違拙者方江御戻し可被下候、以上

但シ別紙帳面江墨付よこれ等無之様、御心付被成候

別紙帳面　内田三右衛門
村々
御名主中

子七月廿八日

人足三拾人
馬拾疋

大坂御番衆様方御通行
上筋川明き諸家様落合御通行
上州新田大光院御入院御通行
今夕方七ッ時詰

右者御通行相嵩候間書面之人足馬触当之通り、老人子除き不参遅参無之様詰刻無間違御差出可被成候、此廻状村名下被成御請印、早々御順立(ママ)達留りゟ御返シ被成候、以上

子七月廿八日　　板橋宿

卯上刻出　　問屋　宇兵衛

来ル十四日、例年之通り御鷹場御法度証文、志村御役宅江差出可申候、尤書損無之様入念相認メ、当朝五ッ半時迄刻限無遅滞村々役人共相揃可申候、且村役人共之内病気差合等ニ而難罷出候ハヽ、其訳当朝御役宅江可相(ママ)候

右之通承知之上此紙面江村銘下記、早々順達致し請印取之来ル十日迄御役宅江可相返候、以上

矢部権之丞
高木昌助
石黒勝次郎
武藤兵蔵

八月朔日

右之通被仰渡候間此段御達申候、此状村下江承知請印下ヶ札ニ而被成早々順達立(ママ)、留村ゟ来ル九日迄無間違拙者方迄御戻し可被成候

内田三右衛門

橋村新平代り
矢部権之丞

下谷立花屋敷菩川前

右之通戸田掛リ被仰付候間為心得申達候、以上

武藤兵蔵

八月朔日

前野
小豆沢
蓮沼
志村
根葉村
中台村
白子村
下新倉村
上新倉村
根岸村
岡村
台村
右村々御名主中

右之通被仰渡候間此段御達申候
恐悦早々御越可被成候、以上

内田三右衛門

子八月二日

別紙村々　御名主中

覚

一よもき壱尺五寸縄〆　五把　但シ撰葉
但白しゆく斗を揃江、いたみ不申候様丈ヶ長方細葉斗を揃へ

一はこへ　右同断　八拾五把
内
但シ五把　撰葉
実付はこへ　弐拾把
但尺三把掛り
はこへ　三十壱把　右同断
実付はこへ　拾七把　但シはこへ拾五把
但シ右同断
但シ花実無之手者花実無之様丸葉斗揃へ、くきいたみ不申候様丈ヶ長き方斗揃へ

右者西　御丸御小納戸奥御広敷御用ニ付、当子八月五日ゟ同十九日迄日数十五日之間、毎朝六ッ半時迄拙者宅江無間違御持参可被成候、直ニ御役所江為相納候間、届之日割之通日限并把数等無相違御納可被成候、

此状村下江承知請印被成、早々順立之上、留村ゟ御返被成候

右日割左之通

一子八月五日納　前野村
一六日納　小豆沢村
一同七日　白子村
同八日
一同九日　下新倉村
同十日
一同十一日　根岸村
同十二日
一十三日　台村
一同十四日　岡村
同十五日
一同十六日　（岡台村）
一同十七日　上新倉村
同十八日
同十九日

右日割之通、毎朝無間違御納被成候

子八月三日

覚

一よもき　壱尺五寸縄〆　五把

但撰葉

但白しゆく斗揃江、くきいたみ不申様丈ヲ長き方斗を揃へ

一はこへ　右同断　八拾把

但五把撰葉

内実はこへ　弐拾弐把

但三把掛り

一はこへ　三拾把　右同断

実付はこへ　拾七把

但尺把

一はこへ　拾五把

但右同断

但花実無之分者、花実無之儀丸葉斗を揃江くきいたみ不申候様、丈ヶ長き方斗揃

右者　御本丸御小納戸奥御広敷御用ニ付、当子八月五日ゟ同十九日迄日数十五日之間、毎朝六半時拙者方江無間違御持参被成候、相改之上直々□役所江為相納候間、左之日割之通日限・刻限并把数等無間違御納可被成候、此状村下江承知請印被成、順達之上留村ゟ是又早々無間違御戻し可被成候、以上

右日割左之通

一	子八月五日	前野村
同	六日納	小豆沢村
一同	七日	白子村
一同同	八日	下新倉村
一同同	九日	上新倉村
一同同同	十日	岡村
一同同同	十一日	根岸村
一同同同	十二日	台村
一同同同	十三日	岡村
一同同同	十四日	根岸村
一同同	十五日	
一同同	十六日	
一	十七日	
一	十八日	
一同	十九日	

右日割之通り毎朝無間違御納可被成候

内田三右衛門

右村

御名主中

右者今九日暮六時詰
佐州御奉行
鳥居八右衛門様　御通行
大坂御番衆様
御宿割
御先下り御通行
右之外自余御通行相嵩多人馬御継立ニ付、書面通人馬触当通り老人子共相除、詰刻之通不参等(遅)参無之様急度御差出し被成候、尤此状村名下へ請印被成、早々刻付を以御順達、留村ゟ御返し被成候、以上
子八月　板橋宿　問屋　市右衛門
卯上刻出
子八月十二日夜正六ッ時詰
大坂御番頭
建部内匠頭様御通行

大坂御蔵奉行
池田庄太夫様御通行
大坂御番頭
細川長門守様御宿割
并
与力同心衆御宿割、御通行
今十二日夜正六ッ時詰
右者外自余御通行相嵩多人馬御継立ニ付、書面之人馬触当之通老人子供相除、詰刻之通不参達(遅)参無之様急度御差出被成候、尤此状村名下江請印被成、早々刻付ヲ以御順達、留村ゟ御返シ被成候、以上
卯上刻出　問屋　宇兵衛

覚
一よもき　但シより葉　五把
一実付はこべ　但シ尺把三巳掛ケ　弐拾弐把
一実付はこべ　但尺把　拾七把
はこへ　但シ五把より葉　八拾五把
はこべ　但シ右同断　三拾壱把
はこべ　右同断　拾五把
右者両御丸御小納戸奥御広敷御用ニ付、当子八月朔日

ゟ同晦日迄日数三十日之間、書面之通り毎朝五時無間違可相納候、御請書日割書付早々可差出候、以上

御鷹野役所　　大塚町触次

七月廿五日出

一惣高壱万八千石

是ハ三十日割一日六百石分〆

一日六貫六百文

壱〆五十七文一日ニ付

此間大塚町へ参り割合方承り候所、書面之通ニ御座候

覚

一ゑひつる虫　四俵

但シ長ヶ弐寸位ニ致□□斗揃へ、抜から無之様、水へ入不申、入念取集〆可申候事

一右者両　御丸御小納戸御用ニ付、村々一同御取集〆、来ル九月廿九日迄無間違拙者方迄御持参被成候様、村々取揃四斗入俵ニ仕立相納させ候間、右日限迄□(呉)々も無間違御納可被成候、此状村下へ承知請印被成、早々順達之上、留村ゟ是又無間違早々御戻し可被成候

右割合左之通り

一ゑひつる虫　前野村　一同壱〆目　小豆沢村
弐〆目

一弐〆目　白子村　一弐〆百目　下新倉村

一五〆弐百目　上新倉村　一弐〆目　台村

一弐〆百目　根岸村　一三〆百目　岡村

右日割之通無間違御納被成候事

子八月十七日　内田三右衛門

右村々
御名主中

覚

一当子定免切替御下知之趣申渡旨、三判持参村役人之内壱人つゝ早々可罷出、廻状村下令請印刻付順達、留村ゟ可相返者也

山本大膳様
御役所

八月廿一日

武州新座郡
上新倉
石神村
溝沼村
小樽村
台村
根岸村
広沢原新田
右村々役人

追而此廻状村名順ニ不拘、順時可継立候、以上

右者今廿四日暮六ッ時詰
大坂御番頭
細川長門守様
同御組
御番衆様御通行
右之通り御通行
辰上刻出

板橋
問屋
新左衛門

相勤

右者明廿六日朝六時詰メ
大坂御番衆様方御通行
右御通行
辰上刻

板橋
問屋
市右衛門

右者明廿七日朝六時詰
大坂御番衆様方御下り
右之通御通行

問屋
市右衛門

不参

右者今廿七日夜明七時詰メ
大坂御番衆様方御下り
新田大光院御神殿御修復御用ニ付、御勘定様方・御普請役方・御作事御小普請方一同御通行
右者御通行有之ニ付相触候間、老人子共相除き、一村限才領相添不参無之様被成候、
子八月廿七日巳上刻

問屋
市右衛門

明廿八日下り大坂御番衆通行有之候上、新田大光院御普請御用として、御勘定方始メ御普請役其外小普請方

諸役人多分通行有之、多人馬継立相成候間、宿役人ゟ人馬触当通り刻限無遅滞才領差添、板橋宿江罷出到着可相届候、万一遅参不参之村々有之継立差支候ニおいてハ、急度可味吟(ママ)心得違致間敷候、此状村下名主受印刻付を以順達、従留村ゟ相返候、以上

貫目改所出役
子八月廿七日　斎藤弥市郎

右者今十一日暮六ッ時詰
大坂御番頭
大岡紀伊守様
并
御番衆様方御通行
右之通り多人馬御継立有之候ニ付、前書之通り相触申候間、詰刻無相違不参不達無之様、一村限り才領相添御差出可被成候
子九月十一日　板橋宿
辰上刻出　新左衛門

右者明十四日朝五つ時詰
大坂御番頭
大岡紀伊守様
御番衆様方
戸田川明き
右之通り
子九月十三日

右者今十四日六つ時詰
大坂御頭(番脱カ)
大岡紀伊守様
御番衆様方
子九月十四日

覚
山岡鉄蔵
松本喜四郎
右者御鷹場内村々為御取締出役可致旨、佐橋長門守

殿被　仰渡候ニ付其旨相心得、触下村々江不洩様早々可申触候、尤昼夜不限致廻村御取締之儀、其向々出役之者ゟ可申談候、右之趣触下村々江可申触出候、且此触書於廻村先、出役之者江可相渡候、以上

御鷹野役所

右之通り被　仰渡候間此段御達申候、此状村下江承知請印被成早々御順達之上、留り村ゟ来ル廿五日無間違拙者方江戻し可被成候、以上

子九月十四日　　内田三右衛門

前野村
小豆沢村
蓮沼村
志村
中台村
根葉村
白子村
下新倉村
上新倉村
台村
根岸村
岡村

右村々
御名主中

今般御取締御出役様ゟ御口達

一無公儀(宿カ)無類長脇差帯候悪党共、村内ニ不立入様心付、万一不法申立入候ハヽ、召捕御訴可申上事

一村役人者勿論小前之内博奕携候者其名前可申上、且大酒被致喧嘩口論等ヲ好、又者祝義ニ妨ヶ中直りと名酒強候類、且村々ニ而若者仲間、或者若もの頭と名付候儀、急度相止メ可申候事

一村方百姓之内悪心を以何事ニよらす村方を騒立候もの、村役人共親類縁者共抔ニ遠慮致増長為致、村方茂渋難(ヤマヤ)迷惑致候□□族茂有之趣、右者自方共江密々可申立事

右之外文政右亥年被仰渡候通り、右箇条逸々御読聞被遊承知奉畏候、急度相守可申候、依之惣百姓連印一札

差上申所如件

〈御取締御改革之御趣意堅相守可申事
〈長脇差を帯候者ハ搦捕、并浪人□□□□合力不致若
〈不法をよび候ハヽ、差押村役人江可申出事
〈御免勧化之外、勧進一切不可入事
〈天保十一子年八月

長七尺　土入三尺
五寸角

右之通大和田町ニ而、御取締御出役被　仰渡候ニ付、小前一同連印御取被成候、以上

子九月十六日　勘兵衛

覚

一人足壱人　此両(ママ)壱荷

右者就御用、明廿四日明六ッ時新座郡石神村出立江戸迄罷越候条、書面人足差出無遅滞継立、此先触早々順達上板橋村ゟ、江戸下谷中御徒町通摩利支天横町角我等方江可相届候、以上

山本大膳手代
大羽金蔵

子九月廿三日　膝折宿

子九月廿三日　七つ時請取　上新倉村
美女(木)村継立　美女木村
惣右衛門村
下笹目村
新鳥村
上板橋村

追而御森附書物、十月十(日)迄差出候様相触之通、村々之内ニ者□否有無之義不申上村々も有之甚等閑ニ罷成候、此廻状披見次第有無不申上村々者、不□可出候、以上

壱朱金之儀ハ去亥十月相触候通、当子十月ゟ弥通用停止候間、以後堅通用致間敷候、尤遠国其外無拠引替残可有之哉ニ付、停止以後所持之者ハ、是迄之引替所江早々差出之可申候、若停止以後通用いたし候欤、又者貯置不引替もの於有之者、吟味之上急度可申付候、

右之通り被　仰出候間、村中不洩様相触、此廻状村名下江令受印早々順達、留村ゟ可相返もの也

子九月廿六日　役所　大本大膳(山)

上保谷村
下保谷村
橋戸村
白子村
上白子村
上新倉村
上内間木村
下内間木村

十月四日四ッ時　遣

岡村
浜崎村
浜崎新田

右村役人

十月四日四時請取　久太郎ゟ

其方共
其村方儀御年貢其外納方相滞、其上不法之儀共有之趣ニ付、遂吟味条来ル十四日銘々罷出可相届、於参者(ママ)可為越度者也

山本大膳役所

子十月五日

一螻弐千六百八拾疋
内大螻千弐百六拾疋

右者両　御丸御小納戸御用ニ付、当子十月四日ゟ同十七日迄日数十四日之間、毎朝六ッ半時無間違拙者方へ御持参可遣候、相改候上直御役所へ為相納候間、左之日割之通螻数等無相違御納可被成候、此状村下江承知請印被成、早々日割差上、留り村ゟ早々御戻し可被成候、以上

子十月四日納　右日割左之通

螻弐千六百八拾疋　前野村
内大螻千弐百六十疋

同五日納

同千三百四十疋　前野村
同三百四拾疋　小豆沢村

内右同断

同六日納
一弐千六百八拾疋　白子村
内同断
七日
一同弐千六百八拾疋　右同村
内同断
同八日納
一同弐千六百八拾疋　下新倉村
内同断
九日
一同弐千六百八拾疋　右同断
内同断
十日
一同弐千六百八拾疋　上新倉村
内同断
十一日
一同弐千六百八拾疋　右同村
内同断

十二
一同千三百四拾疋　上新倉村
同千三百四拾疋　根岸村
内同断
十三
一同弐千六百八拾疋　根岸村
内同断
十四日
一同弐千六百八拾疋　岡村
内同断
十五日
一同千六百四拾疋　岡村
一千四拾疋　台村
内同断
十六日
一同千五百四十疋　岡村
同千四拾疋　根岸村
十七日

千八百八十疋
同八百疋　　上新倉村
　　岡　村

右日割之通、毎朝無間違御納可被成候

子十月二日　　内田三右衛門

御鷹場内御取締為御用、廻村いたし申渡儀有之間、今般白子村旅宿江無相違可罷出候、其節此廻状可被相返申候

子十月十一日　　山岡鉄蔵様

上新倉村
下新倉村
台　村
右村々　根岸村
名主中　岡　村

武州新座郡上新倉村
百姓浅吉忰
金太郎

右之者儀相尋儀有之間、此差紙披見次第召連、浦和宿自分旅宿罷出可申聞候、此差紙持参可罷出返候、以上

子十月十三日　関東御取締出役
木下民右衛門

其村方川除御普請願之儀ニ付御用有之間、ケ所附帳、并出来形帳取調、明十三日朝出立前迄ニ、蕨宿我旅宿江持参可被致候、其節此書付可被相返候、以上

子十月十二日　山本大膳手代
青木茂十郎
大羽金蔵

上新倉村
役人中

武州足立郡大野新田
大羽金蔵
青木茂十郎

甲州道中府中宿迄御用先
山本大膳手代
三枝寛五郎殿

御用子十一月十四日出ス

此壱通急御用之儀申遣、昼夜刻付を以継送り、同人廻村先江可御届候、以上

大野新田廻村先
山本大膳手代
大羽金蔵

子十月十四日
酉上刻

上新倉村
上保谷村
田無村
上小金井村
府中宿
宿村役人

其村々当子御物成米之内、凡三分通籾納被仰出候、追而石数可相触、二分三其外入念用意可致置候、此廻状早々順立従留村可相返もの也

子十月四日出　山本大膳

同十三日請取　御役所

覚

新座郡　上白子村

一米六拾八石七斗六升壱合壱夕
籾弐拾壱石

一米弐百七拾六石壱斗弐升三合壱夕
籾八拾七石　上新倉村

一米拾八石壱斗三升八合九夕
籾五石五斗　石神村

一米弐拾弐石八斗弐升五合五夕
籾七斗五升　膝折村

一米四十壱石八斗七合八夕
籾四拾三石　溝沼村

一米四拾六石三斗五升弐合七夕
籾拾五石　彦兵衛組

一　辻村

右者其村々当子御廻米籾書面之通候条、米籾怡合精々相撰、上中下三段之手本米籾中札等早々差出、俵拵其外共念入、来月十五日迄ニ無相違浅草御蔵納、籾之分者小菅納屋へ可相納、此廻状村下へ令受印刻付を以順達、留り村ゟ可相返もの也

子十月廿七日　山本大膳

橋戸村ゟ
十月廿九日午上刻請取

御役所

子十一月十一日　山(本)大膳

諸国村々百姓共江拝借被仰付候夫食種代・農具代等之儀者、水災其外不作之節為御救拝借被仰付候ニ有之候処、近年不作之年柄打続候故、拝借高相嵩返納難儀之趣相聞候間、此度夫食種代・農具代・拝借米金銀返納残之分、永年賦被仰付候旨被　仰渡候条、其村々江去ル酉年　拝借被　仰付候夫食代、戌亥弐ヶ年返納、残金儀者当子年ハ年延来ル丑ゟ弐拾五ヶ年賦被仰付候間得其意、右体寛大之御仁慈を以、村々御救之儀被仰出候上者、質素倹約を堅相守り、耕作等出精いたし、村柄立直候様無油断相励可申、勿論右之通被　仰付候上、又候拝借相嵩候様ニ而者詮も無之事ニ付、以来拝借者容易ニ被仰付間敷候間、兼而水災不作等之年柄之手当心掛、自力ニ取続候様可致候、

右之通小前末々迄不洩様急度申渡、別紙案文之通請印帳取調、来月十日迄ニ無相違可差出候、此廻状村名下令請印、従留村可相返者也

武州新座郡

上新倉村　庄左衛門組
久太郎組
溝沼村
根岸村
平左衛門組
台村
岡村
庄左衛門組
久右衛門組
上白子村
橋戸村
膝折村
辻村
石神村
片山堀之内村

小　榑　村
浜　崎　村
下内間木村
上内間村（木脱カ）
右村々
名　主
組　頭
百姓代

返納仕候

当子年ゟ返シ可相納分
一金何拾何両永何拾文何分　夫食代拝借
但シ当子壱ヶ年延来ル丑ゟ弐拾五ヶ年賦
返納被仰付候

右者近年不作之年柄打続候故、拝借高相嵩返納難儀之趣達御聴、去ル酉年拝借被仰付候書面夫食代返納残之分、当子壱ヶ年延来ル丑ゟ弐拾五ヶ（ママ）賦返納被仰付候間得其意、右躰寛大之御仁慈を以、村々御救之義被仰出候者、質素倹約を堅相守耕作等出精いたし、村柄立直候様無油断相励可申、勿論右之通り被仰付候上、又候拝借相嵩候様ニ而者詮も無事ニ付、以来拝借者容易被仰付間敷候間、兼而水災不作等之手当心掛ヶ、自力ニ取続候様可致旨、被仰渡之趣難有仕合承知奉畏候上者、年限中御触御日限通り、無遅滞上納仕候儀者不及申、右等を以手余地者起返し、離散之もの者及帰農、後年水災不作等之年柄取続方手当心掛、容易ニ拝借等ハ不相願候様可仕候、依之連印御請印形差上申候、以上

（朱書）「金サシ　竪八寸　横五寸六分　弐冊ヅヽ
半紙帳ニ相仕立可差出事　」
「夫食代拝借永年賦御請印小前帳
山本大膳支配所
何州何郡何村　」

覚

天保八酉年拝借高
金何拾何両　但シ戌ゟ寅迄五ヶ年賦
内金何拾両何分永何拾文何分戌亥弐ヶ年

山本大膳支配所
何州何郡何村
夫食拝借罷有候
百姓　たれ印
たれ印
たれ印
たれ印
たれ印
たれ印
右村
名主　たれ印
組頭　たれ印
百姓代　たれ印

裏ニ内表紙付ケ

諸国村々百姓共江拝借被仰付候夫食種代・農具代等之儀者、水災其外不作之節為御救拝借被仰付候儀ニ有之候所、近年不作之年柄続候故拝借高相嵩、返納難儀之趣相聞候間、此度夫食種代・農具代・拝借米金銀返納残之分、永年賦被仰付候旨被仰渡候条、去ル酉年拝借被仰付候夫食代戌亥弐ヶ年返納、残金之儀ハ当子年者年延、来ル丑ゟ弐拾五ヶ年賦被仰付候間得其意、右体寛大之御仁慈を以村々御救之儀被仰出候上者、質素倹約を堅相守り、耕作等出精いたし、村柄立直候様無油断相励可申候、勿論右之通被仰付候上又ハ(候)拝借相嵩候様ニ而者詮も無之事ニ付、以来拝借者容易ニ被仰付間敷候間、兼而水災不作等之年柄之手当心掛、自力ニ取続候様可致候

右之通小前末々迄不洩様急度申渡、別紙案文之通請印帳取調、来月十日迄ニ無相違可差出候、此廻状村名下令請印、従留村可相返もの也

十一月十一日　山大膳

武州新座郡　上新倉村
庄左衛門組
久太郎組
溝沼村
根岸村

平左衛門組
台　村
岡　村
庄右衛門組
久右衛門組
上白子村
橋戸村
膝折村
辻　村
石神村
片山堀ノ内村
小樽村
浜崎村
下内間木村
上内間木村
右村々
名主
組頭

百姓代

其村々当子御物成米之内、御返籾小菅納屋納之分、格別訳を以合籾御免被成下候間、不同俵無様俵拵者勿論、籾怱撰者格別入念□日限通無遅付可相納候、此廻状村名下江令受印刻付を以早々順達留村ゟ可相返候、以上

子十一月十五日出　山本大膳

同十一月十六日酉半刻　役所

武州新座郡
上白子村
上新倉村印
膝折村印
溝沼村印
彦兵衛組
同　村　印
平　八　組
台　村　印
根岸村印
平左衛門組

一金百五拾両三分
永百廿弐文六分
一金七両三分
永五拾壱文九分
一金六拾六両三分
永三十壱文五分
一金拾弐両弐分
永五拾九文壱分
一金五両弐分
永拾三文三分
一金拾両壱分
永八十七文弐分
一金五拾七両壱分

同　村　印
権左衛門組
右村々
役人
上保谷村
上保谷新田
下保谷村
白子村
私領
橋戸村
上白子村
上新倉村

永百四十弐文八厘
一金拾六両弐分
永七文弐分
一金拾八両壱分
永六拾文五分
一金弐拾八両弐分
永百八拾九文壱分
一金拾四両
永弐拾弐文九分
一金拾六両弐分
永七十七文七分
一金四両
永百七拾五文
一金壱分
永弐百三十七文七分
一金弐両
永百四拾文三分
一金三分ト

庄左衛門組
久太郎組
上内間木村
下内間木村
岡庄右衛門組村
岡久左衛門組村
浜崎村
下新倉村
広沢原雑丹袋新田
中沢村
広沢原新田
浜崎新田
片山村秣場

永六拾四文四分

一金弐分　　下中沢村

永五拾四文弐分

右者当子御年貢其外国役金共、皆済割賦書面之通候条、納金之義ハ兼而申渡し置候通相心得、来月十日限上納皆済可致候、若日限遅滞之村方者聊無用捨厳敷遂吟味候条得其意、此廻状村下令請印、刻付順立達留り村ゟ可相返もの也

山本大膳

子十一月十一日　役所

篠崎一郎様

上板橋村
下練馬村
白子村
上新倉村
夫ゟ先々
役人中
上下新倉村内

子十一月廿一日

覚

一人足壱人　但シ両掛壱荷

右者我等儀就用、明廿一日明六ッ時江戸出立、其筋江罷越候条書面人足差出、支配所村者御定賃銭受取之無遅滞継立、諸事無差支様取斗、此先触早々継送我等着之上差出候、以上

山本大膳手代

覚

三尺縄〆

拾六把
弐百把
但上口壱尺丸ミ
五寸
五拾把
但上口八寸五分切
丸ミ五寸

一杉之葉

百　把
但上口八寸三分切
丸ミ五寸
中把
弐千四百拾把
小把
千七百八拾把
四把但三尺縄〆
申ゟ上ケ
合四千五百六拾把

右者両御丸御小納戸奥御広敷御用ニ付、当子十一月十八日ゟ十二月三日迄、日数十六日之間毎朝六半時、拙者方江御持セ可被遣候、相改候上直ニ御役所江為相納候間左之日割之通り、日限刻限并把数等無間違御納可被成候、此状村下江承知請印被成、早々御順達之上留り村ゟ是又無間違早々御戻可被成候、以上

右日割左之通

子十一月十八日納　前野村
同十九日　同廿一日納　白子村
同廿日納　小豆沢村
（同廿一日納　同廿二日納）　下新倉村
（同廿三日納　同廿四日納）　岡村
（同廿五日納　同廿六日納）　台村
同廿七日納　根岸村
同廿八日納　（根岸村　岡村）
同廿九日納　台村
同晦日納　上新倉村
十二月朔日　上新倉村
同二日納
同三日納

右日割之通毎朝無間違御納被成候事

子十一月十六日

右村々
御名主中

新倉村
上下ノ内
百姓源兵衛

右之者相尋候儀有之間、村役人差添印形持参ニ而白子

宿迄、且早々罷出可申出事

火付盗賊改

十一月廿二日　山田三十郎組

浅野宇右衛門

右村

役人

尋儀有之間、明四日五ッ半時無相違罷出可相届者也

山本大膳

役所

子十二月三日

上新倉村

百姓　文五郎

組合

親類

差添

村役人

覚

当子十二月六日□六ッ時

人足弐拾八人　上新倉村

馬壱疋

外ニ才料壱人

明暮六ッ時詰メ

人足弐拾人　上新倉村

馬弐疋

右者松平大和守様御部屋様御通行

子十二月六日

白子

問屋勘兵衛

（桜井　晃家文書　1―5）

四　慶応元年一〇月　下新倉村御年貢米地払に付下知状

「（包紙）

下知書　武州新座郡下新倉村役人共江」

下知之事

其村方当丑御年貢米之内、米弐百俵相場両ニ弐斗也、

地払申渡候、依之右石代来ル廿日まて無相違納方取斗可申候、此如令下知畢

慶応元丑年十月　　滝二左衛門㊞

秋盛民右衛門㊞

印

武州新座郡

下新倉村

役人共江

（柳下廓次家文書　26―21）

五　寛延四年五月　伊賀者永代地方目録

（表紙）

寛延四辛未年

永代地方目録覚

五月　吉日

（縦帳）

伊賀者弐百人江為御褒美地方拝領仕候覚

権現様天正十壬午年六月伊賀山路越被為遊候節、伊賀之者共罷出御道筋御案内申上、伊勢白子迄御供奉仕、従夫御船被為召三州江被為入候、其御忠節ヲ以同年於尾張鳴海被召出、御陳御在京之御供仕、江府御入国被為遊候ニ付、御当地江被召連、天正十九辛卯年十一月、四谷之原江御鷹野被為成候節、右御忠節御好身を以、御杖之先ニ而伊賀者弐百人江為御褒美、高千貫文地拝領仕、壱人ニ付五貫文宛地被下置候、其割

上意ニ伊賀者小身之者有之間、御陳御登京御供仕候節、百姓夫ニ召連、又者残シ置候妻子共江預置候様ニと難有

上意被為下置、則伊賀者居屋敷於近所知行所被下置候、右千貫文地者高千石、壱人前五貫文地者高五石宛拝領仕候、右人数之内跡式断絶仕候者、又ハ遠国在役ニ付地方指上候者、地面御代官所江引渡シ、残り人数今以拝領仕来難有頂戴仕候、依之右知行所高并上知高・有高村々年貢諸色納方迄委細ニ書記者也

延享丁卯年九月改之

知行高之覚

高合千石　是者天正十九辛卯年伊賀者弐百人江被下置
候本高、但シ壱人前五石宛
外ニ
六百拾六石三斗弐升三合七夕弐才
是ハ寛永十六卯御縄申請打出シ高也
二口合千六百拾六石三斗弐升三合七夕弐才
右知行高辻
一高三百七拾石九斗弐升三合七夕弐才　上下一木村
一高弐百七拾七石壱合　原宿村
一高九拾七石六斗五合　穩田村
一高弐百拾七石壱斗壱升壱合　佐須村
一高百三拾五石四斗九升五合　小足立村
一高弐百五拾五石五斗五升四合　上白子村
一高弐百七拾壱石九斗弐升五合九夕　下白子村
高合千六百弐拾六石六斗五升五合六夕弐才
内
五百八拾七石六斗五升六合九夕三才
是者右弐百人之内七拾弐人半分、地方遠国ニ引
越候者、又ハ跡式断絶仕候者、地方差上申候

右上知高之内
三百弐拾壱石壱斗九升四合七夕九才
内
三百拾壱石四斗壱升八合七夕九才　上下一木村
九石七斗七升六合　原宿村
是ハ寛永年中ゟ寛文年中迄御用地上り候代地ニ被
下置候旨、正徳五未年八月井上河内守殿被仰渡候
百七拾石五斗七升八合壱夕四才　上白子村
是ハ正徳三巳年ゟ元文三午年迄、上地地面御代官
江渡ス
七拾八石弐斗七升九合八夕　原宿村
是ハ正徳四午年八月、享保五子年七月両度上地、
地面御代官江渡ス
拾石六斗四合弐夕　穩田村
是ハ享保十巳年ゟ同十二月未年迄上知、地面御代
官へ渡ス
右上地高合五百八拾七石六斗五升六合九夕三才
有高千三拾八石九斗九升八合六夕三才

右知行所高辻

武蔵国豊島郡甲(貝)塚領

一高六拾石五斗四升四合九夕三才　上下一木村
日本橋ゟ道法り壱里、町屋有り

同国同領(郡)麻布領

一高百九拾壱石九斗七升八合五夕三才　原宿村
同所ゟ壱里半、町屋有リ

同所

一高八拾三石九斗六升七合四夕七才　穏田村
同所ゟ壱里、町屋無シ

同国多磨郡府中領

一高弐百拾七石壱斗壱升壱合　佐須村
同所ゟ五里半、町屋無シ

同国同郡世田谷領

一高百三拾五石四斗九升五合　小足立村
同所ゟ五里余、町屋無シ

同国新座郡野方領

一高七拾七石九斗七升五合八夕六才　上白子村
同所ゟ四里半、町屋無シ

右同断

一高弐百七拾壱石九斗弐升五合九夕　下白子村
同所ゟ四里半、町屋無シ

右七ヶ村

高合千三拾八石九斗九升八合六夕九才
是ハ伊賀者百廿七人半拝領高也
但シ壱人ニ付高八石壱斗四升九合宛

年貢諸色納方覚

武蔵国豊島郡之内

一高六拾石五斗四升四合九夕三才　上下一木村鮫河橋赤坂
此取米弐拾八石四斗五升六合壱夕壱才
但シ四ッ七分面

此俵八拾壱俵壱斗六合壱夕壱才
外ニ

一米八拾俵　町屋掛り

一同六拾四俵同所貞享年中町奉行支配ニ成候節

一同壱俵壱升五合八夕九才　先年ゟ手作上米

一同壱俵弐升四合　倉地四郎左衛門分　右同断

一同壱斗六合五夕五才　飯塚市右衛門分　右同断

一同四俵　円磨寺直納
一同弐斗九升　陽光寺同断
納高合弐百三拾弐俵壱斗九升弐合五夕五才
内
高百六俵七升四合五夕五才　鮫　河　橋
内
一米七俵壱斗五升五合　次米免シ共
一同六俵　名主給
一同弐俵　常使給
一同五斗壱升六合　作兵衛屋敷分
一同五斗壱升六合　仁右衛門屋敷分
一同五斗九合　万拙組　久兵衛　吉兵衛
六口引米
合拾九俵弐斗九升六合引
残而納合八拾六俵壱斗弐升八合五夕五才
一高百弐拾六俵壱斗壱升八合　赤坂八郎左衛門
内
一米壱俵　宮免出
一八俵　名主給

一同四斗七升　忠右衛門引
三口引米
合拾俵壱斗弐升
残而納百拾五俵三斗四升八合
上下両村分二口合弐百弐俵壱斗六升六合五夕五才
此代金年々取立、直段冬春御張紙直段ニ十両増相場
内　金三拾六両弐分夏納九両者　鮫　河　橋
廿七両弐分者　赤　坂
残而冬納
一銀三匁　飾代　鮫　河　橋
一米壱斗三升八合三夕五才　同村6番給
一銀七匁五分　飾代　赤　坂
一米弐斗壱升壱合六夕五才　同村番給
一壱町壱反九畝弐拾歩　上一木村　寺　院　方
右寺年貢金覚
一金壱両壱分銀五匁八分　香　連　寺
一同三両　宗　源　寺
一同弐両　発　昌　寺
一同壱両壱分　本　遠　寺

一同弐両三分銀拾壱匁五分　竜谷寺
一同壱両弐分　戒行寺
一同壱両　日宗寺
一同三両壱分　妙国寺分　次郎兵衛
金合拾六両三分銀弐匁三分
一金壱両壱分銀四匁四分　喜左衛門納
一同壱分銀七匁五分　太右衛門納
二口合金壱両弐分銀拾弐匁弐分　手作米代
一金弐両銀拾三匁五分　八人分納
是ハ山岡善五郎相渡ス
手作米蔵江納分
一米弐斗三升七合五夕三才　山岡善五郎
一同壱俵壱升四合七夕　飯塚冨三郎
一同弐斗六升　今田佐兵衛
一同五升七合七夕四才　渡部市郎右衛門
一同八升四合　塩沢仲治
一同弐斗九合四夕七才　冨崎平四郎
一同壱斗七升七合　秋野彦次郎

一同三斗壱升　久野伝八郎
一同三斗三合九夕三才　礒崎又左衛門
一同三斗四合五夕壱才　池原庄大夫
一同九升壱合　内田善次郎
合六俵弐斗九升九合八夕八才
内　五俵七升弐合五夕四才　蔵ゟ五人江渡ス分
残而壱俵弐斗弐升七合三夕四才　手作次米

蔵ゟ出糯米
一米壱斗九升　山岡善五郎
一金弐両銀拾三匁五分
一米六斗四升　久野伝八
一同四斗七升四合七夕七才　磯崎又左衛門
一同壱俵　池原庄大夫
一同弐斗四升七合七夕七才　内田善次郎
合米五俵七升弐合五夕四才　右五人江蔵ゟ渡也
紀州様江借上寛永十六己卯年ゟ
名主　作兵衛持添
一九反七畝弐拾歩権田入田

此御地代拾ヶ年分
金五拾五両宛己之年請取也
右同断寛永二十一甲申三月ゟ
一九反七畝拾八歩鮫河橋大道筋　名主　仁右衛門持添
内高壱石四升見取也　御長屋外土取場
此御地代拾ヶ年分
金五拾五両宛甲之年請取也
一上田守九ッ　上一木村名主　作兵衛
一上畑守七ッ　仁右衛門
一屋敷守十一　下一木村名主　八郎左衛門
上下一木村
右高三百七拾石九斗弐升三合七夕弐才
内
三百拾壱石四斗壱升八合七夕九才
寛永年中ゟ寛文年中迄段々御用地ニ上ル
残而高五拾九石五斗四合九夕三才
外ニ壱石四升見取高
二口合有高六拾石五斗四升四合九夕三才
右御用地ニ上候分

寛永十二年亥三月
一高六拾七石弐斗六升六合　溜池ニ上ル
同断
一高壱石七斗三升八合四夕　糀町拾弐丁目裏久世三四郎組屋敷（只今札（加々）爪次郎右衛門組屋敷）
同断
一高拾五石弐斗七合四夕　尾張殿江渡ル糀町拾丁目井上但馬守江入渡此所道ニ罷成候
同断
一高五拾弐石壱斗六升六合　御堀ニ上ル
同十三子四月
一高廿石壱斗六升五合弐夕　三浦長門守屋敷ニ入渡ル
寛永十九午年
一高八斗三升六合六夕六才
同断
一高四石壱斗三升六合九夕九才　種徳寺江渡ル
同断
一高四石三斗三升六合六夕六才　浄土寺江渡ル
同断
一高六石弐斗七升　服部仲元組屋敷
同断
一高五石八斗三升　（安藤千福渡ル只今戸田織部松平伝治郎横山五郎左衛門雨宮十太夫此外所々屋敷渡り申候）千代姫君様御屋敷渡ル赤塚
承応二巳年
一高三石七斗六升四合九夕七才　只今大久保左京屋敷米倉主計
赤坂築地御用地新屋敷
同三午年
一高四拾五石九斗六升弐合壱夕八才　小林又左衛門此外屋敷渡ル

明暦元未年
一高弐拾弐石七升三合弐夕六才　紀伊国殿江渡ル一木町ニ而
同断
一高五石七斗四升四合六夕四才　右同断
同断
一高八石四斗四升五合三才　右同断
同断
一高三石九斗五升六才　板倉弥作屋敷
万治元戊年
一高九斗四升弐夕五才　太鼓坊主衆江渡ル只今常浚之者預リ地
同二亥年
一高拾七石四斗　西尾右京江渡リ只今霊光院専修寺屋敷
寛文二寅年
一高六斗壱升八合　今井道通リ新道成申候
同四辰年
一高壱石弐斗三升五合九夕九才　伊沢隼人正江渡ル只今松平大膳太夫内吉川勝之介屋敷ニ成ル
同断
一高弐斗三升九合九夕九才　松平外記屋敷ニ渡ル
同断
一高壱石六斗九升五合三夕弐才　柳沢八郎右衛門屋敷渡ル只今一宮仁左衛門屋敷
同断
一高拾八石三斗七升弐合弐夕　伊賀者拝領屋敷人数三拾五人分江渡ル
一高三石弐升三合三夕弐才　松平安芸守江渡ル只今坊主衆江渡ル
右弐拾四ヶ所者上下一木村之内
此石合三百拾石四斗壱升八合七夕九才
寛永十八巳年
一高八斗四升弐合　井伊掃部守屋敷ニ渡ル
寛文七未年
一高八石九斗三升四合　松平佐兵衛屋敷ニ渡ル
右弐ヶ所者原宿村之内
此石合九石七斗七升六合
御用地高合三百弐拾壱石壱斗九升四合七夕九才
右御用地被召上候儀、寛永年中ゟ初而御用地ニ罷成候ニ付、御勘定御奉行伊丹順斎・酒井紀伊守・曽根源右衛門江申達、御用地上り候分上ヶ地分之内ニ而引渡シ、此高之物成を以割合御勘定仕候様ニ被仰渡代地不被下候、其以後寛文年中迄御用地上り申候所、先規之通代地之義願上不申段、其節之志者不調法仕候、近年迄代地之義奉願候所ニ代地被下置候、貞享二年九月青山原宿村百姓居屋敷三千坪松平美作守屋敷渡り候所、同十一月笄橋近所山口修理屋敷代地ニ右坪数被下置候、中坊長兵衛・松平源太夫ゟ請取申候、元禄八年亥二月類焼ニ付、一木村百姓屋敷七百坪余御用地ニ被召上、同三月赤坂築地之内ひちり坂ニ而右坪数被下置候、中坊長兵衛・奥田八郎右衛門ゟ請取申候、先年方々屋敷渡り高三百弐拾壱石壱斗

九升四合七夕九才者代地不被下候ニ付、御人数上地高之内ニ而従前ニ御勘定仕上申候、今度御書付御代官支配ニ罷成候得者、代地奉願候、右之通正徳二辰九月願上置候所、其後正徳五未年八月右願之通、御預り知之内ニ而代知被下置候段、御老中井上河内守殿被仰渡候旨、御留守居松前伊豆守殿被仰渡候

上一木村

名主　仁右衛門

作兵衛

下一木村

名主　八郎左衛門

武蔵国豊島郡

一高百九拾壱石九斗七升八合五夕三才　原宿村

此取米百五石五斗八升八合壱夕九才　五ッ五分定面

此俵三百壱俵弐斗三升八合壱夕九才　但三斗五升入

外ニ

米五俵　（町屋掛り貞享年中ゟ）

同弐拾俵　（元文元辰年ゟ町奉行御支配ニ相成候節増米）

納合三百七拾壱俵弐斗三升八合壱夕九才

内

一米三斗三升三合　荒地分引

一同弐斗八升六合　古来ゟ半右衛門屋敷免ス

一同壱斗五升四合　寄合町屋ニ引

一上畑弐反弐畝廿八歩三厘　高徳寺

高弐石六升六合四夕

米壱石壱斗三升六合五夕弐才

辰年ゟ

一米弐俵　同寺

一中畑壱反歩　浄性院

高五斗

此米弐斗七升五合

一上畑八畝歩　同院

高五斗九升

此米三斗八合

一上畑九畝拾歩　　同　院
高六斗五升三合三夕三才
此米三斗五升九合三夕三才
一米壱俵三斗　　竜峯寺
一同壱俵　　年　寄
一同拾俵　　名主両人
一高五石四升四合九夕三才　　羽根沢引高
此米弐石七斗七升四合七夕壱才
俵ニ〆七俵三斗弐升四合七夕壱才
引米合三拾壱俵三斗弐升六合五夕六才
残而納三百三拾九俵弐斗六升壱合六夕三才
内七俵壱斗弐升　　小麦引
引残而　　此小麦拾壱俵
冬納三百三拾弐俵壱斗四升壱合六夕三才
内七拾俵　　糯米
一飾莚　　七拾四枚
一同藁　　七拾四抱（把）
一斗莚　　拾弐枚

一米壱俵三斗三升九合四夕八才　　春給
但シ口米無シ
名主
一上田守九ッ　　一上畑守七ッ　　杢兵衛
一中田守七ッ　　一中畑守五ッ　　三郎左衛門
一下田守五ッ　　一下畑守弐ッ　　是者辰年迄相勤候
一屋敷守拾　　一町ノ守八ッ
右高弐百七拾七石壱合
内
寛永十八巳年
一高八斗四升弐合　　井伊掃部頭屋敷ニ渡ル
寛永七未年
一高八石九斗三升四合　　松平佐兵衛屋敷ニ渡ル
二口合九石七斗七升六合　　御用地
正徳三巳年
一高六拾八石七斗四升壱合四夕壱才　　上地
御代官伊奈半左衛門江渡ス
二口合七拾八石弐斗七升九合八夕　　上地
引残而高百八拾八石九斗四升五合弐夕
外高三石三升三合三夕三才　　穏田村為代地

丑年当村ニ請取

二口合有高百九拾壱石九斗七升八合五夕三才　原宿村分　名主　半右衛門

武蔵国豊島郡之内

一高八拾三石九斗六升七合四夕七才　穩田村　四ッ五分定面

此取米三拾七石七斗八升五合三夕三才

此俵百七俵三斗三升五合三夕三才　但三斗五升入

外ニ新屋敷

一上畑弐畝弐歩　市兵衛

増米弐升七合九夕

一上畑弐拾三歩　徳左衛門

同壱升三夕五才

一上畑弐拾三歩　太平

同壱升三夕五才

一上畑廿三歩　六之助

同壱升三夕五才

一上畑壱畝六歩　久右衛門

同壱升六合弐夕

一上畑拾三歩　伝右衛門

同□合九夕五才

一上畑弐拾三歩　甚介

同壱升三夕五才

一上畑弐拾三歩　吉兵衛

同壱升三夕五才

一上畑弐拾三歩　清左衛門

同壱升三夕五才

一上畑弐拾三歩　又八郎

同壱升三夕五才

一上畑弐拾三歩　権右衛門

同壱升三夕五才

一上畑弐拾五歩　左兵衛

同壱升壱合弐夕五才

一上畑弐拾五歩五合　藤左衛門

同壱升壱合四夕八才

一上畑拾四歩　門兵衛

同六合五夕弐才
一上畑拾八歩　平左衛門
同八合壱夕
一上畑弐拾壱歩　五郎兵衛
同九合四夕五才
一上畑弐拾九歩　弥左衛門
同壱升三合弐夕七才
一上畑拾三歩　市郎右衛門
同五合八夕五才
一上畑壱畝歩　市左衛門
同壱升三合五夕
一上畑壱畝歩　次郎兵衛
同壱升三合五夕
一上畑弐拾五歩　曽右衛門
同壱升壱合弐夕五才
一上畑弐拾三歩　角左衛門
同壱升三夕五才
一上畑弐拾三歩　三左衛門
同壱升三夕五才
一上畑弐拾三歩　八兵衛
同壱升三夕五才
弐拾四口
増米合弐斗六升七合七才
納合百八俵弐斗五升弐合四夕
内
一中畑三畝歩　御鷹野道ニ引
高壱斗五升
此取六升七合五夕
一中畑弐畝歩　御鷹野道ニ引
高壱斗八合三夕三才
此取四升八合七夕四才
一中畑六畝拾歩　関ニ成
高三斗壱升六合六夕六才
此取壱斗四升弐合四夕九才
一上畑拾歩　同所太左衛門分
高弐升九合九夕九才

此取壱升三合四夕九才
一上畑拾五歩
高四升五合
此取弐升弐夕五才
一上畑三畝歩
高弐斗壱升
此取九升四合五夕
一上畑六畝拾八歩
高四斗六升弐合
此取弐斗七合九才
一
一上田壱畝拾五歩
高壱斗六升四合九夕九才
此取七升四合弐夕四才
一上田弐畝拾歩
下畑ニメ取弐升九夕
引米七升三合四夕九才
一上田九畝廿六歩

同所庄蔵分
同所太左衛門分
同所七左衛門分
同所兵庫分
御鷹道ニ引
吉之丞
同人

下畑ニメ取八升八合七夕九才
引米三斗壱升八夕
一上田三畝拾歩
下畑ニメ取弐升九合九夕九才
引米壱斗四合九夕九才
一下田壱反廿四歩
下畑ニメ取壱斗九合壱夕九才
引米弐斗七升三合
一下田三畝拾三歩
下畑ニメ取三升九夕九才
一米壱俵壱斗七升七合四夕八才
一同三俵弐升六合六夕六才
一同壱俵
一同壱俵
寛文十一亥年
一上中畑
此引米拾弐俵壱斗七升四合
十九口引米
合廿三俵弐斗弐合九夕八才

五郎左衛門
吉之丞
宮引川除共ニ引
水押ニ引
吉之丞
茂兵衛
稲葉美濃守殿江渡り
下畑ニ而代地請取ニ付引

引残而
納八拾五俵弐升弐合六夕
外拾壱俵壱斗九升七夕　延享三寅年ゟ改出シ
二口合納九拾六俵弐斗壱升六合六夕六才
内三俵弐斗九升六合六夕六才　小麦引
此小麦五俵弐斗七升
冬納九拾弐俵弐斗七升弐合九夕四才
内拾三俵　糯米
一飾莚　弐拾八枚
一同藁　廿八抱
一斗莚　五枚
一米弐斗弐升四合四夕三才　番給
夏納　小麦五俵弐斗七升
一上田守九ッ　一上畑守七ッ
一中田守七ッ　一中畑守五ッ
一下田守五ッ　一下畑守二ッ
一屋敷守拾

右高九拾七石六斗五合
内
一高三石三升三合三夕三才
享保六丑年松平兵庫頭殿屋敷渡ル
一高四石四斗四升三合六夕　上地
享保十巳六月伊奈半左衛門江渡ス
一高六石壱斗六升六夕　同断
享保十二未正月伊奈半左衛門江渡ス
引残而
有高八拾三石九斗六升七合四夕七才　穏田村分
年寄持
三人

武蔵国多磨郡之内
一高弐百拾七石壱斗壱升壱合　佐須村
此取米八拾八石壱斗四升七合六才　四ッ六厘定面
此俵弐百五拾壱俵弐斗九升七合六才
但三斗五升入

外

一新下田弐畝歩　三郎右衛門　同弐升壱合七夕三才　太郎兵衛

此取米六升四合九夕六才

新屋敷
一中畑壱畝歩　十郎兵衛　右同断　同八合七夕七才　弥兵衛

増米弐升三合

右同断
一上畑三畝歩　伊兵衛　右同断　同弐升三合　八郎兵衛

増米四升八合七夕弐才

新屋敷
一中畑弐拾歩　七郎兵衛　右同断　同弐升三合　市左衛門

増米壱升三合五夕弐才

右同断
一上畑壱畝歩　七郎左衛門　同壱升三合五夕三才

増米壱升六合弐夕四才

右同断
一上畑弐拾歩　左五兵衛　合三斗八合七夕壱才

増米壱升八合

右同断
一上畑弐拾歩　作右衛門　納合弐百五拾弐俵弐斗五升五合七夕七才

増米壱升八合

右同断
一上畑壱畝歩　甚五左衛門　内

増米壱升六合弐夕四才

右同断
一上畑壱畝拾歩　金左衛門　一壱俵　関免ニ引

一拾弐俵壱升三合弐夕壱才　畑方位直引米

一拾六俵弐斗九升八合四夕八才　（丑二月畑方ニ而五分六厘引米）

一三斗壱升三合壱夕三才　（作兵衛水引組屋敷共ニ畑方免米）

一六俵八合八夕

一四升三合弐夕但シ下田壱畝拾五歩彦左衛門江免米
一壱斗四升五合　久作免ス
一弐俵　伝蔵ニ免ス
一八俵　年寄六人江免ス
引米九口合四拾七俵壱斗壱升七合三夕弐才
引残而弐百五俵壱斗三升八合四夕五才
内九升弐夕弐才　道代ニ引
引残而弐百五俵四升八合弐夕三才
内八俵六升六合　小麦ニ引
此小麦拾弐俵壱斗
冬納百九拾六俵三斗三升弐合弐夕三才
内五拾五俵　糯米
一飾莚　五拾四枚
一同藁　五拾四抱
一斗莚
一壱俵壱斗九升八合壱夕　但シ口米無之　番給
夏納
一小麦拾弐俵壱斗　壱反ニ付拾四文代

一山三町八反七畝弐歩
此永五百四拾壱文八分九厘弐毛
一畑壱町三反五畝廿三歩　壱反ニ付七拾文宛代
此永九百四拾八文壱リン
一野五反四畝七歩　壱反ニ付廿四文代
山畑野町歩合五町七反七畝弐歩
永合壱貫六百拾九文弐分四厘
一上田守拾弐　一上畑守六ッ
一中田守拾　一中畑守五ッ　名主　万之助
一下田守八ッ　一下畑守四ッ
一屋敷守拾　一下ミ畑守弐ッ弐分
右高弐百拾五石四斗壱升壱合
外
高壱石七斗　見取高
二口合有高弐百拾七石壱斗壱升壱合
佐須村分
名主　三郎右衛門
武蔵国多磨郡之内

一高百三拾五石四斗九升五合　　小足立村
　　三ッ五分定面
　此取米四拾七石弐升三合弐夕四才
　此俵百三拾五俵壱斗七升三合弐夕四才
　　但三斗五升入

外
延宝七未年
一開下田六畝弐拾六歩　　三郎左衛門
　此取四升八合
右同断
一下畑壱反三畝弐拾弐歩　　甚五左衛門
　此取三升五合
右同断
一下畑壱反三畝弐拾弐歩　　市郎左衛門
　此取三升五合
同申年ゟ
一下田弐畝歩　　右　同　人
　此取四升弐合
元和元酉年ゟ
一中田壱反歩　　五右衛門
　此取弐斗八升
同二戌年ゟ
一中田八畝歩　　甚五左衛門
　此取弐斗弐升四合

一開下田六畝廿六歩　　五右衛門
　此取四升八合
七口増米
　合弐俵壱升弐合
二口納合百三拾七俵壱斗八升五合弐夕四才
　内
　引物
一下田壱畝弐拾歩　　中畑ニ成
　高三升三合三夕三才
　此取壱升壱合六夕六才
一中畑壱反歩　　稲荷面ニ引
　高四斗
　此取壱斗四升
一米七升八合　　治部之助こやし
　　置場ニ免ス
　　川よけ
同壱斗　　名主給
一弐俵　　市左衛門
一上田壱反壱畝拾壱歩

此取三斗九升七合八夕三才
下田直ッ此取弐斗三升八合六夕九才
引米壱斗五升五合壱夕四才

一上田壱反壱畝拾五歩　甚五左衛門
此取四斗弐合五夕
下田ニ直ッ弐斗四升壱合五夕
引米壱斗六升壱合

一上田弐反九畝拾弐歩　市郎右衛門
此取壱石弐升九合
下田ニ直ッ六斗壱升七合四夕
引米四斗壱升壱合三夕

一居屋敷五畝廿五歩　治部之助
高五斗八升三合三夕三才
此取弐斗四合壱夕六才
一屋敷附下畑四反廿五歩
高八斗壱升六合六夕六才
此米弐斗八升五合八夕三才

十口引米　合六俵壱斗四升七合九才
引残而納百三拾壱俵三升八合壱夕五才
内　五俵五升　小麦引
此小麦七俵弐斗五升

冬納
百弐拾五俵三斗三升八合壱夕五才
内　三拾俵　糯米
一飾莚　三拾枚
一同藁　三拾抱
一斗莚　七枚
一米弐斗四升壱合弐夕壱才　番給
右小足立村分　但口米無し

夏納
一小麦七俵弐斗五升
一開畑九町　壱反ニ付弐拾五文代
一上田守拾　一上畑守六ッ
一中田守八ッ　一中畑守四ッ
一下田守六ッ　一下畑守弐ッ
一屋敷守拾　名主　治部之介

右高百三拾四石九升五合
外　高壱石四斗　　見取高
右二口合有高
百三拾五石四斗九升五合
右者小足立村分　　名主　治部之介

武蔵国新座郡之内

一高七拾七石九斗七升五合八夕六才　上白子村
此取米三拾壱石壱斗九升三夕四才　橋戸村
此俵八拾九俵四升三夕四才　但三斗五升入　四ッ定免
外
一下田壱反八畝拾四歩　　忠右衛門分開
高壱石壱斗七升七合九夕
此取米四斗四升三合壱夕六才
納合九拾俵壱斗三升三合五夕
内
一上田弐反歩　　名主給
高弐石

一下畑壱町四反壱畝拾三歩　　半成
高五石六斗五升七合三夕三才
同弐石八斗弐升八合六夕六才　　捨高也
此取壱石壱斗三升壱合四夕六才
一下畑六畝拾八歩　　堀ニ成つふれ
高壱斗三升弐合
此取五升弐合八夕
一中田弐畝拾五歩　　九郎左衛門
此取八升
一中田三反拾九歩　　市郎右衛門
内壱畝十五歩永引
高壱斗弐升
此取四升九合
一中田壱反三畝歩　　忠右衛門
内壱反歩□□
此取三升弐合
一上田弐畝拾六歩　　教学院

高壱斗五升壱合九夕九才
此取六升七夕九才
一屋敷壱畝拾歩　教学院
高壱斗三升三合三夕三才
此取米五升三合三夕三才
一下畑弐反歩　宮面
高四斗
此取壱斗六升
九口引米
合六俵三斗壱升九合三夕八才
引残而八拾三俵壱斗六升四合壱夕弐才
享保十三申年ゟ
一壱俵壱斗六合　中田ヲ下田直シ引
忠右衛門
文右衛門
永荒ニ引
善右衛門
不作引
助兵衛
一弐斗八合
一弐斗六升四合
三口合弐俵弐斗弐升八合

引残而
納合八拾俵弐斗八升六合壱夕弐才
内三俵壱斗壱升八合　小麦引
此小麦四俵三斗五升三合五夕
冬納七拾七俵壱斗六升八合壱夕弐才
内弐拾四俵　糯米
一飾莚　三拾四枚
一同藁　三拾四抱
一斗莚
一米壱俵壱斗四升八合弐夕弐才　番給
但口米無之
夏納
一小麦四俵三斗五升三合五夕
一開畑六町八反四畝三歩七厘　壱反ニ付弐拾五文代
此永壱貫七百拾弐文三分
一上田守拾ヲ　一上畑守六ッ
一中田守八ッ　一中畑守四ッ
一下田守六ッ　一下畑守弐ッ
一屋敷守拾ヲ　名主　忠右衛門

右高弐百五拾五石五斗五升四合

内

正徳四午年
一高八石壱斗弐升三合三夕六才　上地

御代官伊奈半左衛門江地面引渡ス

享保五子年
一高拾四石八斗七升七合三夕八才　右同断

同十巳年
一高三石六斗九升五合　右同断

享保十一午年
一高壱石九斗八升八合四夕　右同断

同十四酉年
一高拾六石弐斗九升八合四夕　同（飯塚介右衛門　常葉源七郎　右両人分）分

同弐拾卯年
一高拾六石弐斗九升八合　同（粕谷長之介　下野仁左衛門　両人分）

元文元辰年
一高八石壱斗四升九合　同竹内源右衛門分

御代官柴村藤右衛門江引渡ス

同三午年
一高八石壱斗四升九合　同神保浅治郎分

御代官柴村藤右衛門江地面引渡ス

右八口〆

外

上知高百七拾七石五斗七升八合壱夕四才

開畑壱町三反五畝八歩　上地

引残而

有高七拾七石九斗七升五合八夕六才

外

開畑六町八反四畝三歩七厘

右橋戸村
上白子村分　名主忠右衛門
半右衛門

武蔵国新座郡之内

一高弐百七拾壱石九斗弐升五合九才　下白子村
五ッ弐分定面

此取米百四拾壱石四斗壱合四夕六才

此俵四百四俵壱合四夕六才　但シ三斗五升入

外

原分
一中畑八畝歩　但開寛文八申年ゟ　勘兵衛

高弐斗四升

此取壱斗弐升四合八夕

新座境目池田年貢
一米五升　寛文五巳年ゟ　同人

貞享元子年ゟ
一上畑壱畝弐拾歩　屋敷裏　八郎右衛門

高九升九合九夕九才

此取五升壱合九夕九才　吹上下見出畑

谷ツ分
一弐升　善兵衛

四口増米

合弐斗四升六合七夕九才
二口　納合四百四俵弐斗四升七合九夕五才
内
承応二巳年ゟ　惣百姓高ニ出
一五反八畝拾三歩　高五石八斗四升三合三夕三才
同三午年ゟ　此取三石三升八合五夕三才
一下田弐畝歩　伝兵衛川欠之引
此取六升弐合四夕
右同断
一下田壱畝歩　太兵衛　同断
右同断　此取三升壱合弐夕
一下田八畝廿九歩　福地坊　同断
寛文五巳年　此取九升三合弐夕五才
一下田廿八歩　三郎兵衛
同八申年　此取弐升九合壱夕
一下田拾歩　伝兵衛川欠之引
右同断　此取壱升四夕
一下田弐畝拾八歩　又兵衛　同断
右同断　此取八升壱合壱夕四才
一下田廿七歩　市郎右衛門同断
右同断　此取弐升八合八才
一下田廿歩　伝左衛門　同断
右同断　此取弐升七夕八才
一下田拾五歩　四郎兵衛　同断
右同断　此取壱升六合六夕
一下田弐畝歩　兵右衛門　同断
右同断　此取六升弐合四夕
一下田壱畝歩　庄左衛門　同断
右同断　此取三升壱合弐夕
一下田拾五歩　五郎右衛門
元禄五申年　此取壱升五合六夕
一下田八歩　川欠之引
同七戌年ゟ　此取八合三夕
一中畑壱畝拾五歩　七郎左衛門　同断
右同断　此取三升壱合弐夕
一中田四畝八歩　源兵衛　同断
久兵衛　同断

右同断　此取壱斗七升七合四夕六才
一下畑拾弐歩　兵右衛門　同断
此取四合壱夕六才
右同断
一上田三畝歩　弥治右衛門　同断
此取壱斗五升六合
同九子年ゟ
一中田壱畝拾三歩　源兵衛　同断
此取五升九合六夕三才
同十二卯年ゟ
一中田壱畝歩　四郎右衛門　同断
此取四升壱合六夕
同十四巳年ゟ下田直シ
一上田壱反四畝拾弐歩　不動院　同断
此取三斗宛免ス
享保六丑年ゟ
一上畑三反八畝八歩　伊左衛門　同断
此取米壱石壱斗九升三合九夕壱才
半引五斗九升六合九夕五才
享保三戌年ゟ
一下田壱畝廿九歩半　八三郎　同断
半分引米六升壱合八夕八才
一米弐俵　地福寺江
一同四俵　名主給

一上畑三畝歩　勘兵衛
高壱斗八升　居屋敷
此取九升三合六夕
弐拾七口引米
合弐拾俵壱斗五升壱合壱夕八才
引残而
納三百八拾四俵九升六合七夕七才
内
享保十三申年ゟ
一米四俵壱斗四合八夕弐才　砂利押ニ引
享保十九寅年ゟ
一米七俵三斗壱升五合八夕弐才　右同断
寛保二戌年ゟ
一米壱俵三合六夕　右同断
三口引米合
拾三俵七升三合六夕五才
引残而
納三百七拾壱俵弐升三合壱夕弐才
内
米拾俵壱斗　小麦ニ引
此小麦
拾五俵壱斗五升

冬納
三百六拾俵弐斗七升三合壱夕弐才
内
七拾三俵　糯米
一飾莚　七拾九枚
一同藁　七拾九抱
一斗莚　拾枚
一米壱俵三斗五升八合七夕六才　番給
但シ口米無シ

夏納
一小麦拾五俵壱斗五升
一開田壱反拾八分　此取米三斗九升九合三夕六才
内壱斗八升三合五夕八才永荒引
残而米弐斗壱升五合七夕八才金納、但シ口米無之
此代金前年御張紙直段拾両増シ
一永八百拾三文四分　夏　開畑
一弐貫弐百拾文弐分　同
一同拾六文　同寅年ゟ
三口〆永三貫四拾七文七分、開畑合拾三町五畝廿歩
外ニ永九拾六文九分　貞右衛門出筈ニ免ス
同五文　札場ニ免ス
一上田守拾　一上畑守六ッ
一中田守八ッ　一中畑守四ッ　名主　太郎兵衛　冨右衛門
一下田守六ッ　一下畑守三ッ
一屋敷守拾ヲ　一下々畑守二ッ
諏訪原分
一上畑守四ッ　名主　太郎兵衛　冨右衛門　忰勘兵衛
一中畑守三ッ
一下畑守二ッ
右高弐百六拾五石七斗三升四合
外ニ
六石壱斗九升壱合九夕　見取高
二口合
有高弐百七拾壱石九斗弐升五合九夕
納高之覚

一三百三拾九俵弐斗六升壱合六夕三才　原宿村
内七俵壱斗弐升　小麦引
冬納三百三拾弐俵壱斗四升壱合六夕三才
一九拾六俵弐斗壱升九合六夕　穏田村
内三俵弐斗九升六合六夕六才　小麦ニ引
冬納九拾弐俵弐斗七升弐合九夕四才
一弐百五俵四升八合弐夕三才　佐須村
内八俵六升六合　小麦ニ引
冬納百九拾六俵三斗三升弐合弐夕三才
一百三拾壱俵三升八合壱夕五才　小足立村
内五俵五升　小麦ニ引
冬納百弐拾五俵三斗三升八合壱夕五才
一八拾俵弐斗八升六合壱夕弐才　上白子村
内三俵壱升八合　小麦ニ引
冬納七拾七俵壱斗六升八合壱夕弐才
一三百七拾壱俵弐升三合壱夕弐才　下白子村
内拾俵壱斗　小麦ニ引
冬納三百六拾俵弐斗七升三合壱夕弐才

右六ヶ村
高合千弐百廿四俵壱斗七升六合八夕五才
内
三拾八俵五升六夕六才　小麦引
残而冬納千百八拾六俵壱斗弐升六合壱夕九才
此口米拾石弐斗三升六合三夕弐才
此俵三拾八俵壱斗七升六合三夕弐才
本米
口米二口合千弐百廿四俵三斗弐合五夕壱才
内
一米壱斗　伊勢初尾料
一同弐拾俵　蔵付ゟ諸色
但米直段三拾両之内候得者増三拾俵たるべし
一米弐拾壱俵　役料七人
一同三俵　四谷天王宮江
一同壱斗八升五合　蔵屋敷稲荷江
一同弐俵　百姓礼入用
一同壱俵　皆済褒美
一同壱俵　番給

一同拾俵　　蔵付入用
一同壱斗八升五合　　同飯米
〆五拾九俵壱斗引
引残而千百六拾五俵弐斗弐合五夕壱才
此石四百三拾壱石弐斗五升弐合五夕壱才
壱人取三石三斗八升弐合三夕七才
此俵九俵五升弐合三夕七才　但シ三斗五升入
一弐百弐俵壱斗弐升六合五夕五才　上下一木村
但三斗五升入
此石七拾石八斗弐升六合五夕五才
壱人取五斗五升五合四夕七才　但三斗五升入
此俵壱俵弐斗五合四夕七才
壱人取二口合
三石九斗三升七合八夕四才
此俵拾俵弐斗五升七合八夕四才
内壱俵者三斗五升入

夏納
一小麦拾五俵壱斗五升　　下白子村
此口壱斗八升五合壱夕三才
永三貫四拾七文七分
一同拾弐俵壱斗　　佐須村
同此口壱斗四升七合四夕弐才
永壱貫六百拾九文弐分四厘
一小麦七俵弐斗五升　　小足立村
此口九升弐合五夕六才
永弐貫弐百五拾文
一小麦五俵三合五夕　　上白子橋戸村
此口六升
永壱貫七百拾弐文三分
一小麦五俵弐斗七升　　穏田村
此口六升九合弐夕六才
一同拾壱俵　　原宿村
此口壱斗三升弐合
小麦合五拾七俵七升三合五夕　但三斗五升入
此口壱俵三斗三升六合三夕七才　但三斗五升入
本口二口合五拾九俵五升九合八夕七才

此石廿石七斗九合八夕七才
外ニ斗出シ
壱石壱斗八升
二口合弐拾壱石八斗八升九合八夕七才
壱人取壱斗七升壱合六夕七才
永合八貫六百廿九文弐分四厘
此銀五百拾七匁七分五毛
壱人取銀四匁六リン

一知行守之覚

一下白子村　五ッ定面
一橋戸　上白子村　四ッ定面
一小足立村　三ッ定面
一左須村　四六分定面
一穏田村　五五　同
一原宿村　五五　同
一鮫河橋上一木村　四七分同
一赤坂下一木村　四七分同

銘々取之覚

高五石是者天正十九辛卯年拝領
本高也
此取米弐石五斗　但シ平均五ッ之取
此俵七俵五升　但シ　三斗五升入
外ニ
此俵数ヲ以分限高ニ書上候
三石八升壱合六夕壱才
是者寛永十六卯年御縄申請打出シ高也
二口合八石八升壱合六夕壱才
外ニ
六升七合三夕九才　年々見取高
高合八石壱斗四升九合
此取米三石九斗弐升四合弐夕六才
此俵拾壱俵七升四合弐夕六才
外ニ五升七合壱夕四才　町屋掛り改出シ
内
一四升八合弐夕弐才　村々引物
引残而拾壱俵八升三合壱夕壱才
内
一壱斗四合七夕壱才　小麦ニ引
残而冬納高拾俵三斗弐升八合四夕七才

此口米壱斗壱合三夕七才
本米口米合拾壱俵五升九合八夕四才
内　一壱斗七升弐合　　定式引物
残而渡り拾俵弐斗五升七合八夕四才
九俵五升弐合三夕七才　村々米納糯共
内　　但シ三斗五升入
壱俵弐斗五合四夕七才　上下一木金納
但シ三斗五升入
外ニ　　寺年貢
一銀七匁六分六りン五毛
内壱匁四分壱厘壱毛定弐引物
一銀八分壱毛　　手作米代
一米四合五夕　　手作次米
一莚弐枚
一藁弐抱
夏納
小麦壱斗六升三合三夕三才
外ニ八合三夕五才　　斗出シ
二口合壱斗七升壱合六夕八才
永六拾七文六分八リン
此銀四匁六リン　　開畑小物成

定

一地方定面之場所之儀、自今引米申付間敷候、然共御料私領一統凶年・水損・旱損・風損等之品紛無之、百姓相立かたく引米等申付候節ハ、各寄合相談之上可申付事
一村方未進有之者厳敷遂吟味、取立可申付候、尤申合掟書之表ヲ以取可申事
一村方諸普請願出候共、掟不致例無之義取上ヶ申間敷候、先例有之候共、吟味之上可申付候事
一向後村方江永々免米申付間敷候、若褒美あたふへき筋ニ候者、其年収納米之内ニ而俵数可遣候、至而其砌重ク候ハヽ、何年と年季を定メ免米可申付事
一村方見分事有之、役人罷越候節、入目其用向相応ニ請取可申候、其場所臨時入用有之候者、罷帰り其訳相立入目増、請取可申事

一蔵敷・斗場・蔵番宅等破損出来申候、入札取之吟味之上金高を為積、村之高割いたし為指出、可為修覆候事

一惣而不依何事ニ村方出入者勿論、捨物・欠落者・倒死・首縊・切害人有之節、諸入用其村ゟ為出、地頭構無之事

一先納猥申付間敷候、訳有之申付候節者、会談之上可申付事

前条之通相定置者也

延享四丁卯年十二月

組頭　野呂平左衛門印
　　岡室新右衛門印
　　宮地与十郎印
御広敷方　重地喜右衛門印
　　磯田十太夫印
　　飯塚熊之介印
明屋敷出役　平山直右衛門印
　　磯崎又左衛門印
　　渥美孫太郎印
相請方　北□番五郎印
　　久野伝八印
　　福守金五郎印
　　吉田広□郎印
　　永井平蔵印
　　北川甚介印
　　山崎平太印
　　西田四郎左衛門印
御広敷　平野文蔵印

右者組頭三人相給寄合相談之上相改候、向後者自分由諸(緒)書同然ニ得心、随分大切ニ相可被持候、手跡者悪敷御座共、(候脱カ)書留置者茂無御座候、以後出役相勤候共、随分大切相勤可被申者也

寛延四辛未年五月六日　　渡部市郎右衛門

私領所納目録覚

紙数上紙共ニ五拾三枚

白子村
名主　太郎兵衛
（冨澤恭次家文書　12—3）

2　年　貢

六　元禄六年一〇月　上新倉村年貢割付

酉年免相定事
一高九百五拾壱石九斗四升八合　新倉村
内
高五百五拾七石壱斗六升七合　田　方
内
高弐拾壱石五斗五升四合　永荒引
高八拾八石三斗壱升四合　当検見田引
残
高四百四拾七石弐斗九升九合　毛　付
此取米弐百拾九石壱斗七升七合　四ッ九分
高三百九拾四石七斗八升壱合　畑　方
内
高壱石壱斗八升九合　竹藪引
残
高三百九拾三石五斗九升弐合　毛　付
此取九拾八石三斗九升八合　弐ッ五分
外
一米壱石弐斗四升八合　山手分
右之通、庄屋・百姓立合、割符相究、極月十日限、可皆済也
元禄六年十月廿七日　㊞
（桜井　晃家文書　5—179）

七　享保一〇年一二月　上新倉村納目録之覚帳

（表紙）
享保十年
納目録之覚
巳十二月
（縦帳）

一上田拾弐町七反一畝拾壱歩
内
上田弐反四畝八歩　前々未畑成
上田壱町三畝三歩　弐石弐斗六升八合　亥ノ畑成米引　反ニ弐斗弐升取
上田拾壱町　四反四畝歩　九反五畝拾八歩
此高百三拾一石五斗壱升六合
此米三拾八石四斗三升八合四夕　反ニ三斗三升六合取
一中田拾壱町七反拾三歩
内中田弐反八畝廿九歩　前々荒引
中田五畝拾七歩　堀敷
中田拾壱町弐反六畝四歩　九畝廿三歩　未畑成
此高九拾石九升
此米三拾壱石弐升五合　反ニ弐斗七升五合五夕取
一下田九町九反壱畝拾五歩
内
下田弐町八反七畝拾七歩　前々荒引
下田七町三畝廿八歩
此高三拾五石壱斗九升七合
此米拾弐石弐斗四升八合　反ニ壱斗七升四合取
右高合
弐百五拾六石八斗三合
此本米五拾三石九斗七升九合四夕
一米弐斗弐升弐合　山手米
二口米〆
八拾四石弐斗壱合四夕
米弐石四斗五合七夕　御口米
米合八拾六石六斗七合壱夕

此表弐百四拾七俵壱斗五升七合　米壱斗三升壱合　過納

一上畑成ニ弐反四畝歩　反ニ百廿弐文
永弐百九拾六文

一□成九畝廿三歩　反ニ九十弐文
永八十九文九分

屋敷

一上畑壱町三反五畝三歩（三畝六歩）　反ニ九拾弐文
此永壱貫廿五文五分（弐百〻〻〻〻）

一上畑拾壱町六反六畝廿九歩　反ニ百拾九文取
此永拾三貫八百八拾七文

一中畑七町壱反六畝廿壱歩　反ニ八拾八文取
此永六貫三百七文

一下畑拾三町五反弐畝廿一歩　反ニ五拾八文取
此永七貫八百四拾五文七分

永合弐拾九貫六百五十壱文　前々畑成永共

三反三畝歩之内
一畑弐反歩　見取　反ニ三拾弐文取

此永六拾四文　八反八畝六歩　此永弐百五拾五文八分　反ニならし廿九文つゝ　反ニ三拾七文取

一畑三反拾六歩（四反七畝八歩之内）
此永百拾三文　反廿三文取

一山畑三反壱畝十五歩（七反弐畝歩之内）
此永七拾弐文　反廿七文取

一畑六畝五歩（弐反八畝十八歩之内）
此永拾六文六分　かや野銭

一永三貫八百九拾壱文　野銭

一永三拾四文
一荏弐斗壱升六合（高壱石ニ付四合六夕当り）　代米壱斗五合四夕
代永

一大豆四斗三升三合（高壱石ニ付九合弐夕当り）　代米弐斗壱升六合五夕
代永

〆三拾三〆七百九十七文八分

一米七斗壱升四合　六尺給　宿入用
内三斗壱升九合五夕　代米引
残三斗九升四合

三百五拾七文

代永壱〆弐百四十九文五分　御蔵前入用歩永共

一五百七拾六文八分　両斗立九斗四升かい

一荏弐斗壱升五合

代永弐百四十七文七分

一大豆四斗弐升四合　両ニ壱石壱升かい

代永四百四拾三文

一弐〆八百文　丑年夫喰拝借

一弐〆弐百九十三文　卯年夫喰

一御口永壱〆拾四文

〆四拾壱〆五百弐拾三文（拾六カ）□分

内四拾壱両済　残永五百廿三文

一百四拾七石弐斗六升壱合　本辻

一田高百四七拾七石壱斗六升割

壱石ニ付米三斗八合六夕五才

両組高

四百六十弐石五斗六升九合

米百四拾七石弐斗六升壱合

高壱石ニ付、三斗壱升八合四夕当リ

米八十三石五斗七升　文右衛門

米六十三石七斗壱升弐合　五郎右衛門

山手弐斗弐升弐合

口米弐石三斗九升壱合　米〆八拾六石壱斗八升三合

（桜井　晃家文書　8—233）

八　延享元年一一月　上新倉村年貢米御蔵納諸入用帳

（表紙）

延享元年

武州新座郡当子御年貢米御蔵納諸入用帳

子十一月

（縦帳）

本所三拾六番

子十一月十四日水揚同十五日内板差免候事

一米七百四拾俵　但三斗七升入

不残御蔵納
十一月十八日竹内小平次様御手
右納入用

一米七斗四升　宿給米
是ハ壱俵壱合宛

一米三斗　御米番賃米
是ハ十一月十四日ゟ同十八日迄弐人分但一日米三升宛
〆
米壱石四升

金壱両ニ付壱石壱升かへ
代金壱両百弐拾壱文

一銭百七拾弐文　納莚七枚代
是ハ壱枚弐拾四文宛

一同四百六拾文　同菰三拾七枚代
是ハ壱枚拾弐文宛

一同百文　敷莚損料
是ハ納内板之節遣候拾六枚分但壱枚六文宛

一同弐百八拾三文　杉縄拾壱把代
是ハ納内板之節遣候分但壱把廿五文宛

一同百拾五文　根太木運賃
是ハ七拾八本分但拾本拾五文宛

一同百八拾九文　掛細損料
是ハ御米百□□廿五文宛

一同壱貫弐百弐拾八文　苫菰損料
是ハ五百九□□但壱枚弐文宛

一同四百文　内板手伝人足
是ハ四人分但壱人百文宛

一同百弐拾四文　同料目見人足
是ハ壱人分

一同壱貫八拾四文　納名主雑用
是ハ十一月十日ゟ十八日迄壱人分但一日百廿文宛

金壱両
〆
銭四貫弐百九拾弐文　両かへ四貫百文かへ

此金壱両百九拾弐文

二口〆金弐両百九拾弐文

右者武州新座郡当子御年貢米御蔵納諸入用、書面之通御座候、以上

上新倉村
延享元年子十一月　納名主　文右衛門㊞
宿　清右衛門㊞
上坂安左衛門様
御役所
右之通相違無之者也
上　安左衛門
子十一月廿日　役所㊞
（桜井　晃家文書　8—231）

一米永
右之者共、村方当巳ゟ来ル亥迄七年御定免御吟味之書面、米永辻を以御調被成、下知相済候段被仰渡難有承知奉畏候、尤御定免年季御定法之義ハ、兼而被仰渡候通御座候、風水旱損等格別之義、御検見・御見分御極合、三分以上之損毛ニ相違無之候ハヽ、御引方被仰立可被下候得共、通例之出来劣等三分以下損毛仕候共ハ、決而御引方不被仰付、納方之義ハ風水旱損等而損毛仕候共、不被下置、川欠砂入之□変地出来候共、小前持方十分一ニ不相当分ハ御引方不被及御沙汰、然上ハ小前百姓共迄朝夕出情仕、豊作之余分ハ凶年之御年貢足合仕、聊之損毛を大造ニ不申立心得違無之様ニ入作之もの迄申合、急度可心違（相）旨厳敷被仰渡候、且又年季中ニ而も取下リ等之場所、地馴作相応ニ取入候欤、芝地起返ハ勿論切畑立出之見取場等之各（ママ）、又ハ持田畑ニ開候場所、常々村役人共申付を相守り無隠置御注進仕、聊等閑之義無之様可仕候、被仰渡免々承知奉畏候、

九　寛政九年六月　上新倉村定免御請証文覚帳

（表紙）
寛政九巳年
御定免御請証文　文右衛門組
巳六月　武州新座郡上新倉村
（縦帳）

差上申一札之事

依之連印御請証文差上申申(ママ)処如件

寛政九巳年六月

武州新座郡

上新倉村

野田文蔵様

御役所

半　六㊞
利左衛門㊞
彦　四　郎㊞
喜　平　次㊞
嘉右衛門㊞
善　太　郎㊞
五郎右衛門㊞
弥　三　郎㊞
門　三　郎㊞
九　兵　衛㊞
藤　　八㊞
小　兵　衛㊞

源右衛門㊞
満　願　寺㊞
弥左衛門㊞
六左衛門㊞
半　兵　衛㊞
吉　三　郎㊞
六郎兵衛㊞
六　三　郎㊞
清　兵　衛㊞
惣　八　郎㊞
作　兵　衛㊞
佐五兵衛㊞
市郎右衛門㊞
伝右衛門㊞
市　兵　衛㊞
弥右衛門㊞
七　兵　衛㊞
藤　　七㊞

八兵衛㊞
忠兵衛㊞
清　八㊞
清右衛門㊞
兵右衛門㊞
喜兵衛㊞
金兵衛㊞
庄　八㊞
平十郎㊞
平四郎㊞
茂平次㊞
平　助㊞
与右衛門㊞
佐次兵衛㊞
伝兵衛㊞
平左衛門㊞
茂左衛門㊞
利右衛門㊞

伝五右衛門㊞
権左衛門㊞
嘉右衛門㊞
弥平次㊞
市之助
市　平
市三郎
久　八㊞
与惣兵衛
庄右衛門㊞
清左衛門㊞
清　吉㊞
権右衛門㊞
伊右衛門㊞
伊三郎
九郎右衛門㊞
佐右衛門
長左衛門

長右衛門
権　兵　衛㊞
新右衛門㊞
新五兵衛㊞
小左衛門㊞
門左衛門㊞
権　十　郎㊞
市左衛門㊞
善左衛門㊞
権左衛門㊞
門右衛門㊞
勘　三　郎㊞
組頭　庄左衛門
組頭　利　兵　衛㊞
組頭　文右衛門㊞
組頭　彦右衛門㊞
五人組　半　　六㊞
五人組　伝右衛門㊞

五人組　兵右衛門㊞
五人組　清左衛門㊞
（桜井　晃家文書　5―104）

一〇　弘化三年一一月　上新倉村年貢計立帳

（表紙）
弘化三年
当午御検見御年貢斗立帳
午十一月吉日　新座郡上新倉村
名主　文右衛門
（横帳）

三升弐合弐夕　兵右衛門給米
米弐斗壱升六合弐夕　喜兵衛
弐升四合九夕　金兵衛
三升四合九夕　延米
給

米六斗四升四合五夕
七升四合壱夕
五升四合壱夕

米壱斗四合九夕
壱升弐合壱夕
壱升六合七夕

米三斗弐升四合五夕
三升七合三夕
四升六合四夕

米三升五合七夕
四合壱夕
壱升四合

壱合八夕

庄八

延
給

平四郎

延
給

平十郎

延
給米

佐治兵衛

延
給米

伝兵衛
給米

五合四夕

米弐斗弐升弐合九夕
弐升五合六夕
五合六夕

米三升壱夕
三合五夕
八合三夕

七合

米五升七合弐夕
六合六夕
四合八夕

米五升七合弐夕

茂左衛門
給米

利右衛門

延
給

与右衛門

延
給

嘉右衛門
給米

弥平治

延
給

久太郎

六合六夕　延米　四升弐合七夕　延
五合三夕　給米　五升三合弐夕　給

米六斗三升壱合四夕　平六　八合六夕　喜右衛門給米
七升弐合六夕　延　五合四夕　兵四郎給米
壱升六合壱夕　給

弐合壱夕　兵左衛門給米　米壱斗九升六合　長吉
弐升弐合五夕　延
六合四夕　給

米三斗三升八合六夕　喜平治
三升八合九夕　延　三夕　茂右衛門給米
四升八合三夕　給米

米弐升弐合七夕　弥治右衛門　米壱斗壱升六合六夕　善兵衛
弐合六夕　延　壱升三合四夕　延
三合九夕　給米　壱升六合四夕　給

米三斗七升壱合六夕　藤右衛門　三合六夕　与市給米

米四斗壱升七合五夕
四升八合
三升六合四夕

米三斗六升壱夕
四升壱合四夕
三升四合六夕

米七升七合
八合九夕
三合九夕

米三斗四升弐合五夕
三升九合四夕
八合六夕

五合弐夕

嘉兵衛
延
給米

辰五郎
延
給

喜左衛門
延
給

市郎右衛門
延
給

勘右衛門
給米

壱合五夕

米三升四合五夕
四合
壱升六合

弐合八夕

米五斗壱升弐合七夕
五升九合

米三斗八合七夕
三升五合五夕
九合六夕

米壱斗六升八合五夕
壱升九合四夕

佐平次
給米

重蔵
延
給米

伝右衛門
給米

東林寺
延

文八
延
給

文七
延

六合九夕　給米　米壱斗六升壱夕

五左衛門　壱升八合四夕

壱升八合

延　給　壱升三合六夕

長兵衛　給米　米三斗壱升弐合七夕

甚五郎　三升六合

壱升三合八夕

延　給　米九升八合

壱升壱合三夕

弐合壱夕

長左衛門　給米

善太郎　五合壱夕

延　給　米壱斗八升

惣五郎　弐升七夕

米四斗三升弐合八夕　延　給　平左衛門　給米

四升九合八夕

五升五合

壱升四夕　下　平治郎　延　給

米三升五合弐夕　繁右衛門

四合　延　給

壱升三合弐夕

壱升六合九夕　清兵衛　給米

米壱斗弐升壱合八夕　下　治左衛門

壱升四合　延

壱升三合弐夕

四合八夕　給　八合六夕　給米

弐合六尺　九左衛門（う）　米五升五合
給米　六合三夕

米六斗三升五合壱夕　利兵衛　弐升六合壱夕
七升三合　延
五升壱合六夕　給　壱升五合九夕

米六升七合九夕　惣八郎　米三斗八升四合弐夕
七合八夕　延　四升四合弐夕
三升八合九夕　給　四升五夕

米弐升九合壱夕　作兵衛　米五合七夕
三合三夕　延　七夕
三合五夕　給米　四合九夕

壱升六合三夕　佐五兵衛　米壱石三斗七升九合七夕
給米
伝右衛門　壱斗五升八合六夕

給米　治兵衛　延　給米

藤七
給米

弥右衛門　延　給米

市郎右衛門　延　給米

長照寺　延

米三斗八升四合弐夕
四升五合三夕
八升七合四夕
米壱斗四升六合五夕
壱升六合八夕
五合八夕
米四斗八升九合
五升六合弐夕
三升七合四夕
米九升六合五夕
壱升壱合壱夕
八合弐夕
米弐升弐合
弐合五夕

延
給米
七　兵衛
延
給米
八　兵衛
延
給米
忠　兵衛
延
給
清　八
延

七合弐夕
米三合七夕
四夕
六合六夕
米壱升五合六夕
壱合八夕
壱升弐合壱夕
米四升八合五夕
五合六夕
七合八夕
米壱石弐斗五升壱合九夕
壱斗四升四合
壱斗八合壱夕

七〇
給
清右衛門
延
給米
正　願寺
延
給米
助右衛門
延
給
彦　兵衛
延
給米
四郎左衛門

米五升
五合八夕
八合三夕
米壱斗壱升
壱升弐合七夕
壱合九夕
米三升四合
三合九夕
六合五夕
米壱斗壱升
壱升弐合七夕
六合三夕
米五升壱合
五合九夕

延
給
吉兵衛
延
給
五兵衛
延
給
下勝右衛門
延
給米
又兵衛
延

壱升弐合六夕
米弐斗弐升五合弐夕
弐升五合九夕
壱升弐合壱夕
米四斗四升四合
五升壱合壱夕
壱升三合七夕
壱升弐合六夕
米壱石弐斗七升壱合六夕
壱斗四升六合弐夕
四升壱合
七合五夕

給米
宗無
延
給米
忠右衛門
延
給
伝八
給米
織右衛門
延
給
庄八
給米
庄左衛門

米三斗弐升七夕
三升六合九夕
弐升七合八夕

米四升九合九夕
五合七夕
壱升六夕

米壱斗三升三合九夕
壱升五合四夕
壱升三合六夕

壱升五合三夕

壱升弐合三夕

米壱斗三升弐合
壱升五合弐夕

延
給

半　六

延
給

利左衛門

延
給

新
給米　吉

喜平治
給米

嘉　吉
延

九合

米弐斗四升
弐升七合六夕
弐升九合壱夕

米三斗四升四合
三升九合六夕
弐升三合弐夕

米六斗四合壱夕
六升九合五夕
三升八合五夕

壱升弐夕

米四斗三升弐合四夕
四升九合七夕

給

五郎右衛門
延
給

弥三郎
延
給

小三郎
延
給

善四郎
給米

万願寺
延

五升八夕
米弐斗五升壱合弐夕
弐升八合九夕
三升五合四夕
米七斗九合五夕
八升壱合六夕
六升壱合八夕
米五升四合八夕
六合三夕
七合九夕
米三斗壱升壱夕
三升五合七夕
壱升六合三夕

給
弥左衛門
延
給
六左衛門
延
給
半兵衛
延
給
六郎左衛門
延
給
大の
嘉兵衛

壱合八夕
米壱斗弐合
壱升壱合七夕
三合四夕
米弐斗四升壱合八夕
弐升七合八夕
壱升壱合壱夕
米三升四合
三合九夕
壱升壱合四夕
米八升五合九夕
九合九夕
弐升弐合九夕

給
同
儀右衛門
延
給
清五郎
延
給
藤八
延
給
新左衛門
延
給
勘兵衛

米六升七合
七合八夕
壱合三夕

七合六夕

米八升五合九夕
九合九夕
壱升三合六夕

米弐升四合七夕
弐合八夕
壱升弐合壱夕

米壱斗九升弐合弐夕
弐升弐合壱夕
四合八夕

延
給　七右衛門

仙吉
延
給

治郎兵衛
延
給

弥五左衛門
延
給　八左衛門

壱合八夕

米壱斗九升六夕
弐升壱合九夕
壱升壱合九夕

米壱斗七升四合五夕
弐升
壱升八合九夕

米壱斗三升九合五夕
壱升六合
六合三夕

米壱斗六升弐合六夕
壱升八合七夕
六合六夕

給　六三郎
延
給

庄兵衛
延
給

村持
延
給

伊左衛門
延
給　久兵衛

米三升八合九夕　延　米四斗三升四合六夕
四合五夕　給　五升
四合七夕　四升八合七夕

米弐斗六升六合弐夕　源八　米三斗四升三合
三升六夕　延　三升九合四夕
六合七夕　給　壱升八合八夕

三合四夕　万平給米　米四斗壱升四合七夕
四升七合七夕
壱升六合八夕

米五升三合八夕　惣吉　延
六合弐夕　給
三合七夕

米壱石弐斗八升壱夕　白子忠左衛門　延　米三斗四升壱合八夕
壱斗四升七合弐夕　給
五升四合四夕　茂兵衛　三升九合三夕
壱斗壱升六合八夕

延　利左衛門
給

延　伊之松
給

延　治郎右衛門
給米

延　彦右衛門
給

延　清左衛門
給

米九升九合四夕
壱升壱合四夕
弐升六合五夕

延　弐升五夕
給　米弐斗弐升五合弐夕
弐升五合九夕
弐升三合三夕

清吉
延
給

米四斗八升七合九夕
五升六合壱夕
弐升弐夕

与惣兵衛
延
給

米三斗壱升三合弐夕
三升六合
弐升五合三夕

市之助
延
給
給

米弐斗九合三夕
弐升四合壱夕
八夕
壱升八夕

三治郎
延
給

米六斗七升九合五夕
七升八合壱夕
三升九合六夕

米壱斗六升五合
壱升九合
壱升四合三夕

仁右衛門
延
給

米壱斗三升壱合六夕
壱升五合壱夕
壱升弐合壱夕

善左衛門
給米
佐右衛門
延
給

権兵衛
延
給

小左衛門
延
給

金左衛門
延
給

米壱斗九合壱夕　　門左衛門
壱升弐合五夕　　延
壱升壱合四夕　　給米

米弐斗七升五合　　和助
三升壱合六夕　　延
壱升弐合四夕　　給

米三斗六升三合七夕　　弁蔵
四升壱合八夕　　延
壱升壱合壱夕　　給

米四升弐合五夕　　田無半兵衛
四合九夕　　延
八合三夕　　給

（桜井　晃家文書　10—276）

二　元治元年一〇月　上新倉村年貢割付

子御年貢可納割付之事

一　高九百五拾七石四斗弐升五合　申ゟ子迄五ヶ年定免　武州新座郡上新倉村

此反別百三拾九町三反九畝廿四歩

内

高五百五拾五石三斗五升九合
田六拾六町九反三畝弐歩
高弐拾五石七斗壱升壱合
内弐町三反三畝廿弐歩　田畑成米取
高八斗四升五合
内壱反拾七歩　前々堀敷引
高五百五拾四石五斗壱升四合
残反別六拾六町八反弐畝拾五歩
内　六拾壱町六反六畝拾弐歩　本免
五町壱反六畝三歩　当子ゟ辰迄五ヶ年取下
高四百弐石六升六合
畑七拾弐町四反六畝廿弐歩
高拾壱石五斗六合
内壱町壱反五畝拾壱歩　田畑成永取

此訳

高弐百五拾七石八斗壱升壱合
上田弐拾三町四反三畝廿弐歩　十一
高弐拾五石七斗壱升壱合
上田畑成弐町三反三畝廿弐歩　十一　丑免直反米弐斗壱合五夕
高百七拾六石壱斗五升弐合
中田弐拾弐町壱畝廿七歩　八
高八斗四升五合弐合　前々堀敷引
内壱反拾七歩
高百七拾五石三斗七合
残弐拾壱町九反壱畝拾歩
弐拾壱町三反五畝廿四歩　本免　当子ゟ辰迄五ヶ年取下　子免直　反米三升壱合
内壱反三畝歩
四反弐畝拾六歩　右同断芝地成　反米壱升八合
高九拾五石六斗八升五合
下田拾九町壱反三畝廿壱歩　五
拾四町五反三畝四歩　本免　当子ゟ辰迄五ヶ年取下　子免直　反米三升壱合
内壱町八反五畝歩　右同断芝地成　反米壱升八合
弐町七反五畝拾七歩
高六石八斗弐升三合
上田畑成六反弐畝壱歩　十一
高九斗壱升弐合
中田畑成壱反壱畝拾弐歩　永取　八

高七斗弐合
下田畑成壱反四畝壱歩　永取　五
高弐百拾三石九斗三合
上畑弐拾三町七反六畝廿壱歩　九
弐拾弐町六反弐歩　本免
内
壱町壱反六畝拾九歩
高八拾五石九斗三升六合　亥屋敷成　反永百四拾四文三分
中畑拾四町三反弐畝八歩　六
拾四町壱反弐畝廿九歩　本免
内
壱反九畝九歩　亥屋敷成　辰免上反永百四拾四文三分
高六拾壱石七斗七升四合
下畑弐拾八町七畝廿七歩　二二
弐拾七町九反九畝九歩　本免百八文七分六厘
内
八畝拾八歩　亥屋敷成　反永百四拾四文三分
高三石三斗六升
下々畑弐町弐反四畝歩　一五
高弐拾八石六斗五升六合
屋敷三町壱反八畝拾弐歩　九
米弐百九拾四石四斗四升七合
取
内米壱升九合　免直　去亥増
永七拾八貫四百拾七文九分　去亥同

右同断
一高三石六升五合　皆畑
此反別七反四畝拾八歩
　　此　訳
高弐石
中下畑五反歩　四
高壱斗壱升八合
中畑五畝廿七歩　二
高九升弐合
下ノ下畑九畝六歩　一
高八斗五升五合
屋鋪九畝拾五歩　九
取永三百七拾三文五分　去亥同

右同断
一高弐石弐斗三升五合　同所新田
此下ノ下畑反別七反四畝拾五歩
此取永四百弐拾文弐分　去亥同　三
丑本免上
反永五拾六文四分
右同断
一高六拾六石四升八合　雑丹袋新田
此反別拾五町九反四畝廿四歩
　　此　訳
田高七斗五升六合
此反別弐反四畝歩
畑高六拾五石弐斗九升弐合
此反別拾五町七反廿四歩

未改
同所新田
内
高四斗壱升四合
中畑田成六畝廿七歩　六
高三斗四升弐合
砂畑田成壱反七畝三歩　二
高拾七石七斗三升六合
中畑弐町九反五畝拾八歩　六
高拾九石七斗九升五合
下ノ下畑三町九反五畝廿七歩　五
高拾石七斗八升
下畑弐町六反九畝拾五歩　四
高拾四石三斗五升五合
下ノ下畑四町七反八畝拾五歩　三
高弐石六斗弐升六合
砂畑壱町三反壱畝九歩　二
米弐斗六升四合
取　去亥同
永六貫五拾八文　去亥同
右同断
一高八拾壱石七斗弐升九合　畑方　広沢原新田
此反別弐拾八町三反六畝拾弐歩
　　此　訳
高拾六石六斗三升弐合
下畑四町壱反五畝廿四歩　四
高四拾九石九斗七升壱合
下畑拾六町六反五畝廿壱歩　三
高拾五石九升
見付畑七町五反四畝拾五歩　二

高三升六合
屋鋪拾弐歩　九
取永五貫九百弐拾四文六分　去亥同
米弐百九拾四石七斗壱升壱合
取合
永九拾壱貫百九拾四文弐分
外
一反高畑三拾五町弐反壱畝拾八歩
内弐町六反四畝六歩　川欠引
残三拾弐町五反七畝拾弐歩
此　訳
畑弐町五反八畝廿四歩
内壱反九畝廿七歩　川欠引
残弐町三反八畝廿七歩
畑三町六反四畝拾弐歩
内九畝廿七歩　右同断引
残三町五反四畝拾五歩
畑三町七反三畝六歩
内壱反五畝拾九歩　右同断引
残三町五反七畝拾七歩
畑弐町壱反六畝拾五歩
萱畑弐町六反六畝三歩
内壱町三反五畝廿三歩　前々川欠引
残壱町三反拾歩
萱畑五町六反三畝廿四歩
内六反弐畝廿壱歩　右同断引
残五町壱畝三歩
萱畑三町弐畝歩
内壱反弐畝五歩　右同断引
残弐町八反九畝廿五歩
萱畑九町三反壱畝廿壱歩
内八畝四歩　戌川欠引
残九町弐反三畝拾七歩
萱畑壱反三畝六歩
林畑弐町三反壱畝廿七歩
取永拾三貫百九拾文六分　去亥同
一秣場弐町壱畝廿七歩　壱ヶ所

此取永六拾文六分

一畑壱町弐反歩　見取
此取永三百八拾四文　去亥同

一草野畑四畝廿四歩　丑改出
此取永拾文壱分　見取　去亥同

一米壱石三斗　山手米

一永五拾文　油絞冥加永
此油〆木壱組

一永壱貫三百九拾三文　広沢原拾七ヶ村入会
此反別拾三町九反弐畝拾八歩　秣場野銭

一永弐百八拾六文　当子ゟ酉迄拾ヶ年季
内永壱文　切替増　水車運上

一永弐百七拾五文　卯ゟ子迄拾ヶ年季
右同断

一永弐百六拾壱文　酉ゟ丑迄五ヶ年季
右同断

一永弐百文　未ゟ寅迄弐拾ヶ年季
質屋稼冥加永

一米六斗六升六合　御伝馬宿入用

掛高五百九拾弐石五斗弐合　助郷高免除
外高五百拾八石

一米壱石壱斗八升五合　六尺給米
掛高
外高　右同断

一永壱貫四百八拾壱文三分　御蔵前入用
納合　米弐百九拾七石八斗六升弐合
永百八貫七百八拾五文八分

右者定免当子御取箇書面之通相極候条、村中大小之百姓入作之者迄不残立会無高下割合之、来ル極月十日限急度可令皆済者也

元治元子年十日　松村忠四郎㊞

右村名主
年寄
惣百姓

（星野　茂家文書　24—84）

三　元禄一五年八月　下新倉村堤外田方取付帳

（表紙）
元禄十五壬午年
下新倉村午之年堤外田方取付帳
後ノ八月
（横帳）

堤外

田弐畝歩　伝右衛門　壱鑑寺
　此取米四升四合
田四畝三歩　十右衛門　三郎右衛門
　此取米七升四合
田弐畝四歩　伝左衛門　次左衛門
　此取米三升八合
田弐畝歩　伊右衛門　喜右衛門
　此取米弐升弐合
田四畝歩　儀右衛門　忠左衛門
　此取米七升弐合
田五畝廿歩
　此取米壱斗弐合
田弐畝拾歩　兵左衛門
　此取米四升弐合
田弐畝歩　久右衛門
　此取米四升四合
田三畝三歩
　此取米五升六合
田三畝廿六歩
　此取米五升弐合
田三畝拾九歩
　内弐畝九歩荒
　残壱畝拾歩
　此取米弐升四合
田弐畝六歩
　内壱畝十一歩荒
　残廿五歩
　此取米九合

田弐畝拾五歩　作左衛門　田弐畝廿五歩　善兵衛
此取米弐升七合　　此取米五升壱合
田弐畝廿歩　武左衛門　田壱反四畝歩　大野勘右衛門
此取米弐升九合　　此取米三斗八合
田三畝廿弐歩　八郎右衛門　田八畝廿歩　清兵衛
此取米五升弐合　　此取米九升五合
田弐畝弐歩　武左衛門　田弐畝廿五歩　金泉寺
内壱畝拾弐歩荒　　此取米弐升
残廿歩　　田弐畝廿歩　平左衛門
此取米七合　　此取米三升七合
田三畝九歩　佐右衛門　田弐畝廿四歩　茂左衛門
此取米七升三合　　此取米五升
田三畝六歩　武左衛門　田三畝歩　喜左衛門
此取米四升五合　　此取米五升四合
田弐畝拾七歩　久右衛門　田四畝廿四歩　伊右衛門
此取米三升六合　　此取米八升六合
田三畝四歩　八郎右衛門　田三畝弐拾弐歩　同人
此取米四升四合　　此取米六升七合

田三畝廿六歩
　此取米八升五合
田四畝歩
　此取米七升弐合
田七畝拾八歩
　此取米壱斗六合
田壱反四畝歩
　此米壱斗九升六合
田六畝十二歩
　此米七升
田三畝十二歩
　此取米七升五合
田三畝六歩
　此取米三升五合
田弐畝弐拾八歩
　此取米三升弐合
田七畝歩
　此取米弐斗壱升

善右衛門

仁兵衛

喜左衛門

次兵衛

金泉寺

善兵衛

茂左衛門

次兵衛

大野勘右衛門

田三畝拾八歩
　此取米七升九合
田七畝四歩
　内三畝十七歩荒
　残三畝十七歩
　此取米弐斗五合
田四畝廿五歩
　此取米八升七合
田五畝十五歩
　此取米六升壱合
田六畝弐歩
　内三畝弐歩荒
　残三畝歩
　此取米三升三合
田八畝弐十四歩
　内五畝廿四歩荒
　残三畝歩
　此取米六升六合

忠左衛門

善兵衛

大野勘右衛門

善兵衛

平蔵

妙典寺

田壱畝廿歩　儀右衛門　田四畝弐拾歩　喜右衛門
此取米三升七合　　此取米五升壱合
田四畝拾八歩　次兵衛　田壱反四畝歩　治太夫
此取米六升四合　　此取米九升八合
田四畝四歩　五郎八　田八畝廿四歩　伊左衛門
此取米九升壱合　　此取米壱斗五升八合
田五畝七歩　喜三郎　田弐畝歩　伊左衛門
此米五升八合　　此取米三升六合
田三畝廿六歩　平右衛門　田弐畝十六歩　八郎右衛門
此取米四升弐合　　此米五升六合
田弐畝拾弐歩　善兵衛　田五畝廿九歩　新田□右衛門
此取米四升三合　　此取米壱斗三升壱合
田三畝拾歩　伊左衛門　田五畝廿二歩　次太夫
此取米三升七合　　此取米壱斗三合
田三畝六歩　十蔵　田弐反壱畝十一歩　伊左衛門
此取米三升五合　　此取米四斗七升
田四畝拾歩　三郎左衛門　田壱畝拾八歩　五郎兵衛
此取米三升　　此取米弐升九合

田拾四歩
　此取米壱升
田五畝廿一歩
　内弐畝廿五歩荒
　残弐畝廿六歩
　此取米壱升九合
田三畝拾歩
　此取米三升七合
田五畝五歩
　内三畝十五歩荒
　残壱畝廿歩
　此取米壱升八合
田六畝廿八歩
　内四畝歩荒
　残弐畝廿四歩
　此取米弐升
田六畝歩
　此取米一斗八升

忠左衛門
理兵衛
茂左衛門
又左衛門
清兵衛
八兵衛

田拾八歩
　此取米一升三合
田壱畝十二歩
　此取米三升壱合
田壱畝歩
　此取米壱升八合
田壱畝拾歩
　此取米弐升九合
田壱畝十八歩
　此取米壱升八合
田壱畝廿六歩
　此取米三升四合
田四畝歩
　此取米四升四合
田［四畝拾壱歩カ］
　此取米八升弐合
田九畝十八歩
　此取米壱斗六合

次右衛門
三郎左衛門
助左衛門
郷
次左衛門
彦右衛門
権二郎
市郎右衛門
壱鑑寺
理左衛門

田壱畝九歩
此取米壱升八合
田拾歩
此取米壱升
田壱畝歩
此取米一升壱合
田壱畝十五歩
此取米弐升七合
田拾八歩
此取米壱升一合
田壱畝歩
此取米壱升八合
田八畝十二歩
此取米壱斗八升五合
田廿四歩
此取米壱升四合
田三畝廿四歩
此取米六升九合

同　人
七郎右衛門
理左衛門
兵右衛門
市郎左衛門
佐左衛門
権太郎
兵□衛門
権太郎
次右衛門
壱鑑寺

田壱畝十二歩
此取米弐升五合
田四畝五歩
此取米七升八合
田弐畝十二歩
此取米弐升六合
田壱畝弐歩
此取米壱升弐合
田五畝十七歩
此取米三升九合
田九畝弐歩
此取米六升三合
田壱畝拾七歩
此取米壱升壱合
田五畝六歩
此取米三升六合
田壱畝十七歩
此取米壱升七合

十　蔵
同　人
惣左衛門
同　人
新田太兵衛
佐左衛門
十兵衛
作左衛門
平右衛門

田三畝廿七歩　作左衛門　田壱反八畝拾歩
　此取米四升三合　内四畝歩荒
田弐畝廿六歩　佐五兵衛　残壱反四畝拾歩
　此取米三升弐合　此取米三斗壱升五合
田弐十歩　作左衛門　田壱畝廿四歩
　此取米壱升弐合　此取米四升
田三畝廿八歩　伊右衛門　田壱反一畝八歩
　此取米七升壱合　此取米弐斗四升六合
田弐十六歩　作左衛門　田五畝弐歩
　此取米壱升九合　此取米九升壱合
田廿歩　伊右衛門　田九畝六歩
　此取米壱升五合　此取米弐斗弐合
田弐畝歩　作兵衛　田六畝六歩
　此取米四升四合　此取米壱斗壱升弐合
田壱畝九歩　五郎兵衛　田壱畝歩
　此取米弐升九合　此取米壱升八合
田弐畝十歩　作兵衛　田弐畝拾三歩
　此取米五升一合　此取米壱升七合

伊右衛門
作左衛門
惣左衛門
清三郎
善右衛門
郷左衛門
儀右衛門
伝左衛門

田弐畝廿歩　佐五兵衛　田五畝廿九歩　作左衛門
此取米弐升九合　此取米壱斗三升八合
田四畝拾歩　佐次兵衛　田四畝十九歩　勘三郎
此取米六升壱合　此取米六升五合
田七畝歩　儀右衛門　田弐畝十八歩　三郎左衛門
此取米壱斗五升四合　此取米壱升八合
田壱畝拾歩　甚五右衛門　田壱□□□　安左衛門
此取米弐升四合　此取米壱升一合
田壱反壱畝九歩　同人武左衛門　田壱畝十六歩　儀右衛門
此取米弐斗　此取米弐升八合
田六畝十二歩　甚五右衛門　田壱畝拾歩　甚五右衛門
此取米壱斗壱升五合　此取米弐升九合
田壱畝拾歩　門左衛門　田四畝拾歩　大野勘右衛門
此取米弐升四合　此取米九升五合
田弐畝二歩　作左衛門　田廿七歩　作左衛門
此取米壱升四合　此取米壱升
田四畝十八歩　杢右衛門　田弐畝拾歩　勘三郎
此取米四升八合　此米四升弐合

田四畝十六歩　　三郎左衛門
　此取米壱斗
田五畝九歩　　作左衛門
　此取米九升五合
田壱畝四歩　　勘三郎
　此取米弐升
田廿七歩
　此取米壱升六合
田五畝十五歩　　作左衛門
　内弐畝廿二歩荒
　残弐畝廿三歩
　此米六升□合
田壱畝廿五歩　　伊右衛門
　此取米四升
田七畝六歩
　此取米壱斗五升八合
田弐畝廿四歩　　同　人
　此取米六升弐合
田弐畝廿歩　　理左衛門
　此取米五升九合
田合五町三反四畝拾九歩㊞　　作左衛門
　此取米八石八斗五升弐合㊞
右者堤外当立毛之分可致上納者也
元禄十五壬午年　中里十右衛門㊞
壬八月　吉川九太夫㊞
□□吉右衛門㊞
森井小左衛門㊞

下新倉村
名主
惣百姓中

（柳下和夫家文書　19—5）

勘三郎

一三　明和七年六月　下新倉村畑方御年貢皆済帳

（表紙）
明和七寅年　名主　助右衛門
畑方御年貢皆済帳
六月　権右衛門納
（横小帳）

永廿壱文　納高
内三拾八文　夏成
同　秋成
夕七拾六文　冬成
拾六文　流作夏成
三拾弐文　同所秋冬成
右皆済也
明和七寅年
十二月
名主
助右衛門㊞

永弐拾壱文　納高
鐚三拾九文　夏成
同三拾九文　秋成
夕四拾文　冬成
鐚拾六文　流作夏成
同拾七文　同所秋成
同拾七文　同所冬成
右皆済也
明和八卯年
十一月
助右衛門㊞

永廿壱文　納高
内銭四拾文　夏成
同四拾壱文　秋成
夕四拾文　冬成
銭拾八文　流作夏成
同拾八文　同所秋成
同拾八文　同所冬成
右皆済也
安永元辰年

十二月

名主
助右衛門㊞

永廿壱文　納高
鏑三拾八文　夏成
同三拾九文　秋成
夕三拾九文　冬成
銭拾八文　流作夏成
同拾八文　同所秋成
同拾八文　同所秋成
右皆済也

安永二巳年
十二月

名主
助右衛門㊞

永廿壱文　納高
内四十壱文　夏成
同四十壱文　秋成
夕三十七文　冬成
銭五拾四文　流作場

右皆済也

安永三年
午十二月

名主
助右衛門㊞

永　夏成
内鏑三拾七文　夏成
同　三拾九文　秋成
夕　
銭拾八文　流作夏成
同拾八文　同所秋成

子年
永　夏成
内銭四拾四文
同
夕
銭廿文　流作夏成

永廿壱文　夏成
内四拾六文　秋成
同四拾六文　冬成
歹四拾六文
同四十三文　流作場夏秋
右皆済也
天明元丑年　助右衛門㊞
十二月
歹六拾七文　不足
永九文三分
内廿文
同廿文
歹廿一文
廿文
廿文
廿文
右皆済也

天明五巳年　夏成
十二月
永
内弐拾文　夏成
同
歹
廿文　流作夏成
永十八文六分
右午未年両年分
皆済也
天明七未
十一月廿九日
永弐拾壱文　夏成
内拾八文　秋成
同拾九文　冬成
歹拾九文　流作夏成
弐拾文

永十八文六分　夏成
内十九文　秋成
同十九文　冬成
十九文
歹
廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
右皆済也
寛政元酉年
十一月廿五日
永十八文六分　夏成
内弐拾文　秋成
同廿文　冬成
歹廿文　流作夏成
廿文　秋成

廿文
右皆済也
寛政二戌年
十一月廿七日
永十八文六分　夏成
内拾七文　秋成
同拾八文　冬成
歹拾九文
廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
右皆済也
寛政三亥年
十一月
永十八文六分　夏成
内拾七文

同十七文　秋成
夕十八文　冬成
銭弐拾文　流作場夏成
同廿文　同秋成
同廿文　同冬成
右皆済也
寛政四子年
十二月
永拾八文六分　夏成
内拾七文　秋成
同拾七文　冬成
夕拾九文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
右皆済也
寛政五丑年
十二月朔日

永十八文六分　夏成
内拾九文　秋成
同拾九文　冬成
夕十九文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
廿文
右皆済也
寛政六寅年
十一月廿五日
永十八文六分　夏成
内廿文　秋成
同廿文　冬成
夕廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
十八文
右皆済也

寛政七卯
十一月

永九文三分　夏成
内廿文　秋成
同廿文　冬成
夕廿文
廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　冬成
右之通相納皆済也

寛政九巳年
十一月廿四日

永九文三分　夏成
内廿三文　秋成
同廿三文　冬成
夕廿三文

廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　冬成
右之通皆済也

寛政十午年
十一月廿三日

永　夏成
内廿三文　秋成
同廿三文
夕
弐拾文　流作夏成
廿文　同秋成

永　夏成
内廿壱文
同
夕
廿文　流作夏成

永
内廿一文　夏成
同
歹
廿文　流作夏成

（柳下源太郎家文書　16―1）

歹金壱分ト弐百五十六文　冬成
廿文　流作夏成
廿文　秋成
廿文　冬成
右之通相納皆済也
文化元子十二月

一四　文化元年六月　下新倉村田畑御年貢納辻通帳

（表紙）
文化元子年
田畑御年貢納辻通帳
六月　柳下助右衛門
（横小帳）

米八俵三升壱合
永八百六十壱文三分
内金壱分ト弐百五十六文　夏成
同金壱分ト弐百五十六文　秋成
歹金壱分ト弐百五十六文　冬成
弐拾㊐文　流作夏成
廿文　同　秋成
廿文　冬成
右者当丑田畑御年貢不残上納仕皆済也
文化二丑十一月

米六俵三斗六升九合
永八百六十壱文八分
内金壱分銭弐百五十六文　夏成
同金壱分ト弐百五十六文　秋成

米八俵三升壱合
永八百六十壱文三分
内金壱分弐百七十八文　夏成
同金壱分弐百七十八文　秋成
歹金壱分弐百八十三文　冬成
廿文　流作夏成
㊐廿文　同秋成
廿文　同冬成
右之通相納皆済也
文化三寅年十一月廿三日

米
永八百六十壱文三分
内金壱分銭弐百八十六文　夏成
同金壱分弐百八十六文　秋成
歹金壱分弐百八十六文　冬成
銭廿文　流作夏成
同廿文　同　秋成

同廿文　同　冬成
右之通相納皆済也
文化四卯年十一月廿日

米五俵三斗四升
永八百六十壱文
内金壱分三百文　夏成
同金壱分ト三百文　秋成
歹金壱分三百文　冬成
㊐廿文　流作秋成
廿文　同　冬成
右之通相納皆済也
文化五辰年十一月

米七俵弐斗七升壱合三夕
永八百六十壱文
内壱分三百弐文　夏成
同壱分三百弐文　秋成

歹壱分三百弐文　冬成
廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文　同冬成
右相納皆済也
文化六巳年十一月

米六俵弐斗七升壱合三夕　米五俵弐斗九升弐合
永　永
内壱分三百四文　内壱分ト三百弐文
同壱分三百四文　内壱分三百八文（ママ）
歹壱分三百四文　歹壱分三百弐文
廿文㊞　廿文
廿文　廿文
廿文　廿文
右相納皆済㊞也　右皆済也㊞
文化七午年十一月　文化八未年十一月

夏成　夏成
秋成　秋成
冬成　冬成
流作夏成　流作夏成
同秋成　同秋成
同冬成　同冬成

米　米
永　永
内壱分四百七十五文　内壱分四百七十五文（ママ）
内壱分四百七十五文　内壱分四百七十五文（ママ）
歹壱分四百七十五文　歹壱分四百七十五文
弐拾文　弐拾文
廿文　廿文

夏成　夏成
秋成　秋成
冬成　冬成
流作夏成　流作夏成
同秋成　同秋成

廿文　同冬成
右皆済㊞也
文化九申年十一月

米六俵壱斗八升
永九百七十八文
内金壱分五百四十文　納高
同金壱分五百四十文　夏成
同金壱分五百四十文　秋成
歹金壱分五百廿五文　冬成
廿文㊞　流作夏成
廿文㊞　同秋成
廿文㊞　同冬成
右之通皆済也
文化十酉年十一月

米六俵弐斗四升四合四夕
永九百七十八文
内金壱分五百三十弐文　夏成

同金壱分五百三十弐文　秋成
歹金壱分五百三十弐文　冬成
廿文　新畑流作夏成
廿文　秋成
廿文　冬成
右之通上納相済皆済也
文化十一戌年十一月

米六俵壱斗九升四合壱夕
永九百七十八文
内壱分五百文　夏成
同壱分五百文　秋成
歹壱分五百文　冬成
廿文㊞　流作夏成
廿文㊞　同　冬成
廿文㊞　同　冬成
右之通皆済也㊞
文化十二亥年十一月

米六俵壱斗九升四合壱夕　夏成
永九百七十八文　秋成
内壱分五百三十弐文　冬成
同壱分五百三十弐文　流作夏成
歹壱分五百三十弐文　同秋成
廿文㊞　同冬成
廿文㊞
廿文㊞
右之通皆済也
文化十三子年十一月

米
永
内金壱分五百三十弐文　夏成
同金壱分五百四拾文　秋成
歹金壱分五百四十文　冬成
廿文㊞　流作夏成
廿文　同秋成

廿文
右之通相納皆済也
文化十四丑年十一月

米六俵壱斗九升四合　同冬成
永
内壱分五百八十七文　夏成
同壱分五百八十七文　秋成
歹壱分五百八十七文　冬成
廿文　流作夏成
廿文　同秋成
廿文㊞　同冬成
右之通皆済也
文政元寅年十一月

米七俵三斗七升弐合
永
内金壱分五百九十五文　夏成

同金壱分五百九十五文　　秋成
歹金壱分五百九十五文　　冬成
廿文田　　流作夏成
廿文田　　同秋成
廿文　　同冬成
右之通皆済也
文政二卯年十一月

米七俵三斗壱升弐合　　米
永　　永
内壱分ト五百九十五文　　内壱分ト五百七十八文
同壱分五百九十五文　　同壱分ト五百七十八文
歹壱分五百九十五文　　歹壱分ト五百七十八文
廿文田　　冬成　　弐十文田　　冬成
弐十田（文）　　新畑流作夏成
弐十田（文）　　同秋成
廿文田　　同秋成　　弐十田（文）　　同冬成
廿文田　　同冬成
右皆済也
文政三辰年十一月

夏成　　夏成
秋成　　秋成
冬成　　流作夏成　　内壱分三百八十六文（ママ）　　冬成
内壱分三百八十六文　　歹壱分三百八十六文　　冬成
同秋成　　弐拾文　　新畑流作夏成
同冬成　　弐十文　　同秋成
弐十文　　同冬成
右皆済也

文政五午年十一月

米　　夏成
永三百文　　秋成
内壱分三百八十六文
内壱分三百八十六文
歹壱分三百八十五文　　冬成
廿文　　流作夏成
廿文　　同秋成
弐拾文　　同冬成
右㊞皆済也
文政六未年十二月

米　　夏成
永　　秋成
内壱分三百九十文　　冬成
内壱分三百九十文
歹壱分三百九十文

弐拾文　　新畑流作夏成
弐十　　同秋成
弐十　　同冬成
右之通り皆済也
文政七申年十二月

米　　夏秋冬成
永
右㊞皆済也
文政八酉年分
同十三寅三月　差引済

米　　夏秋冬成
永
右ハ文政九戌年分
文政十三寅年
三月十六日　差引済㊞

米
永

夏秋冬成
御年貢

右ハ文政十亥年分
皆済㊞也

文政十三寅年
三月十六日

米㊞
永㊞

夏成秋成冬成
御年貢皆済㊞也

文政十一子年分
同十三寅年　三月十六日　差引済

米㊞
永㊞

夏秋冬成御年貢
但シ

文政十二丑年分
文政十三寅年　三月十六日
差引済㊞

米
永

内壱分ト弐百五十九文　夏成
内壱分ト弐百五十九文　秋成
歹壱分ト弐百五十九文　冬成
弐拾文　新畑流作夏成
弐拾文　同　秋成
弐拾文　同　冬成
右之通皆済也

文政十三寅年十二月

米

内弐朱八百廿五文　夏成
内弐朱ト八百廿五文　秋成

歹弐朱ト八百廿五文　冬成
弐拾文　新畑流作夏成
弐十文
弐十文
右之通皆済㊞也
天保二卯年十二月

米
内弐朱ト八百廿五文　夏成
内弐朱ト八百廿五文　秋成
歹弐朱ト八百廿五文　冬成
廿文　流作夏成
廿文　同　冬成
廿文　同　冬成
右之通畑方皆済㊞也
天保三辰年十二月

永
内弐朱ト七百拾文　夏成
内弐朱ト七百拾文　秋成
歹弐朱ト七百拾文　冬成
廿文　流作夏成
廿文　同　秋成
廿文　同　冬成
右之通皆済㊞也
天保四巳年十二月

永
内弐朱ト七百拾文　夏成
内弐朱ト七百拾文　秋成
歹弐朱ト七百拾文　冬成
弐拾文　新畑作夏成
廿文　同　秋成
廿文　同　冬成
右之通畑方皆済㊞也
天保五午年十二月

米　夏成
永　秋成
内弐朱ト七百十文　冬成
内弐朱ト七百十文
歹弐朱ト七百十文
弐拾文　新畑流作夏成
廿文　同　秋成
廿文　同　冬成
天保六未十二月
右之通皆済也

米　夏成
永　秋成
内弐朱ト七百三十（文）　同　冬成
内弐朱ト七百三十文
歹弐朱ト七百三十
廿文㊞
弐拾文㊞

廿文㊞　同　冬成
天保七丙申極月
右皆済㊞

米　夏成
永　秋成
内金弐朱ト七百三拾文　冬成
内金弐朱ト七百三拾文
歹金弐朱ト七百三拾文　流作夏成
廿文㊞　同　秋成
廿文㊞　同　冬成
廿文㊞
右之通皆済㊞也
天保八酉十一月

米　夏成
永
内金弐朱ト七百三拾文

内金弐朱ト七百三拾文　秋成
歹金弐朱ト七百三拾文　冬成
弐拾文㊞　流作
廿文㊞　同
廿文㊞　同
右之通皆済也
天保九戌十二月

米五俵ト四斗壱升八合七夕
永六百八拾七文九分
内金弐朱ト七百三拾文　夏成
内金弐朱ト七百三拾文　秋成
歹金弐朱ト七百三十文　冬成
十弐文　流作夏成
十弐文　秋成
十弐文　冬成
右之通当亥御年貢皆済也
天保十亥年十二月

米五俵ト四斗壱升八合七夕
永六百四十四文壱分
内金弐朱ト六百廿八文　納高
内金弐朱ト六百廿八文　夏成
歹金弐朱ト四百七十三文　秋成
内廿文㊞　冬成
内廿文㊞　流作夏成
歹廿文㊞　秋成
右之通り皆㊞済也
壱年十二月
天保十二丑年十二月

米五俵三斗八升七合壱夕
永六百廿文壱分　納高
内金弐朱ト五百八十九文　夏成
内金弐朱ト五百八十九文　秋成
歹金弐朱ト五百八十九文　冬成
内廿文　流作夏成

内廿文　　同　秋成
歹廿文　　同　冬成
右皆済也
天保十二丑年十二月

米
永六百弐拾文壱分
内金弐朱ト五百八拾九文　　夏成
廿文　　流作夏成

（石田栄一家文書　28—13）

「先年ゟ□□分
一金七拾五両弐朱也　当卯ゟ来ル酉迄無利足七ケ年賦　武蔵国新座郡下新倉村
右之通年限通無相違御下ヶ金相□□事
慶応三卯年二月」

「辰仮免状
酒井勘ヶ由元知行
武州新座郡
下新倉村之内
雑丹袋新田
一米なし」

（柳下廓次家文書　26—48）

一五　慶応三年二月　下新倉村仮免状

「辰仮免状
酒井勘ヶ由元知行
武州新座郡
一米弐拾四石三斗三升九合　下新倉村」

一六　寛文六年一一月　白子村野畑取付勘定帳

（表紙）
寛文六年
午ノ年野畑取付勘定帳　白子村
午ノ霜月吉日　御領分方
（横帳）

市場村
庄左衛門分㊞　三拾三文代

午霜月十三日

一下畑弐反八畝拾八歩
　此永九拾四文三分八りん
○　同所　五左衛門分㊞　三拾三文代

一下畑壱反六歩
　此永三拾三文六分六りん
○　同所　弥次右衛門分㊞　三拾三文代

一下畠弐反九畝壱歩
　此永九拾五文八分壱りん
○　加兵衛分㊞

一下畑四反歩
　此永百三拾弐文
○　五安ニて　左兵衛分㊞　拾五文代

一下野四反歩
○　此永六拾文也

長左衛門分㊞　三拾三文代

一下畑三反七畝拾歩
　此永百弐拾三文弐分
同人

一下野三反壱セ拾弐歩
　此取永四拾七文壱分
　市ばニて　久右衛門分㊞　拾文代

一下畑壱反四畝廿歩
　此永四拾八文四分
○　五郎左衛門分㊞　三拾三文代

一下畑九反八畝八歩
　此永三百廿四文弐分八りん
同人

一下野弐反壱畝歩
　此永三拾壱文五分
○　次兵衛分㊞　拾五文代

一下畑四反九畝五歩
　此永百六拾弐文弐分五りん　三拾三文代

一中野八畝拾弐歩　同人　弐拾文代
此永拾六文八分
一下野壱反六畝拾弐分　同人　拾五文代
此永弐拾四文六分
一中野三反七畝歩　同人　弐拾文代
此永七拾四文也
○　茂右衛門分㊞
一下畑三反弐畝八歩
此永百六文四分八りん
三人ニわけ
内九セ拾五歩ハ［　］
内［　］
内［　］
六兵衛分㊞　三拾三文代
一下畑五反三畝拾歩
此永百七拾六文
○

三右衛門分㊞　三拾三文代
一下畑六反弐拾歩
此永弐百文弐分　同人　三拾三文代
一下畑弐反五セ十八歩
此永八拾四文四分八りん　同人
一下野三反八セ十弐歩　拾五文代
此永五拾七文六分
○　次郎右衛門分㊞　三拾三文代
一下畑壱町六反歩
此永五百廿八文　同人
一下野弐反六セ廿歩　拾五文代
此永四拾文
忠兵衛分㊞　三拾三文代
一下畑弐町壱反七畝廿六歩
此永七百拾八文九分六りん

○　利兵衛分㊞　三拾三文代
一下畑三反七畝拾歩
　此永百弐拾三文弐分
○　伝兵衛分㊞
一下畑三反七畝拾歩
　此永百弐拾三文弐分
○　金右衛門分㊞　四拾八文代
一中畠壱反六畝廿四歩
　此永八拾文六分四りん
　同人
一下畑壱反四畝廿八歩　三拾三文代
　同人
一下畑四反五セ拾歩
下二口〆六反八歩
　此取百九拾八文八分八りん
　同人
一中野八反九畝七歩　弐拾文代

　此永百七拾八文四分六りん
○　勘左衛門分㊞　三拾三文代
一下畑八畝歩
　此永廿六文四分
　同人
一中野七反弐拾八歩　中六□拾文代
　此永百四拾壱文八分
○　兵右衛門分㊞　三拾三文代
一下畠六反七畝六歩
　此永弐百廿壱文七分六りん
　同人
一中野五反六畝拾歩　弐拾文代
　此永百拾弐文六分七りん
○　与五兵衛分㊞　四拾八文代
一中畠四反五セ廿八歩
　此永弐百廿文四分八りん
　同人
一上野壱反三セ十八歩

○　此永四拾文八分也　三拾文代
　　藤左衛門分㊞　三拾壱文代
一下畑七セ拾歩
　　此永廿四文弐分　同人
一中畠七畝六歩　四十八文代
　　此取三十四文五分六りん　同人
一上野四反三セ十弐歩　三拾文代
　　此永百三拾文弐分
○　牛房　甚右衛門分㊞
一下畑三反八畝八歩　三三
　　此永百弐拾六文弐分八りん　同人
一中畑壱反四畝歩　四八
　　此永六拾七文弐分　同人
一下畠八反六畝壱歩　三三

　　此永弐百八拾三文九分壱りん　同人
一中野三反歩
　　此永六拾文　同人
一下野壱町九反三セ拾歩
○　此永弐百九拾文
　　此内九十六文七分八□[illegible]
　　同所　半右衛門分㊞　三拾三文代
一下畠弐反九畝廿弐歩
　　此永九拾八文壱分弐りん　同人
一下野弐反六畝歩　拾五文代
○　此永三拾九文也
　　善八郎分㊞
一下畠四反六畝壱歩　三三
　　此永百五拾壱文九分壱りん　善八郎

一下畑弐反八歩
此永六拾六文八分八りん　同人
一中野八反八畝拾弐歩　□□代
此永百七拾六文八分　同人
一下野四反弐畝歩　十五文代
此永六拾三文
市郎右衛門分㊞　三拾三文代
一下畑六反八畝歩
此永弐百廿四文四分　同人
一下野七反拾弐歩　拾五文代
○　此永百五文六分
十右衛門分㊞　三拾三文代
一下畑壱町九畝拾歩
○　此永三百六十文八分
半三郎分㊞

一下畑七反弐畝拾壱歩
此永弐百三十八文八分壱りん　同人
一下野弐町壱反壱セ六歩
此永三百拾六文八分　同人
一中野六反九畝歩
此永百三拾八文
同人
一下野壱反四セ拾弐歩
○　此永弐拾壱文六分
市郎兵衛分㊞
一下畠八反三セ拾三歩
○　此永弐百七拾五文三分三りん
忠右衛門分㊞　三拾三文代
一下畑弐反三畝弐拾四歩
此永七拾八文五分四りん　同人

一下野八反歩　　拾五文代
　此永百弐拾文
　　吉左衛門分㊞　　三拾三文代
一下畑七反五畝廿五歩
　此永弐百五拾文弐分五りん
　　同人
一下野四反弐畝廿五歩　　拾五文代
○　此永六十四文弐分五りん
　　勘兵衛分㊞　　三拾三文代
一下畠壱町弐反五セ拾歩
　此永四百十三文六分
　　同人
一中野壱反九畝拾六歩　　三拾文代
　此永三拾九文七りん
　　同人
一下野三町弐反六セ廿歩　　拾五文代
　此永四百九拾文也
　　六左衛門分㊞　　拾五文代

一下野弐反六セ六歩
　此永三拾九文三分
　　同人
一下野壱反八畝歩　　拾五文代
○　此永弐拾七文也
　　茂左衛門分
　　左右衛門㊞方ゟ納
一中野八畝弐拾六歩　　弐拾文代
　此永拾七文七分
　　五右衛門分㊞　　三拾文代
一上野八畝拾弐歩
○　此永弐拾五文弐分也
　　次右衛門分㊞　　三拾文代
一上野弐拾歩
　此永弐文也
○　　三太郎分㊞　　弐拾文代
一中野五セ廿歩
○　此永拾壱文三分三りん

勘次郎分㊞　　太郎左衛門㊞
一中野四畝歩　　廿文代　　長左衛門㊞
此永八文　　七左衛門㊞
○　福寺坊分㊞　　□十□㊞
一下ミ野弐反歩　　伝兵衛㊞
地福寺分㊞　　甚右衛門㊞
一下野六反七畝拾八歩　　拾五文代　　市ば善兵衛㊞
此永百壱文四分
○

手形之事

一午ノ年御指紙ノ通無高下内割仕候而取永畑方之分
六貫五百十七文四分□りん右ノ通ニ銘々ニ割付申候、
為後日如此ニ判形仕置候、以上

組頭
寛文六年　　十右衛門㊞
午霜月十一日　　兵右衛門㊞
六兵衛㊞
藤左衛門㊞

午ノ年野銭請取覚

午ノ霜月十六日
一永百壱文四分請取　地福寺　　□弥五兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十六日
一永弐百壱文七分請取　　甚右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月十六日
一永五百四文七分請取　　市郎兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十七日

一永四拾七文壱分請取　　長左衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月十七日
一永百弐拾文ハ請取　　牛房山三郎
　外ニ口銭済
午ノ霜月十八日
一永百四拾壱文八分請取　　勘左衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月十八日
一永百拾弐文六分請取　　兵右衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月十九日
一永八文ハ請取　　勘次郎
　外ニ口銭済
午ノ霜月十九日
一永四拾文者請取　　四郎右衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿日

一永百七拾八文五分ハ請取　　金右衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿日
一永百三拾文弐分請取　　藤左衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿一日
一永拾五文七分ハ請取　　市場善兵衛
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿三日
一永百五文六分ハ請取　　寅之助
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿四日
一永五拾七文六分ハ請取　　三右衛門
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿四日
一永六拾文ハ請取　　五安ニて左兵衛
　外ニ口銭済
午ノ霜月廿四日

一永□拾五文弐分ハ請取　五右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿四日
一永拾五文七分五りん請取　五郎左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿五日
一永三拾九文ハ請取　牛房　十右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿六日
一永六拾四文弐分ハ請取　牛房村　吉左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿□日
一永六拾六文三分ハ請取　下宿　六左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿八日
一永百拾五文四分ハ請取　次兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月廿八日

一永四拾文八分ハ請取　文六兵衛
外ニ口銭済
午ノ畑御年貢請取覚
午ノ霜月十六日
一永百七拾六文請取　六兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十六日
一永四百七拾七文四分請取　牛房　甚右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月十六日
一永五百拾四文壱分請取　市郎兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十七日
一永百三拾弐文請取　加兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十七日
一永百弐拾三文弐分請取　長左衛門
外ニ口銭済

午ノ霜月十七日
一永九拾四文三分請取　市場村　庄左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月十七日
一永七拾八文五分ハ請取　牛房　山三郎
外ニ口銭済
午ノ霜月十八日
一永七百拾八文九分ハ請取　忠兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月十八日
一永弐百弐拾壱文七分ハ請取　兵右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月十八日
一永弐拾六文四分ハ請取　勘左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月十九日
一永五百廿八文ハ請取　四郎右衛門
外ニ口銭済

午ノ霜月廿日
一永弐百七拾九文五分ハ請取　金右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿日
一永九拾五文八分ハ請取　弥次右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿日
一永五拾八文八分ハ請取　藤左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿一日
一永弐百五拾八文参分ハ請取　市場　善兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月廿一日
一永三拾三文六分ハ請取　市場　五左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿二日
一永弐百廿四文四分ハ請取　寅之助
外ニ口銭済

午ノ霜月廿四日
一永弐百八拾四文七分ハ請取　三右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿四日
一永百弐拾三文弐分請取　利兵衛
外ニ口銭済
午ノ極月廿四日
一永六拾六文ハ請取　五郎左衛門
外ニ口銭済
午ノ極月廿五日　牛房
一永四百五拾八文九分ハ請取　十右衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿六日　牛房
一永弐百五拾文三分ハ請取　吉左衛門
外ニ口銭済
午ノ霜月廿七日
一永百弐拾三文弐分請取　伝兵衛
外ニ口銭済

午ノ霜月廿八日
一永百六拾弐文弐分ハ請取　次兵衛
外ニ口銭済
午ノ霜月廿八日
一永弐百弐拾文五分ハ請取　与五兵衛
外ニ口銭済
午ノ極月廿九日
一永拾七文七分ハ請取　佐右衛門
外ニ口銭済
是ハ茂左衛門分次兵衛方ゟ左衛門方へ渡
午ノ極月廿九日　市場ニて
一永四拾八文四分ハ請取　久右衛門
外ニ口銭済
未ノ閏二月九日　下宿
一永三拾壱文四分ハ請取　半七郎
外ニ口銭済
午ノ年分也
未ノ三月四日

一永四拾三文七分八りん請取　　六　兵　衛
　　外ニ口銭済
　午ノ分也
未ノ三月廿二日　　牛房
一永五百七拾壱文ハ請取　　十左衛門
　　外ニ口銭済
　但シ野方畠方御年貢二口〆右ノ通
未ノ霜月十七日
一永拾壱文三分三りんハ請取　　三　太　郎
　　外ニ口銭済
是ハ午ノ野銭也

（冨澤泰次家文書　100―9）

一七　延宝元年一二月　白子村野畑取付帳・勘定納帳

（表紙）
延宝元年
丑ノ年野畑取付帳　　并　勘定納帳
丑ノ極月吉日　　御領分方
（横帳）

是ハ二ッニわり　　庄左衛門分
一下畑壱反四畝九歩
　此永六拾四文三分五厘
是ハ二ッニわり　　五郎右衛門分
一下畑壱反四畝九歩
　此永六拾四文三分五厘
　　庄左衛門分
五郎右衛門と二ッニわり申候間けし申候
一下畑弐反八畝拾八歩
〆〆〆〆〆〆〆〆

此永百廿八文七分〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻

一下畑壱反六歩　五左衛門分㊞

此永四拾五文九分

一下畑弐反九畝壱歩　弥次右衛門分

此永百三拾文七分

一下畑四反歩　加兵衛分㊞

此永百八拾文

一下野四反歩　佐兵衛分㊞

此永六拾文　拾五文代

一下畑三反七畝拾歩　長左衛門分㊞

此永百六拾八文

一下野三反壱畝拾弐歩

此永四拾七文壱分　同人分

一下畑壱反四畝弐拾歩　久右衛門分㊞

此永六拾六文　善兵衛分㊞

一下畑七反八畝八歩

此永三百五拾弐文弐分

一下野壱反拾五歩　同人㊞

此永拾五文八分　五郎左衛門分㊞

一下畑弐反歩

此永九拾文

一下野壱反拾五歩　同人分㊞

此永拾五文八分

一下畑四反九畝五歩　次兵衛分㊞

此永弐百廿壱文弐分　但廿文代

一中野三反七畝歩　同人分㊞

此永七拾四文　拾五文代

一下野壱反六畝拾弐歩　同人分㊞

此永弐拾四文六分　六左衛門分㊞

一下野弐反六畝六歩　　拾五文代
一下野壱反八畝歩　　拾五文代
〆此永六拾六文三分　　同　人　分㊞
一中野八畝拾弐歩　　作　兵　衛分㊞
此永拾六文八分　　廿文代
一下畑五反三畝拾歩　　六　兵　衛分㊞
上ノ山三人わり申所　子ノ年かわり申候
一下畑壱反廿三歩
二口〆六反四畝三歩
此永弐百八拾八文四分　　同　人　分㊞
一下畑六反廿歩　　三右衛門分㊞
上之山三人割之所是ハ子ノ年ゟ割なおし申候
一下畑壱反廿弐歩　　同　人　分㊞
一下畑弐反五畝拾八歩　　同　人　分
此永四百三十六文五分

〆九反七畝歩
一下野三反八畝拾弐歩　　拾五文代
此永五拾七文六分
一下畑七反歩　　権十郎分
かへ地御座候間書出シ申候　　向山三人わり
上之山三人割之内是ハ子ノ年ゟわりなおし申候
一下畑三畝廿八歩　　同　人　分
此永三百三拾弐文二分
一下畑九反歩　　四郎右衛門分
かへ地御座候間先へ書出し申候
一下野弐反六畝廿歩　　拾五文代
此永四拾文　　同　人　分
上之山三人わり子年ゟわり直し
一下畑六畝廿五歩
一畑弐口〆九反六せ廿五歩　　同　人　分

此永四百三拾五文七分
付わけ書出申候
一下畑弐町壱反七畝廿六歩　忠兵衛分㊞
此永九百八拾文四分
一下畑三反七畝拾歩　利兵衛分
此永百六拾七文九分
一下畑三反七畝拾歩　伝兵衛分㊞
此永百六拾七文九分
一中畑壱反六畝廿四歩　金右衛門分㊞
此永百拾拾五文四分　但七十壱文代
百拾九文弐分
一下畑壱反四畝廿八歩　同　人　分
一下畑四反五畝拾歩　同　人　分㊞
下弐口〆六反八歩

此永弐百七拾壱文弐分
一中野八反九畝七歩　但廿文代
此永百七拾八文五分
一下畑八畝歩　同　人　分㊞
此永三拾六文　勘左衛門分㊞
一中野七反廿八歩　但廿文代
此永百□壱文九分
一下畑六反七畝六歩　兵右衛門分㊞
此永三百弐文四分
一中野五反六畝拾歩　廿文代
此永百拾弐文七分
一中畑四反五畝廿八歩　与兵衛分㊞
此永三百弐拾六文壱分　但七十壱文代
一上野壱反三畝拾八歩　但三十文代

此永四拾文八分　　同　人㊞
藤左衛門分㊞

一下畑七畝拾歩
此永三拾弐文九分

一中畑七畝六歩
此永五拾壱文壱分

一上野四反三畝拾弐歩
此永百三拾文弐分　　但三十文代
同　人㊞

一下畑弐反九畝廿弐歩
十右衛門分㊞

一下野弐反六畝歩
此永三拾九文　　但十五文代

一下畑壱町九畝拾歩
畑弐口〆壱町三反九畝弐歩
此永六百廿五文八分
十左衛門分㊞

一下畑四反六畝壱歩
一下畑弐反八歩　　同　人㊞

畑弐筆〆六反六畝九歩
此永弐百九拾八文三分

一中野八反八畝拾弐歩
此永百七拾六文八分　　但廿文代
一下野四反弐畝歩　　同　人㊞
此永六拾三文　　拾五文代
一下野七反五畝歩　　同　人㊞
三ツわり　　十五文代
此永百十弐文五分　　同　人㊞

一下畑六反八畝歩
平兵衛分㊞
此永三百六文

一下野七反拾弐歩　　但十五文代
此永百五文六分　　同　人　分
忠右衛門分㊞

一下畑弐反三畝廿四歩
此永百七文壱分

一下野八反歩　　十五文代

此永百廿文　　同　人㊞　　五右衛門分㊞

一下畑七反五畝廿五歩　　吉左衛門分㊞　　一上野八畝廿弐歩

此永三百四拾壱文弐分　　　　　　　　　　此永廿五文弐分　　三十文代

一下野四反弐畝廿五歩　　十五文代　　一上野弐拾歩　　次右衛門分㊞

此永六拾四文三分　　同　人　分　　此永弐文　　三十文代

一下畑壱町弐反五畝拾歩　　伊右衛門分　　一下野六反七畝拾八歩　　地福寺分㊞

此永五百六拾三文九分　　　　　　　　　　此永百壱文四分

一中野壱反九畝拾六歩　　廿文代　　一下〻野弐反歩　　観音寺分

此永三拾九文　　同　人　分　　此永拾文　　五文代

一下野三町弐反六畝廿歩　　十五文代

此永四百九拾文

一中野九畝廿歩　　廿文代　　向山　　四郎右衛門分㊞

此永拾九文四分　　佐右衛門分　　是ハ権十郎分ニて御座候、かへ申候

一中野八畝廿六歩　　廿文代　　一下畑七反歩

此永拾七文八分　　此永三百拾五文

向山

一下畑九反歩
此永四百五文　　同　人㊞
向山
一下野弐反六畝廿歩　　十五文代
此永四拾文　　同　人㊞
権十郎分㊞
一下畑三畝廿八歩
是ハ四郎右衛門分ニて御座候、かへ申候
一下畑六畝廿五歩
二口〆壱反廿三歩
此永四拾八文四分
甚右衛門分㊞
一下畑三反八畝八歩
此永百七拾弐文弐分
一中畑壱反四畝□歩　　七十壱文代
此永九拾九文四分　　同　人
一下畑八反六畝壱歩
此永三百八拾七文壱分　　同　人

一中野三反歩　　但廿文代
此永六拾文
但三ツわり也
一下野六反五畝八歩　　但十五文代
但三ツニわり也
一下野三反五畝歩　　但十五文代
下野二口〆壱町八歩
此永百五拾文四分
八郎右衛門分㊞
一下畑七反弐畝拾壱歩
此永三百廿五文六分
一中野六反九畝歩　　但廿文代
此永百三十八文
但三ツわり
一下野壱町壱畝六歩　　十五文代
但三ツわり
一下野六反弐畝廿四歩　　十五文代
下野弐口〆壱町六反四畝歩

此永弐百四拾六文

一下畑八反三畝十三歩　　市郎兵衛分㊞

此永三百七十五文四分

但三ツわり也

一下野六反五畝八歩　　十五文代

此永九拾七文九分

一下野壱反四畝十弐歩　　十五文代

此永廿壱文壱分八りん

割付之事

一丑ノ年御割付之通り我等共立合無高下銘々ニ割付仕候、壱文も無相違御座候、仍如件

延宝元年

丑ノ十二月二日

太郎兵衛殿参る

兵右衛門㊞　　六兵衛㊞

藤左衛門㊞　　次兵衛㊞

長左衛門㊞　　忠兵衛㊞

伝兵衛㊞

□㊞

八郎右衛門㊞

十右衛門㊞

久右衛門㊞

善兵衛㊞

（富澤泰次家文書　100—10）

一八　延宝元年一二月　白子村田畑勘定帳

（表紙）

延宝元年
丑之年田畑勘定帳
丑ノ十二月吉日

（横帳）

弥次右衛門分㊞

一中田三畝弐拾八歩
　此取壱斗六升三合六夕壱才
一下田拾五歩
　此取壱升五合六夕
一上田弐反八畝拾歩
　此取壱石四斗七升三合三夕三才
一下畑三畝五歩
一下畑四畝六歩
一下畑壱畝九歩
　谷ノ下三口〆八畝廿歩
　此取壱斗三升五合二夕

原　分

一下畑壱反九畝十八歩
一下畑壱反五畝廿六歩
一下畑壱反五畝十四歩
　原ノ下三口〆五反弐十八歩
　此取五斗弐升九合七夕

田畑取石〆弐石三斗壱升七合四夕四才
　此俵六表弐斗壱升七合四夕四才
一納九俵壱斗六升弐合六夕六才
　内小麦米ニ入
　内弐俵八升六合餅
　内弐表五升

太郎兵衛方へ斗

高ニ引残壱斗七升七合壱夕三才　過納
右之過納米ニて相済出入無之候
　皆済㊞　　弥次右衛門㊞

右過納之内ニて弐斗□ツヽ
引弐升八合七夕未進請取出入無之
　牛房
　甚右衛門分㊞

一下田八畝拾六歩
一下田弐反三畝拾歩
　下弐口〆三反壱せ廿六歩
　此取九斗九升四合弐夕四才
一上畑八畝拾三歩

一上畑弐拾歩　谷ノ上
二口〆九畝三歩
此取弐斗八升三合九夕弐才
川ね
一中畑八畝弐拾四歩
一中畑八畝弐拾弐歩
谷ッ中弐口〆壱反七せ拾六歩
此取三斗六升四合六夕九才
川向
一下畑壱反六歩
一下畑五せ弐歩
田向
一下畑六畝廿八歩
一下畑七畝廿歩
一下畑壱畝六歩
一下畑六畝廿九歩
一下畑壱畝拾五歩
谷ッノ下七口〆三反九畝拾六歩
此取六斗壱升六合七夕弐才
田畑取石〆弐石弐斗五升九合五夕七才
此俵六表壱斗五升九合五夕七才
一納六表弐斗七升八合六夕六才
内小麦米ニ入
内壱表壱斗餅
高ニ引残三升壱合過納
右之過納代ニて渡し皆済
甚右衛門㊞
藤左衛門分㊞
一中田壱反三畝廿五歩
此取五斗七升五合四夕六才
一下田壱畝四歩
一下田壱反三畝廿九歩
一下田弐拾弐歩
下三口〆壱反五畝廿五歩
此取四斗九升四合
一中畑九畝六歩

此取壱斗九升壱合三夕六才
一下畑六畝拾弐歩
此取九升九合八夕四才
一下畑三畝廿弐歩
一下畑壱反八畝拾壱歩
一下畑七畝廿弐歩
一下畑壱反七畝歩
一下畑九畝拾八歩
一下畑壱反壱畝拾六歩
原ノ下六口〆六反七畝廿九歩
此取七斗六合八夕四才
一上畑弐畝五歩
此取六升七合六夕
田畑取石〆弐石壱斗三升五合壱夕
此俵六表三升五合壱夕
一下田五歩引
是ハ寛文五巳之引帳
此取五合壱夕七才
一下田弐拾歩引
是ハ寛文八申引帳
此取弐升七夕七才
一納四表弐斗弐升三合六夕六才
内小麦米ニ入
内弐俵三升壱合餅
高ニ引残壱俵弐斗四升三合五夕九才未進
此未進代ニて請取相済
㊞皆済　藤左衛門㊞
庄左衛門分㊞
市場下　仁兵衛分
一下田壱畝拾弐歩
同　分
一下田弐畝拾弐歩
同　分
一下田五畝六歩
同　分
一下田弐畝廿四歩

同　分

一下田三畝歩

一下田拾弐歩　弐ッニわり申候

一下田壱畝歩

是ハ六せと付申候壱縄之内也

下田七口〆壱反六畝六歩

此取五斗五合四夕四才

市場之下仁兵衛分

一中田壱反四畝歩

此取五斗八升弐合四夕

わり合之所

一上田五畝拾五歩

此取弐斗八升六合

市場　仁兵衛分

一下畑弐畝拾弐歩

一下畑六畝歩

一下畑五畝四歩　長右衛門分

一下畑壱反壱畝拾弐歩　五左衛門かい取

谷ッノ下四口〆弐反四畝廿八歩

此取三斗八升八合九夕六才

市場之上　五郎左衛門かい取

一中畑壱反四畝六歩

一中畑三畝廿弐歩

一中畑五畝廿六歩

一中畑四畝廿三歩

一中畑七畝拾歩

谷ッノ下五口〆三反五畝廿七歩（ママ）

此取七斗四升六合七夕弐才

原　分

一下畑三反三畝廿歩

わり合之所

此取三斗五升壱夕□才

田畑取石〆弐石八斗五升九合六夕五才

此俵八表五升九合六夕五才

一下田壱セ歩引

此取三升壱合弐夕引

是ハ寛文九酉ノ年分

一納拾弐表弐斗六升八合

内小麦米ニ入

内弐俵七升八合餅

内壱斗四升　庄右衛門ゟ斗入

内壱俵三升　太郎兵衛方へ斗申候

内弐斗　太郎兵衛方へ斗申候

内弐表弐斗ハ　七右衛門方へ斗申候

高ニ引残六升弐夕六才　過納

右之過納米ニテ渡シ

相済出入無之候

皆済㊞　庄左衛門㊞

五郎右衛門分㊞

一下田弐畝六歩

一下田壱畝廿六歩

一下田弐拾壱歩

一下田壱畝拾九歩

一下田弐拾歩

一下田拾弐歩

一下田壱反六畝四歩

一下田五畝歩

下八口〆弐反八畝拾□

此取□　八夕弐才

一中田四畝拾六歩

一中田壱反弐畝拾歩

一中田三畝拾歩

中三口〆弐反六歩

此取八斗四升三夕弐才

一上田四畝拾五歩

此取弐斗三升四合

一下畑七畝拾歩

一下畑弐拾歩

一下畑九畝拾八歩

一下畑壱畝弐歩

一下畑弐拾四歩

一下畑三畝拾八歩

一下畑弐拾四歩
下七口〆弐反三畝廿六歩
此取三斗七升弐合三夕弐才
一下畑壱畝廿壱歩
一下畑六畝廿歩
下弐□□□
此取壱斗三升五夕弐才
一中畑六畝拾八歩
此取壱斗三升七合弐夕八才
原　分
一下畑弐反七畝廿歩
此取弐斗八升七合七夕三才
田畑取石〆弐石八斗九升四合四夕九才
此俵八表九升四合四夕九才
高ノ内
一下田拾五歩
寛文九酉ノ年ゟ　此取壱升五合六夕
一納八表弐斗九升三合
内小麦米ニ入
内弐俵壱斗壱升弐合餅
高ニ引残壱斗弐升六合二才過納
右之過納米ニて渡し　相済出入無之候
皆済㊞　五郎右衛門㊞
□㊞
一下田壱畝弐拾四歩
一下田壱畝拾歩
一下田拾六歩
一下田壱畝廿五歩
一下田壱畝拾歩
一下田弐畝歩
下六口〆八畝廿五歩
此取弐斗七升五合六夕
一上田七畝歩
一上田九畝拾弐歩
上弐口〆壱反六畝十弐歩
此取八斗五升弐合八夕

一下畑五畝弐歩
一下畑拾歩
一下畑五畝十弐歩
谷ノ下三口〆壱反廿四歩
此取壱斗六升八合四夕八才
一中畑七畝歩
一中畑八畝弐拾歩
谷ノ中二口〆壱反五畝廿歩
此取□夕
一下畑八畝歩
此取八升三合弐夕
田畑取石〆壱石七斗五合九夕五才
此俵四表三斗五合九夕五才
高ノ内
一下田拾歩引　寛文九酉ノ年6
此取壱升四夕
一納五表四升壱合
内小麦米ニ入

内壱表三升七合もち
高ニ引残弐升七合四夕過納
右之過納相済出入無之候
皆済㊞　四郎兵衛㊞
一弐升　勘兵衛分ニ引相済申候
孫右衛門分㊞
一上田壱反七畝廿七歩
此取九斗三升八夕
一下畑五畝拾壱歩
一下畑弐畝廿歩
一下畑五畝四歩
谷ノ下三口〆壱反三畝五歩
此取弐斗五合四夕
一下畑□四反弐畝拾五歩
此取四斗四升弐合
田畑取石〆壱石五斗七升八合弐夕
此俵四表壱斗七升八合弐夕
一納七表壱斗四合六夕六才

内小麦米ニ入
内壱表三斗弐升二合餅
内弐表壱斗五升　太郎兵衛方斗分
内弐斗二升　六左衛門分へ斗
高ニ引残壱斗六升壱合六夕三才未進
右分未進代ニて相済　出入無之候
皆済㊞　孫右衛門㊞
久右衛門分㊞

一中田壱反九畝廿五歩
此取八斗弐升五合六夕
一中畑八畝拾六歩
此取壱斗七升七合四夕九才
一下畑四畝拾七歩
此取七升壱合弐夕□才
田畑取石〆壱石七升三合七夕九才
此俵三表弐升三合□才
一納□□□四夕
内小麦米ニ入

内三俵壱斗五合餅
内三俵弐斗　太郎兵衛分斗
内壱斗六升　同人分斗
内六俵此内弐表ハもちニて斗
太郎兵衛分斗
内三表ハ与兵衛分斗
高ニ引残五升壱合三夕壱才過納
過納代ニて相済出入無之候
皆済㊞　久右衛門㊞
半左衛門分㊞

一上田壱反九畝廿五歩
此取壱石三升壱合三夕三才
一中畑七畝廿壱歩
此取壱斗六升壱夕六才
田畑取石〆壱石壱斗九升壱合四夕九才
此俵三表壱斗四升壱合四夕九才
一納九俵弐升
内小麦米ニ入

内□俵三斗九合餅

□

忠兵衛方へ納分

高ニ引残壱斗弐升四夕□過納

右過納米ニて相渡シ相済出入無之候

皆済㊞　　半左衛門㊞

十蔵分㊞

一下田壱畝廿七歩

此取五升九合弐夕八才

一下畑八畝八歩

此取壱斗弐升八合九夕六才

一下畑壱反八畝四歩

此取壱斗八升八合五夕

田畑取石〆　三斗七升六合八夕三才

此俵壱表弐升六合八夕三才

源右衛門分

拾蔵分

一下田五畝拾弐歩

一下畑弐拾壱歩

下二口〆　六畝三歩

此取壱斗九升三夕弐才

一下畑壱反三畝四歩

一下畑弐畝拾弐歩

一下畑壱畝拾九歩

一下畑壱畝拾五歩

谷ノ下四口〆壱反八畝廿歩

此取弐斗九升壱合弐夕

田畑取石〆四斗八升壱合五夕弐才

此俵壱表壱斗三升壱合五夕三才

二口〆　弐表壱斗五升八合三夕五才

十蔵・源右衛門分

〆

一納弐表壱斗八升五合

内小麦米ニ入

高ニ引残三升壱合四夕四才未進

右未進相済出入無之候

皆済㊞　　十　蔵㊞

長左衛門分㊞

一上田弐反五畝廿四歩

此取壱石三斗四升壱合六夕

一上畑弐畝歩（屋しきうら）

此取六升弐合四夕

一下畑五畝拾八歩　善八郎とかい地

此取八升七合三夕六才

原　分

一下畑九畝拾八歩

一下畑五畝四歩

一下畑六畝六歩

一下畑八畝廿三歩

原ノ四口〆弐反九畝廿壱歩

此取三斗八合八夕八才

田畑取石〆壱石八斗弐夕四才

此俵五表五升弐夕四才

高ノ内

一下田弐畝歩引　承応三午ノ年ゟ

此取六升弐合四夕

一下田壱畝歩引　寛文八申ノ年ゟ

此取三□壱合□

一納五表壱斗五升七合壱夕六才

内小麦米ニ入

内壱俵壱斗九升四合餅

高ニ引残壱斗壱升弐合四夕三才過納

右之過納代ニて相渡し出入相済申候

皆済㊞　長左衛門㊞

勘左衛門分㊞

一中田壱反六畝廿歩

一中田壱反四畝六歩

中二口〆三反廿六歩

此取壱石弐斗八升四合四才

一下田七畝拾四歩

一下田弐畝拾六歩

一下田弐拾歩

下三口〆　壱反廿歩

此取三斗三升弐合八夕
一下畑拾六歩
一下畑壱反八畝廿歩
一下畑壱反七畝七歩
谷ノ下三口〆三反六せ十三歩
此取五斗六升八合三夕
一中畑六畝歩
此取壱斗弐升四合八夕
原　分
一上畑七畝拾歩
一上畑三畝拾八歩
原ノ二口〆壱反弐拾八歩
此取弐斗弐升七合四夕壱才
三本松
一下畑八畝拾弐歩
此取八升七合三夕六才
やしきうら
一上畑弐畝六歩

此取六升八合六夕四才
田畑取石〆弐石六斗九升三合四夕壱才
此俵七表弐斗四升三合四夕壱才
一納七俵弐斗三升七合六夕六才
内小麦米ニ入
内壱俵三斗五升七合餅
高ニ引残九升三合八夕四才未進
右之未進代ニて請取相済出入無之候
皆済㊞　　勘左衛門㊞
地福寺分㊞
一上田壱反八畝六□
此取九斗三升七合四才
此上田吉左衛門と替地もとす
一上田壱反九畝廿四歩
上二口　三反八畝歩
此取壱石九斗七升六合
一下畑壱反三畝六歩
一下畑壱畝弐拾歩

一下畑壱畝歩
谷ノ下三口　壱反五畝廿六歩
　此取弐斗四升七合五夕弐才
一上畑弐反三畝歩
　此取七斗壱升七合六夕
すわの原
一下畑七反三畝八歩
　此取七斗六升壱合九夕七才
越ノ上
一下畑九畝拾八歩
　此取九升九合八夕四才
田畑取石〆　三石三斗七升二夕九才
　此俵九表四升二夕九才
一納拾俵六升壱合三夕
　内小麦米ニ入
　内壱俵三斗弐升弐合
高ニ引残壱俵弐升壱合四才過納
右之過納相済出入無之候

皆済㊞
久城坊分
丸をさ
一中田壱畝歩
　此取四升壱合六夕
一下田弐畝八歩
　此内へ四郎兵衛ハ拾五歩入
　此取七升七夕弐才
一下畑拾四歩
一下畑五畝廿六歩
寺ノ上藤右衛門分
一下畑九畝廿四歩
谷ッ下三口〆壱反六畝四歩
　此取弐斗五升壱合六夕八才
田畑取石〆三斗六升四合
　此俵壱表壱升四合
一納三斗壱升八合九夕六才
　内壱斗五升ハ半左衛門斗

地福寺㊞

内壱斗六升八合九夕六才ハ子ノ年ノ過納有之候
高ニ引残六升五合四才未進
右之未進相済出入□
皆済○　　九条坊○○
伝右衛門分㊞

山崎
一上田六畝拾八歩
此取三斗四升三合弐夕
宮ノ下
一中田弐反弐拾歩
此取八斗五升九合七夕弐才
牛安谷ッ
一下畑七畝六歩
此取壱斗壱升弐合三夕弐才
すわのまへ　原　分
一中畑壱反八歩
此取壱斗六升壱夕六才
越ノ上　同　分

一下畑三反七畝歩
同
一下畑壱反五畝歩
原ノ下弐口〆五反弐畝歩
此取五斗四升八夕　未進
右之未進相済出入無之候
皆済㊞　　伝右衛門㊞
加兵衛分㊞

せと
一上田弐反六畝拾九歩
寺ノまへ
一上田壱反拾弐歩
上二口〆三反七畝壱歩
此取壱石九斗弐升五合七夕三才
寺ノまへ
一中田弐畝廿歩
此取壱斗壱升九夕□才
せと

一下畑拾八歩
半ノ木谷ッ
一下畑壱反六歩
谷ッ之下弐口〆　壱反廿四歩
　此取壱斗六升八合四夕八才
牛房道　原　分
一下畑三畝廿歩
一下畑八畝弐拾弐歩
原ノ下弐口〆壱反弐畝拾弐歩
　此取壱斗弐升八合九夕六才
屋敷うら
一上畑弐畝歩
　此取六升弐合四夕
田畑取石〆弐石三斗九升六合五夕
　此俵六表弐斗九升六合五夕
高ノ内
一下田壱畝歩引
　是ハ寛文八申ノ年ゟ
　此取三升壱合弐夕引
高ノ内
一下田拾歩引
　是ハ寛文五巳ノ年ゟ
　此取壱升三夕八才引
一納六俵弐斗七升七合壱夕六才
　内小麦米ニ入
　内弐表壱斗八升壱合餅
高ニ引残六升五合八夕五才未進
右之未進□ニて請取出入無之相済
　皆済㊞　　加兵衛㊞
　作右衛門分㊞
立丁
一中田壱反五畝拾四歩
　此取六斗四升三合四夕壱才
城口ニて
一下田壱反五畝拾弐歩
　此取四斗八升四夕八才

土支田弐ッわり
一上畑壱反廿歩
　　此取三斗三升弐合八夕
半ノ木谷ッ
一中畑壱反三畝歩
　　此取弐斗七升四夕
牛房上　原　分
一下畑弐反歩
道向
一下畑壱畝六歩
七郎右衛門分かい取七反壱せ弐歩内
一下畑八畝六歩
すわの原　七郎右□□
一下畑弐反六畝廿六歩
原ノ下四口〆　五反六畝八歩
　　此取五斗八升五合壱夕七才
田畑取石〆　弐石三斗壱升弐合弐夕六才
　　此俵六表弐斗壱升弐合弐夕六才

一納九表八升六合六夕
　　内小麦米ニ入
　　内弐表七升弐合餅
右之内弐表壱斗五升ハ忠兵衛方斗
高ニ引残而六合弐夕五才過
此過米代ニて返シ

作右衛門㊞

十右衛門分㊞

山崎茂左衛門分
一上田弐畝三歩
〃一上田四畝廿六歩
一上田三畝四歩
上三口〆壱反三歩
　　此取五斗弐升五合弐夕
〃一下田三畝弐歩
〃一下田廿歩
〃一下田壱反壱畝壱歩
下三口〆壱反四畝廿三歩

此取四斗六升七夕弐才

屋敷うら

一上畑三畝廿四歩

此取壱斗壱升八合五夕六才

とうりのまへ

一中畑六畝八歩

三四郎分取

一〃中畑五畝六歩

一〃中畑六畝廿九歩

一〃中畑壱反弐畝拾八歩

七郎右衛門分取

一〃中畑九畝拾八歩

谷ッノ下五口〆四反拾九□

此取八斗四升□七才

牛房前

一下畑三畝廿弐歩

一〃下畑廿四歩

一〃下畑七畝廿四歩

一〃下畑七畝廿六歩

一〃下畑四畝歩

一〃下畑壱反三畝廿六歩

一〃下畑壱反廿四歩

三四郎分取

一〃下畑弐畝拾四歩

谷ッノ下八口〆五反壱セ拾歩

此取八斗八夕

原　分

上ノ原ニて彦右衛門分取

一下畑五畝拾歩

一〃下畑五畝六歩

本坂ノ上　三四郎分取

一下畑壱反六歩

上ノ原

一〃下畑八畝廿四歩

一〃下畑八畝廿四歩

彦右衛門分取

一下畑弐反弐畝□弐歩
　太兵衛□
一下畑壱畝拾□
　七郎右衛門分取
一下畑九畝弐歩
原ノ下八口〆七反壱畝拾四歩
　此取七斗四升三合弐夕五才
田畑取石〆三石四斗九升三合七夕
　此俵九表三斗四升三合七夕
高ノ内
一下田壱セ歩引　是ハ承応三午ノ引帳
　此取三升壱合弐夕引
高ノ内
一下田弐拾八歩引　寛文五巳ノ引帳
　此取弐升九合壱夕引
高ノ内
一下田壱セ歩引　寛文八申ノ年ゟ引
　此取三升壱合弐夕引

一納拾表壱升三合
　内小麦米ニ入
　内弐表もち
高ニ引残四升弐合七夕壱才□
右過納相済出入無之□
　皆済㊞　□㊞
　滝本坊分
宮ノまへ
一中田壱反六畝拾四歩
　此取六斗八升五合
たわらくほニて
一下田八畝拾弐歩
一下田三畝歩
下弐口〆　壱反壱畝拾弐歩
　此取三斗五升五合六夕八才
坂ノ上　原　分
一中畑八畝廿六歩
　此取壱斗三升八合三夕弐才

山ノね
一下畑壱畝拾八歩
三本松ニて
一下畑壱反四セ九歩
〃一下畑三セ八歩
行人塚
一下畑九セ拾五歩
三本松さし出し
一下畑壱反歩
原ノ下五口メ三反八畝廿歩
此取四斗弐合壱夕弐才
田畑取石〆壱石五斗八升壱合壱夕弐才
此俵四表壱斗八升壱合壱夕弐才
一納四表弐升七合
高ニ引残壱斗五升四合壱夕弐才未進
滝本坊
五右衛門分㊞
宮ノ下ニて
一中田壱反拾歩
此取四斗弐升九合八夕七才
あなだ
一下田四畝廿三歩
城口ニて
一下田壱反八畝拾歩
下弐口〆弐反三セ三歩
此取七斗弐升七夕弐□
土支田ニて
一上畑壱反廿歩
屋しきうら
一上畑壱畝弐歩
谷ッ上弐口〆壱反壱セ廿弐歩
此取三斗六升六合八才
ごぼうニて
一下畑壱セ廿弐歩
此取弐升七合四才
半ノ木谷ッ

一中畑壱反三畝九歩
　此取弐斗七升六合六夕四才
　　原　分
一下畑三セ拾弐歩
　牛房道
一下畑弐反五セ拾歩
一下畑弐反四セ五歩
一下畑壱反壱セ拾五歩　七郎右衛門分かい取
　道向
一下畑壱セ六歩
一下畑四セ廿四歩
　庄右衛門分伊右衛門かたゞもらい取
　原ノ下六口〆七反拾弐歩
　此取七斗三升弐合壱夕六才
　田畑取石〆　弐石五斗五升弐合五夕壱才
　此俵七表壱斗弐合五夕壱才
　　右払
一納六俵弐斗七升七合六夕

内小麦米ニ而入
　内弐俵七合餅
高ニ引残而弐斗八升三合未進
右之未進代ニて請取
　皆済
　　八郎右衛門分㊞
五反田ニて
一上田壱反五セ五歩
一上田壱反八セ拾五歩
　上弐口〆三反三セ廿歩
　此取壱石七斗五升六夕六才
　牛房
一下田壱反壱セ廿弐歩
　此取三斗六升六合八才
　同前
一下畑廿壱歩
　とうりのまへ

五右衛門㊞

一下畑五セ歩
田はた
一下畑四セ廿弐歩
あなた
一下畑壱反四歩
田向
一下畑八セ弐歩
一下畑壱反廿歩　久右衛門分吉左衛門とかい地
谷ッ下六口〆三反九畝七歩
此取六斗壱升弐合四才
半ノ木谷ッ
一中畑八畝弐歩
河ぶち
一中畑壱反壱セ拾五歩
谷ッノ中弐口〆壱反九畝拾七歩
此取四斗六合九夕八才
田畑取石〆三石壱斗三升五合七夕六才
此俵八表三斗三升五合七夕六才

一納八表九升九合三才
内小麦米ニ入
内弐俵　もち
高ニ引残三斗弐升四合五夕弐才未進
右未進相済
皆済㊞　八郎右衛門㊞
四郎右衛門分㊞
前田ニて
一中田弐反三畝歩
此取八斗七升三合六夕
前島谷ッ下
一下畑拾六歩
此取八合三夕弐才
原　分
すわ山ね道添
一下畑六畝九歩
押出し
一下畑八畝七歩

是ハ三筆〆壱反六畝拾四歩之内如此
原ノ下弐口〆壱反四畝拾六歩
此取壱斗五升壱合壱夕四才
田畑取石〆壱石三升三合六才
此俵弐表三斗三升三合六才
一納弐表弐斗三升六合
内壱俵もち
高ニ引残三升四合五夕五才未進
右未進代ニて相済
皆済㊞　四郎右衛門㊞
六左衛門分㊞
寺ノ前
一上田壱反五畝拾弐歩
宮ノ前
一上田壱反三畝歩
上弐口〆弐反八畝拾弐歩
此取壱石四斗七升六合八夕
すなつ田ニて

一中田六畝四歩
〃一中田九畝廿弐歩
中弐口〆壱反五畝廿六歩
此取六斗六升三才
谷ノ中三郎右衛門とかい地
一下田拾九歩
此取壱升九合七夕六才
牛房まへ善次郎分
一下畑壱反五せ歩
あいノ田ニて
一下畑拾歩
市場ノ上所左衛門とかい地　壱反十五歩ノ内
一下畑五畝四歩
谷ッノ下参口〆弐反拾四歩
此取三斗壱升九合弐夕八才
原　分
越ノ上
一下畑壱反七畝歩

此取壱斗七升六合八夕

屋しきうら

一上畑壱せ歩

此取三升壱合弐夕

田畑取石〆弐石六斗八升三合八夕七才

此俵七表弐斗三升三合八夕七才

一納七俵弐斗九升壱合

内弐表三升三合もち

内壱表弐斗七升太兵衛方へ斗ル

内弐表七升同人方へ斗ル

外ニ三斗六升壱合左次兵衛ゟ斗ル

外ニ壱表三升七兵衛ゟ斗ル

外ニ弐斗弐升勘左衛門ゟ斗ル

高ニ引弐斗弐升九夕六才未進

右之未進代ニて請取相済

皆済　　六左衛門㊞

次右衛門分㊞

滝河原七郎右衛門分取

一上田壱反四畝拾弐歩

同人同断

一上田壱反廿七歩

上弐口〆弐反五畝九歩

此取壱石三斗壱升五合六夕

越ノ下七郎右衛門分取

一下田弐反六畝拾八歩

此取八斗弐升九合九夕弐才

越ノ上原分同人分取

一下畑五反廿八歩

此取五斗弐升九合六夕九才

次郎右衛門と弐ッわり　七郎右衛門分

一中畑壱反五畝廿弐歩

此取弐斗四升五合四夕四才

屋敷浦

一上畑三畝拾歩

此取壱斗四合

田畑取石〆三石弐升四合六夕

此俵八表弐斗弐升四合六夕五才
高ノ内
一下田弐畝歩引　是ハ寛文八申ノ年ゟ
此取六升弐合四夕引
一納八表三斗三升五合三夕三才
内小麦米ニ入
内壱俵三斗四升四合餅
高ニ引八升五合弐才過納
右過納代ニて返シ申候
皆済　　次右衛門㊞

滝河原　平兵衛分㊞
一中田壱反三畝歩
七反め丁　久左衛門分取
一中田壱反六畝廿歩
中弐口〆弐反九畝廿歩
此取壱石弐斗三升四合壱夕三才
同所　同人分取
一上田壱反拾五歩

此取五斗四升六合
谷中　同人分
一下田弐畝拾九歩
此取八升弐合壱夕六才
市ば上谷ッ分
一下畑壱反壱セ六歩
此取壱斗七升四合七夕弐才
坂ノ上　原　分
一中畑三畝五歩
此取四升九合四夕
〃　同　分
一下畑四畝拾歩
〃　同　分
一下畑四畝廿歩
〃　同　分
一下畑四畝八歩
〃　同　分
一下畑壱反歩

〃
一下畑弐反弐せ拾歩
牛房上　太兵衛分同分
〃
一下畑七畝四歩
原ノ下六口〆五反弐畝廿弐歩
此取五斗四升八合四夕弐才
田畑取石〆弐石六斗三升四合八夕三才
此俵七表壱斗八升四合八夕三才
高ノ内ニて
一下田廿七歩　寛文八申ノ年ゟ引
此取弐升八合八才引
一納七表弐斗弐合
内壱斗八升八合　五左衛門斗
高ニ引残四升□合八夕未進
右□未進□□□相済出入無之候
皆済㊞　平兵衛㊞
半右衛門分㊞
城口ニて
一中田四畝廿四歩
此取壱斗九升九合六夕八才
藤ノ木ニて
一下田六畝歩
此取壱斗八升七合弐夕
原分わり合
一下畑弐反五畝廿三歩
此取弐斗六升七合九夕六才
田畑取石〆六斗五升四合八夕四才
此俵壱表三斗四合八夕四才
一納弐表四升五合
内壱斗九升六合もち
高ニ引残弐升二合七才過納
過納相済出入無之候
皆済㊞　半右衛門㊞
左兵衛分㊞
山崎ニて
一下田壱反壱畝拾歩
此取三斗五升三合六夕

あなだ
一中田七畝廿八歩
　　此取三斗三升壱才
　五安ニて地福寺分替地
一下畑壱反九畝廿八歩
〃　仁右衛門と替地
一下畑壱反三畝廿弐歩
谷ッ下弐口〆三反三畝廿歩
　　此取五斗弐升五合弐夕
　　原　分
越ノ上ニて
一下畑四畝拾歩
　是ハ壱反三畝廿八歩之内如此
右ハ太郎右衛門分、残分ハ長左衛門方ニ有
　　此取四升五合七才
　田畑取石〆壱石弐斗五升三合八夕八才
　　此俵三表弐斗三合八夕八才
一納三表□斗三升六合八才

高ニ引残四升壱合壱夕壱才過納
右過納相済ッ出入無之候
　　皆済㊞　　左兵衛㊞
　　作左衛門分㊞

越ノ下
一中田弐反壱畝拾七歩
　　此取八斗九升七合壱夕七才
牛房谷ッ分
一下畑六畝拾五歩
〃
一下畑弐反六畝拾九歩
一下畑四畝廿四歩
〃
一下畑五畝拾五歩
谷ッ下四口〆四反三畝拾三歩
　　此取六斗七升七合五夕六才
　　原　分
一下畑弐反八畝拾八歩
　　此取弐斗九升七合四夕四才
屋敷うら

一上畑弐拾四歩
　此取弐升四合九夕六才
　田畑取石〆壱石八斗九升七合壱夕三才
　此俵五表壱斗四升七合壱夕三才
一納四俵三斗六升九合六夕六才
　内小麦米ニ入
　内壱俵弐斗二升一合
高ニ引弐斗三升五合五夕六才未進
右之未進代ニて請取
　皆済申候㊞　十兵衛㊞
市場ニて庄右衛門小作付合辻
一米弐升六合七夕弐才ハ名主定夫給ニ引
市場ニて　甚右衛門小作辻
一弐升六合七夕弐才引　名主定夫給ニ也（ママ）
一納三表弐斗五升八合
　内三表弐斗七升　太郎兵衛分斗
高ニ引三升八合七夕弐才未進
此分ゆるし申候
　皆済　甚右衛門㊞
　兵三郎分
五安ニて地福寺分也左兵衛とかい地
一下畑壱反拾五歩
谷ッ下是ハ仁右衛門方ゑかい取
　此取壱斗六升三合八夕
　仁右衛門分㊞
越ノ上原分　伝右衛門とわり合
一下畑壱反歩
諏訪原ニて
一下畑壱反拾八歩
原ノ下弐口〆弐反拾八歩
　此取弐斗壱升四合弐夕四才
屋しきうら
一上畑壱セ六歩
　此取三升七合四夕四才
右取〆弐斗五升壱合六夕八才
納弐斗四升七合

此払高ノ外ニ五升□

是ハ御蔵番名主定遣給也

高ニ引残五升四合六夕八才未進

金壱分請取　仁右衛門

残四百廿四文　但子丑二年分さん用して

右之未進代請取出入無之候

皆済　仁右衛門㊞

六兵衛分㊞

あいの田ニて

一中田壱反三畝六歩

立丁

一中田壱反四畝拾五歩

中弐口〆　弐反七セ廿壱歩

此取壱石壱斗五升弐合三夕弐才

谷ノ中

一下田八歩

此取八合三夕弐才

あいの田島

一下畑五歩

此取弐合六夕

市場上孫左衛門分かい取

一下畑壱反弐セ四歩

此取壱斗八升九合弐夕八才

屋敷うら

一上畑壱セ拾歩

此取四升壱合六夕

田畑取石〆壱石三斗九升四合壱夕弐才

此俵三表三斗四升四合壱夕弐才

一納九表壱斗三升七合

内三斗壱升弐合もち

内弐表壱斗三升太郎兵衛分斗

内三表ハ与兵衛分斗

高ニ引残五升五合弐夕壱才未進

右未進請取相済出入無之候

皆済㊞　六兵衛㊞

七兵衛分㊞

市場之下
一上田壱反八畝拾五歩
此取九斗六升弐合
谷ノ中此取九升六合七夕弐才
一下田三セ三歩
屋敷うら
一上畑壱セ歩
此取三升壱合弐夕
田畑取石〆壱石八升九合九夕弐才
此俵三表三升九合九夕弐才
一納〆三表弐升七合弐才
高ニ引壱斗九夕九才未進
右之未進相済
皆済　七兵衛㊞
作兵衛分㊞
城口ニて
一下田弐畝廿四歩
やしき
一下田壱反壱セ六歩
下弐口〆壱反四畝歩
此取四斗三升六合八夕
越ノ下
一中田壱反歩
此取四斗壱升六合
市場之上谷ッ下
一下畑五セ歩
此取七升八合也
一中畑七セ廿五歩　四ッ割
三反壱セ拾三歩之内也
此取壱斗弐升弐合弐夕
越ノ上原分
一下畑七セ七歩
出口
一下畑壱畝廿四歩
松ノ下勘次郎分
一下畑四セ四歩

原ノ下三口〆壱反三セ五歩
　此取壱斗三升六合九夕四才
松ノ下七郎右衛門分
一中畑壱反五セ歩
　此取弐斗三升四合
屋敷うら
一上畑三セ拾歩
　此取壱斗四合
田畑取石〆壱石五斗弐升七合九夕四才
　此俵四表壱斗弐升七合九夕四才
右払
一納〆四俵弐斗四升六合
　内小麦米ニ入
　内壱俵ハ餅
高ニ引残弐升九合九夕七才過納
右過納代ニて渡シ出入無之候
　皆済申候　　作兵衛㊞
　権十郎分㊞

立丁
一下田壱反三畝拾六歩
　此取四斗弐升弐合弐夕四才
神戸ニて
一下畑六セ九歩
　此取九升八合弐夕八才
　原　分
すわ山
一下畑八畝七歩
　此取八升五合六夕弐才
屋敷うら
一上畑壱畝廿弐歩
　此取五升四合八才
田畑取石〆六斗六升弐夕弐才
　此俵壱表三斗壱升弐夕弐才

（貼紙）
原ノ下二口〆壱反四畝拾六歩
此取壱斗五升壱合壱夕四才四郎右衛門ゟ入申候

（貼紙）
〆弐表壱斗壱升壱合三夕六才㊞

高ノ外ニ六升八合九才　御蔵番名主定夫給
〆
一納壱表三斗五升弐合
高ニ引残壱斗七升七合四夕五才未進
右之未進代□取相済出入無之候
皆済㊞　　権十郎㊞
三右衛門分㊞

立丁
一中田壱反壱セ拾八歩
此取四斗八升弐合五夕六才
七反め丁
一下田五セ廿六歩
此取壱斗八升三合四才
同所谷ッ分
一下畑九歩
此取四合六夕八才
行人塚原分

一下畑八畝壱歩
此取八升三合五夕四才
田畑取石〆七斗五升三合八夕弐才
此俵弐表五升三合八夕弐才
高ノ外四升四合五才　御蔵番名主定夫給
〆
一納五表三斗壱升三合
（内壱表もち　与兵衛方へ斗
内弐表三斗弐升　与兵衛方へ斗）
高ニ引残五升壱合五才未進
右之未進相済出入無之候
皆済㊞　　三右衛門㊞
清兵衛分㊞

寺ノ前
一中田壱反三畝六歩
此取五斗四升九合壱夕弐才
市場ノ上谷ッ分
一下畑七畝廿壱歩
此取壱斗弐升壱夕弐才

原　分

一下畑四畝廿八歩

同　分

一下畑六畝拾歩

原ノ下弐口〆壱反壱セ八歩

此取壱斗壱升七合七夕六才

田畑取石〆七斗八升六合四夕

此俵弐表八升六合四夕

高ノ外五升三合八夕弐才　三右衛門方ゟ入申候

高ノ外四升四合四才ハ御蔵番名主定遣給

一納〆弐表壱斗五升七合四夕

内壱俵ハ餅

高ニ引残弐升七合弐夕弐才未進

右之未進相済出入無之候

皆済㊞　　清兵衛㊞

佐右衛門分㊞

谷ッ中

一下田弐畝廿九歩

此取九升弐合五夕六才

あなだ

一中田八畝廿壱歩

立丁

一中田壱反三畝廿六歩

中弐口〆弐反弐畝拾七歩

此取九斗三升八合七夕七才

原　分

坂ノ上平右衛門分

一下畑六セ七歩

同分同人分

一下畑八セ拾五歩

同分

一下畑壱反九畝廿四歩

同分

一下畑壱反歩

三本松同分　伝兵衛とわり合也

一下畑壱反弐セ三歩

同分　半右衛門分
一下畑三セ七歩
原ノ下六口〆五反九畝廿六歩
此取六斗弐升弐合六夕
屋敷うら茂左衛門分
一上畑三セ拾三歩
此取壱斗七合壱夕弐才
田畑取石〆壱石七斗六升壱合五才
此俵五表壱升壱合五才
此弐表ハ甚左衛門分
一納六表壱斗弐升六合
内三表　甚左衛門斗　太郎兵衛方へ
内壱俵壱斗五升　同断斗分　太郎兵衛分斗
右之弐俵之分甚左衛門納　出入無皆済
佐右衛門
一納七表壱斗三升八合三夕三才
内小麦米ニ入
内壱表八合餅

内弐表三斗　十左衛門ニ斗
内壱斗壱升五合　満正寺分斗
内壱表弐斗　太郎兵衛分斗
高ニ引残壱斗九升四合七夕六才未進
右未進皆済出入無之候
佐右衛門㊞
三良左衛門分㊞
一下田壱反壱セ拾壱歩
ふじき
谷ッ中
一下田弐畝拾壱歩
下弐口〆壱反三畝廿弐歩
此取四斗弐升八合四夕八才
山崎
一下畑壱セ廿六歩
此取弐升九合壱夕弐才
神戸
一中畑壱反三セ九歩
〃
一中畑壱反壱セ廿歩

谷ッ中弐口〆弐反四畝廿九歩
　此取五斗壱升九合三夕
三本松　原　分
一下畑八畝歩
　此取八升三合弐夕
　田畑取石〆壱石六升壱夕
　此俵三表壱升壱夕
納三表三升八合
高ニ引残六升壱夕九才未進
右之未進相済出入無之候
　皆済㊞　　三郎左衛門㊞
　善左衛門分㊞
城口ニて
一下田弐反歩
　此取六斗弐升四合
宮ノ前
一中田弐反拾八歩
　此取八斗五升六合九夕六才

土支田ニて
一上畑壱反八畝廿四歩
　此取五斗八升六合五夕六才
坂ノ上　原　分
一上畑五セ三歩
　此取壱斗六合八才
屋敷うら
一上畑壱セ三歩
　此取三升四合三夕弐才
一下畑壱反弐畝拾七歩　九兵衛方ゟ取
　此取壱斗三升六夕九才
　田畑取石〆弐石三斗三升八合六夕壱才
　此俵六表弐斗三升八合六夕壱才
一納〆六俵三斗五升八合
　内小麦米ニ入
　内弐表八升三合
高ニ引残三升三合三夕過納
右之過納相済出入無之候

皆済㊞　　善左衛門㊞
七右衛門分㊞

城口ニて
一下田弐畝歩
谷ノ中
一下田壱畝歩
ふしの木
一下田壱反壱セ六歩
下三口〆壱反四セ六歩
此取四斗四升三合四才
市場上　市兵衛分取
一中畑壱反壱セ歩
此取弐斗弐升八合八夕
さか七郎右衛門分取　原分
一中畑七畝廿六歩
三反壱セ拾三歩ノ内也
此取壱斗弐升弐合七夕弐才
松ノ下ニて同分

一下畑八畝歩
此内廿歩ハたし壱縄ハ七畝拾歩ニ付也
此取八升三合弐夕
田畑取石〆八斗七升七合七夕六才
此俵弐俵壱斗七升七合七夕六才
一納五俵弐斗三升四合
内小麦米ニ入
内壱斗三升餅
内弐表壱斗八升　満正寺方へ斗分
高ニ引残壱斗五升八合壱夕五才過納
右之過納米ニて渡し相済出入無之候
皆済㊞　　七右衛門㊞
市郎兵衛分㊞

山崎
一下田七畝廿八歩
此取弐斗四升七合五夕弐才
牛房まへ谷ッ分
一中畑弐反三畝廿七歩

同　分

〃
一中畑壱反八畝拾壱歩
谷ッノ中弐口〆　四反弐セ八歩
　此取八斗七升九合壱夕五才
いとくぼ　原　分
一下畑壱反弐セ拾弐歩
上ノ原　同分
一下畑六セ拾弐歩
原ノ下弐口〆壱反八畝廿四歩
　此取壱斗九升五合五夕弐才
田畑取石〆壱石三斗弐升弐合壱夕九才
　此俵三表弐斗七升弐合壱夕九才
一納三俵弐斗九升三合三夕三才
高ノ内ニて
一下田弐畝□引　承応三午引帳
　此取六升弐合四夕分
一下田拾歩引　寛文五巳ノ引帳
　此取壱升三夕八才ハ引

高ニ引残五合八夕三才過納
右之過納代ニて渡候
　皆済　　市郎兵衛㊞
　　忠右衛門分㊞

牛房まへ
一下田壱反六畝廿七歩
　此取五斗弐升七合弐夕八才
屋敷うら
一上畑七セ拾四歩
　此取弐斗三升弐合九夕六才
とうりのまへ谷ッ分
一中畑壱反弐セ歩
一中畑七畝八歩
谷ッ中弐口〆壱反九畝八歩
　此取□七夕五才
とうりのまへ
一下畑三セ拾五歩
一下畑五セ拾八歩

一下畑六セ廿壱歩
谷ッノ下三口〆壱反五セ廿四歩
此取弐斗四升六合四夕八才
上原　原　分
一下畑壱反三セ拾八歩
此取壱斗四升壱合四夕四才
田畑取石〆壱石五斗四升八合九夕壱才
此俵四表壱斗四升八合九夕壱才
一納四表弐斗五升九合六夕六才
内小麦米ニ入
内壱俵餅
高ニ引残弐升二合六夕六才過納
右ノ過納相済出入無之候
皆済㊞　忠右衛門㊞
市郎兵衛分㊞
あなだ
一中田九畝歩
此取三斗七升四合四夕

白子かいど　弥次右衛門分
一中畑八畝廿八歩
此取壱斗八升五合八夕壱才
同人分
一下畑六畝拾九歩
此取壱斗三合四夕八才
田畑取石〆六斗六升三合六夕九才
此俵壱表三斗壱升三合六夕九才
一納五表九升壱合
内弐表弐斗五升　太郎兵衛分斗
内壱斗九升　太郎兵衛分斗
高ニ引残壱升七夕八才未進
右之未進□
皆済　市郎兵衛㊞
金右衛門分
越ノ下ニて
一中田五畝廿三歩
せど

一中田拾三歩
立丁
一中田壱反四畝拾弐歩
中三口〆弐反拾八歩
此取八斗五升六合九夕六才
越ノ下七郎右衛門分
一下田八畝廿弐歩
此取弐斗七升弐合四夕八才
牛房三ッ割
一中畑九畝六歩
此取壱斗九升壱合三夕六才
一郎右衛門とかい地
一〃下畑六畝拾弐歩
此取九升九合八夕四才
原　分
宮ノね
一下畑三畝廿弐歩
構ノ内　同分

一下畑壱反四畝歩
同分
一下畑弐反五畝拾歩
同分
一下畑七畝廿三歩
九郎右衛門分かい地
一下畑壱反八畝拾歩
原ノ下五口〆六反九畝五歩
此取七斗壱升九合三夕三才
屋敷うら
一上畑壱畝廿六歩
此取五升八合弐夕四才
田畑取石〆弐石壱斗九升八合弐夕壱才
此俵六俵九升八合弐夕壱才
高ノ内ニて
一下田壱畝歩引　是ハ承応三午ノ年ゟ
此取三升壱合弐夕引
〆
一納五表九升六夕六才

内小麦米ニ入
内弐俵餅
高ニ引残壱表六升四合四夕四才未進
金右衛門
四百三十弐文取
弥右衛門分㊞
越ノ下ニて
一上田壱反七畝廿壱歩
此取九斗弐升四夕
五反田ニて
一中田弐反弐セ拾四歩
此取九斗三升四合六夕壱才
谷ノ中
一下田弐拾歩
此取弐升八夕也
牛房谷ッ分
一中畑壱反廿八歩
此取弐斗弐升七合四夕
同　分

一下畑七畝六歩
此取壱斗壱升弐合三夕弐才
三本松　原　分
一下畑弐反三畝拾八歩
此取弐斗四升五合四夕四才
屋敷うら
一上畑弐畝廿歩
此取八升三合弐夕
田畑取石〆弐石五斗四升四合壱夕七才
此俵七表九升四合壱夕七才
高ノ内ニて
一下田壱畝歩引　是ハ寛文八申引帳
此取三升壱合弐夕
〆
一納拾表五升六合六夕五才
内小麦米ニ入
内弐表弐斗七升七合五夕
此内壱表ハもち　太郎兵衛分斗
高ニ引残壱升九合壱夕未進

右之未進相済出入無之候
皆済㊞　弥右衛門㊞
利兵衛分

たわらくほ
一下田弐反歩
此取六斗弐升四合
原　分

坂ノ上
一上畑九畝九歩
此取壱斗九升三合四夕四才

道添　原　分
一下畑弐反歩
此取弐斗八合

屋敷うら
一上畑壱畝五歩
此取三升六合四夕

田畑取石〆壱石六升壱合八夕四才
此俵三表壱升壱合八夕四才

右皆済出入無之候
忠兵衛分㊞　利兵衛

三田□ニて
一上田壱反九畝四歩
一上田壱反壱畝廿七歩
上弐口〆三反壱畝壱歩
此取壱石六斗壱升三合七夕三才

五反田
一中田壱畝弐歩

越ノ下　三太郎分
一中田六畝拾八歩

七反め丁　同人
一中田七畝拾四歩
〃　同人分
一中田壱反廿四歩

城口　七郎右衛門分
一中田七畝廿七歩
中五口〆三反三セ廿五歩

此取壱石四斗七合四夕五才

城口　同人分取

一上田三畝廿七歩

此取弐斗弐合八夕

五安まへ　谷ッ分

一下畑五畝拾弐歩

〃一下畑壱反六畝四歩

谷ッ下弐口〆弐反壱セ拾六歩

此取三斗三升五合九夕弐才

原　分

坂ノ上

一中畑壱反壱セ廿歩

此取壱斗八升弐合也

上ノ道添　作十郎方ゟ取

一下畑壱反四畝拾四歩

右是ハ二筆〆之場弐反六畝十四歩を壱反弐セ歩

ハ作十郎方ニ有

右ハ九郎左衛門とかい地也

越ノ上　原　分

一下畑壱反九畝拾八歩

松ノ下

一下畑九畝弐歩

道添　勘次郎方ゟ取

一下畑壱反壱畝歩

〃　同人分

一下畑六畝七歩

原ノ下五口〆六反拾壱歩

此取六斗弐升七合八夕

屋敷うら

一上畑弐畝四歩

此取六升六合五夕六才

田畑取石〆四石四斗三升六合弐夕六才

此俵拾弐表弐斗三升六合弐夕六才

高ノ内ニて

一下田弐畝拾八歩引　寛文八申引帳

此取八升壱合壱夕弐才引

一〆納拾弐表三升壱合壱夕壱才
内小麦米ニ入
内三表三升弐合餅
内弐表壱斗五升　作左衛門ゟ斗
内壱俵　五左衛門ゟ斗
内弐俵壱斗五升　半左衛門ゟ斗
内壱俵壱斗八升五合あかつか作右衛門ゟ斗
高ニ引残壱斗七升三合壱才未進
右之未進請取出入相済申候
皆済　忠兵衛㊞
虎之助分㊞

越ノ下
一中田壱反弐畝廿七歩
此取五斗三升六合六夕四才
牛房　谷ッ分
一下畑六畝廿歩
此取壱斗四合
越ノ上　原分
一下畑壱反弐セ壱歩
此取壱斗弐升五合壱夕五才
田畑取石〆七斗六升五合七夕九才
此俵弐表六升五合七夕九才
一納弐表六升九合四夕九才　是ハ忠兵衛ゟ斗内
皆済　とらの助㊞
吉左衛門分

城口
一上田壱反九畝廿四歩
此取九斗九升弐合壱夕六才
一中田七畝拾壱歩
一中田九畝拾九歩
中弐口〆壱反七畝歩
此取七斗七合弐夕
谷ッ分
一中畑四畝六歩
同分
一中畑九畝歩

同分
一中畑八畝拾三歩
同分
一中畑壱反拾弐歩
同分
一中畑壱反拾弐歩
同分
一中畑七畝歩
一中畑壱反壱畝六歩
同分
一中畑弐反弐歩
同分
一中畑九畝九歩
谷ッノ中九口　九反歩
此取壱石八斗七升弐合
田畑取石〆三石五斗七升三合三夕六才
此俵拾表七升三合三夕六才
一納拾俵三斗四升八合

内小麦米ニ入
内壱俵ハ餅
内弐俵弐斗ハ　庄右衛門ゟ斗
高ニ引残壱斗八升八合五夕過納
右之過納相済出入無之候
皆済　吉左衛門〇
十左衛門分㊞

牛房
一下田六畝歩
〃
一下田壱反壱畝拾弐歩
〃
一下田壱反壱畝三歩
下三口〆弐反八畝拾五歩
此取八斗八升九合弐夕
土支田
一上畑八畝拾三□
屋敷添

一上畑壱反廿歩
谷ッ上弐口〆壱反九畝三歩
此取五斗九升五合九夕弐才
屋敷添
一下畑三セ拾四歩
〃
一下畑壱反壱セ廿八歩
〃
一下畑壱反壱セ廿弐歩
〃
一下畑八セ歩
〃
一下畑四セ廿四歩
〃
一下畑壱反三セ壱歩
一下畑三セ七歩　与右衛門屋敷成
谷ッ下七口〆五反六畝六歩
此取八斗七升六合七夕弐才

田畑取石〆弐石三斗六升壱合八夕四才
此俵六表弐斗六升壱合八夕四才
一納五表壱斗七升六合六夕六才
内小麦米ニ入
内壱表壱斗六升八合もち
内弐俵三斗　佐右衛門斗
高ニ引残壱表壱斗七升三合弐夕七才未進
右之未進代ニて相済出入無之候
皆済㊞　十左衛門㊞
太郎兵衛分
宮のまへ
一上田壱反弐畝拾歩
此取六斗四升壱合三夕三才
せと
一中田壱反壱畝廿弐歩
〃　六左衛門とかい地
一中田拾弐歩
〃　助次郎分

一中田壱畝歩
中三口〆壱反三畝四歩
此取五斗四升六合□夕五才
すなんた
一下田弐反六畝壱歩
なかれ
一下田九畝廿壱歩
下弐口〆三反五セ廿弐歩
此取壱石壱斗壱升四合八夕八才
せと　弥右衛門
一下畑廿歩
たわらくほ
一下畑四畝歩
谷ッノ下　弐口〆四畝廿歩
此取七斗弐合八夕
屋敷
一上畑四畝拾六歩
此取壱斗四升壱合四夕四才

セと
一中畑拾八歩
五安　久兵衛分
一中畑九セ歩
谷ッ中弐口〆　九畝拾八歩
此取壱斗九升九合六夕八才
原　分
越ノ上
一下畑三反壱セ拾歩
道向　同分
一下畑壱反弐歩
いとくほ　源右衛門五左衛門分
一下畑四反三セ拾歩
原ノ下三口〆八反四セ廿弐歩
此取八斗八升壱合弐夕
田畑取石〆三石五斗九升七合六夕八才
此俵拾表九升七合六夕八才
一下田壱セ歩引　寛文八申引帳

此取三升壱合弐夕引
五郎左衛門分㊞
谷中
一下田拾五歩
此取壱升五合六夕
□
一中畑六畝拾六歩
此取壱斗三升五合八夕九才
屋しきうら
一上畑壱畝弐拾五歩
此取五升七合弐夕
田畑取石〆弐斗八合六夕九才
一納四表弐斗四升四合
内壱表もち
内四表太郎兵衛分斗
内壱表壱斗左次兵衛ゟ斗
高ニ引残五升弐合七夕八才未進
右之未進相済出入無之候

皆済㊞
伝兵衛分㊞
権左衛門㊞
一下田四反四畝拾五歩
此取壱石三斗八升八合四夕
坂上　原分
一上畑九畝九歩
此取壱斗九升三合四夕四才
屋しきうら
一上畑四畝廿四歩
此取壱斗四升九合七夕六才
すわの原　伊右衛門かい地
一下畑三反三畝歩
三本松
一下畑壱反弐畝三歩
牛房うへ
一下畑壱反歩
前三口〆五反五セ三歩
此取五斗七升三合四才

高六表弐斗二升四合六夕四才
六表九升三合六夕也
一納六表五升五合六夕
内小麦米ニ入
内壱表壱升五合もち
内壱斗五合　万正寺分斗
高ニ内弐表壱升八合六夕太郎兵衛方ゟ取米
高ニ引残三斗四合壱夕三才未進
右之未進代ニて相済出入無之候
皆済㊞　伝兵衛㊞
次兵衛分㊞
あいの田
一中田弐畝廿四歩
ミやノまへ
一中田八畝拾五歩
市場下
一中田壱反四畝拾五歩
中三口〆　弐反五セ廿四歩

此取壱石七升三合弐夕八才
あいの田島
一中畑弐拾四歩
市場ニて
一中畑壱反五畝廿六歩
中二口〆壱反六畝廿歩
此取三斗四升六合六夕六才
田畑取石〆壱石四斗壱升九合九夕四才
此俵四表壱升九合九夕四才
一納三表弐斗八升五合
内三斗五升八合もち
内壱表壱斗三升　太郎兵衛分斗
高ニ引残壱表三斗弐升三合三才未進
右之未進代ニて請取皆済申出入無之候
次兵衛㊞
七郎左衛門分㊞
山崎
一下田八歩

牛房
一下田拾八歩
〃
一下田四畝廿七歩
たわら久保ニて
一下田七畝壱歩
こほう
一下田壱反六畝拾九歩
下五口〆弐反九セ拾三歩
此取九斗壱升八合三夕弐才
前畑ヶ　谷ッ分
一上畑壱反壱畝廿壱歩
此取三斗六升五合四才
川はた　同分
一中畑壱反七セ拾歩
〃　同分
一中畑八セ歩
谷ッノ中弐口〆弐反五セ拾歩
此取五斗弐升六合九夕三才
川向
一下畑六セ歩
遠谷ッ
一下畑壱反壱セ三歩
とうりのまへ
一下畑五セ弐歩
〃　弐筆〆
一下畑壱反壱セ四歩
〃
一下畑壱反九セ拾五歩
〃
一下畑四セ廿弐歩
五筆〆之分
一下畑弐反壱セ拾壱歩
谷ッノ下七口〆七反八畝廿七歩
此取壱石弐斗三升八合四才
上ノ　原　分

三筆〆

一下畑壱反六畝廿四歩

此取壱斗七升四合七夕弐才

田畑取石〆三石弐斗壱升五合八夕五才

此俵九表六升五合八夕五才

一納〆九俵壱斗六升九合三夕三才

内小麦米ニ入

内弐俵餅

高ニ引残壱升五合三夕九才過納

右之過納相済出入無之候

皆済㊞　七郎左衛門㊞

下

九兵衛分〇

屋敷うら

一上畑弐拾歩

此取弐升八夕

九升八夕九才

六升九合九才ツヽ　名主定遺給ニ出ス

右之米代ニて取

皆済　九兵衛〇

作十郎分

三本松　原分

一下畑壱反弐畝歩　九郎左衛門かい地

弐筆〆弐反六セ拾四歩と壱反四セ拾四歩ハ忠兵衛方

ヘ戌ノ年売渡し申候

右之取壱斗弐升四合八夕

喜兵衛分

滝河原　七左衛門分

一中田壱セ拾三歩

此取五升九合六夕三才

同人分

一中畑壱セ廿歩

此取三升四合六夕七才

右弐口〆取九升四合三夕

弐升ハ御蔵番名主定夫給ニ引

納壱斗壱升四合三夕

満正寺分〇

七反めヿ　勘三郎分
一中田弐拾歩
　此取弐升七合六夕三才
〃　彦右衛門分
一下田弐拾四歩
□□右衛門分
一下田拾五歩
名付ハ彦右衛門分是ハ地福寺分也
一下田壱反六畝弐歩
　下三口〆壱反七セ拾壱歩
　此取五斗四升壱合八夕四才
寺ノ上　地福寺分
一下畑四畝廿四歩
宮ノまへ　同分
一下畑三セ廿七歩
山崎太郎右衛門分也　左兵衛分かい地
一下畑壱反廿歩
谷ッ下三口〆壱反九セ拾壱歩
　此取三斗弐合壱夕弐才
　原　寺分
諏訪をし出し
一下畑壱反九畝六歩
　此取壱斗九升九合六夕八才
田畑取石〆壱石七升壱合弐夕八才
　此俵三表弐升壱合弐夕七才
一納三表三升
　内弐表壱斗八升　七右衛門斗
　内弐斗弐升　伝兵衛ゟ　佐右衛門ゟ二人斗
〆高ニ引残八合七夕三才過納
右過納代ニて相済出入無之候
　皆済　　万正寺〇
　彦兵衛分
谷ッ中市場下ニて彦右衛門分
一下田弐拾四歩
　此取弐升四合九夕六才
　原　分

越ノ上　庄蔵分
一下畑四畝八歩
行人塚　彦右衛門分
一下畑弐畝拾八歩
〃　同分
一下畑弐畝廿歩
諏訪山ノうら
一下畑五セ歩
〃
一下畑八畝壱歩
一郎右衛門もらい取
一下畑六畝歩
〃　彦右衛門分
一下畑七畝歩
〃
一下畑六畝廿歩
〃
一下畑六畝廿九歩

原ノ下九口〆四反九畝六歩
此取五斗壱升壱合六夕八才
田畑取石〆五斗三升六合六夕四才
此俵壱表壱斗八升六合六夕四才
一納三表壱斗八升五合六夕六才
内弐表五升　太郎兵衛分斗
内小麦米ニ入
高ニ引残壱斗三升九合七才未進
彦兵衛
勘次郎分
屋敷うら
一上畑壱畝拾八歩
此取四升九合九夕弐才
兵右衛門分㊞
市場下ニて
一中田弐反九畝七歩
ミやノまへ
一中田壱反廿九歩

同所

一中田壱反三セ拾三歩

中三口〆五反三セ拾九歩

此取弐石弐斗三升

越ノ下ニて

一下田五畝歩

城ノ下

一下田壱畝拾歩

あなだ

一下田七畝廿八歩

下三口〆壱反四セ八歩

此取四斗四升五合壱夕弐才

やしきうら

一上畑七畝廿歩

此取弐斗三升九合弐夕

牛房　谷ッ

一中畑三反六畝廿四歩

うらの山ニて

一中畑九畝歩

是ハ壱縄ニ壱反五セ歩之内　勘左衛門と弐ッわり

谷ッノ下弐口〆四反五セ廿四歩（ママ）

此取九斗五升弐合六夕四才

滝河原ニて

一下畑拾弐歩

五安

一下畑壱反壱セ六歩

谷ッ

一下畑壱畝拾五歩

〃

一下畑三畝歩

寺ノ上

一下畑七畝拾八歩

谷ッノ下五口〆弐反三セ廿壱歩

此取三斗六升九合七夕弐才

原　分

一上畑壱セ歩

同分
一上畑壱反四セ四歩
原ノ上弐口〆壱反五セ四歩
此取三斗壱升四合七夕七才
□ノ上　同分
一下畑六セ歩
同分
一下畑三畝拾歩
原ノ下弐口〆九畝拾歩
此取九升七合七才
田畑取石〆四石六斗四升九合六夕五才
此俵拾三表九升九合六夕五才
高ノ内ニて
一下田拾五歩引　是ハ寛文五巳引帳
此取壱升五合六夕引
高ノ内ニて
一下田弐セ歩引　是ハ承応三午引帳
此取六升弐合四夕引

納拾三表八升壱合六夕六才
内小麦米ニ入
内三表壱斗三升八合もち
高ニ引残弐升八合八才　未進
右之未進相済
とらノ二月十日ニさん用して
兵右衛門㊞
七左衛門分㊞
寺まへ
一上田壱反四畝拾五歩
此取七斗五升四合也
島
一中畑弐畝拾八歩
此取五升四合八才
屋敷うら
一上畑三畝四歩
此取九升七合七夕六才
原　分

一下畑五畝拾六歩
　同分
一下畑弐畝廿四歩
　同分
一下畑弐反九セ拾四歩
原ノ下三口〆三反七セ廿四歩
　此取三斗九升三合壱夕弐才
田畑取石〆壱石弐斗九升八合九夕六才
　此俵三表弐斗四升八合九夕六才
一納三表三斗弐升六合六夕六才
　内小麦米ニ入
　内壱表餅
高ニ引残壱升四夕未進
右之未進代ニて相済
　皆済㊞　　七左衛門㊞
　吉兵衛分㊞
宮ノ下
一上田壱反五畝五歩
　此取七斗八升八合六夕六才

原　分
一下畑四セ歩
　同　分
一下畑弐セ歩
　同　分
一下畑壱反四セ歩
原ノ下三口〆弐反歩
　此取弐斗八合
やしきうら
一上畑弐畝歩
　此取六升弐合四夕
田畑取石〆壱石五升九合六才
　此俵三表九合六才
一納三表
　内壱斗八升五合餅
高ニ引残九升七合六夕九才未進
右之未進出入無之候
　皆済㊞　　吉兵衛㊞

与兵衛分㊞

七反丁

一下田壱反九セ拾五歩

此取六斗八合四夕

宮ノ下

一中田壱反三セ九歩

市場

一中田弐反壱畝廿五歩

中弐口〆　三反五セ四歩

此取壱石四斗六升壱合五夕四才

土支田　谷ッ分

一上畑壱反四セ九歩

此取四斗四升六合壱夕六才

牛房　同分

一中畑壱反八畝拾弐歩

此取三斗八升弐合七夕弐才

山崎　将監分

一下畑三セ拾壱歩

此取五升弐合五夕弐才

原　分

山ね　茂左衛門分伊右衛門とかい地

一下畑壱反三セ廿六歩

瓜ノミ

一下畑壱反九セ拾弐歩

いとくほ　同分

一下畑弐畝廿歩

三本松　七反壱畝弐歩之内三太郎方ゟ取

一下畑弐畝廿六歩

原ノ下四口〆三反八畝廿四歩

此取四斗三合五夕弐才

山崎谷ッ分　七郎右衛門分かい取

一下畑三セ九歩

此取五升壱合四夕八才

田畑取石〆　三石四斗六合三夕四才

此俵九表弐斗五升六合三夕四才

高内ニて

一下田六歩引
　此取六合弐夕四才　是ハ寛文五巳年ゟ
一納九俵三斗八升六合六夕六才
　内小麦米ニ入
　内三俵三斗弐升　三右衛門ゟ斗
　内三俵ハ六兵衛ゟ斗
　内三俵ハ久右衛門ゟ斗
高ニ引残四升七合六夕六才過納
右之過納米ニて相済出入無之候
　皆済㊞　　与兵衛㊞
　与右衛門分㊞
牛房谷ッ分
一下畑八畝廿壱歩
〃　同分
一下畑六畝九歩
〃　同分
一下畑壱反壱セ拾歩
〃　同分

一下畑四畝八歩
谷ッノ下四口〆三反拾八歩
　此取四斗七升七合三夕六才
　此俵壱表壱斗弐升七合三夕六才
高之外五升ハ御蔵番名主定夫給也
一納壱俵壱斗八升五合
　内小麦米ニ入
高ニ引残七合六夕四才過納
　与右衛門㊞
我等はん無御座候間八郎右衛門㊞はんかり申候
　五左衛門分㊞
谷ッ中
一下田五畝拾八歩
市場ノ下　源右衛門とわり合
一下田廿壱歩
下二口〆　六畝九歩
　此取壱斗九升六合五夕六才
　壱反三セ四歩ニてわり合

□右ハ三筆〆之内
一下畑壱畝廿弐歩
〃
一下畑弐畝拾弐歩
〃
一下畑壱畝拾九歩
一下畑壱畝拾五歩
谷ッ下四口〆七畝八歩
此取壱斗壱升三合三夕六才
田畑取石〆三斗九合九夕弐才
一納拾弐表弐斗四升四合六夕六才過納
高ニ引残八升三合九夕九才過納
右過納米ニて相済出入無之候
皆済㊞　五左衛門㊞
善兵衛分㊞
谷ノ下
一上田壱反壱畝廿七歩
此取六斗壱升八合八夕
一中田七畝六歩
一中田壱畝六歩
一中田壱反七畝弐歩
中三口〆弐反五畝拾四歩
此取壱石五升九合四夕壱才
谷ニて
一下田廿壱歩
一下田弐セ拾七歩
下弐口〆三セ八歩
此取壱斗壱合九夕弐才
市場下　五左衛門分未6拾年
一中田壱反五セ廿弐歩
此取六斗五升五合八夕八才

（貼紙）
一納三表壱斗三升
内弐斗ハ太郎兵衛方へ納
内壱斗八升八合平兵衛方へ納
内壱表ハ忠兵衛方へ納

同所　久左衛門分取
一中畑五セ拾八歩
白子かいと同人取
一中畑壱反六セ拾歩
〃
一中畑壱反四セ拾弐歩
谷ッ中三口〆三反六畝拾歩
此取七斗五升五合七夕三才
屋敷添
一上畑八セ廿六歩
此取弐斗七升六合六夕四才
とうのまへ
一下畑六歩
一下畑弐畝拾歩
谷ッノ下二口〆弐畝拾六歩
此取三升九合五夕弐才
原　分
一下畑五反九歩

下四口〆也
此取五斗弐升三合壱夕弐才
田畑取石〆四石三升壱合弐才
此俵拾壱表壱斗八升壱合弐才
一納拾壱表弐斗四升四合六夕六才
内小麦米ニ入
内弐表壱斗三升四合餅
内弐表三斗四升五合　徳右衛門納
内三斗五升八合餅
高ニ引残弐升四合四夕五才未進
右之未進請取相済出入無之候
皆済㊞　善兵衛㊞
文右衛門分㊞
谷ッ分
一下畑壱反拾五歩
五安伊右衛門分かい取
此取壱斗六升三合八夕
高三俵壱斗壱合六夕四才　□共ニ

是ハ伝右衛門とわけ地　共ニ入
納三俵四升五合
　四升四合四才ハ　御蔵番名主定遣給引
高ニ引残壱斗六夕八才未進
右之未進代ニて請取相済出入無之候
　皆済㊞　　文右衛門㊞
一下田壱反十五歩　伝右衛門内ニ無之候
　小作源右衛門分
一四表九升納
　内四表弐斗五升　太郎兵衛方へ斗ル
小作高ニ引残而
　壱斗八升四合四夕ハ未進
此未進相済申候、以上
丑ノ十二月廿日　　源右衛門㊞
午ノ二月六日ニ請取申候

（冨澤泰次家文書　100—11）

一九　延宝四年正月　白子村丑寅卯三歳分取〆帳

（表紙）

延宝四歳　　白子村
丑寅卯三歳分取〆之帳
正月日

（縦帳）

丑之年分
一中畑八反三畝弐拾八歩
　此永五百九拾五文八分
一下畑拾八町五反弐畝弐拾七歩
　此永八貫三百三拾七文三分
一野銭三貫百弐拾弐文
三口〆永拾弐貫五拾五文壱分
　勘定仕壱文九分ふそく御座候
　寅之年分
一中畑八反三畝弐拾八歩
　此永五百四拾五文六分
一下畑拾八町五反弐畝弐拾七歩

此永八貫三百三拾七文三分
一野銭三貫百弐拾弐文
三口〆永拾弐貫四文九分
勘定仕壱分ふそく御座候
卯之年分
一中畑八反三畝弐拾八歩
此永五百八拾七文六分
一下畑拾八町五反弐畝弐拾七歩
此永九貫弐百六拾四文壱分壱りん
一野銭三貫百弐拾弐文
三口〆永拾弐貫九百七拾三文七分壱りん
勘定仕弐分九りんハふそく御座候
卯之年増割
一中畑　下畑弐口〆
此永三百八拾七文弐分壱りん
永壱文壱分壱りんハ過ニ而御座候
右之通丑寅卯両三年分我等共立合勘定仕候所高下無御座候、若右之外ニ相違御座候者何時ニよらす我等共立合割付可仕候、為其加判如此候、以上

延宝四年辰ノ正月吉日

野村彦太夫様

兵右衛門㊞　利兵衛㊞　藤左衛門㊞　長左衛門㊞　忠兵衛㊞　伝兵衛㊞　八郎右衛門㊞　六兵衛㊞　四郎左衛門㊞　久右衛門㊞　次兵衛㊞　重右衛門㊞　善兵衛㊞

（冨澤泰次家文書　101—16）

二〇 貞享三年一一月　白子村年貢割付

武州新倉郡白子村寅御成ケ割付之事　　高辻

一高五拾八石九斗四升四合

此反別

中畑八反三畝廿八歩　　反八拾八文

此取永七百三拾九文

下畑拾八町五反弐畝廿七歩　　反六拾五文

此取永拾弐貫四拾四文

畑小以拾九町三反六畝廿五歩

永合拾弐貫七百八拾三文

外

屋敷壱反廿四歩　　丑之改　萱野之内屋敷

此取永九拾文　　反八拾三文　　野銭

一永三貫三百四拾九文

外弐拾四文丑ゟ屋敷ニ成リ引

此萱野拾五町弐反八畝拾四歩

外壱反廿四歩丑ゟ屋敷ニ成

一永六百八拾文　　□雑木御林壱ヶ所下草銭

此御林三町四反八歩

永納合拾六貫九百弐文

右之通、当寅之御成ケ相究上者、村中大小之百姓并出作之者迄不残□□無高下割符、来極月十日以前急度皆済可仕者也

貞享三年

寅十一月　　笠七郎兵衛㊞

右之村

名主中

（富澤泰次家文書　122—411）

二一 元禄四年一一月　白子村年貢割付

武蔵国新倉郡白子村未御成ケ割付之事　　高辻

一高七拾五石三斗壱升五合

内壱石六斗五升弐合　見取場畑之内屋敷ニ成
午ゟ高ニ入

此反別弐拾六町九畝七歩

内壱反廿四歩　午改入
此分ヶ

中畑八反三畝廿八歩

此取永六百九拾七文　反ニ八拾三文

外八畝五歩　午ゟ屋敷ニ成

下畑拾九町九反三畝拾三歩

此取永拾壱貫九百六拾壱文　反ニ六拾文

下々畑五町壱反弐畝廿七歩

此取永壱貫七百九拾五文　反ニ三拾五文

内　壱反廿四歩　見取場午ゟ入
八畝五歩　下畑午ゟ屋敷ニ成入

屋敷壱反八畝廿九歩　午改

此取永弐百四拾七文　反ニ百三拾文

取永〆拾四貫七百文

外

一永壱貫九百七文　定納野銭

此萱野反別八町六反六畝廿六歩

一永六百八拾文　定納御林下草銭

此反別三町四反

一永拾六文　林銭

此雑木林壱反廿歩　反ニ拾五文

永納合拾七貫三百三文

右納次第

永拾五文　荏納

此荏七升五合　但永壱貫文ニ五石代

永三拾文　大豆納

此大豆壱斗五升　但永壱貫文ニ五石代

永拾七貫弐百五拾八文　金納

右之通当未御成ケ申付条、村中大小之百姓并出作之者迄不残立合、甲乙無之様致割符、極月十日以前急度可致皆済者也

元禄四年未十一月　石黒小右衛門㊞

白子村
名主
惣百姓

（冨澤泰次家文書　122―412）

三　元禄一三年四月　白子村年貢皆済目録

覚

一永拾貫八百六拾□□　本途
一永弐貫六百三文　小物成
一永四百弐拾壱文　口永
一永百八拾八文三分　高懸
一銀壱匁四分　歩銀
此永弐拾三文
〆拾四貫九拾七文三分
内　拾五文　荏
　　三拾文　大豆代引
残拾四貫五拾弐文□分
外永八文　中野大豆代
二口〆拾四貫六拾文三分
内拾三貫八百七拾五文　度々納
百八拾五文三分　此度納
内四拾八文　□村扶持代引但斗立三□□ニ付五
此米三升　拾六両かへ
右之通去卯之御年貢金皆済之所仍如件
元禄十三年辰四月十四日　白川団助㊞
白子村
太郎兵衛殿

（冨澤泰次家文書　122―419）

三三　明和三年九月　白子村堰破損に付冬納差免下知状

写

覚

一牛房堰場弐拾間余押切場
一百姓源兵衛持分場所川へり弐拾間余押切場
一俵久保堰場三間余押切場
右三ヶ所、当七月廿日・同廿八日両度之大風ニ而川満水堤押切堰押崩候ニ付、来春耕作難相成候間、為

普請料願之通り、当冬納之内米七拾九俵差免候、村中致出情入念仕立可申候、尤非分無之様ニ可致者也

明和三戌年九月七日

地頭印

下白子村
名主太郎兵衛

冨右衛門

亥十月五日差上申候、尤
御地頭様伊野原六左衛門様へ差上申候

（冨澤泰次家文書　122―520）

二四　天保二年六月　白子村小麦年貢取立帳

（表紙）

天保二年
小麦御年貢取立帳
卯六月　八日

（横帳）

覚

一小麦拾五俵壱斗五升
　但シ壱俵四斗四升入
　　壱斗五升ハ弐斗五升ニ入
　合六石八斗五升
一弐斗五升
　是ハ粉ニシテ御地頭所江
　例年之通り御見舞
一三斗八升　両ニ石三斗
　是ハ当日入用之分
三口合七石四斗八升
　但し高壱石ニ付
　六升五合七夕九才

一百七拾八文　粉挽賃
一弐百五拾弐文　俵拾六反
一五拾八文　縄拾房
一百七拾弐文　半紙七状
一拾六文　苧
一壱〆弐百五拾文　拾五人分　中喰

〆壱貫九百三拾六文

一弐斗三升三合六夕　地福寺
一六升三合五夕　万正寺
一弐升九合六夕　久城寺
一壱升七合七夕　観音寺
〆三斗四升四合四夕壱才
一六升四合八夕　不動院
一壱升六才　五郎
一壱合五夕壱才　三之丞
一九升弐才　太左衛門
一壱升四合九夕　勝三郎
一五合三夕　弥五右衛門
一六升六合九夕弐才　藤右衛門
一六合三夕　長兵衛
代三十四文
一壱斗七升弐夕　次助
内五升九合間違過　十二月七日返ス
三升九夕

此代弐百九十五文済

一八合七夕　佐平次
一九合三夕　忠兵衛
一六升壱合九夕　金之丞
一三升四合五夕　又七
一壱升五合八夕　又兵衛
一九升四夕　七兵衛
一壱升三合□夕　長兵衛分
一壱斗七升弐合五夕
〃壱斗八升九合九夕
〃弐斗三合壱夕　藤左衛門
一六升四合八夕　音次郎
一壱升六合六夕　金太郎
一九合三夕　清七
代五十壱文
一四升五合壱才　嘉兵衛
六
一四升壱合四夕六才　平蔵
〃壱斗六合四夕七才

一壱升壱合六夕　吉五郎
別口五升三合五夕　源助分
一四升壱合弐夕　久兵衛
代弐□(百カ)三十壱文
一弐升六夕　中屋 平左衛門
代百拾五文
一八升八合五夕　善蔵
一九升六合四夕　弥右衛門
一三升八合六夕　林蔵
一壱斗□升六合　新蔵
一五升三合三夕　万次郎
一壱升三合弐夕
一九合壱夕
一七升五合八夕　新田 吉右衛門
代七百八十文　市郎右衛門
内七合八夕九才　万正寺分共
代四拾壱文　宗清分
一四升八合五夕　太右衛門

一三合五夕　与右衛門
一壱升弐合八夕(四合)　文次郎
一三合七夕　藤吉
一六升三夕　彦八
一弐合四夕　伊兵衛
一壱升三合九夕　重右衛門
一六升三合三夕　弥七
一壱合八夕　平吉
代拾弐文
一九升六合四夕　政右衛門
一七升四夕　喜八
一壱斗四升九合弐夕　嘉七
一五升弐合六夕　伊丹屋 忠左衛門
一五升八夕　城山 三郎右衛門
一壱升八合三夕　平五郎
一九升五夕　源八
一壱斗弐升壱合五夕　徳右衛門
一六升五合七夕　作右衛門

一六合六夕　彦兵衛
一壱升八合九夕　久八
一壱斗壱升四合三夕　恒八
一弐升八合壱夕　徳次郎
一八升四合九夕　吉蔵
一弐斗九升六合壱夕　吉左衛門
一壱斗九升壱合六夕　久五郎
一七升壱合九夕　弥兵衛
一壱升七合九夕　惣七
一五升六合七夕　惣八
一壱升九合五夕　安左衛門
一四升九合五夕　市右衛門
一弐升六合六夕　牛房伝右衛門
一四升七合壱夕弐才　要右衛門
一三升壱合六夕　源七
一六升五合六夕　金兵衛
一壱斗壱合八夕　粂次郎
一五升五合六夕　清蔵

一弐斗八升五合六夕　利兵衛
一四升七合七夕　平六
一壱升五合六夕　勘五郎
一壱升壱合三夕弐才　藤七
一八升六合八夕　八左衛門
一弐升弐合四夕　佐吉
一六升九合八夕　与四郎
一九升七合　奥右衛門
一三升三合三夕　新五郎
一六斗弐升九合七夕　小源次
一四升弐合　津屋
代弐百三拾五文
一弐斗三升弐合　久右衛門
一弐合八夕　金蔵
代□文
一五升九夕　五郎
一壱斗三升四合　四郎兵衛
一壱斗五升六合　八五郎

一弐升九合七夕　　鉄五郎
一弐升弐合弐夕　　政右衛門
代百拾文請取
一弐升三合七夕　　向山太郎右衛門
一四升五合七夕　　藤左衛門
一弐合七夕　　文左衛門
一四升七合四夕　　藤吉
一壱斗壱升四合弐夕　　磯右衛門
一八升四合三夕　　藤五郎
一弐斗四升六合七夕　　茂兵衛

（冨澤泰次家文書　107―156）

三五　天保一五年一〇月　白子村年貢米拵方に付連印

証文

差上申一札之事

一御年貢米之儀麁略之取斗無之様精々心附、俵拵方等迄入念可申候事

一米量之節大勢立□り、又者物騒ヶ敷義無之様可仕候事

一米賦り之儀被仰渡之通堅ク相心得、都而勝手ヶ間敷義、猥ニ申上間舗候事

右之通堅ク相守心得違無之様被仰渡承知仕候、依之一同連印差上申候処仍而如件

下白子村

天保十五辰年十月十七日　百姓代　久五郎㊞
同　源八㊞
同　忠五郎㊞
組頭　市右衛門㊞
同　嘉兵衛㊞
年寄　小源次㊞
同　藤左衛門㊞
同　繁右衛門㊞
名主　茂兵衛㊞

御地頭様

（冨澤泰次家文書　123―570）

二六　弘化三年九月　白子村田方不作に付減免願書

乍恐以書付御願奉申上候

一武州新座郡白子村田持并村役人一同奉申上候、今般田方為　御検見御越被遊、隣村上新倉村ゟ当村御順村御触書之趣拝見承知奉畏候、然ル所当村田方之義も、先達而内見帳奉差上候通至而出来方不宜候ニ付、右上新倉村同様之出来方ニ御座候間、何卒　御慈悲ヲ以右上新倉村同様之唯合ニ被為　仰付被下置度御聞済被成　下置候様、乍恐以書付御願奉申上候、以上

当御□所

武州新座郡白子村

名主　勘兵衛

年寄　小源次

同　藤左衛門

弘化三午年九月四日

大熊善太郎様

御役所

2年　貢

二　村と生活

1　村

三七　享保六年八月　上新倉村明細帳

（表紙）
享保六年
武蔵国新座郡
上新倉村明細帳
子ノ八月
（縦帳）

一高九百五拾七石四斗弐升五合　御拳場　上新倉村
　此訳
内　高五百拾八石　下板橋御伝馬役高
　是ハ八年以前午ノ年、道中
　御奉行様ゟ御証文被為下置候
　残
　高四百三拾九石四斗弐升五合
二口合
高九百五拾七石四斗弐升五合
内　百弐拾三石三斗七升三合九夕弐才
　此訳　名主　平右衛門方
　六拾六石七斗四升八合　御伝馬役高
　残
　五拾六石六斗弐升五合九夕弐才
此反別弐拾九町九反四畝弐拾九歩六分四厘
　田方七町六反九畝六歩
内
　畑方拾三町弐反五畝弐拾三歩六分四厘
高　八百三拾四石五斗壱分（ママ）　五郎右衛門　伊左衛門　支配
　内四百五拾壱石弐斗五升弐合　御伝馬役高
　残三百八拾弐石七斗九升九合八才
此反別百拾八町四反四畝弐拾三歩三分六厘
　田方六拾町四畝三歩
内
　畑方五拾八町壱分六厘

此訳

森十一
上田弐拾三町七反六畝拾七歩　内　九反九畝拾四歩亥畑成引

分米弐百六拾壱石四斗弐升五合弐夕六才　五反四畝拾弐歩前々畑成引

森八
中田拾九町四反七畝九歩　内　三反三畝六歩前々永引　弐反五畝十四歩前々荒地引

分米百五拾五石七斗八升四合　壱反拾七歩東用水堀敷引　壱反壱畝九歩前々畑成

下田拾六町八反七畝歩　三町弐反四歩前々永引

分米八拾四石壱升壱合五夕弐才　内弐町壱反九畝拾七歩前々荒引　七畝弐歩畑成引

小以分米五百壱石弐斗壱升七合七夕六才

森九
上畑弐拾町三反六畝四歩

分米百八拾三石弐斗五升壱合七夕九才

森六
中畑拾弐町三反三畝拾歩

分米七拾三石九斗九升九合八夕六才

森二一
下畑弐拾弐町九反壱畝拾九歩

分米五拾石四斗壱升五合九夕弐才

森九
屋敷弐町七反九畝拾八歩三分六厘

分米弐拾五石壱斗六升五合八夕

小以分米三百三拾弐石八斗三升弐合四夕七才

外

田方　見取場無御座候

畑三反三畝歩　見取場

畑四反七畝八歩四厘

山畑七反弐畝歩　見取場

畑弐反八畝拾八歩　見取場

御林　無御座候

米壱石壱斗八合　山手米

稲作之跡麦作　不仕候

百姓林　無御座候

寛永八年未年　円城寺瀬兵衛

御水帳五冊　御縄

寛文六年午年　稲垣与九郎
御縄

名寄帳八冊　年寄七人壱冊つゝ
壱冊ハ五郎右衛門所持

大豆百石ニ付九升四合四夕
荏同断九升九合三夕
餅米壱斗七合八夕九才
六尺給
小穀割同断永五拾壱文五分
宿役割同断
高役百石ニ付金壱分宛々
漆　無御座候
絹　無御座候
紬　無御座候
綿　無御座候
紙役　無御座候
紙舟役　無御座候
紙漉役　無御座候
川運上　無御座候
海運上　無御座候
山銭　無御座候
野銭永六拾文上新倉村　出シ申候事
是ハ台村・根岸村入合
萱野銭　出シ申候事
鳥運上　無御座候
用水溜　六ヶ所
東方
沼池　沼　そうか　二ヶ所
東方　池　ゑなの池
境田悪水圦樋　長八間横四尺四分壱ヶ所
是ハ申ノ年伏替、当年拾八年ニ御座候
江川太郎左衛門様御代官所
掛樋　長三拾六間横壱尺弐寸壱ヶ所
是ハ卯ノ年御伏替、当年拾壱年ニ御座候
江川太郎左衛門様御代官所

右同断

西袋用水圦樋　長七間横三尺壱ヶ所

是ハ当子年御伏替被下候

ゑなノ池用水圦樋　長弐間横壱尺八寸壱ヶ所

是ハ亥ノ年御伏替、当弐拾七年ニ御座候

板倉周防守様御知行所ノ時

御高札三枚　矢来ハ竹もかりニ而御座候

村入用

御殿場御古城跡　無御座候

当村荒川西ゟ東江流申候

川除堤　長弐百間　御座候

御年貢米三斗九升入

但シ俵拵ハ五ッ所結ニ立縄十文字ニ掛り、口ハ茶かゝり、川ゟ下新倉村かし迄道法拾壱町程、江戸川道法拾三里余

御口米三斗七升入壱俵ニ壱升宛々

御口永壱貫文ニ三拾文宛々

当村広沢原拾七ヶ村入会草刈来り申候

荒川通りニ下新倉村入会之草刈来り申候　無御座候

当村ニかいこ　無御座候

江戸日本橋迄五里余、練馬・上板橋通りニ御座候

当村ゟ川越江御城迄五里余　御座候

猟師鉄砲　無御座候

おとし鉄砲　無御座候

当村市日　無御座候

下板橋中仙(ママ)通り、定助人馬指出シ申候

川越江通り、白子宿江人馬指出シ申候

板橋　長三間横八尺　四ヶ所

川越(衍カ)江通り、白子宿江人馬指出シ申候

板橋　長三間横八尺　四ヶ所

石橋拾ヶ所　長六尺横三尺

土橋　長五尺横三尺　二ヶ所

其外小橋共　拾ヶ所

御関所并番人之儀、御扶持方被下候義ハ当村ニハ

無御座候

田方　　土色へなま土・すくも土

畑ハ　　山取土

青土

くろかね土

上田壱反ニ付、質地金、新金三両程

中田壱反ニ付、質地金、新金弐両程

下田壱反ニ付、質地金、新金壱両弐分程

上畑壱反ニ付、質地金、新金弐両程

中畑壱反ニ付、質地金、新金壱両弐分程

下畑壱反ニ付、質地金、新金三分宛々

屋敷壱反ニ付、質地金、新金三両弐分程

田方種、壱反ニ籾反(ママ)ニ壱斗程

畑方壱反ニ種壱斗弐升程

田畑こやし之儀ハ江戸ゟ舟ニ而取申候

田方早稲、きのくに、并ゑいらく、并やるこ

舟之儀、当村持候者一切無御座候

并ニ渡シ舟　　無御座候

名主給、壱ヶ年ニ八俵宛々申候、年々弐人ニ相勤申候

年寄給米　　無御座候

定使壱人給米七俵宛々取申候、壱人ニ而相勤申候

名主御用ニ而、江戸江罷出候時者一夜留り、此雑用弐百五拾文、其日帰り百五拾文取申候、小夫共年寄り江戸江参時、壱日帰り百文、但リ(ママ)弐百文宛々、雑用小夫共ニ

造り酒屋壱間　　佐次兵衛

右高七石

男耕作之間ニ木草取り申候

女ハ常々たきゝヲ刈取申候

当村江他村ゟ田方出作少々御座候

当村ゟ他村江出作仕畑方不足ニ御座候

三拾町除(ママ)茂出作仕候

越石之者　　無御座候

高拾五石四斗弐升三合　　真言宗　光明山長照寺

高拾八石七斗五升八合　　真言宗　万政山満願寺

高弐石八斗五升五合　真言宗医王山東林寺　神子　無御座候
高六斗五升八合　同　正願寺　大工　三人御座候
高壱石四斗八合　同　宝積院　鍛冶　一切無御座候
水川明神（マヽ）　壱ヶ所　万願寺　木挽　一切無御座候
天神　同寺抱　馬医　一切無御座候
観音堂　同寺抱　壱ヶ寺　馬喰　一切無御座候
稲荷　壱ヶ所　長照寺抱　餅屋　一切無御座候
地蔵堂　東林寺　猟師　一切無御座候
免田畑、寺抱一切　無御座候　家数百六拾三間内　本百姓百五拾六間（会脱カ）　水　七間　男女　八百弐拾八人
郷蔵屋敷　蔵長四間横弐間　馬　五拾疋御座候
除地ニ御座候　牛　一切無御座候
車屋一切　無御座候　猿廻　同断
医者　一切無御座候　鐘うち　同断
浪人　一切無御座候　えひすおろし　同断
追放者　一切無御座候　非人共　同断
吉支丹類之族　一切無御座候　穢多　同断
座頭　一切無御座候
山伏弐人　御座候

関杭木　　台村　片山辻村　石神村　御林ニ而被下候

右之通り今度郷村御改ニ付明細ニ書上候通り相違無御座候、此外小物成ハ不及申ニ何ニも残候義無御座候、若隠置後日露顕候ハヽ何れ之曲事ニ茂可被仰付候、仍手如件

武州新座郡上新倉村
享保六年　　名主　伊左衛門
丑ノ八月　　同　五郎右衛門
松平九郎左衛門様　　年寄　庄左衛門
御役所　　同　利兵衛
同　兵左衛門
同　文右衛門
同　八郎右衛門
同　勘左衛門
同　市之助
名主　平右衛門
九左衛門
四郎左衛門

右之通り会田伊左衛門様、銘細帳面指上ヶ候通りニ而、丑十二月中松平九郎左衛門様江差上ヶ申候、以上

享保六年
丑ノ十二月廿六日

（桜井　晃家文書　1―1）

二八　享保一五年三月　上新倉村明細帳

（表紙）
享保十五年　武州新座郡
銘細村指出シ書上帳
戌三月　新倉村
（縦帳）

一高九百五拾七石四斗弐升五合
　此わけ　五百拾八石　下板橋町御伝馬勤高
　残高　四百三拾九石四斗弐升五合　諸掛り物高

一畑七反四畝拾八歩
此高三石六升五合　是ハ見取畑未年御改ニ付新高ニ入
一御水帳六冊
此わけ　寛永八未年御本紙御水帳四冊
当戌年迄百年ニ罷成申候
御勘定
牧野四郎右衛門様
中田重兵衛様
野島六郎左衛門様
坂部勘右衛門様
稲垣与九郎様
浅田忠右衛門様
円城寺瀬兵衛様
新井角兵衛様
田上忠右衛門様
寛文六午年御本紙御水帳壱冊
当戌年迄七拾年ニ罷成申候

御勘定
稲垣与九郎様
円城寺瀬兵衛様
享保十二未ノ年御本紙御水帳壱冊
当戌迄四年ニ罷成申候
御勘定
八木半三郎様
村上佐五左衛門様
一名寄八冊　是ハ先々ゟ組頭方ニ壱冊宛々所持仕候
上田弐拾三町七反六畝拾七歩（石盛拾壱）　内弐畝拾七歩前々永荒引
拾三町程　旱損場ニ御座候　壱町九反八畝廿八歩亥畑成
内
拾町余ハ　出水引掛申候　五反四畝拾弐歩前々畑成
中田拾九町四反七畝九歩（石盛八ツ）　内　三反三畝六歩　前々永引
弐反五畝十四歩　前々永引
壱反拾七歩　前々堀敷引
壱反壱畝九歩　前々未畑成
下田拾六町八反七歩（石盛五ツ）　内　三町弐反四歩　前々永引

是ハ水損場ニ御座候　弐町壱反九畝拾七歩前々永引
七畝弐歩　前々未畑成

石盛九ツ
上畑弐拾町三反六畝四歩
石盛六ツ
中畑拾弐町三反三畝拾歩
石盛弐斗弐升
下畑廿弐町九反壱畝拾九歩
石盛九ツ
屋敷弐町七反九畝拾八歩
石盛拾壱
上田弐町六反弐畝廿八歩　平右衛門組
石盛八ツ
中田弐町六反六畝歩　内三畝八歩永引
石盛五ツ
下田弐町四反七畝拾五歩　内五反七畝拾九歩永引
石盛九ツ
上畑三町四反拾七歩
石盛九ツ
屋敷三反八畝廿三歩六分四厘
石盛六ツ
中畑壱町九反八畝廿八歩
石盛弐斗弐升
下畑五町壱反六畝八歩
石盛壱斗五升
下々畑弐町弐反四歩

一米壱石弐斗六升八合　山手米　両組分
一米七斗七升壱合　年々金納仕来リ申候
一米五斗弐合　右同断　六尺給米（馬脱カ）御伝宿入用

一荏三斗八升五合　右同断　荏納
一大豆七斗七升壱合　右同断　大豆納
一永八貫文　萱野銭
一秣場之義、当村之義ハ巳年ゟ反ニ永拾文つゝ御上納仕、此場所ニ而秣刈取申候、広沢原分
一荒川通り堤外巳年中秣場ニ御願申上候而、反ニ永三拾五文つゝ御上納仕、此場所ニ而秣刈取申候
一下板橋町助郷御伝馬、弐拾年以前寅年被　仰付、半高ニ而相勤申候
一家数弐百三軒　御座候
内寺五ヶ寺　御座候
一人数千拾八人　内男五百九拾壱人　女四百弐拾七人　御座候
一馬四拾八疋　御座候
一牛ハ　一切無御座候
一御城米船出シ之義ハ、下新倉村芝宮かにかふちと申所江拾三町付出シ、浅草御蔵前迄川道拾三里余御座候、但シ荒川
一上新倉村ゟ岡道日本橋迄、道法五里余御座候

一川除堤千弐百間　御座候
一用水堀四筋　御座候
一普請所関々八ヶ所御座候
是ハ杭木志から竹、年々入候場所ニ御座候、自普請ニ仕候
一悪水・用水・圦樋・筧共ニ六ヶ所御座候、志から竹羽口萱等ハ、御公儀様御入用を以御伏替成シ被下候
一魚猟場一切無御座候
一男女稼男ハ濃業之間ニハ、原ニ而馬飼料たきゝ芝をかり申候女ハ濃業之間ニ而薪おひろい申候
一村中ニ名所旧跡　無御座候
当村之義ハ両組ニ相分ヶ申候、御割付之義ハ平右衛組別段ニ前々ゟ被為　仰付候
一地頭・寺領・社領一切無御座候
右之通り村差出シ帳面相認指上申候通り相違無御座候、以上

武州新座郡上新倉村
名主　五郎右衛門
同　利兵衛
享保十五年
戌三月

日野小左衛門様
御代官所

同　文右衛門
同　平右衛門
組頭　庄左衛門
同　八郎右衛門
同　勘左衛門
同　四郎左衛門
同　九左衛門
同　市之助
同　兵左衛門

（桜井晃家文書　1—2）

二九　宝暦八年三月　上新倉村新屋敷書上帳

（表紙）
宝暦八年
新屋敷書上帳
寅ノ三月
（縦帳）

会ノ道
一上畑四畝廿壱歩
内新屋敷弐拾壱歩
分米六升三合

善四郎

未改新田午房山
一下畑四畝拾八歩
内新屋敷拾八歩
分米壱升弐合　半兵衛

同所新田
一中ノ下畑三畝六歩
内新屋敷拾九歩
分米弐升五合三夕　吉兵衛

同所新田
一中ノ下畑壱反壱畝廿七歩
内新屋敷壱畝歩
分米四升　彦四郎

山下
一上畑五畝歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升　六左衛門

田ばた内
一上畑亥畑成弐畝六歩
内新屋敷拾八歩
分米六升六合　清八

畑ヶ中
一上畑五畝歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升　勝右衛門

堀下
一上畑七畝廿七歩
内新屋敷廿七歩
分米八升壱合　七兵衛

長坂
一上畑三畝廿歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升　喜平治

長坂上
一上畑六畝歩
内新屋敷壱畝拾五歩
分米壱斗三升五合　清兵衛

同所
一上畑八畝歩
内新屋廿壱歩（敷脱カ）
分米六升壱合　利左衛門

下井戸
一上畑三畝歩
内新屋敷弐拾歩
分米六升　門三郎

田ばた
一上畑七畝廿弐歩
内新屋拾六歩（敷脱カ）
米四升八合　善太郎

同所
一上畑弐畝歩
内新屋敷拾五歩
分米四升五合　小兵衛

同所
一上畑八畝拾歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升　藤七

同所
一上畑七畝廿九歩
内新屋敷廿歩
分米六升　六郎兵衛

堀口
一中畑三畝歩
内新屋敷拾五歩
分米四升五合　平助

同所
一上畑壱畝歩
内新屋敷拾弐歩
分米三升六合　八左衛門

一上畑八畝歩（ミね）
内新屋敷弐畝歩
分米壱斗八升　佐治兵衛

一上畑弐畝八歩（ミね）
内新屋敷拾五歩
分米四升五合
甚左衛門

同所
一上畑五畝拾弐歩
内新屋敷廿歩
分米六升
長十郎

同所
一上畑壱反八畝歩
内新屋敷壱畝拾五歩
分米壱斗三升五合
伝兵衛

同所
一上畑四畝歩
内新屋敷廿歩
分米六升
五郎左衛門

久保やくし
一上畑七畝歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升
平左衛門

同所
一上畑四畝拾九歩
内新屋敷壱畝拾歩
分米壱斗弐升
平四郎

同所
一上畑三畝拾九歩
内新屋敷壱畝拾歩
分米壱斗弐升
庄八

うるし代
一上畑弐畝拾歩
内新屋敷壱畝歩
分米九升
嘉右衛門

同所
一上畑弐畝歩
内新屋敷拾五歩
分米四升五合
加左衛門

原新田
一中畑八畝廿歩
内新屋敷廿歩
分米四升
市兵衛

同所
一下畑八畝歩
内新屋敷拾八歩
分米壱升三合
伊三郎

同所
一下畑壱反弐畝歩
内新屋敷拾歩
分米七合三夕
権十郎

同所
一下畑四畝歩
内新屋敷十八歩
分米壱升三合
庄三郎

同所
一下畑四畝歩
内新屋敷拾弐歩
分米八合八夕
久兵衛

一上畑弐畝歩
内新屋敷拾歩
分米七合三夕
長九郎

同所
一下畑弐畝拾歩
内新屋敷拾弐歩
分米八合八夕
八三郎

同所
一下畑九畝歩
内新屋敷廿壱歩
分米壱升五合四夕
勘三郎

同所
一中畑五畝歩
内新屋敷廿弐歩
分米四升四合弐夕
権兵衛

同所
一中畑八畝拾九歩
内新屋敷廿歩
分米四升　　新右衛門

同所
一中畑八畝拾九歩
内新屋敷廿壱歩
分米四升五合　　新五兵衛

同所
一中畑五畝拾四歩
内新屋敷弐畝歩
分米壱斗弐升　　金左衛門

同所
一中畑九畝拾四歩
内新屋敷弐畝歩
分米壱斗弐歩　　小左衛門

同所
一中畑四畝歩
内新屋敷拾壱歩
分米弐升弐合　　門左衛門

同所
一中畑四畝九歩
内新屋敷拾八歩
分米三升六合　　権左衛門

広沢原新田子高入
一下畑壱畝拾弐歩
内新屋敷拾弐歩
分米壱升八合　　市兵衛

森九ッ
一上畑合壱町弐反七畝拾七歩
内新屋敷弐反壱畝三歩
分米壱石八斗五升壱合
森十一
一上田畑成合弐畝六歩
内新屋敷拾八歩
分米六升六合　　反永百四拾弐文八分　　米取

森六ッ
一中畑合五反七畝拾四歩
内新屋敷八畝七歩
分米四斗九升弐合　　反永百九文七分

一下畑合四反壱畝拾四歩
内新屋敷三畝拾壱歩
分米七升三合　　反永七拾六文八分

森四ッ
一中ノ下畑合壱反五畝三歩
内新屋敷壱畝拾九歩
分米六升五合三夕　　(改カ)未断新田
反永四拾九文五分

森弐ッ
一下畑合四畝拾五歩
内新屋敷拾八歩
分米壱升弐合　　右同断
反永四拾四文

森四ッ
一下畑壱畝拾弐歩
内新屋敷拾八歩
分米壱升八合　　広沢原新田子ノ高入
反永弐拾七文五分

右者新屋敷御味吟(ママ)ニ付、当村百姓居屋敷高反別字限り

小前帳書面之通御座候、重而御改之節若不埒之儀茂御座候ハ、地主村役人共ニ何分之越度ニ茂（可脱カ）被仰付候、以上

宝暦八年
寅二月

武州新座郡上新倉村
利兵衛
庄左衛門
文右衛門
市之助
六左衛門
半六
伝右衛門
加右衛門
兵右衛門
清左衛門
九郎右衛門
与惣兵衛
権左衛門
伝兵衛
加右衛門
彦右衛門
九兵衛
清兵衛

（桜井　晃家文書　5—103）

三〇　天保一〇年七月　上新倉村村入用その他不正出入訴状

乍恐以書御訴訟奉申上候

当御代官所
武州新座郡上新倉村
元庄左衛門組
百姓　伝兵衛
同　喜兵衛
同　茂平次
同　平左衛門
同　政右衛門
同　庄八
同　平四郎

同藤右衛門　同喜平次
同喜平治　同与右衛門
同嘉兵衛　同国右衛門
同平六　同午五郎
同弥次右衛門　同与兵衛
同善兵衛
同与市
同太兵衛
同長太郎
同兵四郎
同喜三郎
同喜右衛門
同幸助
同新右衛門
同兵左衛門
同長右衛門
同浅右衛門
同利左衛門

右三拾人惣代
訴訟人　右喜兵衛
同　太兵衛

不正出入

同村
同組
相手　組頭　文右衛門
同　同　利兵衛
同　同　彦右衛門
同　同　嘉右衛門
同　百姓　九郎右衛門
同　同　嘉右衛門

右訴訟人喜兵衛・太兵衛奉申上候、当村之儀、高千百

拾石五斗弐合ニ而、当組・久太郎組与両組ニ相分居、村役人之儀者組限相立、御用・村用取斗来候処、当組元名主庄左衛門退役後、相手之内組頭文右衛門・利兵衛・彦右衛門三人ニ而年番ニ名主役向相勤、御年貢取立其外村入用夫銭勘定等之儀者、古来ゟ五人組頭不残立会勘定仕来候義之処、相手之もの共而已ニ而万端取斗いたし、愚昧之小前与押掠メ不正之儀共有之、疑敷奉存候間左ニ箇条を以奉申上候

一去戌年田方御年貢米、村役人共義過米取立、疑敷奉存候間取立帳見届度奉願上候

一畑方御年貢永小前方可納分、去戌当亥ゟ者過不足有之、何共村役人共取斗方疑鋪奉存候間、右両年取立帳見届度奉願上候

一元名主庄左衛門勤役中、御年貢引負之分、金三拾両余外小前方不納分金四両余有之候処、小前方ゟ金三拾五両弁納為致、其後村役人共義、右不納之分取立私欲罷在候間、此段御吟味奉願上候

一当村之儀、中山道板橋宿定助郷村ニ御座候処、同宿江者道法之義三里余茂有之、一日之御役ニ茂両日宛茂相掛り、左候而者御田地相続出来不申難義仕候間相談之上、是迄雇揚勤ニ仕来り人馬雇賃銭村役人江前金ニ相渡、板橋宿江渡来無御差支相勤来候義之処、村役人共義小前方ゟ取立候人馬雇揚銭取込、板橋宿江不渡候間、同宿ゟハ人馬触当有之村役人より厳敷相触、二重之御役ニ而難儀ニ者候得共、御差支ニ相成候而者奉恐入候間、無余義人馬困窮之小前弥上難渋ニ落入御田地相続出来不申候間、御吟味之上難義不相成様被　仰付被下置度奉願上候

一村方圦樋御普請金、当六月中村役人方江御下ヶニ相成候得共取込居候間、早々御普請出来候様取斗貰度及掛合候得共、等閑ニ置、左候迚此上出水有之候得者数町歩之田場水腐仕候者眼前、是迄丹誠いたし候甲斐無御座、旁難渋至極ニ仕候間、早速御普請被仰付候様奉願上候

一去戌年、村入用夫銭多分相掛り難心得候間、遣払帳面見届度是迄数度掛合候得共、彼是申紛シ帳面相見

せ不申、疑敷奉存候間為見届候様被　仰付度奉願上候

一当亥年村入用夫銭之義者、遣払巨細篤与小前方江為見届出銭取立呉候様掛合候得共取敢不申、疑敷奉存候間帳面見届候上、出銭請取呉候様被　仰付度奉願上候

前書箇条を以奉申上候通之次第ニ而、相手之内文右衛門・利兵衛・彦右衛門儀、去戌年6年番名主役向相勤候処、仕来相破勝手宜敷相手百姓嘉右衛門・九郎右衛門而已引入、外五人組頭者不残相背、纔之内右躰私欲不正之取斗いたし候もの共ニ御座候間、此上相手之者共江任せ置候而者権威募り、小前方難渋をも不顧何様之儀仕成可申茂難斗、貧民可行立期無御座、御田地相続出来不申難渋至極仕候間、無是非今般御訴訟奉申上候、何卒以　御慈悲相手之もの共一同被　召出、前書之始末御吟味之上、過取私欲之分者早々割返し以来支配相離候様被　仰付被下置度奉願上候、以上

当御代官所
武州新座郡上新倉村
元庄左衛門組
百姓伝兵衛外弐拾九人惣代
天保十亥年七月
訴訟人　百姓　喜兵衛
同　同　太兵衛
山本大膳様
御役所

（星野　茂家文書　24—81）

三　弘化二年一一月　上新倉村高改小前覚帳

（表紙）
弘化二年
高改小前覚之帳
巳十一月吉日
新座郡上新倉村
名主　文右衛門
（横帳）

高拾石三斗弐升弐合五夕　利兵衛
（朱書）
「内三斗三升　彦右衛門入」

「引〆九石九斗九升弐合五夕」
高七石七斗七升六合四夕　惣八郎
高六斗九升弐合六夕　作兵衛
高三石弐斗六升七合　佐五兵衛
内七斗四升八合三夕　勘五郎入
差引弐石五斗弐升七合
高弐石五斗四升九合　清兵衛
高壱石七斗弐升六合　伝右衛門
高壱石壱斗六升弐合　七兵衛
高九斗七升五合　市郎右衛門
高拾七石四斗七升弐合　長照寺
高八石九升壱合　弥右衛門
高九斗三升五合　いと
高三石七斗六升八合三夕　藤七
「内五斗八升三合七夕引」
「引〆高三石壱斗八升四合六夕」
「内五斗三升壱合権兵衛入」
「引〆弐石六斗五升本」

高六石七斗八升弐合壱夕　治兵衛
「内壱石五斗五升五合引」
「引〆高五石弐斗弐升七合弐夕」
「内八斗四升八合三夕引初五郎入」
「引〆高四石三斗七升九合本」
高七石七斗四升五合壱夕　八兵衛
「内弐斗七升引」
「引〆高七石四斗七升五合壱夕」
「内壱石三斗七升三合喜平治入」
「引〆六石壱斗弐合壱夕」　忠兵衛
高壱石六斗四升　清八
高壱石四斗三升三合　子清右衛門
高壱石三斗弐升三合三夕　正願寺
高弐石四斗壱升六合　助右衛門
高壱石五斗六升七合五夕　彦兵衛
高弐拾壱石六斗壱升四合三夕
「外六斗三升　岡五郎分」
「〆弐拾弐石弐斗四升四合四夕」

「外七斗壱升九合三夕　万平分」
「同壱斗九升　又兵衛分」
「〆高弐拾三石壱斗五升四合」
高壱石九斗三升　仁兵衛分
「外高壱斗壱升」
「同　四斗八升」
「〆高弐石五斗弐升」
「内壱斗九升彦兵衛入」
「〆高弐石三斗三升　又兵衛分」
高壱石六斗五升三合
高九斗七升五合
高弐斗五升八合
高七斗七升七合
高壱石三斗八合
高弐斗七升
高壱石弐斗六升三合
高弐石四斗弐升七合四夕
高六斗三升〻〻〻〻〻

又兵衛
四郎左衛門
吉兵衛
三郎右衛門
親　清右衛門
五兵衛
半左衛門
下　勝右衛門
宗無
下　〻岡五郎〻

高弐石弐斗九升壱合
「外ニ弐斗弐升五合入」
「〆弐石五斗壱升六合」
高弐石七斗三升八合七夕
高八石弐斗六升六合三夕〻〻〻〻〻〻〻〻〻
高壱斗六升八合
高三斗六合七夕
高五石五斗六升五合六夕
高六石四斗三升九合
高壱石五斗三升壱合
高五斗五升
高六石九斗壱升弐合
「外ニ六升七合五夕入」
「〆高六石九斗七升九合五夕」
高拾石八斗弐升九合
高四斗六升
高八升弐合
高三石三斗三升五合壱夕

伝八
橋戸　忠右衛門
下　〻織右衛門〻
八三郎
治郎右衛門
文右衛門
兵右衛門
東林寺
喜兵衛
金兵衛
庄八
政右衛門
茂平治
平四郎

高五斗七升四合　八左衛門
高四斗三升弐合　平助
高九石弐斗八升壱合三夕　平十郎
「内四斗四升四合九夕　文右衛門入」
「引〆高八石八斗三升六合四夕」
「内八斗五升壱合六夕引」
「引〆七石九斗八升四合八夕」　伝内
高壱石弐升
高弐石七斗九升八合三夕　佐治兵衛
「内壱斗弐升　仁兵衛入」
「引〆弐石六斗六升八合三夕」
高壱斗五升九合　彦四郎
高三斗五升九合三夕　伝兵衛
高八斗壱升　下赤塚　孫右衛門
高壱石七升八合七夕　茂左衛門
「五斗五升五合」
「〆壱石六斗三升三合七夕」
高壱石壱斗壱升四合七夕　利右衛門

高壱石弐斗九升九合
高三斗六升
高弐斗七升
高弐石壱斗六升壱合壱夕
「内壱斗四升九合壱夕引」
「引〆弐石壱升弐合」
高壱石六斗五升九合
高壱石四斗壱合弐夕
高七斗三合
「外弐斗六升三合九夕弐才入」
「〆九斗六升六合九夕弐才」
「外五斗三升六合」
「〆壱石五斗弐合九夕」
高壱石六升七合
高弐斗五升九合
高壱石壱升壱合七夕
高三石弐斗弐升八合弐夕
「内三合七夕引」

藤助
勝五郎
伝五右衛門
三之助
与右衛門
嘉右衛門
弥平治
久太郎
新右衛門
半清兵衛
平六

「〆高三石弐斗弐升四合五夕」　源左衛門
高八斗壱升六合三夕　兵左衛門
高四斗弐升七合三夕　喜平治
高八石壱斗弐升七夕「午年入」
「高壱石五斗四升六合七夕」
「高合九石六斗六升七合四夕」
「壱石三斗七升三合　八兵衛分」
「〆高拾壱石四升四夕」　藤右衛門
高拾石六斗三升五合三夕
「外壱石弐升壱合三夕　五左衛門分　伝右衛門分」
「〆高拾壱石六斗五升六合六夕」
高九升四合　文治郎
高壱石七斗弐升七合　喜右衛門
高壱石七升四合壱夕　兵四郎
高五升六合　茂右衛門
高五斗壱升弐合　長助
高弐石三斗八升八合　権左衛門
高三石弐斗八升三合　善兵衛　五左衛門分

「内壱石弐升四合　惣五郎入」
「引〆弐石弐斗五升九合」
「内壱石弐斗九升八合引」
「引〆壱石六升本」
高壱石五斗四升五合三夕　与市
「内高八斗弐升八合引」
「〆高七斗壱升七合三夕」
高七石弐斗七升六合四夕　嘉兵衛
「外ニ弐斗四升八合三夕　新吉分入」
「同三升三合　岡五郎分」
「〆七石五斗五升八合弐夕」
「内九升弐合五夕　仁左衛門入」
「〆高七石四斗六升五合七夕」
高三斗五升五合三夕　浅右衛門
高三斗弐升八合　林右衛門
高六石九斗弐升九合四夕　長左衛門　〃　〃　〃　辰五郎

高七斗七升　喜左衛門
「外九升九合　権兵衛入」
「〆八斗六升九合」　与兵衛
高四斗五升五合　市郎右衛門
高壱石七斗壱升弐合三夕　弥兵衛
高六升六合　勘右衛門
高壱石三升七合　弥治右衛門
高七斗八升九合三夕　長吉
高壱石弐斗七升弐合　根岸権右衛門
高三斗七合　〃〃〃〃佐平治
「同弐斗七升三合　権十郎分」
「〆高五斗八升」
「五斗八升七合入　半六分」
「〆高壱石壱斗六升七合本」　七郎右衛門
高七斗四升四合八夕　助三郎
高四斗六升　弥五兵衛
高四斗壱升五合

高七升四合　仁左衛門
「同九升弐合五夕」
「〆高壱斗六升六合五夕」　作右衛門
高壱斗弐升五合九夕　佐左衛門
高壱石五斗三升七合
「内壱斗壱升　又兵衛返シ」
〆壱石四斗弐升七合
「外三斗弐升」
「〆壱石七斗四升七合」
「内五斗五升五合引」
「引〆高壱石壱斗九升弐合　同人」
「壱斗弐升　佐治兵衛分仁兵衛」
「〆壱石三斗壱升弐合」　重蔵
高三石壱斗九升弐合　東林寺
高壱石六斗四升八合　伝右衛門
高五斗六升六合
「内弐斗弐升壱合三夕」
「引〆三斗四升四合七夕」

高壱石九斗弐升六合　文八
高壱石三斗七升三合　文七
「内三斗弐升引」
「引〆壱石五升三合」
高壱斗壱升　喜平治入台村礒右衛門
高四斗九升弐合九夕　〃〃〃
高拾石九斗九升七合三夕　庄五郎
「内三石壱斗八升八合引」　五左衛門
「引〆七石八斗九合三夕本」
高弐石七升六合　長兵衛
高壱石七斗九升八合　源六
「内壱石三斗弐升四合引」
「引〆四斗七升四合」
高弐石六斗四升八合六夕　甚五郎
高弐斗四升弐合　佐太郎
高三石三斗七升五合　う長左衛門
高八升四合　う七左衛門
高八升　又左衛門

高六斗七升五合　留五郎
高五斗弐升　権右衛門
高弐石六斗三升七合六夕　善太郎
高三石壱斗九升弐合七夕　惣五郎
「内五斗壱升弐合弐夕引」
「外ニ三石七斗四升八合九夕」
「惣〆六石四斗弐升九合四夕」
高五斗壱升六合　九左衛門
高弐石七斗壱升九合　う平左衛門
高弐石七斗六升　下平治郎
高九斗六升五合　次左衛門
高壱升七合六夕　藤左衛門
高壱斗八升三合　半右衛門
「同壱石弐斗九升八合　善兵衛分入」
「〆壱石四斗八升壱合」　白子繁右衛門
高四斗弐升六合七夕　大の清五郎
高弐石弐斗弐升壱合　〃藤八
高弐石弐斗八升九合六夕

高六斗七升八合　〃儀右衛門
高七斗三升壱合六夕　〃惣吉
高壱石六斗九升六合六夕　〃初五郎
高弐石七斗弐升壱合六夕　仙吉
高四石五斗八升八合三夕　新左衛門
「外九斗七升九合」
「〆五石五斗六升七合三夕」
高弐斗五升三合三夕　勘兵衛
高三斗六升三合三夕　嘉兵衛
高壱石五斗壱升三合三夕　七右衛門
〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃　萩右衛門
高弐石四斗弐升壱合　治郎兵衛
高九斗六升七合　萩右衛門
高三斗六升三合　八左衛門
〃〃〃〃〃〃　千之助
九斗九升弐合　庄左衛門
高四石八斗五升六合六夕　半六
高弐石壱斗弐升三合六夕
「内三升三合引　権兵衛入」
「引〆高弐石九升六夕」
内五斗八升七合　佐平治入
「〆壱石五斗三升六合本」
高弐石弐斗六升五合五夕
「内壱石四升壱合引　喜平治入」
「〆高壱石弐斗四合五夕本」
高三石五升六合七夕　新吉
高弐石七斗壱升四合　利左衛門
高弐石四斗六升九合三夕　喜平治
外壱石四升壱合　勝右衛門分入
〆三石五斗壱升三夕　勝右衛門
高壱石七斗九升　嘉吉
高弐斗六升四合　善太郎
高五石八斗六升八合　五郎右衛門
「内四升五合引」
「五石八斗弐升三合」
「引〆五石八斗弐升三合」

高四石六斗三升壱合弐夕　弥三郎
高四斗壱升九合　門三郎
高七石六斗九升七合七夕　小三郎
「外ニ弐斗六升四合　与五郎分」
「〆七石九斗六升壱合七夕」
高弐石三升弐合六夕　善四郎
「高弐斗五升八合　惣五郎入」
「引〆壱石七斗七升四合六夕」　藤八
高五斗九升七合　満願寺
高拾石壱斗六升六合四夕　弥左衛門
高七石八升五合
「外ニ五斗四升」
「〆七石六斗弐升五合」　六左衛門
高拾弐石三斗六升七合
「外ニ八石弐斗六升六合三夕　織右衛門分入」
「〆高弐拾石六斗三升三合三夕　改」　半兵衛
高壱石五斗八升五合三夕

高三石弐斗五升壱合四夕　六郎左衛門
高四斗弐升三合　久治郎
高壱石弐斗三升九合　六郎兵衛
高弐石三斗八升五合　六三郎
高三石七斗七升　庄兵衛
「内九斗七升九合　新左衛門入」
「引〆弐石七斗九升壱合」　丑五郎
高四斗五升　庄五郎
高七斗八升　村持
高壱石弐斗五升五合　久兵衛
高九斗三升六合　市蔵
高壱石六升三合　源八
高壱石三斗三升壱合　万平
高六斗八升三合三夕　〃　彦兵衛入
〃〃〃〃〃〃〃〃　白子
高三石七斗五升八合九夕　利左衛門
高三石三斗六升壱合三夕　伊之松

高壱石壱斗四升五合　平右衛門
高九石七斗三升九合九夕　白子　茂兵衛
「引〆高九石壱斗三升五合九夕本」
「内六斗四合引　彦右衛門入」
高八石五斗三升三合　白子　忠左衛門
「外壱石五斗五升五合」
「合高拾石八斗八升」
高壱石三斗壱升弐合七夕　伊左衛門
高弐斗九升六合　伊之助
高三斗五升六合　芝宮　安五郎
高七斗八升三合　同　善治郎
高四斗九升六合　庄八
高七斗五升六合三夕　下　権右衛門
高壱石五斗六合　下　藤右衛門
高弐拾三石三斗五升六合七夕　彦右衛門
「外三斗三升　利兵衛分入」
「〆高弐拾三石六斗八升六合七夕」
「外ニ六斗四合入　勘兵衛分」

「〆高弐拾四石弐斗九升七夕」
高五石三斗九合三夕　清左衛門
高四石四升四合四夕　清吉
高壱石八升四合四夕　権右衛門
高九斗四升九夕　伊右衛門
高六斗八升九合三夕　与惣兵衛
「壱石三斗弐升四合　源六分入」
「〆高壱石七斗五升四合」
〆弐石壱升三合三夕七才
高壱斗三升　久八
高四斗八升四合　与助
高三斗弐升五合　市三郎
「高四斗弐升　平十郎分」
「〆七斗四升五合」
高壱斗六升　市平
高弐石壱斗六升　市之助
高七斗五升七合七夕　伊三郎
高弐斗八升三合　仁右衛門

「内九升四合引」
「高壱斗八升九合本」
高弐石八斗五升弐合九夕　三治郎
高九斗九升弐合八夕　庄右衛門
高四斗弐升九合　市郎左衛門
高壱石八升五合三夕　長右衛門
高弐斗七升六合　長左衛門
高七斗三升四合壱夕　長九郎
高四石六斗六升四合八夕　佐右衛門
「外壱斗壱升　九郎左衛門分入」
「〆四石七斗七升四合八夕」
高壱升弐合五夕　清兵衛
高九斗八升四合九夕　勘三郎
高五石五升五合六夕　権兵衛
「外ニ五斗三升壱合　藤七分入」
「〆高五石五斗八升六合六夕」
「内九升九合　喜左衛門入」
「引〆五石四斗八升七合六夕本」

高七石九斗壱升三合
「外壱斗四升九合壱夕」
「〆八石六升弐合壱夕」
高三升弐合壱夕
「外高壱斗四升九合壱夕」
「〆高合壱斗八升壱合弐夕」
高九斗六升九合八夕
高弐石四斗壱升三合
高弐石弐斗七升四合
高六升八合
高九斗壱升三合
「内弐斗七升三合引」
「引〆高六斗四升」
高弐石四斗八升七合四夕
高壱石四斗四升四合七夕
高弐石弐斗壱升四合
高四石九升壱合

小左衛門　新五兵衛
新右衛門　金左衛門
紋左衛門
門右衛門
権十郎
和助
市左衛門
弁蔵
善左衛門

高七斗七升四合弐夕　　権左衛門
高七斗七升七合　　伊助
高弐斗七升四合　　九郎右衛門
「内壱斗壱升引」
「引〆壱斗六升四合」　　田無半兵衛
高壱石六斗五升八合六夕　　利助
高弐石九升六合
「内五斗三升六合　弥平治入」
「引〆壱石五斗六升」
〆高五百拾四石九斗三升
内

（桜井　晃家文書　11—280）

三　嘉永四年正月　上新倉村村入用覚帳

（表紙）
嘉永四年
当亥村入用覚帳
亥正月吉日　新座郡上新倉村
名主　文右衛門組
（横帳）

覚

御役所御年玉　　岡田様
亥正月十二日　　脇屋様
小菊拾五文　　戸叶様
　　権様
　　太田原様
　　岡田様
〆金弐分弐朱　百六拾文　　取次
六百文　　御門
弐百文

弐百文　弁当屋
亥正月十日ゟ十四日迄五日間
弐拾四匁　雑用諸入用

正月十日　御年玉
金弐朱　岡村
同　御年玉
四百文　同武次右衛門

金壱分　万屋宿
同壱分　周蔵
同弐朱　内儀
同弐朱　周蔵内義
四百文　林兵衛
九百文　喜兵衛
六百文　清助
四百文　春吉
金壱分　下女三人
正月廿八日　下男弐人
四十八文　伊せ屋
同　老人
かんけ

百文　万才
二月朔日
亥正月十四日　是者村中惣寄合ニ付
三升　村役人小前迄
代七百文　酒
同
弐百文　あけ
同
百文　とうふ
二月三日
三十弐文　老人弐人
同
三十弐文

二月三日　小樽村証文ニ参候
三百文　与惣兵衛
二月四日
四百文　勧化
亥二月十七日ゟ
御見分ニ付諸帳面取調
米弐升
三百弐拾四文

百文　かし　五十六文
百文　あけ　金壱分四百三十弐文
四百六十四文　酒弐升　二月廿日
百三拾弐文　しをゆ　金壱分
同十八日　大宮氷川出　二月十九日
百文　三百文
二月十日　尾州様定杭ニ付　二月廿日
三百文　小樽村迄参候　百文
米三升　金三分
五百文　金壱分弐朱
四百六十四文　酒弐升　金壱分
四百文　にごり　弐百文
六拾文　とうふ
百文　壱丁半　三月朔日ゟ人別取調
しをゆ　百文
二月廿四日　地方見分之節白子ニ而　弐百四十八文
小者弐人遣　弐百四十八文
金壱分弐朱　文右衛門組　二日
金壱分弐朱　久太郎組　弐百文
弐百四十八文

西八枚　座当三人
亀屋ニ而　雑用代入用　貯□(穀カ)見分役人差出
鹿島七ヶ年目勧化出　友ノ者
白子亀屋ニ而
村々□合
諸雑用
勘兵衛方茶代
老人三人泊り
米七合
とうふ
あけ
酒壱升
米壱升四合
酒肴代

四百四十八文　炭壱俵
三日
百弐拾四文　米壱升
弐百文　酒肴代
弐百文　かし代
四日
百弐拾四文　米壱升
三百文　酒肴代
百文　かし代
五日
百弐拾四文　米代
弐百四十八文　酒肴代
百文　かし代
六日
百弐十四文　米代
弐百四十八文　酒肴代
七日
百弐十四文　米代

弐百四十八文　酒肴代
十三日　印形取申候
弐百文　米代
五百文　酒肴代
弐百文　かし代
十四日
四百文　米代
五百四十八文　酒肴代
弐百文　かし代
十五日
三百文　米代
四百四十八文　酒肴代
百文　かし代
同
四百弐拾四文　炭代
十七日
四百文　武蔵国一ノ宮
氷川神并堀ノ内八幡宮
西田豊前正御免勧化出
三月人別紙代

六百文　みの紙
百弐拾四文　半紙
壱〆九百三拾弐文　人別納入用
四百八拾四文　人別代
三月廿六日
四百文　冨士御師泊り　弐人
雑用共
同
四百文　送り人足
四月朔日
百四十八文　老人三人
同　五日
四十八文　老人弐人
同　十日
四十八文　麻岡検校下　座当弐人
亥四月十五日　武蔵国造遠祖
一四百文　鷲宮大明神
亥四月十三日　御普請ニ付出役　上戸田村迄
一五百三拾弐文
亥四月十七日
一八百文　文右衛門・彦兵衛両人
高違
八五郎取
炭弐俵
亥四月十八日
一八百三拾弐文　板橋宿参候
雑用小遣共
同
一四百文　板橋宿御伝馬ニ付
半六渡
四月
四十八文　老人壱人
四百四十八文　御普請ニ付
わらひ参候
廿四日
三百文　(ママ)萩葉山御免勧化
光明寺
□
弐拾四文　老人壱人
廿七日
百文　中喰代共
老人壱人
戌五月二日
金弐朱ト三百七拾文　此増仕切穀代

廿八日
金弐朱ト五拾壱文　是者貯穀ニ付諸入用白子村差遣申候

去戌□□6亥四月迄榛那屋江参候
三百文　座料　利兵衛
百六拾文　小遣也
外ニ
同　三百文　入用
同　百文　老人三人

五月九日
金壱分　重田様
仕用帳受取
金弐朱　友渡シ
金弐朱　上戸田村迄文右衛門・太左衛門両人ニ而参候
休□雑用共

六月五日
四百文　新州善光寺
御免勧化　弐人

同
百文　送り人足壱人差出
中食代
同
四拾八文　老人弐人
亥夏成御年貢勘定

六月朔日
四百文　信州善光寺　御免勧化
百文　送り人足壱人分

六月五日
一弐百四十八文　米代
一弐百三拾弐文　御年貢ニ付村役人寄合
一百文　酒代
一弐百文　かし代
菜物代

六月五日
溝沼村留八
久次太夫
太郎
一弐百三拾弐文　酒壱升
一四十八文　とうふ

一四十八文　きうり
一弐百文　かし代
六月五日
一弐百文　富士かんけ
六日
一弐百文　米代
一百文　茶かし代
一百弐拾四文　野菜物代
是者御普請帳面取調ニ付久太郎参候入用
七日　勘定始メ
一六百文　米代
一七百四十八文　酒代三升
一弐百文　かし代
一百文　きうり
一弐百文　野菜物代
御年貢ニ付、惣村役人五人組迄寄合仕候
七日
一八百六拾四文　炭代弐俵
八日
一六百文　米代
一五百文　酒弐升
一三百文　野菜物代
一弐百文　かし
一百七拾弐文　しをゆ壱升
九日
一六百文　米代
一五百文　酒弐升
一弐百文　かし代
一四百文　野菜物代
九日
一百四十八文　老人弐人
十日
一六百文　米代
一四百文　野菜物代
一弐百文　かし代
一五百文　酒弐升

十日
一三拾六文　貯穀御廻状賃銭差出候

十日
一六十四文　座当弐人

十一日　取立中
一五百文　米代
一弐百四十八文　酒壱升
一三百文　なすひ
一四百六十四文　野菜物代
一弐百四十八文　かし代
一弐百五拾文　かつふし壱本
一六十四文　とうふ
一百七拾弐文　しをゆ壱升

十二日　取立中
一三百文　米代
一弐百文　酒壱升
一百文　かし代
一弐百文　野菜物代

十四日
一三百文　米代
一弐百四十八文　酒代
一弐百文　野菜物代
一百文　かし代

十四日
一弐百文　米代
一弐百文　酒代
一三百文　野菜物代

十三日
一弐百文　老人三人
一六百弐拾四文　半紙拾五丈
一百七十弐文　半切

御年貢取立中入用
一金壱分弐朱ト四百三十弐文

六月十八日・十九日・廿日・廿一日
是者御年貢納ニ参候節入用
一金壱分弐朱ト七百八拾四文番頭差出

是者地頭(カ)御礼ニ参候　入用

一金壱分弐朱ト弐百文

六月廿三日
一四百文　筑波山御師
軒別代、送り人足共

六月廿六日
一弐百文　老人

六月廿七日
一三百文　たひ僧壱人
泊り代共ニて

七月一日
一弐百文　老人弐人

七月四日
一三拾弐文　座当壱人

七月十三日
一六拾四文　老人

七月十五日
一百弐拾四文　同弐人

亥七月廿四日
是者板橋宿御伝馬ニ付勘定帳出候節入用

一壱〆弐百文

八月三日
一弐百文　鹿島御師
一百文　道万迄　送人足壱人

同四日
一六百文　熊野ノ山三光坊
村中軒別代共

一百文　送り人足壱人

亥八月八日
近江国甲賀郡市場村

一四百文　田中左京
差出申候

十一日
一三百文　本所才福寺勧化

八月十四日
一三百七拾弐文　たまい　使者代

一弐朱ト七百六拾四文　是ハ志村宿
武左衛門ニ□

一百三拾弐文　証文紙代　一弐百文　かし代
〆　一弐百文　かつふし壱本
八月十四日
一弐百文　老人弐人　一百七十弐文　しをゆ
同十五日
一百拾六文　座当三人　六日
一六百文　米代
同十八日
一四十八文　老人壱人　一五百文　酒代
一六百三拾八文　野菜物代
九月二日　白山御免勧化　一弐百文　かし代
一四百文　一三百文　肴代
七日ゟ取立入用
三百文　米代
是者七月落分　大和田町勘定参候入用
一百四十八文　佐平治渡　弐百四十八文　夫使共
一百四十八文　老人弐人　百文　酒壱升
亥秋成勘定始　かし代
九月五日ゟ　八日取立中
一六百文　米代　弐百文
一七百四十八文　酒三升　一弐百三十弐文　米代
一六百四十八文　野菜物代　一百文　酒代
かし代

九日
四百文　是元役所出役　宮沢三蔵殿
米代
四百六十四文　酒弐升
四百八拾文　肴代
弐百文　かし代
十日
一弐百文　米代
一弐百三十弐文　酒代
御年貢取立中入用
金壱分弐朱ト八百拾六文
亥九月十二日ゟ
是御年貢納入用番頭江差遣候共
金壱分弐朱ト
壱〆弐百文
亥九月廿九日ゟ廿日迄　御普請御見分
金弐両　中村勇八様
鈴木成助様
御友弐人
同弐分
壱両壱分　文右衛門
内　出
壱両壱分　久太郎

外ニ三百三拾文　木銭代請取
九月廿日
金弐朱ト弐百文　右同断　白子迄送り
諸入用
九月十九日
三百文　右同断　大野迄出向
亥九月廿九日
一三百文　えひつる虫取立入用
同晦日
一百四十八文　えひつる虫納入用
同
一四百文　同　取立入用
同
一弐百三十弐文　是者割合勘定ニ付　酒壱升
九日晦　是者御普請ニ付飛脚代
一五百四十八文
同
一弐百文　中食代

(ママ)十九月二日　　代手代　万之介
御免勧化　　館林愛宕別当
一八百文　　興蔵寺役人　　蠟勘定ニ付
一弐百文　　寺院□□
百文　　送り人足代

亥十月三日　　亥十月十八日
御役所ゟ御廻状遣立賃銭　　一米壱升
一三拾八文つゝ　　代百弐十四文
一弐百文

亥十月八日　　亥十月十九日
一八百文　　東叡山御配下　　一弐百五拾文　　酒壱升
如意輪寺　　同　　蠟取立ニ付
同　　一米壱升五合　　文右衛門
一四十八文　　座当弐人　　代弐百文　　嘉蔵
八五郎
同　　同
一弐百四十八文

十月十日　　同十月廿日
一弐拾四文　　座当壱人　　一四百文

亥十月十六日　　御廻米ニ付　　同　　蠟納入用賃銭
一三拾弐文　　御廻状賃銭　　一弐百文　　内々

亥十月十八日　　十月廿一日
一金五拾疋　　大宮岩井伊予守　　一四百文　　右同断

同
一弐百文
内々
一銀拾匁
同
廿二日
一百弐十四文
老人三人
一弐朱
両番当
廿八日
一百文
老人弐人
同廿四日
一四百文
右同断
内々
亥十月二日
御免勧化
麻布
一八百文
東福寺役人
栗原譻内
同
一百文
送人足壱人
同
一百文
寺院代
当亥御年貢米勘定
村方舛取年番ニ付
村役人惣寄合
亥十月朔日ゟ
一米三升
四百弐拾四文
同
一弐百文
廿二日
一百弐十四文
同廿四日
一四百文
一弐百文
廿五日
一六十四文
廿六日
一百文
廿五日
一三百五拾弐文
中札
紙代
同廿五日
一九百三拾六文
是者役所印形代
同廿五日
一銀拾匁
是者廻状返状
廿六日ゟ廿七日　是者手本米申札ニ参候入用

一七百四十八文　酒代
同
一六百三拾弐文　野菜物代
同
一弐百文　茶かし
同
一弐百文　肴代
同二日
一四百文　米代
一七百四十八文　酒代
一六百三拾弐文　野菜物代
一弐百文　茶かし代
一弐百文　肴代
十月三日
一四百文　米代
一五百文　酒代
一八百文　かし代
一六百八十四文　野菜物代

同五日
一四百文　米代
一五百四十八文　野菜物代
一弐百文　かし代
一弐百文　肴代
御年貢斗立中諸入用
金壱分弐朱ト壱メ弐百文
亥十二月二日ゟ　勘定始
一六百文　米代
一六百三十弐文　酒代
一五百三十弐文　野菜物代
一弐百文　かし代
三日
七百文　米代
六百六十四文　酒代
五百八拾四文　野菜物代
弐百文　かし代
四百文　肴代
四日

八百文　米代
六百文　酒代
七百文　野菜物代
弐百文　かし代
四日
弐百文　老人三人
五日
四百文　米代
六百文　酒代
百文　かし代
三百文　野菜物代
六日　取立始
弐百文
弐百文　米代
三百文　酒代
百文　野菜物代
かし代
米代

三百文　野菜物代
弐百文　酒代
百文　かし代
七日
百文　老人弐人
三百文　鹿島御師泊り雑用中食迄弐人
人足壱人
百文
八日・九日・十日、三日之間
弐〆弐百三十弐文
取立
亥十二月十五日
土岐美濃守領分
上野国利根郡
下川田邨
□□□
桂雲

桂芳

弐人泊り　御免勧化
六百文

（桜井　晃家文書　1—10）

三　嘉永五年三月　上新倉村五人組帳

（表紙）
嘉永五年
子五人組帳
子三月　武州新座郡上新倉村
名　文右衛門組
（縦帳）

文右衛門組

五人組　兵右衛門㊞
金兵衛㊞
喜兵衛㊞
平十郎㊞
政右衛門㊞
庄八㊞
平助㊞
茂平治㊞

〆

五人組　佐治兵衛㊞
繁治郎㊞
伝内㊞
茂左衛門後家㊞
れん
金蔵㊞
三之助㊞
勝五郎㊞

〆

差上申御請書之事

一天保七申年被　仰渡候五人組前書并別段被仰渡候趣共御蔵板之上御渡被下置候御法度之趣、月々名主・組頭・惣百姓、小前末々ニ至迄為読聞、逸々承知奉畏候、若箇条之内聊たり共、相背候者御座候ハヽ、何様之御科ニ茂可被仰付候、惣連印差上申所如件

嘉永五年子三月

武州新座郡上新倉村

五人組　嘉右衛門㊞
弥平治㊞
彦四郎㊞
平四郎㊞
〃
五人組頭　清兵衛㊞
惣八郎㊞
要助㊞
佐五兵衛㊞
治兵衛㊞
作兵衛㊞
市郎右衛門㊞
〃
五人組頭　伝右衛門㊞
七兵衛㊞
藤七㊞
弥右衛門㊞
喜助㊞

〃
五人組頭　八兵衛㊞
忠兵衛㊞
清右衛門㊞
清八㊞
〃
五人組頭　半六㊞
庄左衛門㊞
利左衛門㊞
喜平治㊞
新吉㊞
勝右衛門
〃
五人組頭　嘉右衛門㊞
音五郎㊞
門三郎㊞
五郎右衛門㊞
弥三郎㊞

〆
五人組頭　六左衛門㊞
藤　八㊞
半　兵　衛㊞
六郎左衛門㊞
吉　三　郎㊞
六三郎後家㊞
りせ

〆
五人組頭　小　三　郎㊞
善　四　郎㊞
弥左衛門㊞
㊞
五人組頭　九郎右衛門㊞
長左衛門㊞
清　平㊞
長右衛門㊞
長　九　郎㊞

佐右衛門㊞
権　兵　衛㊞
勘　三　郎㊞

〆
五人組頭　彦右衛門㊞
〃　〃　〃
小左衛門
金左衛門㊞
弁　蔵㊞
門左衛門㊞
権左衛門㊞
権　十　郎㊞
善左衛門㊞
伊　助㊞
和　助
市左衛門㊞

〆
新　蔵
五人組頭　清左衛門㊞
三　治　郎㊞

清　吉㊞
伊右衛門㊞
権右衛門㊞
五人組頭　与惣兵衛㊞
音次郎㊞
市三郎㊞
小左衛門
新五兵衛後家㊞
さよ
市之助㊞
市郎左衛門
庄右衛門㊞
利助後家
ミつ
〆
五人組頭　八兵衛㊞
同　伝右衛門㊞
同　清兵衛㊞
同　嘉右衛門㊞

同　兵右衛門㊞
同　佐治兵衛㊞
同　与惣兵衛㊞
同　半六㊞
同　彦右衛門㊞
〃〃〃〃
小左衛門
同　九郎右衛門㊞
同　小三郎㊞
同　嘉右衛門㊞
清左衛門㊞
年番組頭　六左衛門㊞
組頭　小左衛門㊞
〃〃〃〃
彦右衛門
組頭　利兵衛㊞
名主　文右衛門㊞

勝田次郎様
御役所

（桜井　晃家文書　1―7）

三四　安政二年三月　上新倉村姓名其外書上帳

（表紙）
安政二卯年三月
武州新座郡大和田町組合性名其外書上帳
武州新座郡
上新倉村
（縦帳）

小林藤之助御代官所
武州新座郡上新倉村
江戸日本橋ゟ道法五里

一高千百拾石五斗弐合　内本高九百五拾七石
家数百八拾七軒
人数九百六拾壱人内　男　四百六拾六人　女　四百九拾五人
牛無御座候
馬三拾弐疋
武州豊嶋郡上石神井村
三宝寺末
同州新座郡上新倉村
御朱印地高無御座候
除地高無御座候
一新義真言宗　長照寺
一同　右同断　万願寺
一薬師堂　右同断　長照寺持　壱ヶ所
一氷川明神　右同断　万願寺持　壱ヶ所
一荒川并新河岸川落合ニ相成候得共、当村ニ者川岸渡舟場之儀者無御座候
農間之稼
一水車壱ヶ所　右同断　名主　久太郎
一同　右同断　百姓　兵右衛門
一同　右同断　同　清左衛門
一質屋　寛政十一未年中相始メ　右同断　組頭　彦兵衛　当卯五十二歳
其外荒物穀類　高三拾七石壱斗弐升壱合
一荒物類　右同断　百姓　庄八

一質屋　天保八酉ノ年中相始メ　高五石七斗九升　同　小三郎　当卯四十九歳

〃

一升酒屋　同　喜右衛門

〃

一同　同　弥右衛門

一右之外男女農間之稼藁細工仕候

一米　一粟

一大麦

一小麦

諸作江戸出シ之品

一大豆

一小豆其外江戸出シ品

一大根并人参芋之類

一市之儀者右寄(ママ)無御座候

右之通取調仕候処、前書之通相違無御座候、以上

安政二卯年三月　右村百姓代　嘉兵衛　組頭　利兵衛

名主　久太郎　同　文右衛門

大和田町組合

大小惣代衆中

(桜井晃家文書　1—8)

三五　文久元年三月　上新倉村食割渡帳

(表紙)

文久元年
当酉年食割渡帳
酉三月吉日

(横帳)

覚

〆家数三拾九軒

壱軒ニ付　金弐分つゝ割合

〆人数百弐十九人

壱人ニ付

金弐朱ト百文つゝ

一壱人　茂左衛門㊞

金弐分弐朱ト百文
家内㊒三人　茂兵衛㊒
金三分弐朱ト三百文
一三㊒人　彦左衛門
金三分弐朱ト三百文
一四㊒人　七郎右衛門㊒
金壱両ト四百文
一五㊒人　元右衛門㊒
金壱両弐朱ト五百文
一四㊒人　喜三郎㊒
金壱両ト四百文
一四㊒人　政右衛門㊒
金壱両ト四百文
一三㊒人　茂平治㊒
金三分弐朱ト三百文
一三㊒人　太左衛門㊒
金三分弐朱ト三百文

一三㊒人　惣右衛門㊒
金三分弐朱ト三百文
一三㊒人　市兵衛㊒
金三分弐朱ト三百文
一三㊒人　三郎兵衛㊒
金三分弐朱ト三百文
一三㊒人　藤八㊒
金三分弐朱ト三百文
一弐㊒人　嘉右衛門㊒
金三分ト弐百文
一三㊒人　佐太郎㊒
金三分弐朱ト三百文
一弐㊒人　又左衛門㊒
金三分ト弐百文
一三㊒人　長兵衛㊒
金三分弐朱ト三百文
一四㊒人　善右衛門㊒

金壱両ト四百文
一四㊟人　留五郎㊟
金壱両ト四百文
一四㊟人　四つ木　清兵衛㊟
金壱両ト四百文
一四㊟人　同　利左衛門㊟
金壱両ト四百文
一四㊟人　五郎左衛門㊟
金壱両ト四百文
一四㊟人　清四郎㊟
金壱両ト四百文
一五㊟人　門三郎㊟
金壱両弐朱ト五百文
一壱㊟人　市郎右衛門㊟
金弐分弐朱ト百文
一三㊟人　喜平治㊟
金三分弐朱ト三百文

一四㊟人　伝右衛門㊟
金壱両ト四百文
一五㊟人　七兵衛㊟
金壱両弐朱ト五百文
一弐㊟人　喜三郎㊟
金三分ト弐百文
一弐㊟人　七右衛門㊟
金三分ト弐百文
一三㊟人　善四郎㊟
金三分弐朱ト三百文
一三㊟人　六三郎㊟
金三分弐朱ト三百文
一五㊟人　四郎左衛門㊟
金壱両弐朱ト五百文
一弐㊟人　新吉㊟
金三分ト弐百文
一弐㊟人　藤八㊟

金三分ト弐百文
一壱人㊗　伊左衛門㊗
金弐分弐朱ト百文
一四人㊗　半　六㊗
金壱両ト四百文
一三人㊗　太郎右衛門㊗
金三分弐朱ト三百文
一三人㊗　新　蔵㊗
金三分弐朱ト三百文

惣金四拾三両壱分弐朱
内金三拾五両　割渡シ之分
銭拾弐〆四百文
内金壱両　入用
同七百五拾文　酒代
同三百七拾弐文　かし　とうふ
金弐分　屋料

金四両弐分五百文　割返シ申候
金壱両者　江戸入用之分
久太郎預置候
金壱分者　新蔵相渡し
文久元酉二月廿日
割渡申候
（桜井　晃家文書　5—106）

三六　元治元年三月　上新倉村村入用書上帳

（表紙）
元治元子年三月
去亥村入用書上帳
武州新座郡上新倉村
名主　久太郎組
（横帳）

一銭壱〆七百文
是者去ル亥年村中寄合仕候ニ付相掛り申候
一同五百八十文

是者尾州様御鷹場之儀ニ付小樽村江罷出候入用
一同壱〆四百文
是者御上納筋ニ付御役所へ罷出申候入用
一同壱〆七百文
是者去ル亥年宗門人別取調中諸入用
一同四貫弐百文
是者郷蔵并圦樋修復仕候ニ付相掛り申候
一同八百文
是者御伝馬之儀ニ付板橋宿へ罷出申候入用
一同壱貫四百文
是者堤其外橋之普請之儀ニ付相掛り申候
一同壱〆九百文
是者去ル亥宗門帳之儀ニ付御役所江罷出申候入用
一同五貫四百八十文
是者御鷹野御役所へよもきはこべ納入用
一同三貫三百文
是者御取締諸入用村々割合之分、大和田町江出金
仕候
一同七百文
是者尾州様御境杭之儀ニ付相掛り申候
一同壱〆七百文
是者夏成御年貢御上納ニ罷出申候入用
一同三百四拾八文
是者御取締之儀ニ付白子村へ罷出申候入用
一同弐貫七百文
是者下板橋宿御伝馬之儀ニ付相掛り申候
一同壱貫九百文
是者去亥年中出水ニ付相掛り申候
一同拾壱貫七拾文
是者御鷹野御役所へ杉之葉納諸入用
一同壱〆弐百文
是者志村御役宅江御法度証文ニ罷出申候入用
一同三貫七百文
是者御伝馬之儀ニ付下板橋宿へ村々割合ニ相掛り
申候
一同壱貫七百文

是者去ル亥秋成御年貢御上納ニ罷出申候入用
一同三貫九百文
是者大和田町御取締諸入用ニ相掛り申候
一同七百文
是者去ル亥ノ年御鷹野御役所へ螻納入用
一同六百拾壱文
是者御鷹野御役所江かまえび虫納入用
一同壱貫三百四拾八文
是者村方道普請諸入用ニ遣申候
一同壱貫弐拾四文
是者御鷹野御用筋触次料、内田三十郎方へ相渡し申候
一同五百拾三文
是者貯穀之儀ニ付膝折宿へ罷出候入用
一同九百四拾八文
是者御廻米中札之儀ニ付御役所へ罷出候入用
一同七百文
是者御伝馬之儀ニ付下板橋宿罷□申候入用
一同四貫文
是者御廻米上納之儀ニ付相掛り申候
一同壱〆三百文
是者御普請之儀ニ付御役所へ罷出候入用
一同壱貫七百文
是者御鷹野御役所之御用筋ニ付罷出候入用
一同壱貫三百文
是者皆済御年貢御上納ニ罷出申候入用
一同壱貫四百文
是者去ル亥ノ年中諸勧化ニ差出し申候
一同壱〆文
是者御用向ニ付立合御役所へ罷出申候入用
一同壱〆百文
是者村方用水之儀ニ付相掛り申候
一同八百文
是者去ル亥年中紙・墨・筆等ニ相掛り申候
一同弐貫三百文
是者去ル亥年中御年貢割合之節相掛り申候

〆銭七拾弐貫百三拾八文
高五百九拾五石五斗七升壱合
内高弐拾石　名主役高引
残高
五百七拾五石五斗七升壱合
高壱石ニ付
百弐拾五文三分三厘
右者去ル亥年中村諸入用帳相改候処、書面之通り相違無御座候、依之村中惣連印差上申候、依而如件
元治元子年
三月
武州新座郡
上新倉村
茂　兵　衛○
前書見置もの也
屋代増之助
子三月　役所○
覚
一上田壱反ニ付五斗六升八合五夕
一中田壱反ニ付四斗八升八合五夕
一下田壱反ニ付三斗八升弐合五夕
一上畑壱反ニ付永百四拾四文三分
一中畑壱反ニ付永百弐拾五文八分
一下畑壱反ニ付永九拾五文弐分
四月六日
一拾弐文　巾
四月六日
一百三拾弐文　かみ
一四十八文　同　油
一三拾弐文　同　豆腐
一八文　同　種
一百文　同　茶
元治元申子十一月
組頭　利　兵　衛

一米拾三俵□　　利兵衛ゟ
つぎ七升七合八夕
のり三合壱夕　藤右衛門遣ス

（星野　茂家文書　36—174）

三七　享保一八年八月　下新倉村村中法度証文

（表紙）
享保拾八年　下新倉村
村中法度状
丑ノ八月　日　惣百姓
（縦帳）

御法度証文之事

一殿様御林并ニ御蔵屋敷竹木之枝、一切取申間敷候、若盗取申者有之候ハヽ御屋敷江御訴被成候共、申分無御座候

一堤ニ而秣一切苅取申間敷候、若苅申者見付候ハヽ、御役人衆江早々しらせ可申候若見逃シ仕候ハヽ、盗人同前ニ過銭壱貫文差出し可申候

村方定法之事

一村中惣百性田畑ニ作置申候かう作一切あらし申間敷候、若ふミあらし申者有之候ハヽ、過金□つゝ急度為出可申候、弥以米石ハ不及申、ぞがて等迄茂□申者有之候ハヽ、手作ハ不及申ニ余人□作物成共、□人見付次第搦捕、早々村役人方江可罷出候、然上ハ検分致吟味弥々□人ニ紛無之候ハヽ、御　地頭様江御訴申上候而、大小之百性ニ不限村方追払申、弐度村方へ足入致させ申間敷候

一盗人之近所三間之者、過銭五貫文つゝ急度取立出させ可申候

一盗人見付申、縦親子親類成共見逃シ仕候者有之候ハヽ過銭五貫文急度出させ可申候

一山林ハ不及申ニなミぎ・あぜ木等ニ不限、我まゝに

盗取申者有之候ハヽ、金三分つゝ急度出させ□（可申候）
一盗人ニ□ハ不及申ニたれ人ニ不寄わひ事□申間
敷候
右之趣、村中惣百性承知仕候、依之村中不残□合相
談相定申□実正也、然上ハ相たがいニ中間吟味仕、
常々堅相守相背申間敷候、子共・奉公人江茂堅申付
べく候、万一御定法相背申候ハヽ、右之通り急度可被
仰付候、其時ニ至而少茂違背申間敷候、為後日村中
印形証文仍而如件

享保十八年
丑ノ八月日
村役人衆中

□郎㊞　九郎兵衛㊞　太郎右衛門㊞
四郎兵衛㊞　半兵衛㊞　新右衛門㊞
権左衛門㊞　八郎右衛門㊞　伝十郎㊞
次左衛門㊞　次郎兵衛㊞　次右衛門㊞
久四郎㊞　勘之丞㊞　角平㊞

源五右衛門㊞　五郎兵衛㊞　市兵衛㊞
勘三郎㊞　市左衛門㊞　次郎右衛門㊞
源四郎㊞　仁兵衛㊞　善九郎㊞
権兵衛㊞　森右衛門㊞　弥右衛門㊞
七郎左衛門㊞　柳右衛門㊞　文四郎㊞
□右衛門㊞　茂左衛門㊞　仲右衛門㊞
金左衛門㊞　七左衛門㊞　徳左衛門㊞
十左衛門㊞　庄兵衛㊞　小左衛門㊞
彦兵衛㊞　三右衛門㊞　角兵衛㊞
善太郎㊞　勘左衛門㊞　孫兵衛㊞
源太郎㊞　平蔵㊞　又兵衛㊞
利兵衛㊞　甚五左衛門㊞　平次郎㊞
□右衛門㊞　孫右衛門㊞　平十郎㊞
多右衛門㊞　喜平次㊞　嘉左衛門
十三郎㊞　七兵衛㊞　勝右衛門㊞
兵右衛門㊞　作右衛門㊞　権左衛門㊞
嘉右衛門㊞　安左衛門㊞　彦八㊞
忠兵衛㊞　権兵衛㊞　利右衛門㊞

徳左衛門㊞　門十郎㊞　左次兵衛後家㊞
六右衛門㊞　伝右衛門㊞　喜太夫㊞
又市㊞　市左衛門㊞　平七㊞
伊右衛門㊞　清左衛門㊞　佐五兵衛㊞
市郎右衛門後家㊞　文五郎㊞　清兵衛㊞
伊兵衛㊞　三郎兵衛㊞　市右衛門彦三郎後家㊞
九兵衛㊞　久四郎㊞　弥五兵衛㊞
□四郎㊞　権三郎㊞　弥兵衛㊞
甚兵衛㊞　十三郎㊞　権四郎㊞
市三郎㊞　藤右衛門㊞　治兵衛㊞
忠左衛門㊞　市右衛門㊞　浅右衛門㊞
藤介㊞　新兵衛㊞　三右衛門㊞
佐五兵衛㊞　甚右衛門㊞　七左衛門㊞
門三郎㊞　嘉兵衛㊞　吉兵衛㊞
善次郎㊞　又四郎㊞　門四郎㊞
市三郎㊞　勘三郎㊞　三左衛門㊞
宇兵衛㊞　新五兵衛㊞　武兵衛㊞

九左衛門㊞　甚五右衛門㊞　逸平㊞
八兵衛㊞　関兵衛㊞　忠右衛門㊞
長右衛門㊞　佐七㊞　武右衛門㊞
又左衛門㊞　八右衛門㊞　又七㊞
藤八㊞　伊兵衛㊞　伊右衛門㊞
徳右衛門㊞　甚五兵衛㊞　門兵衛㊞
折右衛門㊞　喜兵衛後家㊞　仁右衛門㊞
伊兵衛㊞　弥左衛門㊞　喜右衛門㊞
苗右衛門㊞　十左衛門島㊞　八郎右衛門㊞
伝右衛門㊞　伝左衛門㊞　半右衛門㊞
権右衛門後家㊞　佐五兵衛㊞　沢右衛門㊞
岡右衛門㊞　佐右衛門㊞　権兵衛㊞
久兵衛㊞　源四郎㊞　金兵衛勘兵衛後家㊞
十郎兵衛㊞　七兵衛㊞　市郎兵衛㊞
七郎兵衛㊞　小右衛門㊞　文次郎㊞
五郎兵衛㊞　八兵衛㊞　長三郎㊞
半三郎㊞　権八㊞　善四郎㊞
源右衛門㊞　七右衛門㊞

半兵衛後　家㊞　長兵衛㊞　源次郎㊞
市右衛門㊞　安兵衛㊞　半兵衛㊞
彦三郎㊞　伊三郎㊞　兵右衛門㊞
作兵衛㊞　徳右衛門㊞　権右衛門㊞
清八㊞　治太夫㊞　長右衛門㊞
外記㊞　善治郎㊞　金左衛門㊞
伝五右衛門㊞　小右衛門㊞　為右衛門㊞
善五郎㊞　八兵衛㊞　平次郎㊞
十兵衛㊞　藤左衛門㊞　門四郎㊞
与右衛門㊞　権三郎㊞

（柳下和夫家文書　20—58）

三八　宝暦九年七月　下新倉村村法度証文

（表紙）
宝暦九年
村法度証文之事
卯ノ七月
（縦帳）

申渡村定法

一前々ゟ申渡置候通、堤ニ而秣等一切苅申間鋪候、若苅取候者有之見付次第科銭壱貫文可申付候、尤其節見逃申候ハヽ、右同断

一田畑耕作荒シ又者ぞがて成共、飼葉等ニ苅取申候者有之、是又次第科金三分宛々可申付候、若見逃シ仕候者右同断

一並木・あぜ木之枝葉迄茂伐取申間敷候、此儀茂若伐取候者御座候ハヽ、右同断可申付候

一吹上観音三度之市町ニ付、所々ゟ参り候商人江難だい申掛ヶ酒手取、又者商売躰ニより、うわまいヲ取、商売人ニ難儀為致候由、此度風分ニ承申候、自今右不届成義仕出シ候者有之候ハヽ、村吟味之上、科之品可申付候、為後日村惣百姓□印取置申候、仍如件

宝暦九年卯七月

此度村役人中ゟ御申被渡候右村法度之趣、村中大小之百姓水呑迄も拝見致承知候、然上者末々迄堅相守

可申候、為後日村中連判差上申候、以上

治郎兵衛㊞　嘉右衛門㊞　宇左衛門㊞　藤　八㊞
嘉　兵　衛㊞　喜　平　次㊞　儀右衛門㊞　権右衛門㊞
忠　兵　衛㊞　半　兵　衛㊞　権　兵　衛㊞
長左衛門㊞　沢右衛門㊞　宇右衛門㊞　源左衛門㊞　勘　二　郎㊞　源　七
仲右衛門㊞　権　四　郎㊞　門　四　郎㊞
新右衛門㊞　源　次　郎　伝右衛門㊞　権　八㊞　徳右衛門㊞
治右衛門㊞　七郎兵衛　忠右衛門㊞　源　四　郎㊞　久　助　又　七㊞
伝左衛門㊞　久　兵　衛　八郎右衛門㊞　藤左衛門㊞　甚　兵　衛　喜　兵　衛㊞
三右衛門㊞　勘　兵　衛　弥左衛門㊞　平左衛門㊞　文　五　郎㊞　三左衛門㊞
五左衛門㊞　小右衛門　八　兵　衛㊞　彦　兵　衛㊞　三郎兵衛㊞　□　□
久　四　郎㊞　藤　七㊞　甚五右衛門㊞　孫　兵　衛㊞　門　兵　衛㊞　□　兵　衛㊞
半　六㊞　清　八㊞　半右衛門㊞　□　□㊞　喜左衛門㊞　□□左衛門㊞
□左衛門㊞　久　次　郎㊞　伝　兵　衛㊞　庄□㊞　八右衛門㊞　□右衛門
□右衛門㊞　七　兵　衛㊞　□衛門㊞　庄　兵　衛㊞　七右衛門　□右衛門㊞
半　兵　衛㊞　善□郎㊞　徳左衛門㊞　勝之丞㊞　□□　甚五□㊞
伝右衛門㊞　新　兵　衛㊞　宇　太　夫㊞　五　兵　衛㊞　□□㊞　仁右衛門㊞
四郎兵衛㊞　善　太　郎㊞　逸右衛門㊞　武　兵　衛㊞　三　重　郎㊞　伊左衛門㊞
浅右衛門㊞　長　五　郎　佐　七㊞　藤左衛門㊞　彦　三　郎㊞　伊　三　郎㊞
五　兵　衛㊞　助左衛門㊞　七郎右衛門㊞

徳左衛門㊞　伊右衛門　岡右衛門
与左衛門　市右衛門㊞　長左衛門㊞
門重郎　市兵衛　□左衛門㊞
六右衛門㊞　清兵衛　半兵衛㊞
忠右衛門㊞　左五兵衛㊞　彦兵衛㊞
弥兵衛　□右衛門㊞　平右衛門㊞
久四郎　忠兵衛㊞　宇兵衛㊞
九兵衛　権兵衛㊞　伊平□㊞
又兵衛　庄□衛門㊞　兵右衛門㊞
治兵衛㊞　甚左衛門㊞　□左衛門㊞
長五郎　平七㊞　□六㊞
清左衛門㊞　市左衛門㊞　長左衛門㊞
善次郎㊞　喜太夫㊞　□右衛門㊞
伝五右衛門㊞　又市㊞　長兵衛㊞
為右衛門㊞　八兵衛㊞　三郎兵衛㊞
治左衛門㊞　喜□次㊞　仁左衛門㊞
平次郎㊞　勝右衛門㊞　五郎兵衛
善五郎㊞　伊平次㊞　金兵衛

小右衛門㊞　伝四郎㊞　佐右衛門
藤左衛門㊞　七兵衛㊞　半兵衛㊞
与右衛門㊞　兵右衛門㊞　徳左衛門㊞
金泉寺㊞　重三郎㊞　□左衛門㊞
壱鑑寺㊞　□左衛門㊞　徳左衛門㊞
妙典寺㊞　作兵衛㊞　清右衛門㊞
東福寺㊞　佐左衛門㊞　森右衛門㊞
東明寺㊞　金左衛門㊞　六郎兵衛㊞
権三郎㊞　彦三郎㊞　又兵衛㊞
佐五兵衛㊞　柳右衛門㊞　又右衛門㊞
嘉兵衛㊞　治郎右衛門㊞　善太郎
三右衛門㊞　重左衛門㊞　弥右衛門㊞
治郎兵衛㊞　太兵衛㊞　庄左衛門
文蔵　伝三郎㊞　作兵衛㊞
万次郎　勘左衛門㊞　孫右衛門㊞
八太夫㊞　重兵衛㊞　三郎兵衛㊞
重兵衛㊞　宇左衛門㊞　五郎兵衛㊞
平左衛門㊞　甚五左衛門㊞　彦三郎㊞

甚　兵　衛㊞　門左衛門㊞　嘉　兵　衛
太郎右衛門㊞
村御役人中　惣　兵　衛㊞
七右衛門㊞
市　三　郎㊞
七左衛門㊞
定右衛門㊞
浅右衛門㊞

（柳下和夫家文書　20―59）

三九　安永三年四月　下新倉村広沢原雑丹袋新田村入用帳

安永三午年　広沢原雑丹袋新田
去　巳　年　村　入　用　帳
民家なし　四月　新座郡下新倉村
（横帳）

覚

一弐百文　紙壱状
是者御年貢金御上納之節雑用小遣仕候

一廿壱文　紙壱状
是者夏成御年貢御上納之節帳紙仕候

一弐百三拾弐文
是者御年貢金御上納之節雑用小遣仕候

一廿壱文　紙壱状
是者秋成御年貢之節帳紙仕候

一百四拾八文
是者冬成御年貢御上納之節雑用小遣仕候

一四拾弐文　紙弐状
是者皆済御年貢御上納仕候節帳紙仕候

惣〆銭六百六拾八文
高三拾九石九斗五升三合　但壱石ニ付拾六文九厘

前書之通去巳年正月ゟ同十二月迄之村入用、書面之通少も相違無御座候、右之外村入用有之候ハヽ、何分之御咎メニ茂可被仰付候、依之名主・年寄・百姓代印形差上申候、以上

安永三午年

四月

下新倉村

名主　助右衛門㊞
年寄　源右衛門㊞
百姓代　太　兵　衛㊞

同　森右衛門㊞
同　権右衛門㊞
同　喜　兵　衛㊞
同　藤　　介㊞
同　八右衛門㊞
同　弥　惣　治㊞
同　長　十　郎㊞
同　源右衛門㊞
同　太　兵　衛㊞
同　助右衛門㊞
同　弥治右衛門㊞

久保田十左衛門様
御役所

百姓　孫右衛門㊞
同　伝　　八㊞
同　政右衛門㊞
同　宇左衛門㊞
同　伴右衛門㊞
同　吉左衛門㊞
同　八　兵　衛㊞
同　孫　兵　衛㊞
同　弥　平　治㊞
同　彦右衛門㊞
同　彦　兵　衛㊞

右之通相改候処相違無之候、以上

午七月八日　役所㊞

（柳下和夫家文書　20―39）

四〇　安永七年四月　下新倉村広沢原雑丹袋新田五ヶ年分村入用帳

安永七戌年　広沢原雑丹袋新田
辰年ゟ去ル申年迄五ヶ年分村入用帳
四月　新座郡下新倉村
（横帳）

覚

一弐百文　是者御年貢金御上納之節雑用ニ小遣仕候
（ママ）廿壱文　紙壱状
是者夏成御年貢御上納之節帳面仕候
一弐百三拾弐文　是者御年貢金御上納之節雑用小遣仕候
一弐拾壱文　紙壱状
是者秋成御年貢之節帳面仕候
一百四拾八文　是者冬成御年貢御上納之節雑用小遣仕候
一四拾弐文　紙弐状
是者皆済御年貢御上納仕候節帳面仕候
惣〆銭六百六拾八文
高三拾九石九斗五升三合　但壱石ニ付拾六文九厘
巳年分〆銭六百六拾八文　村入用
午年分〆銭六百六拾八文　村入用
未年分〆銭六百六拾八文　村入用
申年分〆銭六百六拾八文　村入用
前書之通辰年正月ゟ去ル申ノ十二月迄之村入用五ヶ年分、書面之通少も相違無御座候、右之外村入用有之候ハヽ、何分之御咎メニ茂可被仰付候、依之名主・年寄・百姓代印形差上申候、以上

安永七戌年
四月

下新倉村
名主　助右衛門㊞
年寄　源右衛門㊞

飯塚伊兵衛様
御役所

百姓代
太兵衛㊞

百姓
孫兵衛㊞
同
伝八㊞
同
政右衛門㊞
同
宇左衛門㊞
同
伴右衛門㊞
同
吉左衛門㊞
同
八兵衛㊞
同
孫右衛門㊞
同
弥平治㊞
同
彦右衛門㊞
同
彦兵衛㊞
同
森右衛門㊞
同
権右衛門㊞
同
喜兵衛㊞
同
藤助㊞

同
八右衛門㊞
同
弥惣治㊞
同
長十郎㊞
同
弥治右衛門㊞
同
太兵衛㊞
同
源右衛門㊞
同
助右衛門㊞

（柳下和夫家文書　20—40）

四一　享和二年一二月　下新倉村村入用取立帳

（表紙）
享和二戌年
当戌村入用取立帳
下新倉村
柳下助右衛門
十二月二日
（横帳）

（付箋）
戌ゟ源右衛門分皆入
中かやノ四反壱畝八歩　妙蓮寺
御改　反七十五文
取三百九文五分

下かやノ弐反拾五歩
取百三十□分　反六十□　同所

三百八十九文　田方立替　助右衛門
三百文　芝　平蔵
弐百六十四文　長久保　治兵衛
永六拾弐文　茶畑永
四百廿弐文　御礼
一五百文
一壱〆弐百文　御礼之節小遣
五百文　御屋敷御役人中
三貫弐百文　度々小遣　助右衛門
八百文　大塚触次代
弐〆五百四十八文　蔓よもき　はこべ代
四百四十八文　志村　杢右衛門
弐百文　銘宮　嘉右衛門
四百文　大塚　源太郎
弐百文　杢右衛門
三百文　五兵衛

壱〆百廿四文
外ニ
弐百文
六〆九百七十三文
〆弐拾貫弐百八文
但札壱枚ニ付
十三文七分懸り

弐百文　杢右衛門
三百八十弐文　孫市
十四文　惣五郎
百五十五文　忠右衛門
四拾壱文　平蔵
弐百文　七兵衛
弐百八十弐文　勝右衛門
百壱文　定七
廿八文　惣七
廿八文　万右衛門
十四文　惣右衛門

御年貢納　伝八代
弥五郎

十四文
壱〆六百四十文
百壱文
廿八文
百五十五文
十四文
八十弐文
三百五十五文
十四文
廿八文
六十九文
十四文
六百文
四十壱文
四十一文
六十九文
十四文

徳左衛門
半　平
久　七
佐平太
七郎右衛門
留右衛門
平　七
五平次
門四郎
五郎右衛門
徳右衛門
又右衛門
鉄五郎
吉左衛門
金　蔵
九左衛門
又四郎
清左衛門

弐百四十一文
十四文
十四文
六百廿七文
百六十九文
百廿八文
五十五文
八十弐文
弐百廿七文
廿八文
百五十五文
壱〆九百廿六文
十四文
五十五文
百五十五文
廿八文
五十五文
百廿八文

浅右衛門
八右衛門
仁右衛門
源太郎
武右衛門
喜三太
鉄五郎
小治郎
伝二郎
彦三郎
平　六
治太夫
儀左衛門
兵右衛門
権左衛門
政右衛門
長右衛門
弥　八

四十壱文　金右衛門　三百文　武　七
十四文　九右衛門　百五十五文　幸二郎
十四文　□右衛門後家　廿八文　粂五郎
六十九文　市郎兵衛　六十九文　岩右衛門
廿八文　磯右衛門　十四文　門三郎
十四文　門三郎　廿八文　市右衛門
四十一文　佐右衛門　五十五文　半右衛門
八十弐文　勝五郎　十四文　宇兵衛
百壱文　元右衛門　廿八文　彦右衛門
百廿八文　沢右衛門　四十一文　忠七
十四文　源左衛門　十四文　三左衛門後家
四十一文　源六　十四文　太郎兵衛
十四文　七郎兵衛　百五十五文　権四郎
十四文　幾右衛門　五十五文　久左衛門
廿八文　清五郎　廿八文　藤右衛門
百壱文　幸右衛門　十四文　安右衛門
五十五文　半兵衛　廿八文　文五郎
四十一文　弥市　百五十五文　友右衛門

四十一文　勘五郎　弐百八十弐文　太郎右衛門
百六十九文　紋兵衛　弐百四十壱文　市左衛門
十四文　喜左衛門　百廿八文　元右衛門
十四文　喜兵衛　十四文　浅右衛門
弐百十四文　七郎右衛門　四十一文　甚左衛門
六十九文　吉三郎　廿八文　平七
十四文　庄右衛門　九十五文　武左衛門
三百廿七文　市十郎　六十壱文　喜左衛門
十四文　平左衛門　〃〃〃　伊平次
十四文　彦三郎　百八十弐文　喜平次
十四文　仲右衛門　八十弐文　太右衛門
廿八文　市郎右衛門　十四文　勝右衛門
八十弐文　五右衛門　五十五文　六兵衛
五十五文　清兵衛　五十五文　八右衛門
十四文　弥兵衛　四十一文　伝四郎
廿八文　左五兵衛　八十弐文　十三郎
五十五文　勘左衛門　四十一文　権左衛門
六十九文　忠兵衛　廿八文　左兵衛

十四文	左左衛門	廿八文	安五郎
廿八文	七兵衛	四十一文	勘左衛門
廿八文	源右衛門	十四文	三四郎
百五十五文	七左衛門	廿八文	十兵衛
廿八文	彦三郎	十四文	庄左衛門
十四文	三右衛門	十四文	又右衛門
十四文	金左衛門	十四文	庄兵衛
八十弐文	仲右衛門	十四文	宇左衛門
六十九文	柳右衛門	十四文	八兵衛
十四文	森右衛門	十四文	仙太郎
八十弐文	七右衛門	廿八文	又七
廿八文	定五郎	百五十五文	伴右衛門
四十一文	治郎右衛門	廿八文	甚五右衛門
十四文	小左衛門	廿八文	太平次
十四文	十左衛門	弐百五十五文	伝八
十四文	又兵衛	五十五文	金右衛門
十四文	太郎兵衛	十四文	忠兵衛
十四文	伝三郎	五十五文	権兵衛

弐百五十五文　源四郎　十四文　半六
六十五文　又八　十四文　治郎右衛門
百六十九文　藤左衛門　十四文　勘七
百四十弐文　平左衛門　十四文　半兵衛
百六十九文　嘉右衛門　十四文　伝右衛門
四十一文　孫兵衛　十四文　浅右衛門
四十一文　平十郎　十四文　五右衛門
廿八文　善九郎　十四文　弥右衛門
十四文　庄二郎　廿八文　市郎兵衛
十四文　覚左衛門　廿八文　太郎右衛門
十四文　久四郎　廿八文　彦三郎
十四文　長左衛門　弐百文　五郎右衛門
十四文　治兵衛　四十一文　治郎
十四文　新右衛門　十四文　半右衛門
十四文　治右衛門　百十九文　五兵衛
廿八文　権左衛門　五十五文　兵左衛門
十四文　五左衛門　廿八文　長五郎
十四文　久四郎　五十五文　元右衛門

十四文	平右衛門	百六十九文
十四文	藤左衛門	百廿八文
廿八文	徳左衛門	四十一文
十四文	門十郎	五十五文
五百壱文	六右衛門	十四文
百八十弐文	忠右衛門	十四文
十四文	弥兵衛	五十五文
十四文	久四郎	六十九文
十四文	九兵衛	廿八文
十四文	伊三郎	廿八文
六十九文	角右衛門	五百五十四文
十四文	又兵衛	四百八拾弐文
廿八文	伊左衛門	百四十弐文
十四文	善二郎	八十弐文
弐百廿七文	善左衛門	廿八文
百五十五文	為右衛門	弐百八十弐文
四十一文	源七	廿八文
廿八文	治左衛門	廿八文

平五郎	大野	
平蔵	大野	
善五郎	常東	松
弥平次	燈明寺	葉軒
八右衛門	明	東
藤左衛門	助	福
与市	右衛門	寺
七兵衛	大野善太郎	妙典寺
万右衛門		金泉寺
権三郎		一鑑寺

廿八文	勘四郎	壱貫弐百五十六文	覚左衛門
四十一文	治郎右衛門	差引弐百文	二間新田　九郎兵衛へ遣ス
十四文	常楽院	七百廿四文	皆済之節小遣
十四文	白子喜右衛門	弐百六十四文	半切
四十一文	同善左衛門	八百文	御年始之節
十四文	土支田曽右衛門	弐百文　酒壱升	練馬村九平次江
廿八文	同友右衛門	壱〆四拾八文	人別帳
十四文	勘右衛門	南鐐壱片	其外御用向
四十一文	弥五郎	此銭八百七十弐文	御年貢取違候ニ付立替
		八百七十弐文	宿利介御懸り弐人御給分
		四十四文	嘉右衛門
		百十六文	新右衛門
		壱〆七十七文	見セ入用
		九〆弐百七十三文	源内
		壱〆五百廿八文	杢右衛門
		六百文	織右衛門
		壱〆八百四十八文	同人
		弐百文	

（柳下和夫家文書　20—42）

四二　文化一四年六月　下新倉村村入用帳

（表紙）
文化十四丑年
当丑ノ村入用帳
下新倉村
六月
（横帳）

尾州入用　長久保

八百四十八文　善兵衛
十貫九百廿五文　宗無江払
拾貫文　大塚觸つぎ上物料
〆三拾弐〆三百六十五文
弐〆弐百八十文　織右衛門
白子といくぎ代
弐〆八百八十八文　同人
丸太代
弐百文　俵代　□善兵衛
三百文　俵代　□小右衛門
百文　俵代　市郎兵衛
三百文　俵代　織右衛門
惣
〆三拾八貫四百四十壱文
札壱枚ニ付廿五文五分
△杢右衛門組
三百六十九文　喜三郎
廿六文　惣五郎

弐百八拾九文　忠右衛門
百八十三文　平蔵
四百十五文　元二郎
五百五十六文　甚五右衛門
弐百八十九文　万五郎
百六文　惣七
五十壱文　伊左衛門
廿六文　惣右衛門
廿六文　重兵衛
廿六文　源蔵
壱〆三百弐文　半平
廿六文　半次郎
百三十弐文　左七
五十壱文　紋右衛門
弐百六十三文　文左衛門
廿六文　平七
七十七文　五平治
弐百六十三文　門四郎

廿六文	勝五郎	三〆六百六十三文
廿六文	徳右衛門	五十壱文
百三十弐文	又右衛門	百六文
廿六文	才次郎	弐百八十九文
壱〆四百八十四文	△吉左衛門	五十壱文
三百九十五文	次左衛門	百六文
七十七文	儀右衛門	七十七文
百五十七文	又四郎	七十七文
七十七文	清左衛門	廿六文
五十壱文	八右衛門	廿六文
	△源太郎組	百五十七文
弐百八十九文	善太郎	廿六文
弐百三十八文	喜三太	廿六文
七十七文	岡右衛門	七十七文
百三十弐文	小二郎	百六文
三百十八文	伝三郎	百八十三文
廿六文	彦三郎	三百十八文
三百四十四文	平左衛門	廿六文

次太夫	儀左衛門	常右衛門
権左衛門	八左衛門	長右衛門
勘六	金右衛門	七右衛門
吉右衛門	市郎兵衛	儀右衛門
門三郎	左右衛門	勝五郎
元右衛門	沢右衛門	源左衛門

廿六文　門右衛門　廿六文　万吉
七十七文　源之丞　百三十弐文　忠七
弐百三十八文　小右衛門　五十壱文　市三郎
五十壱文　三右衛門　四百七十五文　権四郎
百三十弐文　源内　百六文　文左衛門
弐百十五文　新右衛門　弐百八十九文　藤右衛門
百六文　半兵衛　百六文　安右衛門
七十七文　弥市　五十壱文　文五郎
△織右衛門組　弐百八十九文　友右衛門
弐百八十九文　丹六郎　七十七文　勘五郎
弐百六十三文　幸次郎　百五十七文　門之助
七十七文　粂二郎　廿六文　▲源五郎
百八十三文　万平　廿六文　喜之助
廿六文　門三郎　三百九十五文　七右衛門
五十壱文　市右衛門　四百五十文　吉三郎
百三十弐文　源二郎　廿六文　庄右衛門
廿六文　宇兵衛　七百四十弐文　市十郎
廿六文　又七　弐百三十八文　源之助

五十壱文　彦三郎　廿六文　太右衛門
廿六文　仲右衛門　百六文　勝右衛門
五十壱文　市郎右衛門　百八十三文　六兵衛
百八十三文　五郎右衛門　百五十七文　市郎兵衛
百六文　藤蔵　百八十三文　伝四郎
七十七文　左五兵衛　七十七文　十三郎
百三十弐文　勘右衛門　五十壱文　左兵衛
百八十三文　兵左衛門　廿六文　佐左衛門
六百十壱文　太郎右衛門　五十壱文　七之助
弐百六十三文　元右衛門　△嘉右衛門組
廿六文　浅右衛門　廿六文　源右衛門
百六文　甚左衛門　弐百八十九文　七左衛門
五十壱文　中平七　五十壱文　彦二郎
弐百十五文　藤蔵　廿六文　三右衛門
三百六十九文　▲喜左衛門　廿六文　勘治
五十壱文　権左衛門　廿六文　金左衛門
三百十八文　伊平治　百五十七文　仲右衛門
廿六文　喜平治　廿六文　森右衛門

百六文
百八十三文
五十壱文
百八十三文
七十七文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
廿六文
五十壱文
廿六文
廿六文

弥五郎
七右衛門
定五郎
柳右衛門
次郎右衛門
小左衛門
十左衛門
又兵衛
伝吉
伝三郎
八兵衛
勘左衛門
三四郎
長十郎
庄左衛門
又右衛門
庄兵衛
宇左衛門

廿六文
廿六文
五十壱文
弐百八十九文
五十壱文
四百七十五文
七十七文
廿六文
百六文
五百五十六文
百八十三文
三百十八文
弐百十弐文
七十七文
七十七文
七十七文
廿六文

安五郎
孫八
又七
伴右衛門
甚五右衛門
太平治
伝八
喜平治
右兵衛
権兵衛
源左衛門
又八
藤左衛門
平左衛門
孫兵衛
平十郎
六右衛門
庄二郎

廿六文　△角左衛門　三百九十三文　五郎右衛門
廿六文　平四郎　七十七文　次助
廿六文　次兵衛　廿六文　半十郎
廿六文　新右衛門　弐百三十文　▲五兵衛
廿六文　次右衛門　弐百六十三文　弥八
廿六文　権左衛門　五十壱文　長五郎
廿六文　半六　百三十弐文　元右衛門
廿六文　次左衛門　廿六文　平右衛門
廿六文　勘七　廿六文　藤左衛門
五十弐文　半兵衛　七十七文　徳左衛門
廿六文　伝右衛門　廿六文　門十郎
五十弐文　四郎兵衛　五百五文　六右衛門
廿六文　儀右衛門　三百四十四文　忠右衛門
廿六文　権右衛門　廿六文　弥兵衛
廿六文　弥右衛門　廿六文　久四郎
七十七文　市郎兵衛　七十七文　九郎兵衛
五十壱文　太郎右衛門　廿六文　伊三郎
百六文　彦三郎　百五十七文　角右衛門

廿六文	又兵衛	弐百八十九文
七十七文	△伊左衛門	百五十七文
廿六文	善二郎	三百十八文
三百四十四文	善左衛門	弐百十二文
四百廿四文	為右衛門	五十一文
七十七文	源七	五十一文
五十一文	次郎左衛門	五十一文
弐百六十三文	平五郎	五十一文
弐百八十九文	平蔵	七十七文
七十七文	善五郎	百三十二文
弐百三十八文	長太郎	廿六文
七十七文	八十郎	七十七文
廿六文	藤左衛門	七十七文
七十七文	与市	百六文
弐百八十九文	万右衛門 七郎兵衛	五十一文
五十一文	権三郎	廿六文
壱〆三十五文	一鑑寺	七十七文
壱〆九文	金泉寺	七十七文

明典寺	善太郎	徳左衛門
東福寺	勘四郎	次郎右衛門
東明寺	大の勘右衛門	常楽院
常燈明	松葉間	白子喜右衛門
重右衛門	宿七兵衛	善兵衛
宿三二郎	金蔵	角丈

五十一文　　文五郎
廿六文　　友右衛門

（内山昌明家文書　16—1）

四三　文政四年四月　下新倉村名主跡役願書

乍恐以書付奉願上候

一御知行所武州新座郡下新倉之内、浅久保組一同以連印奉申上候、当村名主役無之見立名主可相願旨、先達而被　仰渡候ニ付一同相談仕候得者、残四組者組頭善兵衛を名主役ニ願上候得共、私共組者先名主助右衛門儀隠居致候ニ付、家督忰宗無ニ相譲候間、右宗無者平生共実躰成者、殊ニ身元算筆相応故、同人江名主役願上候、一躰名主役者大切之儀ニ付意得不致候者見立相願候義者当組ニおゐて甚迷惑仕候、然ル上者迚茂一決不仕候儀ニ付、何卒以　御慈悲当組之儀宗無江被仰付被下置候様奉願上候、以上

下新倉村浅久保組

文政四巳年四月

百姓代　喜平次㊞
願人惣代　利助㊞
同　与市㊞
百姓　字八㊞
同　八五郎㊞
同　文七㊞
同　勝五郎㊞
同　栄次郎㊞
同　喜太郎㊞
同　孫右衛門㊞
同　亦四郎㊞
同　忠兵衛㊞
同　八左衛門㊞
同　三右衛門㊞
同　重兵衛㊞
同　定次郎㊞
同　清右衛門㊞
同　柳右衛門㊞

同　三吉㊞
同　孫八㊞
同　金次郎㊞
同　七左衛門㊞
同　源右衛門㊞
同　七兵衛㊞
同　音次郎㊞
同　幸吉㊞
同　仙之助㊞
同　彦右衛門㊞
同　藤右衛門㊞
同　五郎左衛門㊞
同　馬之助㊞
同　伝吉㊞
同　伊八㊞
同　万次郎㊞
同　文五郎㊞
同　佐七㊞

同　七五郎㊞
同　増五郎㊞
同　竹五郎㊞
同　平左衛門㊞
同　佐吉㊞
同　弥右衛門㊞
同　弥次郎㊞
同　五郎兵衛㊞
同　次郎吉㊞
同　惣五郎㊞
同　多郎右衛門㊞
同　源蔵㊞
同　新五郎㊞
同　定右衛門㊞
同　新五右衛門㊞
同　半兵衛㊞
同　勘兵衛㊞
同　藤七㊞

同　平　蔵㊞
同　久　兵　衛㊞
同　平　七㊞
同　庄　兵　衛㊞
同　鉄　五　郎㊞
同　角　左　衛　門㊞
同　磯　五　郎㊞
同　半　六㊞
同　留　五　郎㊞

御地頭所様
御役人中様

（柳下源太郎家文書　17—11）

四四　元文四年七月　白子村組頭退役願書

（封書表）
上　口上書
下白子村
組頭　伝兵衛

乍恐書付ヲ以奉願上候

一拙者儀、只今迄組頭役儀相勤申候得共、此度為渡世之道心ニ罷成候ニ付、組頭役儀御免被遊可被下候、為其書付ヲ以奉願上候、以上

下白子村
組頭　伝　兵　衛㊞

元文四年未七月

御地頭様

（冨澤泰次家文書　122—451）

四五　寛保三年四月　白子村五人組頭不足に付願書

乍恐以書付奉願上候

一下白子村組頭共申上候、下白子村之儀ハ御料所・御私領所共ニ高合三百四拾石余之小村ニ而御座候得者通り御伝馬之儀、跡先大村宿之并ニ相勤申候ニ付、組頭不足ニ而者難相勤奉存、此度五人組内々ニ而相

定申候ニ付、左之者共五人組ニ被為　仰付被下置候様ニ奉願上候、以上

願人組頭　定右衛門㊞
同　庄　次　郎㊞
同　孫右衛門㊞
同　長　四　郎㊞
同　忠　兵　衛㊞
同　弥　兵　衛㊞
同　善　兵　衛㊞
同　次　兵　衛㊞
同　勘　　六㊞

御地頭様

右組頭中五人組役之儀、私共ニ仕候様ニ内々ニ而相談被致候ニ付承知仕申候、此上五人組役之儀、拙者共へ被為　仰付被下置候様ニ奉願上候、以上

五人組　半　　六㊞
同　折右衛門㊞
同　吉　之　丞㊞
同　金右衛門㊞
同　佐五右衛門㊞
同　与　兵　衛㊞
同　新　　助㊞
同　善右衛門㊞
同　十　次　郎㊞
同　茂右衛門㊞
同　政右衛門㊞
同　元右衛門㊞
同　惣左衛門㊞
同　太右衛門㊞

右五人組之儀、組頭共奉願上候通り、組頭不足ニ而ハ通り御伝馬役之儀、難相勤奉存候ニ付、願之者共へ五人組被為　仰付被下置候様ニ奉願上□以上

寛保三年亥四月九日　　名主　勘　兵　衛㊞

（富澤泰次家文書　122—458）

四六　寛保三年四月　白子村新規五人組に付証文持参

下知状

覚

一惣年寄共、此度五人組申付候迄何之障りニ相成不申、年寄共ためニ茂御役并地頭諸役相助ニ相成候段、証文壱通相認不致印形持参可致者也

一此度願之五人組共、向後何之無違変、公用・地頭用共ニ無滞可相勤段、是又証文右同断

一惣百姓共、此度新規ニ五人組申付候而、村方何之相障義も無之段、尤百姓共勝手ニ茂組頭永々五人組申付度候而宜敷候間相願候段、証文壱通是又右同断

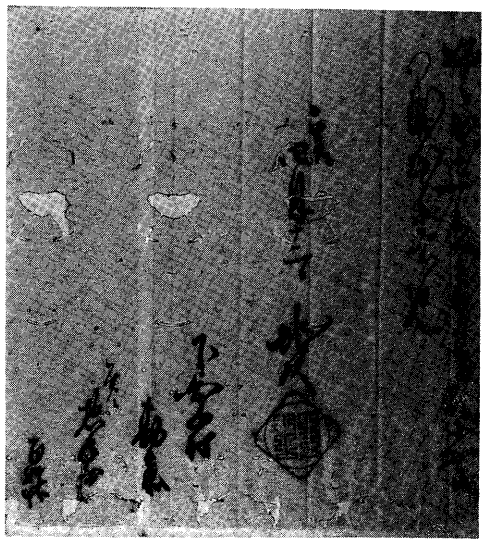
右之通証文、又候取繕相調持参可致候、尤此方ニ而披見之上、好之義も可有之候間印形等不致可致持参者也

亥四月十二日　地頭㊞

下白子村

勘兵衛

并ニ惣年寄共



（冨澤泰次家文書　122—459）

百姓代

四七　寛保三年四月　白子村新規五人組に付請書

指上申証文之事

一此度組頭共五人組奉願上候処願之通被仰付難有奉存候、尤新規五人組被仰付候而も以来惣百姓共ニ至迄儀無御座勿論組頭共ニ立添、通り御用等ハ不及申、御地頭様御用向迄も替り替りニ相勤候得者、諸色御用等相弁シ候ニ付、御願申上候、為其証文指上申候、以上

下白子村　　組頭定右衛門

寛保三年亥四月十四日　　同　庄次郎

同　孫右衛門

同　長四郎

同　忠兵衛

同　弥兵衛

同　善兵衛

同　次兵衛

御地頭様

同　勘六

名主勘兵衛

（冨澤泰次家文書　122—461）

指上申証文之事

一此度五人組之儀、被為仰付候而茂惣百姓障りニ罷成候儀無御座候、勿論組頭ニ差添御用等ハ不及申、御地頭様御用迄相勤候得者、村方勝手ニ茂罷成申候、為後日惣百姓代印形指上申候、以上

下白子村

寛保三年亥四月十四日　　惣百姓代　七兵衛

同　太郎右衛門

同　甚五兵衛

同　庄左衛門

同　忠右衛門

御地頭様

（冨澤泰次家文書　122—462）

指上申証文之事

一此度我等共、五人組ニ被為拙者共義名主組頭惣百姓共奉願候ニ付候段長候仰付奉承知候、向後御用等者不及申、御地頭様御用等迄組頭共ニ立添無滞急度相勤可申候、為其証文指上申候、以上

下白子村

寛保三年亥四月十四日　五人組半　六

同　金右衛門
同　折右衛門
同　吉之丞
同　佐五右衛門
同　善右衛門
同　十次郎
同　与兵衛
同　新助
同　茂右衛門
同　太右衛門
同　惣左衛門
同　元右衛門
同　政右衛門

（冨澤泰次家文書　122—463）

四八　文政一二年一二月　白子村御料所小物成村入用割合帳

（表紙）

文政十二年
川々国役金
御料所小物成村入用割合帳
名主　給
丑十二月朔日　紙員

（横帳）

覚

川々国役金

一銀廿三匁三分五り五も　小物成
　此銭弐〆六百八文

一五〆六百文　名主給

一米壱俵

　此外三〆四百文

一三人　　夏成
　　秋成
　　皆済
　此銭六百文
一壱人　　人別帳面納
　此銭弐百文
一弐百文　　新次郎
　所沢江参申候、茂兵衛ゟ立替
一壱人　　常八
　弐百文
　御代官役所江田方帳面持参致申候
一壱人泊り　　勘兵衛
　五百文
　同所江絵図面持参
一壱人　　常八
　弐百文　茂兵衛ゟ立替
　同所江罷出申候
十月十三日ゟ十四日迄

一壱〆文　　茂兵衛
　　弥五右衛門
　是者御勘定方御用係ニ付
　布田宿ゟ府中宿迄参り申候
一壱人　泊り　　勘兵衛
　五百文
　右同断南畑迄罷出申候
一百四拾八文
　是者御代官ゟ御年貢之儀申来り候節飛脚賃
一金弐朱ト三百文
　此銭壱〆百三拾六文
　是者増永被仰付候節御勘定方并御手代衆江着代ト
　シテ差出ス
　寅正月二日渡
一三百四文　　市左衛門
一百八拾文　　平左衛門
合拾六〆七百八拾文
外ニ

両所入用分入　廿五〆七百廿三文
弐口〆四拾弐〆五百七文
家数七十六軒分　内九〆五百文引
但壱間ニ付百廿四文ツヽ
引〆
三拾三〆七文
高七拾八石壱斗壱合割
但高壱石ニ付四百五文七分弐り三毛
目抜

一百七拾三文　徳次郎
一百七拾七文　吉蔵
一弐百五拾五文　三四郎
一四百九十五文　常八
一六百十六文　吉左衛門
一三百五拾弐文　弥兵衛
一八百拾壱文　久五郎
一弐百三文　作右衛門
一百八拾四文　久八
一六百六拾三文　利左衛門
一六百六拾文　源八
一三百七文　三郎右衛門
一七百五十九文　徳右衛門
一三百四拾三文　次兵衛
一三百八拾七文　平五郎
一三百拾七文　藤蔵
一百七拾八文　新田善兵衛
一八百五拾八文　忠左衛門
一弐百八文　喜八
一弐百九拾文　重右衛門
一弐百五十九文　惣左衛門
一百六拾九文　太右衛門
一百四拾七文　久兵衛
一百八拾文　長四郎父嘉兵衛
一三百九文　中屋平左衛門
一弐百六拾壱文　弥右衛門

一九百三拾弐文　藤左衛門
一四百三拾九文　七兵衛
一壱〆百六拾文　又兵衛
一弐百五十八文　栄次郎
一弐百五十三文　金之丞
一壱〆五十三文　与兵衛
一弐百拾八文　勘左衛門
一壱〆六拾弐文　善左衛門
一百六拾壱文　清吉
一三百五文　吉之丞
一弐百九拾文　太左衛門
一百八拾五文　伊左衛門（午月）
一四百七拾八文　要右衛門
一三百五十九文　源七
一三百二十九文　半六
一六百三文　奥右衛門
一五〆三百三拾四文　小源次
一壱〆九百三十四文　久右衛門

一八百八拾四文　五郎
一四百四拾弐文　八十郎
一百八拾壱文　七蔵
一三百六拾五文　源之丞
一三百拾五文　鉄五郎
一壱〆五百八拾文　勝右衛門
外ニ弐百廿五文　彦五郎分
〆壱〆八百九文
一弐〆四百六拾六文　藤左衛門
一壱〆三百九十三文　元右衛門
一五百廿五文　万右衛門
一七百五十七文　藤五郎
一七百五十壱文　四郎兵衛
一百四十八文　五右衛門
一壱〆四百拾七文　金左衛門
一壱〆三百五十九文　藤吉
一三百六拾五文　五郎兵衛
一七百三拾文　新次郎

一六百四十七文　午房政右衛門
一三百三拾五文　地福寺
一百八拾壱文　不動院
一弐百三十四文　観音寺
一七百八拾六文　茂兵衛
一六拾七文　稲荷社地
一百廿四文　吉右衛門
一〃　留右衛門
一〃　喜兵衛
一〃　佐平次
一〃　音次郎
一〃　徳左衛門
一〃　万正寺
一〃　平左衛門
一〃　清七
一〃　藤兵衛
一〃　市郎右衛門
一〃　惣七

2　戸口

四九　安政六年三月　上新倉村人別差引帳

（表紙）
安政六未年
当未年人別差引帳
三月
（縦帳）

出生人之分

一去巳人別後出生仕候　平四郎娘よし　午二才
一去巳人別後出生仕候　伝右衛門悴宮内
一去巳人別後出生仕候　藤七孫勇蔵
一去巳人別後出生仕候　音五郎孫さく

一去巳人別後出生仕候　半兵衛孫つま
一去巳人別後出生仕候　善四郎孫はる
一去巳人別後出生仕候　長左衛門孫はる
一去巳人別後出生仕候　権十郎娘みや
一去巳人別後出生仕候　善左衛門孫むめ
一去巳人別後出生仕候　和助娘はな
一去巳人別後出生仕候　佐治兵衛孫治郎吉

〆拾壱人内男三人女八人
縁組ニ而入人之分

一武州足立郡新開村甚右衛門悴定五郎、去巳十二月中聟貰申候　嘉右衛門後家きん
一同州同郡下新倉村七五郎悴房五郎、当午二月中養子貰申候　庄右衛門
一私悴忠蔵、同州白子村安五郎方へ離付(縁カ)候所、去巳七月中離縁致候ニ付、親元へ引取申候　権十郎

一同州同郡岡村仲右衛門娘とも、去巳四月中、娵貰申候　清左衛門
一同州同郡下新倉村勘五郎弟藤蔵女房くま并子供四人去巳九月中養子貰申候　茂平治養子藤蔵／くま／うめ／善蔵／勘蔵／重蔵
一武州豊島郡中荒井村清兵衛娘せい、去巳四月中、娘貰申候　佐治兵衛

〆拾壱人内男七人女四人
奉公人入人之分

一武州新座郡根岸村源治郎娘その、当午二月ゟ来未二月迄、壱季奉公ニ差出申候　小左衛門

〆入人弐拾三人内男九人女拾四人
縁組ニ而出人之分

一同村久太郎組兼吉方へ、私悴金　文右衛門

蔵去巳四月中縁付申候

一武州足立郡中村新田栄吉方へ私　忠兵衛
悴千之助、当午二月中、養子ニ
差遣申候

一同州同郡下新倉村伴右衛門娘も　庄右衛門
よ、庄右衛門方へ、貰置候所、
右親元へ差遣申候

〆三人内男弐人女壱人

死失人之分

一私親もせ、去巳六月中死失仕候　兵右衛門

一私親平吉、去巳八月中死失仕候　清兵衛

一私親亀吉、去巳六月中死失仕候　弥右衛門

一私娘ふよ、去巳十月中死失仕候　吉三郎

一私娘うめ、去巳八月中死失仕候　平四郎

一私悴平蔵、去巳六月中死失仕候　庄右衛門

一私親門左衛門、去巳十二月中、　門左衛門
死失仕候

一私夫利助去巳十二月中死失仕候　利助後家みつ

一私親ませ、去巳八月中死失仕候　権左衛門

一私娘ふよ去巳十二月中死失仕候　与惣兵衛

一私夫新五兵衛、去巳十二月中、　新五兵衛後家さよ
死失仕候

一私親茂平治去巳十月中死失仕候　茂平治

〆拾弐人内男七人女五人

惣〆拾五人内男九人女六人

〆四百弐人内男百八拾八人女弐百拾四人　長照寺

〆六拾七人内男三拾弐人女三十五人　満願寺
外ニ男弐人

当午年

惣〆四百七拾壱人内男弐百弐拾弐人女弐百四拾九人　牛無御座候馬拾三疋

去巳年分

〆四百六拾三人内男弐百弐拾弐人女弐百四拾壱人

（桜井　晃家文書　1—15）

三〇　安政七年三月　上新倉村人別差引帳

（表紙）
安政七申年
当申年出生人并入人死失差引帳
三月　新座郡上新倉村
名主　文右衛門組
（縦帳）

出生人之分

一去未人別後出生仕候　七兵衛
一去未人別後出生仕候　喜助
一去未人別後出生仕候　利兵衛
一去未人別後出生仕候　喜右衛門
一去未人別後出生仕候　音五郎
一去未人別後出生仕候　新蔵
一去未人別後出生仕候　善左衛門
一去未人別後出生仕候　善蔵
一去未人別後出生仕候　清左衛門
一去未人別後出生仕候　清蔵
一去未人別後出生仕候　市左衛門
一去未人別後出生仕候　源蔵
一去未人別後出生仕候　長左衛門
一去未人別後出生仕候　久治郎
一去未人別後出生仕候　彦右衛門
一去未人別後出生仕候　くみ
〆拾壱人　内男六人　女五人　佐右衛門
七五郎

縁組ニ而入人之分

一同州同郡下新倉村権兵衛方へいの、養子ニ差遣置候所、当二月中私方へ引取申候　忠兵衛　いの
一武州足立郡美女木村庄五郎娘やを、当申二月中娵貰申候　清八　や　を
一武州足立郡白幡村もん娘しも、私弟へ、当申二月中娵貰申候　同人弟娘（ママ）　しも
一同州同郡下新倉村文吉娘はる、私方へ、当申二月中娵貰申候　権左衛門　はる
一同州同郡根岸村三治郎方へ私悴勝蔵預置候処、当申二月私方へ引取申候　市左衛門　勝蔵

一武州玉(多摩)郡中清戸村重右衛門娘とし、私方へ当申二月、娵貰申候　与惣兵衛とし

〆六人内男壱人女五人

奉公人入人之分

一武州豊島郡上板橋村長太郎忰金太郎、当申年ゟ来子年迄年季ニ差置申候　市左衛門金太郎

一同州同郡白子村三治郎娘まき、当申二月ゟ来子ノ二月迄、壱季奉公差置申候　六左衛門まき

一同州同郡下新倉村安五郎娘いせ、当申二月ゟ来ル酉二月迄、壱季奉公ニ差置申候　権兵衛いせ

〆三人内男壱人女弐人

〆弐拾人内男八人女拾弐人

奉公人出人之分

一同州同郡根岸村浅五郎忰喜八去未二月ゟ当申二月迄、壱季奉公ニ差置候所、年季明ヶニ付、親元へ引渡し申候　小左衛門喜八

一同州豊島郡上板橋村長吉忰常五郎、去未二月ゟ当申二月迄、壱季奉公ニ差置候所、年季明ニ付、親元へ引渡シ申候　善左衛門常五郎

一同州上白子村直吉忰金之丞、去未二月ゟ当申二月迄、壱季奉公ニ差置候所、年季明ニ付親元へ引渡申候　彦右衛門金之丞

〆男三人

縁組ニ而出人之分

一同州同郡上内間木村忠兵衛忰熊治郎女房ニ、私娘むら、当申二　金兵衛むら

月娵差遣申候

一同州同郡溝沼村佐吉忰亀五郎女　金蔵（かね）
房ニ、私姉かね娵差遣申候

一同州下新倉村平左衛門娘きん、　政右衛門（きん）
私方へ娵貰置候所、当申二月、
離縁ニ相成、親元差遣候

一武州豊島郡下赤塚村喜兵衛方へ私
娘しを去未八月中娵差遣シ申候

〆女四人

死失人之分

一私親はや、去未四月中死失仕候　茂左衛門後家（はや）

一私親勝五郎、去未四月中死失仕候　勝五郎

一私親兵右衛門去未八月中死失仕候　兵右衛門

一私孫かね、去未六月中死失仕候　庄八（かね）

一私親治兵衛、去未八月中死失仕候　治兵衛

一私親なを、去未八月中死失仕候　同人（なを）

一私夫六三郎去未十二月中、死失仕候　六三郎後家（りせ）

一私女房すわ、去未六月中死失仕候　善四郎（すわ）

一私女房ます、当申二月中死失仕候　清左衛門（ます）

〆九人内男四人女五人

去未三月廿七日、直吉義、勘当　清八

帳外被　仰付候　直吉

〆拾七人内男拾人女七人

合家数七拾四軒

人数四百人　内男百八拾五人女弐百拾五人　長照寺

合家数拾四軒

人数七拾壱人　内男三十六人女三十五人　満願寺

外ニ弐人　妙典寺　帳外人

（貼紙）「是ハ男壱人・女壱人人数ニ差加候積」

惣合四百七拾四人　内男弐百廿三人女弐百五拾壱人　馬拾六疋牛無御座候

当申年出生并入人之分

一弐拾人　内男八人女拾弐人

同出人・死失人之分

一拾七人　内「男拾人（貼紙）去未差引ニ不当候故
女七人　男女相直し候」
（桜井　晃家文書1—16）

五一　慶応三年三月　上新倉村宗門人別帳

（表紙）
慶応三丁卯年
当卯宗門人別帳
三月日
上新倉村
組頭　利兵衛
（縦帳）

一壱季居出替之節たる宗門之義念入改之、邪蘇宗門ニ無御座候段、請人ヲ相立抱可申候事
一邪蘇宗門ニ無御座候段、今以密々有之所ゟ捕来候而不審成もの不罷在候様、無油断念入可申付候事
一郷中相改不審成もの不差置、若邪蘇宗門隠置他ゟ於顕者名主五人組可為曲事之間、毎年改之旨趣具ニ書記手形可差出事
附邪蘇宗門御制禁之高札歴年序、文字見江兼ニおゐてハ、新敷立替可申候事
一右者寛文十一亥二月被　仰之趣ヲ以、前々ゟ御改之義郷中穿鑿被　仰付、名主・組頭・百姓・下人等者不及申、寺社方堂宮（同宿）（ヒヒ）沙弥・同心・虚無僧・山伏・浪人等ニ至迄、地借・店借壱人も不残様相改メ疑敷もの無御座候、若不吟味邪蘇宗門脇ゟ顕候ハヽ名主五人組迄何様之曲事ニ被　仰付候、為後日名主組頭印形差上申処如件
一新義真言宗長照寺旦那㊞
高八石弐斗弐升九合八夕

百性　金兵衛㊞　卯六十五才
娘　か　〃三十八才ね㊞
聟　利　〃三十九才八㊞
孫　太　〃兵衛㊞
同　金　〃兵衛㊞　十才
孫　り　〃十一才よ㊞
馬　〃四才　壱疋

〆七人内男五人㊞
女弐人

五　兵　衛
辰年入候分

一同寺旦那㊞　高八斗四升四合

百性　喜兵衛㊞
女房　な　卯六十七才か㊞
養子　武兵衛㊞　〃　廿七才
嫁　さ　〃　廿七才た㊞
孫　こ　〃　四才ま㊞

〆五人㊞内男弐人女三人

一同寺旦那㊞　高七石五斗五升四合三夕

百性　平十郎㊞　卯六十九才
女房　い　〃五十八才ね㊞
忰　久　〃五十一才郎㊞
嫁　く　〃十六才ま㊞
孫　甚　〃五十三才郎㊞
同　り　〃十二才ん㊞
同　与　〃四十七才郎㊞
馬　壱疋

〆七人㊞内男四人女三人

一同寺旦那㊞　高八斗六升壱合

百性　佐次兵衛㊞　卯七十二才
五人組

聟　熊次郎㊞　〃四十五才
嫁　す　〃　四十才み㊞
孫　い　〃十七才ね㊞
同　伝次郎㊞　〃十三才つ
同　は　〃　七才

〆六㊞人内男三人女三人

一同寺旦那㊞　高弐石六斗壱升弐合

百性　伝内㊞　卯四十八才
女房　す　〃五十四才み㊞
養子　友吉㊞　〃二十八才よ㊞
嫁　か　卯廿弐才
武州豊島郡上石神井村百性権之助娘かよ　辰年入ル分

㊞〆三人内男弐人女壱人

一同寺旦那㊞　高四斗四升壱合

百性　藤助㊞　卯三十才
姉　む　〃三十五才ら㊞
弟　繁次郎㊞　〃廿八才ね㊞
女房　み　〃廿四才
同州同郡台村百性長蔵娘去ル寅人別後私女房ニ貰請申候

㊞〆四人内男弐人
女弐人

一同寺旦那㊞　高壱石三斗八升五合三夕
百性　れ
茂左衛門後家　卯四十一才　ん㊞
娘　ふ　よ㊞
〃　十八才

㊞〆弐人内女弐人

一同寺旦那㊞　高壱石壱斗六升九合三夕
百性　金
女房　卯　は　廿四才　蔵㊞
悴　〃　廿六才　つ㊞
〃　三才　蔵㊞

㊞〆三人内男弐人
女壱人

一同寺旦那㊞　高九斗四升弐合
百性　由
女房　卯　た　廿四才　蔵㊞
母親　〃　て　十七才　め㊞
弟　〃　五十五才　つ㊞
妹　〃　岑　太郎㊞
同　〃　と　廿一才　ま㊞
〃　と　十四才　み㊞
〃　十三才　め㊞

㊞〆六人内男弐人
女四人

落候分
辰の覚引
卯　つ　ね
廿壱才

一同寺旦那㊞　高三斗六升
百性　勝五郎㊞
三五郎改メ　卯四十一才　め㊞
女房　く　〃三十六才
悴　清　〃五郎㊞
〃　十二才
娘　あ　〃七才　い㊞
悴　吉　〃五郎㊞
〃　三才

㊞〆五人内男三人
女弐人

一同寺旦那㊞　高壱石七斗四升六合三夕
五人組　ま
辰年　離縁ニ相成　卯四十六才　す㊞
兵右衛門婿　ふ　き㊞
嫁　〃　廿三才
孫　く　〃十六才　ま㊞
娘　ゑ　〃三十一才　ひ㊞
悴　内　〃十五才　蔵㊞
孫　い　〃十三才　せ㊞

㊞〆六人内男壱人
女五人

一同寺旦那㊞　高壱石五斗八升七合六夕
百性　平　四郎㊞
卯四十七才
女房　の　〃四十七才　ふ㊞

娘　す　〃　十三才　ま㊞
同　よ　〃　十一才　を㊞
悴　藤右衛門㊞　六才
娘　い　〃　三才　と㊞

〆六人内　男弐人　女四人㊞

一同寺旦那㊞　高弐斗壱升六合

百性　政右衛門㊞　卯廿九才
母親　と　〃　六十六才　ら㊞
悴　吉　〃　十才　蔵㊞
娘　せ　〃　九才　き㊞

〆四人内　男弐人　女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高五石四斗四升

五人組　庄　八㊞
女房　き　〃　四十七才　卯六十六才　わ㊞
弟　伝　〃　五十八才　蔵㊞
悴　甚　〃　三十二才　蔵㊞
孫　定　〃　十弐才　作㊞

〆五人内　男四人　女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高四斗三升弐合

百性　平　助㊞
女房　ふ　〃　四十五才　卯四十五才　よ㊞
娘　り　〃　廿弐才　つ㊞
悴　金　〃　廿才　蔵㊞
同　佐　〃　十六才　吉㊞
娘　し　〃　十四才　の㊞
同　き　〃　十才　く㊞

〆七人内　男三人　女四人㊞

寅人別後出生辰ニ出ス分辰年死去ス

ま
さ

一同寺旦那㊞　高壱石六升七合

百性　嘉右衛門家後　き　ん㊞
娘　せ　卯六十九才　ん㊞
同　よ　〃　三十弐才　し㊞
〃　三十才

去ル卯人別後藤助弟繁次郎へ嫁ニ差遣し申候

〆女三人㊞

一同寺旦那㊞　高壱斗五升九合

百性　彦四郎㊞　卯三十五才

女房　ま　〃三十二才　ち㊞
母親　せ　〃六十三才　い㊞
娘　こ　〃三才　う㊞
悴　藤　〃七才　吉㊞
娘　た　〃三才　よ㊞

〆六㊞人内男弐人女四人

一同寺旦那㊞　高三石六斗六合九夕

百性　与右衛門㊞　卯廿才
女房　さ　〃廿七才　た㊞
娘　き　〃四才　せ㊞

〆三㊞人内男壱人女弐人

一同寺旦那㊞　高九升九合七夕

百性　茂平次㊞　卯四十六才
女房　く　〃四十七才　ま㊞
娘　む　〃廿四才　め㊞
悴　若　〃廿才　蔵㊞
同　勘　〃十七才　蔵㊞

同　重　〃十二才　蔵㊞
母親　文右衛門㊞　卯四十六才
女房　つ　〃六十九才　や㊞
悴　し　〃三十六才　け㊞
竜　〃十六才　蔵㊞

〆六㊞人内男四人女弐人

一同寺旦那㊞　高九石九斗三合四夕

百性　伝右衛門㊞　卯三十七才
母親　そ　〃六十九才　よ㊞
女房　く　〃三十九才　み㊞
妹　い　〃三十八才　そ㊞
悴　文　〃十才　内㊞
娘　か　〃八才　く㊞
同　ふ　〃六才　み㊞
悴　関　〃弐才　蔵㊞

〆四㊞人内男弐人女弐人

一同寺旦那㊞　高三斗七升六合

五人組

一酒井備中守知行所新座郡下新倉村百性定吉方へ年季奉公之処、今度引取申候

一去ル寅人別後出生仕候

〆八人内男三人
女五人

一同寺旦那㊞　高六石弐斗壱升弐合七夕

五人組　惣八郎㊞
女房　み　卯六十九才
娘　よ　〃六十三才
娘　と　〃四十才
娘　さ　〃四十八才㊞
聟　利　〃四十四才
孫　せ　〃廿才
同　い　〃廿才㊞
聟　ま　〃弐才
銀蔵㊞　す　辰廿五才㊞

一去ル寅人別後出生仕候
辰四月中
下新倉村百性重五郎方ゟ貰請
㊞
〆六人内男弐人
女四人

一同寺旦那㊞　高壱斗弐升

百性　要助㊞　卯七十五才

〆㊞男壱人

一同寺旦那㊞　高五斗七升九合

百性　清兵衛㊞　卯四十才
娘　と　〃十九才㊞
悴　弥　〃十五才八㊞

〆㊞三人内男弐人
女壱人

一同寺旦那㊞　高壱石三斗三升六合

百性　佐五兵衛㊞　卯六十三才
悴　留吉㊞　〃三十一才
嫁　ら　〃三十才
娘　く　〃三十才㊞
娘　わ　〃八才
娘　き　〃四才㊞
娘　ま　〃四才㊞

〆㊞五人内男弐人
女三人

一同寺旦那㊞　高九斗七升六夕

百性　市郎右衛門㊞　卯三十一才
ま　〃廿九才
な　〃六才
か　さ　㊞

江戸通新石町源助地借民次郎娘、
去ル寅人別後私養女ニ貰請申候
㊞
〆三人内男壱人
女弐人

一同寺旦那㊞　高三石四斗三升五合

百性　次兵衛㊞　卯四十二才
女房　き　〃四十三才
弟嫁（ママ）　ん　㊞
弟嫁（ママ）　粂次郎㊞
同　ひ　〃三十一才
き　で　〃二十六才㊞
〃　せ　四才㊞

辰四月出生仕候　佐吉　辰壱才　馬壱疋

〆五人内男弐人　女三人　㊞

一同寺旦那㊞　高六斗九升弐合六夕

母親	百性	作兵衛㊞	卯五十七才
女房	〃	は㊞	八十才
悴	〃	し㊞	四十九才
悴	〃	又郎㊞	五十五才
悴	〃	伊吉㊞	十八才
娘	〃	こと㊞	十三才

久太郎組百姓　勘兵衛娘

〆六人内男三人　女三人　㊞

一同寺旦那㊞　高壱石壱斗八升六合

娘	百性	七兵衛㊞	卯六十八才
悴	〃	ま㊞	四十才
嫁	〃	金蔵㊞	三十八才
孫	〃	も㊞	三十九才
同	〃	いと㊞	十六才
	〃	みな㊞	十一才

同　る　七才㊞　馬壱疋

〆七人内男弐人　女五人　㊞

一同寺旦那㊞　高壱石五斗六升三合　辰年四月中死去仕候

女房	百性	藤七㊞	卯五十九才
娘	〃	い㊞	四十九才
同	〃	は㊞	廿九才
聟	〃	よし㊞	廿壱才
孫	〃	滝蔵㊞	三十六才
同	〃	勇蔵㊞	十一才
	〃	そめ㊞	三才

〆七人内男三人　女四人　㊞

一同寺旦那㊞　高拾石六斗八升一合一夕

女房	百性	弥右衛門㊞	卯五十五才
悴	〃	み右衛門㊞	六十才
嫁	〃	倉ね㊞	廿四才
娘	〃	まつ㊞	廿五才
	〃	ふく㊞	十九才

〆六人内男三人（印）
女三人

一同寺旦那（印）　高壱石九斗三升五合
百性　喜助（印）
女房　す　卯四十三才
娘　よ　三十九才　みね（印）
娘　市太郎　七才
内間木村へ奉公ニ出し　〃　〃
悴　と　十三才
娘　と　五才　めく（印）
同　と　弐才

一去ル寅人別後出生仕候

孫　八十八　四才　馬壱疋（印）

〆五人内男壱人
女四人（印）

一同寺旦那（印）　高四石四斗七升四合七夕
五人組　八兵衛（印）
母親　な　卯廿八才
女房　く　五十才　からか（印）
妹　な　廿七才
悴　浅　十六才　つを（印）
三才　吉（印）

〆五人内男弐人
女三人（印）

高壱石七升五合三夕
百性　清右衛門（印）
女房　つ　卯五十弐才　ね（印）
娘　き　五十四才
聟　勘次郎　廿四才　く（印）
廿六才

一同寺旦那（印）

〆四人内男弐人
女弐人（印）

高壱石五斗九升弐合
百性　忠兵衛（印）
女房　さ　卯廿八才　たか（印）
妹　た　廿才
同　あ　廿四才　つを（印）
悴　忠　十六才　さい（印）
辰十一月中死去　助（印）
弐才

一同寺旦那（印）

〆五人内男弐人
女三人（印）

高壱石六斗四升四合三夕
百性　清　卯三十三才　八（印）
女房　や　三十弐才
妹　さ　廿六才

〆四人内男弐人
女弐人 ㊞

一同寺旦那㊞　高八石弐斗六升五合六夕

悴　初右衛門㊞　三才
〃　利兵衛　卯四十七才
組頭　ゑ　〃四十六才　ひ
女房　た　〃廿三才　け
娘　ゆ　〃十八才　き
同　は　〃十四才　つ
同　く　〃十三才　め
同　ふ　〃九才　ん
同　ふ　〃七才　さ
娘　亀　〃五　廿九才　郎

一同支配所武州新座郡橋戸村百性勝右衛門弟去ル寅十二月中私聟ニ貰請申候　聟

〆九人内男弐人
女七人 ㊞

一同寺旦那㊞　高三石四斗五升壱合六夕

悴　庄左衛門㊞　卯五十六才
女房　と　〃四十六才　よ㊞
悴　善　〃次　廿四才　郎㊞

一去ル寅四月中同州同郡下笹目村百姓吉次郎娘とめ私嫁ニ貰申候　娘

一当卯二月中出生仕候　孫

〆九人内男四人
女五人 ㊞

一同寺旦那㊞　高壱石壱斗七升九合

悴　こ　〃三十九才　う㊞
〃　新　〃三十六才　蔵㊞
娘　な　〃廿一才　よ㊞
同　す　〃十五才　ま㊞
嫁　と　〃廿五才　め㊞
孫　舛　〃壱才　吉㊞

女房　勝右衛門㊞　卯三十七才
娘　か　〃三十七才　ね㊞
娘　ふ　〃十六才　ち㊞
姉　と　〃五十八才　み㊞
娘　ゑ　〃四才　ひ㊞

〆五人内男壱人
女四人 ㊞

一同寺旦那㊞　高壱石七斗一升一合

女房　利左衛門㊞　卯四十七才
〃　ふ　〃四十七才　さ㊞

母親　つ　〃　七十才　ね㊞
娘　き　〃　廿四才　わ㊞
悴　林　〃　廿一才　蔵㊞
娘　と　〃　十五才　ら㊞

〆六人内男弐人㊞
女四人

一同寺旦那㊞　高三石五斗壱升四合三夕

後百性喜平次家
悴　ち　卯四十七才　よ㊞
姉聟　岑　〃　太郎㊞　十五才
姉　吉　〃　右衛門㊞　五十五才
嫁　と　〃　せ㊞　五十八才

辰正月土支田村

〆四人内男弐人㊞
女弐人

一同寺旦那㊞　高弐石八斗七升八合七夕

百性　新　卯三十才　吉㊞
母親　よ　〃　五十七才　し㊞
妹　く　〃　廿弐才　ま㊞
女房　あ　〃　廿七才　き㊞

娘　す　〃　五才　づ㊞

〆五人内男壱人
女四人

一同寺旦那㊞　高壱石三斗四升九合

五人組
女房　嘉右衛門㊞　卯六十五才　き㊞
悴　さ　〃　六十弐才　蔵㊞
孫　嘉　〃　四十壱才　蔵㊞
孫　熊　〃　廿才　蔵㊞
嫁　せ　〃　三十五才　ん㊞
孫　千　〃　十五才　蔵㊞
孫　か　〃　十弐才　よ㊞
同　し　〃　九才　け㊞

〆八人内男四人㊞
女四人

一同寺旦那㊞　高壱石壱斗九升弐合

百性　善太良㊞　卯三十五才
女房　な　〃　三十一才　か㊞
母親　い　〃　五十三才　ね㊞
弟　善五良㊞　廿一才
同　善次良㊞　十八才

娘　さ　十一才　く　㊞
悴　新　〃　九才　蔵　㊞
娘　い　〃　〃　き　五才　㊞

〆八㊞人内男四人
女四人

一同寺旦那㊞　高四石五斗五升三合五夕

百性　五郎右衛門　卯五十五才　㊞
女房　ま　〃五十四才　つ　㊞
悴　代　〃　次　十六才　郎　㊞
馬　〃　壱　疋

〆四㊞（ママ）人内男弐人
女弐人（ママ）

一同寺旦那㊞　高四斗弐升

百性門三郎後家　も　卯四十九才　と　㊞
悴　万　〃　次　廿五才　郎　㊞
同　庄　〃　太　廿　郎　㊞
同　留　〃　吉　廿　郎　㊞
同　又　〃　五　十　良　才　㊞
同　丸　〃　十六　十八　蔵　才　㊞
同　〃　十三　才　蔵　㊞

同　権　次　十　郎　㊞
同　岩　〃　次　廿三　郎　㊞

〆八㊞人内男七人
女壱人

一同寺旦那㊞　高四石弐斗一升三合三夕

百性　弥　卯五十八　三　郎　㊞
女房　ゑ　〃五十八　ひ　才　㊞
悴　福　〃　太　十九　良　才　㊞
嫁　こ　〃　廿三　ま　才　㊞

一同州同郡根岸村百性
十兵衛妹去ル寅人別後
私共嫁ニ貰請申候

〆四㊞人内男弐人
女弐人

一同寺旦那㊞　高廿石九斗九升一合四夕

五人組　六左衛門　卯五十弐才　㊞
母親　ゑ　〃七十九才　ね　㊞
悴　弥　〃兵十九衛才　㊞
同　三　〃十六才　蔵　㊞
娘　な　〃十四才　つ　㊞
嫁　り　〃廿三才　き　㊞
馬　〃　壱　疋

〆六人内男三人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高壱石四斗四升七合三夕

百性	半兵衛㊞	卯六十八才
娘	て㊞	〃三十八才
聟	佐源次㊞	〃五十三才
孫	倉蔵㊞	〃　廿才
孫	八百蔵㊞	〃　廿九才
同	よし㊞	〃十八才
嫁	かね㊞	〃三十才
孫	きん㊞	〃十三才
同	ゑひ㊞	〃五才
孫	なか㊞	〃三才

〆拾人内男四人女六人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石弐斗三合

百性	吉三郎㊞	卯四十五才
母親	た㊞	〃七十才
女房	と㊞	〃四十才
娘	さ㊞	〃十六才
悴	仲次郎㊞	〃十三才

〆五人内男弐人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高四石九斗六升弐合七夕

百性	六郎左衛門㊞	卯廿八才
母親	みえ㊞	〃四十四才
女房	ます㊞	〃廿三才
悴	米吉㊞	〃五才
	馬壱疋	

〆五人内男弐人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石三斗四升五合

百性	六三郎㊞	卯三十九才
女房	り㊞	〃三十七才
娘	よ㊞	〃十三才
悴	兼五良㊞	〃十一才
娘	り㊞	〃五才

一同寺旦那㊞　高五斗九升一合

百性　藤　卯四十四才八㊞
女房　む　〃四十三才め㊞
悴　金　〃次郎㊞
悴　だ　〃廿三才い㊞
娘　て　〃十九才る㊞
同　か　〃十一才の㊞
同　皆　〃六吉㊞
悴　〃弐才

〆七㊞人内男三人女四人

一同寺旦那㊞　高九斗六升六合

百性　善　卯四十四才良㊞
父親　鉄　〃五十八才良㊞
女房　と　〃七十四才よ㊞
悴　善　〃三十八才郎㊞
同　〃次郎㊞
〃金　〃太郎㊞
四才

一同寺旦那㊞　高六石六斗九升壱合七夕

百性　弥左衛門㊞
卯五十一才

〆五㊞人内男四人女壱人

一同寺旦那㊞　高弐石四斗三升九合三夕

百性　市之助㊞
母親　き　〃卯四十九才
女房　と　〃四十七才
悴　市　〃十一才め㊞
娘　な　〃十七才わ㊞
悴　三　〃助㊞
〃五十四才つ㊞
十七才
十九才す㊞
辰三月中同村清吉娘嫁ニ貰請

〆四㊞人内男弐人女弐人

母親　さ　〃七十九才わ㊞
女房　さ　〃四十九才の㊞
悴　捨　〃五十九才良㊞
〃馬　十八才
壱足

一同寺旦那㊞　高五斗五升九合

百性　市　三良㊞
女房　ち　卯五十弐才
〃四十九才よ㊞

〆六㊞人内男三人女三人

悴　孫　四郎㊞
娘　つ　〃　廿三才　ま㊞
悴　孫　〃　十　廿七才㊞
　　こ　卯　廿五才　よ
　　た　〃　十弐才　き
　　辰ニ入候分
　　同断入分

〆五人㊞内男三人
女弐人

一同寺旦那㊞　高弐斗四升弐合
九郎右衛門跡宮五郎後家
百姓

〆女壱人
㊞

一同寺旦那㊞　高九斗九升弐合八夕
百性

女房　庄右衛門㊞
娘　た　卯三十弐才
　　〃　三十一才　か㊞
悴　は　〃　十一才　つ㊞
　　豊　〃　八才　吉㊞
　　金左衛門
　　落分入　三才

〆四㊞人内男弐人
女弐人

一同寺旦那㊞　高八斗六升一合六夕
百性

母親　長左衛門㊞
妹　な　卯三十弐才
　　〃　六十九才　か㊞
　　た　〃　廿四才　か㊞

女房　き　〃　三十五才　せ㊞
娘　や　〃　十三才　す㊞
同　は　〃　十一才　る㊞
悴　丸　〃　四才　吉㊞
　　万　〃　三才　蔵㊞

一同寺旦那㊞　高壱石八升五合八夕
百性

〆七人㊞(ママ)内男弐人(ママ)
女五人

娘　長右衛門㊞
　　卯六十二才
弟　ま　〃　廿四才　つ㊞
　　金五郎
女房　と　〃　四十五才　み㊞
悴　仙　〃　四十四才　右衛門㊞
　　丑右衛門　廿才
　　〃　十六才
　　重　〃　次郎㊞
　　十一　〃　十三才
　　〃　兵衛㊞
　　九才

卯四月中死失仕候

〆八人㊞内男六人
女弐人

一同寺旦那㊞　高七斗四升四合一夕
百性長九郎後家

り　せ㊞
卯五十九才

（朱書）「慶応三卯五月廿九日欠落
六月十六日御訴六ケ月尋被仰付
其節帳外ニ相成候」

養子　千　〃　廿八才　蔵㊞

〆弐人内　男壱人
女壱人

辰二月佐右衛門ゟ入　米次郎
辰　廿八才
膝折宿百姓四郎兵衛娘
かつ辰二月貰請　か　つ
辰　廿七才

一同寺旦那㊞

高四石三斗弐合一夕
百性　佐右衛門㊞　卯五十九才
女房　な　を㊞
悴　平　〃五十五才
〃次郎㊞　〃三十才

辰二月長九郎方へ
聟ニ遣ス

同　米次郎㊞　〃二十七才
同　権　〃十七才　蔵㊞
同　七　〃五郎㊞　八才
嫁　み　〃廿四才　よ㊞
孫　八　〃五郎㊞　六才
落　丑　〃五良　三才
辰年可入分

〆八㊞人内　男六人
女弐人

馬　壱　疋

一同寺旦那㊞

高四石九斗五升四合七夕
百姓　権　兵　衛㊞　卯五十五才
女房　し　〃　四十才　ん㊞

〆弐㊞人内　男壱人
女壱人

高廿五石三斗一升七合一夕
組頭　彦右衛門㊞　卯四十五才
女房　き　〃四十四才　の㊞
娘　た　〃廿五才　か㊞
悴　彦　〃太郎㊞　廿才
娘　な　〃十二才　を㊞
〃　く　〃九才　み㊞

一同寺旦那㊞

去卯十二月中久太郎娘くみ

〆六㊞人内　男弐人
女四人

高五斗七升一合七夕
百姓　金左衛門㊞　卯廿九才
母親　は　〃五十二才　な㊞
妹　か　〃廿八才　ね㊞
同　さ　〃廿才　く㊞
嫁　くり　か　〃廿六才　め㊞
娘　て　〃　〃七才　つ㊞

〆六㊞人内　男壱人
女五人

一同寺旦那㊞　高八石六斗四升弐合四夕

五人組　小左衛門㊞　卯五十才
母親　い　七十二才う㊞
娘　す　廿五才な㊞
同　あ　拾二才く㊞
聟　小左衛門㊞　廿九才
妹　い　四十二才ね㊞
孫　武蔵㊞　四才
馬　壱足

〆八㊞人内男三人女五人

一同寺旦那㊞　高弐石弐斗四合

百姓　弁蔵㊞　卯五十五才
女房　と　五十弐才り㊞
娘　と　廿二才き㊞
悴　要十九才蔵㊞
同　清五郎㊞
馬　壱十三才足

〆五㊞人内男三人女弐人

㊞　高弐石三斗四升弐合

百姓　門左衛門㊞　卯廿六才
母親　こ　六十五才よ㊞
妹　す　廿五才い㊞
同　き　廿六才ち㊞
悴　ふ　茂吉㊞　五才き
嫁落辰ニ可入分　卯　廿六才

〆五㊞人内男弐人女三人

一同寺旦那㊞　高七斗七升三合八夕

百姓　権十郎㊞　卯五十九才
女房　よ　四十九才し㊞
娘　そ　三十二才め㊞
悴　留　廿八才吉㊞
娘　ふ　十九才ち㊞
同　み　十一才や㊞
嫁　う　三十才た㊞

〆七㊞人内男弐人女五人

一同寺旦那㊞　高五石八斗一升六合三夕

百姓　善左衛門㊞　卯七十六才

一同寺旦那㊞　高七斗五升三合

〆七人㊞内男三人女四人

女房　つ　〃六十六才や㊞
悴　万　〃三十三才蔵㊞
嫁　い　〃三十才の㊞
孫　む　〃十三才め㊞
同　善　〃九才蔵㊞
同　と　〃七才り㊞

一同寺旦那㊞　高七斗五升三合

〆七人㊞内男弐人女五人

百姓　伊　卯七十二才助㊞
女房　り　〃五十七才つ㊞
悴　周　〃三十三才蔵㊞
娘　は　〃廿八才ま㊞
嫁　み　〃廿七才な㊞
娘　つ　〃廿七才る㊞
孫　つ　〃五才ね㊞

一同寺旦那㊞　高弐石四斗九升三合弐夕

〆五人㊞内男三人女弐人

百姓　和　卯四十才助㊞
女房　ち　〃三十九才り㊞
悴　倉　〃十九才吉㊞
娘　は　〃十才ま㊞
悴　直　〃八才蔵㊞

一同寺旦那㊞　高七斗七升四合三夕

百性　権左衛門　卯三十才㊞
母親　し　〃六十三才つ㊞
嫁　は　〃廿七才る㊞
妹　た　〃廿四才き㊞
娘　き　〃四才ん㊞
馬　壱疋

一同寺旦那㊞　高四斗弐升九合

百姓市郎左衛門後家

〆五人㊞内男壱人女四人

嫁　む　卯六十四才め㊞
孫　と　〃五十弐才め㊞
せ　〃十九才ん㊞

同　甚　五郎㊞
聟　仙　十一才
〃　之介㊞
〃　廿四才

〆五人㊞内男弐人
女三人

高壱升弐合五夕

一同寺旦那㊞　百姓　清　卯五十一才　平㊞
女房　き　〃四十九才　く㊞
悴　平　〃　廿三才　吉㊞
同　卯　〃　之助㊞
同　弥　〃　十三才　郎㊞
同　三　〃　十九才　吉㊞
娘　ゑ　〃　六才　ひ㊞

〆七人㊞内男五人
女弐人

合家数七拾五軒
人数四百拾一人内男百八拾五人
女弐百廿六人

右者代々拙寺檀那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門疑敷申者有之候ハヽ、何方迄茂罷出申披仕候、依之宗判差上申候、以上

武州豊島郡
上石神井村
三宝寺末
上新倉村
新義真言宗
長照寺無住ニ付
兼帯片山村
蓮光寺㊞

一新義真言宗万願寺旦那㊞　高壱石三斗九升五合三夕

娘　は　卯六十才　六㊞
聟　鉄　〃三十四才　つ㊞
娘　そ　〃三十一才　蔵㊞
娘　ふ　〃三十一才　の㊞
同　い　〃十九才　ぢ㊞
孫　ろ　〃十五才　ち㊞
同　文　〃五才　く㊞
同　左衛門㊞
〃　九才
六　三郎㊞
〃　三才

〆九人㊞内男四人
女五人

一同寺旦那㊞　高弐石五斗五升四合

五人組

母親　小三郎㊞　卯四十一才
〃　き　〃六十一才く㊞
女房　ゆ　〃三十八才き㊞
悴　小兵衛㊞　〃十四才
娘　つ　〃十才る㊞
悴　滝蔵㊞　〃三才

〆六人㊞内男三人女三人

一同寺旦那㊞　高四石八斗八升七合六夕

五人組

悴　清左衛門㊞　卯六十一才
嫁　鉄五郎㊞　〃廿五才
孫　と　〃廿九才も㊞
孫　義三郎㊞　〃廿九才
孫　三十郎㊞　〃十才
下男　与之助㊞　〃七才
下女　と　〃廿八才よ㊞　〃廿七才

一　重年仕候
一　重年仕候

〆七人㊞内男四人女三人　落辰年可入分

信太良　卯三才

一同寺旦那㊞　高弐石八斗五升弐合九夕

百姓

女房　三次郎㊞　卯五十七才
悴　う　〃五十一才め㊞
悴　利喜蔵㊞　〃廿四才
同　三次郎㊞　〃十七才
娘　こ　〃十三才の㊞
嫁　と　〃廿三才み㊞
孫　き　〃四才よ㊞

卯年中離縁仕候

〆七人㊞内男三人女四人

一同寺旦那㊞　高五石壱斗一升八合四夕

百姓利助後家

悴　み　卯五十才つ㊞
娘　嘉藤次㊞　〃十七才
悴　か　〃十三才ん㊞
丹次郎㊞　〃十一才

〆四人㊞内男弐人女弐人

一同寺旦那㊞　高三石三斗四升八合三夕

百姓

母親　清吉㊞　卯四十八才
つ　〃七十七才や㊞

弟　国五郎㊞
辰二月市之助方江遣ス　娘　ま　〃四十五才
娘　す　〃十九才
悴　娘　と　〃十六才　もわ㊞
悴　銀　〃十三才　蔵㊞
姉　つ　〃四十九才　また㊞

〆七㊞人内　男三人
女四人

高五斗四升九夕

一同寺旦那㊞

百姓　伊右衛門㊞　卯五十五才
女房　さ　〃四十才　く㊞
弟　平　〃四十七才　助㊞
悴　栄　〃十九才　吉㊞
悴　も　〃十三才　せ㊞
娘　た　〃十六才　け

〆五㊞人内　男三人
女弐人

小博村百姓八十吉娘
辰年二月中入

高壱石六合五夕

一同寺旦那㊞

百姓　権右衛門㊞　卯四十四才
女房　わ　〃三十七才　か㊞
悴　清　〃五十二才　郎㊞

娘　と　〃六才　み㊞
卯十四才
同　き　〃四才　ん㊞
菊次郎卯十一才

〆五㊞人内　男弐人
女三人

高壱石四斗七升一合三夕

一同寺旦那㊞

五人組　与惣兵衛㊞　卯四十六才
母親　と　〃七十才　り㊞
嫁　と　〃三十七才　し㊞
娘　と　〃八才　り㊞
弟　忠　〃五郎　三十才㊞
養子　甚　〃十八才㊞
馬壱疋

〆六㊞人内　男三人
女三人

高壱石弐斗一升一合

一同寺旦那㊞

百姓　音五郎㊞　卯四十四才
女房　と　〃四十弐才　り㊞

〆弐㊞人内　男壱人
女壱人

高四石四斗八升三合四夕

一同寺旦那㊞

五人組　弥平次㊞　卯四十三才

女房　と　〃四十六才　み㊞
娘　と　〃十九才　り㊞
聟　国　〃次　廿八才　郎㊞
娘　け　〃十六才　い㊞

〆五人内男弐人
女三人㊞

一同寺旦那㊞　高三斗一合一夕

百姓　新　卯四十五才　蔵㊞
女房　つ　〃三十八才　ま㊞
悴　斧　〃太郎　十三才　わ㊞
娘　く　〃十才　ま㊞
悴　忠　〃五才　介㊞

〆五人内男三人
女弐人㊞

落候分辰ニ入ル分　こ　卯八才　と

一同寺旦那㊞　高五斗三升五合七夕

百姓新五兵衛後家　さ　卯五十七才　よ㊞
娘　た　〃廿三才　つ㊞
聟　直　〃次郎　廿七才㊞

〆三人内男壱人
女弐人㊞

落辰年可入分　浅　卯三才　五郎㊞

一同寺旦那㊞　高七石四斗四升弐合七夕

百姓　市左衛門　卯五十六才　よ㊞
悴　市　〃三十一才　蔵㊞
女房　き　〃五十七才　よ㊞
同　関　〃廿七才　蔵㊞
妹　な　〃四十七才　を㊞
娘　し　〃廿一才　や　う㊞
嫁　な　〃三十才　か㊞
孫　源　〃九才　蔵㊞
同　小　〃源六才　次㊞
弟嫁　な　〃廿三才　み㊞
下男　金　〃太郎　廿三才㊞
孫　主　〃馬之介　三才

〆拾壱人内男六人
女五人

合家数拾四軒
人数八拾弐人内男四十人
女四十弐人
右者代々拙寺檀那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門

疑敷申もの有之候ハヽ、何方迄茂罷出申披仕候、依之宗判差上申候、已上

武州豊島郡
上石神井村
三宝寺末
上新倉村
新義真言宗
満願寺
無住ニ付
兼帯
蓮　光　寺㊞

一日蓮宗妙典寺旦那㊞　高九斗八升四合九夕　百姓　勘三郎㊞　卯七十七才
〆男壱人㊞　聟　平吉　卯　廿三才　嫁

右者代々拙寺旦那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門疑敷申もの有之候ハヽ、何方迄も罷出申披仕候、依之宗判差上申候、已上

武州足立郡
新曽村
妙顕寺末

下新倉村　妙　典　寺㊞

武州豊島郡上石神井村
三宝寺末
上新倉村
高拾石壱斗六升弐合六夕
新義真言宗
万願寺無住ニ付
同州同郡片山村　蓮　光　寺㊞

一高五百拾四石九斗三升壱合　村持分
内　高四百六拾石壱斗
同五拾四石八斗三升壱合　出石之分

一家数九拾三軒
寺　壱ヶ所
内　社　壱ヶ所
観音堂　壱ヶ所

惣人数四百九拾三人内　男弐百弐拾五人　馬拾六疋
女弐百六拾八人　牛無御座候

出生人之分

一 庄左衛門 孫 升吉
一 伝右衛門 悴 関蔵
一 惣八郎 孫 ます
一 忠兵衛 悴 忠助
一 六左衛門 孫 彦蔵
一 喜助娘 とく
一 弥右衛門 孫 死失つる

縁組ニ而入人之分

一 同御支配同州同郡根岸村百姓重兵衛妹こま去ル寅十二月中私嫁ニ貰請申候 弥三郎
一 伊賀もの給知上白子村百姓勝右衛門弟亀五郎去ル十二月中私聟ニ貰請申候 利兵衛
一 同支配所同州同郡台村百姓長蔵娘みな去ル寅人別後私女房ニ貰ひ受申候 藤助
一 江戸通新石町源助店民次郎娘なか私養女ニ貰ひ受申候 市郎右衛門
一 私嫁とめ去ル寅四月中同州同郡下笹目村百姓吉次郎娘私共嫁ニ貰請申候 庄左衛門

縁組ニ而出人之分

一 私娘はる同州同郡岡村百姓源右衛門方江当卯二月中嫁ニ差遣し申候 五郎右衛門
一 私嫁こよ去ル寅人別後同村久太郎組百姓市郎兵衛親元江離別差戻し申候 伝内
一 私孫ふく事改メはな同州同郡片山村百性今五郎方江去ル寅人別後養女ニ差遣申候 庄八
一 私娘すき去ル寅人別後江戸湯嶋天神門前町家主政次郎店藤吉方へ嫁ニ差遣し申候 市左衛門
一 私女房しん去ル寅人別後同州同郡上内間木村百姓五郎右衛門親元江引渡し申候 政右衛門

奉公人出人之分

一 私悴市太郎当二月中同州同郡上内間木村百姓十左衛門方江百姓奉公ニ差出し申候 喜助
一 私悴豊吉同州同郡下内間木村綱五郎方江当二月中百姓奉公ニ差遣し申候 善四郎
一 私娘はる同州同郡上内間木村次郎右衛門方江当二月中百姓奉公ニ差遣申候 同人
一 私悴三吉同村彦右衛門方江百姓奉公ニ当二月差出申候 清平

死失人之分

一 私孫甚右衛門去ル寅人別後死失仕候 庄八
一 私母親そめ去ル寅人別後死失仕候 六郎左衛門
一 私悴兵右衛門去ル寅人別後死失仕候 兵右衛門母親 ます
一 私悴五三郎去ル人別後死失仕候 平助
一 私孫鈴助去ル人別後死失仕候 嘉右衛門

右者当村宗門人別之義者、御制禁之邪蘇宗門并類族之もの＝決而無御座候、尤寅三月ゟ当卯三月迄出生死失都而出入之もの壱人別＝取調候処、書面之通り相違無御座候、以上

慶応三年卯三月

武州新座郡
上新倉村
年番組頭　半　六
組頭　彦右衛門
名主無之＝付同　利兵衛

松村忠四郎様
御役所

慶応三年
当卯家数人別増減書上帳
卯　三月

武州新座郡
上新倉村文右衛門組
組頭　利兵衛

村高五百拾四石九斗三升壱合　武州新座郡上新倉村
文右衛門組

卯年
一　家数九拾三軒
人別四百九拾三人内男弐百廿五人　馬拾六疋
女弐百六拾八人　牛無御座候
内　拾壱人内男五人　女六人　出生并入人之分
外　拾四人内男七人　女七人　死失并出人之分

去ル寅年
家数九拾三軒
人別四百九拾六人内男弐百廿七人　馬拾六疋
女弐百六十九人　牛無御座候
差引
家数増減無御座候
人数男弐人減　女壱人減　馬増減無御座候
右者当卯家数人別去ル寅年ゟ差引、書面之通り取調書上候通り相違無御座候、已上

慶応三年丁卯三月

百姓代　半　六

組頭　彦右衛門
名主無之ニ付
組頭　利兵衛

松村忠四郎様
御役所

（市役所所蔵文書　18—11）

三　慶応三年四月　上新倉村宗門人別帳

（表紙）
慶応三年四月
当卯宗門人別帳
武州新座郡
上新倉村
名主
久太郎
（縦帳）

一壱季居出替之時節たる宗門之儀入念改之、邪蘇宗門無之段請人を立相抱可申事
一邪蘇宗門ヲ以密々有之所ゟ捕来候間、不審成もの不居在様無油断入念可申付事
一郷中相改不審成者不差置、若邪蘇宗門隠置地(他)所ゟ於顕者名主五人組可曲事之間、毎年相改之旨趣具ニ書記手形可差出事
附り邪蘇宗門御制禁之高札歴年序、文字見へ兼るニおいてハ、新敷立替可申候事

右者寛文十一亥二月被　仰出趣ヲ以、前々ゟ御改之儀者郷中穿鑿被　仰付、名主・組頭・百姓・下人等者不及申、寺社方同宿沙弥・道心・虚無僧・山伏・浪人等ニ至迄、地借・店借壱人茂不残疑敷もの無御座候、不吟味仕邪蘇宗門脇ゟ顕出候ハ、名主組頭五人組迄何様之曲事ニ茂可被　仰付候、為其名主組頭印形帳面差上申処如件

一新義真言宗長照寺檀那㊞
高七斗六升四合
百姓　茂兵衛㊞　卯四十三才
妻　と　よ　〃三十九才
悴　平　〃十七才　蔵
同　繁　〃十四才　蔵

〆四人㊞内男三人
女壱人㊞
高四斗五升九合
百姓　紋四郎㊞　卯八十才

一同寺檀那㊞

一同寺旦那㊞
高弐石四斗九升四合
百姓　伊平次㊞
母　卯四十三才
聟　る　〃　七十ん
娘　弥　〃　三十吉
同　さ　〃　廿五き
同　せ　〃　十二つ
孫　清　〃　兵衛
〃　四才
〆三人㊞
内男弐人
女壱人㊞

妻　い　〃　七十七才の
悴　茂　〃　廿五才吉

一同寺旦那㊞
高六斗一升五合
百姓　新右衛門㊞
妻　く　卯四十五才
娘　は　〃　三十九の
同　き　〃　十九才つ
〃　十三才く
〆六人㊞
内男三人
女三人㊞

〆四人㊞
内男壱人
女三人㊞

三一六

一同寺旦那㊞
高五石九斗七升四合
百姓　金之丞㊞
妻　さ　卯三十九才
父　兼　〃　三十一才く
娘　も　〃　五十三才吉
同　あ　〃　十六才さと
〃

一同寺旦那㊞
高六斗八升
百姓　勘兵衛㊞
妻　そ　卯五十三才
悴　秀　〃　四十七の
同　寅　〃　五十八才郎
同　ふ　〃　廿五才で
娘　と　〃　廿二才ら
同　ま　〃　十九才る
同　〃　十四才
〆五人㊞
内男弐人
女三人㊞

一同寺旦那㊞
高四斗六升五合
百姓　元右衛門㊞
卯三十四才
〆七人㊞
内男三人
女四人㊞

妻　みつ　〃三十七才
養子　ふで　〃廿一才
悴　元次郎　〃十才
同　彦兵衛　〃八才
娘　いの　〃五才

〆六人内男三人女三人㊞

高弐石五斗三升壱合　百姓

一同寺旦那㊞

妻　ぎ　卯三十五才
母　右衛門㊞
弟　す　〃三十五才
娘　な　〃五十九才
娘　い　〃十六才
娘　仲　〃廿二才
同　そ　〃十七才
一去ル寅ノ人別御改後出生仕候　ま　〃弐才

〆七人内男弐人女五人㊞

高拾三石九斗三合　百姓

一同寺旦那㊞

嘉兵衛㊞　卯五十七才

妻　ゑす　〃五十一才
悴　浅久利　〃三十五才
同　安こと　〃廿一才
娘　はる　〃十三才

〆六人内男三人女三人㊞

高弐拾壱石弐斗九升四合　百姓

一同寺旦那㊞

妻　喜こ　卯廿五才
父　善五郎　〃六十一才
母　な　〃四十八才
弟　市十蔵　〃十弐才
悴　新兵衛　〃五才
下男　留五郎　〃廿五才
下女　ふじ　〃廿一才
長年仕候　ふで　〃廿一才
長年仕候　馬壱疋　〃廿一才

平次㊞

一同村百姓七三郎娘当卯ノ二月ゟ辰ノ二月迄壱ヶ年季作奉公人ニ相抱申候　同

〆九人内男五人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高八石壱斗九升一合
百姓　喜右衛門㊞　卯六十三才
妻　ほ　〃五十五才の
悴　権　〃三十九才郎
悴　ゑ　〃三十八才そ
娵　音　〃次廿七才郎
同　源　〃五廿三才郎
孫　き　〃十六才く
同　喜　〃太十四才郎
同　喜　〃左十一才衛門

一同寺旦那㊞　高四斗弐升壱合
百姓　馬　壱　疋
〆九人㊞内男六人女三人㊞
悴　彦　卯四十六才左衛門㊞
娘　善　〃太十七才郎
と　〃十四才ら

一同寺旦那㊞　高壱石八斗弐升七合
百姓　弥　卯五十弐才兵衛㊞
〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高拾石五斗八升八合
百姓　〆男壱人㊞
妻　佐　卯平廿五才次㊞
父　く　〃廿六才ま
厄介　仁　〃左五十七才次郎
妹　ま　〃六十弐才つ
娘　と　〃十九才ら
　　き　〃弐才よ

一去ル寅ノ人別御改後出生仕候

一同寺旦那㊞　高壱石九斗六升八合
百姓　〆六人㊞内男弐人女四人㊞
妻　帳　卯五十六才郎㊞
悴　ゑ　〃六十二才よ
娵　兼　〃三十九才吉
孫　く　〃廿九才め
孫　助　〃十二才郎
孫　小　〃太五才郎
同　国　〃九才蔵

一私孫国蔵義者武州豊島郡上土支田村百姓三平方へ相預置候処去ル寅ノ十一月中引取申候

一去ル寅ノ人別後出生仕候

同　な　つ
〃　弐才

〆八人内男五人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石六斗六升八合

妻　百姓　与　兵　衛㊞
娘　し　卯三十八才
　　け　〃三十六才
　　ま　〃せ　十五才

〆三人内男壱人女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高八石九斗七升九合

妻　百姓　兵　左　衛　門㊞
母　は　卯廿五才
妹　〃　廿五才
娘　る　〃
　　と　〃五十三才
　　め　〃
　　み　〃十七才
　　つ　〃
　　て　〃四才
　　う

〆五人㊞内男壱人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高壱石壱斗五升三合

妻　百姓　六　兵　衛㊞
　　卯三十五才
　　も　〃三十六才
　　と

厄介　ふ　み
悴　〃四十四才
　　増　〃太郎
　　〃十一才

一同寺旦那㊞

〆四人㊞内男弐人女弐人㊞

高四石五斗九升七合

妻　百姓　兵　四　郎㊞
悴　る　卯六十三才
娵　〃五十四才
悴　た　〃四十才
同　き　〃三十九才
悴　三　〃三十五才
娘　丹　〃次郎
孫　き　〃廿六才
　　く　〃次郎
　　亀　〃廿四才
　　〃次郎
　　十才

一同寺旦那㊞

〆八人㊞内男五人女三人㊞

高四石三斗一升三合

妻　百姓　太　兵　衛㊞
聟　き　卯五十六才
　　ん　〃五十五才
　　宇　〃左衛門
　　〃廿才

娘　り
孫　し　〃　廿五才つ
〃　〃　を
〃　弐才

一去寅ノ人別後出生仕候

〆五人内男弐人㊞
女三人㊞

一同寺旦那㊞　高七石五斗八升三合　百姓

妻　与
悴　と　卯五十弐才市㊞
娵　〃　五十才
娘　ふ　〃　七
〃　ゑ　〃　廿壱才
〃　〃　十　廿
〃　〃　十七　廿
〃　馬　才ね　才く
〃　壱　廿四　十七
〃　疋　才　才せ

一同州同郡膝折村百姓仙太郎娘
当卯ノ二月中私娵ニ貰請申候

〆五人㊞内男弐人
女三人㊞

一同寺旦那㊞　高三石五斗八升三合　百姓

悴　仁左衛門㊞
同　鉄　卯四十八才
娵　〃　五　〃　廿一才郎
〃　仙　〃　十七才蔵
〃　き　〃　廿四才せ

一同州足立郡曲本村百姓幾太郎娘
当卯ノ二月中私娵ニ貰請申候

〆四人㊞内男三人
女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高拾石四斗四升六合　百姓

仁　兵　衛㊞
卯　廿弐才

一元仁兵衛親類百姓忠左衛門弟留五郎
諸親類相談之上仁兵衛病死跡へ相直し申候

右同断親類百姓仁左衛門娘けい
諸親類相談ノ上仁兵衛妻ニ相直し申候

〆弐人㊞内男壱人
女壱人㊞

け　〃　廿弐才い㊞
馬　壱　疋

一同寺旦那㊞　高弐石七斗四升四合　百姓

妻　伝　卯四十五才五郎㊞
母　く　〃　三十七才ら
悴　か　〃　七十弐才ね
同　藤　〃　兵十七才衛
同　各　〃　五十四才郎
同　八　〃　五十弐才郎
娘　す　〃　九才い
悴　福　〃　五才蔵

〆八人㊞内男五人
女三人㊞

一同寺旦那㊞　高六石五斗六升四合　百姓

忠左衛門㊞
卯　三十才

妻　ふし　〃三十壱才
母　は　〃五十七才
弟　忠　〃五郎　廿五才
娘　あさ　〃六才

〆五人内男弐人女三人㊞

高拾九石六斗六升九合　百姓

一同寺旦那㊞

悴　忠右衛門㊞　卯七十八才
孫　善　〃四十五才
嫁　次郎
嫁　も　〃五十才
孫　茂　〃兵衛　廿一才
嫁　か　〃十五才
下女　さた　〃廿弐才
一同村百姓藤右衛門娘当卯ノ三月中私孫嫁ニ貰請申候
一重年仕候
馬　壱　疋

〆六人㊞内男三人女三人㊞

高壱石八斗七升四合　百姓

一同寺旦那㊞

妻　太左衛門㊞　卯五十八才
悴　き　〃三十九才
重　〃五郎　十才

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

高壱石七斗四升　百姓

一同寺旦那㊞

〆男壱人㊞

高弐石七斗七升弐合　百姓

一同寺旦那㊞

母　作兵衛㊞　卯四十三才
妹　弥五兵衛㊞　卯四十才
弟　み　〃六十四才
嫁　み　〃三十才
娘　庄　〃五郎　廿一才
娘　ち　〃廿七才
娘　よし　〃十八才
一同村長太郎娘当卯ノ二月中私弟嫁貰請申候

〆六人㊞内男弐人女四人㊞

高三石四斗四升弐合　百姓

一同寺旦那㊞

妻　三郎兵衛㊞　卯三十三才
娘　つま　〃廿三才
娘　は　〃弐才
一去ル寅ノ人別御改後出生仕候

〆三人㊞内男壱人女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石壱斗三升弐合
娘　百姓　伝右衛門㊞　卯三十八才
悴　と　〃　十七才　ら
〃　友右衛門　十五才

一同寺旦那㊞　高八石六斗壱升弐合
〆三人㊞内男弐人女壱人㊞
組頭　重　卯三十八才　蔵㊞
妻　り　〃　三十弐才　ん
悴　重　〃　十六才　蔵
同　幾　〃　太郎　十弐才
同　丸　〃　吉　九才

一同寺旦那㊞　高弐石五斗五升壱合
〆五人㊞内男四人女壱人㊞
百姓　市郎右衛門㊞　卯四十九才
妻　ほ　〃　四十五才の
悴　権　〃　次郎　廿二才
同　三　〃　次郎　十七才
娘　き　〃　　四才の

同州同郡溝沼村百姓久五郎方へ是迄預置候処去ル寅ノ八月中引取申候

一同寺旦那㊞　高三石七斗六升九合
〆五人㊞内男三人女弐人㊞
妻　百姓　源　卯七十三才　太郎㊞
娘　よ　〃　五十九才　ね
同　と　〃　三十九才　く
孫　き　〃　十七才　よ
同　ち　〃　十六才　よ
同　仙　〃　十四才　蔵
藤　〃　六才　吉

一同寺旦那㊞　高壱石八升四合
〆七人㊞内男三人女四人㊞
妻　百姓　惣右衛門㊞　卯三十七才
弟　ふ　〃　三十七才　て
妹　半　〃　三十一才　に
同　く　〃　三十一才　ゑ
同　そ　〃　廿六才　ゑ
同　す　〃　十五才　わ

一同寺旦那㊞

〆九人内男四人女五人㊞

高弐石弐斗六升四合　百姓

娘　み　よ
悴　〃　十四才
同　惣右衛門　九才
〃　藤次郎　三才

一同寺旦那㊞

〆三人内男弐人女壱人㊞

高三石三斗三升九合　百姓

妻　藤八㊞　卯五十四才
悴　ち　〃四十三才　よ
〃　貞蔵　〃廿五才

一同寺旦那㊞

〆四人㊞内男弐人女弐人㊞

高八升五合　百姓

母　ゑ　卯三十八才　八郎右衛門㊞
悴　ね　〃六十六才　長蔵
養子　き　〃十三才
〃　ち　十才

一同寺旦那㊞

〆六人内男五人女壱人㊞

高拾六石九斗一升弐合　百姓

娘　重　〃四十五才　五郎
孫　て　〃四十九才　つ
同　市　〃五十一才　五郎
同　彦　〃廿一才　太郎
奥　〃十七才　太郎
〃十五才

妻　さ　卯三十一才　五左衛門㊞
母　〃三十七才　か
娘　と　〃六十弐才　ら
同　く　〃十四才　わ
〃　み　十一才　よ

一同寺旦那㊞

〆五人㊞内男壱人女四人㊞

高四石三升弐合　百姓

養子　六　卯五十八才　右衛門㊞
嫁　留　五郎
〃四十三才
と　〃三十弐才　よ

孫　六右衛門　九才
孫　そ　三才
同　藤　弐才
一去寅ノ人別御改後出生仕候
〆六人内男四人　女弐人　㊞

一同寺旦那㊞　高九石五斗弐升弐合
妻　甚右衛門㊞　卯三十三才
母　て　三十六才
弟　ま　六十一才
弟　春　廿八才
悴　帳　十三才
同　森　八才
同　滝　五才
下男　増　五郎　廿三才
下女　こ　廿三才
馬　壱疋

一同州同郡下保谷村梅五郎悴当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季ニ相抱申候
一同州同郡下新倉村寅五郎娘当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季ニ相抱申候
〆九人内男六人　女三人㊞

一同寺旦那㊞　高拾壱石四斗四升五合
妻　甚五郎㊞　卯廿六才
母　た　廿五才
弟　す　五十一才
弟　甚　廿一才
弟　市　十六才
悴　幾太郎　四才
弟　三右衛門　廿三才
馬　壱疋

一同州同郡下新倉村百姓藤右衛門方へ作奉公ニ差出し置候処年明ニ付引取申候
〆七人内男五人　女弐人㊞

一同寺旦那　高八石三斗八升九合
百姓　源　卯八十一才　六㊞
孫　又　廿二才
同姪　ゑ　廿四才
彦　源　三才
養子　た　廿一才
下女　ふ　十六才
一同村百姓善太郎娘当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相抱申候

〆六人内男三人女三人㊞

高壱石八斗六升四合　百姓勘太郎ふん㊞　後家　卯四十五才　馬壱疋

一同寺旦那㊞

〆女壱人㊞

高壱石九斗六合　百姓　勘左衛門㊞　卯七十四才

妻　と　〃七十三才　ら㊞

悴　惣　〃五十五才　郎㊞

同　米　〃五十三才　郎㊞

娵　ま　〃四十才　郎㊞

孫　そ　〃三十四才　つ㊞

同　利　〃十三才　よ㊞

〃十一才　吉㊞

一同寺旦那㊞

〆七人内男四人女三人㊞

高九石八斗五升三合　百姓　勘右衛門㊞　卯五十五才

母　と　〃七十弐才　め

悴　友　〃廿四才　吉

娵　は　〃廿四才　な

悴　菊　〃五十六才　郎

孫　勘右衛門　〃三才　馬壱疋

一同寺旦那㊞

〆六人内男四人女弐人㊞

高弐石三斗七升八合　百姓　八郎右衛門㊞　卯四十四才

妻　ゑ　〃三十八才　せ

悴　繁　〃十七才　蔵

娘　か　〃十四才　ね

同　さ　〃十才　く

悴　岩　〃八才　蔵

〆六人内男三人女三人㊞

高五石九斗四升五合　百姓権左衛門と　卯五十一才　よ㊞　後家

悴　丑　〃十七才　蔵

一同寺旦那㊞

〆弐人内男壱人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石九斗一升七合

妻　百姓　与惣左衛門㊞　卯四十弐才
母　〃　や　〃　三十八才
母　〃　す
弟　〃　た　〃　七十一才
娘（ママ）　〃　留　〃　五十一才
同　〃　み　〃　十五才
悴　〃　藤　〃　右衛門
娘　〃　き　〃　十一才
〃　た　〃　万　〃　五
〃　よ　〃　八才　郎
〃　三才

メ八人㊞内男三人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高壱石七斗四升六合

母　百姓　佐　卯　太
妹　〃　ゑ　〃　五十才　郎㊞
養子　〃　と　〃　七十七才　ち
〃　と　〃　四十五才　く
〃　ら　十八才

メ四人㊞内男壱人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高六石七斗九升壱合

百姓　治郎右衛門㊞　卯三十四才

妻　か　〃　三十弐才
母　〃　く　〃　六十三才
厄介　〃　三　〃　次郎
弟　〃　弥　〃　六十才　市
悴　〃　茂　〃　右衛門　廿四才
同　〃　長　〃　左衛門　十三才
娘　〃　い　〃　十才
〃　ね　五才

メ八人㊞内男五人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高三石六斗六升六合

妻　百姓　留　卯　五　郎㊞
娘　〃　そ　〃　四十七才
同　〃　た　〃　四十六才
悴　〃　ら　〃　廿一才
娘　〃　三　〃　十八才
〃　ま　〃　次郎　十六才
〃　十三才　つ　〃　く　〃　け　〃　よ

メ六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高三石三斗三升八合

妻　百姓　帳兵衛㊞　卯三十八才

母　し　〃三十七才

娘　ほ　〃五十弐才

〃　し　〃六才

〃四人㊞内男壱人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高壱石四斗三升九合

百姓　又左衛門㊞　卯七十一才

〃男壱人㊞

一同寺旦那㊞　高九石三斗七升壱合

妻　百姓　三右衛門㊞　卯七十弐才

娘　ゑ　〃六十五才

悴　わ　〃三十八才

娘　冨　〃廿六才

婿　ゆ　〃廿六才

孫　庄　〃兵衛㊞　四才

〃六人㊞内男三人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高三石九斗九升九合

妻　百姓　又六㊞　卯四十九才

母　ま　〃五十一才

弟　そ　〃七十九才

悴　菊　〃四十四才

同　滝　〃廿四才

婿　福　〃太郎　十一才

孫　も　〃廿三才

一同州同郡下新倉村百姓平五郎娘去寅ノ八月中私婿ニ貰請申候

一同寺旦那㊞　高弐石九斗八升五合

悴　百姓　李左衛門㊞　卯七十一才

婿　鉄　〃四十五才

孫　な　〃四十三才

孫　権　〃四十五才

悴　鬼　〃次郎　廿八才

娘　銀　〃子　十弐才

〃　之　〃太郎　八才

〃七人㊞内男四人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石九斗八升五合

〃六人㊞内男五人女壱人㊞

一同寺檀那㊞　高九石九斗五升三合

組頭　九左衛門㊞
妻　ゑ　卯六十一才
母　〃　五十五才　ね
妹　と　〃　八十五才　よ
娘　そ　〃　四十九才　ゑ
悴　な　〃　三十一才　み
嫁　与　〃　廿七才
悴　と　〃　廿六才　ら
孫　辰　〃　五　十六才　郎
同　佐　〃　兵　十六才　衛
　　仁　〃　兵　六才　衛
　　馬　壱　疋　四才

一同寺旦那㊞　高弐石弐斗四升

〆拾人㊞内男五人女五人㊞

悴　善　九　卯六十九才　郎㊞
嫁　佐　〃　四十七才　市
娘　そ　〃　四十八才　の
孫　ま　〃　三十八才　き
　　駒　〃　廿四才　吉

同州同郡根岸村百姓勝五郎娘くら嫁
一去ル寅ノ八月中私嫁ニ貰請申候

悴　と　〃　廿一才　よ
同　馬　壱　疋

一同寺旦那㊞　高弐石七斗四升七合

〆六人㊞内男三人女三人㊞

妻　五郎左衛門㊞　卯五十三才
悴　き　〃　四十八才　ん
悴　勝　〃　五　廿九才　郎
娘　く　〃　廿三才　ら
同　幸　〃　次　廿六才　郎
悴　つ　〃　廿五才　ね
悴　き　〃　十八才　ち
　　新　〃　十四才　蔵

一同寺旦那㊞　高壱石九斗八升一合

〆八人㊞内男四人女四人㊞

妻　清　四　卯五十四才　郎㊞
悴　た　〃　四十六才　よ
　　寅　〃　廿五才　蔵

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞
高弐石九斗五升九合
百姓 喜三郎㊞ 卯三十六才
妻 り 〃 三十五才 つ
悴 米 〃 八才 蔵

一同寺旦那㊞
高弐石壱斗九合
百姓 久兵衛㊞ 卯三十六才
妻 き 〃 三十五才 ゑ
悴 源 〃 九才 蔵

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞
高三石四升五合
百姓 八三郎㊞ 卯六十二才
妻 は 〃 六十才 な
母 つ 〃 八十六才 ね
弟 三次郎 〃 五十七才
悴 初三蔵 〃 三十五才 つ
悴 かよ 〃 三十五才 ね
悴 伊三郎 〃 三十弐才

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞
高弐石壱斗一升四合
百姓 孫ふき 十弐才
同 同八ま 〃 十一才 蔵
同 〃 三才 さ

一同寺旦那㊞
高三石六斗一升三合
百姓 平三郎㊞ 卯四十九才
妻 は 〃 四十弐才 つ
聟 亥之蔵 〃 廿七才 ゑ
悴 り 〃 廿四才 蔵
娘 七 〃 十五才 蔵
悴 ふ 〃 十四才 く
娘 つ 〃 八才 ま

〆拾人㊞内男五人女五人㊞

一同寺旦那㊞
高五石壱斗一升四合
百姓 庄八㊞ 卯五十四才
妻 か 〃 四十四才 ね
母 き 〃 七十弐才 よ

〆七人㊞内男三人女四人㊞

一同寺旦那㊞

高三石四斗一升六合
百姓

〆七人㊞内男三人
女四人㊞

妻	ち	三郎右衛門㊞ 卯五十九才よ
悴	〃	岡 〃五十八才
娵	や	〃次 〃三十六才す
悴	〃	三 〃三十四才
悴	〃	次郎 〃十六才せ
娵	ち	〃 廿一才
娘	〃	源 〃
孫	〃	太郎 八才
同	悴	吉 〃 廿八才蔵
娵	と	〃 〃
孫	う	〃 〃三十四才た
同	〃	庄 〃 十才八才

一同寺旦那㊞

高九石三斗九升壱合
百姓

〆七人㊞内男四人
女三人㊞

娘	ち	〃 四十七才せ
孫	た	〃 十八才か
同	斧	〃 十四才吉
	馬	壱 足

一同寺檀那㊞

高弐拾壱石壱斗九升七合
組頭

妻	む	彦兵衛㊞ 卯六十四才ろ
弟	〃	染 〃六十八才
娵	〃	次 〃五十六才
娵	み	〃 〃五十九才つ
悴	〃	升 〃廿九才蔵
同娵	〃	喜 〃廿七才
孫	ま	〃久 〃
同	〃	〃 八才き
同	す	〃 六才つ
同	〃	〃 四才ま
同	か	〃 弐才く
同	〃	半 〃 廿三才七
下男	〃	又兵衛㊞ 卯七十才蔵
	〃	七 〃四十八才

一去ル寅ノ人別後出生仕候

一同村半左衛門悴当卯ノ二月ヶ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作奉公人ニ相抱申候

駕

同村文右衛門組百姓新吉妹当卯
一二月ゟ辰ノ二月迄壱ヶ年季作奉公人ニ相抱申候　下女
く　〃　廿三才　ま
馬　壱　疋

〆拾弐人（印）男四人　女八人（印）

一同寺旦那（印）

高五石四斗八升四合
百姓　又兵衛（印）
妻　て　〃　五十一才　卯五十才
母　み　〃　七十一才　ね
悴　政　〃　廿四才　吉
娵　は　〃　廿四才　な
娘　と　〃　廿四才　ら
十三才

〆五人（印）男弐人　女三人（印）

一同寺旦那（印）

高三石九斗九升一合
百姓　久左衛門（印）
妻　み　〃　五十一才　や　卯五十六才
娘　て　〃　三十才　ゑ
同　く　〃　廿七才　に
悴　久　〃　次十七才　郎
同　徳　〃　次十六才　郎

〆六人（印）男弐人　女四人（印）

一同寺旦那（印）

高壱石四斗八升八合
百姓　金右衛門（印）
厄介　き　卯七十才
妻　と　〃　五十七才　め
悴　藤　〃　五十七才　ん
娘　と　〃　廿四才　内
〃　廿九才　よ

〆六人（印）男三人　女三人（印）

一同寺旦那（印）

高三石壱斗弐升七合
百姓　助右衛門（印）
妻　ふ　〃　四十九才　じ　卯四十五才
母　あ　〃　六十才　さ
悴　源　〃　廿六才　六
娵　も　〃　廿九才　ん
悴　仁　〃　太廿五才　郎
娘　と　〃　十四才　り

一去寅ノ人別後出生仕候

悴　三郎
娘　と　十才
〃　く　弐才

〆九人内男四人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高三石四斗七升

百姓　治郎兵衛㊞
妻　と　卯三十八才
母　は　〃三十一才　り
娘　き　〃四十七才　め
〃　み　六才

〆四人㊞内男壱人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高四石弐斗弐升壱合

百姓　四郎左衛門㊞
妻　よ　卯七十一才
悴　留　〃六十五才　ね
娘　み　〃三十五才　吉
〃　ち　〃三十四才　よ
孫　〃　八才　よ

〆五人㊞内男弐人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石壱斗一升三合

百姓　七右衛門㊞
妻　き　卯七十四才
〃　く　〃六十八才

〆弐人㊞内男壱人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石四斗三升四合

百姓　多右衛門㊞
妻　は　卯六十五才
養子　寅　〃四十才　る
〃　蔵　廿才

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高三石四斗四升九合

百姓　吟助㊞
妻　と　卯五十才
厄介　文　〃四十才　め
弟　次　〃六十才　郎
娘　銀　〃四十四才　助
〃　ち　〃十七才　ゑ

〆五人㊞内男三人女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高九石壱斗七升一合

百姓　庄兵衛㊞
卯七十才

妻　と　六十　みよ
娘　は　三十六才　なか
悴　重　次　郎　廿八才　いと
娘　〃　廿八　吉　五才
孫　信　〃

一同寺旦那㊞

〆六人内男三人女三人㊞

高三石八斗一升七合　百姓

妻　む　卯四十才　道㊞
娘　ひ　〃　廿七才　ろて　八才　ね　六才　吉　三才
同　み　〃
悴　浜　〃

一同寺旦那㊞

〆五人㊞内男弐人女三人

高三石一斗八升七合　百姓

妻　り　卯四十七才　よし
悴　平　右衛門㊞　〃　寅　〃　廿五才　蔵　卯五十一才

娘　と　〃　十八才　め
同　菊　〃　十四才　蔵
悴　平　〃　十七才　蔵
娘　り　〃　廿四才　よ

同州同郡下新倉村百姓平次郎方へ奉公ニ差出し置候処年明ニ付引取申候

一

〆七人㊞内男四人女三人㊞

一同寺旦那㊞

高三石七斗九升六合　百姓

妻　こ　卯五十一才　八郎兵衛㊞
養子　き　〃　四十五才　う
〃　十五才　ん

〆三人㊞内男壱人女弐人㊞

一同寺旦那㊞

高六斗七升弐合　百姓

母　ゑ　卯四十八才　多郎右衛門㊞
養子　い　〃　八十八才　く
〃　十八才　つ

〆三人㊞内男壱人女弐人

一同寺檀那㊞　高弐拾六石四斗三升九合
名主　久　卯四十三才　太郎㊞
妻　き　〃三十一才　よ
娘　く　〃十七才　み
悴　喜　〃一十弐才　郎
娘　の　〃十才　ふ
悴　源　〃兵衛七才　し
娘　と　〃三才
下男　弁　〃十七才　作
一長年仕候

下女　こ　〃廿一才　と
下男　三　〃卅三才　蔵
一重年仕候

同州同郡上保谷村半七悴当卯ノ一二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作奉公人ニ相抱申候

馬　壱　疋

〆拾人㊞内男五人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高三石三斗五升四合
百姓　帳　卯廿九才　八㊞
厄介　安　〃五十八才　郎
妹　ゑ　〃廿才　ね

〆三人㊞内男弐人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石壱斗弐升三合
百姓　喜　卯六十才　三郎㊞
妻　か　〃五十才　ね
悴　七　〃三十八才　郎
娵　き　〃三十一才　く
孫　す　〃八才　な
同　喜　〃七才　三郎

〆六人㊞内男三人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高九斗八升五合
百姓善右衛門後家　き　卯三十五才　ん㊞
母　は　〃六十八才　る
悴　市　〃十三才　太郎

〆三人㊞内男壱人女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高壱石三斗七升
百姓平六後家　む　卯五十五才　め㊞
娘　み　〃廿六才　な

〆女弐人㊞㊞

一同寺旦那㊞　高壱石弐斗一升一合
百姓　久次郎㊞
妻　つや　卯三十九才
娘　〃三十一才
　　と　〃六才ら

〆三人㊞内男壱人
女弐人㊞

長照寺持
一地蔵堂　壱宇　高弐石弐斗四升三合　堂守無之

右同断
一薬師堂　壱宇　高壱石七斗一升弐合　堂守無之

合家数八拾九軒
人数四百七拾六人内男弐百四拾人
女弐百三拾六人

右者代々拙寺檀那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門疑敷申もの有之候ハヽ、何方迄茂罷出申披可仕候、依之宗判差上申候

武州豊島郡上石神井村

三宝寺末
上新倉村

御除地五畝歩
高六石七斗三升弐合

一新義真言宗　長照寺㊞
無住ニ付
兼帯蓮光寺㊞

同州同郡片山村右同末寺

一新義真言宗東林寺旦那㊞
高四石三斗五升壱合
百姓　権太郎㊞
妻　ふで　卯五十弐才
〃五十才

〆弐人㊞内男壱人
女壱人㊞

同州豊島郡上石神井村
三宝寺末
上新倉邑

一新義真言宗同末寺　東林寺
無住ニ付
兼帯蓮光寺㊞

右片山村

一新義真言宗満願寺檀那㊞

高三石九斗五升五合
百姓　帳左衛門㊞
妻　き　卯五十一才
〃　四十九才の
悴　染　〃　三十一才吉
娵　は　〃　三十一才ら
娘　な　〃　廿三才吉
同　岩　〃　十七才み
同　も　〃　十五才よ
孫　き　〃　八才ん
〃　庄　〃　兵衛三才

〆九人㊞内男四人女五人㊞

一同寺旦那㊞
高四石三斗七升
百姓　林右衛門
妻　は　卯三十七才
母　〃　廿七才る
姉　ゑ　〃　六十九才ん
一江戸小石川仲町家主福太郎ゟ離縁ニ付引取申候　か　〃　四十三才よ
一江戸牛込箪笥町崎玉や喜右衛門娘去ル寅ノ十一月中養子ニ貰請申候　養子　か　〃　六才よ

一去ル寅ノ人別御改後出生仕候　悴　寅　〃　蔵　弐才

〆六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺旦那㊞
高弐石六斗弐升壱合
百姓　浅右衛門㊞
妻　か　卯六十六才ね
娵　〃　六十六才
娘　り　〃　三十九才の
悴　市　〃　太郎四十才
孫　平　〃　五郎十四才

〆五人㊞内男三人女弐人㊞

一同寺旦那㊞
高七石五升弐合
百姓　九郎左衛門㊞
妻　た　卯三十四才き
母　〃　三十弐才
娘　ゑ　〃　五十五才そ
同　た　〃　九才み
同　の　〃　七才よ
同　と　〃　弐才め

一去ル寅ノ人別御改後出生仕候

〆六人㊞内男壱人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石一斗九升八合

妻　百姓　七郎右衛門㊞　卯四十一才
悴　〃　た　〃四十二才
同　悴　幾　〃太郎　十六才
　　島　〃蔵　十四才
悴　春　〃吉　七才
同　嘉　〃吉　弐才

一武州足立郡大野新田百姓権兵衛方へ是迄預置候処当卯ノ二月中引取申候
一去ル寅ノ人別御改後出生仕候

〆六人㊞内男五人女壱人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石六升

百姓　与兵衛㊞　卯六十一才
聟　末　〃三十七才
娘　ゆ　〃三十四才
同　ゑ　〃廿五才
悴　帳　〃十七才
孫　与　〃八才
同　た　〃七才

〆七人㊞内男四人女三人㊞

一同寺旦那㊞　高七石一斗弐升四合

妻　百姓　茂右衛門㊞　卯三十五才
娘　み　〃三十八才
悴　せ　〃廿才
娘　そ　〃十四才
同　喜　〃兵十九才
　　さ　〃八才

〆六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石六斗七升六合

妻　百姓　金左衛門㊞　卯四十八才
母　も　〃四十五才
弟　も　〃七十五才
同婚　亀　〃次郎　三十九才
娘　た　〃廿九才
娘　せ　〃四才
　　に　〃弐才

一去ル寅ノ人別御改後出生仕候

〆七人㊞内男弐人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高拾石九斗弐升壱合　百姓
妻　弥次右衛門㊞　卯四十三才
母　そ　〃四十八才
悴　ら　〃七十九才
娘　仙　〃　蔵
同　す　〃　廿
　　や　〃十五才
　　馬　〃十一才
　　壱　〃十　ま
　　足

メ六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高三石四斗九升四合　百姓
妻　七郎左衛門㊞　卯五十七才
弟　な　〃六十一才
娘　重　〃五郎
娘　ま　〃四十一才
同　き　〃三十九才
　　と　〃三十弐才
　　〃　十七才
　　よ

メ六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺旦那㊞　高三拾壱石壱升六合　百姓
藤右衛門㊞　卯三十三才

一重年仕候

妻　な　〃廿七才
父　藤右衛門　五十三才
母　す　〃五十才
厄介　ゆ　〃七十弐才
妹　ゑ　〃廿一才
弟　吉　〃十蔵
同　弥　〃九才
下女　と　〃十九才
　　り
　　吉

メ九人㊞内男四人女五人㊞

一同寺旦那㊞　高五石四斗壱升　百姓
母　帳右衛門㊞　卯三十三才
聟　く　〃六十一才
養子　菊　〃廿五才
弟　と　〃廿弐才
　　重　〃次郎　廿七才
　　〃
　　馬
　　壱
　　足
　　ら
　　蔵
　　き

一同村元右衛門弟当卯ノ二月中私養子聟ニ貰請申候

メ五人㊞内男三人女弐人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石六斗四升壱合
百姓　帳太郎㊞　卯五十七才
妻　は　卯四十六才
娘　は　〃
同　さ　〃　廿ない
悴　道　〃　十五才
〃　十三才蔵

㊞(ママ)
〆六人内男弐人
女四人㊞

一同寺旦那㊞　高弐石七斗四升九合
百姓孫右衛門跡娘　ま　卯十弐才
同　つ　〃　十才
〃　き　ん㊞

〆女弐人㊞

一同寺檀那㊞　高弐石弐斗六升一合
百姓　善兵衛㊞　卯三十八才
娘　さ　〃　廿七才
母　ゑ　〃　五十九才
弟　善　〃　三十五才
同　綱　〃　五十弐才
同　弥　〃　三廿九才
〃　廿五才郎

一同州豊島郡四ツ葉村百姓紋四郎娘当卯ノ二月中私娘ニ貰請申候

一同寺旦那㊞　高弐石四斗九合
百姓　半右衛門㊞　卯四十六才
妻　と　〃　四十弐才
母　く　〃　七十八才
娘　こ　〃　廿四才
聟　健　〃　次郎
孫　み　〃　廿八才
〃　三才つ

〆八人㊞
内男五人
女三人㊞

同　冨五郎　廿才
妹　み　〃　十七才や

一同寺旦那㊞　高四石八升弐合
百姓　七三郎㊞　卯六十弐才
母　そ　〃　八十六才き
悴　吟右衛門　〃　三十弐才る
娘　は　〃　廿三才
孫　丹次郎

〆六人内男弐人
女四人㊞

（付箋）
死失
弟　七三郎
妹　七三郎母そき
原勘三郎病死
壱人入行

一去寅ノ人別御改後出生仕候

〆五人内男三人（印）
女弐人（印）

一同寺旦那（印）　高七石四斗六升三合　百姓　市郎兵衛（印）　〃　弐才
妻　せ　卯七十一才
悴　弥　〃六十一才　き
悴　次郎　〃三十六才
娵　さ　〃廿七才　た
娘　新　〃太郎　十八才
孫　い　〃十六才　く
〃　市　太郎　四才

〆七人（印）内男四人
女三人（印）

一同寺旦那（印）　高七石五升八合　百姓伊左衛門後家よ　卯七十一才　ゑ（印）

〆女壱人（印）

一同寺旦那（印）　高四石三斗五升壱合　百姓　久右衛門（印）
母　か　卯五十才　ね
養子　清　〃八十三才
同　た　〃五郎　四十才　よ
〃四十九才

（付箋）
久右衛門母かね病死

〆五人（印）内男三人
女弐人（印）

一同寺旦那（印）　高弐石九斗五升壱合　百姓　半左衛門（印）　同　清　〃十弐才
妻　と　卯五十才　よ
娘　き　〃四十弐才
〃　廿才　ん

〆三人（印）内男壱人
女弐人（印）

合家数弐拾壱軒
人数百弐拾壱人内男五拾四人
女六十七人

右者代々拙寺檀那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門疑鋪申もの有之候ハヽ、何方迄茂罷出申披可仕候、依而宗判差上申候

武州豊島郡上石神井村
三宝寺末
上新倉邑
文右衛門組
満願寺
無住ニ付
右片山村兼帯　蓮光寺（印）

一新義真言宗同末寺

一日蓮宗妙典寺檀那㊞　高八石九斗一升六合
妻　百姓　惣五郎㊞　卯三十弐才
母　〃　た　〃　廿四才つ
厄介　ふ　〃四十八才み
同　三　〃七十五才郎
同　ゑ　〃三十六才の
妹　た　〃　廿一才か
娘　と　〃　九才み
悴　泰　次郎
同　藤　〃　次郎
　　〃　〃　四郎才
　　〃　〃　三郎才
同州同郡根岸村百姓平七悴当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相抱申候　下男　重　〃　兵衛　廿才
同州同郡浜崎村百姓源之介娘当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相抱申候　下女　よ　〃　十九才し

一同寺檀那㊞　高七石四斗四升七合
妻　百姓　善太郎㊞　卯五十一才
　　き　〃三十九才よ
〆拾壱人内男五人女六人㊞　馬　壱　疋

一同州葛飾郡番匠免村百姓寅松方へ遣し置候処難縁ニ付引取申候　娘　く　〃三十一才の
悴　浜　〃　十六才吉
孫　み　〃　五才き
一右番匠免村百姓寅松方ゟくのへ被相添引取申候　同　し　〃　三才よ
一右同断
〆六人㊞内男弐人女四人㊞

一同寺且那㊞　高三石五斗弐升四合
妻　百姓　七左衛門㊞　卯五十五才
悴　り　〃三十三才よ
娘　吟　〃　次　廿六才郎
孫　と　〃　廿六才ら
同　ひ　〃　四才め
　　佐　〃　助㊞　弐才
一去寅ノ人別御改後出生仕候
〆六人㊞内男三人女三人㊞

合家数三軒
人数拾九人内男九人女拾人
右者代々拙寺檀那ニ紛無御座候、若御法度之邪蘇宗門

疑敷申もの有之候ハヽ、何方迄も罷出申披可仕候、依而宗判差上申候

同州足立郡新曽村
妙顕寺末
同州新座郡下新倉村
一日蓮宗　妙典寺㊞

同州豊島郡上石神井村
三宝寺末
同州新座郡上新倉村久太郎組
御除地五畝歩
高六石七斗三升弐合
長照寺無住ニ付
一新義真言宗
同末同州同郡片山村
兼帯　蓮光寺㊞

右寄

村高
五百九拾五石五斗七升壱合
内高五百七拾弐石弐斗弐升六合　村持
高弐拾三石弐斗八升五合　入作
外
御除地　五畝歩

惣家数百拾七軒
内　寺　壱ヶ寺
堂　弐宇

惣人数六百弐拾弐人内男三百五人　牛無御座候
女三百拾七人　馬拾七疋

去ル寅ノ人別御改後縁組ニ而入人之分

一同州足立郡曲本村百姓幾太郎娘きせ当卯ノ三月中私娵ニ貰請申候　百姓　仁左衛門
一同州同郡根岸村百姓勝五郎娘くら去寅ノ八月中私娵ニ貰請申候　同　五郎左衛門
一江戸牛込箪笥町崎玉や喜右衛門娘かよ去寅ノ四月中私養子ニ貰請申候　同　林右衛門
一同州同郡膝折村百姓仙太郎娘ふし当卯ノ二月中私娵ニ貰請申候　同　与市
一同州豊島郡四ッ葉村百姓代紋四郎娘さだ当卯ノ二月中私妻ニ貰請申候　同　善兵衛

同預ヶ人入人之分

一私倅春吉儀者同州足立郡大野新田百姓権兵衛方へ是迄預置候処去寅ノ六月中引取申候　百姓　七郎右衛門
一私娘のよ義者同州同郡根岸村百姓平蔵方へ是迄預置候処去寅ノ十二月中引取申候　同　九郎左衛門

一私孫国蔵儀者同州豊島郡上土支田村百姓三平方へ預置候処去寅ノ十一月中引取申候　同　長五郎

一私娘きの儀者同州同郡溝沼村百姓久五郎方へ預置候処当卯ノ二月中引取申候　同　市郎右衛門

一私娘あき儀者同州同郡田嶋村百姓金蔵方へ是迄預置候処去寅ノ八月中引取申候　同　次郎右衛門

同離縁ニ而入人之分

一松方へ妻ニ呉遣し置候処去寅ノ十月中同人并ニ娘みきしよ共離縁ニ付引取申候　百姓　善太郎

私娘くの儀者武州葛飾郡番匠免村百姓寅

一取申候方へ遣し置候処去寅ノ七月中離縁ニ付引　同　林右衛門

私姉かよ儀者江戸小石川仲町家主福太郎

同奉公人入人之分

一卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作奉公ニ相抱寺請状受人方へ為取置申候　百姓　甚右衛門

同州同郡下保谷村百姓勝五郎悴増

一相抱寺請状受人方へ為取置申候　同　同　人

同州同郡下新倉村百姓寅五郎娘こう当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ

一抱寺請状受人方へ為取置申候　同　名主　久太郎

同州同郡上保谷村百姓半七悴三蔵当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相

一衛門方へ是迄奉公ニ差出し置候処当卯ノ年明ニ付引取申候　百姓　与兵衛

私娘とき儀者同州同郡下新倉村百姓藤右

私娘とめ儀者同州同郡下新倉村百姓平次郎方へ是迄奉公ニ差出候処当卯ノ二月年明ニ付引取申候　同　平右衛門

一七悴当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相抱寺請状受人方へ為取置申候　同　惣五郎

私下男重兵衛儀者同州同郡根岸村百姓平

私下女よし儀者同州同郡浜崎村百姓源之

一介娘当卯ノ二月ゟ来ル辰ノ二月迄壱ヶ年季作人ニ相抱寺請状受人方へ為取置申候　同　同　人

私弟三右衛門儀者同州同郡下新倉村百姓

一藤右衛門方へ奉公ニ差出し置候処当卯ノ年明ニ付引取申候　同　甚五郎

同出生人之分

百姓　七郎右衛門悴　春吉

同　九郎左衛門娘　とめ

同　林右衛門悴　寅蔵

同　金右衛門孫　にわ

同　儀右衛門娘　ます

同　長左衛門孫　庄兵衛

同　長五郎孫　なつ

同　助右衛門孫　とめ

同　彦兵衛孫　かく

同　三郎兵衛娘　はつ

同　太兵衛孫　しを

同　七三郎孫　丹次郎

同　七左衛門孫　佐介
同　六右衛門孫　とく
同　佐平次娘　きく

〆三拾七人内男拾壱人
女弐拾六人

同縁組ニ而出人之分

一私娘いく義者同州同郡下新倉村百姓奥次郎方へ当卯ノ二月中嫁ニ差遣し申候　百姓　伊平治
一私悴与市儀者同州豊島郡上板橋村百姓文次郎方へ去寅ノ十二月中聟ニ差遣し申候　兵四郎
私娘こう儀者同州豊島郡下板橋宿家主倉一右衛門店家借良斎方へ去ル寅ノ十一月中嫁ニ差遣し申候　嘉兵衛

同離縁ニ而出人之分

私妻はや儀者同州同郡橋戸村親元百姓平一四郎方へ去寅ノ九月中離縁ニ付差戻し申候　百姓　太郎右衛門

同奉公人出人之分

一私下男仲次郎儀者当卯ノ二月中年明ニ付右親元へ相返し申候　組頭　彦兵衛
一私下男吟次郎儀者当卯ノ二月年明ニ付右親元へ差戻し申候　同　人
一私下女くま儀者当卯ノ二月中年明ニ付右親元へ差戻し申候　同　人
一私下男春吉儀者当卯ノ二月年明ニ付同村文右衛門組親元善四郎方へ差戻し申候　名主　久太郎
一私下女きん儀者当卯ノ二月中年明ニ付右親元へ差戻し申候　百姓　喜平治

同死失之分

一私妻そん義者去寅ノ四月中病死仕候　百姓　彦左衛門
一私妻とき儀者去寅ノ六月中病死仕候　同　八郎右衛門
一私祖母りよ儀者去寅ノ六月中病死仕候　同　佐平治
一百姓仁兵衛儀者去寅ノ四月中病死仕候　同　仁兵衛
一百姓仁兵衛姉りん儀ハ去寅ノ八月中病死仕候　同　人
一私悴辰五郎儀者去寅ノ五月中病死仕候　同　仁左衛門
一私母ひて義ハ当卯ノ二月中病死仕候　同　茂右衛門
一私養子ゑい義者去寅ノ七月中病死仕候　同　長右衛門
一私厄介帳吉義者去ル寅ノ七月中病死仕候　同　七左衛門
一私悴徳太郎義者去ル寅ノ八月中病死仕候　同　源六

〆拾九人内男八人
女十壱人

右者当村宗門人別之儀者御制禁之邪蘇宗門類族之者決而無御座候、去ル寅ノ三月ゟ当卯ノ三月迄出生死失都而出入のもの壱人別ニ取調候処、書面之通相違無御座候、以上

慶応三卯年三月

武州新座郡上新倉村
百姓代　嘉　兵　衛㊞
組頭　重　蔵㊞
同　彦　兵　衛㊞
同　九左衛門㊞
名主　久　太　郎㊞

松村忠四郎様
御役所

「　慶応三年
当卯家数人別増減書上帳
三　月
武州新座郡上新倉村
名主　久　太　郎　」

当卯年
家数百拾七軒
人数六百弐拾弐人内男三百五人　牛無御座候
女三百拾七人　馬拾七疋

内　三拾七人内男拾壱人　出生并ニ入人之分
女弐拾六人
外　拾九人内　男八人　死失并ニ出人之分
女拾壱人
去ル寅年
家数百拾七軒
人数六百四人内男三百弐人　牛無御座候
女三百弐人　馬拾七疋
差引
家数増減無御座候
人数拾八人相増内男三人相増　馬増減無御座候
女拾五人相増

右者当卯ノ家数人別去ル寅年と差引書面之通相違無御座候、以上
慶応三卯年三月　武州新座郡上新倉村
百姓代　嘉　兵　衛㊞
組頭　重　蔵㊞
名主　久　太　郎㊞

松村忠四郎様
御役所

（市役所所蔵文書　18―12）

三三　文政二年六月　下新倉村人別改帳

（表紙）
文政二年
人別御改帳
卯六月　杢右衛門組
（横帳）

一五十壱才　溝沼村出生　杢右衛門
一四十三才　女房　らく
一廿四才　悴　伊太良
一廿三才　次男　忍三
一十六才　娘　のぶ
一十三才　同　ふで
一十才　同　ぬい
一八才　三男　増五郎
〆八人内男四人女四人
一三十二才　かわこい出生　長左衛門
一廿五才
一六才
一三才
〆四人之内男壱人女三人
一三十八才
一三十五才
一六十八才
一廿一才
一六才
一十六才
〆六人之内男二人女四人
一五十四才
一五十二才
一廿三才
一廿才
一廿才
一十一才

三四六

上新倉村出生　くら
娘　さの
同　すみ
当村出生　常五良
女房なを
三丁目出生
母
妹　しげ
娘　げん
当村出生　綱五良
当村出生　元次郎
女房みつ
悴　万蔵
田島出生
娘　そめ
妹　りん
二男　留五良

〆六人之内男三人女三人
一三十壱才
一七十一才
一三十三才
一五才
〆四人之内男二人女二人
一四十六才
一七十七才
一三十六才
一十二才
一十才
〆五人之内男二人女三人
一三十才
一五十七才
一七十五才
一廿四才
一廿一才

角次郎
母
田島出生
女房ゑん
悴
源次郎
佐七
母
当村出生
女房つる
悴
庄次郎
娘
とら
平五郎
父
平蔵
老母
片山出生
女房さき
弟
平四郎

一四才
〆六人之内男三人女三人
一三十二才
一八十九才
一五十四才
一三十才
一十才
一九才
一六才
一三才
〆八人之内男二人女六人
一三十一才
一八十三才
一五十三才
一三十才
一廿四才
一廿一才

娘
ゆき
千太郎
老母
根岸出生
母
板橋出生
女房かの
娘
ちやう
同
まさ
悴
惣吉
(ママ)
同
くめ
半次郎
老父
運平
父
久七
牛房出生
女房よの
弟
岩二郎
弟
孫次郎

一十七才
一七才
一五才
〆九人之内男七人女二人
一四十七才
一四十二才
一廿二才
一十七才
一七才
〆五人之内男四人女壱人
一四十六才
一四十五才
一廿一才
一十八才
一十五才
一十一才
一九才

妹　こよ
悴　忠五郎
次男　岩五郎

喜三郎
上新倉村出生
女房　みつ
悴　伝之丞
次男　孫次良
三男　喜八

万五郎
野火留出生
女房　かん
悴　定吉
娘　いせ
同　りや
次男　次郎吉
三男　惣八

一三才
〆八人之内男五人女三人
一五十七才
一五十一才
一廿二才
一廿七才
〆四人之内男二人女二人
一四十七才
一四十一才
一廿二才
一十九才
一十六才
一九才
一五才
〆七人之内男二人女五人
一三十一才
一廿九才

三四八

四男　亀吉

伊左衛門
野火留出生
女房　いよ
悴　万右衛門
娘　つね

辰五郎
練馬出生
女房　すて
娘　きの
同　いの
同　ゆり
悴　(ママ)粂次郎
同　すえ

溝沼村出生
紋右衛門
女房　かつ

一廿三才
一三才
〆四人之内男三人女壱人
一四十五才
一六十四才
一四十四才
一廿一才
一十四才
一十一才
〆六人之内男三人女三人
一六十四才
一廿九才
〆二人之内男壱人女壱人
一六十四才
一五十一才
一廿五才
一十四才

弟 六五郎
悴 繁太郎
文左衛門
母 宗岡出生
悴 女房きせ
長五郎
娘 りよ
次男 八百蔵
娘 徳右衛門
とめ
権右衛門
当村出生
悴 女房さわ
甚五郎
娘 ゆり

〆四人之内男二人女二人
一五十一才
一廿三才
一廿一才
一十八才
一十五才
一八才
〆六人之内男四人女二人
一七十五才
一四十六才
一七十三才
一十七才
一十四才
一六才
〆六人之内男四人女二人
一廿一才
一七十才

悴 勝五郎
娘 清蔵
ふみ
同 ゑん
次男 金蔵
三男 幸七
父 五平次
権三良
女房
悴 安五郎
娘 きく
滝次郎
浅五郎
老母

一四十四才
一十五才
一十二才
一五才
〆六人之内男壱人女五人
一廿六才
一八才
一三十六才
一四十五才
一廿四才
一六才
〆四人之内男二人女二人
一廿九才
一五十九才
一廿八才
一十六才
一七才

根岸村出生
母　もよ
妹　つや
同　ふし
同　とめ
才次郎
吉五郎
当村出生
次左衛門
母
女房　そよ
悴　沢五郎
八十松
はまさき出生
母
ひさおり出生
女房　たよ
妹　こと
悴　幸次郎

一四才
〆六人之内男三人女三人
一廿六才
一五十九才
一十九才
一廿九才
一廿一才
一四才
〆六人之内男二人女四人
一五十四才
一五十一才
一三十才
一廿六才
一廿三才
一十四才
一四才
〆七人之内男四人女三人

次男　繁次郎
豊五郎
母
板橋出生
女房　かつ
姉　やよ
妹　さつ
初五郎
礒右衛門
あきつ出生
女房　りよ
悴　喜兵衛
次男　久八
娵　そよ
妹　たき
孫　米五郎

一四十六才　彦五郎
一六十七才　母
一廿才　悴
一十五才　勘之丞
〆四人之内男二人女二人　娘　しん
一五十才　半兵衛
一六十九才　しら畑出生
一廿六才　内間木出生母
一十八才　女房きく
一十五才　娘　ゆき
一四才　同　なを
〆六人之内男壱人女五人　かよ

（石田栄一家文書　28―31）

西　天保七年　下新倉村宗門人別帳

（表紙）
天保七丙申年
宗門書上帳
下新倉村
（縦帳）

□新倉村
四十八才　惣五郎㊞
三十七才　悴　妻
十八才　娘　源次良
十三才　つる
〆四人男弐人女二人

右者代々真言宗ニ而拙寺旦那ニ紛無御座候、後日之仍（為脱カ）而如件

武州豊島郡石神井村
三宝寺末
天保七申年四月　教覚院㊞

（柳下和夫家文書　20―52）

五　天保一三年四月　下新倉村宗門人別帳

（表紙）
天保十三年
持高人別宗門出生御改帳
寅四月　日　年寄　伊兵衛
（横帳）

覚

一　禅宗ニ而　年寄　伊兵衛　三十一才
　　金泉寺旦那
一　同　中里村出生　たみ　妻　二十八才
　　らく　母　六十六才
一　　兼蔵　枠　四才
一　男女〆四人之内男弐人女弐人
一　禅宗ニ而　川越出生　長左衛門　五十五才
　　金泉寺旦那
一　　上新倉村出生　くら　妻　四十八才
一　　江戸浅草出生　三十七才栄蔵
一　　同所出生　四十一才けん
一　　十五才峰蔵
一　男女〆
　　男女〆六人之内男三人女三人馬壱疋
一　禅宗ニ而
　　金泉寺旦那
一　　当村出生　綱五郎　三十九才
一　　げん　妻　二十八才
一　　常五郎　父　六十一才
一　　当村出生　なを　母　五十八才
一　　その　妹　十五才
一　　仙次郎　枠　九才
一　　九才とら
　　男女〆六人之内男三人女三人馬壱疋
一　禅宗ニ而
　　金泉寺旦那
一　　白子村出生　忠助　枠　三十三才
　　さの　娘　弐十八歳
　　しめ　妹　二十才
　　寅之助　孫　三才
　　三五二
　　万蔵　四十六才
　　田島村出生　そめ　妻　四十三才

一 元次郎 父 七十七才
当邑出生 みつ 母 七十五才
一 いせ 娘 二十一才
一 やす 妹 十八才
一 久次郎 悴 十四才
くら 妹 八才
男女〆八人之内男三人女五人馬一疋
一 禅宗ニ而 金泉寺旦那

一 角次郎 五十四才
上新倉村出生 うめ 妻 四十六才
一 江戸坂本出生 城之助 養子 二十才
当村出生 たき 娘 二十三才
一 男女〆四人之内男弐人女弐人
一 日蓮宗ニ而 妙典寺旦那

一 庄次郎 三十五才
美女木村出生 はつ 妻 三十七才

一 天保八年酉四月 はしり帳ニ相成
一 佐七 父 六十九才
国五郎 弟 二十五才
けさ 妹 弐十才
左世七 悴 六才
男女〆六人之内男四人女弐人
一 禅宗ニ而 金泉寺旦那

一 喜兵衛 五十九才
一 そよ 妻 四十六才
秋津村出生
一 りや 母 七十四才
一 米五郎 悴 弐十七才
当村出生
一 とめ 娘 廿五才
一 りい 妹 十九才
かや 同 十三才
一 十一才彦五郎
一 八才みな
四才きん
三次郎 悴 九才

男女〆八人之内男三人女五人馬一疋

一　禅宗ニ而金泉寺旦那

一　忠次郎　三十才　当村出生
　　きよ　妻　廿七才
一　半次郎　父　五十四才　牛房村出生
　　よの　母　五十三才
一　岩五郎　弟　廿九才
一　民五郎　二男　廿四才
　　○蔵五郎　三男　弐十弐才
　　○源次郎　悴　六才
一　○六才みい
　　○廿八才みね
一　○十才のぶ
　　○四才たけ

男女〆八人之内男六人女弐人

一　禅宗ニ而金泉寺旦那

孫市　四十五才　台村出生
　　けん　妻　四十三才

喜三郎　父　六十九才　上新倉村出生
　　みつ　母　六十五才
谷八　弟　弐十五才
　　はつ　娘　十九才
　　くに　妹　十七才
○松五郎　悴　十四才
○二十一才　早瀬村　おはつ
　　○栄次郎　同　十才
　　○つや　妹　六才

男女〆拾人之内男五人女五人馬一疋

一　日蓮宗妙典寺旦那

仙太郎　五十五才　板橋邑出生
　　○かの　妻　五十三才
　　まさ　娘　三十弐才

八才さだ

男女〆七人之内男四人女三人

日蓮宗
一妙典寺旦那

一

一当子ノ四才みつ

男女〆四人之内男弐人女弐人

日蓮宗
一妙典寺旦那

一

一子ノ六十一才改四十八才

○惣吉 忰 二十九才
○まつ 嫩 廿七才
喜太郎 二男 十八才
勝五郎 三男 十四才

○半右衛門 四十四才
片山村出生
○いん 妻 三十七才
野火止村出生
○かん 母 六十八才
政吉 忰 次郎吉十才

○万右衛門 四十五才
野火止村出生
母 七十三才
○つね 妻 四十八才

一
一
一
一

〆七人之内男三人女四人

禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一
一
一

○六才はつ

〆七人之内男四人女三人

溝沼村出生
伊左衛門 婿 三十弐才
○はま 娘 弐十四才 妻
なか 妹 十五才
○万五郎 孫 六才
○七才 きせ
馬壱疋

当村出生
○恒七 四十才
新曽邑出生
○いと 妻 三十才
大野村出生
重兵衛 父 六十弐才
秋津村出生
老母 五月中死去 八十五才
新曽村出生
○りの 母 五十六才
○滝蔵 忰 九才
○駒蔵 二男 四才

一　禅宗ニ而
金泉寺旦那

一　子之
四才熊次郎

〆四人之内男弐人
女弐人

一　禅宗ニ而
金泉寺旦那

一　悴
四才元七

一　当村
○二十五才くに

此者出家致し候

一　〆五人之内男三人
女弐人

一　金泉寺旦那

一

○粂五郎
三十弐才
赤塚村出生
○とめ　妻
三十三才
○金五郎　悴
十才
○はる　娘
七才
○六才いく

上新倉村出生
○喜三郎
四十三才
片山村出生
さき　妻
四十七才
○加世吉　悴
弐十二才

○よね　娘
十才
兼吉　三男
七才

溝沼村出生
○門右衛門
五十四才
○かつ　妻
五十弐才

一　三十壱才

一　七才はな
四才きん

〆四人之内男弐人
女弐人

一　禅宗ニ而
金泉寺旦那

一

一

一

一

一

一　○十二才ゆり
○六才権二郎

〆八人之内男四人
女四人馬壱疋

一　禅宗ニ而
金泉寺旦那

○七郎右衛門　聟
○もん　娘
十八才
○七五郎　悴
十五才
○五つ　はな

○甚五郎
四十七才
五十六
当村出生
○きの　女房
四十三才
当村出生
○母　さく
七十五才
八十四
○平五郎　悴
弐十一才
○幸之助　二男
十四才
当村出生
よし　娘
二十弐才
三十三才
○きよ　妹
廿才
○兼吉　悴
十七才

○長五郎
四十四才

〆四人之内男三人
女壱人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

〆男弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一 ○廿五才まき
○八才てる
○五ツ半兵衛

〆三人之内男壱人
女弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

戌
一四十一才

○なみ 女房
四十才
○平助 悴
十二才
貞五郎 二男
九才
○十才 金兵衛

権三郎
六十九才
○伊之吉 悴
二十九才

田嶋村出生
仙蔵
七十三才
当村出生
なを
三十三才
とめ
五十三才

五人組
○吉五郎
三十才
笹目村出生
○なみ 女房
四十四才

一
一

〆四人之内男弐人
女弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一 戌ノ
五十九才

○六才初五郎
○娘四才さい

〆五人之内男三人
女弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一
一
一○□

○藤蔵 悴
十才
○きく 妹
十六才

○幸次郎
三十才
上新倉村出生
○とよ 女房
弐十四才
膝折村出生
たよ 母

繁次郎 弟
二十七才
○留五郎 弟
十四才

馬五郎
十八才
根岸村出生
いね
二十五才
根岸村出生
老母
六十七才
当村出生
○さつ 母
四十四才

一○□
○□

〆五人之内男壱人
女四人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

〆七人之内男三人
女四人馬一疋
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一
一
△十九才初次郎

○てつ　妹
八才

次左衛門
五十九才
○沢五郎　忰
三十弐才
○さつ　娵
弐十九才
しん　娘
二十才

○長松　忰
十七才

○ます　孫
九才
○しも　孫
四才
○七つたき

○勘之丞
四十三才
西堀村出生
○やを
三十七才
彦五郎　父
六十九才

一△十三才きち
△九才長五郎
一　死去
〆四人之内男弐人
女弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

一当子ノ
五才かる
一
○十才監次郎
○七才由蔵
〆四人之内男弐人
女弐人馬一疋
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

はつ
十五才
くま
〃
十才
〃

練馬村出生
○冨五郎
四十五才
○いん　女房
四十一才
当村出生
○岩五郎
二十八才
○きく　娘
十九才

○豊次郎
五十才
平尾出生
○かつ　女房
四十三才
○そで　娘
弐十一才
銀蔵　忰
十八才

〆七人之内男弐人
女五人
禅宗
一金泉寺旦那

一
一　○八才幸太郎
　　○五才要助
　　三才ちか
〆三人之内男壱人
女弐人
禅宗
一金泉寺旦那

一
一　十一才さよ
　　三才さく
〆三人之内男壱人
女弐人
禅宗ニ而
一金泉寺旦那

○よね　妹娘
　十五才
○みよ　妹
　十才
まつ　妹
　六才

○半平
　廿五才
赤塚村出生
○まつ
　二十九才
○はつ　娘
　七才

当村出生
勝次郎
二十三才
三丁目村出生
かね　妻
三十五才子ノ年
かん　娘
四才

才次郎
五十壱才

〆男壱人

当時へんろう（遍路）
他所

惣〆家数弐拾九間
人数百五十八人
内男七拾九人
内女七拾九人
馬〆九疋

右者御改ニ付、取調書上候通無相違之、仍而下書奉差上候、以上

天保十三年
寅四月十二日改メ

年寄
伊兵衛組

此下書本帳江御写シ被成候ハ、下拙方江御下ヶ可被下候、以上

六十弐才　茂吉
五十才　うた
十三才　なみ

（裏表紙）
武州新座郡
下新倉村
年寄　伊兵衛

酒井内蔵輔様内
御掛り御役人中様

（柳下和夫家文書　20—60）

3　生　活

三六　延宝三年一二月　上新倉村畑売渡し証文

売渡シ畑之事

下畑合弐反歩者此分米四斗四升也

此代金六両弐分也

但畑有所者半田地之三ッ壱ッ分溝沼道之よこ道ゟこいどの川きり不残也

右是者卯ノ御年貢ニ相詰り永代ニ売渡シ申所実正也、此畑ニ付わきゟかまへ少も無御座、若いき候ハヽ、組中連判之者罷出埒明可申候、御年貢之儀者右之高次第ニ上納可被成、御やくつらぬき者畑売り主三右衛門方ゟ相つとめ可申候、為後日手形仍如件

延宝三年
卯ノ極月廿二日

畑売り主　三右衛門㊞
組頭　市之助㊞
組内証人　喜右衛門㊞
同　九郎右衛門㊞
同　与惣兵衛㊞
清左衛門殿

（冨岡　実家文書　53—1）

三七　延宝七年六月　上新倉村こう銭覚帳

（表紙）
延宝七年
かう銭覚帳
未六月五日

（横小帳）

弐百文　与右衛門
上（くほ）
五百文　与左衛門

弐百文　うる加右衛門
三百文　上佐左衛門
弐百文　ミ子権左衛門
弐百文　上長右衛門
三百文　田五郎右衛門
弐百文　原権右衛門
三百文　同清左衛門
弐百文　ミ子四郎右衛門
弐百文　田畑平右衛門
弐百文　あか佐兵衛
六百文　うる勘左衛門
弐百文　くほ兵右衛門
弐百文　田八郎兵衛
三百文　引又次郎左衛門
三百文　やわら弥五左衛門
三百文　同十三郎
三百文　保屋山左衛門
百文　同勘兵衛

弐百文　こくれ半右衛門
弐百文　こくれ久四郎
百文　同小左衛門
百文　同五兵衛
百文　同五郎左衛門
百文　同三右衛門
壱分　こくれ伊左衛門
弐百文　同伝三郎
百文　同伝四郎
百文　同勘右衛門
弐百文　久米川平兵衛
五百文　同三拾郎
弐百文　同作左衛門
弐分　やはら門左衛門
弐分　あかつか善左衛門
弐分　保屋杢右衛門
三分　佐兵衛
弐百文　片山村忠左衛門

三百文　保屋　四郎右衛門
金子合弐両弐分
銭合七貫七百文

小使覚

一百文
一壱分
一百文
一同
一同
一同
一百文
一同
一同
一五拾文
一同
一廿四文
一百文

一同
一同
一廿四文
一五拾文
一廿四文
一十文
一三百廿四文
一壱分
一三百文
一同
一四百五拾文
一壱貫文
一七百文
一三拾弐文
一三十文
一四拾六文
一六拾四文
一弐百三拾文

一三十文
一十四文
一十五文
一六拾文
一四拾八文
一六拾文
一八百廿五文
一十七文
一百十文
一百十弐文
一三十弐文
一三十五文
一四百十六文
一弐分弐百文
一百四拾四文
一七拾弐文
金子合弐両壱分小使分
銭合壱貫五拾四文

（桜井　晃家文書　4—81）

三八　元禄一四年一二月　上新倉村質地証文

質物ニ入置申畑之事

原

下畑弐畝歩　分米四升四合

右者巳ノ御年貢ニ相詰り金子三両借用申所実正也、但シ年季之儀ハ巳ノ極月十日ゟ寅ノ極月十日まて拾年季ニ相定質物ニ入置申候、入置申内ハ御年貢御役等之儀ハ其方ゟ右之高次第ニ上納可被成候、此地ニ付脇ゟ構無御座候、構申者御座候ハヽ地主証人罷出急度埒明り可申候、為其証文如件

地主　八郎兵衛㊞
証人　平右衛門㊞
同人　与太郎㊞

元禄拾四年
巳ノ極月十日

清左衛門殿
参

（冨岡　実家文書　53—2）

五九　宝暦一三年七月　上新倉村香典覚帳

（表紙）
宝暦十三年
香典覚帳
未ノ七月廿一日
（横帳）

一弐百文　久右衛門
一三百文　平助
一三百文　喜兵衛
一三百文　三右衛門
一弐百文　清左衛門
一金壱分　文八
一金壱分　金三郎
一三百文　笹目　勘右衛門
一金壱分　伊兵衛
一弐百文　同　惣左衛門
一金壱分　同　与兵衛
一三百文　笹目　幸右衛門
一弐百文　谷場　源介
一弐百文　十次郎
一弐百文　正願寺
一百文　小樽　忠兵衛
一弐百文　笹目　新五郎
一弐百文　新曽村　弥五左衛門
一弐百文　同　茂八
一弐百文　同　文七
一五百文　長照寺
一弐百文　満願寺
一百文　赤塚　伝兵衛
一百文　片山　万吉
一弐百文　金兵衛
一百文　久右衛門
一百文　清左衛門

一弐百文　笹目　文八
一三百文　同　伊兵衛
一弐百文　同　惣左衛門
一百文　与兵衛
一百文　喜兵衛
一百文　平助
一金壱分　笹目　幸右衛門
一百文　小樽　兵三郎
一弐百文　谷場　重次郎
一百文　三右衛門
一弐百文　わらび　庄太郎
宝暦九年
卯ノ九月八日

講
講銭　壱貫弐百六拾四文
弐百廿四文
元右衛門

（桜井　晃家文書　4—70）

六〇　文政一〇年三月　上新倉村地境に付取替し証文

取替シ申一札之事

一此度往還通り普請ニ付、地境村役人立会之上両人納得之上儀定いたし、私地内苗木之分、境ゟ七寸はすれ可植仕候、其木境壱寸也可置、夫ゟ壱寸外江出候ハ、急度伐取仕べきニ而私義村役人立会毛頭申分無御座候、為其議定一札依如件

文政十年
亥三月

上新倉村
地主　七郎右衛門㊞
仲人　作治郎㊞
組頭　九左衛門㊞

同村
文右衛門殿

（桜井　晃家文書　5—185）

六一　天保四年一二月　上新倉村夫食割渡し帳

（表紙）
天保四年
夫食割渡シ帳
巳十二月吉日
（縦帳）

覚

一石数時相場金拾五両也

上新倉村

天保四年

巳十二月　壱軒ニ付、米六升

彦四郎　　平助
太左衛門　　長五郎
茂左衛門　　仁左衛門
伝五郎　　市兵衛
平四郎　　市郎右衛門
政右衛門　　源太郎
　　弥五兵衛
　　勝五郎
　　三郎兵衛
　　与右衛門
　　与兵衛
　　勘左衛門
　　勘太郎
　　八郎左衛門
　　嘉右衛門
　　与惣左衛門
　　佐太郎
　　又左衛門

半右衛門　喜兵衛
長兵衛　平左衛門
七左衛門　藤助
杢左衛門　平兵衛
又六　坂下喜平次
庄五郎　作兵衛
七三郎　助右衛門
孫右衛門　伝右衛門
長右衛門　七兵衛
喜三郎　新五右衛門
七郎左衛門　七右衛門
浅右衛門　善四郎
与兵衛　半兵衛
銀助　由右衛門
新五兵衛　金右衛門
九郎右衛門　久左衛門
久兵衛　半左衛門
文五郎　平三郎

吉三郎
佐伝治
市郎左衛門
藤七
清右衛門
馬五郎
半六
八三郎
喜三郎
紋三郎
太郎右衛門
八郎兵衛
平右衛門
佐五兵衛
嘉吉
五郎右衛門
伊左衛門
清四郎

忠右衛門
善九郎
利左衛門
藤八
作兵衛
庄七
市三郎
久八
清吉
与惣兵衛
権右衛門
弥治郎
茂平治
兵左衛門
勘兵衛
紋四郎
市之助
原喜平治

弥三郎　とめ
長右衛門　当未廿弐才
和吉
六三郎
庄八
世話人　三右衛門
同　文右衛門
同　六兵衛
佐平治

右之もの当村人別之者相違無御座候、今般其村百姓市之助方江娵ニ遣シ候旨申出候ニ付、村方人別相除申候間、以来其村人別江御書加へ可被成候、此段申送り候、以上

右村
役人
年寄　惣左衛門㊞

弘化四年
未三月廿二日

上新倉村
御役人衆中

（桜井　晃家文書　5—142）

喜平治殿

（桜井　晃家文書　4—90）

六二　弘化四年三月　上新倉村人別送り状

人別送り之事
大熊善太郎御代官所
武州豊島郡下練馬村
百姓
一宗旨寺真言宗同村金乗院　五郎左衛門娘

六三　弘化五年二月　上新倉村貯穀詰戻割合帳

（表紙）
弘化五年
貯穀詰戻相改割合帳
申二月吉日
（横帳）

覚

稗七拾九石
九拾四石
高壱石ニ付
壱斗壱升三合弐夕
二月十四日　八五郎迄
壱升　伝兵衛
弐拾壱俵つゝ　三つ
弐拾俵　壱つ
〆八拾三俵

覚

貯穀取立
申二月十七日
稗壱斗三升弐合五夕　七兵衛
同壱升九合弐夕　八三郎
同七升五合四夕　八左衛門
同三升八合　伝五右衛門
同壱斗八升九合　与右衛門
同壱斗弐升壱合六夕　久太郎
同三升七合四夕　林右衛門
同八合四夕　仁左衛門
同壱斗九升九合弐夕　佐左衛門
同弐升七合六夕　佐太郎
同三斗壱升　平左衛門
同三斗九合四夕　利左衛門

覚

二月廿四日迄
一弐拾七ふく

一かんやく三ふく
一あらひくすり三ふく

（桜井　晃家文書　11—279）

六四　嘉永七年五月　上新倉村家作畑諸道具値段書上帳

（表紙）
嘉永七寅年五月廿五日
家作畑諸道具直段書上帳
武州新座郡
上新倉村
名主　文右衛門
（縦帳）

高壱斗八升　石盛九
一屋敷弐畝歩　但壱反ニ付金三分
此代永百五拾文
外永五拾五文　御吟味増
高九升　同九
一上畑壱畝歩　但壱反ニ付金三分
此代永七拾五文
外永拾弐文五分　右同断

高八斗五升八合　石盛九
一上畑九畝拾六歩　但壱反ニ付金三分
此代永七百拾五文
外永百拾九文弐分　御吟味増
高壱斗七升壱合　同九
一上畑壱畝廿七歩　但壱反ニ付金三分
此代永百四拾弐文五分
外永弐拾三文八分
高壱石弐斗九升九合
合反別壱反四畝拾三歩　但壱反ニ付金三分
永壱〆八拾弐文五分
外永百八拾文五分　御吟味増
一萱葺居宅壱棟　但梁間三間桁行六間下屋三尺
此代永九百文
外永三拾壱文三分　御吟味増
一萱葺下屋壱棟　但梁間九尺桁行弐間
此代永百弐拾五文
外永弐拾五文　御吟味増

居宅下家共
〆永壱貫弐拾五文
外永五拾六文三分　御吟味増
一弐升焚釜　壱ッ
此代永弐拾三文
外永五文
一鑑　壱ッ
同永八文
一古あんどん　壱ッ
同永三文
一古手桶　壱ッ
同永弐文
一古瓶　壱ッ
同永壱文
一古小桶　壱ッ
此代永壱文
一古膳　弐膳
同永弐文五分
一茶漬茶碗　三ッ
同永三文
一古障子　弐枚
同永七文五分
一古莚　五枚
同永壱文
一茶碗　弐ッ
同永壱文五分
一鍬　壱挺
同永拾文
外三文　御吟味増
一鎌　壱挺
同永壱文
一肥荷桶　壱荷
此代永拾弐文
外永二文　御吟味増
諸道具代永
〆永七拾六文五分
外永拾壱文　御吟味増
合代永弐貫百八拾四文
外永弐百四拾七文八分　御吟味増
此代金弐両ト永百八拾四文

（桜井　晃家文書　5—102）

空 万延元年八月　上新倉村出火訴状

乍恐以書付御訴奉申上候

山本大膳御代官所

武州新座郡上新倉村

百姓　藤右衛門

御拳場

一塗垂壱棟

梁間弐間

但　桁行三間

右藤右衛門儀百廿石余所持農間質屋渡世罷在、昨暁七ッ時前表之方ニ而物音致候を聞請起出見候処、質品入置候書面之塗垂上家江火燃抜候ニ付、驚入声立候処、近所之者共追々駆付戸前押放し候得共、最早内一円火廻り消留兼焼失いたし、尤居宅其外無難、人馬怪我等無御座候、組合村役人立会火元之様子相糺候処、前日夕質品取出候砌、蠟燭之心を切消し置候心得ニ候得共、消残有之出火および候儀ニ茂可有之哉、□怪火ニ者無之義之旨藤右衛門申之、同人義者右始末恐入、鎮火後入寺相慎罷在候間此段御訴奉申上候、以上

右藤右衛門親類百姓　弥次右衛門

組合同　兵左衛門

村役人惣代与頭　六兵衛

名主　久太郎

申八月廿七日

朝倉左門様

御役所

（星野　茂家文書　24—82）

六六 文久四年二月　上新倉村給人究方覚帳

（表紙）

文久四甲子年

給人究方覚帳

二月吉日

上新倉村

星野

（横小帳）

目出度始メ申候

子二月

一金五両壱分　賄　無
外ニ草鞋掛壱足　究ル
丹次良

正月廿五日
一内金弐分　手付ニ致ス
三月朔日
一内金四両三分　庄蔵殿ニ相渡し
子二月
一金壱両壱分　長吉給金
夏冬之仕着施ニ上帯・下帯・下駄・足袋・手掛・草鞋掛・股引（弐カ）
外ニ単物壱前
子正月十七日
一内金壱分　仲右衛門殿ゟ相渡シ
子正月廿一日
一内金壱分　末吉殿ニ藤吉相渡シ
子二月十九日
一内金三分　おゆき殿ニ藤吉相渡シ
目黒嶋腹掛ノ一ット　半天面ァィ嶋壱丈六尺五寸

子二月
一金弐両弐分　給金お国
夏冬之仕着世ニ元結・油・手掛・足袋・下駄・前掛紐共・下帯・上帯
小使
外ニ単物壱前
二月五日
一内金弐分　手附金お国ニ相渡し申候
二月廿一日
一内金壱両弐分　寅吉ニ相渡シ
子六月朔日
一内金弐朱也　お国相渡シ
子七月十六夜（日脱カ）
一内金壱朱也　小使ニお国渡シ
子九月十四日八ッ半時
一内金弐朱也　本家返スト云お国相渡シ
子十一月十一日　染賃ニ致シ候ト云而お国相渡し
一八百文
丑正月三日夜　子十二月十七日　なかゟかり使うお国ニ相渡申候
一金壱朱ト三拾弐文

お国子年之分給金不残
相済申候、以上

亀吉方
元右衛門

覚

元治二乙丑二月吉日　　お国給金
一金三両也
夏冬之仕着施ニ上帯・下帯・前掛・紐・元結・
油・手掛・足袋・下駄・小使供
内金壱分　正月五日　お国相渡シ申候
内金弐分　二月十日　お国ニ相渡シ申候
残り金弐両壱分
丑二月廿日　お国ニ相渡申候
丑二月廿五日
外ニ金壱両壱分
此銭者冬物代ト上帯・下帯・前掛・紐・下駄
八百文　丑七月十五日貸ス
丑二月
一金弐両弐分　　長吉給金
夏冬之仕着施ニ股引・草鞋掛壱足・足袋・手掛・
三尺・下帯・下駄・小使外ニ単物一前

丑二月十五日
一金壱両壱分也

亀吉方
元右衛門

月ニ五日分給金相究申候
寅二月
一金壱両三分
月ニ五日分　給金相究申候
内金壱両者二月四日相渡し
内金三分者二月廿一日相渡し申候
寅二月廿日　　前側
一金四両弐朱也　　長次郎
夏冬之仕着せニ股引・草鞋掛壱足・足袋・手掛
三つ、三尺・下帯・下駄・小使・髪結銭壱分外
ニ単物壱枚
内金弐分者正月十五日相渡し　長次郎
内金弐分者正月廿四日相渡分　末　吉
内金壱両者二月四日相渡し　長次郎
内金弐両者二月廿四日相渡分　おゆき
内金壱分者二月廿四日四人渡候　髪結銭
寅二月廿日　　下新倉村
一金弐両弐歩　　おとり

夏冬之仕着施ニ上帯・下帯・前掛・紐・手掛・
足袋・元結・油・小使共・下駄　下内間木村辰五郎

一金四両弐分
内金弐分　卯二月廿三日相渡し
内金四両卯二月廿七日相渡し
給金之分
金弐両也卯二月廿七日　藤右衛門預り

卯二月
一金七両壱分　給金長次郎

一四百文　寅四月十三日

一金壱朱也　寅四月廿九日

一金弐分弐朱也　寅六月朔日

一四百文　同九月廿二日

一五百文　七右衛門駄賃取込

一金壱両弐分　卯正月七日

一金壱分　同正月十六日□見時

一金壱両　同正月廿二日夜

一金壱両　同二月六日

一金弐分　卯二月七日朝

一金壱分　同二月十日昼ル

一金壱分　同二月十九日昼ル

一金壱朱　卯三月五日

一金壱分　卯三月七日

一三百八十文　船肥小使残り取　卯二月
卯正月廿三日朝渡し
〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃
内金壱両也
〃〃〃〃〃

一金壱分　卯三月十五日　長次郎ニ貸ス
〆金六両ト壱〆六百八十文
外ニ金三両弐分壱朱
卯三月十五日七つ時　末吉渡シ
此外単物弐前ト小使相賄　外者賄なし

一四百文

一四百文
う六月十五日

一金弐朱也
七月廿六日

一金弐朱也
辰正月二日

一金壱分　長次郎
辰正月廿二日
一金壱両也手金
正月廿九日
一金壱両也
二月十四日
一金壱分

一金弐両壱分弐〆文（う）十二月廿五日
〆金五両弐分ト四百文
辰二月十九日夜改

元右衛門

卯年月ニ五日分　給金
一金弐両壱分
内金壱両也　卯正月廿三日　朝渡シ
内金弐分也　二月廿六日　夜渡シ
内金三分也　卯三月十五日　渡シ

慶応四戊辰正月日　長窪世八人

辰正月十七日対談致ス　土支田村三乗目
一金四両也　由五郎娘なか
内金壱両也　正月十八日　お国渡シ
残金三両二月廿日渡シ御母様ニ
一金弐朱也なか小使ニ預り申候

辰正月十八日　亀吉事
元右衛門

一
内金弐分　正月十八日夜渡シ
此分者辰年上□へ致シ候ニ付
参らず候巳正月三日
金弐分之分
利足壱朱ト百文請取
巳正月三日相済申候

覚　長次郎

辰二月　給金
一金八両
外単物一ッ余分
夏冬之仕着施ニ股引・足袋・手掛・草鞋掛・三尺・下帯・下駄・髪結銭・小使相賄申候筈
一四百文　辰三月十三日貸ス
一壱〆文　辰三月廿三日朝なか貸ス
一壱〆文　辰四月十三日朝貸ス

此銭者内四百文引五月廿七日改
一五百文　四月廿九日貸ス
一金弐朱　閏四月八日　なから(ママ)貸ス
一金壱分　五月五日　水天宮様へ行ニ貸ス
一金壱朱　五月十一日　貸ス
〆金壱分三朱ト弐〆五百文
一金弐分　辰六月朔日　単物買
一金壱朱也　辰八月十九日
一弐百三拾弐文　八月十三日
一金壱朱也　辰八月晦日
一金壱朱也　辰十月七日
一金弐分ト　辰十二月廿九日
七百文　同分金壱朱也
一金壱朱也　辰十二月廿一日
此分銭七百文相渡候
巳正月十四日
一金壱朱ト弐百文　薩摩買ニ行遣う
辰十二月十九日ゟ正月十四日迄
三口〆金弐分壱朱ト壱〆六百文之処
冬物代金壱両之内差引
残り金壱分ト六百四十八文相渡シ申候
巳正月十六日　長次郎ニ渡シ
此給帳口之分者差引之残にて
二月十九日ニ請取申候

明治二己巳年給人究方
巳正月十七日対談致ス　上土支田村三乗目
一金四両也　給金　由五郎娘なか女
夏冬之仕着世ニ帯・手掛三筋ニ
前掛・下帯・足袋・手掛・よこふ共
元結・油・小使共相賄候筈
内金弐分也　巳二月二日　母ニ相渡し申候
内金壱両三分　二月廿二日　母ニ相渡し申候
内金札ニ而壱両三分也　巳十一月二日母ニ相渡申候
此歩増利足共金弐朱也相渡シ申候
是迄ニ而給金者不残相渡し申候
外金壱両三分　巳十一月二日　母ニ相貸ス

覚

明治二年正月廿二日定メ　永久保弐軒新田

一金八両也　給金　兼次良

内金壱両相渡し　正月廿二日

内金三両相渡し　二月四日

二口ニ而

内金弐分弐朱也　二月六日渡し

夏冬之仕着世ニ股引・足袋・手掛・草鞋掛・三尺・

下帯・下駄・髪結

銭・小使相賄候筈

一銭四百文　巳二月十日たばこ買ニ付貸ス

一金弐分　二月十五日

一金弐分弐朱　二月十八日

一金壱分弐朱　二月廿九日

覚

巳正月廿一日　前側長次郎

一金八両也

夏冬之仕着施単物一ッ余分ニ股引・足袋・手掛・草鞋掛・三尺・

下帯・下駄・髪結銭　相賄申候筈

内金壱両壱分弐朱也　是ハ前々貸シ越之分

内金壱両　二月五日　長次郎渡し

内金壱両　二月五日　末吉渡し

内金弐朱也　二月十四日　長次良ニ渡し

内金壱分　二月十五日　長次良渡シ

金壱分弐朱　二月十八日

金三両三分弐朱也　二月十九日　与兵衛長次良両人

立会致候て

外金壱分　二月十九日　髪結銭相渡し申候

当巳年之分給金不残相済申候

金壱両　二月十九日朝与兵衛ゟ預り申候

一金弐朱也　三月廿二日

一金弐朱也　四月十五日

一金弐朱也　五月十六日

一金弐朱也　五月廿三日

一金壱朱也　六月十日
一金弐朱也　六月十五日
一金弐朱也　六月十五日　札
一金弐分也　六月晦日　弐分金
　　此弐口末吉ニ渡し
一金弐分也　六月晦日　札
一金壱朱也　九月十三日　札
一九百文　十二月六日
一金弐朱也　午正月廿一日　銭
一金壱分也　午二月十日　札
一金壱両也　午二月十二日　札　おゆき
一金壱分也　午二月十七日
一四百文　午二月廿一日
〆金三両弐分ト壱〆三百文
　内金壱両　巳二月十九日預り分引
差引〆金弐両弐分弐朱ト四十八文貸し分
明治三午二月給金八両之内　右之分引
残　金五両壱分一朱ト五百七十弐文
　　末吉渡し申候

外ニ金壱分髪結銭も渡し
　　明治三午二月

覚

明治三年　午二月　　前側
一金八両也　　長次郎
　単物一つ余分　　給金
夏冬之仕着世ニ股引・足袋・手掛・草鞋掛・三尺・下帯・下駄・髪結銭・小使相賄候筈
　外ニ印是有通り残之分
　金五両壱分一朱ト五百七拾弐文ト
髪結銭之分　金壱分　相渡シ申候
　　末吉殿

覚

明治三庚午二月
一金四両也　給金　　土支田三乗目　由五郎娘
　　なか女

夏冬之仕着施ニ帯・手掛三筋ニ前掛紐共、下帯・足袋・下駄・よこふ共元結・油・小使相賄申候筈

内金壱両三分也　巳十一月二日　古着買ニ付母ニ相渡シ申候

内金壱両也　午二月十五日　母ニ相渡シ申候

内金壱両弐分也　午五月廿九日　母ニ相渡シ申候

前側作次郎給金

未二月十五日

一金八両弐分弐朱ト銀弐匁五分

月ニ廿日究申候

内金壱両也　未二月廿二日　相渡申候

明治四年未二月　下新倉吹上幾右衛門娘おまん十九才

一金四両也

内金壱両弐分也　未二月六日渡し

残金弐両弐分也　未二月十九日渡し切

覚　元右衛門

未二月十五日

一金四両壱分一朱ト銀壱匁弐分五厘

月ニ十日究申候

内金壱両也　未二月十五日相渡シ

残金三両壱分壱朱ト弐百三拾弐文

未二月十九日　相渡し申候

記

酉三月十九日　始メ　元右衛門給金

一金四両弐分也

内金弐両　小作引

金壱両　三月十三日夜渡し

残金壱両弐分也　相渡シ申候

外ニ金壱分弐朱ト三百文

六人余分手間代

合金壱両三分弐朱ト三百文
三月廿日夜渡ス
内三〆五百文　貸シ請取
明治八亥三月究方扣
一金七両也　元右衛門悴
元吉両人勤
内金壱両弐分也　亥三月十四日渡し
同金五両弐分也　亥四月二日渡シ
卯三月十四日　喜三郎
一金弐両一分也　おすな
内金弐分　酉一月廿　渡し
金壱両也　酉三月一
金三分也　酉三月十七日渡し
儀右衛門
弟仲次郎
酉三月廿二日
一金拾三両弐分也
内金壱両弐分　二月二日渡し

金弐両也　三月五日渡し
金弐分也　三月十八日渡シ
金弐分壱朱ト四百六十五文　唐糸代
三月十六日　所沢ニ而立替
引〆残金八両三分弐朱ト百六十文
三月廿二日朝渡し
三月廿二日朝
一金五両也　預り申候
此儀相返し申候
亥四月四日　仲次郎
一金弐分ト四〆文　戌年給金預り置差引
相渡し申候
明治八亥三月ゟ　扣
一金弐拾円也　仲次郎
給金
内金弐両　亥三月四日　相渡し

同金三円　同三月十八日　渡し
残り金拾五円　亥四月四日渡し切
亥四月四日ゟ藤右衛門預り
一金拾円也

一内金弐円也　亥八月七日　志き宿へ買物ニ行ニ渡シ
三内金壱円也（ママ）　同十二月七日　相渡し
二内金壱円（ママ）　亥九月十八日　夜相渡し
四内金壱円　子一月十七日　夜相渡し
五内金壱円　子一月廿八日　花色反物買ニ渡シ
六内金弐円　子二月二日　朝母病死之時渡シ
七内金壱円　子二月六日　渡し
八内金弐円　子三月五日　相渡し
九内金弐円　子三月七日　相渡し
是者子年給金之内金也

明治九子三月　仲次良給金之扣
子三月ゟ丑三月迄　給金　仲次良給金
一金弐拾円也
右金子相渡し候者、子三月廿八日　午後一時頃残らづ
相渡し内金之分弐円請取申候

子三月廿八日　午後一時頃ニ預り申候
一金拾円也　仲次良ゟ預り

明治八亥正月ゟ扣　おすな

一金六円也　夏冬之仕着施ニ諸賄、単物壱枚余分
内金壱両也　亥三月四日渡し
内金三円也　亥三月十二日渡し
内金弐分也　亥四月九日渡し
同金壱分也　亥五月十五日　鏡買ニ渡シ
此分くれ□ニ致し
同金弐拾銭　亥八月七日　引又へ行ニ付相渡し
同金三拾銭　亥十月六日　渡候
同金壱円　子一月十八日　吹上へ行ニ相渡候

扣

明治九子□月廿一日　しキコシ
一金七円也　儀右衛門娘　おいそ給金

内金壱円　二月十一日　手附渡シ
同金三円　三月七日　内ニ而おなつ渡シ
残金四円　三月廿一日　おなつ相渡シ
夏冬之仕着施ニ単物壱枚余分足袋・手掛三筋・帯・前掛紐共・下帯・足駄・よこふ共元結油・小使相賄候筈

（星野　茂家文書　23―67）

六七　文久四年三月　上新倉村葬礼入用覚帳

（表紙）
文久四年
葬礼入用覚帳
子三月吉日
（横帳）

覚

廿九日
一金壱分弐朱　志をゆ
同　三樽
一同壱分壱朱　同
同　壱樽
一壱〆八百六拾四文　水油
同　弐升

一同五百六拾文　菜
同　十五把
一金壱両　餅
かるこ六百文　弐荷
一百五拾六文　こんにやく
同　蕨宿
一金弐両三分ト　青物
六百三拾弐文　しを
一百文　壱升
同　江戸木綿
一金壱両壱分三朱ト　諸色
弐百文　糸だて
一百拾弐文　同
一七拾弐文　引又
一金弐分ト　しんこ餅
百八拾文　勘助
一弐百文　〃〃
三日　市五郎払
一七貫六百八拾文　とうふ代
一壱〆弐百文　寺友
一金弐両三朱　寺院七人
外ニ壱両　四ツ木
一金三分弐朱　買物
弐百四十弐文

一金壱両　仁三郎
〆金拾壱両壱分三朱ト　酒壱樽
銭拾三〆八百拾八文
外ニ
金弐分弐朱　重次郎
吉蔵分
手間

惣〆拾四両弐朱
銭壱〆四百文
外　ととり
四百文　酒代

一弐百文　赤塚
勘助

一四百文　赤塚
番人

一八百文　下井戸
番人

（桜井　晃家文書　5—109）

六八　上新倉村盗難訴状

新座郡上新倉村盗難御訴

一木綿藍横嶋男綿入　壱
裏花色木綿

一同茶横嶋男口綿入　壱
裏同断

一棧留茶竪嶋男袷　壱
裏同断

一木綿藍弁慶嶋男袷半天　壱
裏同断

一黒八丈男帯　壱筋
〆五品

右上新倉村百姓藤七右衛門奉申上候　私義
昨夜五ッ時頃髪結ニ罷越立帰見候処、手拭ニ而面を包

候男壱人脇差を帯、家内立廻り居候ニ付、盗賊与見請声立、隣家江為相知可差押存候中、逃出候ニ付跡追駆候得共、闇夜之儀故行衛見失、依之家内江立戻始末相糺候処、右之者儀家内之男女を申威し、理不尽ニ押込、立騒候ハヽ可切殺旨相訇、簞笥錠前を固辞明、書面之衣類取出し候節、私立帰声立候ニ驚、品々持逃致候儀之旨申上、尚手掛り遂穿鑿候得共相分り不申候間、此段御訴奉申上候、已上

（星野　茂家文書　24—87）

六九　天明六年一一月　下新倉村馬飼料拝借帳

（表紙）

天明六午年
馬飼料御拝借帳
十一月　下新座村

（縦帳）

永四貫三百弐拾文
　此訳ヶ
永壱〆十六文　治太夫㊞
永七百五拾文　半平㊞
永三十弐文　清左衛門㊞
永拾弐文　清右衛門㊞
永六拾四文　吉左衛門㊞
永拾五文　治左衛門㊞
永百廿五文　善左衛門㊞
永三拾弐文　源七㊞
永弐拾五文　弥平□
永十五文　八十□
永弐百七拾弐文　平□
永十三文　善□㊞
永百廿五文　平蔵㊞
永八文　権三郎㊞
永百十六文　与市㊞
永五文　藤七㊞
永五十六文　万右衛門㊞
永百九十六文　孫市㊞
永百十五文　岡右衛門㊞

永九拾六文　伝五右衛門㊞
永八十三文　治右衛門㊞
永三十弐文　庄□
永百三十壱文　吉□
永百五十弐文　源□
永十三文　佐平□
永十九文　仁三郎㊞
永五文　又四郎㊞
永六拾四文　忠右衛門㊞
永百三十弐文　勝右衛門㊞
永六十四文　運平㊞
永拾九文　七兵衛㊞
永百八拾六文　久兵衛㊞
永三十壱文　伝次郎㊞
永百弐拾四文　武七㊞
永廿八文　岩右衛門㊞
永十五文　喜兵衛□
永三十八文　平□

永五十弐文　五□
永十三文　源□
永五文　金右衛門㊞
永十壱文　平左衛門㊞
永十五文　兵左衛門㊞

右者荒川筋大水ニ付、馬飼料右之通被為御拝借仰付難有奉存、小前百姓不残無高下割合仕候、御上納之儀者来ル未年ゟ亥年迄五ヶ年賦ニ被為仰付難有仕合ニ奉存候、依而小前連印奉差上候、以上

天明六午年
十二月

新座郡
下新座村
名主　助右衛門㊞
年寄　源右衛門㊞
百姓代　太兵衛㊞

飯塚常之丞様
御役所

右者当七月中荒川通水難ニ付、此度馬飼料被為　仰付難有頂戴仕、小前銘々惣百姓江不残無高下割渡シ申候、返上納之義者来ル未年ゟ同亥年迄五ヶ年賦急度返上納可仕候、依之小前連印奉差上候処仍而如件

天明六丙午年
十一月
飯塚常之丞様
御　役所

（柳下和夫家文書　20—48）

七〇　文政一〇年九月　下新倉村農間渡世書上帳

覚

平岩右膳御代官所無民家ニ付私料所兼帯
酒井主計知行所
一高四百石三拾九石九斗五升三合（ママ）　武州新座郡
此家数　日本橋迄道法四里半　下新倉村
人別

家数内家数	農業一統渡世之分 農間商ひ并諸職人渡世分
内	善兵衛
居酒渡世	伝八
文政十一子年差止候、尤酒も升売ハ格別	
同　渡世　外も少々之商ひ可致もの也	亦八
同　渡世	弥五郎
同　渡世	織右衛門
同　渡世	善蔵
同　渡世	彦右衛門
同　渡世	三次郎
大小拵渡世	
研屋	無御座候
髪結渡世	豊次郎
同　渡世	岩五郎
同　渡世	文蔵
同　渡世	庄五郎
湯屋渡世	無御座候

煮売渡世　無御座候
腰物売買渡世　無御座候
右之通相違無御座候以上

文政十亥年九月

右村百姓代　金右衛門
年寄　織右衛門
名主宗　無

関東御取締御出役
山田茂左衛門様御手付
吉田左五郎様
山本大膳様御手代
河野啓助様
太田平助様
柑本兵五郎様御手付
脇谷武左衛門様

（柳下和夫家文書　20—45）

七一　天保三年一〇月　下新倉村祝儀入用覚帳

（表紙）
天保三年
祝儀ニ付入用覚帳
辰十月吉日
（横小帳）

目出度初メ

一　九月廿四日　酒五合
百文　拾弐文
一　十月朔日　酒五合
百文
一　十月六日　同弐升
四百文
一　九月廿四日　とうふ半丁
拾六文
一　十月六日　あげ五枚
弐拾五文
一　十月六日　のり入九枚
弐拾七文
一　十月六日　水引
八文

一　同　同　四拾四文　紅一ッ
一　同　同　弐拾四文　御白粉一袋
一　同　同　百四拾八文　寿留女一わ
一　同　同　十文　丈長一わ
一　同　同　四百四十八文　酒弐升
一　同　同　弐十文　あげ四枚

（裏表紙）
いしだ
李右衛門

（石田栄一家文書　33―160）

七三　天保六年四月　下新倉村金銀諸入用覚帳

（表紙）
乙天保六年
金銀諸入用覚帳
未四月吉日

（横帳）

未四月七日　金泉寺
一四十八文　疱瘡見舞遣
〃　九日　金子礼
一三匁　大坂山半引
元次郎殿へ遣
〃　九日　伊勢壷屋
一四十八文　船賃不足差出し
〃　九日　おたみ
一百文　袖口代遣
〃　十日　さし代
一十六文
〃　廿一日　うらない代
一百文　源宝院
〃　廿一日　たはこ一ッ
一拾六文

一拾弐文　たはこ
〃廿二日　わらんじ代
一拾六文　未四月廿三日
一十六文　わらんじ代
一二百文　茶代
〃四月晦日
未四月七日ゟ　茶代
一四百七十弐文　ろうそく一丁
〃五月二日　たばこ一斤
一拾六文　わらんじ一足
〃四月廿六日　万五郎方へ遣
一弐百文　利分出
一十六文　江戸
〃五月四日　とうゆ拵代
一弐百四十八文　藤右衛門殿へ遣
〃六月朔日　利分出し
一五百文　江戸
〃六月六日　たはこ一斤
一百六十四文　江戸
十壱日　笠
一五百六十四文　壱かへ
〃十一日　江戸
一弐百七十弐文　わらんじ一足
十壱日　江戸
一百六十四文　見やけ
十壱日　無心掛銭
一弐百文　会講掛銭
一十六文　砂とう代
十壱日
一五十六文　一八十四文
〃十弐日　〃廿四日
一三／九百四十五文　一弐十四文
廿日　〃廿五日
一弐百文　一三百文
廿日
一十八文　〃廿六日
廿四日　一弐百文
〃廿七日晩
一四十八文
未六月廿九日
一十二文
〃廿九日
一十六文
〃七月朔日
一三百文
〃六日晩
一八十文
〃晩昼二度代
一百十二文
〃八日
一四十八文
〃十日
一百文
〃十三日
一七十弐文
〃十三日
一十六文
そんじ物代
ぞうり代
松葉軒
菓物勘化
大和田
会講見舞
岡村不動
ろうそく代
引又ニて
たはこ
わらんじ一足
大山講掛銭
ろうそく代
見せ賃
不動様
見せ代
引又
吹上
見せ代
引又
見せ賃
わらんじ一足

〃 四十八文 十四日	大野見舞遣	一金壱両三分
未七月十五日 一弐十四文	名主殿へ	弐朱一朱（ママ） 百文
〃 三十文 十五晩	上新倉薬師	〃 八月廿七日 一六十文
〃 四十弐文 十五日	見せ賃	未八月廿七日 一六拾文
一金弐分	ろうそく代	未九月三日 一弐拾四文
是迄 惣〆金弐分ト 八〆九百七十三文	見せ代	〃 九月十日 一弐百六十四文
未七月十七日晩 一四十文	上新倉村□	〃 九月十三日 一弐拾四文
〃 一壱〆九百文 十九日	薬礼	〃 九月十弐日 一金壱分弐朱ト 百三十九文
〃 一百文 十九日	上新倉ノ遣	〃 九月十二日 一金三朱ト七拾文
〃 一五百文 十九日	ろうそく	〃 金弐分一朱ト弐百十三文 十六日
八月五日 一金壱分一朱 五日	利分遣し	〃 一十六文
〃 一弐百文	兵左衛門方へ	未九月十七日 一十弐文
閏七月朔日ゟ八月二日迄	同人方へ	〃 四十八文 十七日
	礼遣	〃 一弐十四文 十八日
	儀左衛門方へ	
	利分遣	
	江戸へ	
	薬礼	
	遣物	
	大坂山二袋	

入湯入用
岡村
見せ代
〃 ろうそく
引又
見せ賃
印判代
引又
見せ代
半口
長嶋無心掛
同無心掛
氷川
出シ合
たばこ
長五郎ニ
太賃ニ遣
引又
見せ賃

〃 百四十文 廿日 岡村役家根代
〃 十六文 廿日 岡村ろうそく
〃 七百文 十九日 利分庄次郎殿へ遣
〃 百四十八文 廿二日 岡村氷川見せ賃
〃 弐十八文 廿二日 に物預江礼ニ遣シ
〃 百弐十四文 廿三日 見せ代引又
〃 百弐拾文 廿七日 岡村見せ賃
〃 百六拾四文 廿六日 煙草一斤
未九月廿六日 一八十文 印判黒
〃十月三日 一七拾弐文 古足袋一足
〃 弐十四文 三日 日よけ結作
〃 弐十四文 三日 引又見せ賃
〃 八日 一弐十四文 引又見世代
〃 八日

一 三十弐文 ちよちんのぢやばら
〃 弐百四十文 十日 ほそびき
〃 百八十四文 十日 煙草ぼん
〃 八十文 十日 さいふのひも
〃 百四十八文 さいく金はさみ
〃 弐十四文 十七日 引又見せ賃
未十月十八日 一弐十四文 吹上観音見せ代
〃 弐百文 十八日 はゞき代手付遣
〃 百拾六文 廿日 古足袋壱足
〃 弐十四文 廿三日 引又見せ賃
〃 四文 廿三日 引又日よけ針四本入用
一 三百三十弐文 廿弐日 百四十八文 さわら 壱本 百文むきミ壱升 三十弐文味噌 四十八文さんま
えびす講□物
但し五十本

一〃七百八十文　廿二日　酒三升
〆壱〆百十六文
一〃弐拾四文　廿四日　神楽
大野村
見せ代
未十月廿七日晩
一六十文
一〃十六文　廿九日　岡村
不動様見せ代
一〃弐拾四文　廿九日　引又
そうり一足
一〃三百三十弐文　廿九日　引又
見せ賃
未十一月朔日
一十六文　はゞき出来の節
つかわし申候
一〃未十一月五日ゟ　わらんじ一足
一六十四文　七日　江戸住八日内
煙草四ッ
一〃十六文　八日　筆壱本
一〃四十四文　八日　紙二状
一〃弐百三十弐文　足袋壱足
一〃八十文　十二日　小遣
一〃四十四文　遣
未十一月十二日　半口
是迄江戸住小遣あらまし印　無心掛銭
一金壱分弐朱ト百二十文

一〃金三朱ト五十八文　十二日　四分口
同断
一〃十弐文　十七日　煙草壱ッ
一〃十弐文　十七日　内間木村
渡江遣し
一〃弐十四文　十八日　引又
見せ賃
一〃十六文　十八日　引又ニ而かへ
わらんじ一足
一〃百文　廿日　手拭代
未十一月廿三日　もゝ引
一百七拾弐文　仕立代
一〃弐十四文　廿三日　引又
見せ代
一〃十二文　廿五日　たばこ
未十一月廿七日　たばこ壱
一十弐文
一〃弐拾四文　廿九日　引又
見せ賃
一〃十二文　廿九日　たばこ
是迄
惣〆金三両三分弐朱ト
銭拾九貫百九十四文

此金弐両三分一朱ト七十六文
二口〆金六両弐分三朱ト七拾六文

未極月二日　たばこ
一十弐文
未極月六日　ねりま
一七拾弐文　みやけ
足袋壱

〃拾弐文　五日　たばこ壱
〃拾六文　六日　みやげ
未極月六日　たばこ一斤
一百六拾四文
〃弐拾文　六日　わらんじ一足
〃百文　八日　かき出
かなほう

〃弐拾文　八日　引又へ
遣物

〃弐拾四文　八日　見せ賃
〃三十弐文　十日　吹上観音
見せ代

〃弐拾四文　十三日　引又
見せ代

〃七拾弐文　十八日　上新倉村
清右衛門殿へ

〃四十八文　廿日　祝儀遣シ出銭

未十二月十九日　ねりまへ
一八文　まわり壱ッ
未極月廿三日　見やけ
一百文　江戸へ見やげ

〃八十文　廿三日　引又
てうちん
はりかえ代

〃拾六文　廿三日　引又
見せ賃

〃拾八文　廿三日　引又
ろうそく代

〃八百弐拾四文　廿三日晩　わらんじ一足
儀左衛門殿へ
利分ニ遣シ

〃八十文　十六日　伊勢国行
芝宮吉五郎方へ
紋次郎出しニ付
祝儀割合

〃十弐文　廿六日　たばこ壱ッ

覚

一三十ふく　せんやく
〃〃〃〃　〃〃〃〃
一五ふく　丸薬
〃〃〃〃　〃〃

一十ふく　粉薬
〃　〃
一十五ふく　せん薬
〃　〃
一五ふく　がんや薬
〃　〃

未極月廿九日
一金壱朱　覚
未極月晦日
一百文　髪結銭遣

未極月晦日
一弐拾四文　大の渡シ暮米遣

〃　晦日
一拾六文　早瀬村渡シ暮米遣

未正月ゟ
惣〆金拾両三分ト　ろうそく壱丁
銭弐拾四貫五百九十弐文

出崎
門前諸事

二口〆金拾両三分ト
銭三拾壱貫九百九十一文
此金四両三分ト百六十七文
金銭〆拾五両弐分ト百六十四文

（裏表紙）
武蔵屋
伊兵衛

（石田栄一家文書　29—49）

七三　慶応二年六月　下新倉村貧徒暴賊打毀値難見舞受記

（表紙）
慶応二寅年六月十五日
貧徒暴賊打毀値難見舞受記
柳下康義
（横帳）

略記

此度暴賊之事原由者、秩父郡名栗村山谷ニ住ル博戯悪徒共之内、大五郎与申者巨魁トナリ、虐賊俚民ヲ集合彼ノ地ニ起立、所々地方村々暴行シテ有財産家、又或ハ有名聞之家々江押寄セ、其家作建物等打毀シ金銭・米穀・衣類其他之有合物品簒賊ス、此時ニ当テ慶応二寅年六月十五日午後三時、当家江押来リ惣人数凡弐千

有余ノ賊徒、俄ニ如雲押寄セ来ル、其時為暴

現在之損亡シタル者

一居宅　壱棟ニ有合タル建具・天井・畳悉皆

一物置　壱棟ニ有合品農具・諸雑具不残

一文庫蔵一棟　下床ニ有合タル品・諸道具・夜具類、

二階ニ有タル品丈手不付残ル　不残破ラル

一穀庫　一棟　内ニ有合セシ玄米三拾俵ヨ

其外大小麦・雑穀とも

都合四拾俵ヨ

俵物惣数八拾俵ヲ損ス

右損害惣金額ニ積リ合

金五百両也　損亡ス

右者未曽聞珍敷乱暴之事柄ニ付概略記之

寅六月

覚

六月十五日

酒壱樽　長嶋屋より

醤油壱樽

梅干壱樽

弁当飯弐櫃

米玄白ニ而弐俵

金五両也

太神宮之御宮壱ッ

〆

一弁当飯壱櫃　前与市

金弐分

一白米弐斗　中町大工初五郎

小釜　壱ッ

一弁当飯壱櫃　西口ノ幸助

金三両也

一弁当飯壱櫃　吹上ノ組合中

酒壱樽

一弁当飯弐櫃　新田伝内

米壱俵也

小間下駄壱足

一弁当飯弐櫃　下笹目村新左衛門

外之品々

一同壱櫃　芝宮間屋平次郎

醤油切手壱樽

一金弐分　隣リノ幸太郎
酒壱斗
一金弐分　前の源太郎
上半紙十丈
一金壱分　早瀬村本左衛門
一弁当飯三櫃　白子宿沢屋繁右衛門
上軒六束
手桶弐ッ
土瓶壱、茶弐袋、半紙
志やく、野菜代壱分
大釜壱ッ　十三枚印
但し代金三両也
一手桶壱ッ　浅久保久蔵
茶漬茶椀十五人前
茶呑茶椀十人前
土瓶壱ッ
丼　壱ッ
団扇弐本

塩物肴弐尾
金壱分
上半切紙百枚
中一鉄鍋壱ッ
上一干肴六拾五枚
外ニ品々
一弁当飯壱櫃
金壱両也
上物一醤油壱樽
一金弐分
一金弐朱也
うなぎ一蒲焼壱皿
一白米壱櫃
金壱両也

一金弐両也
一金五両也
一白米三櫃
金三両

したノ粂五郎　染井花屋茂右衛門
芝宮ノ組中
下町菊五郎　下里綱五郎
したノ万右衛門　谷戸弁蔵
西口組中
東本村下里組中
向新田ノ万屋善兵衛
谷戸中新田ノ仏の木

紀州
一蠟燭壱箱
一金壱分
手拭地壱反

堤ノ
定八
湯屋
勝太郎

一金壱分
一金壱分
一金壱分
一金壱分
一金三分
一金弐朱
一白米壱俵
一茶付茶椀十
一金百疋
一金弐分
一金壱両也

大工ノ源五郎
下里
下里
万蔵
芝宮下ノ
万五郎
下内間木村
与八
中町
松五郎
金山ノ
次左衛門
利
芝宮ノ
八
権五郎
坂上ノ
政次郎
永屋
藤次郎
浅
長久保
久保
弐軒新田

土瓶壱
茶椀十
金壱分
一金弐分

原ヶ谷戸
岩五郎
新田ノ
源四郎

一金壱分
一金壱分
一茶椀
弐拾弐人前
一銅盥壱ッ
一金壱分
一金弐分
一釘千本
大五寸
一金弐朱
一金弐朱
一金弐朱
一金壱朱
是ハ角右衛門縁者之人
一金壱分
一斗桶壱ッ
十九日
一金壱両
一金弐朱
一金弐朱

新田前
平五郎
新田前
次右衛門
新田前
店ノ与
市

長久保
岩五郎
西ノ万平娘
た
ま
浮免
利兵衛殿
上新倉村
源
内
西口
角右衛門
原ヶ谷戸
五三郎
西台村
松五郎

仏の木ノ
文左衛門
吹上前ノ
源六
ひの木山
松五郎
曲の木ノ隠居ノ
な
み
下戸田村名主武ノ内
八郎右衛門

一銀壱朱　蔵宿　岡田新蔵
一菓子壱折代壱分程　大塚町波切不動前　駕籠屋
一鯰四尾　上内間木村　伝右衛門
一茶呑茶椀五ッ　浅草花川戸　ふじ屋五郎次
カミナリ干こふの物少々
一金三両　浅久保　長久保　弐軒新田
一小桶壱ッ　桶屋又　城山市
六月十八日参
十九日帰り
一金五両　瓦曽根村　中村庄左衛門
一金壱両　中新田ノ　八五郎
今戸焼火鉢壱ッ
十九日
一金弐朱也　民五郎　新田ノ
同
一金壱分　久次郎
同
一金弐分　荒ケ谷戸　伊兵衛殿
同廿日　向新田
一金弐両弐分　油屋勘治郎
一金壱分　仏ノ木　友吉

一金弐朱　白子宿　冨沢茂兵衛
□代
廿一日
一金弐分　妙蓮寺　平左衛門○
一金壱分　同所　亀五郎○
同廿一日　壱鑑寺様　御隠居○
一茶椀十○　鍛冶屋　引又町　初五郎○
目録之盆壱枚
同
一包丁壱本　白子宿　清七○
同
一わらさ魚壱本　吹上　仙次郎○
是者凡弐尺位
一手桶壱ッ　下里　万蔵
一金壱分　上新倉村　原彦右衛門
一金弐朱　西ノ八十七忰　繁之助○
同
一金壱分　砂糖壱斤付
廿一日
一菓子折壱ッ　柴屋縁□之者浅草福井町　大和屋利兵衛殿　小間物屋之由○
一手拭壱筋　白木屋　白子宿　新兵衛
志んけ
一膳十人分　下笹目村　長谷川新左衛門
平十人前

汁椀十人前
茶漬茶椀廿弐人前
並皿十人前
竹ぼふき三本
煎豆壱重
一杉板　厚サ弐寸長七尺　壱枚
　　厚サ壱寸五分長六尺　壱枚　坂上ノ　伝八
〆
六月廿一日
一金拾両　御地頭所様　御屋敷ゟ
　御思召御手当として被下置候
六月廿二日雨天
一琉球表十枚　染井　花屋茂右衛門
ちそ巻　壱曲
ばん茶　壱袋
上茶　壱折
団扇　弐本
ゆき平土鍋壱ッ
〆
同
一琉球表十枚　下里ノ　綱五郎

一金壱分　膝折宿　香取屋幸助
一金壱分　弐軒新田ノ　八五郎
廿六日
一金弐分　浅久保　見世ノおいセ殿
くるミ足ノ志んけ
　膳　五枚
湯呑大茶椀壱ッ
小あじ
干物肴百枚
むし菓子
小重ニ入壱重
〆
廿三日
一茶椀五ッ　芝宮ノ　権兵衛
　　女房
廿三日
一どんぶり弐ッ
どびん壱ッ　壱鑑寺様
同
一金弐分　ならの下　友吉
　但し茶椀の代と申
上物堅唐草形
一猪口弐拾人前　名主　曲本村　吉蔵
同廿五日
一手桶壱ッ　宮久保　新治郎
廿六日　白子宿
一金壱分　柴屋孫次郎

同
一金弐朱　白子宿　柴崎藤四郎
道具類ノ外
〆金五拾六両壱分弐朱也
七月朔日
一金壱両也　富士講連中
一同より

一金弐朱也　名主呈輔殿　上内間木村
一酒壱斗　金泉寺　東明寺
上物
一干物肴七十五枚　室町　万屋五兵衛殿
するめ七枚
ふぐ弐ッ

一金壱分　仏の木ノ長松娘ノおりん
七月五日
一金壱分　下赤塚村　源八殿
一菓子折壱　練馬宿　藤店殿
代三百文位
手風呂敷壱　望月八兵衛
志んけ八寸
一重箱四ッ　同　彦助殿
壱組
柴縮緬半入壱
一茶呑茶椀十　赤塚村ノかね

一梨子十五　三河屋　湯嶋力蔵
七月十一日
一金壱分　市商人　桶屋中
七月十一日　同断　駕籠屋中
一金壱分　名主　橋戸村善兵衛
一金弐朱　初五郎
一金弐分弐朱　源五郎
半紙壱状　仙太郎
伊三郎
銀蔵
文吉
幸七

〆大工建具屋職人七人より見舞

覚
一六月廿一日　沢屋様ゟ
十三枚　見舞請
大釜壱ッ
代金三両也
但シ川口出
同廿一日　川口ニ而
一三〆五升　壱ばん
△釜壱ッ　金初
代四十六匁五分

代三匁五分　　あみ代

〆　買入之品

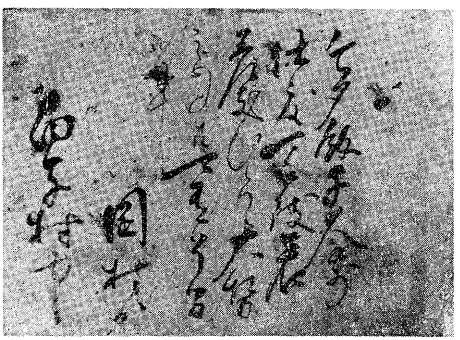
（柳下廓次家文書　26—3）

七四　白子村宛人足夕飯支度催促触状

其村方人足
五十人用意
可被致候事

十五日七ッ時
岡村ら

白子村中



今夕飯千人前
仕度可被致、若
差支ひ候ハ、大勢
之もの共、可有了簡
候事

岡村ら

白子村中

（冨澤泰次家文書　123—660）

七五　元禄九年三月　白子村替地証文

替地手形之事

一我等屋敷裏ニ而、横五間竪拾間壱畝廿歩之所、惣組頭以相談をもらい申候而、此替地ニ市場下ニ而七郎右衛門分、上田壱反四畝拾弐歩之所を相渡申候、此

外祝金として金子弐分進上申候、就此地双方末代互ニ違乱申間敷候、若又此地ニ付、何様之六ヶ敷儀出来仕共、此判形之者共何方までも罷出急度申わけ可仕候、為後日証文如件

替地主　太郎兵衛
組頭証人　次兵衛
同　兵右衛門
同　伝左衛門

元禄九丙子年
三月廿四日
不動院様

伝兵衛
長左衛門
三左衛門
四郎兵衛
忠兵衛
三郎兵衛
善兵衛
久右衛門

（冨澤泰次家文書　122—413）

七六　宝永三年三月　白子村地代金請取証文

請取申地代金之事

一金弐分ハ藪之地代ニ拙僧慥ニ請取申候、此地代金当暮レニ請取可申候得共、先当分ハ請取申度存候ニ付、右之金慥ニ請取申候、来ル亥ノ年ゟハ十二月中ニ地代金請取申筈之約束ニ御座候、為後日仍而如件

金子請取主　不動院㊞

宝永三年
戌ノ三月十九日

証人　組頭　吉左衛門㊞
同断　伝左衛門㊞
同断　源六㊞
同断　伝兵衛㊞
同断　三左衛門㊞

太郎兵衛殿
参

（冨澤泰次家文書　122—426）

七七　宝永三年三月　白子村替地証文

手形之事

一貴殿屋敷添ニ而藪壱畝廿歩之所、十一年以前子ノ年替地ニ貴殿方江相渡シ、為此替地と市場之下ニ而上田壱反四畝十六歩之所、我等方江替地ニ請取申候、尤替申候時分者互ニ勝手能御座候ニ付而、替地ニ仕申候得共、此度田畑茂高割ニ而御役等かかり申候ニ付、右之藪我等方江取返シ可申由申候得者尤と被思召御返シ被成候ニ付、藪壱畝廿歩之所ハ我等方江慥ニ請取申候、併貴殿上田之儀ハ熊野権現へ御供免ニきしん可被成之由忝存候、尤高役ハ御座候得共御年貢等相済、其上役銭出し申候得ても、勝手ニ茂可罷成と思召、惣組頭衆・地福寺ニも相談之上御供免ニ御付被成候、若末々ニ而御役等もめいわくニ御座候ハヽ、返シ可申候由尤ニ存候、依之右之藪之儀ハ先当分ハ貴殿方江かし置申候、家わき江御引取被成候内借シ可申候間、地代壱年ニ金子弐分宛ニ相定申候間、地代金急度弐分宛御出シ被成候得而かり可被申候、若貴殿入不申候ハヽ、何時成共右之藪御返シ可被成候、其時分勿論地代ハ取申間敷候、為□□□惣組頭衆如此手形□申候、此儀少も相違無御座候、為後日証文仍而如件

宝永三年　戊ノ三月十九日

証人　地福寺㊞　不動院㊞
同断組頭　伊兵衛㊞
同断同　伝左衛門㊞
同断同　吉左衛門㊞
同断同　三左衛門㊞
同断同　源六㊞

太郎兵衛殿

（冨澤泰次家文書　122—428）

七八　享保二〇年三月　白子村地境証文

勘兵衛殿

（冨澤泰次家文書　122—443）

一札之事

一貴殿屋敷裏ニ而地境入組候ニ付、組頭衆立合ニ而地境相立申候故、重而双方申分無御座候、為後日一札仍如件

享保弐拾年卯三月七日

不動院㊞
組頭　次兵衛㊞
同　源兵衛㊞
同　定右衛門㊞
同　伝兵衛㊞
同　吉左衛門㊞
同　又　市㊞
同　勘左衛門㊞
同　忠兵衛㊞
同　弥兵衛㊞
同　善兵衛㊞

七九　宝暦六年一一月　白子村水かご渡覚帳

（表紙）
宝暦六年
水かこ渡覚帳
子ノ閏十一月朔日
（横帳）

宝暦六年
子閏十一月朔日
水かこ渡覚

一壱ツ渡ス　坂上権介
一壱ツ渡ス　坂上三郎兵衛
一壱ツ渡ス　坂上半右衛門
一壱ツ渡ス　勘四郎
一壱ツ渡ス　八郎右衛門

一壱ッ渡ス　新介　一壱ッ渡ス　佐平次
一壱ッ渡ス　五郎右衛門（後家）　一壱ッ渡ス　佐五兵衛
一弐ッ渡ス　七兵衛　一壱ッ渡ス　五郎八
一三ッ渡ス　長兵衛　一壱ッ渡ス　孫七
一弐ッ渡ス　繁右衛門　一壱ッ渡ス　（上宿）平八
一壱ッ渡ス　市□衛門　一三ッ渡ス　不動院
一壱ッ渡ス　元右衛門　一三ッ渡ス　与兵衛
一壱ッ渡ス　又右衛門　一壱ッ渡ス　市郎右衛門
一壱ッ渡ス　伊右衛門　一壱ッ渡ス　（坂上）吉三郎
一壱ッ渡ス　喜兵衛　一壱ッ渡ス　与右衛門
一壱ッ渡ス　万右衛門　一壱ッ渡ス　太右衛門
一壱ッ渡ス　八右衛門　一弐ッ渡ス　善右衛門
一壱ッ渡ス　六兵衛　一壱ッ渡ス　弥五兵衛
一壱ッ渡ス　六右衛門　一壱ッ渡ス　弥五右衛門
一壱ッ渡ス　伊右衛門　一三ッ渡ス　三郎右衛門
一壱ッ渡ス　茂右衛門　一壱ッ渡ス　（坂上）平次郎
一弐ッ渡ス　介右衛門　一壱ッ渡ス　（上ノ）吉兵衛
一弐ッ渡ス　十右衛門　一壱ッ渡ス　熊右衛門

一壱ツ渡ス　佐五右衛門
一□ツ渡ス　孫右衛門
一□ツ渡ス　吉左衛門
一壱ツ渡ス　弥兵衛
一壱ツ渡ス　下作兵衛
一壱ツ渡ス　庄兵衛
一壱ツ渡ス　忠□□
一壱ツ渡ス　太郎右衛門
一四ツ渡ス　冨右衛門
一三ツ渡ス　忠兵衛
一三ツ渡ス　地福寺
一□ツ渡ス　太郎兵衛
惣〆水かこ八十相渡申候
右之通り此度水かこ相渡シ□候処相違□御座候、
為念如此ニ御座候、以上
宝暦六年
子閏十一月朔日
組頭　吉左衛門

同　孫右衛門
同　太郎右衛門
同　忠兵衛
名主　冨右衛門
同　太郎兵衛

子十一月一日下
一紙壱状取　長兵衛
代拾七文
酒手入用者重而村入用わり申候時ニ、わり合ニ入
可申候、依之当分ハ水かこ入用ハ払不申候
子壬十一月廿三日
一金弐分弐朱借申候　下
長兵衛
此銭
弐〆六百廿四文相渡シ申候、立合太郎右衛門ニ而相
渡シ申候
一水かこ二ツ
繁右衛門
此代
七拾八文かし

尤組頭衆能キ様ニ頼申候と申被遣候、相済不申候
子十二月廿一日ニ水かこ二ッノ代
七拾八文慥ニ受取申候

（冨澤泰次家文書　112―404）

八〇　嘉永五年二月　白子村熟酔酒狂に付吟味下げ請書

差上申一札之事

武州白子村年寄小源次義同国下練馬村百姓鉄次郎与口論之上疵受、同国中荒井村百姓佐左衛門方江馳込候一件、御手代被差遣伊賀者御組頭并御給知掛之衆御立会御見分之上引合、同国上板橋村百姓定右衛門・又兵衛□同御吟味中双方得与及懸合候処、小源次義同国中野村辺江用事有之罷越□之途中、鉄次郎ニ出逢同道いたし同人□□□通り懸候節、聊之事ゟ及口論同人義軒下ニ差置候紺屋稼ニ相用候棒ヲ以小源次を及打擲、疵所痛所与も出来候義ニ有之、右ハ鉄次郎義熟酔罷在酒狂之上被成候事ニ而、素ゟ意趣遺恨等有之候義ニハ無之、且定右衛門・又兵衛取□ニ立入候迄ニ而及打擲候義無之段夫々相分、鉄次郎ゟ相当之療治代差出厚相詫、小源次疵所与も悉ク平愈いたし、片輪勿論農業渡世之障不相成一同無申分御吟味下願上候ニ付、□□□守様江御伺之上小源次疵所平愈いたし、片輪ハ勿論農業渡世之差障不相成一同無申分御吟味下願上ニ而、願之□被下ケニ成下候旨被仰渡一同承知奉畏候、仍御受証文差上□処如件

武州新座郡白子村
年寄　小源次

嘉永五子年二月廿五日

役人惣代
名主　勘蔵

同国豊嶋郡下練馬村
百姓　鉄二郎

役人惣代
年寄　四郎兵衛

中荒井村
百姓　佐左衛門

役人惣代
□右衛門
上板橋村
百姓　定右衛門
同　又兵衛
役人惣代
年寄　治郎左衛門

勝田次郎様
御役所

（冨澤泰次家文書　123—594）

（表紙）
文政十一子極月十五日
満願寺
祠堂金元利取立帳
長照寺
村役人
旦中世話人
（縦帳）

覚

一元金拾弐両弐分　庄左衛門
此金元利積立拾五両弐分三朱相成返済致兼候ニ付、字榎戸中田弐反歩入口六俵之場所請取申、右掛金ニ相成候事

一元金六両壱分　兵右衛門
此金元利七両ト弐百八文ニ相成返済之処、高金掛勝手ニ付、字谷中田八畝歩代金五両ト□高金弐両弐百八文相添、質地証文取請（ママ）、右之掛金相成候事

一元金六両弐分　弥治右衛門
此金利分三ヶ年積立、弐両壱分ト弐百弐拾四文請取、内弐分ト八百文文浄房住職中長照寺什物之七条質物ニ入置請出シ候節立替、又ハ弐分金者文浄

4　社寺と信仰

八一　文政一一年一二月　上新倉村満願寺祠堂金元利取立帳

房名主之奥印有之候、弐拾両之証文旦家ゟ指遣取
返し候砌、立替両度合二ヶ年、壱両ト八百文指引、
壱両ト六百五十六文請取
一金壱両壱分　利兵衛
此本金壱両之所、利分二ヶ年分合而壱分書かひ元
金ニ直し、壱両壱分ト質地証文取請申候事
一元金壱両弐分　長左衛門
此利弐分壱朱請取申候事
一金壱両壱分弐朱　新右衛門
此元金壱両壱分弐朱
此本金壱両之所、利分三ヶ年分合而書かへ、元金
ニ直し、壱両壱分弐朱、質地証文取請申候事
元金四両　久太郎
元利壱ヶ年分、弐分請取申候事
元金六両壱分弐朱　茂右衛門
此金利分三ヶ年積立、弐両壱分ト九百廿七文、内
壱両請取残壱両壱分弐朱九十壱文、本金合而七両
三分返済之所、高金殊ニ勝手畑入口金弐分弐朱余
之場所請取、掛金ニ相成候事
□〆七両三分之内金壱両文右衛門貸附候（辰十一月）
一金弐両三分　伊左衛門
此金元金弐両之処、利金三ヶ年積立ニ相成、本金
ニ直リ、宇谷中上田質地証文請取貸附申候事
一金弐両弐分　半六
此本金壱両弐分之所、利分三ヶ年分合而書かへ候
へ畑不納金合而、元金ニ直リ弐両弐分、質地地証
文取請候事
惣〆五両壱分弐朱　祠堂利分
内壱両弐分八百拾五文　御年貢久太郎遣
壱分弐朱　祠堂利分取立入用
右指引而、金三両壱分壱朱預置
金壱両壱分　重治郎
一庄左衛門方証文　壱通
一兵右衛門方証文　壱通
一半六方　証文　壱通
右三通預置申候

子十一月廿二日

一金三両壱分　卯ノ借用　重治郎
一金壱両三分弐朱　文右衛門
〆元金弐拾九両壱分也
辰十一月十四日（ママ）
金三分弐朱壱朱　嘉吉
金弐分　久太郎
金弐分　庄左衛門

（桜井　晃家文書　3―59）

公二　文政一三年一二月　上新倉村氷川鳥居諸色覚帳

（表紙）
文政十三年
氷川鳥居諸色覚之帳
寅十二月吉日　上新倉村
（横帳）

覚

一金四両三分ト　久太郎組
　　坂樋諸色残之分

銭弐百三拾壱文　同
　　土方人足銭永、是者村方小前江割方仕候分　鎮守様奉納之分

一金五両三分ト　永壱文壱分七厘　同
一金弐分壱朱也　是者杉木壱本代金也
一金弐両壱分也　残木分　庄左衛門組
一金弐両弐分弐朱也　是者土方人足賃永
〆金拾五両三分弐朱壱朱（ママ）
　　銭弐百三拾八文
一金弐両三分ト　五百九拾四文　久太郎
一金弐両弐分弐朱ト　四百四拾四文　六兵衛

一金壱両壱分弐朱ト　峯
弐百八拾七文
一金三分弐朱ト　原
五百六文
此代不参
一金壱分ト　同人
弐百三拾文
一金弐朱ト　半蔵
四百九拾五文
一金三分ト　彦兵衛
三百三拾文
此内四両ト　修復引
六百八拾文
内弐朱　茶代引
引残　三両三分弐朱ト　喜平次預り分
銭三百八拾文
此訳

一金八両　上ノ郷組
一金七両　坂下組
一金三両弐分　漆台組
一金三両弐分　峯組
一金三両弐分　原新田組
一弐拾三両三分ト　源八殿渡シ
三百八拾文
内壱両壱朱　彦兵衛払
百七拾弐文
内六百三拾六文
引残
弐拾弐両弐分弐朱
十二月十九日　彦兵衛内
一七百三十五文　酒代

（裏表紙）
世話人
平左衛門

（桜井　晃家文書　7—225）

八三　天保二年二月　上新倉村鹿島参詣講中登山帳

（表紙）
天保二年辛卯二月
御師　大里彦太夫
鹿島参詣講中登山帳
武州新倉村　講元　桜井権之介
連中　三拾八人
（縦帳）

鹿島太神宮　講中安全

天保二辛卯年初り
参宮
二月十八日　印　藤五郎
天保三辰年
参宮
世話人　印　権之介
三月十四日　印　藤助
印　紀一

天保四巳年
参宮
二月廿四日　印　奥山藤助
天保五午ノ年
参宮
三月十四日　印　本多助市
天保六未ノ歳
参宮
三月廿七日　印　桜井勝五郎
天保七丙申年
参宮
二月廿七日　印　万治郎
天保八九酉戌年
三月十一日　印　銀治郎
御参詣　印　奥山為吾郎
印　桜井重右衛門
印　本多長蔵
印　星野文五良

天保十亥歳
一御参詣　印　冨田兵左右
一二月十日　印　桜井友吉

天保十一子歳
一御参詣　印　桜井清五良
一三月廿四日　印　冨岡庄八

天保十二歳
一御参詣　印　冨岡栄二郎
一二月廿六日　印　河島浅右衛門

天保十三寅歳
一御参詣　印　冨岡兵左右衛門
一四月九日　印　星野権左右衛門

天保十四卯歳
一御参詣　印　伊藤五左右衛門
一二月十八日　印　川嶋栄司良

天保十五辰歳
一御参詣　印　冨岡弥五郎
一二月十五日　印　加藤孫八

弘化二巳歳
一御参詣　印　伊藤与右衛門
一三月朔日　印　冨岡幸輔

弘化三午歳
一御参詣　印　本田善五郎
一三月十日　印　冨岡三之助

弘化四丁未歳
一御参詣　印　斎藤辰五郎
一二月廿七日　印　星野藤右衛門

弘化五申歳

一御参詣　　印　加藤勘右衛門

一二月十二日　　印　本多東市

嘉永二酉歳

一二月十二日　　印　七右衛門

一御参詣　　印　七郎左衛門

（桜井　晃家文書　3—64）

〇四　弘化三年三月　上新倉村観世音奉納覚帳

（表紙）

弘化三年

観世音奉納覚之帳

午三月朔日ゟ　上新倉村中

（横帳）

三月四日　覚

金百疋　文右衛門

金五拾疋　久太郎

彦右衛門

金五拾疋　小左衛門

金五拾疋　利兵衛

午三月四日　覚

一弐〆九百文　原組中

廿九軒分

午三月四日

一壱〆六百文　世話人長九郎ゟ請取

拾六軒分

一弐百朱ト　利兵衛組

壱〆百八拾四文

廿軒分　年番組

一弐朱ト　文右衛門組

壱〆百八十四文

弐拾軒分

〆八〆五百文

久太郎組

一八百文　重蔵組

一四百文　太左衛門組

一弐〆三百文　九左衛門組

一弐〆六百四十八文　彦兵衛組

一弐〆弐百四十八文　藤右衛門組

一壱〆七百文　六兵衛組
〆拾〆百文
壱軒ニ付、百文ツヽ
両組〆拾八〆六百拾弐文
文右衛門
久太郎
右者三月四日、両人ニ而取集、夫遣両人ニ而持参候
（桜井　晃家文書　5—108）

公5 弘化四年九月　上新倉村祭礼入用帳

（表紙）
丁 弘化四年
祭礼入用帳
未九月吉日
（横帳）

一 廿二日　覚
一 同　弐丁半　とうふ
しやうゆ
壱升

一 同
一 廿三日　豆腐　弐丁
一 同　弐丁
一 同　四丁
一 同　弐丁半
一 同　八丁半
一 同　弐丁半
一 廿五日
一 同　弐丁
一 廿二日　五丁　喜平次
一 真木拾五把
廿五日
一 同　弐拾把
廿六日
一 同　豆腐　弐丁半
一 同　豆腐　拾丁
武左衛門ゟ
醤油壱樽
一 同　彦兵衛ゟ
白壱俵
（桜井　晃家文書　3—60）

八六　嘉永六年一二月　上新倉村大神宮御祓名前覚帳

（表紙）
嘉永六年
大神宮御祓名前覚帳
丑十二月吉日　新座郡上新倉村
文右衛門組
（横帳）

覚

喜平治
九郎右衛門
与市
原
清左衛門
清吉
弥右衛門
五郎右衛門
利兵衛
五兵衛
八五郎
小三郎
七兵衛
喜助
治兵衛
幸助
う
勝五郎
平十郎
重蔵
代
佐右衛門遣
壱ヶ年切
治兵衛代
松五郎
文右衛門

（桜井　晃家文書　3—56）

八七　安政二年八月　上新倉村一切経補欠勧進帳

（表紙）
安政二卯ノ八月　高野山
一切経補闕勧進牒
西南院
（横帳）

先祖代々
一三巻　桜井文右衛門
先祖代々
一同　本田久太郎
同
一三巻　鈴木彦右衛門
恵音童子五月十三日
四月十一日
夏屋妙還信女
一同二巻　冨岡茂右衛門
一　茂兵衛
一壱匁　勘兵衛取
十一月廿二日　十月十四日丸之分
嶺観禅定門
一壱巻　本田　○伊平次取
六月廿三日
夏山禅定門
一壱巻　同　○新右衛門
七月四日
秋岸観阿信士

一壱巻　冨岡　○兵左衛門
外壱巻　同　○林右衛門
一先祖代々
先祖代々
一壱巻　本田　○喜右衛門
永昌寿薫信士　六月朔日
寒山道光信士　十二月廿二日
一弐巻　星野　○与左衛門
貞顔寿仙信女　七月三日
映月妙慶信女　七月廿二日
九月五日
紅月証頓信士
一三巻　同　○藤右衛門
先祖代々
一半巻　本田　○元右衛門
先祖代々
一半巻　上篠　○七郎左衛門
先祖代々
一半巻　増田　○喜三郎
一　六兵衛
五月九日
夏休禅定尼

一壱巻　同　○兵四郎
浄雪禅定門壬正月五日
一壱巻　星野　○半次郎
一半巻　同　○長太郎
先祖代々
一　本田　多兵衛
為
先祖菩提
一壱巻　本田　○与市
正月七日
了転禅定門
一壱巻　桜井　喜兵衛取
一半巻　堀江　○儀右衛門
先祖代々
一半巻　山崎　○清右衛門
先祖代々
一壱巻半　冨岡　○長左衛門
高岳寿清信女　正月六日
常寿智慶信士　六月四日
是心妙鏡信女　十一月廿六日

一三巻　堀江　嘉兵衛
先祖代々
安住妙蓮信女　七月廿一日
一参巻　○本田　喜平治
〆
七日
先祖代々
一弐巻　加藤　○勘右衛門
二月三日
霊曜禅定門
一壱巻　斎藤　○金左衛門
十月八日
嶺月妙観信女
一弐巻　桜井　○金兵衛
一壱巻　斎藤　○九郎左衛門
一　斎藤　与兵衛
先祖代々
一半巻　山崎　七郎右衛門取
先祖代々
一壱巻　ミ子　冨岡　○与兵衛

一　冨岡庄八
一半巻　伊藤仁左衛門
先祖代々
心月恵観信士　二月廿四日
霜雪即到信士　十月十一日
一参巻　冨岡兵衛門
先祖代々
一壱巻　冨岡○政右衛門
先祖代々
一壱巻　同平四郎
先祖代々
一半巻　伊藤○伝五郎
一半巻　伊藤忠左衛門
十月九日
盛岳禅定門
一壱巻　川島伝右衛門
先祖代々
一壱巻　川島重蔵
先祖代々
一壱巻半　伊藤徳左衛門

先祖代々
一壱巻　奥山（丸印朱書）○伝　内
一　奥山佐次兵衛
為先祖菩提
五月十日
心月良性信女
一弐巻　桜井○平十郎
一　萩原忠右衛門
正月十二日
嶽鳳寿栄信士
七月朔日
慈光妙遍信女
一弐巻　桜井佐平治取
一　平助
一半巻　○助三郎
一　紋四郎
太郎右衛門
先祖代々
一壱巻　冨岡平右衛門取
先祖一切聖霊

一壱巻　先祖代々　同　八郎兵衛取

一壱巻　十月十四日　啓岳道観信士　八月廿一日　啓寿妙岳信女　（丸印朱書）大熊○嘉右衛門

一弐巻　三月廿七日　全覚禅定門　（丸印朱書）大熊○五郎右衛門

一壱巻　先祖代々　大熊　善太郎

一壱巻　五月十七日　早橘紅顔信士　（丸印朱書）山田○八兵衛

一壱巻　先祖代々　冨岡　同　（丸印朱書）○伊左衛門

一　同　小三郎　半六

一壱巻　七月六日　良覚童子

一壱巻　先祖代々　（丸印朱書）鳥飼○藤井ノ口　庄兵衛　七

一壱巻　先祖代々　同　（丸印朱書）○銀助

一半巻　同　七右衛門

一壱匁　（棒線朱書）清右衛門

一　寅　六月廿五日　真夢道晄信士　靖範妙智信女　十一月廿三日　十月廿一日

一参巻　（丸印朱書）井ノ口○六左衛門　上原　藤八

一半巻　暉山道翁信士　三月廿八日　先祖代々　（丸印朱書）天野○弥左衛門

一弐巻　（丸印朱書）○栄次郎

一半巻　壱匁　先祖代々　天野　新吉

一壱巻半

一壱匁　小勝右衛門
二月廿九日
芳顔妙善信女

一壱巻　小池庄左衛門
先祖代々

一半巻　（丸印朱書）○長八
一同　七兵衛
先祖代々

一壱巻　（丸印朱書）○次郎兵衛
十二月四日
寒雪道諦信士
五月十六日
盛寂禅定門

一弐巻　（丸印朱書）上原○助右衛門
二月十一日
岳応天海信士

一壱巻　（丸印朱書）上原○喜助
正月廿四日
妙善禅定尼

一壱巻　（丸印朱書）上原○伝右衛門
八月九日

先祖代々
六月十八日
普光妙賢信女

一弐巻
先祖代々

一半巻
一半巻
一　先祖代々

一壱巻
先祖代々

一半巻
正月朔日
唯心妙照信女

一壱巻
先祖代々

一半巻
同

一半巻
同

上原小左衛門

上原紋左衛門取

上原権十郎
和助

岡田市左衛門

上原弁蔵

天野善左衛門

天野伊助

上原権左衛門

一半巻　先祖代々　清水　新五兵衛
一壱巻　先祖代々　本橋　権兵衛
二月十四日　春翁寿暁信士　大熊　佐右衛門
一壱巻　先祖代々
十一月九日　増学玄機信士　大熊　九郎右衛門
一壱巻　先祖代々
一半巻　先祖代々　鈴木　長九郎
同　先祖代々
一半巻　先祖代々　鈴木　長左衛門
同　先祖代々
一半巻　先祖代々　鈴木　長右衛門
十月廿九日　巧善禅定門　千之助
一壱巻　先祖代々
六月廿三日　智浄禅定尼　火父
一壱巻　先祖代々
一壱巻　先祖代々　庄八
一壱巻　先祖代々　冨岡　三次郎取
一半巻　先祖代々　金子　九十郎
一壱巻　先祖代々　金子　市之助
一銀弐匁　先祖代々　岡田　与惣兵衛
一壱巻　先祖代々　冨岡　利助取
一壱巻　先祖代々　冨岡　清吉
一壱巻　先祖代々　同　清右衛門
五月十一日　妙挺禅定尼　冨岡　伊右衛門
一壱巻　先祖代々

一参巻　冨岡　清左衛門
○先祖代々
一壱巻　ウルシダ井　本橋善太郎
一半巻　冨岡　音七
先祖代々
一壱巻　本橋　万次郎
一　本橋　新蔵
八月十三日
清葉妙諦信女
一壱巻　大沢　源五右衛門
道春禅定門二月九日
半巻　同人取
先祖代々
一壱巻　大沢　長左衛門
為
先祖菩提
一弐巻　冨岡　九左衛門
外
半巻
一半巻　並木　善右衛門

一半巻　長島　又左衛門
一　藤田　杢左衛門
先祖代々
一半巻　冨岡　又六
四月朔日
道宥禅定門
一壱巻　塚田　七三郎
一銀壱匁　塚田　半右衛門
一　新井　与惣左衛門
一銀壱匁　加藤　嘉右衛門
一半巻　加藤　勘左衛門
三月廿五日
道栄禅定門
一壱巻半　同　甚右衛門
一銀壱匁　八郎左衛門
九月五日
唯阿禅定門
一壱巻　同　甚五郎
先祖代々
壱巻　同人母

一壱巻　加藤源六
○先祖代々
一壱巻　萩原弥五兵衛
一半巻　彦四郎取
一御札　多左衛門
一御札　治郎
一御札　繁蔵
一半巻　川島市郎兵衛
一半巻　（丸印朱書）○市郎右衛門
先祖菩提
一半巻　（丸印朱書）○川島源太郎
一半巻　（丸印朱書）○木引勝五郎
一半巻　（丸印朱書）○川島八郎右衛門
一壱匁　大工勝蔵
一御札　平蔵
一同　冨岡三右衛門
一　川島権太郎
一御札　藤八

十日
一　山田清兵衛
先祖代々
一壱匁　小池利左衛門
同
一弐匁　（丸印朱書）○本田弥三郎
同
一弐匁　（丸印朱書）○小池喜平治
曽真寿鏡信士
量念自鏡信女
十月廿六日
一弐巻　（丸印朱書）○上原弥右衛門
一百文　（丸印朱書）○並木佐五兵衛
先祖代々
一弐巻　（丸印朱書）○上原治兵衛
一弐匁　（丸印朱書）○山田利兵衛
百文
一銀壱匁　朝倉作兵衛取
先祖代々
一弐巻　（丸印朱書）○井之口六郎左衛門

同　　同　六三郎
一銀弐匁　　一弐匁
同　　一壱匁
一同弐匁　上原喜三郎取　　一
一　鳥飼庄八　先祖代々
一　大熊半左衛門　一壱巻
一銀壱匁　鳥飼平三郎取　一壱匁
一同壱匁　同三郎右衛門取　一
一　天野彦兵衛　一
一　鳥飼又兵衛　一
一　上原五兵衛　一弐巻
一半巻　同（丸印朱書）○久左衛門　一半巻
一壱匁　鳥飼（丸印朱書）○金右衛門
一壱匁　加藤四郎左衛門取
一壱匁　井ノ口山田（丸印朱書）○半兵衛
一　惣八郎
一御札　善四郎
先祖代々

（丸印朱書）○八三郎　山田
（丸印朱書）○喜三郎　本田　大熊
紋三郎　山田
忠兵衛
冨岡市郎兵衛
（丸印朱書）○久右衛門　五郎左衛門
山崎善九郎
清四郎　伊藤
○仁兵衛　上
○彦右衛門
（桜井晃家文書　3—61）

八　安政三年六月　上新倉村雨乞出銭高割取立帳

（表紙）

丙　安政三年
雨乞出銭高割取立帳
辰六月吉日　上新倉村
文右衛門組

（横帳）

覚

一金四両三朱
　拾〆八百九拾文
　坂下
　弁天諸入用
金弐朱ト
　拾〆六百弐文
二口〆金四両壱分壱朱ト
　此銭弐拾八〆四百六拾文
　銭弐拾壱〆四百九拾弐文
惣銭直シ〆
銭四拾九〆九百五拾六文
　千七拾石五斗割
高壱石ニ付　四拾七文割

一三百四拾七文	利兵衛
一三百十五文	惣八郎
一三十三文	作兵衛
一百十九文	佐五兵衛
弐十七文	清兵衛
八拾壱文	伝右衛門
五拾五文	七兵衛
四拾六文	市郎右衛門
八百弐拾弐文	長照寺
百拾四文	正願寺

四百七拾八文　万願寺　三拾四文　四郎左衛門
五百五拾三文　弥右衛門　四拾六文　吉兵衛
四拾四文　喜助　七拾五文　三郎右衛門
百弐十五文　藤七　三拾七文　清右衛門
弐百六文　治兵衛　三拾七文　五兵衛
弐百六文　八兵衛　拾三文　半左衛門
七拾七文　○忠兵衛　百四拾四文　宗無
六十四文　清八　四拾八文　伝八
六十弐文　子清右衛門　十七文　八三郎
弐百弐十弐文　助右衛門　三百三文　治郎右衛門
九百七拾七文　○彦兵衛　七拾弐文　兵右衛門
五拾四文　○又兵衛　弐拾六文　東林寺
喜兵衛

三百八拾壱文　金兵衛　五拾五文　孫右衛門
五百九文　庄八　七拾七文　茂左衛門
弐拾弐文　政右衛門　弐十壱文　藤助
四文　茂平治　五拾弐文　利右衛門
百五拾七文　平四郎　十七文　勝五郎
弐十七文　八左衛門　十三文　△伝五右衛門
弐十文　平助　三十九文　三之助
三百三拾弐文　平十郎　七拾八文　与右衛門
四十八文　伝内　六拾六文　嘉右衛門
八拾壱文　佐治兵衛　七拾九文　弥平治
八文　彦四郎　五拾文　久太郎
十七文　伝兵衛　十三文　新右衛門

六拾文　清兵衛　四文　与市
三十八文　源左衛門　三百三拾七文　嘉兵衛
弐十七文　門四郎　十七文　浅右衛門
弐十壱文　兵左衛門　十五文　林右衛門
六百四文　喜平治　弐百十四文　辰五郎
五百四拾八文　藤右衛門　三拾七文　喜左衛門
四文　文治郎　弐十壱文　与兵衛
八十壱文　取　△喜右衛門　八十文　市郎右衛門
五十文　兵四郎　弐十壱文　弥兵衛
三文　茂右衛門　四拾九文　勘右衛門
弐十四文　長助　三十七文　弥治右衛門
弐十五文　帳左衛門　六十文　長吉

弐拾九文	佐平治	九拾壱文
弐百弐十弐文	七郎右衛門	弐拾三文
弐十弐文	助三郎	弐百四拾七文
五拾八文	弥五兵衛	九拾五文
四拾三文	源太郎	三拾六文
三拾壱文	惣右衛門	百九拾四文
弐十壱文	仁左衛門	十壱文
六文	作右衛門	百五拾八文
弐百四拾九文	佐左衛門	四文
百九拾文	重蔵	四文
七拾七文	東林寺	三十弐文
拾六文	伝右衛門	弐十四文

文八	庄五郎	五左衛門
長兵衛	源六	甚五郎
佐太郎	長左衛門	七左衛門
又左衛門	留五郎	権右衛門

百文　善太郎　三十四文　惣吉
三百拾九文　○惣五郎　七拾五文　喜右衛門
弐拾四文　九左衛門　八拾文　初五郎
百弐拾八文　平左衛門　四拾四文　仙吉
百三拾文　平治郎　弐百六拾弐文　新左衛門
四文　治左衛門　三十七文　藤五郎
五文　藤左衛門（下）　拾弐文　勘兵衛
七拾文　平右衛門（う）　六拾弐文　勘治郎
弐百七拾四文　繁右衛門（白子）　六拾弐文　嘉兵衛
百四文　清五郎（大の）　百拾四文　治郎兵衛
四拾五文　藤八　四拾五文　萩右衛門
三十弐文　儀右衛門　百弐拾三文　善兵衛

四拾七文　千之助　弐十文　門三郎
五拾六文　平兵衛　百弐拾八文　小三郎
弐百弐拾八文　庄左衛門　八拾三文　善四郎
七拾弐文　半六　弐拾八文　藤八
五十七文　勝右衛門　三百拾九文　弥左衛門
百三拾五文　新吉　壱〆弐拾九文内百文　六左衛門真木代引
百弐十七文　利左衛門　七拾五文　半兵衛
百六拾五文　喜平治　弐百三拾文　六郎左衛門
八拾四文　嘉吉　三十文　吉三郎
三拾四文　善太郎　五拾八文　六郎兵衛
弐百七拾四文　五郎右衛門　百拾弐文　〇六三郎
弐百拾八文　弥三郎　百六文　庄兵衛

弐十壱文　市左衛門　十七文　安五郎
弐拾弐文　庄五郎　弐十三文　庄八
五拾九文　村持　三拾六文　下権右衛門
四拾四文　久兵衛　壱〆弐百弐拾壱文　彦右衛門
五拾文　市蔵　弐百五拾三文　清左衛門
六拾三文　源八　百九拾三文　清吉
百四拾三文　伊之松　五拾壱文　権右衛門
五拾四文　平右衛門　三拾六文　伊三郎
四百十七文　茂兵衛　四拾五文　伊右衛門
五百七拾五文　織右衛門　弐拾三文　与助
百文〇　伊左衛門　七拾八文　与惣兵衛
十四文　伊之助　三拾壱文　音五郎

九文　仁右衛門　壱文　清平　四三六

三拾五文　市三郎　四十六文　勘三郎

百三文　市之助　弐百三拾弐文　権兵衛

八文　市平　三百七拾弐文　小左衛門

百三拾四文　三治郎　九文　新右衛門

七拾三文　利助　四十六文　新五兵衛

四拾七文　庄右衛門　三拾七文　金左衛門

弐十文　○市郎右衛門　百七文　門左衛門

五十壱文　長右衛門　三文　門右衛門

十三文　長左衛門　三十三文　権十郎

三十四文　長九郎　百十七文　和助

弐百弐十文　佐右衛門　三百弐文　市左衛門

百四文　弁蔵
弐百七拾弐文　善左衛門
三十六文　権左衛門
三十六文　伊助
八文　九郎右衛門
七文　又八

覚
辰六月十九日　□高覚
一金壱両三分弐朱ト　利兵衛
五〆三百七拾弐文　兵右衛門取立
外金壱分　彦右衛門分
内壱〆八百文出分　白子・下新倉大の
同　仲次郎取立
一金三朱
壱〆七百三拾五文

覚
七文　又八
百拾六文　宗無
百四拾四文　伝八
弐百七拾四文　白子繁右衛門
四百拾七文　同茂兵衛

百三拾文　同　平治郎
五百七拾五文　同　織右衛門
□四文　下谷戸　権右衛門
□文　大の　清五郎
□文　同　藤八

（欠）
□　□兵衛十三
□　嘉兵衛六
百拾四文　同　治郎兵衛九
四拾五文　堂満　荻右衛門
百弐拾三文　美女木　善兵衛七
四拾七文　大の　千之助十
五拾六文　夏はま　平兵衛
六拾弐文　（大の　勘治郎十三）

十九日
〆金三朱ト
壱〆七百三拾五文

（裏表紙）
安政三辰六月十五日
雨乞ニ付出銭割帳
弁天地共（池カ）　文右衛門組

（桜井　晃家文書　7—226）

八九　安政四年三月　上新倉村東林寺萱替修復入用覚帳

（表紙）
安政四年
東林寺萱替修復入用覚帳
巳ノ三月　上新倉村　東林寺
（横帳）

覚

十月一日　本寺ノ米
一百文　昼用
十一月三日　本寺届ケ
一弐百文　昼入用
十月廿七日　村役人相談
一四百文　神酒
廿七日　豆腐
一四十文　同
一十六文　紙代

一廿四文　上ぞうり
霜月六日
一金壱分也　本寺菓子料
一三百文　取次料
十一日
一四百文　吉之助ゟ入札神酒
一百文　十一日　ろふそく生油
一弐百文　十一日　安五郎酒代
一弐百文　十一日　仁三郎酒代
一弐百文　十一日　浅吉酒代
一六十文　十一日　豆腐
一四百文　十四日　木切神酒
一四百文　十二月一日　普請始神酒
一四百文　同終り神酒
一四百文　廿九日　薬師如来直し神酒
一百文　廿九日
一弐百文　日雇銭
メ金壱分ト弐メ四百文　重蔵出金分
一金八両也　普請手間
一三百七拾弐文　かすがへ
一金六両弐分也　大工手間
一金四両ト四メ百文　直竹代
一金弐朱　民五郎縄代
一金壱分弐朱ト五百八十四文　勝蔵縄代
一金壱分也　喜三郎直竹代
一金壱分也　庄蔵同代
一四百文　縄代
一金壱分也　浅吉木挽手間
一金壱分弐朱　木切手間
二口メ金廿四両弐分弐朱ト銭三メ百十文
卯極月迄払方
辰二月五日
一百五十六文　釘弐把
三月二日
一三十六文　釘三十本
同　かへぬり神酒
一三百文

一弐百文　わら代
一八百文　土付
四月八日　駄賃
一金弐朱也　薬師
法楽料
〆金弐朱ト
壱〆四百九十弐文
二口〆金壱分弐朱ト
三〆八百九十弐文　重蔵出金分
三口〆金廿四両三分ト
四貫六百六文

覚

一金壱両弐分　直竹
辰霜月廿五日　拾五束
廿五日
一金壱分弐朱　内間木村
廿九日　助太郎
一弐百文　舟賃
極月三日
一金壱分　同　徳左衛門
一三十弐文　紙壱丈
七日　萱代
一金壱分ト　弐百文　庄蔵
七日
一金壱分弐朱　萱代
吉之助

八日
一弐百三十弐文　萱刈賃
一金壱両三分　杉皮
巳ノ三月八日　原源蔵
一金三分弐朱　縄八十房
十日　源太郎
一五百文　同四十房
十日
一弐百四十八文　茂七払
十一日　兵左衛門
一金弐朱ト　竹代
弐百文
十二日
一三百六十八文　竹縄
杉皮
原伊助
一金弐朱　縄代
十三日　勝蔵
一六百九十壱文　萱代金
十四日　弥右衛門
一金壱両也　内間木村
十四日
一三百文　舟賃
十四日　坂下
一五百文　縄藤八
代
十六日　酒壱樽
一金三分也　豆腐
一四十八文　蕨宿
買物
一八百五十六文　火づみ
三袋
一百六十文

一金壱分壱朱ト　弐〆七十三文　平次郎
一百四十四文　あさ
一三百六十文　なし
一六十四文　くねんぼう
一百　文　豆腐や
一三百三十三文　すみりん
一百　文　はし
一壱〆九百四十八文　くづ
一壱〆六百六十四文　唐がらし
一壱〆八百文　棟上ヶ銭
一弐〆文　村　番
一壱〆百文　縄
一金壱分壱朱　弐百八十六房
一壱〆八百文　わら
一弐〆文　五百六十壱
一金壱分壱朱　麦から
一金弐朱ト　四〆百三十弐文　割代
一弐百五十文　三斗
白　米
壱斗
志村入用
そん料
吉之助
払
豆腐や

一辰年分金壱分ト　四百文　挽手間
一辰年分金弐分也　権蔵払
一辰年分金弐朱　大工手間
一辰年分九百文　原鉄五郎
一金三分也　屋根葺
一金壱分ト　弐百文　音五郎
一金壱分弐朱ト　三百文　麦から
一金弐分弐朱　六兵衛
一金五両壱分弐朱　萱代
一金壱両弐分　喜右衛門
一金三分也　萱代
一金弐分壱朱　嘉兵衛
一金弐分也　萱代
一金壱分ト　四百文　利兵衛
土方手間
初兵衛
屋根葺
手間
直竹代
武左衛門
萱代
彦兵衛
萱
新蔵
護摩料
屋根葺
祝儀
野菜料

一金壱分也　萱重蔵代分
一弐百五十六文　こんにやく猪五郎
一八十文　紙代
一百八十文　麦から付□栄次郎
一六十文　駄賃付□
一百五十文　庄八あしば木かへし
一百廿四文　日雇銭
一弐百八十八文　扇子九本代くまで弐本
〆金廿両三分ト銭三拾三〆九百四文
一金廿七両壱分弐朱　杉代金
一金拾弐両壱〆五百廿四文　真木山代
一金弐両三朱　裏山
一金三分也　末木代金
一金壱両弐分也　利金
一金三両壱分三朱ト弐百文　直竹払金

〆金四拾七両弐分ト銭百文
去卯十一月ゟ辰四月迄払
金廿四両三分ト銭四〆六百六文
辰霜月ゟ巳ノ二月迄払
金廿両三分ト銭三拾三〆九百四文
二口〆金四拾五両弐分ト銭三拾八貫五百十文
此金五拾壱両壱分弐朱ト銭百七文
惣差引
金三両三分弐朱ト七文　不足

（桜井　晃家文書　4—73）

九〇　安政五年八月　上新倉村大般若入用帳

（表紙）
安政五年
大般若入用帳
午八月吉日
（横帳）

おぼえ
□□分
内三分文右衛門江相渡
一金壱両也　寺方　七人
一金弐分也　寺諸引代
一金弐朱也　札紙代
一十四文　〆印　水引
一三拾五文　〆印　のり入七枚
一弐百文　万五郎内　菓子
一六拾四文　文右衛門払　ろうそく
一弐拾八文　同人払　紙壱丈
一弐拾四文　同人払　竹ぼうき壱本
一金弐朱也　同人払　〇菓子代

内壱朱□文右衛門江□□
一百文

おぼえ
一三升　外壱升□□代　代八百文
一三升酒　代七百文
一三升酒　代七百文
一三升酒　代七百文
一三升酒　代七百文
一三升酒　代七百文
一三升酒　代七百四拾八文
一三升酒　代六百四拾八文
一三升酒　代七百文
酒代
惣〆銭五貫文

喜右衛門
小割直木弐把
喜右衛門
勘兵衛
仁三郎
万五郎
安五郎
市吾郎
武左衛門

（裏表紙）
長場
村役人中

（桜井　晃家文書　10—274）

九一　文久三年九月　上新倉村神門石挾幟寄進連名帳

（表紙）
文久三癸亥年
神門石挾幟寄進連名帳
九月日　上新倉村中　世話人衆中
（横帳）

覚

一金五両　（朱書）〔六〕藤右衛門
一弐百文　〔六〕七郎左衛門
一金壱両　〔六〕弥次右衛門
一弐百文　〔久〕元右衛門
一弐百文　〔六〕喜三郎
一金三分　〔六〕兵四郎
一金壱朱
一金弐朱
一金壱両弐分
一金弐朱
一金壱分
一金弐朱
一金弐朱
一金弐朱
一金三分
一金弐両「弐分引」
　金壱両弐分
一金弐朱
一金壱朱ト弐百文
一三百文
一金三分
一金五両
一金弐朱

〔六〕長右衛門
〔六〕長太郎
〔六〕太兵衛
〔六〕孫右衛門
〔六〕善兵衛
〔六〕与市
〔久〕茂右衛門
〔文〕喜兵衛
〔久〕儀右衛門
〔久〕長左衛門〔兵衛〕
〔久〕嘉兵衛
〔久〕浅右衛門
〔久〕林右衛門
〃　彦左衛門
〔六〕兵左衛門
〔久〕喜平次
〔久〕七左衛門〔郎右衛門〕

一金壱両
一金弐朱
一金壱分
一金壱両壱分
一金壱分
一金壱両
一金壱分弐朱
一弐百文
一金壱朱
一金弐朱
一金壱分
一弐百文
一金壱朱
「金壱朱分ト有」
一金三分
一金弐朱
一金弐分
一金弐朱

[久]喜右衛門
[久]与兵衛
[久]九郎左衛門
[文]金兵衛
[久]金左衛門
[九]勘右衛門
[久]金之丞
[久]茂兵衛
[久]門四郎
[久]勘兵衛
[久]伊平次
[久]新右衛門
[ヒ]太郎右衛門
[ヒ]八郎兵衛
[ヒ]平右衛門
[半]嘉吉
[半]五郎右衛門
[半]善太郎

一金壱分
一金壱分 末ニ有
一金壱分
一金弐朱
一金壱両
一金壱分弐朱
一金壱朱
一金壱朱
一金壱分弐朱
一弐百文
一金壱朱
一金壱朱
一金壱両
一弐百文
一金弐両
一金壱分弐朱
一金弐朱
一弐百文

[利]八兵衛
組頭 半六
[ヒ]文道
[半]小三郎
[利]藤七
[ヒ]庄兵衛
[ヒ]庄五郎
[利]清右衛門
[半]庄左衛門
[半]勝右衛門 [五郎]
[ヒ]太右衛門 [兵衛殿]
[利]清八
[利]弥左衛門 [右]
[半]藤八
[半]六左衛門
[利]惣八郎
[半]半兵衛
[半]善四郎

一金壱朱　[半]新吉　一金弐朱　[半]利左衛門
一弐百文　[ヒ]四郎左衛門　一金弐朱　[半]喜平次
一弐百文　[ヒ]九蔵　一弐百文　[利]市郎右衛門
一弐百文　[ヒ]金右衛門　一金壱両　武左衛門
一金壱朱　[ヒ]久左衛門　一金壱朱　[利]喜助
一金壱朱　[ヒ]半左衛門　一弐百文　[利]伝右衛門
一金弐朱　[ヒ]庄八　一弐百文　[利]七兵衛
一金弐朱　[ヒ]三郎右衛門　一金三朱　[ヒ]治郎右衛門
一金壱両　[ヒ]平三郎　一金壱両　[ヒ]助右衛門
一金壱両　[ヒ]五兵衛　一弐百文　[ヒ]清五郎
一金弐朱　[ヒ]又兵衛　一金弐朱　[ヒ]八三郎
一金壱朱　[半]六三郎　一金弐朱　[ヒ]久兵衛
一金壱両　[半]六郎左衛門　一弐百文　[ヒ]喜三郎
一金三朱　[半]吉三郎　一弐百文　[半]門三郎
一金壱朱　[利]作兵衛　一金壱分弐朱　[半]弥三郎
一金弐分　[利]治兵衛　一弐百文　[ヒ]清四郎
一金弐朱　[利]佐五兵衛　一金壱分　[ヒ]善九郎
一弐百文　[利]清兵衛　一金壱分　[ヒ][平右衛門]五郎左衛門

一金三分　[ヒ]市郎兵衛　一金壱分　[文]吉之助
一金弐朱　[ヒ]久右衛門　一弐百文　[文]彦四郎
一金弐朱　[十]市郎右衛門　一弐百文　[文]藤助
[弐朱]一弐百文　[十]市兵衛　一金壱朱　[文]茂左衛門
一金弐朱　[十]源太郎　一弐百文「末ニ出サヅ」　[太組頭]太左衛門
一弐百文　[十]惣右衛門　一金弐朱　[文]佐治兵衛
一金壱分弐朱　[太][兵衛]弥五左衛門　一金壱両壱分　[文]平重郎
一金壱分　[十]利右衛門　一金五両　[太][忠]七右衛門
一金壱朱　[文]伝兵衛　一金三分　[久]佐平次
一弐百文　[半]勝五郎　一金三両　[六]仁兵衛
一　三郎兵衛　一金壱朱　[文]三之助
たまごや
一金壱分弐朱　平蔵事　一金弐朱　[六]仁左衛門
一金弐分　[九]三右衛門　一金壱分　[文]兵右衛門
一金弐分　[十]権太郎　一金壱朱　半右衛門
一弐百文　[十]藤八　一金弐朱　[久]与兵衛
一金三朱　[九]八郎左衛門　一金弐朱　[久][長五郎]助三郎
一金三朱　[九][左]六右衛門　一弐百文　[文]平助
一金壱分弐朱　[九]五左衛門　一金弐分　[文]庄八

一弐百文　[文]茂平次　一金壱朱　[九]七左衛門
一弐百文　[文]政右衛門　一金壱朱　[九]杢左衛門
一弐百文　[文]平四郎　一金壱朱　[九]又六
一金壱朱　[六]伝五郎　一金壱分　[九]半右衛門
一金壱分弐朱　[六]忠左衛門　一金三朱　[九]七三郎
一金弐朱　[十]伝右衛門　一金壱両弐分　[九]惣五郎
一金壱両　[九]源六　一金壱両也　[文]新蔵
一金壱両弐分　[九]甚五郎　一金弐分弐朱　[九]善太郎
一金壱両弐朱　[九]甚右衛門　一金壱朱　[九]権左衛門
一金壱朱　[九]勘左衛門　一弐百文　[九]平十郎
一弐百文　[文]嘉右衛門　一金壱朱　[九]平左衛門
一金壱朱　[九]与惣左衛門　一金弐朱　[彦]清吉
一弐百文　[九]佐太郎　一金弐朱　[彦]清右衛門
一金弐分弐朱有　[九]治郎右衛門　一金壱分　[彦]喜平次
一金壱分弐朱　[九]善右衛門　一金壱分　三朱ニ成　[彦]音五郎
一金壱朱　[九]留五郎　一金弐分　[彦]利助
一金壱朱　[九]又左衛門　一金壱朱　[彦]与惣兵衛
一弐百文　[九]長兵衛　一金弐朱　[彦]市之助

一金壱朱　　[彦]市三郎
一金弐両　　[彦]清左衛門
一金壱朱　　[彦]新蔵
一金弐朱　　[彦]三次郎
一金壱朱　　[彦]市郎左衛門
一金壱朱ト弐百文　　[彦]庄右衛門
一金壱朱　　[彦]長左衛門
一金弐朱　　[彦]長九郎
一金壱分　　[彦]九郎右衛門
一金壱朱　　[彦]佐右衛門
一金壱分　　[彦]権兵衛
一金壱朱　　[彦]新五兵衛
一金壱朱　　[彦]金左衛門
一金壱両弐分　　[彦]小左衛門
一金弐朱　　[彦]門左衛門
一金弐朱　　[彦]和吉[助]
内弐百拾弐文引　　[彦]権十郎
一金壱朱　　[彦]市右[左]衛門
一金三分

一金弐朱　　[彦]弁蔵
一金弐朱　　[彦]伊助
一金弐分弐朱　　[彦]善左衛門
一金壱朱ト弐百文　　[彦]権左衛門
一金壱朱ト弐百文　　[彦]勘三郎
一金壱分　　[半]半六
一金壱両也　　[利]利兵衛
一金五両　　[彦]彦右衛門
一金壱両弐分　　[九]九左衛門
一金壱両　　[十]重蔵
一金壱両　　[六]六兵衛
一金五両　　[ヒ印]彦兵衛
一金五両　　[文]文右衛門
一金五両　　[久]久太郎
両組百九拾軒分
〆金九拾弐両弐分ト七〆八百八十四文
「文右衛門組」　十九
「〆金九両三分三朱ト壱〆四百文」

「利兵衛組」　十五
「〆金四両弐分ト八百文」
「半六組」　二十
「〆金六両弐分一朱ト八百文」
「彦右衛門組」　三十一
「〆金拾三両壱分一朱ト八百文」
内弐朱ト弐百拾弐文引
文右衛門組惣〆八十五軒
〆金三拾四両三朱ト三貫五百八十四文
「久太郎組」　二十
「〆金拾五両三朱ト壱〆百文」
「六兵衛組」　十七
「〆金拾四両弐朱ト六百文」
「重蔵組」　九
「〆金弐両弐分一朱ト弐百文」
「太左衛門組」　三
「〆金五両壱分弐朱ト弐百文」
「九左衛門組」　二十七
「〆金拾両三分ト八百文」

「彦兵衛組[illegible]ヒト有」　二十九
「〆金拾両壱分一朱ト壱〆四百文」
久太郎組〆百五軒
〆金五拾八両壱分壱朱ト四〆三百文

（星野　茂家文書　21—14）

九二　天保五年二月　下新倉村金泉寺転位入用割付帳

（表紙）
天保五午年二月吉日
金泉寺転位入用割付帳
世話人　勘左衛門
（横帳）

一七十弐文　勘左衛門
一四十八文　寅吉
一百五十文　重五郎
一百六十四文　兵左衛門
一百三十弐文　権四郎
一百五十八文

一三十弐文　清五郎
一七十弐文　□りわき　彦五郎
一三十弐文　半五郎
一百四十八文　藤蔵
一百四十八文　伝五郎
一三十弐文　万蔵
文吉

〆壱〆四十八文

（石田栄一家文書　34—202）

231 安政三年六月　下新倉村雨乞御祈祷諸入用割合出銭帳

（表紙）
安政三辰年　下新倉村中
雨乞御祈祷諸入用割合出銭帳
六月十五日晴暑夕八ッ半時雨降
（横帳）

御布施
一百疋　金泉寺様
外ニ五拾疋　頭司料

一同百疋　一鑑寺様
一同百疋　東明寺様
一同百疋　妙典寺様
一同壱朱　金泉寺納所江
一青銅三拾疋　同寺小僧江
一五拾疋　金泉寺江備道具料
〆金壱両一分一朱ト三百文
外一弐百文　長照寺様留守ニ付

長嶋払

一金三両也　酒壱樽
一六百文　直し弐升
一弐百廿六文　酒代
一百八十文　みの紙
一六拾四文　ろうそく
一八文　せんこう
一百文　こんぶ
〆金三分ト壱〆百八十文

一六十文　粂五郎江払　備青物代
一六十文　文五郎江払　茶かし
一八十文　紋次郎江払　茄子代
一拾弐文　与市江払　はし一袋
一六文　仁助江　縄代
一六拾四文　中ノ八五郎江払　ろうそく弐丁
一弐百文　宮ノ新次郎江払　竹八本代
〆　同　徳次郎　酒壱斗五升代
一壱〆文　善蔵江払　酒五升代
一金壱分三朱　代次郎江払　酒半樽
一百六十四文　味林酒代
一百四十八文　醤油代
一拾弐文　す代
〆　てんま代
一三百文　問屋伝五右衛門新太郎　右三軒江　三船代
〆
一三百文　浅久保久蔵　御礼ニ付
同　嘉右衛門　包紙　水引代
一三百拾弐文　芝ノ問屋江　茶代
一百文　芝ノ新太郎江　うすへり損料　三枚
一金弐朱也　次太夫様より出ス寺院方弁当料
惣　御供物料
〆　金弐両弐分弐朱ト　七〆弐百拾八文　金泉寺様江
外　一金弐朱也　御酒壱升
一三百文　月番中江進上
一七拾弐文　皆合

金弐両三分ト
七〆五百九十文
為金
三両三分弐朱ト
百六十六文
此永三〆九百文弐分
是ヲ四ッ割
壱口ニ付壱組分
永九百七拾五文壱分
壱組ニ付
一永壱〆六十三文七分　本村　西口
一永壱〆六十三文七分　谷戸　仲新田　仏ノ木
一永壱〆六十三文七分　浅久保
一永七百九文弐分　吹上

（石田栄一家文書　34—223）

四四　安政四年一一月　下新倉村一万度御払毎年覚帳

（表紙）
安政四巳年霜月晦日より改之
一万度御払毎年覚帳
御師　荒木田神主益谷太夫殿
（横帳）

初メ

寅年ゟ
一〇〇〇申寅　忠五郎
卯年ゟ
一〇〇〇酉卯　富五郎
辰年ゟ
一〇〇〇戌辰　米五郎
巳年ゟ
一〇〇亥年入
〇巳年入　万蔵
午年ゟ
一〇〇子年入
〇午年入　綱五郎
未年ゟ
一〇〇　伊兵衛

一青銅弐拾疋　御初穂
慶応元丑年より諸色高直ニ付
御初穂之儀増銭ニ相成
一青銅三拾疋ニ相成申候、已上
右者御払御出の節年番々へ送り可申事
其節払行候方より御初穂御集メ、世ハ人江持参可被
成事
右者御払参り候内より三百文差出し、右之集メ候を
壱軒々々差上申候事御座候
諸品高直ニ付
明治二巳年改
御初穂金壱朱也差上申候

（裏表紙）
世話人　伊兵衛
大々御神楽講中
六人

（石田栄一家文書　34—205）

空　文久三年二月　下新倉村御嶽山代参講中連名帳

（表紙）
癸　文久三年
御嶽山代参講中連名帳
亥　二月吉日
（横帳）

一戌年代参　伊兵衛
一　秀五郎
一巳年代参　利兵衛
一慶応元年
丑三月参詣　沢五郎
一申年代参　万蔵
一明治四未とし
参詣　綱五郎
一明治八年
亥代参詣　米吉
一卯□　留五郎
一　由五郎
一文久三亥
二月参詣　幸吉

一明治十二卯年代参　兼吉
一明治十年参詣　銀蔵
一慶応元年丑三月参詣　粂五郎
一戌年代参　岩五郎
一寅年参詣　繁次郎
一文久三亥二月参詣　平助
一寅年参詣　幸次郎
一明治八年亥参詣　勝五郎
一子年参詣　丞之助
一子年参詣　佐七
一明治四未とし参詣　藤五郎
卯年代参ノ　下り武七
一明治十年代参　勘五郎
一酉年代参　長吉
七郎右衛門

一明治十年代参　嘉右衛門
一酉年代参　金五郎
一巳年代参　定五郎
一辰春代参　万五郎
一辰春代参　忠五郎
一申年代参　民五郎
一明治十二卯年代参　伝右衛門
一除キ　大島之長五郎
一卯壱人済　武七分勘九郎
メ卅壱人内壱人ハ除キ
講銭仕成覚
一百四十八文ッヽ　但シ壱人前
メ三拾人分
銭四メ五百文六七切内金弐分也
坊入札料
御狗御飯米
代御請金共

内壱〆百四十八文　代参弐人江相渡可申候

〆三拾弐人之処

長五郎壱人　相除

同〆三拾壱人

六〆弐百文　集

布弐百文　不足　長吉

同　弐百文　幸太郎

同　弐百文　平助

一　弐百文　藤吉

一　弐百文　廿四文　幸吉

一　廿四文　銀蔵

一　廿四文　寅次郎

〆八百七拾弐文　不足也

内　壱分壱朱ト三壱〆廿文

内弐百文　集人
神酒料　弐人江

同〆弐分ト

弐〆四百文　渡ス

覚

一拾弐〆弐百文

内金弐分

〆　六〆弐百文相渡

覚

惣集銭

一金弐分

七〆五百文

申年代参

右相渡

覚

惣集

一拾貫五百四拾文

金弐分也　札料坊入

金壱朱　茶代

戌年分

惣集
坊入

壱軒ニ付

四百四十五文

仙太郎殿ゟ受取

（元太郎殿
勇太郎殿）

（金五郎
紋右衛門）

一拾貫五百四十文　紋右衛門殿受取

戌年代参　あら伊兵衛代庄蔵入健次郎

右集金之内■金弐分坊入札料
金壱朱■茶代
〆

記

一亥年分　新ヶ谷戸ノ庄蔵ゟ健次郎ゟ受取

一拾貫八百四十五文

四月三日

一金五十弐銭弐厘　嘉右衛門仙之介両人ゟ受取

丑年分講金

四月六日　嘉右衛門与之助両人相渡ス

四月三日

一拾貫八百五十文　（嘉右衛門銀蔵）

右両人ゟ受取

（裏表紙）

世話人　講元秀五郎　伊兵衛

（石田栄一家文書　34—207）

六六　宝永三年三月　白子村寄進証文

寄進仕申田手形之事

一市場ノ下ニ而上田壱反四畝拾六歩之所、此度熊野権現様へ地福寺様・組頭衆相談ニ而寄進仕申候、尤御年貢等相済、其上御役銭御出し被成候而茂御勝手ニも能可有御座と存、寄進仕申所実正也、若上田ニ而御座候ニ付、未々ニ而御役等茂めいわくニも思召、又勝手ニ茂悪敷御座候へハ何年過申候而何時ニよらす御返し可被成候、我等方へ請取可申候、此儀地福寺様・組頭衆ニも相談ニ而、御氏神様ニも御座候

間、御供免ニ寄進仕申候様ニと御座候ニ付進申候上ハ、我等方ゟ重而少も申分無御座候、為後日仍而証文如件

宝永三年　　太郎兵衛
戌三月十九日　　地福寺
伝兵衛
伝左衛門
吉左衛門
三左衛門
源六

不動院

（冨澤泰次家文書　122―427）

手形之事

一市場ノ下ニ而上田壱反四畝十六歩之所、此度熊野権現へ御供免ニ御付可被成之由、我等儀も忝存候、然共若末々ニ而、御役等もめいわくニも御座候ハヽ、何年過何時成共、貴殿方へ返シ可申候之由尤存候、御供免ニ御付被成候ハ勝手ニも可罷成と思召御付被成候段忝存候、尤御年貢相済、其上役銭出シ申候とも勝手ニ茂御座候間、地福寺我等惣組頭衆ニも相談之上御供免ニ御付右之田儘ニ請取置申候、依之貴殿方ゟも右之田御付被成候故ハ末々迄も御かまい被成間敷候、若末々ニて茂出入等も御座候ハヽ、判形之者立合能様ニ相済可申候、為後日仍而証文如件

宝永三年　　不動院㊞
戌ノ三月十九日　　証人　地福寺㊞
同断　組頭　伝兵衛㊞
同断　同　伝左衛門㊞
同断　同　吉左衛門㊞
同断　同　三左衛門㊞
同断　同　源六㊞

太郎兵衛殿

（冨澤泰次家文書　122―425）

九七　享保三年二月　白子村万正寺書上

指上申一札之事

一寺　竪五間・横三間

一本尊阿弥陀立像、丈壱尺五寸
御水帳乗不申候

一寺敷壱反余　但シ此内山畑有　除地
御水帳乗不申候

一山壱反歩余　除地

右弐ヶ処、此度寺敷山畑委細相改書上ヶ候之様ニ被仰渡候ニ付、如此相改申候

一中田弐拾歩　年貢地

一下田弐拾四歩　同　断

一下田拾五歩　同　断

一下田壱反六畝弐歩　同　断

一下畑四畝弐拾四歩　同　断

一下畑三畝弐拾七歩　同　断

一下々畑壱反弐拾歩　同　断

右之通相違無御座候、仍如件

享保三年戌二月　　地福寺寺中　万正寺㊞

一今度上野御執当様ゟ、地福寺様江被仰渡候趣者右境内書之通、御改御書上ヶニ付而書上ヶ之通、承知仕申候事

一御年貢地田畑帳面引合セ少茂相違無御座候、以上

戌二月

組頭　吉左衛門㊞
同　又　市㊞
同　勘左衛門㊞
同　藤　兵衛㊞
同　四郎兵衛㊞
同　治　兵衛㊞
同　弥　兵衛㊞
同　善　兵衛㊞
同　定右衛門㊞
名主　源　兵衛㊞
勘　兵衛㊞

（冨澤泰次家文書　122―434）

九八　享保三年二月　白子村観音寺書上

指上申一札之事

一　観音堂三間四方
　聖観音座像、丈壱尺
一　薬師堂弐間四方
　薬師立像、丈壱尺四寸
一　寺　竪五間　横四間　台所　竪四間　横三間
一　本尊阿弥陀座像、丈壱尺五寸
一　御水帳乗り不申候堂寺敷七反歩　但シ此内畑山有　除地
　右者此度寺敷畑山等ニ至迄、委細相改書上ヶ候之様被仰渡候ニ付、如此相改申候
一下々畑壱反三畝歩　年貢地
一下々野七畝歩　同　断
一下畑八畝弐拾九歩　伊賀衆知行所　同　断
　右之通相違無御座候、仍如件

享保三年戌二月　地福寺門徒　観音寺㊞

一今度上野御執当様ゟ地福寺様江被仰渡候趣者右境内書之通、御改御書上ヶニ付、御書上ヶ之通承知仕申候事

一御年貢地田畑帳面引合セ少茂相違無御座候、以上

戌二月　組頭　吉左衛門㊞
同　又　市㊞
同　勘左衛門㊞
同　藤兵衛㊞
同　四郎兵衛㊞
同　治兵衛㊞
同　弥兵衛㊞
同　善兵衛㊞
同　定右衛門㊞
同　源兵衛㊞
名主　勘兵衛㊞

（冨澤泰次家文書　122―435）

九九　享保三年二月　白子村久城寺書上

指上申一札之事

一寺　竪四間・横弐間半　台所竪五間・横弐間

一本尊出山釈迦立像、丈三尺

一大日座像、丈壱尺五寸

一氷川明神　壱社　竪五尺・横四尺

一稲荷　壱ヶ所

一三反三畝廿六歩　除地

一中田壱畝歩　年貢地

一下田弐畝八歩　同断

一下田弐畝弐拾九歩　同断

一下畑拾四歩　同断

一下畑五畝弐拾六歩　同断

一下畑九畝弐拾四歩　同断

右之通相違無御座候、仍如件

享保三年戌二月　地福寺寺中　久城寺㊞

一此度上野御執当様ゟ地福寺様江被仰渡候趣者右境内書通、御改御書上ヶニ付、御書上ヶ之通承知仕申候事

一御年貢地田畑帳面引合ヶ少も相違無御座候、以上

戌二月　組頭　吉左衛門㊞

同　又　市㊞

同　勘左衛門㊞

同　藤兵衛㊞

同　四郎兵衛㊞

同　治兵衛㊞

同　弥兵衛㊞

同　善兵衛㊞

同　定右衛門㊞

同　源兵衛㊞

名主　勘兵衛㊞

（冨澤泰次家文書　122―436）

100　寛保元年一〇月　白子村地福寺相続に付覚

寛保元年酉九月廿一日、地福寺被致死去候ニ付、上野御役者御月番竜王院様并円覚院様、田畑反歩・寺間数并寺中門中之名、委細書付組頭之内弥兵衛・定右衛門両人くじどりニ而右書付持参仕、同月廿八日ニ御月番竜王院様へ罷出候処、中院ゟ添□（簡カ）無之候而ハ難取上由ニ而、書付御返シ被遊候、依之同廿九日早朝ニ勘兵衛・□右衛門・孫右衛門・源七四人罷出、御院代江申上候、地福寺儀ハ古末故先格ゟ御添簡なしニ御披露（御披露ニ）申上来り候由申上候得者、達而本寺之添簡無之候而ハ難取上由被仰候処、此方ゟ申上候ハ、中院様御弟子地福寺ともらいニ廿三日ニ御越被成、ともらい相済其上ニ而添簡之儀被仰候得共、地福寺儀者先格ゟ無添簡御披露申上来り候由、御弟子方へ申入候而廿八日ニ御披露ニ罷上り候段申上候、殊ニ八年以前享保十九年寅九月廿八日ニ□地福寺被致死去候ニ付、同十月無添簡御披露（十月中）ニ罷出候、又候弐拾年以前卯五月廿日ニ、先不動院被致死去候時も、無添簡早速御披露申上候、両寺共ニ添簡なしニ、御役者御月番覚王院様并願王院様江、書付持参仕御披露申上候所、中院様御添簡之儀、段々御吟味被遊候処、先格ゟ両寺共ニ無添簡御披露申上来り候へ者、□方ニ添簡之儀、難被仰付□□□御吟味相済書付御取上ヶ被遊候、然上者御記録ヲ茂御吟味被遊、とかく先格之通り、御添簡なしニ書付御取上ヶ可被下由竜王院様御院代江右之訳ヶ共、朝四ッ半時罷出申上候へ者、今七ッ時ニ可罷出由被仰候ニ付又候七ッ半時罷出候、其節も添簡之儀被仰候ニ付、地福寺・不動院両寺共ニ古末ニ而御座候得者格式も能御座候故、旦方共も先々ゟ相守候、又ハ両院被致候住寺方も小寺ニ者御座候得共、格式も能御座候由ニ而、情ヲ御懸寺相続被致候処ニ、添簡之儀、新方ニ被仰候へ而ハ旦方・住寺方共□格式も相下り候得者、寺相続も不情ニ罷成候、此段地福寺五代・不動院五代住寺替り之節、無添簡段々御披露致来り候、五代ゟ前先年之儀者□無添簡御披露仕申上候へ者、新方ニ被仰付候添簡之儀御請難申上（被為御聞相分先々之通り被仰付可被下候申上候）

由申上候、旦方之儀ニ御座候得者死去之砌□□□(什物カ)火之用心、諸色紛失無之様ニ番所ヲ付置、通り御伝馬并御鷹御用、其外御年貢上納等、又ハ田畑苅上ヶ等差置、御披露ニ罷上り候由申上候得者、然上ハ明朔日七ッ時ニ可罷出由被仰付候ニ付、四人共ニ黒門前さくらや善兵衛処ニ逗留仕、七ッ半時罷出候へ□竜王院様御手替り御出被成、中○院末之儀者古末新末共ニ埒持なしニ而、中院之添簡取之罷出候も有之、又添簡なしニ罷出候も有之候へ共、地福寺・不動院之儀者、先格ゟ添簡なしニ披露仕来り候へ者、覚王院様・円覚院様と御相談可被遊旨被成御意、□一両人も可致逗留由被仰付候間、勘兵衛・冨右衛門・孫右衛門三人者二日ニ罷帰り、源七壱人留置申候へ共、三日ニも被仰付も無御座候ニ付、又候四日ニ□兵衛・長四郎両人遣シ、源七同道ニ而竜王院様へ罷出、替りニ罷出候由源七申上候得者、御役僧被申候ハ□四ッ時御手替り様御相談御出被成候間、七ッ半時可罷出由被仰付候ニ付、七ッ時罷出候者、御願之通中院様添簡なしニ願書御取上ヶ被遊候間、後住ヲ茂早速可遣由被仰付候、此以後ニ至り両寺共ニ住寺替り之時分此書付見申候而、中院様ゟ添簡取之罷出候様ニ何程被仰付候共、無添簡御披露可申上候、此度地福寺死去之砌右之通被遊御詮儀、先格之通り、無添簡御取上ヶ被遊候而相済申候、為念書付置申候、以上

寛保元年酉十月四日

（冨澤泰次家文書　122—455）

一〇一　延享三年八月　白子村地福寺座順争論内済証文

覚

一七月十四日、座敷之儀者只今迄居来り候儀者、上座之左り勘兵衛次ニ居候人者兵右衛門・太郎左衛門・八郎右衛門と居申候、又候右之上座ニ者次兵衛、其次并候者長左衛門・六兵衛・十右衛門と居申候、只今迄居来候様ニ双方申候中、此組頭忠兵衛・勘兵衛(哉と)カ方へ申候者、訳ハ何れ并候者古証文等御座候□□相

尋申候、又候無御座候哉と相尋申候、勘兵衛申候者けつして左様成慥成証文者無御座候、只今迄者右並候義ニ而貪着不仕□□申候、勝而御定被成候義も無御座候、忠兵衛申候者、名主方忠孝を仕候者を上座と可成由ニ被存候得者、不依何事ニ相談相手等仕□得ハ、一座居申候得而用事等相たし不申候ハねハ難叶候様ニ被存候、(乍恐カ)□上座仕候、然所ニ左り上座之儀者代々冨沢古元ニ相定置申候座□ニ御座候所ニ、親共名主方之奉公仕候故組頭吉左衛門ニ差置借□□ニ御座候、其所ヲ双方之者、百姓方ニ而も吉左衛門座敷極候様相触申候得共、けつして左様成義ニ而者無御座候、名主方之了簡之旨指置候を不存申触候、中興勘兵衛存寄者吉左衛門相果申候ニ付、右之訳ニ而御座候故、先祖之座ニ永々被下置候処之座ニ□□来り候□而、弟三郎右衛門をわけ相定不申候而差置申候、五月三郎右衛門相果申候、右座敷江委細之義も不存親之座鋪ニ居可申と申出候、施餓鬼座敷之義勘兵衛出候、十次郎居候得共何之義も不申置

候故、居候事ニも堅十次郎存候、寅七月十四日施餓鬼之座敷□□上座ヲ明ヶ置申候故、忠兵衛差置不申候、名主太郎兵衛居候隣ニ無訳シ而、同役冨右衛門居申候、然所ニ施餓鬼之座鋪之義十次郎申候者、親之座ニ如何仕候へ而忠兵衛居申候哉、一座下り可申候と申候得者、かるがる敷も組頭役仕何年以前ニ親三郎右衛門出入之時分、我等親□子ニ名□勘兵衛殿、其方組□ニ□□仕様ニと被申候ニ付藤兵衛組之内ニ仕置申候ニ付、我等上座ニ而丑ノ年之座敷者、伯父勘兵衛委細之訳も不申候而指置申候所ニ、又候当年改居候と者難成候故御立可被成候、其上忠兵衛申候者名主方へ組頭之上座親之座鋪ゆつり候義慥成、古証文等も御座候哉と両人之方へ相尋申候得共、慥成古証文一切無御座候、其儀ならハ難成、役人上座ニ居候儀も不相聞ニ付、如何仕候而可然哉と名主方へ申候得共、両人名主当年初而此座へ罷出申候得□、誰上座次之座居候事哉存不申置候而可然と被存候者、差置可被申と十次郎過言申候而、右座ニ

居申候而其座相仕廻立申候、然者十五日我等方へ右之訳公辺致参申候、十次郎方へ我等共了簡ニ付申候ハ、相応ニ座拵可渡候、両人と和談いたし埒明候様申候得共、聞不申候而彼是公辺ニおよび、其上御咎ニ成候而も是非無御座候、親座敷忠兵衛ニ組頭たけニ而潰シ候而ハ、先祖共之座無住ニ成候ニ付是非無御座候、縦　御地頭様御戴許ニ而糺明ニ成候而も難成存太郎兵衛存候者左り座之義、代々家元座敷相定相済申候、依其忠兵□一座下り居可被申候、此上共右ノ座□□家元之座ニ而御座候ニ付、縦脇ゟ如何様ニ申候共、勝而右之座相極申候上外ゟ者難成候、右□□入　御地頭様へ右之訳申上候ニ付、名主へ御戴許□被遊□□訴状被為下置相済申候□□十次郎・忠兵衛ハ不及申、双方共ニ申分無御座候、為後日連判証文仍而如件

延享三年寅八月十□日

白子村願人
組頭　忠兵衛㊞
百姓
相手　十次郎㊞
組頭　定右衛門㊞
同　□次郎㊞
同　孫右衛門㊞
同　□兵衛㊞
同　弥兵衛㊞
同　忠右衛門㊞
同　次兵衛㊞
同　勘六㊞

（冨澤泰次家文書　122—474）

一〇三　寛政三年一〇月　白子村地福寺慶寛一件済口証文

差上申済口証文之事

一武州新座郡白子村天台宗地福寺当住慶寛、去戌十一月中留主居之僧差置何方江か罷越候処、当四月中右留主居も又候何方江か参り無住ニ付、本寺川越中院江相届候得者檀家之もの江廿日限尋申付、所々相尋候内慶寛立戻候ニ付、其段本寺江相届候得ハ尋中帰

寺ニ付住職可仕旨被申付候得者問合も無之、村内且家近村々江勧化等申出し、前々寺修復金勧化いたし候而茂修復不仕、去十一月中ゟ当四月迄不立戻、其上旦家不幸之節も取仕舞等彼是差障之儀も有之、出家ニ不似合之致方ニ而檀家之もの共難儀仕、殊ニ寺相続難相成間、御吟味之上寺相続相成候様被為　仰付度旨、旦中村役人惣代として年寄繁右衛門方ゟ当

御奉行様江御訴訟奉申上、当月二日御差日御尊判頂戴相附、相手地福寺慶寛ゟ返答書を以修復金等遣筋之分書其外所々申立、双方段々御吟味之上、慶寛ゟ本堂修復之心懸而已ニ而無相談侘鉢等ニ罷出、旁檀中、不任心庭ニ候ハヽ出家之義ニ御座候間、旦中之心侭仕、内済致度申上候ニ付、則御吟味御日延奉願上、両宿取扱を以出入内済仕候趣、左ニ奉申上候

一前書出入、本堂修復金手当として檀中江無相談も他所迄勧化ニ罷出候旨申候、慶寛方ニ而ハ、侘鉢ニ罷出候旨申之候得共、何れニも無沙汰ニ罷出候段心得違仕、右等之儀ニ付及出入候上ハ以来檀中不帰依ニ可有之、左候而ハ住職之詮も□之間本寺江相届、来ル十一月廿五日迄転住仕、勿論什物等之義も本寺并檀中立会相改、什物帳面之通り取極相渡可申候、尤後住入院之差支ニ不相成様可仕旨、慶寛申候上ハ、檀中村役人無申分出入内済仕、偏ニ御威光与難有仕合ニ奉存候、然上ハ已来右一件ニ付、重而御願ヶ間鋪儀申上ヶ間鋪候、為後証連印済口証文差上申処仍如件

伊賀者給地
武州新座郡白子村
檀中
村役人惣代
年寄
訴訟人　繁右衛門㊞

寛政三亥年十月

野田文蔵御代官所
同州同郡同村
相手　天台宗　地福寺
慶寛㊞

訴訟方宿
神田金沢丁
足立屋文右衛門代
取扱人　文　吉㊞

御評定所

相手方宿
（馬喰丁カ）
弐丁目
布袋屋
同　孫兵衛㊞

（冨澤泰次家文書　122―536）

三　水利普請

一〇三　安永一〇年正月　上新倉村用悪水圦樋伐組仕様帳

（表紙）
安永十年
用悪水圦樋伐組仕様帳
赤池
江川
百々目喜
境田
武蔵国新座郡
上新倉村
丑正月
（縦帳）

高千百拾石五斗弐合　飯塚伊兵衛御代官所
関東流　武州新座郡
荒川表堤　上新倉村
字赤池
一用水圦樋長五間　内法高弐尺五寸　横三尺五寸　伏替　壱ヶ所
是ハ前々御普請所ニ而安永四未年、久保田十右衛

門様ニ而、鋪用御修覆被仰付候処、及大破ニ候ニ付、此度御普請被仰付候積り

此板坪拾四坪壱合六夕四才　内　拾坪八合三夕壱才　新板坪
三坪三合三夕三才　古板坪

三坪三合三夕三才　鋪板坪　新板
四坪壱合六夕五才　両側板　同
内　三坪三合三夕三才　早萱板坪　同
三合三夕三才　鱣留板坪　古板
三坪　前後土抱板坪　同
右入用

松丸太六本　長八尺　末口五寸　丸太尺〆九分五厘六毛　捨土台
此代永弐百八拾八文　但長弐間末口五寸ゟ割壱本　永四拾八文
尺〆弐本三分四厘ン七毛
縦板八枚　長壱丈六尺　削立壱尺　巾壱尺壱寸　厚弐寸
此挽通九通三分九厘ン但壱枚割　鋪板
同弐分四厘ン

同木六本　長四尺　幅四寸　ア三寸　同蟻

此挽通七分　但十文字挽

尺〆三本六分壱厘ヽ五毛　削立八寸三分三夕

縱板拾弐枚長壱丈五尺五寸　巾九寸三分三夕　ア弐寸五分両側板

此挽通拾通八分五厘ヽ　但四枚割

同三分五厘ヽ弐毛

同木八本　長三尺三寸　四寸角　同蟻

此挽通八分八厘ヽ　但十文字挽

同壱分四厘ヽ六毛

同木五本　長三尺五寸　巾四寸　ア弐寸五分　内置

此挽通四分七厘ヽ　但十文字挽

尺〆弐分九厘ヽ弐毛

同木拾本　長弐尺五寸　巾四寸　ア三寸五分巾　白杭

此挽通七分八厘ヽ　但シ十文字挽

同三本三分　削立巾壱尺　壱尺壱寸　ア三寸

同板三拾枚　長四尺　早萱　土抱板

此挽通七通り三分　但三枚割

同六分壱厘ヽ弐毛

同木弐本　長七尺五寸　削立六寸角　七寸角　戸前柱

尺〆弐分八毛　削立　巾七寸　ア六寸

縱木壱挺　長五尺弐寸　巾八寸　厚□寸　笠木

同壱分四厘ヽ弐毛　削立弐寸五分角

同木弐本　長九尺五寸三寸角　戸竿

此挽通四分七厘ヽ　但十文字挽

同壱分八厘ヽ七毛　削立巾九寸　ア弐寸

同板三枚　長三尺巾壱尺　ア弐寸五分　戸板

此挽通五分六厘ヽ　但四枚割

古木壱挺　小貫

尺〆三分三厘　削立五寸角

縱木弐本　長五尺五寸　六寸角　樋尻柱

此挽通五分五厘ヽ　但十文字挽

古板四枚　長三尺巾壱尺　鱣留杭

同板拾弐枚　長九尺巾壱尺　前後　土抱板

松丸太拾弐本末口三寸　丸太尺〆五分八厘ヽ壱毛　石抱杭

此代永百拾壱文弐分　但長弐間末口五寸ゟ壱本　永九文弐分六厘五毛

松丸太拾弐本　丸太尺〆四分八厘ヽ四毛　長五尺末口三寸　上扣木

此代永九拾弐文六分　但長弐間末口三寸ゟ壱本　永七文弐厘ヽ

古木三拾六本　長三尺　　かせ留杭
大工三拾九人弐分
賃永壱貫七百四文三分　但金壱両ニ付弐拾三人
三拾弐人五分　新板壱坪三人
内
六人七分　古板壱坪弐人
木挽三拾壱通九分五厘ン
賃永五百六拾文五分　但金壱両ニ付五拾七通り
四寸皆折釘三拾六本
此鉄目五百四拾目　但壱本鉄目拾五匁
此代永七拾六文九分　但金壱両ニ付七貫拾七匁
拾弐本　戸板壱枚四本打
内
弐拾四本　土抱板壱枚弐本打
松木尺〆拾壱本七分五厘壱毛
小以　此代永五貫弐百九拾六文九分
永弐貫八百三拾三文五分　諸色賃永
右伏方
馬踏壱間
鋪五間

一堀割長三間　上床壱丈三尺　深サ壱丈　壱ヶ所
此堀埋坪三拾三坪三合
内三坪三合圦長五間外法横四尺高三尺倍坪引
残り三拾坪
此人足百弐拾人　内堀割築堅〆共ニ壱坪四人
一仮〆切延長三間　横六間壱間高五尺　弐間弐ヶ所
右入用
明俵百八拾俵
是者間ニ六俵並重長延六間分
縄六拾房
是者土俵三俵壱房ツヽ
人足六拾四人七分　土取壱丁壱坪三人
七人五分　仮〆切仕立取払共壱坪四人
内
拾人　大工伝人足壱人
三拾九人弐分　水替桶壱ッ代リ共四人　昼夜分
八人　古木取片付新木持込小歩行共一日五人つゝ三日分

明俵百八拾俵　但金壱両ニ付三百九拾九俵
代永四百五拾壱文壱分
縄六拾房
代永三拾八文七分　但金壱両ニ付千五百五拾房
人足百八拾四人七分　但一日壱人付壱升七合
賃米三石壱斗三升九合九夕
代永三貫百三拾九文九分
小以永四貫五拾四文七分
三貫六百弐拾九文七分
三印
合拾壱両三分　永拾文壱分

荒川表堤ニ伏
関東流
字江川圦　同村
一悪水吐圦樋　長拾間内法横六尺高四尺　敷用壱ヶ所
此板坪弐拾五坪弐合五夕　内拾九坪七合五夕是者五坪六合　新板古板
拾坪　両側板坪　新板
九坪七合五夕　早萱板坪　同

内四合　鱣留板坪　古板
壱坪壱合　樋上土抱　同
四坪　土抱坪　同
右入用
尺〆八分壱厘弐毛
縦木拾本　長六尺五寸巾五寸ア三寸　敷蟻
此挽通壱通　三分五厘　但弐枚割
同五分六厘
同木九本　長六尺巾五寸ア弐寸五分　内置
此挽通壱分弐厘壱通　但弐枚割
同板三拾枚　長弐間五寸削立巾壱尺巾壱尺壱寸ア弐寸五分　両側板
此挽弐拾弐通九分弐厘但三枚割
尺〆壱本六厘七毛
縦木拾六本　長四尺五寸四寸　同蟻
此挽通弐通四分七厘　但十文字挽
同七分八厘七毛
同木拾八本　長三尺五寸三寸五分　白杭

此挽通九分壱厘　但十文字挽
同九分三厘七毛
同木拾八本　長弐尺五寸角　中短
此挽通壱通八分七厘
同壱本弐分八毛
同木四本　長壱丈四尺五寸　五寸角　上桁木
此挽通弐通四分弐厘　但十文字挽
同九本六分五厘弐毛
同板五拾四枚　長六尺五寸巾壱尺壱寸ア三寸　早萱板
此挽通弐拾壱通四分五厘　但三枚割
同壱本壱分六厘四毛　削立六寸角
同木三本　長九尺五寸七寸角　戸前挽
同三分三厘七毛　削立巾八寸ア五寸
樅木壱挺　長七尺五寸巾九寸ア六寸　笠木
同三分七厘五毛　削立巾壱尺壱寸ア弐寸
同板六枚　長弐尺五寸巾壱尺弐寸ア弐寸五分　戸板
此挽通壱通壱分弐厘　但四枚割
同三分三厘　削立弐寸五分角
同木四本　長壱丈壱尺　三寸角　戸竿
此通壱通壱分　但十文字挽
古木弐本　長弐尺　小貫木
尺〆六厘　削立五寸角
樅木弐本　長六尺　六寸角　樋尻柱
此挽通六分
同弐厘四毛　削立巾六寸ア四寸
同壱挺　長七尺巾七寸ア五寸　笠木
古板四枚　長三尺六寸巾壱尺　鱈留板
古板六枚　長六尺六寸巾壱尺前後樋上　土抱板
同板拾六枚　長九尺巾壱尺前後左右　土抱板
松丸太拾六本　長七尺丸太尺〆九分三毛末口三寸　同抱木扣木
此代永七拾五文七分　但長弐間末口三寸ゟ割壱本永拾文八分九毛
古木弐拾四本　長弐　三尺　かせ留杭
大工七拾人弐分
賃永三貫五拾弐文弐分　但金壱両ニ付弐拾三人
内五拾九人弐分　新板壱坪三人
拾三人　古板壱坪弐人

四印
木挽五拾八通弐分六厘
賃永壱貫弐拾弐文三分
四寸皆折釘六拾八本
此鉄目壱貫弐拾目　但　壱本鉄目拾五匁
代永百四拾五文四分　但　金壱両ニ付七貫拾七匁
弐拾四本　戸板壱枚四本打
内拾弐本　樋上土抱壱枚弐本打
三拾弐本　土抱板壱枚弐本打
五印
小以　松木尺〆弐拾六本三分八厘九毛
此代永拾壱貫八百七拾五文
永四貫弐百九拾五文四分
右伏方
馬踏弐間
敷九間
一堀割長五間半　前後　上口七間　敷弐間　高壱丈四尺　壱ケ所
此堀埋坪百拾五坪五合
内拾弐坪六合　圦長拾間外法横六尺五寸　高三尺五寸

残百弐坪九合
此人足四百拾壱人六分　但壱坪四人
樋表
一仮〆切長三間高五尺横三尺　壱ケ所
此坪壱坪弐合
樋尻
一同長壱間　高三尺横三尺　壱ケ所
此坪弐合
右入用
明俵百八俵
是者間ニ六俵並五重長三間壱ケ所間ニ六俵並三重長壱間壱ケ所
縄三拾六房
是者土俵三俵ニ付壱房ツヽ
人足百拾壱人六分
四人弐分　土取壱丁壱坪三人
四人弐分　仮〆切仕立取払共壱坪三人
内
七拾人弐分　大工手伝人足壱人ニ壱人（水替樋壱ッ手替共四人昼夜分）
八人

古木取片付新木持込小遣共
一日ニ五人ツヽ五日分
明俵百八俵
代永弐百七拾五文七分　但金壱両ニ付三百九拾九俵
縄三拾六房
代永弐拾三文弐分　金壱両ニ付千五百五拾房
人足五百弐拾三人弐分
此賃米八石八斗九升四合
此代永八貫八百五拾四文四分
小以永九貫百八拾八文三分
六印
〆金弐拾五両壱分永百八文七分

高右同断

関東流　同村
荒川表堤　敷用御修復
字百々目喜
一悪水吐圦樋長八間内法横六尺高四尺　壱ヶ所
是者前々御普請所ニ而
此板坪弐拾三坪四合壱尺六才（ママ）
内拾八坪九合七夕弐才新板
四坪四合四夕四才古板

拾坪六合六夕七才　両側板坪　新板
七坪五合八夕三才　早萱板坪　同
七合弐夕弐才　樋上土抱板坪　同
四合四夕四才　鱣留メ板坪　古板
四坪　前後土抱板坪　同

右入用

尺〆九本壱分六厘七毛　削立巾壱尺
縦板三拾弐枚長壱丈弐尺五寸巾壱尺壱寸ア弐寸五分両側板
此挽通弐拾七通五分　但四枚割三通挽
尺〆七分八厘四毛
同木拾四本長四尺八寸巾四寸ア三寸五分　同蟻木
此挽通弐通壱分　但十文字挽
同四分八厘
同木拾弐本長四尺巾四寸ア三寸　白杭但十文字挽
此挽通壱通四分
同五分八厘五毛
同木九本長六尺五寸巾四寸ア三寸　置蟻木
此挽通壱通七分壱厘　但十文字挽

同三分六厘
同木六本長六尺　巾四寸　ア三寸　内置木
此挽通壱通五厘　但十文字挽
同九分五厘八毛
同木四本長壱丈壱尺五寸角　上桁木
此挽通壱通九分弐厘　但十文字挽
同六分七毛
同木拾三本長三尺五寸四寸角　中短木
此挽通壱通五分弐厘　但十文字挽
同七本五分七毛　削立壱尺
同板四拾弐枚長六尺五寸　巾壱尺壱寸　ア三寸　早萱板
此挽通拾六通六分八厘　但三枚割弐通挽
同四分四厘
同木四本　長壱丈壱尺　巾四寸　ア三寸　同押木
此挽通壱通弐分八厘　但十文字挽
同壱本弐分弐厘五毛削立六寸角
同木三本　長壱丈七寸角　戸前柱
同三分弐厘　削立　巾七寸　ア五寸
同木壱挺長八尺　巾八寸　ア六寸　笠木

同五分九毛　削立壱尺七分五厘
同板八枚　長弐尺六寸　ア弐寸　巾壱尺壱寸七分五厘　戸板
ア弐寸五分
此挽通壱通五分三厘　但四枚割三通挽
同四分弐厘　削立　巾三寸　ア弐寸五分
同木四本長壱丈弐尺　巾三寸五分　ア三寸　戸竿
此挽通壱通三分　但十文字挽
古木弐本長三尺　小貫
同七分弐厘　削立　五寸角
縦木三本長八尺　六寸角　樋尻柱
此挽通壱通弐分
同弐四毛
同壱挺長七尺　削立　巾六寸　ア四寸　巾七寸　ア五寸　笠木
同四分三厘三毛
同板四枚長六尺五寸　巾壱尺　ア弐寸　樋上土抱板
此挽壱通七分三厘　但五枚割四通挽
古板四枚長四尺　巾壱尺　鱣留板
古木四本長六尺四寸角　同抱杭

古板拾六枚長九尺巾壱尺　前後左右　土抱板
丸太尺〆七分七厘四毛
松丸太拾弐本長八尺　末口三寸　同抱杭
代永百四拾八文弐分　但　長弐間末口三寸ゟ割壱本永弐文三分五厘弐毛
丸太尺〆四分八厘四毛
松丸太拾弐本長五尺末口三寸　同扣木
代永九拾弐文六分　但　右所ゟ割壱本永七文七分弐厘
古木三拾六本長三尺　風留杭
六印　三〆賃永
永拾壱貫三百五拾五文三分五厘
四寸皆折片八拾本（ママ）　但壱本鉄目拾五文
此鉄目壱貫弐百目　但金壱両ニ付七貫拾七文替
代永百七拾壱文
三拾弐本　前後戸板壱枚弐本打四枚分　樋上土抱板壱枚四本四枚分
八本　鱈留メ板壱枚弐本打四枚分
八本
三拾弐本　前後土抱板壱枚弐本打拾六枚分

大工六拾五人八分　但金壱両ニ付
賃永弐貫八百六拾文九分　新板壱坪三人　古板壱坪弐人
内五拾六人九分　八人九分
木挽六拾通九分弐厘　但金壱両ニ付
賃永壱貫六拾八文八分
賃永〆四貫百文七分
七印
馬踏九尺　敷八間　右伏方
一堀割長四間四尺五寸　前後上口八間　敷弐間　高壱丈壱尺　壱ヶ所
此堀埋坪八拾七坪
前後土抱板内　横四尺　高四尺　四ヶ所
一同堀割六間
此堀埋坪五坪四合
内拾三坪圦樋長八間外法横六尺五寸高四尺五寸倍坪引
残七拾九坪四合　但堀埋四人　築堅メ土芝壱坪
此人足三百拾七人六分
一仮〆切延長五間高四尺横三尺　弐ヶ所
此坪壱坪七合
右入用

明俵百弐拾俵　但四斗入さん俵
是ハ間ニ六俵並四重長五間之所一通り之積り
縄四拾房　但弐拾房
人足百拾六人七分
五人壱分　土取壱丁壱坪三人
六人八分　〆切仕立取払共壱坪四人
六拾五人八分　大工手伝壱人ニ壱人
拾五人　古木取片付新板持込小遣
共一日五人ツヽ三日分
弐拾四人　水替樋挺子替共四人
昼夜八人三日分
右寄
明俵百弐拾俵　但　金壱両ニ付三百九拾九俵
代永三百文七分
縄四拾房　但　金壱両ニ付千五百五拾房
代永弐拾五文八分
人足四百三拾四人三分　但一日壱人壱升七合
賃米七石三斗八升三合壱夕

代永七貫三百八拾三文壱分　但金壱両ニ付壱石替
小以七貫七百九文六分
八印
金弐拾三両永百七拾四文六分
字境田　同村
一悪水圦樋長七間内法　高弐尺五寸伏替壱ヶ所　横四尺
是
此板坪拾八坪六合六夕四才　内拾六坪六合六夕四才新板　弐坪古板
五坪弐合五夕　敷板坪　新板
五坪八合三夕壱才　両側板坪　同
五坪弐合五夕　早萱板坪　同
三合三夕三才　鱣留板坪　同
弐坪　土抱板坪　古板
右入用
丸太尺〆弐本弐厘弐毛
松丸太七本長八尺末口五寸　捨土代
此代永三百三拾六文　但長弐間末口五寸ゟ割壱本　永四拾八文

縱板拾五枚　長壱丈五尺　削立巾九寸ア弐寸巾壱尺　但五枚割　敷板

此挽通拾五通

同三分壱厘五毛
同木七本　長四尺五寸巾四寸ア三寸　同蟻

此挽通九分弐厘　但十文字挽

尺〆五本七厘三毛　削立巾八寸三分三厘

縱板拾八枚長壱丈四尺五寸巾九寸三分七厘ア弐寸五分　両側板

此挽通拾五通弐分弐厘

同三分三厘
同木拾本長三尺三寸四寸三寸　同蟻

此挽通九分六厘　但十文字挽

同弐分

同木六本　長四尺巾四寸ア弐寸五分　内置

此挽通六分五厘　但十文字挽

同三分五厘

同木拾弐本　長弐尺五寸巾四寸ア三寸五分　白柱

此挽通九分四厘　但十文字挽

同五本壱分九厘七毛　削立巾壱尺巾壱尺壱寸ア三寸　早萱

同木板四拾弐枚長四尺五寸　土抱板

此挽通拾壱通五分五厘　但三枚割

同六分五厘三毛
同木弐本　長八尺　削立六尺角七寸角　戸前柱

尺〆三分壱厘五毛　削立巾八寸ア六寸

同木壱挺　長六尺巾九寸ア七寸　笠木

同壱分五厘
同木弐本　長壱丈　削立弐寸五分角三寸角　戸竿

此挽通五分　但十文字挽

同弐分三厘九毛　削立巾九寸三分三厘ア弐寸

同板三枚　長三尺七寸巾壱尺三分三厘ア弐寸五分　戸板

此挽通七分弐厘

古木壱挺　小貫

同五分七厘弐毛　削立六寸角

同木弐本　長七尺七寸角　樋尻柱

同弐分五厘

同板四枚　長三尺巾壱尺ア弐五分　鱈留板

此挽通七分五厘　但四枚割

古板拾弐枚　長六尺巾壱尺　前後左右　土抱板

松丸太八本　丸太尺〆三分八厘七毛長六尺　末口三寸　右抱杭

此代永七拾四文壱分　但長弐間末口三寸ゟ割壱本永九文弐分六厘五毛

松丸太八本長四尺末口三寸　丸太尺〆壱分九厘　上扣木

此代永四拾九文四分　但長弐間末口三寸ゟ割壱本永六文壱分七厘六毛

古木弐拾四本長弐三尺　かせ留柱

大工五拾四人

賃永弐貫三百四拾七文八分　但金壱両ニ付弐十三人

内　五拾人　新板坪壱三人

四人　古板坪壱弐人

九印

木挽四拾七通弐分壱厘　但金壱両ニ付五拾七通

賃永八百弐拾八文弐分

四寸皆折釘三拾六本

此鉄目五百四拾目　但壱本鉄目拾五匁

代永七拾六文九分　但金壱両ニ付七貫拾七匁

内拾弐本　戸板壱枚四本打

弐拾四本　土抱板壱枚弐本打

十印

松木尺〆拾七本三分九厘四毛

小以　代永七貫八百弐拾七文三分

三〆七百拾弐文四分

右伏方

馬踏壱間

敷七間　上四間

一堀割長四間　床弐間　壱ヶ所

高九尺

此堀埋坪三拾六坪

内五坪弐合　坦長七間外法　高三尺横四尺五寸倍坪引

残三拾坪八合

人足弐百弐人弐分

此賃米三石四斗三升七合四夕　但米壱升七合一日壱人

此代永三貫四百三拾七文四分

五拾四人　大工手伝人足壱人ニ壱人

弐拾五人　（古木取片付新木持込共ニ一日五人ッヽ五日分）

百弐拾三人弐分　（堀埋築堅且土芝共四人残坪三拾坪八合分）

十一印

合金拾四両三分　永弐百弐拾七文壱分

人足千三百四拾四人　　圦樋通
此賃金弐拾弐両三分永百十三文三分
同百九拾八人
此賃銀三両壱分ト永百十六文　抗打人足
同三百人　　堤土普請人足
此賃銀拾五両壱分　永五百文
〆金四拾壱両壱分　永弐百七拾九文三分
（桜井　晃家文書　1—18）

一〇四　寛政一〇年一二月　上新倉村御普請仕用帳

（表紙）
寛政十午年
午御普請仕用帳
午十二月五日
（縦小帳）

高千百拾石五斗弐合同国新座郡
上新倉村
荒川通

字三ッ俣三ヶ所
同大野前三ヶ所
同雑丹袋三ヶ所　　長四間五通打
一杭出延長百八拾間　　九ヶ所
右之入用
杭木四百五本　但間ニ送三本打五通打
此訳
松木九拾本　長三間半　末口三四寸
是ハ鼻杭水深之所三ヶ所　弐通つゝ　九ヶ所
同木百三拾五本　長三間　末口三四寸
是ハ中通三通つゝ　九ヶ所分
同木百八拾本　長弐間半　末口三寸
是ハ水浅之所　四通つゝ　九ヶ所分
唐竹五百四拾本　目通四五寸廻
是ハ縁詰竹間三本つゝ
人足四百弐拾三人
内
百八拾人　長三間半杭壱本弐人打

百三拾五人　長三間杭壱本壱人打
七拾弐人　長弐間半杭壱人ニ弐本半打
三拾六人　縁詰壱人五間つゝ
右之寄
松木九拾本　長三間半　末口三四寸
此代永六貫七百五拾文　但壱本ニ付永七拾五文
同木百三拾五本　長三間　末口三四寸
此代永八貫五百五文　但壱本ニ付永六拾三文
同木百八拾本　長弐間半　末口三寸
此代永五貫四百文　但壱本ニ付永三拾文
唐竹五百四拾本　目通四五寸廻
此代永弐貫九百七拾文但壱本分永五文五分
人足四百弐拾三人　高百石ニ付五拾人
村役
合金弐拾三両弐分永百弐拾五文
外
人足四百弐拾三人　村役
右者私御代官所武州多摩・新座郡村々、当夏中度々之大雨出水ニ而、玉川・浅川・荒川通御普請所及大破申上候、御普請願出候ニ付、手代差遣し見分吟味之上ケ成可相保分除之、実ニ難捨置分仕来相紛所、諸色直段吟味諸代永付仕人足ニ遣ハ、(ママ)右村々用水路、御普請之方江遣切シ分ハ賃米代永被下候積、目論見書面之通御座候、来未春御普請被仰付候積仕度奉存候、依之奉伺候、以上
午十月　野田文蔵
御勘定所
（桜井　晃家文書　2—30）

一〇五　寛政一一年三月　上新倉村杭出し普請人足割合帳

（表紙）
寛政十一年
未年杭出シ御普請人足割合帳
未　三　月
（横帳）

四百弐文　文右衛門
四百三拾八文　兵右衛門

壱人三百文引
残百三拾八文出

三拾六文
壱人百四拾八文
残百拾弐文取

百六拾三文
壱人百五拾文引
残拾五文出

八拾壱文
壱人百五十文
残九拾三文渡

弐百弐拾壱文
弐人三百文
内七拾壱文渡

三拾壱文

廿二

百八拾六文
壱人百五拾文引
残三拾八文出

拾七文
弐百弐拾四文

喜兵衛

金兵衛

庄八

平四郎

八左衛門

平重郎

茂平次

弐拾七文引
残弐百七文渡

拾九文
壱人百五拾文
残百弐拾九文渡

七拾三文
壱人百四十八文
七拾壱文渡

弐百弐拾七文
壱人百四拾八文引
七拾五文出

六拾五文
壱人百四拾八文
内八拾四文渡

五文

百三文
壱人百四拾八文
四拾五文渡

百弐拾四文

三拾四文

平助

与右衛門

佐次兵衛

伝兵衛

甚左衛門

平左衛門

茂左衛門
長十郎分

利右衛門

拾文　角左衛門　六文　伝右衛門
壱人百四拾八文　三拾壱文　市郎右衛門
内百四文渡　拾弐文　○杢左衛門
拾文　五郎左衛門　七拾四文　○善太郎
廿二　四文　茂右衛門
拾八文　伝五右衛門　四拾五文　喜右衛門
弐拾弐文　権左衛門　三拾壱文　兵左衛門
三拾九文　嘉右衛門　上
百九文渡　壱文　喜右衛門
弐拾三文　○嘉左衛門　五拾四文　弥次右衛門
五文　○弥平次　廿二　長□
五拾八文　○長兵衛　拾五文　弥兵衛
百弐拾九文　○長左衛門　弐文　平六
弐拾壱文　○八郎左衛門　拾六文
弐文　○七左衛門　廿二
弐拾壱文　○又左衛門　弐百文　善兵衛
九文　左太郎　拾弐文　兵四郎
廿二　六文　元右衛門

九拾文　新右衛門
廿二
百五拾六文　藤右衛門
百五文　文八
廿二
六拾九文　重蔵
廿二
拾弐文　弥五兵衛
七文　久太郎
拾五文　五左衛門
四文　作右衛門
廿二
四拾七文　東林寺
弐文　喜平次
六文　源六
弐文　藤左衛門
廿二
弐拾四文　七郎左衛門

弐文　平十郎
廿二
弐拾文　上　加右衛門
四百弐拾五文

（表紙）
寛政十一年
未年出杭御普請帳
未三月
（横小帳）

人足之覚
三月七日　金兵衛
平十郎
兵右衛門
同八日　利右衛門
平四郎
加右衛門
伝兵衛

茂右衛門　〆拾三人　平十郎
茂平次　三月十日　佐次兵衛
八左衛門　兵右衛門　茂右衛門
平助　平四郎　利兵衛
茂平次　伝五右衛門
庄八　与右衛門
喜兵衛　平右衛門
同人

〆拾壱人　拾弐人　文右衛門
九日　四人
平四郎　〆五拾人　新右衛門
伝兵衛　喜右衛門
利兵衛　弥次右衛門
佐次兵衛
平右衛門
茂平次
金兵衛
庄八
甚右衛門
与右衛門
兵右衛門
加右衛門　〆四拾四人
平助

（桜井晃家文書　2—31）

一〇六　寛政一三年正月　上新倉村圦樋普請仕用帳

（表紙）
寛政十三酉年
圦樋御普請仕用帳
正月
（綴帳）

高千百拾石五斗弐合　武州新座郡
荒川除堤　上新倉村
字名赤池
一用水圦樋長五間　内高弐尺五寸　横三尺五寸　敷用御修覆　壱ヶ所
是ハ前々御普請所ニ而天明七未年敷用御修覆被　仰付、其後寛政六寅年代替被仰付候処年数相立、木品相腐候所訴出御普請相願候ニ付、手代差越見分吟味為致候処、申立候通無相違候間、来酉春御修覆被仰付候様目論見左之通
此板坪拾壱坪弐合七厘六才土坪五合　新板　古板
四坪壱合六夕才　両側板坪　新板
三坪三合三夕三才　早萱板坪　同
四合四夕四才　樋後土抱板坪右同板
三合三夕三才　鱣留板坪
三坪　前後土抱板坪
右之入用
縦拾五枚　尺〆三分六厘四毛　長壱丈弐尺五寸　削立巾八寸三分三厘　巾九寸三分三厘　ア二寸五分　両側板但四枚割三通挽
同木　尺〆弐分八厘　長三尺五寸四寸角　同材十一　但十文字挽
此挽通七分
同木八本　尺〆弐分三厘三毛　長弐尺五寸　巾四寸　ア三寸五分　白抱
此挽通六分弐厘　但十文字挽
同木四本　尺〆壱分四厘　長三尺五寸　巾四寸　ア三寸　内置
此挽通四分七厘四毛　但十文字挽
同板三拾枚長四尺　尺〆三本三分　早萱板
此挽通七通三分三厘　削立巾壱尺　巾壱尺壱寸　ア三寸　但十文字挽

同本四本長壱丈四尺　尺〆五分六厘　巾四寸　ア三寸　同押坂木　但十文字挽

此挽通壱通六分三厘

尺〆六分壱厘弐毛

同木弐本長壱丈五寸　削立六寸角　七寸角　戸前抱

同木壱枚長九尺五寸　尺〆弐分八厘　削立巾七寸　ア五寸　巾八寸　ア六寸　笠木

尺〆壱分四厘弐毛

同木弐本長九尺五寸　削立弐寸五分角　三寸　角　戸竿

此挽通六分三厘　但九寸角九□

尺〆壱分九厘四毛

同板三枚長尺　削立九寸三分三厘　巾　ア弐寸　戸板

此挽通五分八厘　巾壱尺三分三厘　ア弐寸五分　但四枚割三通挽

古木壱枚長弐尺五寸　小貫木　但尻抱

縱木弐本　尺〆三分三厘　長五尺五寸　削立五寸角　六寸角　但十文字挽

此挽通五分五厘

古板拾四枚　尺〆三分三厘　長四尺巾壱尺　土抱板

此挽五分五厘

同木四枚　長三尺巾壱尺　鱣留板

古板拾弐枚　長九尺巾壱尺　前後左右　土抱板

松丸太拾弐本　長六尺末口三寸白抱杭

壱本永九文弐分六厘九毛

長弐間末三寸ゟ割分

同木拾弐本長尺末口三寸　同抱杭

此永九拾弐文六分　但右同断壱本ニ付　永七文七分弐厘壱毛

古木三拾六本　長三尺　かせ留杭

小以御材木尺〆九本六分四厘三毛

永弐百三文八分

大工三拾人五厘　但金壱両ニ付　弐拾三人

此賃永壱貫三百六文五分

弐拾弐人五分五厘　新板坪三人

内　七人五五厘　古板壱坪弐人

才鳥（鳶カ）人足是拾弐人六分三厘

此賃永四百弐拾壱文　但金壱両ニ付　三拾人

拾人五分　新板壱坪壱人四分

内壱文壱分七厘　新板壱坪壱人四分　木挽拾弐通壱人

九分六厘　御材木壱本ニ付壱人

四寸皆掛針四拾六本
　外ニ拾本　古釘
此銀目六百九拾匁　但壱本ニ付鉄目拾五匁
　此代永百三文　但金壱両ニ付六〆七百目
内　拾弐本　戸板四本打三通分
　三拾六本　土抱壱枚三本打拾弐枚分
　八本　樋上土抱壱枚弐本打
小以永弐貫弐百四拾文七分
合　御材木尺〆九本六分四厘三毛
　金弐両壱分永百九拾四文五分
　外ニ
御材木引取賃永伏方入用人足等村役
　高右同断　壱ヶ所
荒川通修覆
　字名とゝめき
一悪水圦樋長八間内法高サ四尺横六尺　敷用
　御伏替壱ヶ所　新板
　此板坪弐拾三坪四合三夕六才　内拾八坪弐合三夕五坪壱合六夕六才

拾六合六夕七才両側板坪　新板
　七坪六合八夕三才早萱板坪　同
内　七合弐夕弐才樋上土抱坪(マヽ)板土
　四合四夕四才鱈留板坪　同
　四坪　土抱板坪　同
　右之入用
松板尺〆九本壱分六厘七毛
　三拾弐枚　長壱丈弐尺五寸　側立壱尺而巾壱尺七寸側厚弐寸五分板
　此挽通り弐拾七通五分
　尺〆六分七厘弐毛
同木拾弐本　長四尺巾四寸ア三寸五分　同蟻木但拾文字挽
　此挽通り壱通り八分
　尺〆五分六厘
同木拾四本　長四尺巾四寸ア三寸　白抱
　此挽通壱通六分三厘
　尺〆四分弐厘
同木七本　長六尺巾四寸ア三寸　内置木十文字挽
　此挽通壱通弐分弐厘
　尺〆六分四厘壱毛
同木拾本　長三尺七寸四寸角　中短木

此挽通壱通六分　但右同断
尺〆九分五厘八毛　五寸角
同木四本長壱丈壱尺五寸　上桁木
此挽通九分弐厘　右同断
尺〆七本五分七厘
同板四拾弐枚長六尺五寸　削立壱尺巾壱尺壱寸ア三寸　早萱板
此挽通拾六通六分八厘　但三枚割弐通挽
尺〆九分弐厘
同木八本　長壱丈壱尺五寸　巾四寸ア三寸　押木
此挽通弐通六分八厘　但十文字挽
尺〆壱本弐分弐厘五毛
同木三本　長壱丈　削立六寸角七寸角　戸前抱
尺〆三分弐厘
同木壱枚長八尺　削立巾七寸ア五寸巾八寸ア六寸　笠木
尺〆五分九毛
同板八枚長弐尺六寸　削立壱尺七寸五分ア弐寸巾壱尺壱寸七分ア弐寸五分　戸板
此挽通壱通五分三厘

尺〆四分弐毛
同木四本　長壱丈弐尺　削立巾三寸五分ア三寸　戸竿
此挽通壱通三分　但十文字挽
古木長弐尺五寸　小貫木
尺〆七分弐厘
松木三本長八尺　削立五寸角六寸角　樋尻抱
此挽通壱通弐分　但十文字挽
尺〆七分弐厘
同木三本　長八尺五寸　削立五寸角六寸角　樋尻抱
此挽通壱通弐分　但十文字挽
尺〆弐分壱厘九毛
同木壱枚長七尺五寸　削立巾六寸ア四寸巾七寸ア五寸　笠木
古板四枚長六尺五寸巾壱尺　樋上土抱板
同板四枚長四尺巾壱尺　鱣留板
同板拾六枚長九尺　巾壱尺前後左右土抱板
松丸太拾弐本長八尺末口三寸
此代永百四拾八文弐分　但長弐間末口三寸割分壱本拾弐文三分五厘三毛

同木拾弐本　長六尺　末口三寸　右扣抱
　此代永百拾壱文弐分　右同断壱本ニ付
　　永九文弐分六厘五毛
古木三拾六本　長三尺末弐三寸　かぜ留杭
　御材木尺〆弐拾四本弐分五厘八毛
小以
　永弐百五拾九文四分
四寸皆折針（ママ）七拾本
　外ニ拾八本古針用
此鉄目壱〆五拾目
此代永百五拾六文七分　但壱本鉄目拾五文目
此代永百五拾六本　但金壱両ニ付六〆七百目
　三拾弐本　戸板壱枚四本打八枚分
内　八本　樋上土把板壱枚弐本打四枚分
　四拾八本土抱板壱枚ニ付、三本打拾六枚分
大工六拾五人八厘　但金壱両ニ付弐拾三人
此賃永弐貫八百弐拾九文六分
内　五拾四人七分五厘　新板壱坪三人

拾三人三厘　古板壱坪弐人
木挽五拾九通六厘　但金壱両ニ付五拾七通
　此賃永壱貫三拾六文壱分
才鳥（鳶カ）人足三拾□人九分弐厘　但金壱両ニ付三拾人
　此賃永壱〆三拾文七分
　弐拾五人弐分五厘　新板壱坪ニ付壱人四分
内弐人九分五厘　木挽輪懸ケ
　弐人四分弐厘　拾弐通壱人
　　御材木上〆拾本ヲ壱人
小以五〆五拾三文壱分
合　御材木尺〆弐百本弐分五厘八毛
　金五両壱分ト永六拾弐文四分
　外ニ
御材木引取運賃伏方人足村役
　寛政十三酉年
　　酉正月

右同断

荒川通り
字名境田
一悪水圦樋長七間内法　高弐尺五寸　敷用御修覆
横四尺　壱ヶ所
是ハ前々八ケ年以前寛政六年寅年、願□ニ而御普請被
仰付候処、木早相腐及大□披候ニ而、訴出御普請相願
候間、手代差遣見分吟味之上為仕候所申立之通無相違
来ル酉御修覆被仰付候様ニ見論（目カ）見左之通
此板坪拾三坪四合壱夕四才　拾壱坪八夕三才新板
弐坪三合三夕古
五坪八夕三才壱毛　両側板坪　新板
内五坪弐合五夕　早萱板坪　新板
三合三夕三才　鱈留板坪　古板
弐坪　土抱板坪　古板
右之入用
尺〆五本七厘三毛
松板拾八枚　長壱丈四尺五寸　両側板　削立巾八寸三分三厘　巾九寸三分三厘　ア弐寸五分
此挽通五拾通弐分弐厘　但四枚割三通板
尺〆弐分六厘四毛
同木八本長三尺三寸　巾四寸　ア三寸　同蟻木
但拾文字挽
此挽通七分七厘
尺〆三分六厘七毛内四寸
同木五本長四尺　ア弐寸五分　内置木
但壱尺八寸　八つ割
尺〆弐分八厘
同木拾本長弐尺五寸長四尺五寸　削立巾四寸　ア弐寸土抱
右同断
此挽通九分四厘　但三枚割三通挽
尺〆五本壱分九厘七毛
同板四拾弐枚長四尺五寸　削立巾壱尺　巾壱尺壱寸　ア三寸　早萱板
此挽通拾壱通五分五厘　但三拾枚割三通挽
尺〆五分五厘三毛
松木弐本　長八尺　削立六寸角　七寸角　戸前抱
尺〆三分壱厘五毛
同木壱枚長六尺　削立巾八尺　巾六寸　ア七寸　笠木
尺〆壱分五厘
同木弐本長ヲ壱丈　削立弐寸五分　巾三寸角　戸竿
此挽通六分七厘　但九寸角九ツ割

尺〆弐分三厘九毛　削立　巾九寸壱分三厘

同板三枚長三尺七寸　巾壱尺三分三厘　ア弐寸五分

此挽通七分弐厘　但四枚割三通挽

古木壱枚長弐尺五寸　小貫木

尺〆四分弐厘

松木弐本長七尺　削立五寸角　六寸角　樋尻柱

此挽通七分　但拾文字挽

古木板長三尺　巾壱尺　鱈留板

同板拾弐枚長六尺　巾壱尺前後右左　土抱板

松丸太拾六本　末口三寸右抱杭　上扣杭

此代永百四拾八文弐分　但末口弐間末口三寸分　壱本ニ付永九文六分壱厘五毛

古木弐拾四本長三尺　末口三寸　かせ留杭

小以　御材木尺〆拾弐本六分八厘五毛　永百四拾八文弐分

四寸皆折釘弐拾五本

外拾壱本　古釘

此鉄目永三百七拾五文　但壱本ニ付十五文

此代永五拾六文　但金壱両ニ付六〆七百目

拾弐本　戸板壱枚四本打三枚分

内　弐拾四本　土抱板壱枚弐本打　拾九枚分

大工三拾七人九分壱厘

此賃永壱貫六百四拾八文三分　但金壱両ニ付弐拾三人

内　三拾壱人三分四厘　新坂壱坪三人

四人六分七厘　古板壱坪弐人

木挽三拾壱通三分弐厘　但金壱両ニ付五拾七通

此賃永五百四拾九文五分

才鳥人足拾五人三分八厘　但金壱両ニ付三拾人

此賃永六百拾弐文

拾五人五分弐厘　新板坪ニ付壱人三分

内壱人五分七厘　木挽林掛弐拾通壱人

壱人弐分七厘　御材木拾本ニ付壱人

此永弐貫八百六拾五文八分

〆　同御材木尺〆拾弐本六分八厘六毛

金三両永拾四文

外

御材木引取人足賃材木入用諸送

人足等村役
野田文蔵御代官所　手代森甫助
御勘定所

（桜井　晃家文書　2—19）

一〇七　寛政一三年正月　上新倉村出杭普請仕用帳

（表紙）
寛政十三酉年
出杭御普請仕用帳
酉正月
（縦帳）

字千百拾石五斗弐合　武州新座郡上新倉村
荒川通
字名三ツ俣　欠所長百弐拾間之余所　四ヶ所
字名大野前　長八拾間之余之所（間脱カ）　四ヶ所
字名雑丹袋　欠所長弐百之余之所　六ヶ所
一杭出延長弐百五拾六間　長四間四通打拾四ヶ所
右入用

杭木五百四本間送り三本打
弐百弐拾本長三間杭末口四寸
百五拾本長弐間半杭末口三寸
百三拾四本長弐間杭末口弐寸五分
唐竹六百七拾弐本目通四五寸回
是ハ間ニ三本つゝ縁結くさりかけ可遣
人足三百五拾八人三分
内
弐百弐拾人　三間杭壱人壱本打
六拾人　弐間半杭壱人ニ付弐本半打
三拾三人五分　弐間杭壱人ニ付四本打
四拾四人八分　縁結くさりかゝり
壱人五間つゝ
右之寄
松木弐百弐拾本長三間末口四寸　但壱本ニ付永八拾文
此代永拾七貫六百文
同木百五拾本長弐間半末口三寸　但壱本ニ付永三拾五文
此代永五貫弐百五文

同木百三拾四本長弐間末口弐寸五分但壱本ニ付永弐拾弐文
　此代永弐貫六百八拾文
唐竹六百七拾弐本　目通四五寸回
　此代永三貫六百九拾六文但壱本ニ付永五文五分
村役人足三百五拾八人三分
合金弐拾九両永弐百弐拾六文
　外
人足三百五拾八人三分　村役
　右之寄
都合　米拾弐石六斗壱升三合九夕
　金三百弐拾七両　永弐百弐拾八文壱分
松木千百五拾本
唐竹千六百本
人足七百三拾九人弐分　村役
右私御代官所武州多摩・新座郡村々、当夏秋度々大雨出水ニ而、玉川・浅川・荒川通満水致、堤切所・欠崩、御普請所及大破御普請所願上候間、手代差遣見分御吟味之上ケ成可相深之、実々被猶差置分仕来なれ、諸逸所直段吟味詰代行仕、人足之義ハ右村々用水路御普請之方へ遣功分、賃永・代永被下、談同論々（御目論見カ）御入用書面之通御取同、来酉之春御普請被仰付候様（ママ）仕度奉存候、依之奉願上候、以上

申十月
　野田文蔵
　手代森甫助
御勘定所

（桜井　晃家文書　2—20）

一〇八　天保一二年二月　上新倉村普請諸入用付立帳

（表紙）
天保十二年
御普請諸入用付立帳
丑二月吉日
（横帳）

覚

子八月四日ゟ五日・六日
是ハ御普請願参候

拾五匁　文右衛門
百八拾八文　役所ニ而　かみ代
同　宿下代遣
壱朱　大羽様送り
弐百文　ろうそく代　利兵衛参

同十一月九日・十日　御普請役　戸田村泊り
六百文　文右衛門参
弐百文　かし代

十一月九日　戸田村ニ而
弐朱　小物人遣　近藤様
弐朱　同　三浦様
弐百文　ろうそく代
五百廿四文　南畑へ参候　引又泊り
弐百文　ろうそく代

十二月廿七日　戸田村へ参
四百八拾四文　泊り雑用
六拾四文　ろうそく代
弐百文　堤ニ而かし代　御普請役見分之節

百文　御普請役内間木村泊り　真木
百文　ろうそく代

壬正月朔日川口へ参り泊り
弐朱ト　御普請役様　諸雑用共
三百廿四文

同　ろうそく代
弐百文　（請脱カ）
同十五日　是ハ御普ニ付
壱朱　江戸飛脚
同十六日　（請脱カ）御普役ニ付
六百文　道場村参

弐百文　兵左衛門参候
壱〆三百文　かし代　すき代
弐百文　弐度之小遣

壬正月廿六日
六百四十八文　たこあし代
二月一日　宗岡下井戸
百文　三之助
杭打之節
四百文　ろうそく代

弐百文　かし代
二月四日　横曽根参泊り
五百三十弐文

弐百文　ろうそく代
五日・六日・七日・八日・九日　大沢宿ゟ

廿五匁　□迄
十二日堤ニ而遣
四百文　ろうそく代
同　酒五升
壱〆文
三朱釘代　浅久保江払　角治郎遣
杭木打節酒代かし代共
壱〆三百七拾弐文
杭木之節　久太郎　文右衛門　彦兵衛
弐百文
二月九日
四百文　大工丁なはしめ
正月廿六日
弐拾ほ　縄代
廿七日
拾ほ　同
廿八日
拾五ほ　同
二月一日
拾八ほ　同
〆六百四十七文
弐百文　是ハ道場村泊りゝ之節　ろうそく代
同四十八文
百六十四文　大のニ而酒　久太郎　文右衛門　佐次兵衛
二月廿四日ゟ廿八日迄巳之頃迄返り

弐拾五匁
同　帳面書候節
弐百文　ろうそく
同　かみ代
百六拾四文
二月廿六日
壱朱　上木様かし代　川口へ参り　兵右衛門
弐百文
三匁五分　大工手間代　たこかけや
壱匁七分五厘　ふち代
弐百七拾弐文　あわひ代
〆金三分ト銀七拾弐匁弐分五厘
此金壱両弐朱ト五百六十六文
銭拾弐〆六百拾弐文
此金壱両三分ト六百拾五文
〆三両弐分弐朱ト壱〆六百四文
三朱ト弐百文　利兵衛
弐朱　たこかけや共　三之助
覚

一金四両拾〆文
内六百六拾四文　相場ちかい引
二月九日
同金弐両弐分　佐平次渡し
同金壱両　大工渡し
同金壱両　大木様へ内々
〆四両弐分引
残而金弐分
弐〆三百三十弐文
内三朱　釘代払
同壱〆三百七拾弐文　是杭木打之節酒代
同弐百文　同
同四百文　大工丁なはじめ
此〆三朱ト壱〆九百七十弐文
惣差引
残而壱分壱朱ト三百五十六文
彦兵衛請取
金四両ト拾八〆弐百八拾五文
二月廿五日

金九両弐分
内金六両弐分　樋類
同金三両也　川除之分
二月廿六日
此内
金五両　久太郎請取
同四両弐分　文右衛門請
内壱両　大工渡し
同　弐分弐朱　□ちん
同弐分　井上様
丑五月十日
金六両　借用人　久太郎印
同　文右衛門印
立合人　利兵衛印
悛治郎

（桜井　晃家文書　2—33）

一〇九　天保一二年八月　上新倉村普請場所書上帳

（表紙）
天保十二丑年
御普請場所書上帳
八月　武州新座郡上新倉村
（縦帳）

高千百拾石五斗弐合
御普請所之内　武州新座郡上新倉村
一堤長千三百六拾間　同断　四ヶ所
同　圦樋　同断　壱ヶ所
堤欠ノ所
御普請場所字三ッ又
一百八拾間　杭出シ並杭　壱ヶ所
同断字大野前
一百五拾間　杭出壱ヶ所
同断字雑丹袋
一弐百五拾間　杭出壱ヶ所
是ハ自普請場所
一溜池　壱ヶ所

（桜井　晃家文書　2—26）

一一〇　天保一四年正月　上新倉村岩渕川口仮橋普請に付人足諸色割賦差出すべき村名帳

（表紙）
天保十四年
岩渕川口仮橋可差出村名帳
卯正月初り　上新倉村
（縦帳）

武州新座郡
一高弐百六拾石五斗四升三合弐才　上白子村
一高弐拾七石七升四合　橋戸村
一高四百五拾三石三斗九升七合　根岸村
一高百九拾四石弐斗　田嶋村
一高五百四拾弐石七斗六升七合　岡村
一高六百四石六斗五升七合　構（溝）沼村
一高四百七拾九石三斗六合　上下浜崎村
一高四百七拾七石五斗六升九合　上下内間木村
一高千四百六拾壱石八斗七升三合　小樽村

一高弐百石　下新倉村
一高五百九拾弐石五斗弐合　上新倉村
一高弐拾壱石九斗五升三合　下新倉村持
一高三百六拾壱石六斗三合弐夕　広沢新田
一小以高五千六百七拾九石弐斗四升四合弐夕弐才　雑丹袋新田
根岸・台村
新座郡
一百拾六石五斗四升五合　武州葛飾郡
鍋小路村
一高五百七拾五石弐斗壱升三合　下赤岩村
一高三百七拾九石八斗三升六合　八子村
一高三百五拾六石四斗五升四合　下内川村
一高八百三拾七石九斗五升四合　上内川村
一高四百七拾六石七斗七升四合　広嶋村
一高弐百石七斗弐升七合　拾壱軒村
一高三百四拾六石九斗三升四合　田嶋村
一高八百八拾五石九斗弐升三合　上赤岩村
小以高四千百七拾六石三斗六升　葛飾村（ママ）
武州豊嶋郡
一高三百六石八斗五升七合　滝（野脱カ）川村

一高五石四斗弐升　十条村
小以高三百拾弐石弐斗七升七合　豊嶋郡
高合壱万百六拾七石八斗八升壱合弐夕弐才
一雑丸太六拾弐本　長壱丈　末口三寸
一唐竹千六百七本半　目通三四寸　廻り
一明俵千百七俵但四斗入　桟俵とも
一縄三千八房　但シ弐拾広曲
一竹縄八百四拾五房　但六尋曲
一人足三千弐百七拾壱人四分

寅十二月
荒川仮橋
村役人諸色帳
雑木丸太六拾弐本　但シ拾本銀廿匁
代百廿四匁
竹千六拾七本半　但シ壱本ニ付銀弐分三匁
代弐百四拾五匁五分
明俵千八俵　但シ壱俵ニ付銀壱分三厘
桟俵とも
代百三拾弐匁

縄三千八房　　但シ壱房ニ付銀壱分三厘
代三百九拾壱匁
竹縄八百四拾五房　　但シ壱房ニ付銀三分
代弐百五拾三匁五分
〆拾八両五匁
人足百九拾人六分　　上新倉村
但シ百石ニ付
人足三拾弐人壱分七厘

天保十四卯正月初り
御参詣ニ付、仮橋其外諸入用
岩渕・川口
人足三千弐百七拾壱人四分
人足壱人ニ付　三百弐拾四文
此銭千五拾九〆五百三拾六文弐分五厘六毛
長銭直し
千拾七〆五百三拾六文弐分五厘六毛
岩渕・川口之間仮橋惣人足高割合

是ハ新座・葛飾・豊嶋高
惣高壱万百六拾七石八斗八升壱合弐夕弐才
高壱石ニ付
長百七厘三毛五才四
高五百九拾弐石五斗弐合　是ハ上新倉村相勤候
此人足百九拾人六分
此銭長銭直し
五拾九〆弐百九拾三文七分四厘

文右衛門組
引内訳高弐百七拾四石七斗四升壱合
長銭弐拾七〆四百九拾弐文三分

久太郎組
此引訳高三百拾七石七斗六升六合八夕
長銭三拾壱〆八百壱文五分五厘
惣代料
金六両
此銭三拾九〆
長銭直し

三拾七〆四百四拾文　是ハ新座郡勤高
高五千六百七拾九石弐斗四升四合弐夕
右銭割
高壱石ニ付
長銭六文五分九厘弐毛四二六
上新倉村割合高
高五百九拾弐石五斗弐合
長銭三〆九百五文七分七厘
文右衛門組
高弐百七拾四石七斗四升壱合
長銭壱〆八百拾壱文弐分
久太郎組
高三百拾七石七斗六升六合七夕
長銭弐〆九拾四文八分四厘五毛
材木諸色代入用
金拾五両
此銭九拾七〆五百文
長銭直し
九拾三〆六百文

惣高壱万百六拾七石八斗八升壱合弐夕弐才
右銭此高割
高壱石ニ付
長銭九文弐分五厘
新座郡高
高五千六百七拾九石弐斗四升四合弐夕弐才
右長銭掛
五拾弐〆弐百七拾七文四分四厘
上新倉村分
引訳高五百九拾弐石五斗弐合
文右衛門組
高弐百七拾四石七斗四升壱合
長銭弐〆五百弐拾八文九分八厘
久太郎組
高三百拾七石七斗六升六合八夕
長銭弐〆九百弐拾六文三分四厘
文右衛門組
〆長銭三拾壱〆八百三拾弐文四分八厘　右銭ハ目入百也
三拾三〆百五拾六文四分八厘
此金五両ト六百五拾六文四分八厘

久太郎組

〆長銭三拾六〆八百弐拾弐文七分三厘

三拾八〆三百五拾四文七分三厘　右銭へ目入百也

此金五両三分弐朱ト百六拾六文七分三厘

上新倉村川口へ出銭分

惣〆長銭六拾八〆六百五拾三文四分九厘

村高千七拾石五斗割

高壱石ニ付

長銭六拾四文壱分三厘弐毛壱才

乍恐以書付奉願上候

大熊善太郎支配所

武州新座

下内間木村

名主　弥右衛門

右者日光　御参詣御用ニ付、岩渕・川口之間、御仮橋御普請人足諸色御割賦被　仰付候ニ付、惣代取極可差出旨奉畏候、依之村々相談之上、前書名前之者差出し御用向之儀ハ、右之者江被　仰付被下置候様、連印を以奉願上、何卒御聞済被成下候様奉願上候、以上

上新倉村

名主　文右衛門

組頭　利兵衛

百姓代　兵右衛門

台村

名主　助左衛門

組頭　惣左衛門

百姓代　岡右衛門

根岸村

名主　平左衛門

組頭　八郎右衛門

百姓代　助左衛門

岡村

名主

組頭　与左衛門

百姓代　権兵衛

溝沼村

名主藤三郎
組頭留八
百姓代治右衛門
田嶋村
名主
組頭吉兵衛
百姓代弥四郎
上浜崎村
名主友右衛門
組頭佐右衛門
百姓代長治郎
下浜崎村
名主幸七
組頭惣兵衛
百姓代仲四郎
上内間木村
名主惣左衛門
組頭忠左衛門
百姓代

回状を以啓達仕候、弥々暖気相募り候得共、各様方益御堅勝ニ御勤役被為在奉賀寿候、然ハ今般川口宿御仮橋之儀茂荒々出来ニ相成ニ付、兼々御談仕候惣代□之儀、金六両与御対談仕置候処、新座郡村々之内離別之村方も有之、旁月極メ名外相懸□不申候ニ付、右取極置金高之内金壱両引去、残金五両之積りヲ以、今般割合勘定仕候処、左之通

一金五両也
　　此割
　　高百石ニ付
　　永百弐拾七文弐分
　　但高三千九百廿九石七斗五升四合弐夕五才割
　　右村々
一永五百七拾六文七分　　根岸村
一永弐百四拾七文　　田嶋村
一永六百九拾文四分　　岡村

一永六百九文四分　　上浜崎村
一七百六拾九文壱分　　下溝沼村
一永弐百八拾四文九分　　下新倉村
一永七百五拾三文弐分　　上新倉村（新田共）
一永四百六拾文　　台村
一永六百七文五分　　上内間木村
〆永四〆九百九拾八文七分　　下内間木村

前書之通割合勘定仕候間、来ル八日迄ニ乍御苦労御出金御遣し可被下奉願上候、尤委算違等も御座候間無御遠慮御察当可仰聞候、且此状御披覧御承知之上ハ、乍憚御村名下下江（ママ）請印早々御順達通り、御村方ゟ御戻し帰り御返脚（却）之程奉希上候、已上

下内間木村
触次惣代
名主　弥右衛門

卯四月四日

右村々
御名主衆中

岩渕・川口之間、仮板橋取崩人足
高百石ニ付
六人六分四厘
卯五月廿二日相渡し申候
金弐両弐分ト銀壱匁六分

（桜井　晃家文書　2—27）

二　弘化二年三月　上新倉村雑丹袋杭出普請仕用帳

（表紙）
弘化二巳年三月
荒川通定式御普請所之内
字雑丹袋当巳杭出御普請仕用帳
武州新座郡　上新倉村
（縦帳）

高千百拾石五斗弐合
荒川通雑丹袋長四間つゝ　六通り打
一杭出　長弐百弐拾間　五ヶ所
右入用
杭木弐百七拾本

内

杭木九拾本　長三間半　但　末口三四寸　壱本ニ付　永七拾文

代永六〆三百文

間送り三本

杭木九拾本　長三間　但シ　末口三四寸　壱本　永六拾文

代永五〆四百文

是ハ間ニ送壱本

杭木九拾本　長弐間半　但　末口三四寸　壱本　永三拾五文

代永三〆百五拾文

是者前同断

唐竹三百六拾本　但シ　目通四五寸回り

代永弐〆五拾弐文　但シ　壱本　永五文七分

是者延長百弐拾間之所　間ニ三本つゝ　鎖木遣り

人足三百三拾人

百八拾人　三間半杭壱本弐人内

内

九拾人　三間杭　壱本壱人

三拾六人　弐間半　壱人弐本半

弐拾四人　縁結壱人五軒結

永拾六〆九百弐文

内三〆三百八拾四文　弐割引

銭永拾三〆五百弐拾壱文六分

人足三百三拾人　村役　高百石五拾人打

小以金拾三両弐分

外ニ　永弐拾壱文六分

人足三百三拾人　村役

右者私共村方地内荒川通川除定式御普請被　仰付、右入用諸色之儀者仕用帳通無相違早々差出し、奉請御改御遣方ニ相成人足之儀者私共日々御場所ニ付居仕、ケ所々丈夫ニ皆出来仕、小前ニ至迄一同難有仕合ニ奉存候、仕立方之通御入用奉請取候、夫々無甲乙割合勘定相済候間御場所引払ニ相成候、尤右ニ付後日御願ケ間敷義、毛頭無御座候、依之出来形印形差上申候処如件

武州新座郡

上新倉村

弘化二巳年三月

百姓代　兵右衛門㊞
組頭　小左衛門㊞
名主　文右衛門㊞

大熊善太郎様
御役所

（桜井　晃家文書　2—28）

一三　嘉永五年三月　上新倉村圦樋普請人足帳

（表紙）

嘉永五年
当子圦樋御普請人足帳
子三月吉日　新座郡上新倉村
名主　文右衛門組

（横帳）

覚

子三月十八日　初り　五人
三人　半人つゝ　三月廿一日
三月十九日　七人　内四人多村（ママ）ゟ入
五人　三月廿二日
三月廿日　拾人半
三月廿三日
五人　江川
五人　赤池
廿四日
五人　赤池
五人　江川
四月九日
三人　赤池
四月十日
四人　赤池
十七日
三人　同
廿日

六人　半人つゝ　同
廿一日
五人　同
廿二日
八人　同
廿三日
八人　同
廿四日
八人　同
廿五日
八人　同
廿六日
八人
廿七日
八人
廿九人
三人

覚

江川赤池圦樋
御普請ニ付大工手間代
一六人半　千之助
一四人　同人親
一七人　是者江戸参候千之助
一七人　権十郎
一壱人　忠兵衛
一七人　勝五郎
〆三拾弐人半　手間六人つゝ
此手間代
〆金壱両壱分ト五百弐拾四文
一六人　手間拾人　浅五郎
此手間代
九百六拾文
二口〆手間代
金壱両壱分ト

壱〆四百八拾四文　子四月九日　平十郎

ふち方壱人ニ付壱匁つゝ　金壱分弐朱

人足三拾八人半　子四月十五日

内七人　江戸参候分千之助外　同壱分弐朱　金兵衛

引〆三拾壱人半　四月十五日

此銀三拾壱匁五分　同壱分弐朱　兵右衛門

此銭三〆三百文　同壱分弐朱　庄八

惣〆金壱両壱分ト　覚

四〆七百八拾四文　四月八日

此金三分ト六拾文相場六〆三百文　金壱両　利兵衛

此金弐両ト六十文　三月

高壱石ニ付　金壱両　六左衛門

銭拾壱文八分弐厘六毛　四月八日

一五〆八百五拾四文　文右衛門組　同　弐分

此金三分弐朱ト　三月十八日

三百四十弐文　壱升　弐百文

一六〆八百六文　久太郎組　三月廿二日　酒

此金壱両ト五百六文　金壱両　初五郎へ相渡シ

三月廿三日　　初五郎渡シ江川ニ而
金壱分
三月廿三日
三百六拾四文　　酒弐升
是者赤池初之節
四月八日
金壱分　　同人渡し
是者根岸村迄
銭弐百六十四文　　文右衛門　久太郎　八兵衛
同　　わらひ藤屋ニ而
銭三百七拾弐文　　右三人帰り之節
わらひいつミやニ而
廿五日　上戸田迄
三百拾六文　　送り人足　文右衛門　喜兵衛　政右衛門　庄八
百七拾弐文　　なまり代
四月晦日　上戸田迄送り人足　　三人

百四十文　　酒代払
四月廿日
金弐分　　初五郎渡し
四月廿九日
金壱両　　同人渡
縄弐ほ　　是者堤張

（桜井　晃家文書　2—34）

一三　安政三年六月　上新倉村小江戸橋諸入用覚帳

（表紙）
安政三年
小江戸橋諸入用覚帳
辰六月吉日
（横帳）

覚

安政三辰六月四日
小江戸橋諸入用

一金三両銀弐拾匁　　石工　熊治郎
一金弐朱ト　　清左衛門

銀弐拾匁

〆金三両弐朱ト　銀四拾匁

此割合壱ヶ村ニ付

一金三分　五匁　上新倉村

一金三分　五匁　台村

一金三分　五匁　根岸村

一金三分　銀五匁　岡村両組

一金弐朱　銀弐拾匁　溝沼村

右之通ニ割合仕候

（桜井　晃家文書　3—54）

二四　安政六年八月　上新倉村赤池堤切所人足覚帳

（表紙）

安政六年
赤池堤切所人足覚帳
未八月吉日　両組

（横帳）

覚

文右衛門組

未八月廿一日ゟ

清吉
北口
権右衛門
伊右衛門
音五郎
市之助
半
市三郎
九郎右衛門
長九郎
庄右衛門
金左衛門

才料
兵右衛門
〆拾五人
八月廿一日
久太郎組
藤右衛門
兵四郎
弥五兵衛
市兵衛
勘兵衛
与市
長左衛門
源太郎
弥治右衛門
市郎右衛門

門左衛門
和助
権兵衛
与惣兵衛

才料
嘉兵衛
〆拾七人
八月廿二日
文右衛門組
弥平次（う）
権右衛門（う）
同庄五郎
市左衛門（原）
善左衛門（桜木）
権右衛門
清左衛門

彦四郎
金兵衛
金左衛門
九郎左衛門
与兵衛
勘右衛門

佐右衛門
勘　三　郎
治郎右衛門

才料
小左衛門
〆拾壱人
八月廿二日

久太郎組
清右衛門
喜　平　治
平　十　郎
与　兵　衛
忠左衛門
仁　兵　衛
五左衛門
喜右衛門
長　太　郎
兼　　吉
儀右衛門

惣右衛門
吉　之　助
忠右衛門
新右衛門
長右衛門
藤　　八

才料　六兵衛
〆拾八人
八月廿三日

文右衛門組
勘右衛門
上長左衛門
長　　助
兵　四　郎
半喜　三　郎
金　兵　衛
金左衛門
浅右衛門
文　治　郎

上喜平治
喜右衛門
吉三郎
弥治右衛門
兵左衛門
平右衛門
嘉吉
藤右衛門
林右衛門

才料　利兵衛
〆拾九人
八月廿三日

六右衛門
八郎右衛門
伝右衛門
権太郎
伝五郎
平四郎
九十郎
伊平次
仁左衛門

才料
重蔵
〆拾七人
一　八月廿四日

久太郎組
半新蔵
半七三郎
治郎右衛門
甚右衛門
甚五郎
源六
八郎左衛門

文右衛門組
平十郎
太左衛門代
源六
仁兵衛
清四郎代う
平左衛門

弥五兵衛
利右衛門
伝右衛門（ミね）
惣右衛門
半市郎右衛門
五左衛門
長兵衛
甚五郎
重蔵
惣五郎
助三郎
上七五郎代
伝内
平助
彦四郎代
七郎右衛門

才料
彦兵衛
〆拾九人

久太郎組

八月廿四日

才料

庄八
五兵衛
又兵衛
金右衛門
半兵衛
助右衛門
六左衛門
五郎右衛門
八三郎
久兵衛
喜三郎
善九郎
市郎兵衛
六郎左衛門
久右衛門
兵左衛門
林右衛門

九左衛門

〆拾八人

八月廿五日

文右衛門組

小三郎

宇兵衛忰 勝五郎

吉三郎

五兵衛

清右衛門

庄兵衛

藤七

作兵衛

八三郎

弥三郎

半兵衛

安五郎

五郎右衛門

嘉兵衛

才料 兵左衛門

〆拾七人

八月廿五日

久太郎組

清四郎

茂右衛門

平左衛門

七郎右衛門

平三郎

治郎右衛門

藤右衛門

惣五郎

半又六

久左衛門

長五郎

直左衛門

元右衛門

七郎左衛門

外壱人

仁兵衛
喜右衛門
七右衛門
喜平治

才料
彦兵衛
〆拾九人
八月廿三日

文右衛門組
久兵衛
市蔵
助右衛門
治兵衛
六郎左衛門
音五郎
惣八郎
八兵衛

〆八人

八月廿二日

久太郎組
小三郎
庄兵衛
弥左衛門
平右衛門
三右衛門
善太郎
八兵衛
藤七
嘉兵衛
与兵衛
半右衛門

才料六兵衛
〆拾弐人
覚
一人足百九拾人
壱人ニ付
百四十八文つゝ

此賃錢
弐拾八〆五百文
堤諸入用
一三〆七百九拾四文
二口〆三拾弐〆弐百九十四文
高千七拾石五斗割
高壱石ニ付
錢三拾文壱分七厘
一人足八拾八人　文右衛門組
此錢拾三〆弐百文
一人足百弐人　久太郎組
此錢拾五〆三百文
惣〆
一錢三拾弐〆弐百九拾四文
千七拾石五斗割
高壱石ニ付
三拾文七分七厘

此引訳
一拾四〆九百三拾弐文　文右衛門組
一拾七〆三百六拾四文　久太郎組
覚
一明俵五拾俵　文右衛門組　白子
代八百三十弐文
一弐百四十八文　同人組　縄代
久太郎
一百文　長右衛門
一百文　八郎右衛門
一百文　久太郎
一百文　清兵衛
栗丸太拾壱本
代壱〆百文
一弐百文　竹代

一明俵拾俵　　太　七
　代百六十四文
　十六文　　太　七
一□
一明俵四十八俵　　林右衛門
　代八百文
　〆銭三〆七百九十四文
　普請人足賃
　〆銭弐拾八〆五百文

（桜井　晃家文書　2—37）

以自普請仕来候処保兼、何卒普請丈夫ニ補理渡船場通路難義ニ不相成候様仕度、村方一同相談相決候得共、素々困窮之村柄ニ而自力ニ難及、無余義其　御村衆中様方江御助成之程偏奉希候、以上

早瀬

嘉永三戌年正月

世話人　年寄　与右衛門㊞
同　安兵衛㊞
同　杢左衛門㊞

村惣代

セハ人源右衛門㊞
同　浅右衛門㊞
同　惣次郎㊞
同　源兵衛㊞

（内山昌明家文書　16—2）

二五　嘉永三年正月　下新倉村渡船場普請他力助成帳

（表紙）
渡船場普請他力助成帳
（縦帳）

今般私共村方渡船場之義、荒川向者豊嶋郡成増村地先ニ御座候、然処累年引続度々出水ニ而地所追々欠崩、往来之衆中莫大之難義ニ被及候事ニ付、夫々村人足ヲ

二六　明和四年六月　白子村牛房堰普請下げ金下知状

覚

一金壱分銀七匁五分

此銭五百拾四文

右者牛房堰普請、土代為増金相渡者也

明和四亥年六月晦日

地頭㊞

下白子村

太郎兵衛

冨右衛門

（冨澤泰次家文書　122—522）

四産業

1 農業

二七 天保八年二月 上新倉村田畑小作帳

（表紙）

天保八年
田畑小作帳
丁酉二月吉日

（横小帳）

覚

向原
一壱分五百文　定五郎
同所
一壱分七百文　長治郎
同所
一壱分弐百文　幸助
向原
一壱分弐百文　与右衛門
向原
一三朱　留五郎
向原
一壱分四百文　庄蔵
向原堀口
一壱分八百文　七五郎
向原
一弐朱五百文　惣治郎
向原
一壱分弐朱四百文　辰五郎
五畝わり
一八百文　幸助
原
一七百文　安五郎
八畝わり
一弐朱三百文　勇五郎
五畝わり
一弐朱弐百文　金兵衛

三畝わり
一弐百文　留五郎
雑丹袋
一壱分弐百文　弥四郎
同所
一壱分弐百文　半蔵
同所
一壱分四百文　勝五郎
弐
大原
一八百文　伊之助
大原
一八百文　忠右衛門
大原
一八百文　定五郎
惣〆三両壱分弐朱ト
銭九〆弐百文
惣〆四両三分三朱ト弐百七拾弐文
覚
留五郎

二月七日
七駄
小つかい弐百文
三月廿日
一六駄　幸助
弐百文
卯十一月廿二日　源治郎
一金弐両時かし
覚
酉
永五百六拾弐文弐分六厘
亥
永六百四拾五文八分五厘
永弐百六拾九文三厘
覚
卯十一月四日　大助
一弐〆四百文　権右衛門

覚

四月　幸　助
一六駄　百五拾文

七月十日
一五駄　百弐拾四文

八月二日
一七駄　弐百文

（裏表紙）
武州新座郡
上新倉村
星野藤右衛門

（星野　茂家文書　23―54）

二八　弘化二年九月　上新倉村田方入作小前差引帳

（表紙）
弘化二年
田方入作小前差引帳
巳九月吉日　上新倉村　長照寺
満願寺
（横帳）

覚

谷中　清右衛門作
一三俵半　入口
壱反四畝歩
内九畝歩　七合
籾壱石八斗九升
内五畝歩　四合
籾七斗五升
〆籾弐石六斗四升
内五斗弐升八合　弐割引
引〆籾弐石壱斗弐升弐合
米壱石五升六合
此俵　弐俵弐斗五升六合
内壱斗四合引米分
引〆弐俵壱斗五升弐合
谷中　金　松
一弐俵壱斗五升
九畝拾五歩　五合
籾壱石弐斗四升五合
内弐斗四升五合　弐割引

引〆籾九斗九升六合　　三之助
米四斗九升八合
内壱斗壱升五合　　引米分
引〆三斗八升三合
相ノ田　　八五郎
一六俵三斗
籾弐石七斗　　壱升
弐斗七升引
米弐石四斗三升
此俵六俵三升
八反目　　助右衛門
一三俵　　定免
細田　　平三郎
一三俵　　定免
相ノ田　　吉三郎
一三俵　　定免
谷中　　留五郎
一弐俵弐斗
内壱斗引　　壱升分
弐俵壱斗　小作

谷中
一壱俵半
内六升引　　壱升分
壱俵壱斗四升　小作
谷中　　栄治郎
一四俵半
壱反八セ歩内
内九畝歩　　五合
同籾壱石三斗五升
内九畝歩　　七合
籾壱石八斗九升
二口〆籾三石弐斗四升
内六斗四升八合引　弐割
引〆籾弐石六斗
米壱石三斗
内壱斗四升四合引米分
此俵弐俵三斗五升六合
京出　　文右衛門
一三俵弐斗　　五合

内壱斗四升七合引
三俵壱斗六升
〃〃〃〃〃〃
引〆七斗弐升八合出分
半才家
一四俵　利兵衛
内壱斗六升引
三俵弐斗四升
竹下
三俵弐斗　安五郎
内壱斗四升引
三俵壱斗六升
谷中
弐俵　手作
〆三拾壱俵
壱石七斗弐升壱合
此俵四俵
外ニ手作
正願寺分
五郎右衛門
五斗

内五升引
四斗五升
三俵
内壱斗弐升引
弐俵弐斗八升
一三斗
満願寺分
八五郎定免
三俵壱斗五升
与兵衛
内壱斗三升五合引
引〆三俵壱升五合
一四俵　半六
内壱斗六升引
引〆三俵弐斗四升
一五俵　半次郎
内弐斗引
引〆四俵弐斗
一四俵　八十八
内壱斗六升引
引〆三俵弐斗四升

一三俵　　文右衛門
内壱斗八升引
引〆弐俵弐斗八升
〆米七斗弐升八合　出　辻
弐俵弐斗内　　市三郎
内五畝歩　　七合
籾壱石五升
内五畝歩　　壱升
籾壱石五斗
〆弐石□（五カ）斗五升
内五斗壱升引
籾弐石四升
米壱石弐升
内壱斗四升五合引
引〆弐俵七升
弐俵七升五合
壱俵　　金　蔵
六俵　内弐升引　　庄左衛門

三俵　　五郎右衛門
内壱斗弐升引
引〆弐俵弐斗八升
弐俵三斗　　半　六
壱反壱畝歩　　五合
籾壱石六斗五升
内三斗三升　　弐割引
引〆壱石三斗三升
米六斗六升五合
弐俵　　勝五郎
内八升引
差引七斗弐升

（桜井　晃家文書　11—278）

二九　嘉永三年一〇月　上新倉村田米小作覚帳

（表紙）
嘉永三年
田米小作覚之帳
戌十月吉日
（横小帳）

覚

谷つ
一米三俵壱斗　ミね　勝五郎
同　ほり口
一同同　同　清五郎
同　大村
一同四俵　清五郎
同　同
一三俵壱斗　勘左衛門
同　四つぎ
一三俵弐斗　勘左衛門
同　上之郷
一弐俵弐斗　惣次郎
赤池　大村
一米弐俵弐斗　勘左衛門
同　ミね
一弐俵弐斗　仁兵衛
上谷つ　大村
一弐俵弐斗　鉄五郎
同　同
一壱俵三斗　岩右衛門
同　同
一壱俵　清五郎
同　同
一八俵壱斗　金蔵
上上谷つ　同
一五俵弐斗　太左衛門
同　岡村平沢
一弐俵弐斗　磯五郎

舟橋
一五俵三斗　上之郷　重左衛門
柳坪　ほり口
一壱俵五升　安八
〃〃〃〃　大野
舟橋　武兵衛
一弐俵弐斗　同
一壱俵五升　武兵衛
一弐俵壱斗五升　武兵衛
柳坪　ほり口
一弐俵弐升　清五郎
御廻シ　半ざ池
一三俵弐斗　かし　源次郎
谷中　□つ畑
一壱俵三斗五升　弥　〃〃〃□五郎
せねごだ　長坂
一壱俵三斗　〃〃〃留五郎
向田　上之郷
一四俵　仲次郎
同　大野
一四俵三斗　寅松
同　同
一四俵　助右衛門
立町　うるし代
一弐俵弐斗　甚五郎
あなだ　同
一四俵　又六
屋敷田　上之郷
一弐俵　〃〃〃留五郎

一同 三俵五升　同 平次郎
一同 三俵五升　同 重左衛門
一同 壱俵三斗七升　同 喜三郎
一同 弐俵三斗八升　同 惣次郎
一同 四俵　うるし代 七左衛門
七反目　同 音五郎
一弐俵壱斗　上の郷 弥次右衛門
七反目
一壱俵壱斗

〆百五俵三斗

（裏表紙）
上之郷
藤右衛門

（星野　茂家文書　23—56）

三〇　安政四年一〇月　上新倉村田畑小作覚帳

（表紙）
安政四丁巳年
田畑小作覚帳
上之郷
十月改メ　藤右衛門

（横小帳）

田小作人俵数
覚

字屋敷田
一米三俵　初五郎妻
内弐升引

同所
一米弐俵　五郎吉
内弐升五合引
内米壱俵取
内金壱歩受取

字屋敷田
一米六俵　重左衛門
壱斗

同所
一米弐俵ト　音五郎
壱斗

同所
一米四俵　徳次郎

字屋敷田　井口
一米弐俵ト　助五郎妻
弐斗　八五郎
代金壱両弐歩ト銭七百文受取申候

立町　車力
一米弐俵　勝五郎
弐斗

穴田
一米四俵　又六

向田　大野
一米四俵　仙蔵

同所　台村
一米四俵　多左衛門
三斗
米四俵取

柳坪　台村
一米六俵　平助
五俵三斗五升取

向田　台村
一米四俵　七郎左衛門
内米弐俵取
弐斗取

向田
一米壱俵　庄次郎

向田
一米壱俵ト　浅五郎
弐斗五升

柳坪　堀口
一米弐俵　清五郎
弐斗

御廻シ　大工
一米三俵ト　勝五郎
弐斗

谷中
一米壱俵　弥市
三斗五升

銭五田　大工
一米壱俵ト　勝五郎
三斗五升
壱俵取

宮下　四つ木
一米三俵　三右衛門
弐斗

赤池
一米弐俵ト　仁左衛門
弐斗

関口
一米弐俵　惣次郎
弐斗

谷ツ　堀口
一米三俵ト　清五郎
壱斗
二口内米五俵ト弐斗取

同所
一米三俵ト
壱斗

合
三五郎

宮下
一米弐俵ト
弐斗
両方共内五俵ト壱斗五升取
勘左衛門

赤池
一米四俵
内五升引
内米三俵取置弐歩取
清五郎

関口
一米三俵
壱斗
内五升引
勘左衛門

谷つ
一米弐俵
権右衛門
清五郎

上谷つ
一米八俵ト
壱斗五升
金蔵

同所
一米弐俵
弐斗
鉄五郎

同所
一米壱俵ト
三斗
同壱俵ト弐斗三升五合取
勘五郎

同所
一米壱俵
清五郎

同所
一米五俵
弐斗
内米四俵ト五升
権兵衛

舟橋
一米五俵ト
別ニ三斗
重左衛門

上谷つ
一米四俵
内

向田
一米三俵ト
弐斗
内

七反目
一米拾俵
内

七反目
一米八俵
内

惣〆米百三拾四俵半

巳年上米覚
久太郎組分

一米八俵
重左衛門

一米弐俵
六兵衛

一米三俵　源八
一米四俵　徳次郎
一米三俵　四ッ木又六
一米三俵　大野三右衛門
一米四俵　ミね千吉
一米壱俵　弥市
一籾八俵　内
一米弐俵　内
一米八升八合二夕
舟ちん壱貫七百八十五文
〆米三拾俵　籾八俵

巳年上米覚

一米五俵　清五郎
一米弐俵　大工仁左衛門
一米三俵　勝五郎
一米弐俵　車力勝五郎
一米壱俵　内

一籾三俵　内
米八升七合三夕　嘉右衛門ゟ
のり三合五夕　藤右衛門遣ス
舟ちん七百六拾四文
〆米拾三俵　籾三俵
米拾弐俵　籾三俵与
米弐斗八升七合五夕三才

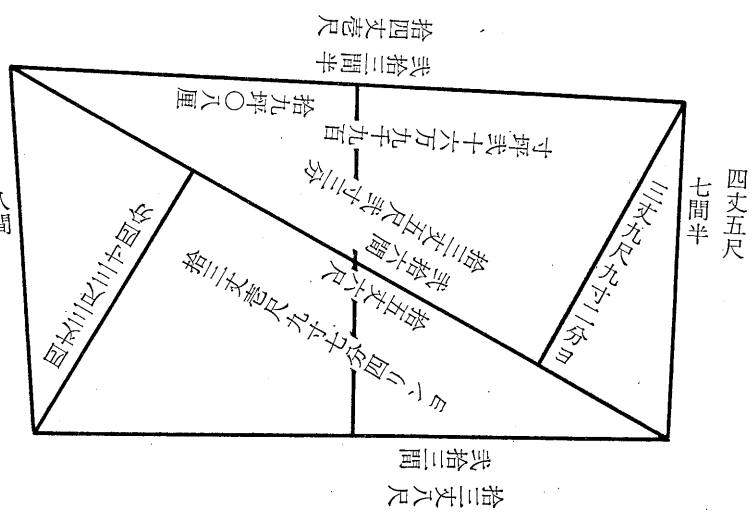
上米覚

一米弐俵　六兵衛
一米三俵　七郎左衛門
一米弐俵　大工仁左衛門
一米壱俵　勝五郎
一米三俵　藤右衛門
一籾弐俵　藤右衛門
一籾弐俵　六合積り大工勝五郎
一籾弐俵　七郎左衛門
一籾弐俵　原ニ而升　屋根屋音五郎

米拾壱俵ト籾五俵与
金拾弐両三歩ト
内米弐升八合壱夕　茂右衛門ゟ
藤右衛門
舟ちん壱貫五百七拾壱文

一米三俵　堀口
よつ木　清五郎
一米弐俵　三右衛門
四つ木
一籾壱俵　三右衛門
堀口
一籾弐俵　清五郎

米五俵ト籾三俵ト　両替米
金五両ト銭四百文　五斗八升替
内米壱斗三升弐合五夕　勘五郎ゟ
のり五合四夕のり　文右衛門ゟ遣
内米五升八合五夕八才
舟ちん五百八拾弐文



四丈三尺五寸
七間壱尺五寸
壱丈六尺五寸八分ヨ
弐拾三間
拾三丈八尺
六間弐尺
三丈八尺
北
拾六丈〇五寸
弐拾六間四尺五寸

四丈弐尺
七間
拾七丈〇五寸
弐拾八間弐尺五寸
弐拾七間
拾六丈弐尺
七間
四丈弐尺
北
拾七丈壱尺五寸
弐拾八間三尺五寸

四丈三尺五寸
七間壱尺五寸
拾六丈三尺
弐拾七間壱尺
拾五丈六尺
弐拾六間
拾七丈壱尺五寸
弐拾八間三尺五寸
六間四尺五寸
七丈〇五寸
北

四丈弐尺
七間
拾五丈壱尺
弐拾五間壱尺
拾四丈壱尺
弐拾三間半
拾弐丈六尺
弐拾六間
七間半
四丈五尺
北

おぼえ

一米三俵　重左衛門
一籾弐俵　同　人
一米弐俵　六兵衛
一米三俵　清五郎
一籾弐俵　同　人
一米壱俵　仁左衛門
一籾壱俵　同　人
一米壱俵　大工勝五郎
一米弐俵　同　人
一米弐俵　三右衛門
一籾壱俵　同　人
一籾弐俵　坂下屋根屋音五郎
一籾弐俵　台村権兵衛
一籾弐俵　同　金蔵
一籾弐俵　同　金右衛門

（星野　茂家文書　23―61）

三一　文久元年正月　上新倉村船肥河岸揚覚帳

（表紙）
文久元酉年
船糞河岸揚覚帳
正月日　星野藤右衛門
（横帳）

覚

正月廿二日揚
一拾駄

正月廿八日
一拾駄

二月十日
一拾駄

二月十五日
一七駄

金壱両壱分弐朱ト四百文
二月廿一日
一七駄
慶応二寅年二月　日
木挽町四丁目
裏上　丑之助様
二月晦日
三月朔日　雨天ニ而二日揚ゲ
一拾四駄
三月十日
一七駄
金壱両弐分壱朱ト弐百文
四月廿四日
一拾四駄
四月廿九日
一七駄
五月八日
一八駄
金弐両ト六百文
六月朔日
一拾弐駄
金壱両三分ト四百文
銭相場六貫六百文
六月廿八日
一七駄
七月四日
一七駄
七月十四日
一七駄
七月廿一日
一七駄
金壱両ト壱〆弐百文
八月三日揚
一拾駄
八月十一日
一拾駄
八月十三日

一七駄
金壱両弐朱ト八百文
八月十九日
一七駄
八月廿二日
一九駄
八月廿五日
一七駄
九月五日
一九駄
九月九日雨天ニ而十二日揚ゲ
一六駄
九月十七日
一七駄
金壱両壱分壱朱ト弐百文
文久二壬戌　正月廿八日・廿九日　両日揚
一拾駄　まぜごゑ遣ウ

二月十六日揚
一七駄　まぜごゑニ仕ウ
此銭者小遣へ入用ニ付、現金ニ致候、壱舟ニ付、金壱両弐分壱朱ト云糞宜無ニ付、壱両弐分ニ致申候、右之分代金壱分弐朱喜平次へ相渡シ申候、二月十七日夜兼ノ仕へ
二月十六日揚寅舟
一七駄　まぜごゑ仕へ
内三駄分薩摩犁底に仕へ
金壱両壱分弐朱ト八百文
壱駄ニ付三百五拾六文
二月廿五日揚ヶ
一拾四駄　苗間へ遣ウ
内此時者弐駄分八畝割　菜種へ掛る
三月朔日揚ヶ
一拾駄　内江揚
外四駄
内四駄半　いへあとの麦へ掛ル

内壱荷　　出口の菜種へ掛ル
内七駄まぜこへ仕ゥ四月三日
三月八日揚ヶ
一四駄　　烏苗間糞
金壱両弐分壱朱ト弐百文
壱駄ニ付三百七拾八文
四月廿九日
一八駄　　田糞
内壱駄内江付る　　稗ヲ蒔
五月十四日
一七駄　　稗ヲ蒔
友五郎へ参ル　清助舟
五月十六日揚ヶ
一拾四駄
内七駄内江稗ヲ蒔
内七駄　　田糞
五月十九日揚ヶ
一拾弐駄　　田糞

此内弐駄内江附る稗ヲ蒔
六月十三日
一五駄　　内江附る
大根まぜ元こえ

覚

戌七月十日揚ヶ
一拾壱駄　　内江揚る
内拾駄　　あい弐番掛糞
七月廿三日揚ヶ
一六駄　　内江揚ル
八月四日揚ヶ
一八駄　　向原九日　大根掛ル
戌八月十一日揚ヶ
一七駄　　向原　大根掛ル
内壱駄内江附ル
八月十六日揚ヶ
一拾駄

内五駄　人参こゑ掛ル
内五駄　まぜごへ
此時外壱駄　舟主付させる

戌八月廿三日揚ヶ
一拾弐駄

閏八月九日揚ヶ
一拾駄

九月五日揚ヶ
一拾駄　天神上な種蒔

戌九月十四日揚ヶ
一拾駄　八畝割　ちくだ小麦蒔

九月廿一日揚ヶ
一拾弐駄

内六駄　八畝割大麦蒔
内弐駄　おこしのま大麦蒔
内弐駄　台弐畝割蒔大麦
内弐駄　台壱畝割大麦蒔
外壱駄舟主内へ付させる

戌十一月八日揚ヶ
一拾駄

内ニ拾駄有　な種かけ糞

戌十二月十二日
一七駄　内江揚ル

十二月十五日相渡し
代金壱分弐朱元金

文久三癸亥年

正月十五日揚ヶ　寅舟
一七駄　内江揚ル

まぜ肥

正月廿四日　同
一拾駄　内八駄　苗間
内弐駄　まぜ肥

二月五日揚ヶ　同
一拾駄　内四駄　烏苗間

内弐駄　苗間
内用水附壱荷宛ツヽ六枚へ
此分三駄
内壱駄内江揚ル
亥二月十三日揚　寅舟
一五駄　内江揚ル
ませ肥
亥二月廿七日　寅舟
一七駄　内江揚ル
亥三月九日
一拾四駄　田肥
四月十六日揚ヶ　代舟
一拾弐駄　内江揚ル
稗ヲ蒔
四月十九日揚ヶ　清五郎へ参ル舟
一五駄　内江揚ル
稗ヲ蒔
亥五月廿四日　寅舟
一拾駄　内江揚ル
一七駄　内江揚ル
〃〃　〃〃〃〃
亥六月廿四日揚ヶ寅舟
一拾駄　内江揚ル
亥七月朔日揚ヶ　寅舟
一七駄　内江揚ル
亥七月二日揚ヶ
一拾駄　内江揚ル
内六駄　大根掛ル
内三駄半荷　人参掛ル
亥七月十四日揚ヶ
一七駄　内江揚ル
亥七月十八日揚ル寅舟　十九日　廿日　懸ル
一七駄　大根江掛ル
外壱駄半荷内ニ有肥懸ル
亥八月十日　寅舟
一拾弐駄　内江揚ル

亥八月十四日　寅舟
一七駄　内江揚ル
外壱駄舟主附させる
亥八月廿三日　寅舟
一拾駄　内出菜種
亥九月三日揚ヶ　寅舟
一拾四駄　内弐駄　台弐畝割
内壱駄三荷　おこしのま
内三駄　内家揚ル
内七駄壱荷　八畝割ちくだ
亥九月八日　大麦小麦
一八駄　八畝割蒔
五百七文
文久四甲子正月初ゟ
覚
二月十三日揚ヶ　喜平次内
一拾駄　内家揚ヶル
二月十九日揚ヶ
一七駄　苗間肥
内弐駄ませ肥
元治元甲子七月十五日始メ
外ニ弐駄内ニ有肥ませる　喜平次殿内
子七月十五日揚ヶ
一七駄　ませ肥
子七月廿四日揚ヶ
一八駄　内壱駄半
内三駄半ませ肥
九日大根
内三駄　人参へ
八月朔日揚ヶ
一七駄　ませ肥
九月十日揚ヶ　八畝割
一六駄　菜種蒔
九月廿一日揚ヶ寅舟
一七駄　内四駄半　三畝割大麦蒔
内弐駄半　弐畝割同蒔
半荷　おこしのま蒔

十月廿六日
一五駄　内家揚ル　十月廿六日
文久四甲子正月初ゟ
二月十八日揚ヶ
一七駄　清五良
内六駄苗間肥　内壱駄内家揚ル
二月廿二日揚ヶ
一拾駄　内家揚ル
まぜ肥
子三月八日揚ヶ
一拾駄　烏苗間へ六駄入田糞
内四駄内家揚ル
子四月廿八日
一拾壱駄　内家揚ル
内
子五月十三日揚ヶ
一拾駄　田糞
内九駄川向ノ田肥

内壱駄内家揚ヶ
四拾八駄
此代金三両壱分三朱ト
メ
子七月払　壱メ弐百文　此分小使
元治元甲子七月始メ
清五郎
七月廿一日揚ヶ
一七駄　まぜこい
七月廿九日揚ヶ
一七駄　まぜこい
七月十日揚ヶ
一拾四駄　まぜこい
七月廿三日揚ヶ
一拾四駄　まぜこい
子九月九日揚ヶ
一拾四駄　内八駄八畝割菜種蒔
内六駄内家揚ヶル

子九月十五日揚ヶ
一拾四駄　内六駄三畝割大麦蒔
内おこしのま五たい大麦蒔
内六駄三たい八畝割
ちくだ小麦蒔

覚

元治二乙丑正月吉日
清五良殿

丑正月廿日揚ヶ
一拾四駄　内六駄八畝割菜種掛ル
内壱駄おこしのま掛ル
内七駄内家揚ル

丑正月廿八日揚ヶ
一拾四駄　内家揚ル

丑二月廿一日揚ヶ
一拾駄　内家揚ル
此時半荷不足致ス
此分三月十六日分

丑三月十六日揚ヶ
一七駄　烏田肥

丑五月四日揚ヶ
一七駄　内三駄八畝割
稗ヲ蒔キ
内四駄内家揚ヶ

丑五月廿二日揚ヶ
一拾駄　苗間三駄半
半荷
川向の田へ
六駄内家

閏五月十三日揚ヶ
一七駄　向原稗掛肥
内五駄
内弐駄

慶応元乙丑七月七日始メ
一五駄　清五郎内

七月九日
一七駄　内家揚ル

七月廿二日
一拾四駄　内家揚ル

八月十二日十三日揚ヶ
一拾駄　ませ苗

八月廿四日揚ヶ
一拾四駄　内出菜種蒔

八月廿七日揚ヶ
一五駄　内弐駄菜種おこしのま
内三駄八畝割菜種

八月廿八日揚ヶ
一七駄　八畝割菜種蒔

八月廿九日
一拾駄　八畝割小麦蒔

十二月二日
一八駄　内家揚ル

十二月十一日
一拾駄　内家揚ル

元治二乙丑年正月吉日
肥宿
喜平次殿

二月朔日揚ヶ
一三駄　三畝割大麦掛肥

二月八日・九日両日揚ヶ
一八駄　内家

三月二日揚ヶ
一七駄　内家揚ル

三月十九日
一五駄　田糞揚ル

慶応元乙丑六月廿五日始メ
一七駄　喜平次内

七月

一七駄　ませ肥
七月晦日揚ヶ
一五駄　ませ肥
慶応二丙寅初船ゟ　清五郎内

覚

金弐両三分弐朱ト弐百文
壱駄ニ付　七百〇六文

正月九日揚ヶ
一拾駄　内五駄八畝割　な種
内弐駄向原
内三駄内家

正月十四日揚ヶ
一拾四駄　内八畝割麦へ　三駄半
内家揚ル

正月廿四日揚ヶ
一七駄　内壱駄半　おこしま懸
内壱駄半　八畝割麦
残り内

二月三日揚ヶ　此儀日者聢与不相分候
一拾四駄　内家揚ヶ

〆壱船半三駄
金四両壱分壱朱ト弐貫四百拾八文

二月廿七日
金三両ト弐百文　壱駄ニ付七百三十五文
一拾駄　内六駄烏肥
四駄七百□

金壱両壱朱ト百三十三文

金三両壱分ト弐百文
三月十三日揚ヶ　壱駄ニ付七百九十三文
一拾四駄　内拾駄七百文
四駄内家

三月十四日揚ヶ
一七駄　内家揚ル

四月廿八日揚ヶ
一七駄　内家

四月廿二日揚ヶ
一拾四駄　内家

〆壱船半金四両三分弐朱ト三百文

五月三日揚ヶ
金三両弐分ト弐百文
壱駄ニ付八百五十五文
一弐拾壱駄　田糞
五月四日揚ヶ
一七駄　田糞
五月廿五日揚ヶ
一弐拾壱駄　稗かけ肥
六月二日揚ヶ
一拾駄　稗掛肥
〆弐船三駄　金七両壱分弐朱ト四百廿壱文
駄数〆而百五拾六駄
代金〆而拾七両弐分ト四貫百廿四文
内三〆九百文　小使引
残り金　拾七両弐分ト弐百廿四文
覚
寅七月三日　金弐両壱分弐朱ト弐百文
一七駄　内家揚ル
壱駄ニ付六百壱文
寅七月十一日
一六駄　内家揚ル
此時者拾四駄揚ル対談致候処、肥不足ニ而六駄揚ヶ申候、小使相渡不申候
七月廿一日揚ヶ
一七駄　弐拾駄分　内家
金壱両弐分三朱ト弐百八文
八月五日夜船
九日揚ヶ　金弐両壱分ト弐百文
壱駄ニ付五百六十七文
一拾駄　内家
金三分一朱ト弐百十八文
九月朔日揚ヶ　金弐両三分ト弐百文
一拾四駄　内四駄八畝割菜種
内拾駄内家
九月十三日揚ヶ
一拾四駄　金弐両三分ト弐百文
十二月　金三両弐分ト三朱ト弐百相場

一拾壱駄　壱駄ニ付金弐朱ト五十二文　内家
十二月十四日揚ヶ　金三両三分ト弐百文
一拾四駄　内家
壱駄ニ付　金弐朱ト六十七文
十二月十五日揚ヶ　同断
一拾駄　内八駄八畝割　な種へ
〆金四両弐分三朱ト七十八文
七月ゟ
弐口〆金

覚

慶応三丁卯正月吉日
四両壱分弐百相場　与四郎
正月廿三日揚ヶ
一肥拾四駄　内家揚ル
二月五日揚ヶ
一肥七駄　八畝割大麦掛肥
此時者現金肥金壱両ト三百廿文ツヽ
船主留五郎

二月九日
一拾四駄
二月十二日
一十四駄
二月十七日　四両弐分弐百相場
一十四駄　代済
二月廿四日
一七駄　代済
二月廿四日
一十四駄
三月朔日
一十四駄　代済
三月十三日
一七駄　代済
三月十三日
一七駄
四月十八日　四両三分弐百相場
一七駄

六月二日　五両弐百相場
一十四駄
六月十日
一十駄
〆而駄数百四十三駄
内代済四十九駄引
残り駄数九十四駄
代金拾五両三朱ト九百六十文
内小使三貫百三十弐文引
差引残金〆拾四両三分弐朱ト三百五十八文
卯七月十日

覚

三両壱分ト弐百文
卯七月十一日
一七駄
卯七月十二日
一七駄
ませ肥

卯七月廿日
一拾四駄
卯七月廿八日
一拾四駄
卯八月朔日
一拾駄
ませ糞
ませ肥
内壱駄半荷人参掛肥
弐駄大根
ませ肥

九月四日
一拾駄
九月十一日
一拾駄
九月十九日
一弐拾壱駄
三両弐分ト弐百文

十一月十六日
一七駄
卯十二月六日
一拾四駄
三両三分ト弐百文

〆百十四駄
代金拾三両三分三朱ト壱貫百四十六文

内小使三貫三百三十弐文引
差引〆金拾三両弐分三朱ト百十四文相渡也
卯十二月八日

慶応四戊辰正月　日
覚
金三両壱分弐朱ト弐百文割
辰正月十三日
一弐拾壱駄　十四駄内七駄三畝割懸肥
辰二月十五日揚ヶ
一拾駄　内家揚ル
金三両壱分ト弐百文割
辰三月朔日
一拾四駄　内へ揚ヶ
辰三月六日揚ヶ
一弐拾壱駄　内家揚ヶ
金三両弐朱ト弐百文割
辰三月廿四日揚ヶ
一拾四駄　苗間肥
内金壱両渡し
辰四月九日
一弐拾壱駄　苗間肥ト内家揚ル
内金三両渡し
金三両壱分ト弐百文割
四月十七日
一七駄　内家揚ル
辰閏四月五日
一拾四駄　船渡し留内家揚ル
此代金壱両弐分ニ而相済申候
閏四月十六日
一三駄　苗間掛肥
〆百弐拾五駄分
代金〆拾四両壱分弐朱ト
弐貫百四拾八文

覚

金弐両弐分ト弐百文相場

辰七月五日揚ヶ

一五駄　内家揚ル

辰七月廿五日揚ヶ

一七駄　内家揚ル

辰七月廿九日揚ヶ

一拾四駄　内家揚ル

〆弐拾六駄

代金弐両壱分壱朱ト弐百七十四文

金弐両三分弐朱ト弐百文相場

辰八月廿八日揚ヶ　小使是ゟ四十八文づゝ

一弐拾壱駄　内家揚ル

代金弐両弐朱ト四百七十弐文

金三両弐分ト弐百文相場

辰九月十四日揚ヶ

一拾弐駄　大麦蒔

○印内　内八畝割半寺方船肥八駄ニ而蒔

内八畝割向の道之方弐駄蒔ニ

辰九月十五日揚ヶ

一八駄　大麦

○印内　内八畝割向の方六駄ニ而蒔

内おこしのま弐駄ニ而大麦蒔

此時者弐拾壱駄の積りニ御座候へども、外人揚ヶ込候て不足致し候

辰九月十七日揚ヶ此時者現金ニ而壱船ニ付三両弐分ニ而揚ヶ而貸度候へとも極月相場ゟ壱船ニ付壱分弐百文安の積り

一弐拾壱駄

内金弐両壱分相渡し

三畝割小麦七駄ニ而蒔

内壱畝割弐前ニ而小麦四駄半ニ而蒔

壱反割茅野中大麦壱駄一たいニ而蒔

八駄ト壱たへ内家揚ケル

代金弐両壱分三朱ト百四十八文

内金弐両壱分引

残金三朱ト百四十八文也

十月朔日・二日揚ヶ　東ノ方□□
一拾九駄　内五駄　八畝割掛肥
○印内拾四駄内家揚ケル
三口〆三拾七駄代金四両弐分弐朱ト
弐百六十弐文

辰十二月朔日
一七駄　留船殿
現金代金三分弐朱也
壱船ニ付三両弐分定メ
此時外弐拾駄揚ケル
代金壱分也

辰十二月十二日　平十郎渡也
駄数百五駄○
〆代金〆拾壱両弐分ト
壱〆百六十四文
内金弐両壱分引

小使三貫七百六十四文
此分引
小使之儀者右弐拾六駄分者壱駄ニ付三十弐文割
弐口　五十八駄者壱駄ニ付四十八文割也
右之内差引残リ
〆金九両ト壱文相渡し
辰十二月十二日夜　平十郎□内ニ而渡也

明治二己巳年
覚
巳正月廿三日揚ヶ　留五郎船
一拾壱駄半荷　船糞
内家揚ケル
此時者半船之分弐駄半荷不足
小使請取不申候
現金肥ニ相成候
代金壱両壱分三朱也
巳正月廿五日相渡し申候

巳正月晦日
一拾四駄　内家揚ケル

巳二月二日
一拾四駄　内家揚ケル

巳二月廿一日
一拾四駄　苗間肥

明治二巳十二月十（日脱カ）
壱船ニ而金五両之注文
一拾六駄　内家揚ル

代金弐両三分壱朱ト
四百四十五文之処
兵左衛門へ四百四十八文相渡シ
壱駄ニ付壱〆七百八十弐文三分当ル

覚

明治二年
巳七月三日
一拾四駄　内家揚ル

巳七月十一日十二日両日揚ケ
一弐拾四駄　同断

巳七月廿二日
一七駄　同断
〆壱船拾七駄代金五両弐分
弐朱ト三百弐拾一文

巳九月八日
一拾四駄

代金壱両三分弐朱ト百文

巳九月廿四日
一拾四駄　〆七十三駄
小使三〆六百五十文
是ゟ壱駄ニ付六十四文成也

巳十月二日
一拾駄

巳十月三日
一拾四駄
〆壱船拾駄代金六両弐朱ト九十文

巳十一月八日

一弐拾八駄
巳十一月十日
一弐拾八駄
〆弐船代金七両弐分ト四百文
〆駄数百五十三駄
代金弐拾壱両弐朱ト九百十五文
内小使金壱分ト七貫百十六文引
小使金直シ
〆金三分弐朱ト八百六十四文
右之内差引
残金弐拾両壱分ト四十七文
外ニ八月十二日揚ヶ之分
弐拾壱駄　附落
清助船
代金弐両弐分弐朱ト百四十八文
内壱〆四十八文　小使引
残り金弐両弐分ト三百四十八文

（星野　茂家文書　20―2）

一三　寛政元年一二月　下新倉村下肥値段引下げに付儀定連印帳写

（表紙）
寛政元酉年
下糞直段引下ヶ方御願ニ付
儀定連印帳之写
十二月　下新倉村名主　助右衛門
（縦帳）

為取替儀定一札之事

江戸近在領之儀（々脱カ）、近年作方肥し高直ニ付、諸作江仕入候而茂肥金価与引合不申、惣百姓及難義、別而下糞之儀五拾年以前与者三四増倍茂高直ニ相成、其外之肥シ類共右ニ准シ高直ニ付、諸作蒔仕付候而茂右肥仕入金之価無之、百姓一統困窮相募り、往々右之通ニ御座候而ハ大切成御田地相続者勿論、其上百姓可取続方便曽而無之、自退転仕候ゟ外無之甚難渋仕候ニ付、何レ共手段を以右下糞直段引下、百姓渡世仕度候間、何分御

願呉候様相歎キ候得共、右躰之御願筋容易ニ者御願難申上旨、一同相心得差扣罷在候、然ル処此節御年貢米永御上納ニ江戸宿江打寄、右肥高直ニ付、百姓難取続旨咄合候処、何レ之領内も一統之儀ニ付、無余義今般下糞直段引下方御願ニ罷出候処、願書御取上御吟味ニ相成、右下糞直段之義ハ百姓共糶り上候事ニ候間、如何様ニ茂申合行届キ候ハヽ、自直段下直ニ茂可相成旨、段々御利解被為　仰聞、惣代共一同承知奉畏、畢竟御府内又者在々ニ而肥商売渡世之者銘々私欲ニ拘り、外々掃除仕来り候場所を手筋を以糶り落シ候類も多分有之、自然与高直ニ相成候得共、一躰相対を以仕来り候事故、立金等も畢竟区々ニ付、惣代共帰村之上領中限り小前百姓方江御利解之趣為申聞、此度左之領々相談之上為申合候者、先年下掃除致来り候者向後迚茂御屋舗様其外町方共以前之通可仕候、然ル上者是迄下掃除仕来り候ものゝ場所江、其領中之者ハ不及申ニ他領之者、下掃除仕来り候場所江手入仕糶り落シ候様子有之候ハヽ、左之領々惣代之者江早速相届ヶ右躰之義、聊無之様取斗可申候、且亦御屋舗様方、其外在町ニ不限、下掃除仕来り候場所、無謂被取放候欤、又者勝手を以相休候者有之候節、身寄者不及申ニ領中・他領之者成共、跡引請候ハヽ、先請之者江何レも引合之上、金高等増減無之跡引請候様、是又相対申合候、自然壱ヶ領ニも右之儀定相背候もの有之候ハヽ、左之連印之者一同相懸り違変無之様可致候、若内分ニ而難相済及出訴ニ茂候ハヽ、右一件諸入用之義ハ高割を以左之領々一統助合可申候、且右議定忘却為無之、毎年十一月廿日御年貢米永御上納之序、馬喰町四町目江戸宿伊勢や久兵衛方ニ寄合、尚又取締り方等可申合候、如此領々一統議定申合候上者右之趣、領限り組合村々小前迄急度申合候事ニ付、已来違背致間舗候、為後日議定為取替連印致置申処仍而如件

前書之通、此度江戸近在村々一同下掃除下直ニ相成候様奉願上、尤糶り合等無之様儀定之趣、逸々御申被聞承知仕候、依之連印入置申候処仍而如件

寛政二戌年
二月十四日

（柳下和夫家文書　20―61）

二三　寛政三年二月　下新倉村下掃除対談掛合書上帳

（表紙）
寛政三亥年　下書
下掃除対談掛合方否書上帳
二月　武州新座郡下新倉村
（縦帳）

一下掃除人
　此訳
一駒込片町上組家主伊右衛門
　此掃除金三分弐朱　但壱ケ年ニ三拾八荷
　　銭相場五貫八百文　壱荷ニ付銭百五文
是者去酉年迄金壱両ニ而掃除致候処、去戌年毎金ニ（前カ）
相成候ニ付三分二朱ニ相成候、此節引下掛合致候処
一円不承知ニ付、右之直段ニ而掃除致候分

一本郷春木町三丁目家主清助
　掃除代金壱分ト大根三百本　但壱ヶ年六十荷宛
　掛合之上四百文引下ケ　壱荷ニ付銭廿三文
　　大根五本
右者此度掛合候処一統之事ニ候ハヽ引下ヶ可申候得
共、聞合其節之掛合ニ可致候旨ニ而、仕来り候直段
ニ而掃除致候分
　　掃除人嘉右衛門
一本郷春木町三丁目家主清蔵
　掃除代銭三貫六百文　但壱ケ年ニ六十荷
　対談之上引下ヶ可申候　壱荷ニ付銭五十七文六分
是ハ掛合候処、一統ニ候ハヽ引下ヶ可申候得共、聞
合其節引下ヶ可申旨ニ而、仕来り之通ニ而掃除致候
分
　　掃除人金右衛門
一下谷長者町家主平七
　此代金三分　但壱ヶ年ニ六十荷
　　壱荷ニ付銭六十九文三分

是ハ引下ヶ呉候様掛合候得共、一円不承知ニ而引下ヶ不申、其上外江遣シ可申旨申候間、仕来り之通掃除致候分

掃除人藤左衛門

一下谷長者町家主善兵衛

掃除代金三分　但壱ヶ年七十弐荷

壱荷ニ付銭五十七文八分

是ハ引下ヶ呉候様掛合候得共、一円不承知ニ而引下ヶ不申候間、仕来り之通掃除致候分

掃除人藤左衛門

一下谷御数寄屋町家主幸助

掃除代金三分弐朱　但壱ヶ年九十六荷

相済　壱荷ニ付銭五十文六分

是ハ掛合候処、対談之上金三分弐朱ニ相極メ、直段引下ヶ呉申候

掃除人伝　八

一本銀町四丁目家主太七

掃除代金弐両　但壱ヶ年百九十弐荷

壱荷ニ付銭五十七文八分

右ハ掛合候処、此度金弐分引下ヶ呉申候間掃除致候分

掃除人伝　八

一神田皆川町壱丁目家主七兵衛

掃除代金壱両弐分弐朱　但壱ヶ年ニ百四十荷

壱荷ニ付銭六十四文五分

是ハ去ル酉年迄代金弐両ニ而掃除仕来り候処、去戌年ニ壱分弐朱引下申候而掃除致候分

掃除人勝五郎

一本郷四丁目家主藤兵衛

掃除代金弐両　但壱ヶ年ニ百廿荷

壱荷ニ付銭九十四文

是ハ去戌年七月迄金弐両弐分ニ而掃除致候処、毎金ニ相成候ニ付弐分引申候、此節引下呉候様掛合候得共一円不承知ニ御座候間、仕来り之通掃除致候分

掃除人惣五郎

一本郷丸山菊坂町家主与四郎

掃除代金壱分ト八百文　但壱ヶ年三十六荷

壱荷ニ付銭六十文

是ハ去戌年迄壱分ト壱メ文之所、内弐百文引下ヶ掃

除致候分　　掃除人平四郎

一同所同丁家主由兵衛

掃除代金壱分弐朱　但壱ヶ年三十六荷

壱荷ニ付銭五十七文八分

去暮家主相替り候故取上ニ相成候

是ハ去戌年迄金子弐分ニ而掃除仕来り候処、此節掛合候処、弐朱引下掃除致候分　　掃除人平四郎

一本郷菊坂田町家主長八

掃除代銭壱〆八百文　但壱ヶ年ニ廿四荷

壱荷ニ付七十弐文

是ハ古来ゟ掃除致候間、掛合之上仕来り之通掃除致候分　　掃除人平四郎

一明神下聖堂　家主佐七

掃除代金壱両　但壱ヶ年ニ八十四荷

壱荷ニ付銭六十四文

一円不承知ニ御座候

是ハ引下掛合致候処、一円不承知ニ付戌年直段ニ而掃除致候分　　掃除人藤　助

一下谷長者町家主勘右衛門

掃除代金壱両壱分　但壱ヶ年ニ九十六荷

壱荷ニ付銭七十弐文三分

是ハ去ル酉年迄三分弐朱ニ而掃除仕来り候処、去戌年ゟ壱分弐朱相増金壱両壱分ニ相成候、外江遣シ候様申候ニ付相増候、此節引下ヶ呉候様掛合候得共、一円不承知ニ御座候間、仕来り之通掃除致候分　　掃除人武左衛門

一明神下旅籠丁弐丁目上州屋市左衛門

掃除代金三分　但壱ヶ年ニ九十六荷

壱荷ニ付銭四十三文五分

右者去ル酉年迄金壱両ニ而掃除仕来り候処、去戌年ゟ対談之上、壱分引下ヶ掃除致候分　　掃除人五兵衛

一吉川町家主七兵衛

掃除代金弐両　但壱ヶ年ニ百廿荷

壱荷ニ付銭九十弐文六分

右同断

是ハ金弐両壱分弐朱之処、掛合之上壱分弐朱引下ヶ、金弐両ニ而掃除致候分

掃除人七左衛門

一本郷五丁目家主小左衛門
掃除代金壱両三分　但壱ヶ年ニ百四十四荷
壱荷ニ付銭六十七文
是ハ掛合候処一円不承知ニ付、仕来り之通掃除致候
分　掃除人孫　市

一下谷大門町家主小兵衛
掃除代金三分弐朱　但壱ヶ年ニ七十弐荷
壱荷ニ付銭六十八文
是ハ掛合候処一円不承知ニ付、仕来り之通掃除致候
分　掃除人孫　市

一福井丁家主茂兵衛
掃除代金弐分　但壱ヶ年ニ百廿荷
壱荷ニ付廿三文弐分
是ハ去ル酉年迄金壱両ニ而掃除仕来候処、去戌年対
談之上弐分引下ヶ掃除致候分　掃除人孫　市

一通新石町家主吉右衛門
掃除代金弐両　但壱ヶ年ニ百九十弐荷
壱荷ニ付銭五十七文九分
是ハ掛合候処、一統引下り之節為聞合、引下ヶ可遣
与申候間仕来り之通掃除致候分　掃除人半　平

一本郷元町三丁目家主吉右衛門
掃除代金壱分弐朱　但壱ヶ年ニ四十八荷
大根百本　壱荷ニ付銭四十三文二分
大根弐本ツヽ
是ハ掛合候処一統引下ヶ候ハヽ聞合セ引下可遣与申
候間、仕来り之通掃除致候分　掃除人市十郎

一本銀町四丁目家主嘉七
掃除代金三分　但壱ヶ年ニ九十四荷
壱荷ニ付銭四十五文七分
是者掛合候処、金三分弐朱ニ而掃除仕来り候処、弐
朱引下ヶ、三分掃除致候分　掃除人幾右衛門

一明神下御台町上州屋市五郎
掃除代金壱両　但壱ヶ年百廿荷
壱ヶニ付四十六文七分
右上州屋市五郎掃除、先年ゟ仕来り候処、当亥ノ正
月ゟ上練馬村金五郎与申もの相究メ候ニ付、金五郎

方へも相渡り、仲人相頼、戻呉候様相頼候得共、今以相戻し不申難義致候間、何卒相戻候様偏ニ奉願上候

掃除人勘兵衛

一明神下同□丁家主吉右衛門

掃除代金弐分　但壱ヶ年ニ四十八荷

壱荷ニ付五十七文七分

是ハ掛合候処、一統引下候ハ、聞合セ之上引下ヶ可遣と申、掃除致候分

掃除人定右衛門

一本銀丁四丁目家主市兵衛

掃除代金壱両壱分　但壱ヶ年百廿荷

壱荷ニ付六十文四分

是ハ引下ヶ之義掛合候得共、一円不承知ニ付、仕来り之通掃除致候分

掃除人源左衛門

右者当村下掃除人、去戌暮ゟ当時迄町方家主与掛合掃除致候分、書面之通相違無御座候、以上

下新倉村

寛政三亥年二月

助右衛門

源右衛門

太兵衛

町

御奉行所様

（柳下和夫家文書　20—46）

二四　享和三年六月　下新倉村広沢原雑丹袋新田検地帳

（表紙）

享和三亥年六月

広沢原雑丹袋新田御水帳之写

下新倉村

（縦帳）

壱番割古田境道

一秣場壱反七畝拾八歩　西ノ　善次郎

同

一見付畑八畝弐拾七歩　同　市十郎

同

一見付畑八畝廿七歩　同　同　人

同

一見付畑八畝廿七歩　同　同　人

同

一見付畑八畝廿七歩　同　同　人

一見付畑八畝廿七歩　同　同　人
一見付畑八畝廿七歩　宮久保　佐右衛門
一見付畑八畝廿七歩　同　同　人
一見付畑八畝廿七歩　谷戸　源左衛門
一見付畑八畝廿七歩　同　同　人
一見付畑八畝廿七歩　中新田　太郎右衛門
一見付畑八畝拾弐歩　中新田　六右衛門
壱番割
一見付畑八畝十二歩　中新田　六右衛門
一見付畑八畝十二歩　同　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　同　人
一見付畑八畝十二歩　新田　治郎右衛門
一見付畑八畝十二歩　同　同　人
一見付畑八畝十二歩　新田　仲右衛門
一見付畑八畝十二歩　同　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　同　人
壱番割
一見付畑八畝十二歩　新田　仲右衛門
一見付畑八畝拾弐歩　堂坂　久兵衛
一見付畑八畝十八歩　同　同　人

一見付畑八畝十八歩　同　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
壱番割
一見付畑八畝十八歩　同　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十八歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一秣場九畝九歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝九歩　中新田　治右衛門
一秣場九畝三歩　下り　仁三郎
一秣場弐畝三歩　新田　又右衛門
壱番割是迄
弐番割
一秣場九畝廿一歩　下り　佐平太

一秣場九畝廿一歩　中新田　七右衛門
一見付畑九畝六歩　下り　勝右衛門
一見付畑九畝六歩　下り　七兵衛
弐番割
一秣場九畝廿七歩　新田前　藤八
一見付畑九畝六歩　東明寺
一秣場九畝廿七歩　同寺
一秣場九畝廿七歩　新田前　又八
一秣場九畝廿七歩　同人
一見付畑九畝六歩　同人
一見付畑九畝六歩　同人
一見付畑九畝六歩　同人
弐番割
一見付畑九畝六歩　又八
一見付畑九畝六歩　同人
一見付畑九畝六歩　同人
一見付畑九畝六歩　嶋ノ　孫市
一見付畑九畝六歩　西ノ　岩右衛門
一見付畑九畝六歩　原ヶ谷戸　五兵衛
一見付畑九畝六歩　浅窪　七左衛門

一見付畑九畝六歩　同　同人
弐番割
一見付畑九畝六歩　浅窪　七左衛門
一見付畑九畝六歩　同人
一見付畑九畝六歩　曲榎木　吉左衛門
一見付畑九畝歩　同人
一見付畑九畝歩　下り　勝右衛門
一見付畑九畝歩　曲榎木　吉左衛門
一見付畑九畝歩　同人
一見付畑九畝歩　中新田　太郎右衛門
一見付畑八畝廿四歩　吹上　源太郎
一見付畑八畝廿四歩　金泉寺
一見付畑八畝十二歩　浅久保　孫八
一下ノ下畑八畝廿四歩　同　同人
一秣場九畝六歩　吹上　藤七
一下ノ下畑八畝廿四歩　同人
一下ノ下畑八畝廿四歩　中新田　蔵五郎
一下ノ下畑四畝三歩　新田前　源四郎

弐番割是迄

三番割
一見付畑九畝歩　五右衛門
一下ノ下畑壱反弐畝歩　同　人
一下ノ下畑八畝廿四歩　同　人
一下ノ下畑八畝廿四歩　浅久保　金右衛門
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一秣場九畝九歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　下り　仁三郎
三番割
一秣場九畝九歩　下り　仁三郎
一秣場九畝九歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　同　人
一見付畑八畝廿四歩　行人塚　伝八
一見付畑八畝廿四歩　伝八
一見付畑八畝廿四歩　同　人

一秣場九畝九歩
一秣場九畝九歩
一見付畑八畝廿四歩
一秣場九畝九歩
一秣場九畝九歩
一見付畑八畝廿四歩
三番割
一秣場九畝九歩
一見付畑八畝廿四歩
一見付畑八畝廿四歩
一秣場九畝九歩
一見付畑八畝廿四歩
一見付畑八畝廿四歩
一見付畑八畝廿四歩
一見付畑八畝廿四歩
三番割
一見付畑八畝廿四歩
一見付畑八畝廿四歩
一秣場九畝九歩
一秣場九畝九歩

浅久保　同　人
北ノ　金右衛門
浅窪　磯右衛門
新田前　七左衛門
定五郎
同　人
吹上　定五郎
源太郎
曲榎木　吉左衛門
同　人
中新田　勘五郎
同　太郎右衛門
新田前　又右衛門
中新田　太郎右衛門
新田前　源四郎
同　人
同　人
同　人

一見付畑八畝廿四歩　嶋　八右衛門
一見付畑八畝歩　同　人
一秣場九畝九歩　堂坂　久兵衛
一秣場九畝九歩　嶋　孫市
三番割是迄
四番割
一秣場九畝拾五歩　新田前　仲右衛門
一秣場九畝十五歩　新田　孫八
一秣場九畝十五歩　新田前　仲右衛門
一秣場九畝十五歩　源四郎
一秣場九畝歩　同　人
一秣場九畝歩　同　人
一秣場九畝歩　同　人
四番割
一見付畑八畝廿七歩　源四郎
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一秣場九畝歩　嶋　治右衛門

一秣場九畝歩　同　人
一秣場九畝歩　嶋　定七
一秣場九畝歩　嶋　治右衛門
四番割
一秣場八畝廿七歩　嶋　治右衛門
一見付畑八畝十二歩　下り　忠右衛門
一秣場九畝歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　浅窪　七左衛門
一秣場九畝歩　同　人
一秣場八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　浅窪　伝八
一見付畑八畝九歩　同　人
四番割
一見付畑八畝九歩　仏木　友右衛門
一見付畑八畝九歩　浅窪　弥五郎
一見付畑八畝九歩　谷戸　勝右衛門
一見付畑八畝十二歩　行人塚　伝八
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人
一見付畑八畝十二歩　同　人

一秩場九畝歩
四番割
一見付畑八畝十二歩
一下ノ下畑八畝十二歩
一下ノ下畑八畝十二歩
一秩場九畝歩
一下ノ下畑八畝九歩
一下ノ下畑八畝九歩
一下ノ下畑七畝十八歩

四番割是迄

道下
一下ノ下畑七畝六歩
一下ノ下畑八畝歩
一見付畑八畝歩
一見付畑八畝歩
一秩場五畝廿一歩
一見付畑八畝歩
一秩場八畝十二歩
道下弐割
一秩場八畝廿四歩

中新田 同 人
同 太郎右衛門 人
同 人
同 人
浅久保 同 人
弥 平 次
同 人
喜 平 次

中新田 幸 七
中新田 同 人
権 四 郎
同 人
浅久保 吉 左衛門
中新田 幸 七
新田前 同 人
喜 八

道下弐割
一秩場八畝廿四歩
一秩場八畝十二歩
一下ノ下畑七畝廿四歩
一秩場八畝十二歩
一秩場八畝十二歩
一見付畑弐畝十五歩
道下三割
一秩場七畝九歩
一秩場八畝九歩
一下ノ下畑八畝歩
一下ノ下畑八畝歩
一下ノ下畑七畝六歩
一下ノ下畑七畝六歩
一下ノ下畑七畝廿七歩
一秩場四畝廿一歩
一秩場三畝六歩
一秩場壱反廿七歩
一見付畑八畝九歩
一下ノ下畑八畝九歩

新田前 孫 八
同 人
同 人
又 八
同 人
新田前 同 人
源 四 郎
同 人
源 四 郎
浅久保 同 人
吉 左衛門
同 孫 八
同 人
同 人
浅久保 同 人
太 平 次
浅窪 七 左衛門
同所 弥 平 次

一秣場七畝九歩
一下ノ下畑八畝九歩
一秣場七畝六歩
一下ノ下畑八畝九歩
一下ノ下畑八畝三歩
一下ノ下畑四畝九歩
一下ノ下畑四畝十二歩
一下ノ下畑弐畝十五歩
一秣場九畝九歩
一秣場七畝十四歩
一下ノ下畑七畝十二歩
一下ノ下畑七畝十五歩
一秣場九畝廿四歩
一秣場七畝廿四歩
一下ノ下畑七畝十五歩
一下ノ下畑八畝十八歩
一秣場九畝廿一歩

壱鑑寺
東明寺
同寺
新田前 仲右衛門
同人
弥五郎
弥五郎
同人
同人
東福寺
七左衛門
同人
同人
助右衛門
弥右衛門
新田前 喜八
同人

広沢原新田
高廿四石五斗九升五合
此反別拾壱町弐反弐畝九歩
此訳
下ノ下畑弐町壱反四畝廿四歩
見付畑九町七畝十二歩
秣場五町三反壱畝三歩
享和三亥八月改之

雑丹袋新田
一砂畑壱畝三歩 川欠
一砂畑壱畝三歩 川欠
一砂畑廿壱歩 川欠
一砂畑廿四歩 川欠
一砂畑廿一歩 川欠
一砂畑廿一歩 川欠
一砂畑廿四歩 川欠
一砂畑壱畝十五歩 川欠

三 反廿弐
二 反十壱
広沢原入会 反十

吹上 金泉寺
芝 金右衛門
西ノ 善五郎
宮久保 市十郎
金山 佐右衛門
芝宮 伊兵衛
吹上 伊左衛門
市郎兵衛

一砂畑六歩　川欠
一下ノ下畑壱畝三歩　川欠
一砂畑壱畝三歩　川欠
一下ノ下畑三畝歩　川欠
一砂畑三畝歩　川欠
一下ノ下畑壱畝十二歩　川欠
一砂畑壱畝十二歩　川欠
一下ノ下畑壱畝十二歩　川欠
一砂畑壱畝十二歩　川欠
一下ノ下畑壱畝廿一歩　川欠
一砂畑壱畝廿一歩　川欠
一下ノ下畑壱畝六歩　川欠
一砂畑弐畝十五歩　川欠
一下ノ下畑壱畝九歩　川欠
一砂畑弐畝十八歩　川欠
一下ノ下畑弐畝十五歩　川欠
一砂畑五畝歩　川欠
一下ノ下畑壱畝三歩　川欠

芝　為右衛門
下り　七兵衛
久保　平兵衛
吹上　藤七
中新田　幸七
同人
同人
浅久保　幸七
文治之跡　森右衛門
金山　同人
同　伊兵衛
同人
佐五兵衛
芝宮　同人
平七
中新田　平七
六右衛門

一砂畑弐畝十二歩　川欠
一下ノ下畑三畝十八歩
一砂畑七畝六歩　川欠
一下ノ下畑壱畝六歩
一砂畑弐畝九歩
一下ノ下畑三畝廿四歩
一砂畑三畝廿四歩
一下ノ下畑壱畝廿一歩
一砂畑壱畝廿一歩
一下ノ下畑壱畝十八歩
一砂畑壱畝十八歩
一下ノ下畑壱畝廿四歩
一砂畑壱畝廿四歩
一下ノ下畑壱畝廿一歩
一砂畑壱畝廿一歩
一下ノ下畑壱畝十八歩
一砂畑壱畝十八歩
一下ノ下畑拾五歩

同人
与市
同人
東明寺
同寺
芝　八右衛門
谷戸　八右衛門
伊平次
芝　同人
与市
吹上　同人
弥市
芝　同人
与市
中新田　権四郎
与市
本村　同人
善治郎

一砂畑拾五歩
一下ノ下畑廿四歩
一砂畑廿四歩
一下ノ下畑拾八歩
一砂畑十八歩
一下ノ下畑弐畝廿七歩
一下ノ下畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝十五歩
一下ノ下畑三畝十五歩
一下ノ下畑三畝十五歩
川欠一下ノ下畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝十八歩
川欠一下ノ下畑三畝廿七歩
一下ノ下畑三畝三歩
一下ノ下畑弐畝廿七歩
一下ノ下畑四畝十二歩
一下ノ下畑三畝歩
川欠一下ノ下畑三畝十五歩

同　人
下り　善左衛門
同　人
同　人
仏木　善左衛門
久保　伝兵衛
ならの下　三左衛門
寺脇　佐右衛門
中新田　伝治郎
吹上　平四郎
寺脇　長兵衛
中新田　伝治郎
入　権兵衛
五郎右衛門
同　人
吹上　同　人
藤七
助右衛門

川欠一下ノ下畑三畝三歩
川欠一下ノ下畑三畝九歩
一砂畑三畝十五歩
川欠一砂畑三畝三歩
川欠一砂畑三畝十五歩
川欠一砂畑三畝三歩
川欠一砂畑三畝三歩
一下ノ下畑三畝廿四歩
川欠一下ノ下畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝九歩
弐間分七歩欠一下ノ下畑六畝廿一歩
弐間分一下ノ下畑六畝歩
一下ノ下畑四畝歩
川欠一下ノ下畑三畝九歩
弐間分一下ノ下畑六畝廿一歩
川欠一下ノ下畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝三歩
一下ノ下畑三畝三歩

中新田　市左衛門
中新田　喜右衛門
中新田　元右衛門
芝宮　善五郎
新田　三四郎
中新田　徳左衛門
吹上　徳右衛門
谷戸　七兵衛
入　徳右衛門
やたら坂　安右衛門
吹上　藤七
同　人
入　五郎右衛門
ならの下　伝五右衛門
吹上　藤七
下り　同　人
中新田　又四郎
七左衛門

一下ノ下畑三畝十五歩　西ノ嶋　清五郎
一下ノ下畑三畝十二歩　久保　十兵衛
一砂畑三畝十八歩　川欠　長久保　平兵衛
一砂畑三畝六歩　西ノ　半兵衛
一砂畑三畝十五歩　ならの下　市郎右衛門
一下ノ下畑三畝十二歩　ならの下　吉左衛門
一下ノ下畑六畝十五歩　弐間分　入　伝五右衛門
一下ノ下畑三畝三歩　吹上　五郎右衛門
一下ノ下畑三畝廿一歩　源八
一下ノ下畑弐畝廿一歩　同人
一下ノ下畑三畝歩　蔵の下　東明寺
一下ノ下畑三畝三歩　芝　喜兵衛
一下ノ下畑弐畝廿一歩　吹上　万右衛門
一下ノ下畑三畝六歩　嶋　源八
一下ノ下畑三畝歩　孫市
一下ノ下畑弐畝廿四歩　芝　仁三郎
一砂畑弐畝十七歩　吹上　長太郎
一砂畑三畝三歩　吉右衛門

一砂畑三畝三歩
一砂畑三畝十五歩
一砂畑三畝歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑弐畝廿四歩　川欠
一下ノ下畑三畝歩
一下ノ下畑三畝九畝　弐間分
一砂畑六畝十五歩
一砂畑三畝十二歩
一砂畑三畝十八歩
一砂畑三畝十五歩
一砂畑三畝三歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝歩
一砂畑三畝三歩
一砂畑三畝九歩　弐間分
一砂畑六畝廿七歩

長久保　四郎兵衛
吹上　彦三郎
吹上　治太夫
久保　妙典寺
芝　平兵衛
権八
中新田　喜太夫
谷戸　市兵衛
芝　万右衛門
嶋　萬右衛門
芝　長太郎
芝　与市
芝　弥平次
芝　甚五兵衛
治左衛門
寺脇　同人
芝　伝次郎
権八

一下ノ下畑三畝十五歩
一下ノ下畑三畝十二歩
一砂畑三畝十八歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝十五歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑弐畝廿一歩
一砂畑弐畝廿七歩
一砂畑三畝三歩
一砂畑弐畝十八歩
一砂畑三畝九歩
一砂畑三畝九歩
一砂畑三畝十二歩
一砂畑三畝三歩
一砂畑三畝九歩
一下ノ下畑三畝十五歩
川欠
一下ノ下畑三畝十弐歩

芝金山嶋　平左衛門
嶋　嘉右衛門
吹上嶋　又右衛門
同　藤七
芝　又右衛門
芝　定七
芝　弥平次
西ノ下り　権八
西ノ下り　清五郎
西ノ　忠右衛門
嶋　岩右衛門
嶋　東明寺
下り　定七
嶋　七兵衛
中新田　源太右衛門
芝　徳左衛門
谷戸　与市
門左衛門

一下ノ下畑三畝廿一歩
一下ノ下畑四畝歩
一砂畑三畝廿一歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝九歩
一砂畑三畝十八歩
一砂畑三畝十五歩
一砂畑弐畝十五歩
一砂畑壱畝廿七歩
一砂畑弐畝廿七歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑弐畝廿一歩
一砂畑弐畝廿四歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝歩
一下ノ下畑三畝十五歩
一下ノ下畑三畝六歩
川欠
一下ノ下畑壱畝十五歩

堂坂　久兵衛
吹上ノ西　同　人
芝中新田　半平
嶋　権太平次
寺脇　治右衛門
吹上　東福寺
谷戸　孫市
谷戸　同　人
西ノ　伊政右衛門
下り　市平次
久保　善兵衛
三左衛門　又次郎
同　佐四郎
人　平太

一砂畑壱畝十五歩
川欠
一砂畑壱畝十八歩
一下ノ下畑三畝十二歩
一砂畑三畝九歩
一砂畑三畝十二歩
川欠
一砂畑三畝歩
一砂畑三畝三歩
一砂畑三畝十二歩
一砂畑三畝十八歩
一下ノ下畑三畝十五歩
川欠
一下ノ下畑壱畝廿四歩
一砂畑壱畝廿四歩
一下ノ下畑壱畝九歩
一砂畑壱畝九歩
一下ノ下畑三畝十二歩
一砂畑三畝十二歩
一砂畑三畝六歩
一砂畑三畝歩

芝 三左衛門
源 七
同 人
西ノ 平左衛門
吹上 兵右衛門
西 権 八
芝 太平次
源 七
下り 又四郎
中新田 平四郎
源 七
同 人
善次郎
同 人
勝右衛門
西ノ 又四郎
芝 太平次
万右衛門

一下ノ下畑三畝九歩
西方本田地境道
一下ノ下畑三畝廿四歩
一下ノ下畑三畝十五歩
一砂畑弐畝三歩
南方道
一下ノ下畑壱畝十八歩
一砂畑壱畝十八歩
一下ノ下畑十八歩
川欠
一中ノ下畑三畝六歩
一下畑三畝歩
一下畑三畝三歩
一下畑弐畝廿四歩
一下畑三畝歩
一下畑三畝六歩
一下畑壱畝六歩
一下畑三畝歩
一下畑三畝六歩

下り 又四郎
中新田 勘右衛門
芝 権三郎
嶋 吉左衛門
芝 同人
与市
やたら坂 西ノ 五右衛門
芝 長次郎
与市
同人
中新田 同人
嶋 権四郎
源蔵
権八
壱鑑寺

一下畑三畝六歩　芝　藤四郎
一下畑三畝六歩　西ノ　同人
一中ノ下畑三畝六歩　源治郎
一中ノ下畑三畝三歩　芝　佐七
一下畑三畝六歩　藤四郎
一下畑三畝三歩　同人
一下畑三畝歩　金山　嘉右衛門
一下畑三畝歩　吹上　吉左衛門
一下畑弐畝九歩　吹上　源六
一砂畑壱畝九歩　同人
一砂畑三畝三歩　吹上　彦三郎
一砂畑三畝九歩　芝　藤四郎
一下ノ下畑三畝六歩　藤四郎
一下畑三畝三歩　新田　七左衛門
一中ノ下畑三畝六歩　西ノ　源治郎
一下畑三畝六歩　吹上　源六

北方上新倉村地境入会道

一砂畑壱畝十五歩　芝　平蔵

一砂畑弐畝九歩　谷戸　勝右衛門

雑丹袋新田

高拾五石三斗五升八合

此反別五町七反八畝廿壱歩

此訳

中ノ下畑壱反弐畝廿一歩　反三十五　五
下畑四反九畝六歩　反三十　四
下ノ下畑弐町四反壱畝廿七歩　反廿五　三
砂畑弐町七反四畝廿七歩　反十　二
草野畑弐畝歩　反廿五　見取

享和三亥八月改之

（柳下源太郎家文書　16—2）

五七〇

三五　天保一五年七月　下新倉村雑丹袋新田畑田成内見毛付帳

（表紙）

天保十五辰年　村役人立合帳

雑丹袋新田畑田成内見毛附帳

七月　吉日　下新倉村

名主次太夫

（横帳）

武州新座郡

下新倉村

字雑丹袋新田

一高拾五石三斗五升八合

此反別五町七反八畝廿壱歩

此訳

下ノ下畑弐町四反壱畝廿七歩

内九畝十八歩　卯畑田成

砂畑弐町七反四畝廿七歩

内五畝十八歩　卯畑田成

合畑田成壱反五畝六歩

此小前

砂畑弐畝十五歩　金五郎納

弐合毛

砂畑三畝三歩　同人納

壱合毛

下ノ下畑三畝歩　冨五郎納

弐合毛

下ノ下畑三畝十八歩　同人納

壱合

下ノ下畑三畝歩　同人納

壱合毛

此毛揃

五畝十五歩　弐合

此籾三斗三升

九畝廿壱歩　壱合毛

此籾弐斗九升壱合

籾石合六斗弐升壱合

（裏表紙）

武蔵国新座郡下新倉村入用

（石田栄一家文書　34―203）

一三六　嘉永三年三月　下新倉村下肥家普請に付入用人足帳

（表紙）
嘉永三庚戌年
下糞家普請ニ付入用人足
三月吉日
（横帳）

初メ覚

㊀代金相済候分ハ此印

戌三月六日
一金弐朱ト　㊀　五百文　古下屎家
馬五郎殿ゟ買請
但シ弐間三間也
戌十一月十四日

右皆済也

㊀同　六日
一百四拾八文　引取御酒代

㊀同　六日
一百文　めさし代

㊀同　六日
一三百四拾四文　助人足飯米代
但シ弐升七合五夕
但シ八合かへ

㊀同　七日
一弐百五拾六文　大工壱人手間
忠次郎江相渡ス

㊀同　九日
一金弐朱ト　唐竹四わ代
長左衛門殿江
四拾八文　相渡ス

㊀同　九日
一五百四拾八文　篠竹弐わ代
赤塚大門ニ而買入

㊀同　十日
一弐百文　篠竹壱わ
早瀬ニ而買

同　九日
一弐百文　半次郎殿
家根下事
手間

㊀酉十一月中落
一四百四十四文　（志村願入用
但進物共

戌三月廿一日屋根ふき節
一四百廿八文　㊀　（米三升代
但シ飯料

㊀戌三月廿一日
一三百七十弐文　酒弐升五合代
屋根ふきの節

㊀同　廿二日
一三百四十八文　屋根屋手間
壱人半分
仁五吉江相渡ス

同　廿一日
一五百文　小麦から
弐百束代
㊀　右代四百文ニ而相済　倉ノ下　米五郎殿

同廿一日
一五百文　小麦から
㊀　右代四百文ニ而相済　久保　弐百東代　留五郎殿

同廿一日
一弐百五十八文　小麦から　百五わ代　綱五郎殿

〆金弐朱ト
五〆弐百拾文

下糞家普請助人足覚

一壱人　下ノ　万蔵殿
一〃　〃　角次郎殿
一〃　下ノ　幸治郎殿
一〃　曲木　吉五郎殿
一半人　下ノ　綱五郎殿
右堂坂ゟ引取人足

覚

戌三月廿一日
一半人　下り口　半次郎
一〃半人　金山　沢五郎

一〃半人　下り口　庄次郎
一〃半人　〃　綱五郎
一〃半人　倉ノ下　喜平
一〃半人　下り口　角次郎
戌三月廿一日
一半人　北ノ　平助
一〃半人　辻ノ　勝五郎
一〃半人　〃　粂五郎
一〃半人　下り口　亀五郎
一〃半人　内ノ　平五郎

〆拾壱人
外ニ壱人主
右家根ふき人足也
御酒
一上酒壱升
一荒縄五房

長嶋
秀五郎様ゟ
北口ノ
長五郎殿ゟ

（裏表紙）
下新倉村
石田伊兵衛

（石田栄一家文書　29―41）

三七　寛永一六年二月　下白子村検地帳

（表紙）
寛永十六年　紙数
武州新倉郡下白子村水帳
己卯二月廿七日　六拾枚
（縦帳）

滝川原
一中田壱畝拾三歩　善右衛門
同所
一中田七セ廿弐歩　新右衛門
同所
一中田四畝歩　同人
一所
中田拾弐歩　同善次郎
同所
一中田壱畝拾八歩　七郎右衛門
同所
一中田拾三歩　将監
脇ノ下
一中田壱反四畝六歩　七兵衛
同所
一中田九畝拾歩　将監
同所
一中田四セ拾五歩　同人
同所
一中田壱反六畝弐拾歩　内匠
同所
一中田壱反六セ拾八歩　七郎右衛門
同所
一中田壱反弐セ廿七歩　太郎左衛門
同所
一中田弐反壱セ拾七歩　新右衛門
同所
一中田五畝弐拾三歩　将監
同所
一上田弐畝三歩　茂左衛門
同所
一上田四畝廿六歩　小右衛門
同所
一上田六畝拾八歩　清右衛門
同所
一上田三畝四歩　小右衛門
同所
一下田三畝弐歩　小右衛門
（滝川原）
滝河原
一中田九畝拾六歩　半右衛門
同所
一下田壱畝拾五歩　同人
同所
一上田弐反五畝廿四歩　太郎右衛門
同所
一上田壱反七セ廿壱歩　弥右衛門
同所
一上田弐反六畝拾九歩　太郎右衛門
同所
一下田五畝歩　内匠
同所
一下田壱畝四歩　将監
（腰ノ下）
脇ノ下
一下田弐反六畝拾八歩　七郎右衛門

同所　一下田壱反壱セ拾歩　太郎右衛門
同所　一下田八畝廿弐歩　七郎右衛門
同所　一下田拾四歩　同　人
同所　一下田壱セ五歩　太　兵　衛
同所　一下田八歩　久右衛門
同所　一下田弐拾歩　小右衛門
同所　一下田七畝廿八歩　十左衛門
〔ごあん前〕五庵前　一下田三畝廿九歩　久　兵　衛
滝河原　一中田壱反三セ歩　〔市〕一郎右衛門
同所　一中田壱反弐セ五歩　善　次　郎
同所　一上田壱反四畝拾弐歩　七郎右衛門
同所　一上田壱反九畝四歩　太郎左衛門
五反田　一上田壱反五畝五歩　十左衛門
同所　一上田壱反八畝拾五歩　同　人
同所　一中田壱反七セ弐歩　四郎兵衛
同所　一上田壱反廿七歩　七良右衛門
同所　一中田七畝廿歩　弥右衛門
同所　一中田壱反四セ廿四歩　同　人
同所　一中田壱セ弐歩　太郎左衛門
同所　一中田壱畝歩　九条坊
七反面町　一下田五畝弐拾六歩　茂右衛門
同所　一中田壱反六畝廿歩　久左衛門
同所　一中田七畝拾四歩　七郎右衛門
同所　一上田壱反拾五歩　久左衛門
同所　一中田壱反廿四歩　七郎右衛門
同所　一下田壱反三セ廿九歩　将　監
同所　一下田壱反九畝拾五歩　六右衛門
同所　一下田弐反四セ廿四歩　次郎右衛門
同所　一下田七畝拾四歩　内　匠
同所　一下田弐畝歩　同　人
同所　一下田弐畝拾六歩　七　兵　衛
同所　一中田七畝廿七歩　七郎右衛門
同所　一中田弐畝廿壱歩　〔市〕一郎右衛門
同所　一中田四畝廿四歩　平右衛門
同所　一中田四畝廿歩　〔市〕一郎右衛門

同所一上田三畝廿七歩
同所一下田七畝廿八歩
同所一上田壱反九畝廿四歩
同所一下田壱反五畝拾弐歩
同所一下田壱反八畝拾歩
同所一中田壱反四セ拾弐歩
同所一中田壱反壱セ拾八歩
同所一下田壱反三セ拾六歩
同所一中田弐反九畝七歩
同所一上田壱反壱セ廿七歩
同所一中田七畝六歩
同所一中田弐拾歩
同所一上田壱反四畝拾弐歩
市場下一中田壱反九セ廿五歩
同所一中田三畝廿八歩
同所一中田壱畝六歩
同所一中田八畝拾六歩
同所一下田五畝七歩

七郎右衛門
内　匠
(市)一郎右衛門
□(大)左衛門
善　蔵
将　監
茂右衛門
四郎右衛門
内　匠
善兵衛
同　人
勘三郎
七郎右衛門
長右衛門
弥次右衛門
善兵衛
五郎左衛門
孫右衛門

同所一下田弐畝六歩
同所一下田壱セ廿四歩
同所一下田弐拾四歩
同所一下田拾五歩
同所一下田八歩
同所一下田弐畝廿九歩
同所一下田壱畝廿六歩
同所一下田四畝歩
同所一下田弐拾壱歩
同所一下田壱畝拾九歩
同所一下田壱畝拾歩
同所一下田弐拾歩
同所一下田九畝廿四歩
同所一下田弐反三畝拾弐歩
同所一下田弐反弐畝拾弐歩
同所一下田壱反七畝拾壱歩
同所一下田拾五歩
同所一下田壱畝五歩

喜右衛門
市　之助(介)
彦右衛門
藤右衛門
茂右衛門
半右衛門
喜右衛門
長右衛門
喜右衛門
同　人
市　之助(介)
仁兵衛
茂左衛門
五郎左衛門
次郎左衛門
平右衛門
五郎左衛門
孫右衛門

一下田拾六歩	市之助〔介〕	同人
同所一下田壱畝拾弐歩	仁兵衛	同人
同所一下田弐拾壱歩	善兵衛	一郎〔市〕右衛門
同所一下田弐拾四歩	喜右衛門	与次右衛門
同所一下田弐畝拾壱歩	総〔孫〕右衛門	同人
同所一下田壱畝廿五歩	市之助〔介〕	同人
同所一下田五畝拾弐歩	弥兵衛	茂右衛門
同所一下田壱ヶ歩	次郎右衛門	四郎右衛門
同所一下田壱ヶ拾歩	総〔孫〕右衛門	茂右衛門
同所一下田拾弐歩	加右衛門	太郎右衛門
同所一下田弐畝拾七歩	善兵衛	太郎右衛門
同所一下田五畝拾八歩	弥兵衛	太良〔郎〕左衛門
同所一下田三畝三歩	長右衛門	九郎左衛門
同所一下田壱畝拾五歩	弥兵衛	善右衛門
同所一中田四畝拾六歩	仁兵衛	五左衛門
同所一中田壱反弐ヶ拾歩	同人	持〔地〕福寺
同所一中田壱反歩	弥兵衛	一郎〔市〕右衛門
同所一中田九畝廿五歩	同人	五左衛門
同所一中田壱反四ヶ廿弐歩	同人	同人
同所一中田壱反六畝廿三歩	仁兵衛	同人
同所一中田九畝拾九歩	善兵衛	一郎〔市〕右衛門
同所一中田六畝拾五歩	喜右衛門	与次右衛門
同所一中田八畝歩	総〔孫〕右衛門	同人
家ノ脇一中田弐畝廿四歩	市之助〔介〕	同人
一中田壱反三ヶ六歩（あいのた）	弥兵衛	茂右衛門
同所一中田弐反壱畝歩	次郎右衛門	四郎右衛門
同所一中田壱反三ヶ六歩	総〔孫〕右衛門	茂右衛門
寺ノ前一中田弐畝廿歩	加右衛門	太郎右衛門
同所一上田壱反拾弐歩	善兵衛	太郎右衛門
同所一上田壱反壱ヶ廿七歩	弥兵衛	太良〔郎〕左衛門
同所一上田五畝拾弐歩	長右衛門	九郎左衛門
同所一上田壱反壱ヶ廿歩	弥兵衛	善右衛門
同所一上田壱反五畝拾弐歩	仁兵衛	五左衛門
同所一上田壱反八畝六歩	同人	持〔地〕福寺
同所一中田三畝壱歩	弥兵衛	一郎〔市〕右衛門
同所一中田六畝四歩	同人	五左衛門

同所 一中田九畝廿弐歩　同　人
同所 一中田弐反拾八歩　七郎右衛門
同所 一上田壱反弐セ拾歩　同　人
同所 一上田壱反三セ歩　五左衛門
同所 一上田壱反四セ拾五歩　善右衛門
宮ノ下 一上田壱反五畝五歩　同　人
同所 一中田八畝拾五歩　与次右衛門
同所 一中田壱反拾歩　太左衛門
同所 一下田壱反六畝弐歩　持福寺（地）
同所 一下田壱反三畝歩　寄合弥右衛門
同所 一下田弐反四セ拾九歩　七郎右衛門
同所 一下田壱セ拾弐歩　同　人
同所 一下田壱反壱セ六歩　与次右衛門
同所 一中田壱反三セ九歩　六右衛門
同所 一中田壱反廿九歩　内　匠
同所 一中田弐反廿歩　清右衛門
同所 一中田壱反三セ拾三歩　内　匠
同所 一中田壱反六畝十四歩　滝本坊

あなた 一中田弐反歩　一郎右衛門（市）
同所 一中田六畝廿八歩　茂左衛門
同所 一中田壱反六畝歩　同　人
同所 一下田九畝廿歩　半右衛門
同所 一中田八畝廿一歩　半右衛門
同所 一中田七畝廿八歩　太郎右衛門
同所 一下田四セ廿三歩　太左衛門
同所 一中田壱反三セ廿六歩　半右衛門
同所 一中田壱反五セ拾四歩　太左衛門
同所 一中田壱反四畝拾五歩　茂右衛門
同所 一中田弐反壱セ廿五歩　六右衛門
（生房五坊） 一下田八畝拾六歩　十左衛門
同所 一下田六畝歩　同　人
同所 一下田壱反壱セ拾弐歩　同　人
同所 一下田壱反六畝廿七歩　小右衛門
同所 一下田壱反壱セ三歩　十左衛門
同所 一下田拾八歩　久右衛門

同所 一下田壱反壱畝弐拾弐歩　十左衛門
同所 一下田壱反壱畝壱歩　小右衛門
同所 一下田四畝廿七歩　久右衛門
同所 一下田壱反六畝拾九歩　同　人
同所 一下田弐反三畝拾歩　十左衛門
俵久保 一下田七畝壱歩　久右衛門
同所 一下田弐反九畝拾八歩　三郎右衛門
同所 一下田壱反壱セ歩　同　人
同所 一中田壱反歩　同　人
同所 一下田壱反七畝廿八歩　持福寺（地）
同所 一下田八畝拾弐歩　滝本房（坊）
同所 一下田七畝廿四歩　三郎右衛門
同所 一下田三反弐畝拾弐歩　同　人
同所 一下田八畝歩　同　人
同所 一下田九畝廿歩　同　人
同所 一下田三畝歩　滝本坊
市場下 一中田壱反四セ歩　仁兵衛
同所 一下田六畝歩　喜右衛門

同所 一下田弐畝拾弐歩　同　人
同所 一中田壱反七畝弐歩　善兵衛
同所 一中田三セ拾歩　仁兵衛
同所 一下田壱反六畝四歩　同　人
同所 一下田五畝六歩　同　人
同所 一下田弐畝廿四歩　同　人
同所 一上田壱反五畝九歩　五郎左衛門
同所 一上田壱反九畝廿弐歩　同　人
同所 一上田壱反八畝拾五歩　長右衛門
同所 一中田九セ歩　二郎左衛門（次）
同所 一上田七畝歩　市之助（介）
同所 一下田十五歩　弥次右衛門
同所 一上田壱反歩　喜右衛門
同所 一上田九畝拾弐歩　市之助（介）
同所 一下田壱セ拾歩　同　人
同所 一下田壱セ拾弐歩　弥兵衛
同所 一下田弐畝歩　市之助（介）
同所 一下田三セ歩　喜右衛門

同所　一上田壱反九畝廿五歩　弥兵衛
同所　一上田壱反弐セ拾八歩　清右衛門
同所　一上田壱反七セ歩　弥次右衛門
同所　一上田壱反七セ廿七歩　総右衛門（孫）
同所　一上田壱反壱セ拾歩　弥次右衛門
同所　一下田五畝五歩　孫右衛門
〔滝河原〕たきかわら　一下畑弐拾歩　弥右衛門
同所　一下畑拾弐歩　内匠
腰ノ下　一下畑拾八歩　太郎右衛門
同所　一下畑拾六歩　内匠
同所　一下畑三畝拾壱歩　将監
同所　一下畑三畝九歩　七郎右衛門
〔土支田前〕どした前　一上畑弐反壱セ拾歩　太左衛門
同所　一上畠壱反四セ九歩　六右衛門
同所　一上畠壱反八畝廿歩　〔市郎〕一良右衛門
同所　一上畠壱反六畝廿六歩　十左衛門
同所　一上畠壱反八畝廿四歩　七郎右衛門
〔五案前〕五庵前　一下畠五畝拾弐歩　太郎左衛門
同所　一下畠壱反六畝四歩　同人
同所　一中畠九セ歩　久兵衛
同所　一下畠壱反九畝廿八歩　〔地〕持福寺
同所　一下畠壱反三セ廿弐歩　清右衛門
同所　一下畠七畝六歩　同人
同所　一下畠壱反拾五歩　〔地〕持福寺
同所　一下畠壱反壱セ六歩　内匠
同所　一下畠壱反五畝歩　善次郎
同所　一中畠弐反三セ廿七歩　宗左衛門
同所　一中畠壱反八畝拾壱歩　十左衛門
同所　一下畠六畝歩　久右衛門
同所　一下畠壱反壱セ三歩　久兵衛
同所　一下畠五畝廿六歩　新五郎
同所　一下畠壱セ廿弐歩　太左衛門
同所　一下畠壱畝拾弐歩　太兵衛
同所　一下畠廿壱歩　十左衛門

同所　一下畠壱反六歩　同　人
同所　一下畠三畝廿弐歩　小右衛門
同所　一下畠三セ拾五歩　同　人
同所　一中畠壱反拾弐歩　十左衛門
同所　一中畠弐反弐歩　久左衛門
同所　一中畠壱反壱セ六歩　清右衛門
同所　一中畠七畝歩　十左衛門
同所　一中畠八畝弐歩　同　人
同所　一中畠壱反八畝廿歩　太左衛門
同所　一中畠壱反七畝拾歩　久右衛門
同所　一中畠七畝拾九歩　太左衛門
〔滝河原〕たきがわら　一中畠壱セ廿歩　善右衛門
同所　一中畠拾八歩　新右衛門
〔年房〕五坊　一下畠弐畝廿七歩　寺分小右衛門
同所　一下畠六畝弐歩　同人分同　人
同所　一下畠壱畝廿六歩　平右衛門
同所　一下畠壱反廿歩　太良〔郎〕右衛門

同所　一下畠壱反八畝弐拾歩　内　匠
同所　一下畠壱反七畝七歩　同　人
同所　一下畠六畝廿歩　太良〔郎〕左衛門
同所　一下畠壱反三セ六歩　太良〔郎〕右衛門
同所　一中畠三反六畝廿四歩　内　匠
同所　一中畠三反六畝廿四歩　将　監
同所　一下畠廿四歩　小右衛門
同所　一上畠七畝拾四歩　三　四　郎
同所　一上畠三畝廿四歩　小右衛門
同所　一下畠五畝弐歩　十左衛門
同所　一上畠壱反壱セ拾歩　同　人
同所　一下畠三畝拾四歩　同　人
同所　一中畠八畝廿四歩　同　人
同所　一上畠壱反壱畝弐拾壱歩　久右衛門
同所　一中畠壱反弐畝歩　小右衛門
同所　一中畠壱反壱畝拾五歩　十左衛門
同所　一中畠九畝九歩　久左衛門
同所　一中畠八畝弐拾弐歩　十左衛門

同所一中畠九畝歩　与次右衛門
同所一中畠四畝六歩　太郎右衛門
同所一中畠八畝拾三歩　〔市〕一郎右衛門
同所一中畠壱反拾弐歩　将監
同所一下畠五畝拾八歩　太郎右衛門
同所一中畠八畝歩　久右衛門
同所一下畠壱反壱セ廿八歩　十左衛門
同所一中畠六畝八歩　寺分
同所一下畠五畝歩　十左衛門
同所一中畠五畝六歩　三四郎
同所一中畠壱反弐拾四歩　弥右衛門
同所一中畠九畝拾八歩　七郎右衛門
同所一中畠七畝八歩　小右衛門
同所一中畠六畝廿九歩　同人
同所一中畠壱反弐セ拾八歩　七郎右衛門
同所一下畠七畝廿四歩　小右衛門
同所一下畠壱反三畝壱歩　十左衛門
同所一下畠五畝弐歩　久右衛門

同所一下畠壱反壱セ弐拾弐歩　十左衛門
同所一下畠五畝拾八歩　小右衛門
同所一下畠四畝拾八歩　久右衛門
同所一下畠六畝拾六歩　同人
同所一下畠八畝歩　十左衛門
同所一下畠四セ歩　庄蔵
同所一下畠七畝廿六歩　三四郎
同所一下畠壱反廿歩　久左衛門
同所一下畠四畝廿歩　十左衛門
同所一下畠四セ廿四歩　同人
同所一下畠四畝歩　小右衛門
家ノ前一中畠弐拾四歩　与次右衛門
同所一中畠弐セ拾八歩　善右衛門
同所一下畠五歩　茂右衛門
同所一下畠拾四歩　〔久城〕九条坊
同所一下畠拾六歩　四郎右衛門
寺ノ前一下畠拾歩　善次郎
同所一下畠弐畝拾弐歩　七郎右衛門

〔牛房〕五房 一下 畠壱反九畝拾五歩 久右衛門
同所 一下 畠六畝拾五歩 新右衛門
同所 一下 畠四畝廿弐歩 久左衛門
同所 一下 畠七畝六歩 久右衛門
同所 一下 畠弐反六畝拾九歩 小右衛門
同所 一下 畠四畝弐拾四歩 十左衛門
同所 一下 畠三セ七歩 同　人
同所 一下 畠壱反弐セ廿四歩 十左衛門
同所 一下 畠五畝拾五歩 〔市郎〕一良右衛門
同所 一下 畠八畝廿壱歩 新右衛門
同所 一下 畠壱反六歩 茂左衛門
同所 一下 畠壱反三畝廿六歩 太郎右衛門
同所 一下 畠六畝九歩 小右衛門
同所 一下 畠壱反四歩 茂左衛門
同所 一下 畠九畝六歩 十左衛門
同所 一下 畠壱反壱セ拾歩 久右衛門
同所 一下 畠壱畝歩 茂左衛門
同所 一下 畠八畝弐歩 久右衛門
十左衛門

同所 一下 畠壱反廿四歩 小右衛門
同所 一下 畠壱セ拾五歩 新右衛門
同所 一下 畠六畝廿九歩 久左衛門
同所 一下 畠壱畝四歩 久右衛門
同所 一下 畠六畝廿壱歩 小右衛門
同所 一下 畠六畝廿八歩 十左衛門
同所 一下 畠七畝廿歩 同　人
同所 一下 畠弐畝三歩 久右衛門
同所 一下 畠四畝八歩 茂左衛門
同所 一下 畠壱畝六歩 十左衛門
同所 一下 畠七畝廿八歩 久右衛門
同所 一下 畠弐畝拾四歩 三　四郎
〔屋ツ〕やつ 一下 畠壱セ拾五歩 内　匠
同所 一下 畠三セ歩 同　人
〔屋敷裏〕同所屋敷ノうら 一上 畠七畝廿歩
寺ノ上 一下 畠七畝拾八歩 同　人
同所 一下 畠四畝廿四歩 〔地〕持福寺

同所　一下　畠九畝廿四歩　藤右衛門
一中　畠壱反三畝九歩　平右衛門
同所　一中　畠壱反壱畝廿歩　同　人
同所　一中　畠六畝拾六歩　五郎左衛門
市場上　一下　畠壱反壱セ六歩　久左衛門
同所　一下　畠七畝拾歩　仁兵衛
同所　一中　畠八畝拾六歩　弥兵衛
同所　一中　畠九畝弐歩　定使分
同所　一中　畠七畝廿壱歩　五郎左衛門
同所　一下　畠四セ拾七歩　弥兵衛
同所　一下　畠壱反壱セ六歩　半右衛門
同所　一下　畠弐畝廿六歩　弥兵衛
同所　一下　畠八畝弐拾四歩　長右衛門
同所　一下　畠七畝廿壱歩　茂右衛門
同所　一下　畠六畝拾九歩　弥次右衛門
同所　一下　畠壱反拾五歩　孫右衛門
同所　一下　畠壱反壱セ拾弐歩　弥兵衛
同所　一下　畠弐畝廿歩　孫右衛門

同所　一下　畠壱反弐畝歩　弥兵衛
同所　一下　畠五畝弐歩　市之助（介）
同所　一下　畠五畝歩　次良左衛門（郎右）
同所　一下　畠五畝弐拾六歩　九条坊（久城）
俵久保　一下　畠四セ歩　三郎右衛門
（市場下）　一上　畠弐反六畝拾六歩　九郎左衛門（郎）
裏ノ山　一中　畠壱反五畝歩　内匠
七反面町　一下　畠九歩　茂右衛門
同所　一下　畠壱畝廿歩　持福寺（地）
同所　一下　畠壱畝歩　同　人
市場下　一下　畠八歩　弥兵衛
同所　一下　畠拾歩　市之助（介）
同所　一下　畠弐拾歩　喜右衛門
同所　一下　畠壱畝弐拾壱歩　仁兵衛
同所　一下　畠六畝廿歩　同　人
同所　一下　畠壱畝弐歩　同　人
同所　一下　畠五畝四歩　善次郎

九郎左衛門壱代出ス分

同所一下畠六畝歩　加右衛門
同所一中畠五畝拾八歩　久左衛門
同所一下畠三畝五歩　弥次右衛門
同所一上畠八畝廿六歩　善兵衛
同所一下畠四畝廿四歩　弥兵衛
同所一下畠弐セ歩　加右衛門
同所一下畠六歩　善兵衛
同所一下畠五畝拾弐歩　市之助（介）
同所一下畠弐畝拾歩　善兵衛
同所一下畠弐拾四歩　喜右衛門
同所一下畠四畝六歩　弥次右衛門
同所一下畠三畝拾八歩　喜右衛門
同所一下畠六畝弐歩　長右衛門
同所一中畠壱反五畝廿六歩　一良（市郎）右衛門
同所一中畠弐畝廿八歩　弥兵衛
同所一中畠四畝廿三歩　同人
同所一中畠六畝拾八歩　仁兵衛
同所一下畠六畝拾歩　五左衛門

同所一下畠九畝拾八歩　長右衛門
同所一下畠廿四歩　仁兵衛
同所一下畠三畝八歩　弥兵衛
同所一下畠弐畝拾弐歩　仁兵衛
同所一中畠壱反四畝六歩　五郎左衛門
同所一中畠三畝廿弐歩　喜右衛門
同所一下畠六畝九歩　四郎右衛門
同所一下畠五畝四歩　長右衛門
同所一中畠五畝弐拾六歩　喜右衛門
同所一下畠六畝歩　仁兵衛
同所一中畠四畝廿三歩　同人
同所一中畠七畝歩　市之助（介）
同所一中畠七畝拾歩　喜右衛門
同所一中畠八畝廿歩　市之助（介）
同所一中畠八畝廿弐歩　五郎左衛門
同所一中畠壱反六セ拾歩　善兵衛
同所一中畠壱反四畝拾弐歩　同人
同所一中畠八畝廿八歩　弥次衛門

同所　一中畠壱反壱畝歩　次郎左衛門
同所　一下畠壱反弐畝四歩　長右衛門
同所　一下畠三畝歩　弥兵衛
同所　一下畠壱畝九歩　弥次右衛門
宮ノ下　一下畠三畝廿七歩　持福寺〔地〕
鼠訪の原　一下畠弐反三セ拾八歩　弥右衛門
〔鼠訪ノ原開〕□〔の原開〕　一中畠三畝五歩　久佐〔左〕右衛門
同所　一中畠壱反壱セ廿歩　太良〔郎〕左衛門
同所　一中畠八せ弐拾六歩　滝本坊
同所　一下畠九せ拾六歩　善右衛門
同所　一下畠五せ四歩　太良〔郎〕右衛門
同所　一中畠壱反壱せ廿歩　七良〔郎〕右衛門
同所　一下畠弐反歩　同人
同所　一上畠壱せ歩　内匠
同所　一上畠七畝拾歩　七兵衛
同所　一上畠壱反四セ四歩　内匠
同所　一上畠三畝拾八歩　七兵衛
同所　一中畠壱反八歩　清右衛門

同所　一中畠三反壱せ拾三歩　七良〔郎〕右衛門
同所　一下畠弐反八せ拾八歩　清右衛門
同所　一下畠六せ六歩　太良〔郎〕右衛門
同所　一下畠九せ拾五歩　七良〔郎〕右衛門
同所　一下畠七せ拾八歩　同人
同所　一下畠三反三せ廿五歩　同人
同所　一下畠壱反拾九歩　庄蔵
同所　一下畠三反壱せ拾歩　三郎右衛門
同所　一下畠壱反七せ歩　七良〔郎〕右衛門
同所　一下畠七せ七歩　次良〔郎〕右衛門
同所　一下畠五せ拾八歩　六右衛門
同所　一下畠六せ拾八歩　同人
同所　一下畠七せ六歩　同人
同所　一下畠九せ拾八歩　将監
同所　一下畠壱反四せ歩　同人
同所　一下畠弐反五せ拾歩　同人
同所　一下畠壱反壱せ拾六歩　同人
同所　一下畠六せ歩　内匠

同所 一下畠壱反三せ廿八歩　太良右衛門
同所 一下畠九せ拾八歩　善次郎
同所 一下畠四反七せ歩　清右衛門
同所 一下畠壱反廿八歩　庄右衛門
同所 一下畠三せ拾歩　内匠
同所 一下畠三せ廿弐歩　太良左衛門
同所 一下畠壱反五せ廿六歩　同人
同所 一下畠壱反七せ歩　加右衛門
同所 一下畠弐反五せ拾八歩　清右衛門
同所 一下畠四せ八歩　庄蔵
同所 一下畠七反壱せ弐歩　七良右衛門
同所 一下畠三せ弐拾歩　太良右衛門
同所 一上畠五畝三歩　次良右衛門
同所 一上畠九せ廿四歩　市良右衛門
同所 一上畠壱反八せ拾八歩　三良右衛門
同所 一上畠壱反三畝弐歩　将監
同所 一上畠八せ壱歩　同人
同所 一中畠六せ歩　十左衛門

同所 一中畠三せ拾五歩　七良右衛門
同所 一中畠壱反壱せ七歩　同人
同所 一中畠壱反壱せ拾四歩　同人
同所 一中畠壱反四せ歩　六右衛門
同所 一下畠弐せ拾八歩　彦右衛門
同所 一下畠弐せ廿歩　同人
同所 一下畠五畝歩　同人
同所 一下畠八畝壱歩　茂右衛門
同所 一下畠六せ九歩　四郎右衛門
同所 一下畠八せ壱歩　彦右衛門
同所 一下畠六せ歩　市良右衛門
同所 一下畠壱反三せ廿六歩　茂左衛門
同所 一下畠壱反七せ拾五歩　太良右衛門
同所 一下畠九せ拾五歩　滝本坊
同所 一下畠壱反壱せ歩　七郎右衛門
同所 一下畠六せ七歩　半右衛門
同所 一下畠六せ七歩　七良右衛門
同所 一下畠八せ拾五歩　半右衛門

一下同所畠三せ七歩　同　人
一下同所畠三せ拾弐歩　太佐右衛門
一下同所畠壱せ拾八歩　滝　本　坊
一下同所畠四せ拾弐歩　将　監
一下同所畠三せ弐歩　同　人
一下同所畠四せ拾歩　久左衛門
一下同所畠四せ廿歩　同　人
一下同所畠壱反四せ九歩　滝　本　坊
一下同所畠三せ八歩　同　人
一下同所畠七せ拾歩　七郎右衛門
一下同所畠四せ廿四歩　同　人
一下同所中畠壱反五せ歩　同　人
一下同所畠七せ拾四歩　太良左衛門〔郎〕
一下同所畠四せ拾七歩　同　人
一下同所畠壱せ廿四歩　次郎右衛門
一下同所畠壱反歩　滝　本　坊
一下同所畠壱反歩　彦右衛門
一下同所畠六せ拾八歩　清右衛門

一下同所畠九せ拾八歩　九良左衛門〔郎〕
一下同所畠壱反六せ廿六歩　同　人
一下同所畠三反三せ歩　七良右衛門〔郎〕
一下同所畠壱反弐せ拾七歩　同　人
一下同所畠四せ八歩　久佐衛門
一下同所畠壱反歩　同　人
一下同所畠弐反六せ廿六歩　七郎右衛門
一下同所畠弐反弐せ拾歩　久左衛門
一下同所畠壱反九せ六歩　持福寺〔地〕
一下同所畠七せ七歩　四郎右衛門
一下同所畠四せ歩　同　人
一下同所畠五せ七歩　同　人
一下同所畠九せ拾八歩　持福寺〔地〕
一下同所畠四せ廿八歩　茂右衛門
一下同所畠壱反三せ拾六歩　持福寺〔地〕
一下同所畠壱反六せ廿四歩　同　人
一下同所畠三せ拾歩　同　人
一下同所畠三反歩　同　人

同所一下畠六せ拾歩　茂右衛門
同所一下畠六せ廿歩　南蔵坊
同所一下畠六せ廿九歩　同人
同所一下畠八せ歩　喜右衛門
同所一下畠五反三せ拾歩　同人
同所一下畠壱反九せ拾八歩　弥次右衛門
同所一下畠弐反九歩　善兵衛
同所一下畠九せ拾六歩　同人
同所一下畠壱反四歩　同人
同所一下畠壱反拾歩　同人
同所一下畠壱反五せ五歩　孫右衛門
同所一下畠壱反四せ歩　同人
同所一下畠壱反五せ廿六歩　弥次右衛門
同所一下畠四せ歩　総右衛門（孫）
同所一下畠八せ歩　市之助（介）
同所一下畠壱反五せ拾四歩　弥次右衛門
同所一下畠九せ拾歩　孫右衛門
同所一下畠四反三せ拾歩　弥兵衛

同所一下畠壱反九せ六歩　九郎左衛門
同所一下畠壱反七せ拾五歩　同人
同所一下畠壱反八せ四歩　善六郎
同所一下畠壱反九せ廿四歩　三良右衛門（郎）
同所一下畠壱反弐せ拾四歩　市良右衛門（郎）
同所一下畠五せ六歩　小右衛門
同所一下畠九せ弐歩　七郎右衛門
同所一下畠壱反弐せ拾弐歩　十左衛門
同所一下畠壱反八せ拾五歩　三郎右衛門
同所一下畠壱反五せ拾弐歩　市良右衛門（郎）
同所一下畠八せ拾三歩　同人
同所一下畠四せ廿四歩　善右衛門
同所一下畠壱反歩　三郎右衛門
同所一下畠壱反五畝拾五歩　将監
同所一下畠八畝拾弐歩　七兵衛
同所一下畠弐畝廿歩　六右衛門
同所一下畠弐反歩　太左衛門
同所一下畠壱反壱せ拾五歩　七郎右衛門

同所一下畠弐反五畝拾歩　太左衛門
同所一下畠弐反四畝五歩　同　人
同所一下畠弐反四畝六歩　三郎右衛門
同所一下畠七畝歩　彦右衛門
同所一下畠弐反九畝拾四歩　善右衛門
同所一下畠壱反四畝歩　同　人
同所一下畠壱反八畝廿歩　平右衛門
同所一下畠壱反拾三歩　同　人
同所一下畠五畝弐拾歩　久右衛門
同所一下畠四畝弐拾歩　平右衛門
同所一下畠九畝弐歩　太郎右衛門
同所一下畠壱反六歩　三　四　郎
同所一下畠七畝四歩　太　兵　衛
同所一下畠八畝廿四歩　小右衛門
同所一下畠八畝廿四歩　同　人
同所一下畠弐反弐セ廿弐歩　彦右衛門
同所一下畠五畝拾歩　同　人
同所一下畠四畝廿四歩　庄右衛門

同所一下畠弐畝拾弐歩　太左衛門
同所一下畠壱畝拾歩　太　兵　衛
同所一下畠三反弐歩　三郎右衛門
同所一下畠壱反歩　同　人
同所一下畠壱反三セ拾八歩　小右衛門
同所一下畠六畝拾弐歩　十左衛門
同所一下畠四畝廿四歩　久右衛門
同所一下畠六畝拾歩　同　人
寺ノ上一上畠弐反三畝歩　持（地）福　寺
（地尻）□尻一上畠壱畝五歩　三郎右衛門
同所一上畠壱畝拾五歩　南　蔵　坊
同所一上畠弐畝拾弐歩　新右衛門
同所一上畠壱畝拾八歩　清右衛門
同所一上畠壱畝廿六歩　将　監
同所一上畠弐畝五歩　同　人
同所一上畠弐畝六歩　七　兵　衛
同所一上畠壱畝拾四歩　太郎右衛門

同所　一上畠弐畝拾六歩　同　人
同所　一上畠四畝拾六歩　半右衛門
同所　一上畠四畝廿四歩　三郎右衛門
同所　一上畠五畝四歩　善右衛門
同所　一上畠壱畝弐拾五歩　五郎左衛門
同所　一上畠廿歩　新左衛門
家ノわき　一上畠壱畝三歩　六右衛門
〔屋敷廻り〕屋敷まわり　一上畠壱せ弐歩　太左衛門
同所　一上畠壱せ拾八歩　七良〔郎〕右衛門
同所　一上畠三せ拾歩　同　人
同所　一上畠弐せ四歩　太良〔郎〕左衛門
同所　一上畠弐せ廿歩　弥右衛門
同所　一上畠三せ拾歩　与次右衛門
同所　一上畠壱せ拾歩　茂右衛門
同所　一上畠壱セ拾歩　茂左衛門
同所　一上畠三せ拾三歩　同　人
同所　一上畠壱せ廿弐歩　四良〔郎〕右衛門
同所　一上畠壱せ歩　長右衛門

同所　一上畠壱せ歩　善次良〔郎〕
一屋敷壱畝弐拾六歩　三四郎
一屋敷四畝歩　小右衛門
一屋敷壱畝拾八歩　久右衛門
一屋敷六歩　仁兵衛
一屋敷壱畝弐拾四歩　善兵衛
一屋敷壱畝弐拾四歩　孫右衛門
一屋敷壱畝拾歩　市之助〔介〕
一屋敷壱畝拾歩　喜右衛門
一屋敷弐拾四歩　弥兵衛
一屋敷壱畝拾歩　同　人
一屋敷三畝拾歩　同　人
一屋敷弐畝歩　内　匠
一屋敷壱畝廿弐歩　三郎右衛門
一屋敷壱畝拾八歩　南蔵坊
一屋敷壱畝六歩　新右衛門
一屋敷壱畝六歩　清右衛門
一屋敷弐拾歩　将　監

一屋敷壱畝弐拾弐歩　同　人
一屋敷壱畝拾弐歩　七　兵　衛
一屋敷壱畝拾弐歩　太郎右衛門
一屋敷壱畝拾歩　半右衛門
一屋敷弐畝弐拾壱歩　三郎右衛門
一屋敷壱畝拾八歩　善右衛門
一屋敷壱畝拾弐歩　五郎左衛門
一屋敷壱畝七歩　新左衛門
一屋敷弐拾五歩　太左衛門
一屋敷三畝廿歩　七郎右衛門
一屋敷弐拾八歩　同　人
一屋敷壱畝拾弐歩　久左衛門
一屋敷壱畝弐拾五歩　太良(郎)左衛門
一屋敷壱畝拾五歩　弥右衛門
一屋敷壱畝弐拾六歩　与次右衛門
一屋敷壱畝拾五歩　茂右衛門
一屋敷壱畝拾五歩　四郎右衛門
一屋敷壱畝拾弐歩　長右衛門

一屋敷壱畝拾弐歩　善次郎
上田五町壱反弐畝歩
中田八町弐畝壱歩
下田七町壱反三畝弐拾九歩
三口合弐拾町弐反八畝歩
上畠弐町四反九畝八歩
此内壱畝拾歩ハ屋敷ニなおし引
中畠五町九反八畝拾五歩
下畠八町五反四せ歩
三口合拾七町壱畝弐拾三歩
諏訪ノ原畠開
上畠八反廿歩
中畠壱町三反八畝八歩
下畠拾七町九反八畝拾四歩
三口合弐拾町壱反七畝拾弐歩
田畑合五拾七町四反七せ五歩
内上畠弐反六畝拾六歩　合壱町弐反六せ拾六歩ハ九郎左衛門ニ出ス
諏訪原下畠壱町歩
同中田弐反歩ハ名主めんニ引同下畠三反歩ハ十左衛門ニ出ス

屋敷合五反八畝拾三歩

寛永十六年
己卯二月廿七日

北川十兵衛㊞
高井九郎右衛門㊞
永井水〔之〕助㊞
山岡太郎左衛門㊞
伊藤六左衛門㊞
奥山作左衛門㊞
宮田七左衛門㊞
山崎金兵衛㊞
稲森勘左衛門㊞
鈴木市左衛門㊞
徳田杢右衛門㊞
渡辺市兵衛㊞
中村金左衛門㊞
杉浦伊兵衛㊞
常羽久兵衛㊞
喰代五郎兵衛㊞
池長権左衛門㊞

（市役所所蔵文書　17―1）

三八　寛文四年七月　白子村辰改畑野検地帳

（表紙）
寛文四年
武州新座郡白子村辰改畑野検地帳
辰ノ七月九日
（縦帳）

市場上
三拾九間　弐拾弐間　下畑弐反八畝拾八歩　庄左衛門
同所
三拾四間　九間　下畑壱反六歩　五左衛門
同所
四拾七間　拾七間　下畑弐反九畝壱歩　外七拾弐歩入　弥二右衛門
同所
五拾間　弐拾四間　下畑四反歩　加兵衛
市場上

弐拾八間四拾間	下畑三反七畝拾歩	長左衛門
かうど		
弐拾間弐拾弐間	下畑壱反四畝弐拾歩	久右衛門
下山		
弐拾壱間四拾間	下畑弐反八畝歩	五郎左衛門
同所		
三拾四間四拾間	下畑四反五畝拾歩	同　人
同所		
弐拾弐間三拾四間	下畑弐反四畝弐拾八歩	同　人
同所		
三拾間半四拾五間	下畑四反九畝五歩外百三歩入	次兵衛
うら		
四拾四間拾弐間	下畑壱反七畝拾八歩	茂右衛門
同所		
四拾四間拾間	下畑壱反四畝弐拾歩	同　人
こしの上		
五拾六間九間	中畑壱反六畝弐拾四歩	金右衛門
同所		
六拾六間八間	下畑壱反四畝弐拾八歩	同　人
同所		
四拾間三拾四間	下畑四反五畝拾歩	同　人
同所		
四拾八間五間	下畑八畝歩	勘左衛門
同所		
拾八間弐拾間	下畑壱反弐畝歩	兵右衛門
同所		
弐拾四間五拾七間	下畑四反五畝拾八歩	□右衛門
同所		
拾弐間弐拾四間	下畑九畝拾八歩	同　人
坂上		
弐拾六間五拾三間	中畑四反五畝弐拾八歩	与五兵衛
同所		
拾間□弐間	下畑七畝拾歩	藤左衛門
同所		
弐拾四間九間	中畑七畝六歩	同　人
セどの山		

四拾壱間 弐拾八間　下畑三反八畝八歩　甚右衛門

同所 拾五間 弐拾八間　中畑壱反四せ歩　同　人

同所 □拾九間 弐拾八間　下畑弐反九せ弐拾弐歩 外八拾歩入　半右衛門

□□ □弐間 弐拾弐間　下畑五畝四歩　善八

同所 弐拾九間 弐拾三間　下畑弐反弐せ七歩　同　人

同所 弐拾八間 弐拾間　下畑壱反八せ弐拾歩　同　人

向山 三拾四間 六拾間　下畑六反八畝歩　市郎右衛門

同所 八拾弐間 四拾間　下畑壱町九畝拾歩　十右衛門

同所 八拾六間 七拾六間　下畑弐町壱反七畝弐拾六歩　忠兵衛

同所 八拾間 六拾間　下畑壱町六反歩　四郎右衛門

同所 七拾間 □(弐拾三)間　下畑六反弐拾歩 外弐百拾歩入　三右衛門

同所 弐拾弐間 弐拾四間　下畑弐反五畝拾八歩　同　人

同所 四拾間 四拾間　下畑五反三畝拾歩　六兵衛

同所 拾六間 三拾八間　下畑弐反八歩　善八

同所 四拾弐間 拾六間　下畑弐反弐せ拾弐歩　半三郎

同所 弐拾三間 三拾三間　下畑弐反五畝九歩　同　人

同所 弐拾間 拾三間　下畑八せ弐拾歩　同　人

同所 拾七間 弐拾間　下畑壱反壱せ拾歩　甚右衛門

同所　弐拾六間　拾弐間　下畑壱反拾弐歩　同人

同所　三拾壱間　四拾五間　下畑四反六畝拾五歩　同人

同所　弐拾四間　四拾七間　下畑三反七畝拾八歩　市郎兵衛

同所　弐拾六間　拾九間　下畑壱反七畝廿四歩　外四拾歩入　甚右衛門

同所　弐拾四間　弐拾間　下畑壱反六せ歩　半三郎

同所　四拾七間　弐拾五間　下畑三反九畝五歩　市郎兵衛

同所　拾間　弐拾間　下畑六せ弐拾歩　同人

同所　三拾四間　弐拾壱間　下畑弐反三せ弐拾四歩　□右衛門

たわ□□　三拾五間　六拾五間　下畑七反五せ弐拾五歩　吉左衛門

同所　六拾間　三拾三間　下畑六反六畝歩　勘兵衛

同所　三拾五間　三拾弐間　下畑三反七畝拾歩　理兵衛

同所　三拾五間　三拾弐間　下畠三反七畝拾歩　伝兵衛

すわ山　八拾六間　拾間　下畑弐反八畝弐拾歩　勘兵衛

同所　弐拾間　拾間　下畑六畝弐拾歩　同人

同所　四拾五間　拾六間　下畑弐反四畝歩　同人

右之寄

四つ　中畑八反三畝弐拾八歩

此分米三石三斗五升七合

三つ　下畑拾八町五反弐畝弐拾七歩

此分米五拾五石五斗八升七合

畑合拾九町三反六畝弐拾五歩
分米五拾八石九斗四升四合

市場上
五拾間 弐拾四間 下野四反歩 左兵衛
同所
弐拾三間 三拾間 下野弐反三せ歩 長左衛門
かうど
三拾五間 拾八間 下野弐反壱せ歩 五郎左衛門
城口
拾四間 拾八間 下野八せ拾弐歩 長左衛門
下山
拾六間 七間 下野三畝弐拾弐歩 次兵衛
城山
弐拾間 拾九間 下野壱反弐せ弐拾歩 同人
同所
弐拾間 弐拾七間 下野壱反八せ歩 六左衛門
同所
拾間 六間 下野弐せ歩 六左衛門
同所
弐拾四間 拾九間 下野壱反五畝六歩 同人
同所
拾間 弐拾七間 下野九畝歩 同人
うら
三拾八間 七間 中野八畝廿六歩 茂左衛門
同所
四拾弐間 六間 中野八せ拾弐歩 次兵衛
うら
拾八間 拾四間 上野八せ拾弐歩 太左衛門
同所
四間 五間 上野廿歩 次右衛門
同所
八間半 弐拾間 中野五畝弐拾歩 三太郎
同所
六間 弐拾間 中野四せ歩 勘次郎
うら

弐拾弐間
拾三間　中野壱反九畝拾六歩
外三百歩入　勘兵衛

こしの上
百間
弐拾六間　中野八反九せ七歩
外七拾七歩入　金右衛門

同所
弐拾間
三拾間　下々野弐反歩　福寿坊

同所
七拾六間
弐拾八間　中野七反弐拾八歩　勘左衛門

同所
六拾五間
弐拾六間　中野五反六せ拾歩　兵右衛門

坂上
三拾四間
拾弐間　上野壱反三せ拾八歩　与五兵衛

同所
五拾四間
弐拾三間　上野四反三せ拾弐歩
外六十歩入　藤左衛門

セどの山
四拾五間
弐拾間　中野三反歩　甚右衛門

同所
三拾間
弐拾六間　下野弐反六畝歩　半右衛門

せへ坂
七拾八間
三拾四間　中野八反八せ拾弐歩　善八

同所
三拾六間
三拾五間　下野四反弐せ歩　同人

向山
拾間
八拾間　下野弐反六せ弐拾歩　四郎右衛門

同所
四拾八間
弐拾四間　下野三反八畝拾弐歩　三右衛門

同所
六拾四間
九拾九間　下野弐町壱反壱せ六歩　半三郎

同所
五拾八間
百間　下野壱町九反三せ拾歩　甚右衛門

同所
三拾間
八拾間　下野八反歩　忠右衛門

下山
三拾七間
□拾間　中野三反七畝歩　次兵衛

むかい山
四拾六間
四拾五間　中野六反九せ歩　半三郎

同所

三拾六間　下野壱反四せ拾弐歩　同　人
拾弐間
たわらくほ
三拾五間　下野四反弐せ弐拾五歩
三拾五間　外三十歩入
同所
三拾三間　下野七反拾弐歩　吉左衛門
六拾四間
向山
弐拾六間　下野六反七畝拾八歩　市郎右衛門
七拾八間
□□山（訪）
七拾間　下野三町弐反六せ弐拾歩　地福寺
百四拾間　是ハ雑木御林下草野如此
右之寄
上野六反六畝弐歩　山守勘兵衛
此永百九拾八文　但シ三拾文代
中野四町八反七畝拾壱歩
此永九百七拾五文　但シ弐拾文代
下野拾弐町九反弐せ拾五歩
此永壱貫九百三拾九文　但シ拾五文代
下々野弐反歩　但シ五文代
此永拾文
野合拾八町六反五畝弐拾八歩
永合三貫百廿弐文
野村代
梅村伝左衛門
玉屋理兵衛
寛文四年辰七月九日　同
（市役所所蔵文書　17―2）

2　工　業

一三九　文化一〇年五月　上新倉村水車油絞願書

乍恐以書付奉願上候
一水車油絞　壱株

車壱丈弐尺

但　挽臼壱柄　　是迄有来之分

舂臼拾柄

油〆木三組

一武州新座郡上新倉村百姓清左衛門奉申上候、私儀先年水車舂挽壱株奉願上、是迄農業之間右売(商カ)買仕来、尤冥加永之儀者永弐百七拾文ツ、無滞年々御上納仕候、然ル処今般尚亦不顧恐多奉願上候、何卒格別之御勘弁ヲ以前書之通水車油絞壱株被為仰付被下置度奉願上候、然ル上ハ農業之間ニ辛子并菜種其外絞稼仕、家業足り合仕度奉存候、勿論舂挽水車株有之、是迄稼仕候義ニ付、此度油車奉願候儀、何方ゟも差障無御座候、且冥加永之儀者是迄永弐百七拾文上納仕候与猶亦弐百五拾文相増、都合永五百弐拾文御上納仕候間、偏ニ　御慈悲を以右願之通水車油絞株被仰付被下置候ハ、難有仕合ニ奉存候、以上

武州新座郡上新倉村

文化十酉年五月十九日　　願人　百姓　清左衛門㊞

川崎平右衛門様

元御役所

六〇〇

親類　五人組　幸　助㊞

年寄　清　吉㊞

名主　彦右衛門㊞

庄左衛門㊞

（富岡　実家文書　53—47）

一三〇　文化一一年二月　上新倉村水車稼願書

乍恐以書付奉願上候

武州新座郡

上新倉村

百姓　清左衛門

一子ゟ酉迄拾ヶ年季水車　壱輪　指渡壱丈弐尺

此冥加永弐百七拾文

外永弐拾文　切替増

右者私儀農業之間賃舂等相稼、前書冥加永上納仕来り候処、去酉年季明ニ付、猶又当戌ゟ来ル未迄拾ヶ

年季切替被　仰付度奉願上候、勿論少々宛之油手絞之春挽ニも相用調法仕難有奉存候間、此度御切替ニ付候而ハ書面之増御運上奉差上、是迄之通り相稼申度奉存候間、何卒以　御慈悲右願之通り被　仰付被下置候ハヽ、難有仕合ニ奉存候、以上

右上新倉村
水車稼人　百姓　清左衛門㊞
組頭　彦左衛門㊞
名主　庄左衛門㊞

文化十一戌年二月十八日

大岡源右衛門様
御役所

（富岡　実家文書　53—48）

一三一　天保一五年二月　上新倉村水車稼継続願書

乍恐以書付奉願上候

一水車　午ゟ卯迄拾ヶ年季　壱輪　但差渡壱丈弐尺

此冥加永弐百八十壱文

外永三文　切替ニ付増

右者去ル午ゟ卯迄拾ヶ年季書面冥加永上納水車稼被仰付置候処、当辰年季明ニ付増永いたし切替、跡受可相願旨御触之趣承知奉畏候へ共、元来右水車稼水元之義者村内七ッ池并隣村岡村平沢池等之流末を以相稼候義之処、素々自水同様之義故、近年委く水引不順ニ罷成稼方不相成難渋罷在、迚も此上増永可仕様無御座候、何卒以御慈悲前書増永ニ而、猶又当辰ゟ来ル丑迄十ヶ年季（是迄之通）水車稼被仰付被下置度奉願上候、以上

武州新座郡上新倉村
元庄左衛門組

天保十五辰年二月廿六日　　百姓代　清左衛門

村役人惣代　名主　文右衛門

大熊善太郎様

御役所

（冨岡　実家文書　53—53）

覚

戌二月朔日夜　槙売と相定メ

河岸ニ而の相場金壱両ニ付

枝槙百五束ト定メ

雑槙百拾五束ト定メ

二月初午夜　引又町出火ニ付

二月八日夜　弥次右衛門参ル

槙之儀者相場ハ弐把宛ツヽ相直シ申候ニ付急ギテ切候ト云、木切之儀者弥次右衛門相頼ム

山番之方も相頼ム

山入之儀者

二月九日　　酒代

一銭六百文　　金兵衛へ遣ス

二月九日　　酒代

銭三百文　　亀五郎へ遣ス

間口割附道之山番致ス

3　商業・金融

一三三　文久二年正月　上新倉村槙山売覚帳

（表紙）

文久二壬戌年

万槙山売覚帳

正月吉日　上新倉村　藤右衛門

（横帳）

覚

戌
二月九日　割附道山　金次郎
一枝槙四拾五束

□九日　割附道山　平四郎
一枝槙四拾五束

二月九日　割附道山　勝五郎
一枝槙四拾五束

二月九日　割附道山　寅吉
一枝槙三拾三束

二月廿日　間口　寅吉
一枝槙弐拾七束

二月十日　間口　同人
一雑槙三束

二月十日　間口　勝五郎
一枝槙四拾束

二月十日　間口　同人
一雑槙五束

二月十日　間口
一枝槙四拾束

二月十日　間口　平四郎
一雑槙六束

二月十一日　間口　同人
一雑槙三束

二月十一日　間口　金次郎
一雑槙八束

二月十一日　割附道山　勝五郎
一雑槙三拾三束

二月十一日　割附道山　同人
一枝槙三拾束

此十一日之分、両人乗合ニ而半分ヶと朝定メ申候
メ七拾四束
半分ヶ三拾七束宛ト定ム

覚

割附道之処の山分不残メ
一枝槙百九拾八束

一雑槙三拾三束　　三月十四日
〆弐百三拾壱束　　一雑槙拾六束　　下　山

覚

間口之処不残〆　　三月十四日
一枝槙百七束　　一枝槙三拾四束　　下　山
一雑槙弐拾五束　　三月十四日
〆百三拾弐束　　一雑槙五拾壱束　　上谷つ台方

兼　吉
平四郎　　三人ニ而切
勝五郎

覚

戌
三月十四日
一枝槙三拾七束　　鎮守脇
三月十四日
一雑槙拾壱束　　鎮守脇
三月十四日
一雑槙拾四束　　家　裏
三月十四日
一槙拾四束　　下　山

一槙〆拾四束
一枝槙〆七拾壱束
一雑槙〆九拾弐束
惣〆百七拾七束

覚

戌
三月十七日
一枝槙五束　　上谷つ
三月十七日
一雑槙三拾弐束　　上谷つ

三月十七日
一雑槙六束　向坂下
三月十七日
一雑槙拾束　谷つ前田
三月十七日
一雑槙拾四束　台坂下田
三月十七日
一雑槙弐拾六束　龍作壱畝割
三月十七日
一雑槙七束　同三畝割
三月十七日
一枝槙六束　同弐畝割
兼吉
車力　勝五郎　三人ニ而切
藤吉内
雑槙〆　九拾五束
枝槙〆　拾壱束
惣〆　百六束

戌覚
三月十八日
一枝槙三拾三束　四角割　道附
三月十八日
一雑槙拾束　四角割　道附
三月十八日
一枝槙弐拾九束　四角割　山附
三月十八日
一雑槙九束　四角割　山附
兼吉
車力　勝五郎　三人ニ而切
藤吉内
〆枝槙六拾弐束
雑槙〆拾九束
惣〆八拾壱束
枝槙惣〆　四百四拾九束
此分弐束河岸ニ而不足致ス
雑槙惣〆　弐百六拾四束

此分山ニ而不足致候壱束

□槙惣〆拾四束

惣〆七百弐拾七束

内三束不足致シ申候

覚

銭相場六六

文久二壬戌年

四月八日夜勘定

一樫枝槙四百四拾七束

両替百四束替

代金四両壱分ト銭三百拾六文

一雑槙弐百六拾三束

両替百拾四束

代金弐両壱分ト銭三百七拾六文

一樫槙拾四束

両替八拾束

代金弐朱ト銭三百弐拾九文

三口代金〆六両弐分弐朱ト銭壱〆弐拾五文

覚

慶応三丁卯正月廿二日始メ

向原山

卯正月

一槙〆六拾七把　　権次郎

代壱〆百拾六文

一槙百五拾壱把　　由五郎

代弐〆五百拾六文

壱分ト八百十六文

一槙百五拾四把　　武兵衛

代弐貫五百六十四文

壱分ト八百六十四文

一槙五拾弐把　　仁左衛門

代八百六十四文

一槙百五拾七把　　林　蔵

代九百四十八文

〃〃〃〃〃〃

代弐貫六百拾六文

壱分ト九百十六文

一槙百三拾弐把　兼吉
代弐貫弐百文
弐朱ト五百文
壱〆三百四十八文
一槙百拾弐把　平四郎
代壱〆八百六十四文
向原弐ヶ所ニ而
槙〆八百廿五把
代拾三貫七百四十八文
外槙拾壱把
内雑槙
枝槙六百七拾五把
右之内　雑槙六把　向原道上　惣兵衛分
枝槙百五拾四把
雑槙壱把　向原あせ木
車力賃ハ并ハ十五文
字十三畝割　川岸之処
卯二月六日

一枝槙六拾三把
同所
卯二月六日
一雑槙拾四把
字十壱反割
一枝槙三百廿九把
同所
一雑槙九把
字十八畝割
一枝槙四拾壱把
同所
一雑槙弐拾把
流作三ヶ所
ニ而六口　〆槙四百七拾六把
右之内　枝槙四百三拾三把
雑槙四拾三把
此儀者車力勘定ハ
此外壱わ相増
卯二月　字ナ宮下ノ田ノ土手
一枝槙三拾六把

字ナ四角割弥市作分
一枝槙七拾七把
惣〆枝雑槙　〆　千四百廿六把
内枝槙四把不足致ス
慶応三卯年二月
此訳者　枝槙三百六把　与　市
枝槙五百七拾把　長左衛門
雑槙弐拾六把　同　人
枝槙四百九拾六把　六兵衛
雑槙弐拾四把　同　人
此外宝積院三王山上木太兵衛買請置候分、藤右衛門又買仕、此分見積り枝槙三拾把位への積りニ而六兵衛へ売渡し
六兵衛之分〆　枝槙五百廿六把
雑槙弐拾四把
槙相場之儀者卯二月ゟ同五月十五日迄預ケニ而、金壱両ニ枝槙四拾五把、雑槙弐把、合金壱両ニ四拾七把宛つゝの相場
長左衛門分
枝雑槙〆五百九拾六把
代金拾弐両弐分弐朱ト　銀三匁三分四りん
与　市分
枝槙〆三百六把
代金六両弐分ト　銀六分三リン
六兵衛分
枝雑槙〆五百五拾把
代金拾壱両弐分三朱ト　銀八分七厘

覚

明治二巳二月朔日
一金四両弐分也
広沢原之山、立松大壱本有山下木、四角割弐前之并（アセ）木、右七郎左衛門之作分ト、元右衛門作分ト、芥之久保之山ト、右三ケ所ニ而代金四両弐分也、右之相場ニ而、兵左衛門江売渡し申候、河岸ニ而之相場者

枝槙両ニ七拾足位へ之相場、雑槙者両ニ八十四五足之相場、木切之儀者壱把ニ付、并拾八文掛り、河岸出シ者壱把ニ付弐拾八文位へ之相場ヲ見積り取極申候

覚

稲荷様前
明治四未正月　武兵衛切

一枝槙雑〆弐百弐拾四束也
六貫四拾八文

同所　兼吉

一枝四拾九束也
壱貫三百弐拾三文

稲荷様大門不残
〆弐百七拾三束也
壱束ニ付弐拾七文并ゟ弐文増
此切賃七貫三百七拾壱文

内枝槙弐百五拾七束也
同樫槙八束也
同雑木八束也

覚

明治三午十二月

花之木山
一五拾六束也
壱束ニ付弐拾五文宛つゝ
此切賃壱貫四百文　武兵衛切

同所　兼吉

一四拾八束也
此切賃壱貫弐百文

花之木山　林右衛門切
一五拾六束也
此切賃壱貫四百文

花之木山
〆　百六拾束也
此切賃四貫文

内枝槙
同雑槙

長久保槙山記

一百弐拾束　勇次郎
代三貫文
一百五拾四束　兼　吉
代三貫八百五十文
一百八拾八束　平四郎
代四貫七百文
一百八拾八束　忠左衛門
代四貫七百文
一百四拾七束　七郎右衛門
代三貫六百七拾五文
一百拾弐束　林右衛門
代弐貫八百文
一九拾壱束　武兵衛
代弐〆弐百七拾五文
七口　真木千束也
此切賃壱束ニ付、弐拾五文割
〆
此銭弐拾五貫文也

此金弐両弐分也

車引　記

四人　武兵衛
代七貫文
四人　林右衛門
代七貫文
四人　七郎右衛門
代七貫文
四人　兼　吉
代七貫文
三人　平四郎
代五貫弐百五十（文脱カ）
三人　忠左衛門
代五貫弐百五十文
三人　勇次郎（ユウ）
代五貫弐百五十文
弐拾五人　壱人ニ付銀拾匁五分割
此銭壱〆七百五十文

〆　此銀弐百六拾弐匁五分
　此銭四拾三貫七百五十文
　此金四両壱分弐朱也
　四月四日相渡し

木切記　　武兵衛

一四人半
　代金弐分弐朱也
　内弐朱宛つゝ二日分
　二日半日銀九匁割

一四人半　　林右衛門
　代金弐分弐朱也
　右同断

〆　金壱両壱分也
　四月四日相渡候

（星野　茂家文書　24—75）

一三三　文久二年四月　上新倉村封金講割合覚帳

（表紙）
文久二戌年四月
封金講割合覚帳
志村　会主
大野長左衛門
（縦帳）

覚

一鬮数廿弐本　　但取親壱口ニ付
　但壱口ニ付　　金五両三分掛ケ
　金五両三分
　此寄金百弐拾六両弐分也
　此訳
　金百両　御手取金
　同壱両弐分　花　六本
　同弐拾両　割戻金
　同五両　座料

一金四両三分ト　　初会

銀五匁四分六厘
一同四両三分ト　弐会
銀弐匁八分六厘
一同四両三分也　三会
一同四両弐分弐朱ト　四会
銀四匁三分四厘
一同四両弐分弐朱ト　五会
銀八分三厘
一同四両弐分ト　六会
銀四匁四分壱厘
一同四両弐分也　七会
一同四両壱分弐朱ト　八会
銀弐匁五分
一同四両壱分ト　九会
銀四匁弐分九厘
一同四両弐朱ト　十会
銀五匁九厘
一金四両ト　十壱会

銀五匁
一同三両三分弐朱ト　十弐会
銀三匁四分
一同三両三分也　十三会
一同三両弐分ト　十四会
銀壱匁六分六厘
一同三両壱分也　十五会
一同弐両三分弐朱ト　十六会
銀壱匁八厘
一同弐両壱分弐朱ト　十七会
銀弐匁五分
一同壱両三分也　十八会
一同三分也　十九会
子方懸金是迄合
金七拾弐両ト　銀五匁九分弐厘
一金三分弐朱ト　弐拾会
銀弐匁五分　割戻し
一同四両壱分也　廿壱会

右同断

一同拾四両壱分也　　満　会

右同断

合金百拾四両壱分也　　満会御手取

右之通り御座候以上

文久二戌年四月

会主　大野長左衛門

世話人　大野藤左衛門

同　五郎右衛門

同　武　兵　衛

同　武次右衛門

同　直　次　郎

（桜井　晃家文書　4—74）

一三四　文久二年九月　上新倉村船肥相場付覚帳

（表紙）

壬文久二年

船糞相場附覚帳

戌九月吉日

（横帳）

覚

酉三月廿日揚ヶ　兵左衛門ゟ

一拾四駄　小使相渡し申さづ

内薩摩トコイ四駄半

クハノ木へ弐駄半懸ル

安政六未七月払

初舟ゟ二月十四日迄

一金壱両壱分ト六百文

二月十五日ゟ三月十四日迄

一金壱両壱分ト八百文

三月十五日ゟ四月四日迄

一金壱両弐分弐朱ト弐百文

四月五日ゟ仕舞迄

一金壱両三分壱朱ト弐百文

掛こへ

一金壱両弐分弐朱ト弐百文

金壱両相場

六〆七百四十八文

安政六未極月払
初舟ゟ八月五日迄
一金壱両ト八百文
八月六ゟ八月廿八日迄
一金壱両ト壱〆文
八月廿九日ゟ九月廿六日迄
一金壱両ト壱〆四百文
九月廿七日ゟ仕舞迄
一金壱両壱分ト八百文
掛肥
一金壱両壱〆文
金壱両相場
銭六貫五百文

万延元申七月払
初舟ゟ二月廿五日迄
一金壱両壱分ト四百文
二月廿六ゟ三月廿五日迄
一金壱両壱分弐朱ト弐百文
三月廿六日ゟ壬三月十五日迄
一金壱両弐分壱朱ト弐百文
壬三月十六日ゟ仕舞迄
一金壱両三分ト弐百文
掛こへ土用迄
一金壱両弐分一朱ト弐百文
土用中
一金壱両壱分三朱ト弐百文
銭相場
六〆七百文

万延元申極月払
初舟ゟ七月十五日迄
一金壱両壱分ト弐百文
七月十六日ゟ八月十日迄
一金壱両壱分ト四百文
八月十一日ゟ九月七日迄
一金壱両壱分弐朱ト弐百文
九月八日ゟ仕舞迄

一金壱両弐分一朱ト弐百文
上肥
一金壱両壱分ト弐百文
残相場
六〆六百文

文久元酉七月払
初舟ゟ二月十五日迄
一金壱両壱分弐朱ト四百文
二月十六日ゟ三月十日迄
一金壱両弐分一朱ト弐百文
三月十一日ゟ三月晦日迄
一金壱両三分ト四百文
四月朔日ゟ仕舞迄
一金弐両ト六百文
上こへ
一金壱両三分ト四百文
銭相場六貫六百文

文久元辛酉極月払
初ゟ七月廿七日迄
一金壱両ト壱〆弐百文
七月廿八日ゟ八月十五日迄
一金壱両弐朱ト八百文
八月十六日ゟ九月十八日迄
一金壱両壱分一朱ト弐百文
九月十九日ゟ仕舞迄
一金壱両弐分ト弐百文
掛肥
一金壱両弐朱ト弐百文
銭両相場
六〆七百文

文久二戌年七月払
覚
初ゟ二月廿日迄
一金壱両壱分弐朱ト八百文
二月廿一日ゟ三月廿日迄

一金壱両弐分一朱ト弐百文
三月廿一日ゟ四月十日迄
一金壱両三分ト六百文
四月十一日ゟ仕舞迄
一金弐両ト六百文
上こへ
一金壱両三分ト六百文
銭相場六〆七百文

文久二戌年極月払
覚
初ゟ八月八日迄
一金壱両ト八百文
八月九日ゟ八月晦日迄
一金壱両ト壱〆文
壬八月朔日ゟ同八月晦日迄
一金壱両壱分ト弐百文
九月朔日ゟ仕舞迄
一金壱両壱分弐朱ト弐百文
寒前掛肥
一金壱両ト壱〆文
寒入掛肥
一金壱両壱分弐朱ト弐百文
銭相場六〆七百文

文久三亥七月払
相場附
初ゟ二月五日迄
一金壱両弐分二朱ト弐百文
二月六日ゟ三月五日迄
一金壱両三分ト弐百文
三月六日ゟ同月廿五日迄
一金壱両三分三朱ト弐百文
三月廿六日ゟ仕舞迄
一金弐両壱朱ト弐百文
掛こへ
一金壱両三分ト弐百文
銭相場六〆七百文

文久三亥極月払
相場附之覚
初ゟ七月廿日迄
一金壱両壱分ト弐百文
七月廿一日ゟ八月十日迄
一金壱両壱分ト四百文
八月十一日ゟ九月十日迄
一金壱両壱分三朱ト弐百文
九月十一日ゟ仕舞迄
一金壱両弐分弐朱ト四百文
掛こへ
一金壱両弐分ト弐百文
㊀相場六貫七百文
亥極月朔日相場

元治元甲子年
七月払相場附
覚
初舟ゟ二月十二日迄
一金壱両三分ト弐百文
二月十三日ゟ三月十三日迄
一金壱両三分弐朱ト弐百文
三月十四日ゟ同月晦日迄
一金弐両ト八百文
四月朔日ゟ仕舞迄
一金弐両壱分ト八百文
銭相場六貫七百文
子七月朔日改

覚
初ゟ七月晦日迄
一金壱両弐分ト六百文
八月朔日ゟ同廿三日迄
一金壱両弐分ト六百文
八月廿四日ゟ九月廿三日迄
一金壱両三分ト弐百文
九月廿四日ゟ仕舞迄
一金壱両三分三朱ト弐百文
麦掛こへ
一金壱両三分ト弐百文

銭相場六〆七百文
百文銭六〆八百文
東明寺茶代壱人分弐百文
子十二月朔日改

覚

初ゟ二月廿五日迄
一金弐両ト弐百文
二月廿六日ゟ三月廿五日迄
一金弐両弐朱ト弐百文
三月廿六日寄四月廿五日迄
一金弐両壱分三朱ト弐百文
四月廿六日寄仕舞迄掛こへ共
一金弐両弐分三朱ト弐百文
銭相場六〆七百文
丑七月朔日改

覚

寅初ゟ二月四日迄
一金弐両三分弐朱ト弐百文
二月五日ゟ三月五日迄
一金三両ト弐百文
三月六日ゟ四月廿五日迄
一金三両壱分ト弐百文
四月廿六日ゟ仕舞迄
一金三両弐分ト弐百文
銭相場六貫八百文

覚

慶応四辰年
初ゟ八月八日迄
一金弐両弐分ト弐百文
壱駄ニ付金壱朱ト弐百八十三文
八月九日ゟ九月六日迄
一金弐両三分弐朱ト弐百文
壱駄ニ付金壱朱ト四百弐拾四文
九月七日ゟ仕舞迄
一金三両弐分ト弐百文
壱駄ニ付金弐朱ト七文
上屎

一金三両弐朱ト弐百文
差引銭拾貫四百文
銭斗り持参之者者
金壱両ニ付拾壱〆弐百文
此銭相場之儀者銭下直ニ付
金壱両ニ付拾弐貫文ト成ル

覚

明治四年七月
一拾四駄　兵左衛門
小使壱〆弐百文
同七月十（日脱カ）
一拾四駄　同断
小使相渡申さつ候

記

兵左衛門㊞

明治九子三月七日　揚ヶ始メ
船肥

子三月十三日　金兵衛㊞
船肥拾駄　内家揚ヶ
ませ肥

（裏表紙）
上新倉村
星野
藤右衛門

（星野　茂家文書　21―3）

一三五　天保一〇年正月　下新倉村仕入物勘定帳

（表紙）
天保拾亥年
仕入物勘定帳
正月拾二日
（横帳）

目出度初メ

目方弐拾四匁三分
一銀代五拾五匁九分六厘　髪指之分
此手間十匁七分
目七拾九（方脱カ）匁四分
一銀代百八十弐匁六分五厘　髪指之分

此手間三十八匁六分
一九匁　目方
一銀拾匁九分　代弐拾五匁七厘
手間三匁八分
手間七匁六分
一代拾七匁弐厘　同
一代五匁七分五厘　くし
一〃三匁七分五厘　〃
一〃六匁壱分　〃弐
一〃七匁　〃
一〃五匁　ぼうしばり
一〃弐拾九匁六分　きせる
一〃弐拾壱匁　ねつけ
一〃拾壱匁八分　きせる
一〃八匁八分　金物
一〃八匁六分　〃
一〃三拾五匁　〃
一〃四拾匁八分七厘　〃　おじめ共
一〃拾弐匁弐分六厘　〃
一〃拾匁六分八厘　〃
一〃三拾壱匁九分八厘　〃
一〃六分　〃
〆弐百拾壱匁壱分九厘　小金物おじめ共
惣〆六拾壱匁壱分五厘　かんさし
一九匁　下金物
切馬櫛覚
一拾壱匁　くし
一四匁弐分五厘　〃
一五匁壱分　〃
一拾弐匁　〃
一四匁五分　〃
一五匁三分　〃
一五匁四分　〃

笄　弐本
□込

一四匁　〃
一四匁　〃
一壱匁　〃
一四匁弐分　〃
一三匁八分　〃
一弐匁八分　〃
一弐匁六分　〃
一三匁三分　〃
一五匁　〃
一三匁　〃
一六匁　〃
一五匁　〃
一弐匁　〃
一四匁　〃
一弐匁　〃
一弐匁　〃
一三拾壱匁五分　〃

朝せん類

〆百弐拾七匁四分五厘

木櫛類覚

一拾匁四分八厘　〃
一四匁九分八厘　〃
一弐十八匁八分五厘　〃
一廿二匁六分五厘　〃
一十壱匁四分　〃
一七匁六分五厘　〃
一弐十匁五分　木笄類
一十六匁四分九厘　〃
此口〆百十三匁九分四厘

きせる類

一壱匁七分六厘　〃
一十九匁四分九厘　〃
一四十五匁九分　〃
一弐十弐匁二分八厘　〃
〆八拾九匁四分三厘

切物類

一四拾三匁六分五厘
一十七匁九分五厘
一九匁六分五厘
一三拾八匁三分六厘
一四匁四分
一四十壱匁三分五厘
〆百五十七匁六厘

〆

一六匁六分四厘　硝子
一銭五百文　同
一〃六百八十六文　花元ゆい
一銀三拾三匁八分七厘　たはこ入
一〃四匁八分三厘　品々
一〃七十六匁弐分
一〃七十弐匁八分五厘
一銭六百七十弐文
〆百九拾四匁三分九厘
銭壱〆八百六十弐文

一銀七匁六分六厘　小間物
一銭壱〆弐百七十九文　品々
一銀三匁三分弐厘　〃
一〃三匁壱分壱厘　〃
一銭六百四十八文　〃
一銀三匁三分五厘　〃
〆銀十七匁六分八厘
銭壱〆九百三十一文

〆

一銀弐十一匁五分五厘　白とうかんさし
一〃拾五匁四分六厘　硝子こうかへ
一銭五百十九文　〃
一〃九百三十文　元ゆいあぶら
一銀壱匁六分六厘　〃
一〃四十弐匁八分六厘　品々
一銭壱〆七文　品々
〆銀八十七匁三分三厘　品々
銭弐〆四百五十六文

一銭壱〆百四十九文　　たぼ入
惣〆銀千四百四拾壱匁三厘
此金弐拾四両ト百十四文
惣銭〆七〆五百廿文
此金壱両弐朱也
二口〆金弐拾五両弐朱也
是ゟ内前仕入方改〆分
一銭壱〆七百四文　品々
一銀拾六匁三分二厘　〃
一〃弐拾弐匁八分九厘　〃
一銭六百三十八文　〃
一〃百五十八文　〃
一銀三匁八分二厘　〃
一〃拾九匁四分七厘　〃
一銭弐百廿三文　〃
一〃三〆弐百七十七文　〃
一銀弐十九匁五分九厘
銀〆九拾弐匁九厘
銭〆六貫八文
銭金〆弐両壱分弐朱ト三百七十六文
内外〆金弐拾七両弐分ト三百七十六文
一金弐両弐分一朱ト
銭三拾四貫三百五拾七文
此金五両弐朱ト弐拾壱文
二口貸金〆七両弐分三朱ト弐拾壱文
仕入　貸金
右二口〆金参拾四両三分一朱ト四百壱文

（裏表紙）
小間物や
伊兵衛

（石田栄一家文書　29—50）

一三六　文久二年一二月　下新倉村下肥代金取立帳

（表紙）
文久二戌年
下糞代金取立帳
極月吉日
（横帳）

覚

戌七月十一日

一金弐分ト　下り　丈之助殿

半艘　三百文　小遣四百文

一壱駄片馬小遣　百四十八文

代金三百九十弐文

小遣引

〆金弐分ト百四十四文

戌七月十一日

一半艘　下り　左　七殿

四百文

代金弐分ト三百文

一六駄百四十八文

代金三朱ト三百廿四文

小遣引

〆金弐分三朱ト七拾弐文

七月廿六日揚

一四駄百文　久保　留五郎殿

代金弐朱ト弐百拾六文

遣引

〆金弐朱ト百拾六文

七月廿六日揚

一四駄百文　久保　平兵衛殿

代金弐朱ト弐百拾六文

遣引

〆金弐朱ト百拾六文

七月廿六日揚

一五駄百文　(北カ)比ノ　平　助殿

代金三朱ト五拾九文

遣引

〆金弐朱ト三百七十七文

七月廿六日揚

一四駄片馬　西ノ　冨五郎殿

小遣なし

代金弐朱ト三百四十七文

〆

一壱駄　下り　仙次郎殿

小遣なし

代銭弐百六十壱文

七月廿六日揚

一八駄片馬　伊兵衛殿

弐百文

代金壱分ト五百六十三文

遣引

〆金壱分ト三百六十三文

駄数

〆六十弐駄片馬

此口銭四百四十五文

売捌茶代　四百四十五文

小遣引

代金弐両ト壱〆三百拾三文

此内ニ而口銭茶代等　可差引事

閏八月十一日

一壱艘

内八百五十渡ス

金壱両ト八百弐十四文

右之通り不残相渡シ申候以上

戌十二月十三日

一金弐朱ト三百四十七文　冨次郎

一金弐分ト百四十四文　丈之助

一金弐分三朱ト七十弐文　佐　七

一弐〆三十九文　伊兵衛

一金弐朱ト百拾六文　平兵衛

一金壱両ト六〆四十三文　留五郎

〃〃〃〃〃〃〃〃　〃〃〃　留五郎

一金弐朱ト百拾六文　平　助

一金弐朱ト三百七十七（文脱カ）　仙次郎

一弐百六十壱文

三艘分

〆金三両ト

弐〆三百十二文預り

但仙次郎殿ゟ

戌十二月十二日

（裏表紙）
世話人
同　仙　次　郎
伊　兵　衛

（石田栄一家文書　29—43）

一三七　安永四年三月　白子村市復活願書

乍恐以書付奉申上候

武州新座郡白子村名主惣百姓奉申上候、此度当村百姓孫市、休市取立之儀奉願候ニ付、村方願ニ候ハヽ、外百姓も加印可仕御儀ニ被為　□依之委細之儀、連印書付可差上旨、孫市方江被為　仰付候段、同人申聞乍恐一同承知奉畏候、此段当村之儀往古ゟ月ニ六度之市相立来り候所、元禄年中類焼後家作出来兼自然と休市同前ニ罷成申候、然所当村之儀中山道板橋宿ゟ川越辺江之横海道ニ而、村高不相応之人馬継立旁近年及困窮候ニ付、何卒前々之通市取立候ハヽ、少々之助成ニも相成、村方相続人馬継立等も可相成、依之右之段御願奉申上度奉存候得共大勢罷出候義者難儀ニ奉存、右孫市惣代ニ相頼乍恐御願ニ差出申候、右願之通休市取立之儀、被為　仰付被下置候而茂、村方ニ何ニ而も障り差支ニ相成候義無御座、村方相続之ため御願奉申上候間願之通被為　仰付被下置候様ニ御慈悲奉願上候、依之惣百姓連印奉差上候、以上

伊賀給地
武州新座郡白子村
惣百姓　与　兵　衛㊞
平　右　衛　門㊞
七　郎　兵　衛㊞
伊　左　衛　門㊞
五郎右衛門㊞
清　右　衛　門㊞
三　次　郎㊞
十　兵　衛㊞
平　兵　衛㊞

安永四年未三月

御奉行所様

市左衛門㊞
喜兵衛㊞
源　蔵㊞
平四郎㊞
佐五兵衛㊞
清　蔵㊞
善　蔵㊞
八郎兵衛㊞
喜三郎㊞
三五郎㊞
作□㊞
与　七㊞
伊三郎㊞
六兵衛㊞
庄三郎㊞
太右衛門㊞
与右衛門㊞
□㊞

□㊞
伊右衛門㊞
彦　八㊞
十右衛門㊞
八右衛門㊞
伝次郎㊞
弥五郎㊞
孫兵衛㊞
善兵衛㊞
権右衛門㊞
善右衛門㊞
藤　八㊞
三郎兵衛㊞
清左衛門㊞
源太郎㊞
平次郎㊞
弥五右衛門㊞
七左衛門㊞

宇兵衛㊞
三郎右衛門㊞
市郎右衛門㊞
喜平太㊞
勝之丞㊞
新六㊞
喜右衛門㊞
太兵衛㊞
与平次㊞
加七㊞
吉兵衛㊞
安左衛門㊞
加右衛門㊞
弥次右衛門㊞
平七㊞
七兵衛㊞
宇兵衛㊞
権七㊞

六二八

八左衛門㊞
市郎兵衛㊞
宇右衛門㊞
六郎兵衛㊞
半□
三郎□
平四郎㊞
藤左衛門㊞
藤七㊞
武右衛門㊞
伊三郎㊞
八十郎㊞
曽□㊞
市兵衛㊞
七右衛門㊞
喜平次㊞
伊左衛門㊞
権介㊞

加右衛門㊞　八三郎㊞
市五郎㊞　源八㊞
伝次郎㊞　十兵衛㊞
善右衛門㊞　徳右衛門㊞
政右衛門㊞　小四郎㊞
源兵衛㊞　長四郎㊞
彦三郎㊞　惣右衛門㊞
百姓惣代　孫市㊞　政右衛門㊞
組頭　藤四郎㊞　伝左衛門㊞
同　吉左衛門㊞　平右衛門㊞
同　定右衛門㊞　宇兵衛㊞
同　弥兵衛㊞　藤左衛門㊞
同　源七㊞　五郎兵衛㊞
名主　冨右衛門㊞　茂右衛門㊞
同　勘兵衛㊞　銀右衛門㊞
久保田十左衛門御代官所　権六㊞
同村　源左衛門㊞
百姓　利右衛門㊞　門三郎㊞

伊　兵　衛㊞
組頭　勘　六㊞
同　次　兵　衛㊞
名主　勘　兵　衛㊞
（冨澤泰次家文書　122—533）

一三八　弘化三年一〇月　白子村買預鉛出入訴状

乍恐以書付御訴訟奉申上候

御屋敷伊賀者給地
武州新座郡白子村
訴訟人（百姓）　忠左衛門

買預鉛出入

林部善太左衛門様御代官所
上州甘楽郡新羽村
相手（名主）　兵　庫

右訴訟人忠左衛門奉申上候、私儀農業之間雑穀并荒物類商仕来上州緑野郡鬼石村ゟ雑穀等取引仕候ニ付、去巳十二月中同所迄罷越候処武州秩父郡中津川村山ニおゐて鉛吹立売捌候趣承およひ、相手兵庫儀右山鉛吹立引受罷在候ニ付、同人方江罷越対談之上夫々直段等取極鉛四百貫目代金八拾両ニ買請、其砌持合候金五拾両相渡帰宅早々尚金三拾両使ヲ以差送、尤金五拾両分ハ同年十二月廿八日迄、金三拾両分者当午正月十日限荷物無相違相送候筈加判之売上一札取之置申候、然ル処右日限ニ到候得共鉛三拾五貫目而已相送其余者一切差送不申候ニ付及懸合候処、直安ニ対談致損毛有之間目方勘弁致貫度様申之等閑置、最初対談之節者月旦之砌ニ付、格別相働直安ニ売渡候趣品能申聞代金不残請取、右様鉛三拾五貫目差送候侭ニ而跡鉛三百六拾五貫目相滞更ニ荷物不相送、依之取詰及懸合候処案外不当之挨拶いたし取敢不申、左候へ者初発対談之節売上書江加判仕候上州吾妻郡下沢渡村名主清左衛門儀、前書中津川村山鉛吹立稼人与唱同人口入人ニ罷越、相手兵庫其外之者共一同馴合荷物相渡間敷所存与相見、何様懸合候而も埒明不申何共難渋至極仕候ニ付無是非今般御

訴訟奉申上候、何卒以御慈悲相手兵庫并加判之者共被召出御吟味之上、前書鉛荷物不残早々相渡候様被　仰付被下置度偏奉願上候、已上

御屋敷番伊賀者給地
武州新座郡白子村
百姓
訴訟人　忠左衛門

弘化三巳年十月

御奉行所様

（同書裏面）

如斯目安差上候間致返答書、来ル廿五日評定所江罷出可対決、若於不参者可為曲事もの也

午十一月六日

御用□□無加印　大和
無加印　河内
佐渡
土佐
内匠
大隅
紀伊

淡路
出雲

（冨澤泰次家文書　123―573）

一三九　嘉永三年二月　白子村新規商売無断開業に付詫状

差出申一札之事

一惣五郎儀去卯年ゟ八ヶ年来当宿内ニ而小源次殿御持紺屋見世借家仕、是迄紺屋渡世致来宿方御陰ヲ以追々取続罷在候内、昨酉年十一月中村内字市場ニ而百姓吉蔵名跡ニ相成、此度右場所江紺屋諸道具不残取立、村役人衆并ニ家主等江一切無沙汰ニ而新規紺屋渡世相始候始末御聞被成、右惣五郎并ニ親類組合被呼立御申聞候、此段新規商売向之儀者前々ゟ御制禁有之別而御改革以来厳云々被仰渡茂有之処、自己之存意ヲ以理不尽ニ新規渡世相初メ候段法外之到り、逸々御察当ヲ請一同恐入全以心得違仕今更一言申訳無之先非後悔仕、依之詫人中江相縋り已来之儀者新

規渡世致申間敷旨ヲ以御歎申上候処、御聞済被下難有存候、依而者右取立候紺屋諸道具不残取払、右渡世之儀者勿論新規出之商売迄一切致申間敷候、此上万々一心得違之義茂御座候ハヽ、何様ニも可被仰立候、為後証一札差入申処仍而如件

当人　惣五郎㊞
親類　八十吉㊞
組合　長　吉㊞
詫人惣代　林　蔵㊞
音次郎㊞

嘉永三戌年二月朔日

御村役人衆中様

（富澤泰次家文書　123―574）

一四〇　嘉永五年七月　白子村愛宕山社縁日地所割出入に付願書

乍恐以書付奉願上候

勝田次郎御代官所武州豊島郡上練馬村地内愛山（宕脱カ）社当六月廿四日縁日ニ而参詣も有之候ニ付、安井平重郎様御知行所同郡下赤塚村百姓源八、同人悴源蔵、大屋邦吉様御知行所同郡上赤塚村百姓勘蔵、伊賀者給地新座郡白子村百姓清次郎、勝田次郎様御代官所下練馬村百姓彦左衛門悴幾次郎、百姓山三郎儀も、水菓子・小間物類商内与而右愛宕境内江罷出候処、御府内小日向松ヶ枝町町人金兵衛店吉五郎悴藤五郎、吉五郎方同居留吉・幸吉・繁蔵、小石川下富坂町家主六右衛門店松五郎、右五人之もの共兼々縁日之儀者承り及居、眼鏡細工・こま等持出渡世致候ハヽ、利潤も可有之与申合右品々持参り愛宕境内江参り候処、前書下赤塚村源八外五人、御府内藤五郎外五人之もの共聊之事ゟ及口論ニ双方疵付候段、訴上御立合御検使与而御越被成疵所御見分之上右始末御吟味中之処、行違之儀も有之今般扱人立入双方篤与承り糺候処、一躰下富坂町家主久右衛門店松五郎ハ下赤塚村源八其外之もの共も兼而知り人ニ候得□□□人之もの共義者知る人も無之間、近付之為酒取寄せ右境内ニ而一同喰合、其上目鏡細工・こ

ま等差出地所割之儀相談仕候処場所選嫌ニ而談合茂不着、其頃者追々参詣も有之相互ニ差急キ商内もの可差出旨様々折柄ニ而、聊言葉之咎ゟ源蔵・藤五郎与口論及既ニ打合候次第ニ相成、其余之者共ハ可取鎮与相方ゟ立入混雑之紛立木ニ立掛置候藤五郎所持之天秤棒倒れ源蔵頭上江拘り少々疵付、同人儀者打擲請候儀与心得立騒キ藤五郎を呼人々之中ヲ駈歩行、在方町方之者共右を可取鎮与存候儀も其頃何れ茂立騒キ酔足元茂悪敷、殊ニ場狭之処木根石等ニつま付身ニ自ニ打倒れ銘々少々つゝ疵付候儀ニ而、右様事柄相分り候上者源蔵儀憤り相晴、其余行違之簾々ハ扱人貴請双方無申分熟談行届キ、疵等も追々快方ニ相成平諭(癒カ)之上ハ渡世之差障ニも相成申間敷、然ル上者此上御吟味請候而者恐入候間願下ヶ之儀相願候心得ニ御座候間、疵人共療養中来ル五日迄日限御日延之儀双方取人并ニ扱人共一同奉願上候、以上

勝田次郎御代官所
武州豊島郡下練馬村

百姓彦左衛門悴
疵人　幾次郎印
百姓同　山三郎印
年寄　久右衛門印

同御代官所
同州同郡上練馬村
年寄　甚右衛門印
名主　又蔵印

安井平十郎知行所
同州同郡下赤塚村
百姓　源八印
同人悴疵人　源蔵印
名主　源右衛門印

大屋邦吉知行所
同州同郡上赤塚村
百姓疵人　勘蔵印
年寄　勘次郎印

伊賀者給地

同州新座郡白子村
百姓瓜人　清次郎印
名主　勘兵衛印
小日向松ヶ枝町
家主金兵衛店　吉五郎
瓜人同居　藤五郎
同　同　繁蔵
同　同　留吉
同　同　幸吉
家主　金兵衛印
名主吉蔵代　猪兵衛印
小石川下富坂町
家主六右衛門店
瓜人　松五郎
家主　六右衛門
名主七右衛門代　庄兵衛
大屋邦吉知行所
武州豊島郡上赤塚村
扱人　玄宝院印

勝田次郎様
御手代　野田東一郎殿

（冨澤泰次家文書　123—599）

一四一　安政三年一〇月　白子村村方積金借用証文

入置申一札之事

一金拾五両者　其御村方積金也
一下田四俵面　成増村地所
一上畑八畝拾弐歩　常五郎持地
　当村はけ下与申所
　与市持地

右者其御村方積金ニ御座候処、我等方江当鬮ニ付前書之田畑為引当、右之金子慥ニ借用申候処実正ニ御座候、但シ返済之儀者壱会ニ付金壱分弐朱宛々、来ル満会迄年々掛送り可申候、若又相滞候節者引当之地所譲り渡し、貴殿江少も御損毛相掛申間敷候、此地所ニ付脇ゟ六ッヶ敷申者一切無御座候、為念入置申一札仍而如件

安政三辰十月

借用人　常五良　㊞

親類　三右衛門㊞
借用人　与　市㊞
親類　仙次郎㊞

勘兵衛様
御世話人衆中

（冨澤泰次家文書　123―606）

五　交　通

1　白子宿と川越街道

一四二　元禄一七年三月　白子宿伝馬役争論訴状

乍恐以書付御訴訟申上候御事

一従前々世間一同ニ田畑石之高懸ニ而御伝馬諸役等相勤申候処ニ、当村之儀ハ御通り御伝馬役之儀、大石・小石之無高下相勤申□付段々致困窮及渇命候故、無是非名主殿・大石持之百姓衆へ高懸りニ御役相勤申様ニ被成候而被下候様ニと、達而訴訟仕候へ共、一切承引無之候故、小百姓共迷惑仕候御事

一御通御伝馬之儀、一日一夜ニ馬七疋・歩行人足三人宛、一ヶ月ニ付馬数弐百拾疋・同歩行役九拾人宛、一ヶ年ニ付馬数弐千五百弐拾疋・人足千八拾人宛、人馬都合三千六百宛相勤申候故、御知行所・御領所共ニ困窮仕候間、大石・小石共ニ高懸ニ而御役相勤候様ニ小百姓共、不残奉願候御事

一年々身躰不罷成候百姓共方ゟ田地等迄質物ニ相渡候節、御年貢・諸役等不残相勤申筈之約束ニ而相渡申候得共、御通役一切相勤不申候故、小高之百姓共段々困窮仕、致迷惑候御事

一田畑小作ニ請負之儀、御年貢一倍ニ請負小作仕候得共、或旱損・水損ニ逢申候節、御検見申請候上ニ而、何分之御引被下候而も、高割ニ而大石之百姓衆割取申候故、小百姓小作人之介ニハ一円罷成不申、困窮仕候御事

一去ル未之年、世間一同之日損仕候故、御訴訟申上候処、為御救米弐拾三俵被遊下候処ニ、右之通高懸ニ而割取之申候、然処ニ御通御役之儀ハ、大小共ニならし役ニ相勤申候段、迷惑ニ奉存候御事

一御道中町々之儀ハ、御拝借金奉願請候へ共、白子村

之儀ハ脇海道ニ而御座候故、御拝借金も不奉願候、
然処ニ大高・小高並勤ニ御伝馬役昼夜相勤申儀何共
迷惑仕候間、今般御慈悲ニ大石之百姓衆被為　御召
出候而、御僉儀之上ニ而、高割ニ御役相勤候様ニ被
為仰付被下候者、難有可奉存候、以上

白子村御訴訟人　　小百姓共

元禄十七年申三月日

御地頭様

伊左衛門　　武左衛門
権左衛門　　吉兵衛
七郎兵衛　　伝兵衛
甚左衛門　　徳兵衛
三右衛門　　金兵衛
弥五兵衛　　十兵衛
長兵衛　　山三郎
九兵衛　　豊右衛門
五郎左衛門　　甚右衛門
佐右衛門　　八郎左衛門
八兵衛
安右衛門
甚五右衛門
六郎兵衛
武兵衛
善兵衛
彦右衛門
平右衛門

利左衛門　四郎兵衛
五郎兵衛　勘左衛門
太郎右衛門　善兵衛
市郎右衛門　甚兵衛
五郎兵衛　十左衛門
十兵衛　平四郎
八兵衛　三郎兵衛
次兵衛　兵三郎
弥次右衛門
五左衛門
源太郎
孫兵衛
久兵衛
吉兵衛
久右衛門
半左衛門
甚左衛門
茂右衛門

（裏書）

如斯書付指出申候間、其許ニ而埒明不申候者致返答書、来ル廿八日、蔵屋敷迄可罷出候者也

申三月廿四日

飯塚伊右衛門
平岩与左衛門
小高勘太夫
石川加兵衛
広瀬六太夫
平田喜八郎

市川金右衛門
飯塚治部右衛門

下白子村
名主
年寄
三左衛門
権右衛門
与兵衛
伝左衛門
忠右衛門
定右衛門

（冨澤泰次家文書　122—421）

一四三　宝永二年一〇月　白子宿伝馬役高割願書

（前欠）
只今迄ハ家別順々ニ相勤来り候、弥此上高割ニ被仰付候ハヽ七疋・三人之人馬立払候節ハ、人馬当り前之次々ニ而無滞相勤候様ニ被仰付被下候ハヽ、御意次第御請申上、自今以後ハ高役ニ相勤可申候、尤御料・私領大小之百姓相談之上、御伝馬手支不申候様ニ可仕候、任御吟味御請申上候、以上

宝永弐年酉十月

白子村伊賀衆支配
名主　太郎兵衛
年寄　三左衛門
同　伝左衛門
同　定右衛門
同　吉右衛門
同　与兵衛
同　作兵衛

（冨澤泰次家文書　122—424）

一四四　明和五年　白子宿継立人馬に付願書

乍恐以書付奉願上候

一此度
御殿様川越表御領所ニ被為　成候ニ付、従江戸川越迄御荷物御往還継立人馬員数之儀、何程限差出可申哉之旨、宿継御廻状を以宿々御尋ニ付御願申上候者、当宿々之義中山道御伝馬勤石高五分一を以継立仕候事ニ御座候得者、不時ニ御出　被遊候而者、決而御差支罷成候、殊ニ当宿々之義者別而手せ間成村々ニ御座候而、宿人馬杯茂一向無御座候、尤立人馬之儀者先触被下置、御通行被成下度任御先触助郷村々江人馬触当仕候、何分立人馬員数之義者、中山道五分一之営を以御荷物御差立被下置候様奉願上候、尤従江戸川越迄宿々一同申合、御願可申□義ニ御座候処、上板橋・下練馬右両所之義者一村限相勤申候得者別紙ニ而一同御願申上候、依之前書申上□通手セ間成村々之義ニ御座候間、何卒御慈悲を以右人馬御差立之節者前々日ニ茂御先触被下置候様、宿々一同奉願上候、以上

一　馬七疋人足三人　　白子村
一　馬五疋人足五人　　膝折村
一　馬五疋人足五人　　大和田村
一　馬六疋人足六人　　大井村

右之通前々御定立人馬被　仰付有之候得共、右立人馬ニ而者、当御屋舗様其外御通り御荷物等継立仕候得□右人馬未明ニ茂継立仕□候義度々有之候、依之右御廻状如被　仰下候、江戸御屋舗様ゟ者不及申上、御国替以後河越御　城内□□其毎度縦壱疋壱人成共、前日御

白子村
名主　太郎兵衛㊞

明和五年子

（冨澤泰次家文書　122—525）

一四五　寛政五年三月　白子宿仮問屋場借用証文

入置申一札之事

一此度問屋場出来候迄、貴殿座敷并庭共借用致候処実正也、問屋場近々相極メ、其上早々明ヶ渡シ可申

候、勿論畳其外相破候ハヽ仕直シ相返シ可申候、若又延引ニ罷成候ハヽ何□ニも座敷代勘定可仕候、問屋場ニ付貴殿江少茂御苦□かけ申間敷候、為後日一札仍而如件

寛政五年丑三月廿一日

白子村
名主
問屋代
組頭 市□
〃 次兵衛㊞
〃 曽□
〃 定右衛門㊞
年寄 藤四郎㊞
繁□

問屋茂兵衛殿

（冨澤泰次家文書 122—537）

一四六 文化五年八月 白子宿助合人馬出入済口証文

差上申済口証文之事

武州新座郡白子村訴訟人問屋冨右衛門ゟ、同州同郡上新倉村名主久太郎外三人江相掛候助合人馬不差出候出入、去閏六月中松平兵庫守様江奉出訴、七月二日御差日御尊判頂戴相付候ニ付、相手方ゟ茂夫々返答書ヲ以右御差日当日双方御評定所江罷出、奉請御吟味当時御吟味中ニ御座候所、掛合之上熟談内済仕候、趣意左ニ奉申上候

一右出入双方篤与掛合候所、相手方ニ而ハ仙波御宮御普請并大通行而已助合人馬差出候事与相心得居候段者不行届、既ニ正徳年中御裁訴写相手両村役人連印之書付訴訟方ニ有之候上者、仙波御宮御普請御用者不及申ニ人馬差出し可申候、併是迄三・四ヶ年人馬不差出候段ハ全心得違仕、然上ハ聊無遅滞人馬差出し御継立無御差支様可仕与、相手方申之候上ハ訴訟方ニ而茂至極納得之上和融内済仕、偏ニ御威光与難有仕合ニ奉存候、右一件ニ付重而双方ゟ御願筋毛頭無御座候、依之為後証連印済口証文差上申処仍而如件

伊賀者給地
武州新座郡白子村

文化五辰年八月　　訴訟人　冨右衛門

早川八郎左衛門御代官所

同州同郡上新倉村

名主庄左衛門代兼

相手　久太郎

酒井壱岐守知行所

同州同郡下新倉村

年寄嘉右衛門代兼

名主

相手　助右衛門

御評定所

一札之事

一今般其御村助合人馬差出方之儀ニ付私共村方相手取松平兵庫頭様江被成出訴御吟味中ニ御座候所、正徳年中御裁許写貴殿方ニ有之、右ニ付利解被仰聞候段奉恐入候、是迄三四ヶ年以前人馬不差出候義者心得違有之、然上者□来之通平日共外村助合引請、触当次第聊無遅滞人馬差出、御用御差支無之様可仕候、依之為後日一札入置申処如件

武州新座郡上新倉

名主庄左衛門代兼

文化辰年八月十□日　　名主　久太郎

同州同郡下新倉村

年寄代兼

名主　助右衛門

（冨澤泰次家文書　122—543）

一四七　文政四年一二月　白子宿駄賃稼争論返答書

乍恐以返答書ヲ奉申上候

一川越往還伊賀者給地武州新座郡白子村駅場、組頭嘉兵衛煩ニ付代兼馬持惣代組頭又兵衛、并名主茂兵衛奉申上候、同往還同州入間郡大井町字市沢右村役人并小前惣代市郎右衛門ら、駄賃家業対談違変其外申立、村役人一同相手取、当月十一日御差日之御尋判頂戴相付候ニ付、奉恐入左ニ御答奉申上候、当村之儀脇往還与乍申、仙波御宮・御鷹御用・御朱印御伝

馬・松平大和守様、其外御武家様旁、御通行御継立数多御座候、尚又御上鳥御継立之儀ハ刻付御先触与引続キ一緒ニ参候故、郷村江当触仕候而者御用御差支ニ相成候間、宿内ニ而人馬之無隔テ平均ニ当御差支へ不相成様仕、御上鳥之儀ハ多クハ夜分斗御継立故夫之用意、其外多分ニ人足相掛り申候、不限何御用ニ昼夜共急勤之儀ハ宿限りニ而相勤メ申候、依之往来之売荷物宿馬斗り駄賃稼是迄仕来候、然所去ル寅三月中、松平大和守様御領分大井町之内字市沢之馬士、当宿之馬士与酒狂之上致口論候得共、扱人立入事内済仕候、其後大井町馬持共、同村字市沢馬持共双方差縫候ニ付、右町名主代次郎ゟ双方馬持共駄賃稼差留為相休、商人荷物其外融通不仕、外宿々一同難渋仕候ニ付、大井町江外宿々ニ而馬持惣代罷越候ニ付、当宿ニ而茂馬持惣代組頭又兵衛、大井町名主代次郎方へ為見舞与参候所、名主代次郎申聞候ニハ宿々ニ而何様ニ茂取扱呉候様相頼候ニ付、何様ニ被取斗候哉与承候得者、右代次郎被申候ニ者、宿内馬持共江市沢之者ニ流駄賃為取呉候様申聞候処双方不承知ニ御座候間、各方何様ニ茂取扱呉候様相頼候ニ付、夫故宿々馬持惣代之者双方江内済掛合ニ及候始末、市沢之儀是ゟ一日に馬三疋宛宿内江立入家業可致様取扱候所、大井町者承知仕候へ共市沢不承知之上ニ而右掛合破談ニ相成申候、其節宿々惣代之者名主代次郎江申聞候ハ、荷物差留候而ハ宿々馬持一同難儀仕、殊ニ荷主江対し不相済旨及掛合ニ候所、町内馬持共之儀者家業可為致旨申候ニ付一同罷帰り申候、其後市沢馬持共川越御役所へ願出翌卯年三月ゟ七月迄大井町馬持共、右御役所ゟ尚又家業御差留ニ相成、甚々往来之旅人売荷物其外差支ニ相成、宿々一同難渋仕、依之宿々松平大和守様御役所江大井町駄賃家業御差留御免願、五ヶ月相休候而駄賃稼御差留御免ニ相成候間夫故宿々差扣申候、然所大井町字市沢一同之家業可致与被仰付候間、相済候節宿々江茂一村一同ニ相成候与、此旨馬士ゟ相断候故宿々ニ而申候者、川越御役所ヲ願下け取扱候者成共、大

井町村役人成共参り右一件始末ヲ申聞、其上ニ而納得可致与相断候得共、一向掛合も無之馬士而已致伝言候斗ニ而是迄等閑ニ相成候所、市沢駄賃家業ニ参り候ニ付、大井町村役人方ゟ挨拶有之迄者宿端ニ而家業致呉候様相頼候所、何様相心得候哉荷物奪取候杯与偽奉申上候儀仕度間、大井町名主代次郎方江右之趣相頼候所、願呉不申候間無是悲罷帰り申候処、大井町前後駅間ノ藤久保亀久保村両村ニ而往来之荷物附送り候様、川越御役所ゟ被仰付候与申、右村方ゟ駄賃稼ニ度々附参り候間、依之宿々馬持共申聞候ハ右一件挨拶茂無之候ニ付、駅間之村馬ニ而付送り候而者、万一間違有之候而ハ荷主江対し不相済儀故延引致呉候様相頼候所、一向取敢不申強而荷物付送り申候間、無余義　御奉行所様江御出訴可奉与奉存候所、日数難心得奉存候、当宿ニ而茂郷分之者ニ者決而駄賃稼為致不申候ニ付、市沢之儀茂郷村ニ御座候間差留申候、尚又名主茂兵衛奉申上候、大井町ゟ内済掛合ニ参候杯与申候得共、私方江馬士ニ而茂掛合申候儀曽而無御座候処、今般御尊判頂戴仕奉恐入候、何様相心得村役人相手故、奉御出訴候哉案心不仕候、依之乍恐以返答書ヲ奉申上候、以上

伊賀者給地
武州新座郡白子村
馬持惣代組頭
相手　又兵衛
同　名主　茂兵衛

文政四巳年十二月

御奉行所様

（冨澤泰次家文書　122—547）

一四八　文政五年正月　白子宿駄賃稼争論済口証文

差上申済口証文之事

武州入間郡大井町村役人并小前惣代百姓市郎右衛門ゟ、同州豊嶋郡上板橋村名主与右衛門外八人相手取

対談違変出入申立、去巳十月中石川主水正様江奉出訴、同十二月十一日御差日之御尊判頂戴相付候処、相手方ゟも返答書差上追々御吟味中ニ御座候処、御日延奉願上懸合之上熟談内済仕候趣意、左ニ奉申上候

一右出入訴訟方ニ而者、脇往還之儀ニ付大井町并字市沢共無隔、駄賃稼者上板橋村ゟ川越迄六継勝手次第継越付帰り渡世仕来候処、市沢之馬士白子村江売稼付参候処、上板橋村ゟ申送り有之候旨差留候ニ付及懸合候処、市沢之儀郷分之儀ニ付差留候旨申之候得共、郷分□仕来之趣申聞候処、可及口論様子ニ付差置候旨其外品々申立、相手方ニ而ハ脇往還ニ候得共、売荷駄賃稼之義是迄大井町者勿論、何れ之継場村に而も往還附越駄賃稼勝手侭ニ為致候義無御座、別而市沢者郷分ニ候処、付越稼仕候故差留候旨差上双方申聞候得共、駄賃稼之儀者一宿限りニ而往返共付越候義決而不相成段、今般御吟味之上相弁□相互ニ一宿限り稼方仕候筈、且又郷分之者駄賃稼ニ罷出候而者、御用人馬役之者共助成薄相成、御伝馬持立兼前々仕来之通、郷分之者ニ者駄賃稼不為致筈、若心得違之者有之罷出稼方仕候ハヽ、差留可申筈取極メ、右出入双方聊無申分熟談内済仕偏ニ御威光与難有仕合ニ奉存候、然ル上者右一件ニ付重而双方ゟ御願筋毛頭無御座候、依之為後証連印済口証文差上申処如件

松平大和守領分
武州入間郡大井町
小前惣代
訴訟人 百姓 市郎右衛門
村役人惣代 名主 代次郎

文政五午年閏正月六日

平岩右膳御代官所
同州豊嶋郡上板橋村
名主 与右衛門
年寄 〃 太郎吉

次郎左衛門　　代次郎㊞
〃　十左衛門　　長右衛門㊞
右四人煩ニ付代兼年寄　　平左衛門㊞
相手　長右衛門
同　百姓代金左衛門煩ニ付代　親類百姓　平左衛門
御留守居御支配
明屋舗番
伊賀者給地
同州新座郡白子村
名主　茂兵衛
与頭　嘉兵衛
右両人　組頭　又兵衛
同

閏正月朔日

（冨澤泰次家文書　122—548）

御評定所
前書之通済口証文奉差上候処、御聞済ニ相成候ニ付為念為取替置申候
市郎右衛門㊞

一四九　文政七年二月　白子宿御用御先触留帳

（表紙）
甲文政七年
御用御先触留帳
申二月朔日
（横帳）

覚
○小幡又兵衛様
一柿沢七郎兵衛殿下り　飛乗　上板橋馬

覚
○一軽尻壱疋
右者明後十五日暁七ッ時、中山小屋場出立ニ而角筈下屋敷迄罷越し候間

林元左衛門御内

申二月十三日出ス　　山崎□□

大井ゟ板橋迄

覚

一○駕籠　三人

一分持　壱人

右者我等儀明十四日明六ッ時、武州比企郡葛袋村出立、江戸麹町弐丁目北裏三枝政三郎屋敷迄

二月十三日　　三枝政三郎内　杉山惣兵衛印

葛袋村ゟ上板橋村迄

覚

一○人足三人　但宿駕用意可致候

右者我等儀明十四日暁七ッ時、武州比企郡葛袋村出立帰府候条、書面之人足差出置無差支添継立可給候以上

二月十三日　　大原四郎右衛門手代　飯田卯八印

高坂宿ゟ上板橋迄

覚

一○継人足三人

弐人　駕

壱人　分持

右者川越寺部甚七、明十四日当地出立ニ而江戸表江罷越候間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

二月十三日　　遠藤林平印

大井ゟ

覚

一○継人足弐人　駕

軽尻壱疋

右者川越秋山留造、明後十五日当地出立ニ而江戸表へ罷越候間、其駅通行之節

二月十三日　　遠藤林平印

大井ゟ上板橋迄

覚

○一継人足壱人

右者川越須田三太、明十四日朝江戸出立川越表へ罷越候間

十三日　　川越　道中方印

上板橋ゟ

覚

○一人足弐人

右者急要用ニ付仙波明星坊御方迄指越候間、宿々無遅滞差出可致候、尤御定之賃銭相払通行可致候、以上

二月十四日　　東叡山吉祥院□代　智妙房印

下板橋ゟ大井迄

覚

○一駕籠人足三人

此度石川主水正殿被仰渡候　御用□□□(罷)出、明十四日高坂継出しニ而帰府いたし候ニ付、右人足差出可有之候、以上

二月十三日　　久貝甚三郎内　畑木伴右衛門印

高坂ゟ上板橋、市谷加ゝ屋敷迄

覚

○一平岩右膳様御役所ゟ

刻附封状弐包上り

人足壱人　源兵衛

○松平右京太夫様

一斎藤粂左衛門様上り

人足弐人上白子　惣右衛門　源兵衛

○一継人足四人

右者川越用荷物、明十五日朝爰元差立江戸表迄差遣候間、其駅通行之節

二月十四日　　遠藤林平

覚

○一人足三人

右者我等儀御用相済、明十五日朝六ッ時武州入間郡川越町出立、帰府いたし候間書面之

大原四郎右衛門手代
塩沢円蔵

二月十四日

覚

一継○人足拾人
軽尻馬壱疋

内

三人　駕籠
壱人　具足
四人　長持
壱人　両掛
壱人　合羽籠

右者川越福嶋丹右衛門、明後十六日朝江戸出立川越表江罷越候間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

申二月十四日　川越
上板橋ゟ　道中方印

一人○足三人

右者就御用我等儀、今十二日昼時江戸出立武州川越町迄罷越候間、書面之人足可差出候

大原四郎右衛門手代
塩沢円蔵印

二月十二日

此分附落ニ付此所へ出ス

一継本馬壱疋
一駕人足三人

右者川越高島玄智荷物、来ル十三日爰元差立江戸表へ差出申候節、其駅通行之節無滞

二月十二日　遠藤林平印

□ゟ板橋迄
此分付落ニ付出ス

○川越
一越中松兵衛様ゟ
御封状壱包

人足練馬　藤五郎

覚

一駕籠○人足三人

右者明十六日江戸出立、武州中山小屋場迄差遣候ニ付、書面人足宿々無遅滞差出可給候、以上

秋元右衛門佐

二月十五日　　江戸役所印
上板橋ゟ井草宿迄

覚

○一人足壱人　　町田儀平

右者明十六日江戸出立、武州比企郡中山小屋場迄罷越候間、書面之人足宿々無遅滞差出可給候、以上

秋元左衛門佐

二月十五日　　江戸役所印
上板橋ゟ井草宿迄

覚

○一白木箱弐ッ　桐油□共

賃付

三野弥惣
川越　竹田　計
久永左衛門
四王天俵助
江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付、宿々無遅滞被継送尤受送刻付印形可及

江戸川越下屋敷

会所印

二月十五日　　川越
亥下刻　子上刻

○一須藤喜平次殿
飛人弐人上り

右之通膝折宿迄御継立仕申候

二月十五日

覚

○一油紙包壱ッ
一菰包壱ッ

右者御上屋敷渡部甚門方迄甚急用向申遣候間、宿々無滞送届ヶ可給候、以上

川越
渡部甚右衛門印

江戸□□
二月十六日
高坂村

一高安寺門弟　泊り　六三

覚

○一継人足三人　先触　彦次郎

軽尻壱疋

右者川越近藤兵介、明十七日朝江戸出立川越表へ罷越候ニ付、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

申二月十六日　　川越道中方印

上板橋ゟ大井迄

覚

一白木箱壱ッ　人足藤吉

江戸　三橋文右衛門ゟ

川越　竹田計　四王天俵助

右者川越表へ急用向申遣候ニ付、宿々無遅滞継送、尤受送刻付印形被及早々相達可給候、以上

申二月十六日　　江戸川越屋敷　会所印

卯上刻

上板橋ゟ大井迄

覚

一白木箱壱ッ

川越　竹田計ゟ

四王天俵助

江戸　三橋文右衛門へ

右者江戸屋敷□急用向申遣候ニ付宿々無滞

申二月十六日　　川越　会所

亥下刻　人足藤吉

覚

一人足弐人

右者川越矢部右衛門、明廿日江戸出立川越表へ罷越候間、其駅通行之節

申二月十七日　　川越　道中方印

上板橋より大井迄

覚

馬四疋江戸ゟ武蔵国迄上下并於彼地御用中幾度茂可出之、是者国役普請仕立御用付、御普請役右朝万蔵・林忠太郎・小川小三郎・同見習大木猪平太罷越付而相渡之者也

文政七申

二月　　出羽印

覚

○
一馬壱疋
一賃人足三人
右者今般武州村々国役普請仕立為御用、明廿日朝五ッ時出立其筋罷越候間、書面之人馬差出置無滞可継立候

申二月□　　御普請役見習　大木猪平太印

上板橋ゟ川越通り
入間郡下奥留村迄　右宿村　名主
泊り　問屋中
二月十八日　大和田村
同十九日　下奥留村

○
御伝馬役
一小宮善右衛門殿ゟ
御伝触壱通添　皆箱入
此人足　□長兵衛

覚

○
一人足壱人　井上伊三太　堀江記代志
右者明十八日暁七ッ時、中山小屋場出立、江戸御上屋敷迄罷越候間

申二月十九日　秋元左衛門佐役所

伊草ゟ上板橋迄
○
一人足弐人
馬壱疋
右者要用明十八日川越出立ニ而江戸罷越候間、其駅通行之節無滞

二月十七日　蓮馨寺役人
大井ゟ上板橋迄　関口藤馬印
先触
印鑑印

覚

一乗物　壱挺　但人足六人
一狭箱　壱対　但人足弐人
一両掛　壱荷　但人足弐人
一分持　弐荷　但人足弐人
一茶弁当　壱荷　人足壱人
一長持　三荷　但人足六人
一合羽駕籠　弐荷　但人足弐人

一本　馬　□疋
一軽　尻　壱疋
一駕　籠　壱挺　但人足弐人
一分　持　壱荷　但人足壱人
但此弐口斗暁八ッ時出立
右者
公儀御年礼相済、明後廿日暁七ッ時当山発駕ニ而帰参
被致候間、書面人馬道中無遅滞差出可給候、以上
仙波喜多院玉伝内　中山主税印
磯貝数馬印
二月十八日
従板橋　大井迄
追而此先触刻付を以
○平岩右膳様ゟ
西六右衛門様ゟ出
御用状壱通上り
○平岩右膳様ゟ
村田林右衛門様ゟ出
御用状壱通上り

〆弐通
二月十七日出　同十八日夜
戌上刻請取下練馬村ゟ
人足壱人　中野　勘五郎
覚
○一油紙包壱ッ
江戸　三橋文右衛門殿
竹田計
川越　久永治左衛門
四王天俵助
右者江戸屋敷へ急用向申遣ニ付、宿々無遅滞
川越会所印
二月十九日
卯下刻
覚
○一継本馬壱疋
人足三人
右者川越高嶋玄智荷物、明十九日爰元差立江戸表へ遣

二月十八日　　遠藤林平印

同十九日請取

大井ゟ上板橋迄

覚

○御朱印御証文写

相添候条、可得其意候、以上

申二月　　村田林右衛門印

御朱印

人足弐人馬弐疋、従江戸武州・上野・相模国迄上下

并於彼地御用向中幾度も可□之、是ハ川々御普請為

御用、村田林右衛門差遣付而□　□者也

文政七年二月廿日　　右同中

村田林右衛門持参之御用書物、長持壱棹、江戸ゟ武

州・上野・相模迄、於彼地御用向幾度も急度可持参

者也

申二月□　　出羽印

覚

○御朱印

一人足弐人

馬弐疋

但壱疋人足弐人ニ代ル

御証文

一御用書物長持壱棹

此持人足　外ニ賃人足三人

○人足七人

合　馬壱疋

此□次第左之通

具足櫃　壱点　人足壱人

駕　壱　人足四人　弐人増　平助　平五郎　長兵衛　銀蔵

両掛　壱人　清

合　羽　壱荷　助郷

馬　壱疋

御用長持　壱棹　三二　佐文　平右衛門　金二　安五郎

分持　□人

右者村田林右衛門、関東宿村々国役普請為御用、明廿

一日朝六ッ時江戸出立其筋可相越候間、書面之人馬無

遅滞差出継送、船川渡之場者前後宿村々申合無差支可被取斗候、尤泊宿村ニ而ハ、上下七人、宿壱軒用意いたし、御定之外馳走ヶ間敷義無之様可被致候、依御朱印御証文写并泊り割相添候条得其意、此先触早々順達、留り与林右衛門旅宿へ可相返候、以上

申二月廿日　　村田林右衛門内
　　岡田甲七印

上板橋与川越
夫与村々

○木宮彦右衛門殿与

御伝馬添触壱通

〆

二月廿一日江戸出立
同日　白子泊り

覚

○継人足　壱人
本馬　四疋
尻　壱疋

右者川越用荷物、明廿一日朝江戸出立

二月廿日　　川越道中方印
上板橋与

覚

○一人足三人

右川越江本開平荷物、明廿一日朝江戸出立□

二月廿日　　川越道中方印

覚

○莚包三ッ
糸立包壱
さ□弐ッ一〆

川越早川浅右衛門様へ
江戸早川長門与

右者申二月廿□ニ而川越表へ急用荷物差立遣之

二月廿日　　江戸屋敷内　荷物方印
上板橋与

覚

一白木箱壱ッ

但賃付　桐油共

右者川越表へ急用向申遣候ニ付宿々無遅滞継送、尤受送刻付被及印形、早々相達可給候、以上

川越江戸屋敷

二月廿日　道中方

上板橋村ゟ大井迄
本馬戌上刻　夜中弐人　保谷助郷　安左衛門

覚

一○白木箱壱ッ

但賃付桐油共

江戸三橋文右衛門へ

川越　竹田計
四王天俵助

右者川越江戸屋敷急用向申遣候ニ付、宿無遅滞継送り、尤受送刻付印形被及、早々相達可給候、以上

二月十九日

子下刻　壱人
夜中同人
保谷助郷　安左衛門

一○人足三人

右者明廿日江戸出立川越表へ罷越候ニ付、宿々無遅滞人足差出可給候、以上

川越
行伝寺印

二月十九日

板橋ゟ大井迄

覚

一○継軽尻壱疋

右者川越越中松兵衛荷物、廿一日朝爰元差出江戸表へ差遣候間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

遠藤林平印

二月廿日
大井ゟ

覚

一○継人足五人　弐人駕　三人駕

右者川越須藤喜平治家内、明廿二日当地出立ニ付江戸表へ罷越候間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

遠藤林平印

二月廿一日
大井ゟ上板橋迄

覚

一○白木箱壱ッ

川越　三野弥惣
　　四王天俵助

江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向

二月廿二日
酉上刻

江戸会所印

覚

一○山駕籠　壱挺

此人足弐人　長兵衛
　　庄之助

外壱人増　練馬

一軽尻馬　壱疋

外ニ本馬壱疋　勘右衛門

右者野中兵治、明後廿二日暁七ッ半時小幡陣屋出立、江戸屋敷迄罷越候間、書面人馬無遅滞差出可給候、以上

松平宮内少輔内

沼沢甚右衛門印

二月廿二日出
同廿四日昼時請取

上州吉岡ゟ藤井

泊り付

廿二日　武州　小前田宿
廿三日　　川越町

覚

一○莚包壱荷

右者永田又郎宅ゟ早々送届可請候、以上

二月廿四日

永田又郎

宿々問屋中

夜中弐人　勝五郎
　　庄兵衛

一○油紙包壱ッ

江戸三橋文右衛門迄

川越　三野弥惣
　　竹田計

二月廿四日
亥上刻

川越会所印

夜中弐人　長兵衛

覚

一○莚包壱ッ

白木箱壱ッ　但桐油共

江戸　三橋文右衛門

三野弥惣　ゟ

川越　久永治左衛門

四王天俵助

右者江戸屋敷江急用向申遣候間、宿々無遅滞被継送、尤請送刻付印形早々相達可給候、以上

二月廿五日　　川越　会處印

卯上刻

覚

一○人足四人　上新倉□

但三人　駕　弐人ハ平左衛門

壱人　分持　壱人　内ト役

右者来廿七日暁六時、江戸御宿坊ゟ出立ニ而当山迄被参候間

二月廿五日　　蓮馨寺役

上板橋ゟ大井迄　　関口藤馬印

覚

一○白木箱壱ッ

江戸　三橋文右衛門へ

竹田計

川越　久永治左衛門

四王天俵助ゟ

右者江戸屋敷へ急用向申遣候間、宿々無遅滞被継送、尤受送刻付被為印形早々相達可給候、以上

二月廿五日　　川越　会處印

亥上刻

賃八拾九文添

覚

一○本馬　壱疋

一宿駕　壱挺

此人足弐人

右者就要用、明後廿八日暁六ッ時出立ニ而上野一乗院
迄罷越候間
二月廿六日　仙波明星坊印
覚
一○駕籠人足四人
一長持　弐人
一分持　壱人
一合羽　壱人
一本馬　弐疋
右者要用ニ付当院学頭、明廿八日暁七ッ半時当地出立
ニ而東叡山迄罷相越候間、宿々人馬無遅滞差出候様
仙波中院役
遠藤助左衛門印
申二月廿六日
大井ゟ
覚
一○油紙包壱ッ
江戸　三橋文右衛門へ
川越　三野弥惣
四王天俵助　ゟ

右者江戸屋敷へ急用向申遣候間、宿々無遅滞被継送、
尤受送刻付被及印形早々相達可給候
二月廿二日　川越　会所印
人足弐人　平五郎
一○油紙包壱ッ
白木箱壱ッ
但桐油共
江戸　三野弥惣ゟ
四王天俵助
川越　三橋文右衛門江
右者川越表へ急用向申遣候ニ付宿々無遅滞
申二月廿二日
酉中刻
人足弐人　文六
覚
一○継人足四人
三人　駕
壱人　分持
右者川越隆勝寺明後廿七日当地出立、江戸表へ罷越候

間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

二月廿六日　　遠藤林平印

大井ゟ

覚

○一継人足弐人　助郷

右者川越笹原兵八、明廿七日爰元出立候而江戸表へ罷越候ニ付、其駅通行之節

二月廿六日　　遠藤林（平脱カ）印

大井ゟ上板橋迄

○一本馬壱疋

一軽　壱疋　助郷

右者川越用荷物、明廿七日朝爰元立候而江戸表迄差遣候間、其駅通行之節無遅滞

二月廿六日　　遠藤林平印

覚

○一継人足五人　助郷

右者川越中山万左衛門今夕江戸出立、川越表へ罷越候間

申二月廿六日　　川越　道中方印

上板橋ゟ大井迄　先触　伊助

覚

○田安御用

一人足壱人

右者就御用堀久次郎、明廿八日明六ッ時江戸出立、武州入間郡野火留村迄罷越候条、宿々

申二月廿七日

覚

○一白木箱壱ッ　人足壱人金兵衛

江戸　三野弥惣

四王天俵助

三橋文右衛門

右者川越表迄急用向申遣候ニ付宿々無遅滞被継送、尤受送刻付

二月廿□日　　川越江戸屋敷

会所印

覚

○一継人足弐人

右者川越清野助左衛門、明後廿九日朝江戸出立川越表へ罷越候間、其駅通行之節無滞

江戸屋敷
道中方印

二月廿七日
上板橋ゟ大井迄

覚

一○宿駕壱挺
一軽尻壱疋
右者此度要用有之、武州川越迄差越候ニ付道中宿々無滞

東叡山御別当所
津梁院役人
浅田吾市印

二月廿八日
上板橋ゟ大井迄

一○鈴木与一右衛門様
平沢村へ　庄之助
岩五郎
下片山　下五郎
五人番人

覚

一○油紙包壱ツ
江戸　三橋文右衛門
川越　三野弥惣
四王天俵助
右者江戸屋敷急用向申遣候ニ付

二月廿八日
大井ゟ　練馬　藤五郎

川越　会所印

覚

一○継人足五人駕
尻壱疋
右者川越今村万禄明後廿九日朝、爰元出立ニ而江戸表へ罷越候間其駅通行之節

二月廿八日
大井ゟ　練馬藤五郎

遠藤林平印

覚

秋池弥惣右衛門

一○庁所用向
一人足四人　往返

右者明廿九日暁八時、江戸屋敷出立武州野火留陣屋迄相越候条、人足於宿々、無

松平右京太夫内
鈴木吉蔵印

二月廿八日
上板橋ゟ

覚

一○人足四人
軽尻壱疋

右者明廿九日御本丸出立川越表江罷越候間、其駅通行之節無滞差出し可給候、以上

御本丸御奥
小川
森　源蔵

上板橋ゟ大井迄

覚

一○白木箱壱ッ　平五郎
菰包壱ッ　要次郎　きい
　　但賃付
　　桐油共

川越　三野弥惣
　　四王天俵助

江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付宿々無遅滞被継送、尤受送刻付被為印形早々相達可給候、以上

江戸川越屋敷　会所印

二月廿九日
午上刻
但賃銭三百三文取

覚

一人足弐人　五郎平

右者江戸小日向迄罷越候間、宿々無滞差出可給候、以上

柏崎村　万正寺印

二月廿九日
上板橋迄

覚

一○但留具付
一付駕　壱挺　清　要次郎
一供合羽　壱ッ
一蒲団　壱
一書状　壱

銭弐百十文添

右者仙波学寮迄差送候間、道中無間違様継送可給候

二月廿九日　　仙波　明星坊印

上板橋ゟ

覚

一継人足五人

尻馬弐疋

内

四人　駕籠弐挺

壱人　分持

右者川越小林金六郎家内、明晦日朝爰元出立ニ而江戸表へ罷越候間、其駅通行之節

二月廿九日　　遠藤林平

大井ゟ上板橋迄

覚

一継人足三人

内

壱人　分持

弐人　駕籠

右者川越向井丈兵衛荷物、明晦日爰元出立ニ而江戸表へ差遣候間、其駅

二月廿九日　　遠藤林平印

覚

一莚包弐ッ

三野弥惣

川越　四王天俵助

江戸　三橋文右衛門

右者川越表江急用向申遣候ニ付宿々無滞被継送、尤受送刻付被為印形早々相達可給候、以上

二月晦日　　川越（屋脱カ）敷　会所印

壱人申刻

覚

一油紙包壱ッ

白木箱壱ッ

但賃付

桐油□共

三野弥惣

川越　四王天俵助

江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付宿々無滞

二月晦日　　江戸川越屋敷　会所印
子上刻

覚

一○軽尻馬　壱疋
町田儀兵衛

右者来ル三月朔日暁七ッ半時、中山小屋場出立江戸呉服橋上屋敷まて罷越候間、書面之馬宿々無遅滞継立用意可給候、以上

秋元左衛門佐
中山役所印

申二月廿三日
井草宿ゟ川越通り
上板橋宿迄

覚

一○継人足三人
内弐人　駕
壱人　分持

右者川越野口政太郎荷物、明朔日爰元差立江戸表へ差遣候間、其駅通行之節無滞差出可給候、以上

二月晦日　　遠藤林平印
大井ゟ上板橋迄

一○継人足弐人

右者川越下村欽次荷物、明晦日江戸差立川越表迄差立候間、其駅通行之節無滞差出し可給候、以上

川越江戸屋敷
道中方印

二月廿九日
上板橋□

一○軽尻壱疋
□□
問屋

右者浦賀表出立、川越迄罷越候間宿々無遅滞継送□以上

川越　鈴木金十郎印

申二月廿八日
浦賀ゟ川越迄

覚

一○油紙包弐ッ
莚包壱ッ

川越　三野弥惣
　　四王天俵助
江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付宿々無遅滞被継送、尤受送刻付被為印形早々相達可給候、已上

江戸川越屋敷
会所

三月朔日
寅上刻
先触
○一駕籠　壱挺　此人足弐人
一分持　壱荷　此人足壱人

右者就要用暁七ッ時出立ニ而上野一乗院御方迄罷通候条、宿々人足無遅滞差出可給候、以上

仙波成就□　役僧

覚

○一軽尻壱疋

右者川越用荷物、明二日朝爰元出立ニ而江戸表へ差遣申候ニ付、其駅通行之節

三月朔日　遠藤林平印

覚

○一宿駕　壱挺　此人足弐人
一馬　弐疋

渡辺平治
佐野武衛
矢部鉄太

右者来月二日朝五ッ時中山小屋場出立、江戸呉服橋上屋敷迄罷越候間、書面之人馬宿々無遅滞継送

秋元左衛門佐
役所印

二月晦日
白子泊り

覚

○一本馬壱疋
一駕人足三人　寅与
一両掛　弐荷　長兵衛　清五郎
此人足弐人
〆　人足五人

右者明三日朝江戸出立、比企郡大豆戸村迄罷越候□
□通行之節

冨田宮内内
□橋礼七

上板橋ゟ

覚

一白木箱壱ッ
川越　三野弥惣
四王天俵助
江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付

江戸川越屋敷
会所印

三月二日
酉下刻
弐人　長兵衛

覚

一○莚包弐ツ
川越　三野弥惣
四王天俵助
江戸　三橋文右衛門

右者川越表へ急用向申遣候ニ付、宿々無遅滞被継送尤

江戸川越屋敷
会所印

三月三日
□刻
人足壱人

覚

一○馬壱疋　嶋川庄平
渡辺満平

右者来ル四日江戸出立、武州比企郡中山小屋場迄罷越候間

秋元左衛門佐
江戸役所印

三月三日

覚

一○継人足壱人
馬　五疋
雨天弐疋増

□彦蔵
ヤ要□次郎□
ヤ増勘右衛門五郎
ヤ□才次郎右衛門

右者川越用荷物、明五日朝爰元差立江戸表迄差遣候旨

其駅通行之節無

三月四日　　遠藤林平印

大井ゟ

覚

一人足弐人　佐兵衛　銀蔵

馬　壱疋　上新倉軽尻

右者川越東沢健介荷物、明五ッ朝爰元差立

三月四日　　遠藤林平

大井ゟ上板橋迄

一継○人足三人　要次郎　清　徳右衛門

軽尻壱疋

内弐人　駕

壱人　分持

右者川越石山伝左衛門、来ル七日朝爰元出立ニ而江戸表迄罷越候□、其駅通行之節無滞差出□

三月四日　　遠藤林平印

大井ゟ上板橋迄

覚

一継○人足四人　三人　駕

壱人　分持

右者川越隆勝寺、明五日当地出立ニ而江戸表へ罷越候間

三月四日　　遠藤林平

大井ゟ上板橋迄

覚

□○御役□　長兵衛　三二　清

一人足三人　内弐人　駕　長兵衛

壱人　分持

右者川越表迄罷越候間、明後七日無滞差出候様御頼ミ置候

申三月五日　　川越　鈴木官左衛門印

大井迄

覚

○平岩左膳（ママ）様

一御役所ゟ

御廻状壱通
下新倉村へ継立候
人足壱人　幸助

覚

一○莚包壱ッ　野火留　□五郎
一油紙包壱ッ

右者川越表迄急用向申遣候間、宿々無遅滞継送尤受送刻付被為印形早々相達可給候

三月七日　御会所印
戌上刻

覚

一○人足弐人　佐兵衛　金二

右者今般要用ニ付仙波喜多院役所迄差遣申候、御定賃銭請取之、無滞人足差出可給候

三月七日　中山吉左衛門印
上板橋ゟ

○仙波
一中山主税様下り

人足弐人

覚

御本丸　奥御医師
河野良以法眼家来
大熊郷右衛門
上下弐人

一○駕籠人足　弐人
一軽尻馬　壱疋
一両掛持人足　壱人

右者主人用向ニ付明後九日暁七時江戸屋敷出立ニ而川越迄罷越候間、書面之人馬差出

御本丸奥御医師
河野良以法眼内
荒川義左衛門

三月七日
上板橋ゟ川越迄

覚

一○尻壱疋
一人足壱人

一今般宗用ニ付総州印幡郡吉田村迄罷帰候間、人馬無滞差出可致候、以上

三月七日　　総州　慈眼寺印

覚

○一人足三人

但駕　壱挺

分持　壱荷

右者要用ニ付明八日暁七時出立ニ而芝御山内御山内御宿坊大円寮迄相被越候間

（ママ）

蓮馨寺役人

三月七日　大井ゟ　　関口藤馬印

覚

○一継人足弐人

右者川越梅田文兵衛、明八日当地出立ニ而江戸表へ荷物差立候間、其駅通行之節書面之通差送可給候、以上

三月七日　大井ゟ　　遠藤林平印

覚

○一人足　九人

一本馬　弐疋

右者一橋就御用荻原佐次兵衛儀、明八日明七ッ時武州高麗郡平沢村出立江戸表迄罷帰候条得其意、書面之人馬於宿村無遅滞差出可申候

一橋　荻原佐次兵衛内

三月七日　笠幡村　的場村　川越通　上板橋迄　　池田文吉郎印

覚

○一人足弐人

右者今般要用ニ付仙波喜多院役所ゟ罷帰候ニ付、宿々人足無滞差出可給候、以上

大井ゟ上板橋迄　　中山吉左衛門印

（富澤泰次家文書　107—217）

一三〇 文政七年四月 白子宿継立人馬日〆帳

（表紙）
文政七申年四月朔日ゟ同晦日迄
継立人馬日〆帳
（横帳）

申四月朔日

人足五人
馬三疋
此遣方
一人足三人　囲人馬
馬壱疋
是ハ御宮東叡山　急御用節遣
一馬弐疋
急御用御通行節遣
残而　人足弐人
朔日
川越
一遠藤栗右衛門殿下り
尻壱疋
下土支田村ヤ　下土支ヤ
先触持　下
八五郎　勘右衛門
戸田五介様御組
一御鷹方野廻役
松崎平十郎殿上り
分持壱荷　此人足壱人
同村雇　安五郎
川越
一斉藤欣介殿下り　軽尻壱疋　勘右衛門
江戸川越御屋敷
一御会所ゟ　白木箱壱ッ上り
夜中人足弐人内壱人無賃　長兵衛
継立　〆人足四人
馬弐疋
内人足弐人　無賃
助郷　下土支田村勘
同二日
嶋田弥三郎様内

一森田左膳殿下り
人足弐人　尻壱疋
助郷　上土支田ヤ　助郷　上土ヤ
平右衛門　増五郎
清
先触　八五郎
川越
一鈴木由兵衛殿下り
宿駕　人足弐人　五郎兵衛　安五郎
江戸
一御会所ゟ　白木箱壱ツ
蓮包壱ツ
夜中弐人　内壱人無賃　長兵衛
継立　人足七人
〃　馬壱疋
内人足弐人　無賃
助郷　上土支田村勤
同三日
本陣
一木下作左衛門殿上り　荷物
人足壱人　私料小樽村ヤ　平五郎
白山御殿
一磯部鉄太郎様　御封状壱通上り
人足壱人　弁之助
川越
一荻沢八百吉殿下り
宿駕壱艇
人足弐人　安次郎　寅五郎
先触　八五郎
東叡山
一名浄院様上り
分持壱人　本馬壱疋
庄之助　勘右衛門
駕三人　三人　平五郎・長兵衛
先触持　要次郎
平岩右膳様
一御役所ゟ　御用状壱通上り
人足壱人　庄之助
同四日
川越

一船戸祐蔵殿上り
宿駕　□□疋
上保谷村　雇宿　喜八　安五郎
秋元左衛門佐様内
一桂猪惣次殿下り　尻壱疋
上新倉助郷　増五郎
御伝馬
一人馬触壱通上り
無賃人足壱人　下新倉村迄
下新倉ヤ　藤吉
一橋御用
一小久保権兵衛殿下り
人足壱人　尻壱疋
下新ヤ　要次郎　勘右衛門
御伝馬
一人馬触壱通上り　上新倉村迄
人足弐人
庄之助
川越
一星喜平殿下り

人足弐人
助郷
下新倉
□善蔵
万□
本馬三疋
尻　弐疋
下新倉村　増五郎
宿小源二ヤ　勘右衛門
地福寺代　音五郎
練馬　善七
宿久右衛門ヤ　大郎〇
一橋様御内
一小高八五郎殿下り
駕四人
上保谷雇　四人
平□　五郎兵衛　安五郎
壱人請
先触持　要次郎
江戸
一御会所ゟ
白木箱壱ツ　送状賃付
亥下刻
夜中弐人　内壱人無賃　五郎
仙波
一学寮様下り
人足三人

飛乗　八五郎　音五郎　清
継立　〆人足弐拾人
馬七疋
内人足六人無賃
此訳
人足拾弐人　助郷　上保谷村勤
馬弐疋
内人足三人　無賃
馬三疋　宿勤
人足□人　助郷　下新倉村勤
人足三人　無賃
同五日
川越
一御荷物下り
人足□人　本馬五疋
上新倉村　上新倉助郷
雇　平五郎　権兵衛　平吉
乙五郎　宿　清左衛門
喜八　宿　万治郎
板橋　上新ヤ　七五郎
夜中先触持弐人　要次郎

川越
一横田次郎吉殿下り
人足四人　上新助郷　金兵衛
同村中　弐人練馬　利左衛門
川越
一三田村綾之殿上り
人足三人　上新倉雇　長兵衛　きい　五郎
先触　地福寺雇八五郎
冨士御師
渡辺丹後上り
人足壱人　白子ゟ溝沼村迄
地福寺雇
宿　五郎兵衛
先触
継立　〆人足拾四人
馬五疋
内人足弐人　無賃
此訳
人足八人　助郷
上新倉村
馬五疋

内人足弐人　無賃
内馬弐疋　人足四人ニ代ル

人足弐人
馬弐疋　宿勤

同六日

一御役所　守随彦太郎殿上り

人足六人　八五郎　五郎　五郎兵衛
練馬　三人

一繁山兼蔵殿下り　尻壱疋　川越
先触持　八五郎　宿　藤左衛門

一原田周吾殿下り　秋元左衛門佐様

人足壱人　本馬壱疋
平助　宿　藤左衛門
先触　八五郎

一御会所ゟ　白木箱壱ツ
亥下刻
夜中弐人　内壱人　無賃
長兵衛

継立　〆人足拾人
馬弐疋　内人足弐人　無賃

此訳
人足拾人　助郷　下保谷村
内人足弐人　無賃
馬弐疋　宿勤

同七日

一官団右衛門殿上り　川越

人足弐人　無触
上土支田村
雇宿　八五郎　音五郎

一橋様御用

一小久保権兵衛殿上り

人足弐人　庄助　長兵衛
先触持　要次郎

一奥山忠右衛門殿上り　川越

人足弐人　五郎兵衛　膝折

一保岡元吉殿上り
品数六ツ　尻壱疋
送状賃付
人足壱人　小右衛門　膝折
御伝馬
一人馬雇銭請取ニ
人足弐人　□藤吉
継立　〃人足拾人
馬壱疋
内人足三人　無賃
助郷　上土支田村勤
同八日
川越
一栗原順兵衛殿上り
人足三人　上保谷雇
宿　清
〃　要次郎
〃　五郎
先触持　〃政五郎
千駄木御鷹匠方

一御餌鳥屋
藤次郎　柏や泊り
伝次郎
人足壱人　庄之助
川越
一手塚松兵衛殿上り
人足五人　上保谷雇　宿　長兵衛
〃　五郎兵衛
〃　二五郎
〃　八五郎
〃　熊右衛門
先触持　〃　要次郎
御普請役
一大木猪平太様　御封状壱通上り
人足壱人　捨五郎
仙波
一御役所ゟ　御封状壱通下り
人足壱人　市右衛門
一御伝馬人馬触壱通上り
小樽村迄

人足壱人　藤吉

平岩右膳様

一御役所ゟ御用状壱通上り

無賃壱人　上新倉村迄　長次郎

江戸

一御会所ゟ

白木箱壱ツ

油紙包壱ツ　上り

[illegible]　夜中弐人　内壱人　無賃

長兵衛

継立

〆人足拾七人　内人足七人　無賃

助郷　上保谷村勤

同九日

松平弾正大弼様

一臼田甚八殿上り

人足三人　本馬壱疋

五兵衛　佐文　金之亟　御料小榑村　助郷　与右衛門

先触八五郎

千駄木御鷹匠方

一御餌鳥屋

藤次郎　川越ヤ泊り

伝次郎

無賃人足壱人　庄之助

川越

一生田儀助殿上り

人足三人

平助　音五郎　平五郎

先触持　要次郎

川越

一円谷参助殿

鈴木幾平殿下り

人足七人　本馬壱疋　練馬　安五郎

熊五郎　長兵衛　清　佐文　金之丞

小榑助郷　辰五郎　〃平吉

先触持　松五郎

継立　〆人足拾七人

馬弐疋

内人足四人　無賃

内馬壱疋
人足壱人流
助郷　御料小樽村勤

同十日

大御番頭
酒井但馬守様内
一木下友右衛門殿上り
無触　人足壱人　下土支田村
ヤ　八五郎

江戸
一御会所ゟ　油紙包壱ッ上り
酉上刻
人足弐人　内壱人無賃　音五郎　清五郎

蓮馨寺様内
一早川伝吾殿ゟ　急封状壱通上り
人足壱人　千松

仙波
一学寮様　軽尻壱疋
下土支田村雇　板橋　忠五郎

継立
人足四人
内人足壱人　無賃
馬壱疋
助郷　下土支田村

（冨澤泰次家文書　107—218）

一五一　文政八年八月　白子宿買揚銭延滞に付願書

（表紙）
文政八酉年八月廿五日
上新倉村
人馬不参買揚銭滞候ニ付願立一件
白子村
（縦帳）

乍恐以書付御訴訟奉申上候
当御代官所
武州新座郡白子村
訴訟人　勘兵衛
助郷人馬不参買揚銭滞出入
同御代官所

同州同郡上新倉村
名主　久太郎
相手
同　□左衛門

買揚銭
一銭六拾七〆七百文

右訴訟人問屋勘兵衛奉申上候、当駅之儀ハ川越往還与唱五街道ニ准し日々御継立多、仙波　御宮御用并御鷹御用、松平大和守様、秋元但馬守様并松平伊豆守様、松平錫様、同州野火止御陣屋用向、同所平林寺江御仏参之御通行、其外諸御用向数多御継立有之、前々□定助合右上新倉村并外八ヶ村当宿助合被為仰付有之、人馬触当之儀ハ無甲乙日〆惣高割仕致当触、人馬無滞差出少々不参有之候共其時々才料ゟ相済申候(ママ)処所、右上新倉村之儀去々未年六月中ゟ御伝馬触毎ニ不参仕、問屋方ゟ宿役取之者共へハ右雇銭不残立替払渡、相手村方ゟハ買揚銭勘定一向無之甚難渋仕候ニ付、度々不参調書持参其時々人□不参雇銭相済候様掛合候得共、曽而取敢不申候間、当六月中拙者罷越日〆帳継立諸帳面不残被見為致、如此当村ニ限リ不参有之候ニ付、人足共払方ニ差支候間勘定致呉候様厳敷申渡候所、早速之挨拶ニ茂成兼□、外村役人相談之上挨拶可致旨申聞候間罷帰り、其後相手村方百姓代嘉右衛門為惣代罷越勘定為致候間、両□　□呉候様申聞其儘有無之挨拶茂無之、其後ニ至り候而茂人馬不参仕、宿役取之者共へ払方差支、問屋役難相勤候間、不得止事今般御訴訟奉申上候、何卒以御慈悲ヲ御吟味之上是迄人馬買揚銭不残相済、以来人馬遅参不参不仕様被為仰付被下置度奉願上候、以上

当御代官所
武州新座郡白子村
問屋　勘兵衛㊞

文政八酉年八月廿五日

平岩右□様
御役所

前書之通奉願上候ニ付奥印仕□□差上候

右年寄　栄次郎印

乍恐以書付奉申上候

武州新座郡白子村問屋勘兵衛奉申上候、当村之儀ハ川越往還継場村ニ而助合村九ヶ村有之候内、同州同郡上新倉村之儀、去々未年ゟ触当人□□差出同村名主共相手取、不参雇揚銭滞出入奉出訴追々御吟味之上、先達而外助合被召出、人馬勤方始末書被仰付□内土支田村両組・小榑村・上保谷村・下保谷村之儀（以下欠）

（冨澤泰次家文書　122—550）

一三　天保四年二月　白子宿助郷月仕切役金滞高調帳

（表紙）

天保四巳年二月
助郷月仕切役金滞高調帳

（横帳）

上保谷村

辰七月ゟ同十二月迄閏月共
一金九両弐分弐朱
巳正月ゟ二月迄
一金弐両三分
〆金拾弐両壱分弐朱

□保谷村

辰四月ゟ十二月迄閏月共
一金七両三分弐朱ト四匁五分
内
辰七月七日
金壱両弐分壱朱　取
同十月廿七日
金弐両壱分　取
同十二月十九日
拾三〆弐百文　取
此金弐両也
巳引高
〆金弐両ト八匁弐分五厘
三月三日壱両壱分取
巳正月ゟ二月迄
一金壱両弐朱ト五匁四分
二口〆金三両弐分弐朱ト六匁壱分五厘

亥七月ゟ十二月迄　　上新倉村

一金壱両壱分弐朱ト百三文
子壱ヶ年分
一金弐両三分ト弐百六文
丑分
一金弐両三分ト弐百六文
寅分
一金弐両三分ト弐百六文
卯分
一金弐両三分ト弐百六文
辰分
一金弐両三分ト弐百六文
〆拾五両弐朱ト壱〆百三拾三文
内
金□両弐朱ト弐百八十四文取
丑五月三日　金三分　取
寅十一月五日　金弐分　取

同十二月廿五日　金壱分　取
卯十二月晦日　金壱両　取
五口〆弐両三分弐朱ト弐百八十四文　取
差引〆
金拾弐両壱分ト八百四拾五文
此金
拾弐両壱分弐朱　　庄左衛門組

（冨澤泰次家文書　112—375）

一五三　弘化三年九月　白子宿人足差出遅延寛恕願書

乍恐以書付奉申上候
武州新座郡白子村役人惣代組頭万次郎奉申上候、去ル十一日当御組御出役様御通行之節、人足差出方及延御差支相成候段始末御尋御座候
此段当十一日御出役様囚人御召連当村御通行被遊候ニ付、人足等無差支様可差出旨御先触□(之カ)趣承知仕、私

義同日四ッ時頃ゟ人足召連村外迄罷出、九ッ半過迄
御待居候得共御出無之ニ付、昼飯ニ自分宅江罷帰り
仕度仕猶罷出候処、最早当村御付御休ニ付御出迎延
引仕候段奉恐入、右場所ニおゐて御詫奉申上候得共、
板橋宿御旅宿江可罷出旨被仰聞奉畏御継立仕、私義
村外迄御案内□殊之外大風雨ニ付、雨具等用意
いたし板橋宿江罷越候途中、練馬村ニ而持病之疝癪
ニ而苦痛罷在歩行相成兼候間、外役之内罷出候様同
村ゟ飛脚を以□遣外役人罷出候得共、右次第彼
是日間取翌朝ニ相成、御旅宿江罷出候処、最早御出
立相成、立帰候義ニ御座候得共、右様度々及延引御
差支相成候段、一言之申上様無御座奉恐入候、以来
右躰之義無之様御用向大切□(ニカ)相勤可申候間、何卒以
御憐愍此度之儀□幾重ニ茂
御慈悲之御沙汰偏ニ□上候、以上

伊賀者給知
武州新座郡白子村
役人惣代

弘化三年年九月十□日　　組頭　万次郎㊞

火附盗□御改
御役所様

（冨澤泰次家文書　123—572）

一五四　嘉永四年四月　白子宿乱暴一件検使願書

乍恐以書付奉願上候

川越往還白子宿役人惣代年寄繁右衛門、組頭音次郎奉
申上候、一昨十二日夜五時頃、石丸清次郎様御家中之
趣ニ而、帯刀惣髪之仁熟酔之御様子ニ而宿内問屋勘兵
衛方江罷越、御用向ニ而旅行致候所此節帰府いたし候
間、駕籠人足弐人可差出旨申之候得共、御先触等も無
之ニ付、継立方申断候所悉立服いたし種々悪口雑言申
募リ候上、帯居候刀引抜土足之儘問屋場江駆上り勘兵
衛江切懸リ候ニ付、無余義□人□向差押置、追々酔
醒候間得与承リ糺候所、清次郎様御家中之趣者偽リニ
而、松平右京亮様御領分武州新座郡引又町盲人正関一

後家たみ借家医師周鼎与申もの丶由ニ付、早速同所江人差遣候所同人組合并町役人等も□(罷カ)越、全酒狂之上為取昇及乱妨候義ニ可有之間勘弁致貫度旨申し候得共、当人周鼎義今ニ不当申居殊ニ勘兵衛義前書周鼎取押候砌り同人持居候抜刀ニ而右手大指中指等江疵受候次第、旁難捨置此段御訴奉申上候、何卒以　御慈悲御検使御出役之上御吟味被成下置度奉願上候、以上

川越往還白子宿
役人惣代　繁右衛門
年寄
組頭　音次郎

嘉永四亥年四月十四日

勝田次郎様
御役所

（冨澤泰次家文書　123—586）

一五五　慶応元年一一月　下新倉村白子宿助郷議定証文

議定為取替一札之事

一其御村儀当宿江定助郷ニ有之候処、平日人馬差出方之儀、此度示談之上高百石ニ付雇代金三両三分外正人足拾人ニ而惣躰之出人馬分御出金ニ相成宿方ニ而相賄可申候筈、且人馬差支候節者人馬触差出候間其節無遅滞人馬共御差出可被下候筈、尤人足壱人ニ付賃銭弐百文宛之積ヲ以相払可申候筈、右議定取極候上者、聊相違無御座候、万一其上□何之御変革ニ而臨時之大御通行も有之候ハ丶其節又候相互ニ示談之上ニ而取斗可申候、為後日議定為取替候処仍而如件

白子宿
問屋　茂兵衛㊞
年寄　藤四郎㊞

慶応元丑十一月六日

下新倉村
御名主中

（柳下廓次家文書　27—184）

一五六　慶応四年七月　下新倉村白子宿助郷伝馬議定証文写

（表紙）
慶応四年辰七月五日
白子宿助郷御伝馬議定写
新座郡下新倉村役人
（縦帳）

議定一札之事

一　七ヶ村
助郷高合四千百拾石七斗

上新倉村
下新倉村
小榑村
上保谷村
下保谷村　三組
上白子村
橋戸
土支田村　二組
〆七ヶ村
名主別
十組

前書村々合高之通り白子宿助郷ニ有之、尤村々高之分ハ是迄助合来候処、今般御官軍御用ニ付東山道板橋宿江加助郷被仰付、両宿ニ而者人馬難差出趣申断候処、御継立向差支ニ相成候間宿方ゟ板橋宿江願出候ニ付、同宿江加助郷相勤候□者、板橋宿定詰之義者差除ニ相成候間、已来助郷取究議定左ニ

一書面助郷高之内、外宿方ゟ指村等ニ相成候欤、亦者外宿江助郷等被仰付右組合高之内、何れ之村方ニても減方ニ相成候節者、宿助郷相談之上互ニ申合、村々難義ニ不相成様実意ニ取斗可申事

一村々壱ヶ月日割ヲ以、助郷惣代問屋江詰合可申事

一日割日限中一日ニ付、御継立人足弐拾人馬弐疋迄者当日村方ニ而可差出、其余者外村方江可触当事

一問屋場帳付壱人・賄壱人宿方ニ而持切之事

一賃銭之儀者宿助郷弐ッ割壱ッ助郷ニ而可請取事

一助郷惣代之者詰合飯料之義者宿方ニ而持切之事
　但先年御定メ元賃銭相戻り候節者助郷方ニ而飯料賄之事

一急触人馬并夜人足之義者宿方ニ而雇揚候筈、尤此分賃銭宿方江不残相渡候上者壱人ニ付銀弐匁ツヽ、助郷村々ニ而可差出事

但雇賃銭之義者高割ヲ以平均出金可仕、尤七月十二月両度出金之事

一人馬御触当日〆帳并遣払帳共後日間違無之様、宿役人助郷惣代立会委細ニ書立置、日〆帳之義者宿方ニ而一冊、助郷惣代方ニ一冊仕立置、助郷惣代日割当番之者より次番江相渡候筈、其時々当番奥書調印致引渡可申事

一惣人馬日〆帳平均之義者七月十二月両度ニ平均之上、人馬不勤之村方者翌月勤埋可申事

一村方江人馬触之儀者問屋助郷惣代両判ニ而可差出候事

一御先触之外過人馬触当申間敷候事

一板橋宿定加助郷大通行之節者村々人馬可差出筈、其節者当宿方江ハ不勤之事

前書取究候通、聊無相違、為後日村々連印議定一札仍而如件

慶応四年辰七月日　上新倉村　村役人惣代　年寄　彦兵衛

下新倉村　村役人惣代　年寄　伊兵衛

小樽村三組　名主　良三郎　組頭　勝右衛門

上白子村　橋戸　百姓代　幸吉

村役人惣代　百姓代　金助

上保谷村　村役人惣代　名主　定右衛門

下保谷村　村役人惣代　百姓代　安左衛門

土支田村下組　村役人惣代　名主　八郎右衛門

同　村上組　村役人惣代　年寄　森次郎

白子宿
村役人惣代
年寄　小源次
問屋
年寄　藤四郎

差出申一札之事

一高千百五拾石　小樽村
一高六百石　上保谷村
一高三百四拾六石五斗　下保谷村
一高五百石　上新倉村
一高弐百石　下新倉村
一高四百五拾石　土支田村　下組
一高六百拾四石弐斗　同村　上組
一高弐百五拾石　上白子村　橋戸村

高〆四千百拾石七斗

右私共村々之義ハ今般川越道中白子宿より歎願申出候ニ付、示談行届キ右宿江助郷相勤候故者、当宿人馬定詰之義御除キ被成慥承知仕候、尤大通行之砌其節限り当宿江相勤白子宿ハ不勤之筈、依之一札如件

上保谷村
役人惣代
名主　定右衛門
下保谷村
役人惣代
百姓代　安左衛門
上新倉村
役人惣代
年寄　彦兵衛
下新倉村
役人惣代
年寄　伊兵衛
上白子村
橋戸村
役人惣代
百姓代　金助
土支田村
役人惣代
名主　八郎右衛門

慶応四年辰七月日

土支田村
役人惣代
年寄　森次郎
小樽村
役人惣代
名主　良三郎

東山道
下板橋宿
問屋
御役人中

一高千百五拾石　八日四分　小榑村
一高六百石　四日四分　上保谷村
一高三百四十六石五斗　弐日五分　下保谷村
一高五百石　三日六分　上新倉村
一高弐百石　壱日五分　下新倉村
一高四百五拾石　三日三分　土支田村下組
一高六百拾四石弐斗　四日五分　同村上組
一高弐百五拾石　壱日八分　上白子村橋戸村

高合〆四千百拾石七斗

右者白子宿助郷人馬改而日割出勤割合取究申処相違無御座候、以上

年寄
伊兵衛写置

（石田栄一家文書　33―183）

2　助郷

一巻　嘉永三年四月　上新倉村日光御法事に付岩渕・川口両宿増助郷村々高割控帳

（表紙）
嘉永三年
日光御法事ニ付岩渕川口両宿増助郷村々高割扣帳
戌四月吉日　新座郡上新倉村名主文右衛門組扣置
（横帳）

村々高割扣
大熊善太郎御支配所
武州豊嶋郡上石神井村

一高千石　名主　仲右衛門
内弐分引　組頭　金治郎
内弐百石引　五人組　庄蔵

残り勤高　八百石

同支配所

同州同郡下石神井村

名主　紋右衛門

組頭　忠兵衛

五人組　源右衛門

一高五百三拾石

内弐分引

大熊善太郎御支配所

武州豊嶋郡田中村

名主　安右衛門

組頭　藤助

五人組　覚治郎

一高五百石

内弐分引

同百石引

残勤高　四百石

大熊善太郎御支配所

武州豊嶋郡土支田村

名主　馬之助

平左衛門

茂兵衛

一高千八拾三石

弐分引

大屋国吉御知行所

武州豊嶋郡成増村

名主　武平治

市五郎

茂右衛門

高百九拾弐石

弐分引

酒井内蔵介御知行所

武州新座郡下新倉村

名主　治太夫

代治郎

吉五郎

高百八拾四石

弐分引

大熊善太郎御支配所

武州新座郡上新倉村

高四百弐拾九石
弐分引
名主 久太郎
同 文右衛門
利兵衛
兵右衛門

大熊善太郎御支配所
武州新座郡台村
高三百四拾五石
弐分引
名主 助右衛門
惣右衛門
与左衛門

大熊善太郎御支配所
武州新座郡根岸村
高四百七石
弐分引
名主 平左衛門
同 角左衛門
助左衛門

大熊善太郎御支配所

武州新座郡溝沼村
高五百石
弐分引
名主 冨八
藤三郎
治右衛門

大熊善太郎御支配所
武州新座郡岡村
高五百石
弐分引
名主 庄右衛門
同 勝右衛門
勘兵衛
善四郎

大熊善太郎御支配所
武州新座郡下内間木村
高弐百八拾石
弐分引
名主 弥右衛門
市五郎
弥四郎

大熊善太郎御支配所
武州新座郡上内間木村
名主　亨　助
高百九拾石
内弐分引　利左衛門
周　蔵

冨長喜三郎知行所
武州新座郡田嶋村
名主　忠　兵　衛
高百七拾石
弐分引　佐　兵　衛
源　八

大熊善太郎御支配所
武州新座郡上浜崎村
名主　友右衛門
高百八拾石
内弐分引　佐右衛門
長　治　郎

深津鎌五郎知行所
武州新座郡下浜崎村
名主　幸　七
高弐百石
弐分引　惣　兵　衛
郡　蔵

長坂血鑓九郎知行所
武州新座郡宮戸村
名主　忠　蔵
高弐百弐拾七石九斗三升
内弐分引　平　蔵
三右衛門

松平右京亮御領分
武州新座郡舘村
名主　庄　治　郎
高八百七拾三石
弐分引　半　兵　衛
仁右衛門

大熊善太郎御支配所
伊賀衆給地
武州新座郡橋戸村
高弐百五拾石　名主　善兵衛
弐分引　半蔵
茂兵衛

大熊善太郎御支配所
武州新座郡上下保谷村
高千三百五拾石　名主　半六
五分引　同　清左衛門
組頭　三左衛門
同　安左衛門

大熊善太郎御支配所
米津越中守領分
武州新座郡小榑村
高千九拾七石　名主　重五郎

五分引　又左衛門
重左衛門
覚右衛門

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡小山村
高三百七拾四石　名主　郷右衛門
弐分引　源右衛門
新蔵

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡神山村
高弐百弐拾四石　名主　重兵衛
弐分引　伝左衛門
金左衛門

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡久米川村

高六百七石八斗
弐分引
名主 伊兵衛
吉左衛門
助左衛門

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡柳窪村
高百弐石
弐分引
名主 伊之助
勘左衛門

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡野崎村
高五拾七石
弐分引
喜太郎
熊右衛門
清蔵

米津越中守御領分
武州多摩郡前沢村
高百三石
名主 茂右衛門

弐分引
豊吉
平左衛門

大熊善太郎御支配所
武州多摩郡前沢新田
高弐百弐石九斗
弐分引
名主 茂右衛門
豊吉
平左衛門

江川太郎左衛門御支配所
中川千万幾御知行所
武州多摩郡廻田村
高弐百石
弐分引
名主代兼 重右衛門
浅右衛門

中川千万幾御知行所
武州多摩郡同村新田
高百七拾石
名主 太郎右衛門

弐分引　文吉
今右衛門

中川千万幾御知行所
武州多摩郡同村新田
高百七石四斗七升
弐分引

中川千万幾御知行所
武州多摩郡清水新田
名主　鉄五郎
高四拾六石壱斗
弐分引　庄兵衛
勘左衛門

中川千万幾御知行所
武州多摩郡砂川村
名主　源五右衛門
高六百四拾七石七斗八升
弐分引　重左衛門

助右衛門

中川千万幾御知行所
武州多摩郡同村新田
名主　源五右衛門
千百拾石壱斗四升
弐分引　重左衛門
助右衛門

中川千万幾御知行所
武州多摩郡砂川村
名主　源五右衛門
高三百壱石壱斗三升九合
弐分引　重左衛門
助右衛門

米津越中守御領分
武州多摩郡門前村
名主　万治郎
高百六石
弐分引　善治郎

小野佐渡守御知行所　　仙之助

武州多摩郡落合村

高百三拾石　名主　浅右衛門

弐分引　勘右衛門

源　蔵

江川太郎左衛門御支配所

武州多摩郡後ヶ谷村

高百六拾弐石三斗　彦四郎

弐分引　忠右衛門

勘兵衛

江川太郎左衛門御支配所

武州多摩郡奈良橋村

高六拾七石七斗　名主　長　吉

弐分引　伝右衛門

大熊善太郎御支配所　　孫八

武州新座郡片山堀之内村

高六拾四石　請相済

内弐分引

大熊善太郎御支配所

武州入間郡南畑村

高弐千石　名主　拾五郎

内弐分引　組頭　与五兵衛

惣之介

又左衛門

大熊善太郎御支配所

高百石六升三合　藤　介

弐分引　又右衛門

定右衛門

大熊善太郎御支配所
武州足立郡下大久保村
高三百弐拾七石弐斗　請印済
内弐分引

大熊善太郎御支配所
武州足立郡横曽根村
名主　六郎左衛門
高千九拾四石
内四分引　半治郎
政之介

大熊善太郎御支配所
武州足立郡根岸村
高千拾九石　三郎兵衛
内四分引　治郎兵衛
与七

大熊善太郎御支配所
武州足立郡伊苅村
名主　幸蔵
高百七拾六石
清七
惣兵衛

大熊善太郎御支配所
武州足立郡美女木村
名主　忠武
高八百五拾四石
内四分引　助治郎
四郎左衛門

増助郷
〆四拾七ヶ村
高弐千石　南畑村
内弐分引
残高千六百石勤ニ成
内　九百六拾石　下南畑村
新田共
六百四拾石　上南畑村

川口宿ゟ鳩ヶ谷宿迄
雇揚賃銭
高壱疋（馬カ）　六百文
人足壱人　三百文
岩淵ゟ江戸迄
雇揚賃銭
高壱疋　九百文
人足壱人　五百文

一人足七人（戌四月二日登り）　上新倉
一人足拾壱人（同四月三日登り）　同
一人足九人（同四月十三日登り）　同
一馬弐疋人足拾人
一人足拾四人
一馬弐疋人足拾人
岩淵
川口　両宿定助郷村々
一高五百拾八石　領家村
高四百九拾六石　元郷村
高四百弐拾壱石　中居村
高三百六拾弐石　辻村
高三百拾九石　小渕村
高百七拾九石　弐軒在家村
高百五拾九石　樋ノ尻村
高弐拾石　上新田
定助郷八ヶ村
〆高弐千五百四拾七石
右助郷惣代
本郷村　三右衛門
中居村　安右衛門
（桜井　晃家文書　3—44）

一天八　文久元年一一月　上新倉村板橋・川口両宿伝馬人足帳

（表紙）
文久元年
当酉年 板橋 川口 両御伝人（馬脱カ）足帳 両組割合
酉十一月吉日 新座郡上新倉村 文右衛門組
（横帳）

覚

酉九月廿三日　久太郎組

川口・岩淵両宿伝馬

一　人足壱人

八郎右衛門
惣右衛門
弥五兵衛
源　六
甚右衛門
新　蔵
惣五郎
甚五郎
善太郎
平十郎

次郎右衛門
権太郎
吉之助
市郎右衛門
勘右衛門
七左衛門
平十郎
長五郎
藤　八
市郎右衛門
源太郎
長左衛門
金左衛門
九郎左衛門
兵四郎
新右衛門
仁左衛門
庄　八

与兵衛
市蔵
茂右衛門
半左衛門
又六
七三郎
杢左衛門
太兵衛
仁兵衛
七左衛門
彦四郎
五左衛門
六右衛門
平左衛門
与市

馬壱疋
同
同

人足四拾人
馬三疋

酉九月廿三日　文右衛門組

川口・岩淵

一　人足壱人

長坂喜平治
半兵衛
久左衛門
半左衛門
四ッ木清兵衛
五兵衛代四郎左衛門
又兵衛
佐五兵衛
七兵衛
三郎右衛門
五郎右衛門
利左衛門
喜助
伊左衛門
坂下善太郎
伊之松

弥三郎
清八
六三郎
六郎左衛門
小三郎
伝八
源左衛門
藤右衛門
嘉兵衛
馬助右衛門
同治兵衛
同織右衛門
同平治郎
同市蔵
人足市左衛門
同権兵衛
同佐右衛門
同兵右衛門

〆人足弐拾九人
馬五疋

才料
半六

和宮様御下向人足
酉十一月十三日ゟ十六日迄
久太郎組
馬藤右衛門
喜平治
忠右衛門
仁兵衛
勘右衛門
源六
惣五郎
台源左衛門
甚右衛門
五兵衛
弥治右衛門

〆拾弐疋

織右衛門　与兵衛
人足　八郎右衛門　忠左衛門
新右衛門　伝右衛門
兵右衛門　吉之助
元右衛門　彦四郎
兵四郎　市郎右衛門
長右衛門　惣右衛門
長太郎　八郎右衛門
長左衛門　三右衛門
儀右衛門　権太郎
嘉兵衛　八郎左衛門
与兵衛　六右衛門
七郎左衛門　源六
九郎左衛門　甚五郎
七左衛門　勘左衛門
仁左衛門　佐太郎
長五郎　治郎右衛門
半右衛門

七三郎
善太郎
平左衛門
又六
杢左衛門
長兵衛
善右衛門
伝五郎
五郎右衛門
庄八
半左衛門
庄兵衛
藤七
善九郎
喜三郎

〆人足五拾人
馬十二疋

御下向人足

馬

文右衛門組

市蔵
弥左衛門
治兵衛
助右衛門
六郎左衛門
六左衛門
五郎右衛門
平治郎

〆八疋
一人足壱人

清左衛門
三治郎
市郎左衛門
長左衛門
長九郎
佐右衛門
権兵衛

新五兵衛
金左衛門
小左衛門
門左衛門
権十郎
和助
市左衛門
弁蔵
善左衛門
八三郎
喜平治
三郎右衛門
久左衛門
又兵衛
平兵衛
藤助
伊助
権左衛門

市三郎
市之助
利助
音五郎
伊右衛門
権右衛門
清吉
平左衛門（う）
平兵衛
弥三郎
久兵衛
伊兵衛治
喜右衛門
浅右衛門
金左衛門
佐平治
平十郎
三之助

人足四十八人
馬八疋
才料

覚

一金三両壱朱ト　酉勤方取調中諸入用
　三貫七百文
同断
一金三両三朱ト
　五貫五百十九文
一六貫四百文　川口岩淵
一弐拾八貫文　同人馬八疋之分
一金弐朱也　川口江掛合ニ才料壱人足六十九人
　罷出候入用
　彦兵衛立替

庄八
平四郎
弥五兵衛
源太郎
五左衛門

彦兵衛

久太郎組

文右衛門組

一金壱分三朱ト
　三百廿文
一百文
一金弐朱
一壱貫文
　是者夜具之儀ニ付□弐拾枚相遣候代
　御下向ニ付、小井赤池其外村境江
一四貫百文
同断ニ付□□□米代
一八百五十文
　夜具板橋宿江付送并返リ共
一壱貫五百文

□宿江久太郎
兵右衛門両人
罷出候入用
兵右衛門
人足ちん
才料半六殿
小使文組立替
下新倉村
平治郎殿

藤右衛門
喜平次
七右衛門
惣五郎
兵右衛門

同板橋宿江罷出候入用

一壱〆五百文　彦兵衛殿
一金三分弐朱　壱夜分
一金壱分　人足下宿江
一金壱分弐朱ト　屋根代
壱〆百廿一文　同宿江
御下向ニ付度々下板橋宿江罷出候入用　祝分
一金壱両ト九百文　惣代村分
同　割合之分
一五百文　久太郎
酉九月廿6十月二日迄御下向人馬　利兵衛殿
一馬十五疋　久太郎組
同　同
一人足三十四人　同
同　文右衛門組
一馬十三疋　同
同
一人足三十三人
右〆馬弐十八疋壱疋ニ付八百文つゝ
代弐十弐〆四百文
右□〆人足六十七人人足壱人ニ付四百文
代弐十六〆八百文
御当下之分壱疋ニ付、壱貫文

一馬弐十疋
代弐十貫文
同
一人足百壱人　壱人ニ付六百文
代六十貫六百文
金九両壱分弐朱ト
〆
百八十六〆百十五文
惣〆弐百四拾弐〆四百七文
千七十石五斗割
高壱石ニ付　弐百三十弐文四五
諸払
十壱口分
一金三両三朱ト
五〆四百四十弐文
此銭弐十六〆四百七十八文
高壱石ニ付　弐拾四文七分三厘
文右衛門組

一十弐〆弐百四十壱文
内
壱貫文　平次郎殿分
五百文　利兵衛分
引〆　金弐朱也　半六分
九〆九百十七文出
九□口分払
一十四〆弐百三十七文　久太郎組

（桜井　晃家文書　3—45）

一壱〆五百五拾五文　惣八郎
一百六拾壱文　作兵衛
一五百拾六文　佐五兵衛
一百三拾弐文　清兵衛
一三百五拾九文　伝右衛門
一弐百拾壱文　七兵衛
一弐百弐拾六文　市郎右衛門
一四〆五拾四文　長照寺
一弐〆三百七拾六文　弥右衛門
一弐百拾七文　喜助
一六百拾五文　藤七
一壱〆拾六文　治兵衛
一壱〆百拾弐文　八兵衛
一三百八拾文　忠兵衛
一三百拾六文　清八
一三百七文　清右衛門
一五百六拾壱文　正願寺
一壱〆八百拾八文　助右衛門
一壱〆七百拾弐文　利兵衛

一五九　文久元年一二月　上新倉村板橋・岩渕両宿伝馬割合帳

（表紙）
文久元年
当酉年　板橋
岩渕両宿御伝馬割合帳
酉十二月吉日　新座郡上新倉村
名主文右衛門組
（横帳）

一五〆壱文　彦兵衛　一三百六拾九文　平四郎
一三百四拾文　又兵衛　一百三拾三文　八左衛門
一百六拾七文　四郎左衛門　一百文　平助
一弐百弐拾六文　吉兵衛　一壱〆八百壱文　平十郎
一三百六拾壱文　三郎右衛門　一六百六文　伝内
一百八拾文　五兵衛　一弐百四拾弐文　佐治兵衛
一六拾三文　半左衛門　一四拾四文　彦四郎
一七百拾壱文　伝八　一弐百七拾壱文　伝兵衛
一八百三拾三文　伊之松　一四百弐拾五文　茂左衛門
一百拾五文　庄八　一百弐文　繁治郎
一弐百七拾三文　治郎右衛門　一弐百五拾九文　利右衛門
一三百四拾壱文　兵右衛門　一八拾四文　勝五郎
一三百五拾五文　東林寺　一六拾三文　伝五右衛門
一壱〆九百三拾八文　金兵衛　一弐百拾六文　三之助
一百弐拾八文　喜兵衛　一三百八拾五文　与右衛門
一壱〆八百弐拾八文　庄八　一四百八拾弐文　嘉右衛門
一五拾文　政右衛門　一七百弐拾九文　弥平治
一拾六文　茂平治　一弐百四拾八文　久太郎

一六拾文　新右衛門　一弐百弐文　喜左衛門
一三百壱文　清兵衛　一百六文　与兵衛
一百八拾九文　源左衛門　一弐百四拾壱文　勘右衛門
一百三拾壱文　門四郎　一百七拾弐文　兼吉
一百拾壱文　兵左衛門　一百四文　弥兵衛
一三〆百五拾弐文　喜平治　一九拾五文　佐平治
一弐〆五百拾九文　藤右衛門　一百八拾三文　弥治右衛門
一弐拾弐文　文治郎　一弐百九拾五文　大長吉
一四百壱文　喜右衛門　一弐〆拾六文　七郎右衛門
一弐百四拾九文　兵四郎　一四百壱文　市郎右衛門
一拾三文　茂右衛門　一百七文　助三郎
一百拾九文　長助　一拾七文　仁左衛門
一百弐拾四文　長左衛門　一七拾壱文　与兵衛
一弐百七拾八文　与市　一弐百五拾四文　弥五左衛門
一壱〆五百六拾五文　嘉兵衛　一弐百拾四文　源太郎
一八拾弐文　浅右衛門　一三百四文　惣右衛門
一七拾六文　林右衛門　一弐拾九文　作右衛門
一五百弐拾六文　辰五郎　一壱〆九百四拾六文　佐左衛門

一九百四拾文　重　蔵　一八百三拾三文　平　治　郎
一三百八拾弐文　東　林　寺　一弐拾文　藤　左　衛　門
一八拾壱文　伝　右　衛　門　一四百弐拾文　半　左　衛　門
一四百四拾七文　文　八　一壱〆三百五拾壱文　繁　右　衛　門
一百拾四文　庄　五　郎　一五百拾五文　大の清　五　郎
一五百拾六文　五　左　衛　門　一弐百弐拾三文　藤　八
一四百八拾弐文　長　兵　衛　一三百八拾七文　儀　右　衛　門
一百八拾弐文　源　六　一百七拾文　惣　吉
一壱〆九拾文　甚　五　郎　一三百六拾八文　喜　右　衛　門
一五拾六文　佐　太　郎　一三百九拾四文　初　五　郎
一七百三拾弐文　長　左　衛　門　一弐百拾七文　仙　吉
一拾九文　七　左　衛　門　一壱〆弐百九拾弐文　新　左　衛　門
一拾九文　又　左　衛　門　一四拾三文　藤　五　郎
一百弐拾壱文　権　右　衛　門　一五拾九文　勘　兵　衛
一三拾五文　善　太　郎　一三百八文　勘　治　郎
一壱〆四百九拾弐文　惣　五　郎　一八拾四文　嘉　兵　衛
一百弐拾文　九　左　衛　門　一四百九拾三文　治　郎　兵　衛
一六百三拾壱文　平　左　衛　門　一百六拾三文　新　兵　衛

一八百三拾弐文　善兵衛　壱〆五百七拾六文　弥左衛門
一弐百九拾四文　早瀬村作左衛門　五〆弐百四拾八文　六左衛門
一弐拾五文　平兵衛　三百七拾六文　半兵衛
一八百九文　庄左衛門　壱〆百五拾七文　六郎左衛門
一三百五拾六文　半六　百五拾文　吉三郎
一弐百八拾九文　勝右衛門　弐百八拾七文　六郎兵衛
一六百六拾八文　新吉　四百八拾六文　六三郎
一六百弐拾九文　利左衛門　五百弐拾四文　庄兵衛
一八百拾五文　喜平治　百四文　市左衛門
一四百拾五文　嘉吉　百九文　庄五郎
一百六拾六文　善太郎　三百拾四文　村持
一壱〆百八拾七文　五郎右衛門　弐百拾七文　久兵衛
一壱〆七拾四文　弥三郎　弐百四拾七文　市蔵
一百壱文　門三郎　三百九文　源八
一五百五拾九文　小三郎　弐百六拾六文　平右衛門
弐百三拾壱文　善四郎　弐百三拾五文　八三郎
百三拾九文　藤八　弐〆三拾三文　勘兵衛
弐〆四百五拾壱文　満願寺　弐〆八百四拾壱文　織右衛門

三百五文　伊左衛門　三拾七文　市　平
六拾九文　伊　之　助　六百六拾弐文　三　治　郎
七拾四文　清　四　郎　壱〆弐百五拾九文　利　助
八拾三文　安　五　郎下　弐百三拾文　庄右衛門
弐百三文　権右衛門　百六拾七文　市郎左衛門
四百拾三文　寅　五　郎　弐百五拾弐文　長右衛門
五〆九百七拾壱文　彦右衛門　弐百壱文　長左衛門
壱〆弐百五拾壱文　清左衛門　百七拾文　長　九　郎
九百五拾五文　清　吉　壱〆百三拾五文　佐右衛門
弐百五拾弐文　権右衛門　三文　清　平
百七拾六文　伊　三　郎　弐百廿八文　勘　三　郎
弐百弐拾文　伊右衛門　壱〆百四拾六文　権　兵　衛
百拾弐文　与　助　弐〆三拾文　小左衛門
三百四拾壱文　与惣兵衛　六拾八文　新　蔵
四拾四文　仁右衛門　百拾七文　新五兵衛
弐百七拾七文　音　五　郎　百八拾四文　金左衛門
百七拾三文　市　三　郎　五百弐拾八文　門左衛門
四百八拾九文　市　之　助　拾六文　門右衛門

百六拾弐文　権十郎
五百七拾七文　和助
壱〆五百四拾五文　市左衛門
五百拾四文　弁蔵
壱〆三百四拾弐文　善左衛門
百八拾文　権左衛門
百八拾壱文　伊助
八拾九文　九郎右衛門
弐拾六文　又八

（桜井晃家文書　3—46）

戌正月晦日昼ゟ
字ナ下井戸浪人小屋新規立ニ付
立前手つだひ
一人足半人　藤吉
戌二月十九日　明ヶ七っ時と云
一人足壱人　白子伝馬　藤買上吉
久太郎組分
戌三月廿二日　久太郎組分　根水堀普請
一人足半人　雨天ニ而仕舞　藤右衛門
戌三月廿七日　舟橋道普請
一馬壱疋　浅五郎
久太郎組分
戌三月廿八日　舟橋道普請
一馬壱疋　半日仕舞　浅五郎
久太郎組分
戌五月二日夜　三日
一人足壱人　板橋伝馬　浅五郎勤

一六〇　文久二年正月　上新倉村伝馬村人馬覚帳

（表紙）
文久二壬戌年
御伝馬村人馬覚帳
正月吉日　上新倉村　藤右衛門
（横帳）

覚

久太郎組分
是迄者勘定両組供相済ニ相成候
六月六日・七日
文右衛門組分
六月十五日
一人足壱人　板橋伝馬　浅五郎勤
文右衛門組分
九月朔日
一人足壱人　板橋伝馬　浅五郎勤
久太郎組分　白子伝馬
戌十一月十二日夜ゟ十三日夜迄　番人
一人足壱人外壱人　浅五郎勤
戌十二月五日　両組共
是迄勘定相済申候以上
戌十二月廿四日　文右衛門組　白子伝馬
一人足壱人　勘定　浅五郎勤
外壱人　久太郎組分
亥二月七日　久太郎組分

一板橋馬壱疋　勘定　国五郎買上
壱〆弐百文
亥二月晦日　久太郎組分
一板橋人足壱人　勘定　丹次郎
三月九日　久太郎組　堀普請
一人足壱人　丹次郎
三月十日　文右衛門組
一板橋人足壱人　勘定　丹次郎
三月十三日　久太郎組
一板橋人足壱人　勘定　丹次郎
四月朔日　文右衛門組分
一人足壱人　板橋勘定　丹次郎
四月十日　是迄勘定相済申候
四月八日　久太郎組
一人足壱人　板橋勘定　丹次郎
四月十二日夜　文右衛門組
一馬壱疋　板橋勘定　丹次郎
五月二日夜　久太郎組

一馬壱疋　板橋勘定
五月八日　久太郎組　丹次郎
一村役人足壱人
取締村□杭立替　藤右衛門
五月廿八日夜　久太郎組
一馬壱疋　板橋勘定　丹次郎
五月廿八日夜　久太郎組
一馬壱疋　板橋勘定　丹次郎
外馬壱疋半役勘定
是迄両組共勘定相済申候
五月晦日夜　久太郎組
一馬壱疋　板橋　丹次郎
六月十二日
一人足壱人　久太郎内ニ而米俵　藤吉
六月廿六日夜　久太郎組
一馬壱疋　板橋　丹次郎
七月五日夜　久太郎組分
一馬壱疋　板橋　丹次郎

七月七日夜　板橋　久太郎組
一馬壱疋　丹次郎
七月九日夜　板橋　久太郎組
一馬壱疋　丹次郎
亥七月十一日夜　板橋　久太郎組
一人足壱人　丹次郎
七月十七日夜　板橋　文右衛門組
一馬壱疋　丹次郎
七月廿九日　板橋　文右衛門組
一人足壱人　丹次郎
八月十四日夜　板橋　久太郎組
一馬壱疋　丹次郎
八月廿日夜　板橋　久太郎組
一馬壱疋　丹次郎
八月廿三日夜　板橋　文右衛門組
一馬壱疋　丹次郎
両組共是迄勘定相済申候　秋成御年貢時
亥九月十一日夜　板橋　文右衛門組

一馬壱疋　　丹次郎
亥十月九日夜　板橋　久太郎組
一馬壱疋　　丹次郎
両組共是迄勘定相済申候
亥十二月廿五日　久太郎組　板橋
一馬壱疋　　丹次良（ママ）
此分八百文請取
子二月廿四日　久太郎組　白子
一馬壱疋　　丹次良
此分三百請取
子三月四日　文右衛門組　白子
一人足壱人　　丹次良
百四拾八文
子六月二日　久太良組　板橋
一馬壱疋　　長吉
此分二月以後勘定致ス
子六月十三日　久太良組　板橋
一馬壱疋　　長吉

此分壱〆文請取
子六月十八日　利兵衛組　板橋
一馬壱疋　　長吉
八百文
子七月十日　利兵衛組　板橋
一馬壱疋　　長吉
壱〆文
子八月十四日　久太良組　板橋
一馬壱疋　　長吉
此分壱〆文請取
子九月四日　久太良組　板橋
一馬壱疋　　長吉
此分壱〆文請取
子九月十八日　利兵衛組　白子
一馬壱疋　　長吉
三百文
子十月廿九日夜　久太良組　板橋
一馬壱疋　　長吉

此分壱〆文請取
子十一月十八日夜　利兵衛組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

壱〆文
子十一月廿一日夜　久太郎組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

此分壱〆文請取
子十一月廿四日夜　利兵衛組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

壱〆文
子十一月朔日夜　久太郎組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

此分壱〆文請取
子十二月五日　久太郎組　引又
一馬壱疋　長　吉

此分壱〆文請取
子十二月五日　同断　同
一人足壱人　藤　吉

此分五百文請取
是迄両組共勘定相済シ申候

覚
丑正月十日夜　久太郎組　白子伝馬
一人足壱人　丹次良

丑二月三日夜　久太郎組　板橋役
一人足壱人　丹次良

丑四月廿五日　久太郎組　岩淵役
一馬壱疋　札無キ　長　吉

五月廿八日夜　利兵衛組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

此分壱〆文請取勘定致し候
五月十三日夜　久太郎組　板橋役
一馬壱疋　長　吉

閏五月十五日夜　久太郎組　板橋役
一人足壱人　亀　吉

閏五月十八日夜　利兵衛組　板橋役

一馬壱疋　長吉

此分壱〆文請取勘定相済申候

是迄惣相済申候

七月十日夜　久太郎組　板橋役

一人足壱人　亀吉

九月十一日　久太郎組　白子

一人足壱人　盗賊番　長吉

是迄勘定相済し申候

覚

寅二月廿一日　白子　久太郎組　白子

一馬壱疋　長次郎

三百文

寅四月十六日夜　板橋　利兵衛組

一馬壱疋　長次郎

寅四月廿九日夜　板橋　久太郎組

一馬壱疋　長次郎

壱〆弐百文取

寅五月十七日　白子　盗賊番　久太郎組

一人足壱人　長次郎

百四十八文取

五月廿四日勤　板橋　久太郎組

一馬壱疋　長次郎

壱〆弐百文取

六月十五日　利兵衛組　板橋役

一馬壱疋

六月廿五日　久太郎組　板橋役

一馬壱疋　長次郎

慶応四戊辰正月吉日

辰正月廿一日　利兵衛組

一馬壱疋　板橋伝馬

辰二月二日　久太郎組

一馬壱疋　板橋伝馬

辰二月廿五日　同人組

一馬壱疋　板橋役
辰三月五日勤メ　同人組
一馬壱疋　板橋役
外少なきニ付、此時者弐ッ勤メ札弐枚
辰三月十二日夜分　久太郎組
一馬壱疋
此儀者板橋宿へ村ゟ夜着
附而行　弐メ八百文
辰三月十三日　昼夜　同人組
一馬壱疋　板橋伝馬
辰三月十四日昼ルマ
一馬壱疋　同断組
此日ハ内へ日入方参ル
弐メ八百文
辰三月十五日
一馬壱疋　此日ハ村ゟ白米附而行　同断組
辰三月十五日昼夜
一馬壱疋　同断組

辰三月十六日
一馬壱疋　右同断組
此日者七ッ半時分内へ参ル
弐メ八百文
辰三月十七日夜
一馬壱疋　利兵衛組
此夜者槙木升屋ゟ板橋へ附而行
辰三月十八日昼夜　同断組役
一馬壱疋　板橋伝馬
辰三月十九日昼夜　同断組
一馬壱疋　同断
辰三月廿日此日米附ル板橋ニ而
一馬壱疋　同断組
此日者夕方内へ参ル　同断
五メ弐百文
辰三月廿三日朝参ル　久太郎組
一馬壱疋　板橋伝馬

此日者夕方ニ参ル
辰三月廿五日　久太郎組
一村人足壱人　御蔵普請
辰四月十三日朝行同十四日七ッ半時参ル
一馬壱疋　久太郎組
弐〆四百文　板橋役
辰四月十五日行　同断組
一馬壱疋　雑真木十三わ付ル　板橋へ行
此時者十六日七ッ時参ル
弐〆八百文
辰四月十七日
一人足壱人　板橋へ行
壱〆弐百文　又大和田町へ行
辰四月十八日七ッ時ゟ行
一馬壱疋　板橋伝馬
此時者十八日・十九日・廿日の七ッ半時分参ル
四〆八百文
辰四月廿一日夜九ッ時行

一馬壱疋　板橋伝馬
此時者廿二日夜四ッ時ニ参ル
弐〆四百文
辰四月廿四明七ッ時行
一馬壱疋　板橋伝馬
此時者四月廿五日九ッ時参ル
弐〆四百文
辰四月廿七日明六ッゟ
一人足壱人　板橋伝馬
四月廿八日夜五ッ時参ル
壱〆弐百文
辰四月廿九日七ッ半時参ル
一人足壱人　板橋伝馬
閏四月二日九ッ時参ル
壱〆八百文
辰閏四月十日朝行
一人足壱人　板橋役
閏四月十四日夕方参ル

四〆弐百文
是ゟ組分之分
辰閏四月廿一日勤メ
一人足壱人　　板橋役
壱〆八百文
辰閏四月廿三日夜行廿四日夜ノ八ッ時帰る
一馬壱疋　　板橋役
三〆六百文
辰閏四月廿六日明六ッ時詰其日帰る
一馬壱疋　　板橋役
三〆六百文
辰五月三日　白子伝馬　若宮分
一人足壱人　　長次郎行
代四百文
辰八月八日夜正八ッ時詰若宮
一〆馬壱疋　　板橋□人
藤右衛門
小使金壱朱也相渡候

此時者前八月四日時之勤之節泊りニ相成候ニ付、夜飯朝飯之分、金弐朱懸り候と云ニ付、其分之代ト八日小使金壱朱也之分トニ而其節金壱分相渡し、帰り之程金壱朱帰ス対談之筈ニ致し置候処、帰り候ても返シ不申候、此金壱朱也八月四日貸し分

長次郎

此勤帰り之儀者、岩淵へ勤メ候ニ付、八月九日七ッ時分帰り候て、前側ニて休ミ内へ七ッ半時帰り申候

覚

赤池土手切所請
三月廿（日脱カ）　　兼次郎
一人足壱人
三月晦日　　兼次郎
一人足壱人
四月十日　境田
一人足壱人　　兼次郎
四月十一日　中之内家前□
一人足壱人　　あふれ

四月十五日　藤右衛門
一人足壱人　中之内ゟ谷口ノ名主様迄文持壱荷
四月十六日
一人足壱人　境田入樋
四月十八日
一人足壱人　同断
四月十九日
一人足半人　同断
四月廿日
一人足壱人　同断
巳十二月五日　内間木前ゟ御宮迄
一馬壱疋　茅付　五十二わ附ル　四駄
巳十二月十二日
一馬壱疋　茅付五駄
明治二巳十二月六日夕七ッ時前ゟ蕨宿迄参り候、是ゟ蕨宿伝馬始り

巳十二月六日八ッ半時参ル　藤右衛門
一馬壱疋　此日者七日夜四ッ時返ル
巳十二月九日七ッ時ゟ詰ル
一馬壱疋
此馬者十二月十一日夜迄勤メ切、是者買揚ヶニ而拾貫文也
明治三庚午ノ十一月村役
午ノ十一月廿三日
一人足壱人　江川玖樋御普請ニ付
一願寺前ゟ上内間迄荷物
覚
明治四未正月ゟ村人足扣
未二月八日　村役
一人足壱人　土手普請前側平五郎
未二月廿四日
一人足壱人　壱貫六百文　久組　切所土手普請、出平沢ゟ江川迄車挽　元右衛門

未三月朔日
一人足壱人　壱〆文　久組　赤池土手切所　作次郎
未三月六日夕方ゟ
一人足壱人　久組　中之内ゟ上南畑追廻上使申候
四百文
未三月九日壱〆文　久組　江川圦樋堀、出　元右衛門
一人足壱人
才料彦兵衛
未三月十二日　村役　寧樋普請ニ
一人足壱人　元右衛門出ル
未三月廿四日　村役　土手バラ苅
一人足壱人　主馬五郎出ル
未四月朔日
一人足壱人　壱〆文　利組　圦樋埋方　主馬五郎　白子宿ゟ
未四月四日
一人足壱人　六百文　利組　膝折迄

此銭者広沢原地見分　元右衛門
未四月九日
一人足壱人　壱〆文　利組　江川圦樋江　元右衛門出ル
五月之分
此外こせ弐人分壱貫弐百文
久太郎ゟ請取

（星野　茂家文書　21—4）

一六一　天保三年八月　下新倉村板橋・白子御代参村人足諸入用書抜帳

（表紙）
天保三辰年
板橋白子御代参村人足諸入用書抜帳
八月
名主　柳下宗無
（横帳）

六月
一四百文　五右衛門　山崎ノ堀浚
六月
一四百文　門右衛門　右同断

一弐百文　文左衛門　同
一六百文　徳右衛門　堀浚ノ路　同人
一六百文　留切橋ふしん　さかさ川　同人足
一六百文　万右衛門　右同断　同
一金弐朱　万吉　同断　同
八月廿一日　此分織右衛門江渡ス
七月廿二日　幾右衛門　下開堀ふしん　同馬断
一四十八文　喜平次　御代参友　同人
同　上新倉迄　同足
一三十弐文　〇馬五郎　板橋役
〆八拾文　〇村役　板橋
一四十八文　〇八五郎　板橋
一百文　〇村役　板橋
〆百五拾文　治太夫　板橋馬
同　七月十三日
一四拾八文　一四百文　同廿七日　一四百文　八月七日　一四百文　同日　一弐百文　八月廿日　一四百文　一弐百文　〆弐貫弐百文　六月廿七日　一三百文　七月七日　一百五拾文　七月十二日　一三百文両　八月廿一日　一四百文　〆七百文　七月十一日　一百五拾文　七月十三日　一百文

壱鑑寺暑中見舞　伝二郎　馬
重五郎　御屋敷江行
市十郎　御屋敷
板橋　馬
谷戸兵左衛門　御荘霊納物
向ノ伊八　対馬様

一三拾弐文　七月廿五日
一廿四文　同
一百文　八月九日
一三拾弐文　八月十四日
六十四文　八月十九日
三拾弐文
〆三百八十四文
一三十弐文　七月晦日
一三拾弐文　同
一三拾弐文　同
一弐百文　七月十八日
一弐百文
一四百文　八月廿一日
〆六百文
一弐百文
一四百文

上新倉迄行
午房迄行
溝沼ゟ
上村迄廻状
上村迄廻状
大野迄廻状
上村まて廻状
宿ノ金次
上村迄廻状
原ノ刀蔵
白子迄助
右同断
次
しま重兵衛
板橋役
藤右衛門
板はし
同
西ノ権四郎
板はし
同馬

〆六百文
七月十三日
一弐百文
八月廿一日
一四百文
〆是ハ八重ニ付消ス也
七月五日
一弐百文
一弐百文
〆四百文
七月九日
一弐百文
七月廿七日
一四百文
七月廿七日
一四百文
七月□日
一弐百文
八月七日
一四百文
同
一弐百文

西ノ権四郎
板ばし
同馬
中七右衛門
板はし
茂右衛門
板はし
万平
板橋馬
下里元次郎
板橋馬
中元右衛門
右同断
治左衛門
板はし
嶋ノ吉左衛門
右同断

同
一弐百文
八月廿日
一四百文
同日
一四百文
同日
一弐百文
同日
一弐百文
八月廿一日
一弐百文
一弐貫四百文　八人分
七月六日
八月五日　三百文
同十四日
一九百文
八月十五日
一弐百文
一百文
〆三百文
一弐貫六百六拾文

中
岡五郎　右同断
しま
沢右衛門　同断
久保
平左衛門　右同断
しま
権左衛門　右同断
同
喜三郎　同断
中
平次郎　板橋役
半次郎ゟ　ふしん請負
坂上
増五郎　白子役馬
下り
代次郎　志村屋敷領
才

幾右衛門
諸入用
志村廻状
其外人足
立替分

人足
才　領
一百文
〆六百六拾文
一弐十五文
一壱貫文
宿
大塚入用
嘉右衛門入用
惣而
壱分弐朱ト
〆
四拾弐貫三十弐文

（裏表紙）
年寄　杢右衛門
同　代次郎
同　織右衛門
勘定人

（柳下和夫家文書　20―33）

3　柴宮河岸

一六三　正徳三年一〇月　柴宮河岸出入訴状

乍恐以書付御訴訟申上候御事

江川太郎左衛門御代官所

河岸場出入

伊賀衆知行所入合

武州新座郡白子村

名主 勘兵衛

年寄 伝左衛門

同 源兵衛

訴訟人

同 善兵衛

同 善左衛門

酒井内膳様御知行所

同国同郡下新倉村

名主 助右衛門

同 清兵衛

相手

年寄 武左衛門

伊左衛門

右者白子村之者共奉願上候ハ、下新倉村之内柴宮河岸と申寄合河岸へ先年ゟ御公儀様御上米・御用木・御用大根之儀ハ不及申上、野方領村々ゟ右之柴宮河岸へ出シ、舟積仕江戸へ相廻シ御上納仕申候、尤百姓耕作之物其外売買荷物迄先年ゟ出し来り申候処

ニ、此度此河岸へ村々ゟ大根荷物出シ申ニ付、下新倉村之者と白子村者と、当十月廿二日ニ通り違ニ馬方共互ニ口論仕出シ申候得ハ、是を元ニいたし柴宮河岸へ一切荷物為出不申迷惑仕候、同月ニ下新倉村ゟ名主・年寄使として武左衛門・亀之助遣候ハ、今日両村馬方共互ニ口論仕申候、此儀者河岸場へ荷物為出申故ニ候得ハ、此以後何れ村ゟ茂荷物為出不申候ニ付、白子村ゟも一切被出間敷由申越候、折節名主御地頭へ罷出候ニ付組頭伝左衛門使之者ニ面談仕、段々承申候得ハ、当人とても無御座生ニ立申義ニハ無御座候得共、右河岸へ荷物為出申故ニ而御□(座候カ)得ハ、今日ゟ一切荷物被出間敷と申越候御事

一白子村郷中之者共御訴訟申上候、柴宮河岸場御公儀様御河岸と奉存候間、百姓耕作之荷物等まて舟廻シいたし売買仕、御年貢御上納仕来り申候所ニ、此度河岸相留申荷物為出不申候、右河岸へ出シ来り申候村々ハ江戸へ道法遠ク御座候得ハ舟廻シおもに仕り、こやし等も右之河岸ニ而上ヶ身上おくり候所ニ、少

々之儀を元ニ仕往還ニ番人ヲ付とび口・棒なと村中ゟ持寄相留候段何共難義仕候、右口論之訳ニ付善悪之義ハ何分ニも双方相談次第ニ仕可申候間、前々之通往還為仕候様ニと再三申越候へ共承引仕不申、大勢番人付置伊右衛門と申者先立テ名主・年寄迄指扣往還ふせき、一円通シ不申候而、大分之大根荷物すたり迷惑仕申候、依之無是非御願申上候御事

一柴宮河岸場之義、荒川通りニ而御座候得ハ、御公儀様御河岸と奉存村々ゟ惣而之荷物出シ来り申候、然所ニ荒川通り川越新河岸ゟ江戸浅草迄、所々ニ河岸場多ヶ御座候得共、何れ之河岸場御領私領ニ御座候得共其向寄々江荷物等出シ舟積仕申候所ニ、此度下新倉村ノ者共申候ハ、此方村斗之かし場ニ而御座候へハ、他村ゟ一切荷物為出申儀不罷成候、左候ハ、御用等も相滞百姓荷物も出し不申候而ハ御年貢御上納も致兼、其上身上おくりかね申ニ付無是非御訴訟申上候、右之かし先規之通り荷物付出し申候様ニ被為仰付被下候ハ、難有可奉存候、委細之義ハ御尋之上口上ニ而可申上候、以上

白子村

正徳三年巳十月

名主　勘兵衛㊞
年寄　伝左衛門㊞
同　源兵衛㊞
同　善兵衛㊞
同　善左衛門㊞

御奉行所様

（冨澤泰次家文書　122―431）

一六三　正徳三年一一月　柴宮河岸出入済口証文

為取替申証文之事

武州新座郡白子村名主年寄共御訴訟申上候者、白子村畑成ニ而御年貢致上納来、従古来隣郷同国同郡下新倉村之内柴宮河岸ニ而、御年貢之諸色并商売之物・こやし等迄致船積来候処、下新倉村之者共如何之存□ニ而候哉右河岸差妨候旨申之、下新倉村之者共答候者、白子村之者共古来同国早曽河岸与申処ニ而諸色積送致

候所、勝手ニ宜候由ニ而達而願候ニ付、下新倉村之内理左衛門与申者之庭ヲ借置積送り為致□□、当秋中秣場之儀ニ付理不尽申懸ケ、下新倉村与白子村不和ニ成候、依之元□借置候庭之事ニ候間取戻シ候旨申上、双方御詮儀之上白子村之者共只今迄柴宮河岸ニ而御年貢之諸色積送候証文有之上者、只今迄之通柴宮河岸ニ而□(白子カ)村之荷物揚ヶ下シ可致之、尤白子村之者共茂下新倉之者ニ対シ我儘成儀仕間鋪旨奉長候、右之趣双方共ニ違背仕候ハヽ如何様之曲事ニ茂可被仰付候、為後日取替証文仍如件

武州新座郡新倉村

正徳三年巳十一月廿五日

名主　清兵衛㊞　源内㊞　助右衛門㊞

組頭　武左衛門㊞　伊左衛門㊞　理兵衛㊞　勘兵衛㊞

御評定所

（冨澤泰次家文書　122—432）

一六四　文政九年四月　柴宮河岸問屋議定に付訴訟取下げ願書

為取替申一札之事

一柴宮川岸舟問屋平次郎申立候者、荷物品ニ寄壱駄ニ付口銭弐文・四文・八文、前々ゟ請取来り候旨申之、船持共よりハ壱駄ニ付、運賃四拾八文口銭弐文運賃百文ニ付口銭四文差出候旨申立候処、当四月中被仰渡之趣、船問屋船持双方心得方行違候ニ付　御窺書奉差上候処、厚御利解被　仰聞一同奉承伏、扱人立入掛合之上今般示談相整左之通取極メ申候

議定之事

一槙雑枝拾束付　壱駄ニ付

此運賃長(ママ)五拾文

但シ柴宮川岸之義者地久保ニ而出水之度々別段世話多候間、右荷物拾束ニ付壱駄せわ料弐文ツ

、運賃江書戴(載カ)荷主ゟ差出、口銭共都合四文ツ、
舟問屋方江請取可申筈

一雑穀米穀俵荷物壱俵ニ付
此運賃弐拾四文ツ、
但右同断ニ付、壱俵ニ壱文ツ、せわ料運賃江書
戴荷主ゟ差出、口銭共壱俵ニ付弐文ツ、舟問屋
方江請取可申筈

一生大根
此運賃四拾八文ツ、
但口銭弐文ツ、船問屋方江請取可申筈

一餝松竹　壱駄ニ付
此運賃百文ツ、
但口銭之義者今般示談之上壱駄ニ付八文ツ、船
問屋方江請取可申筈

一材木　馬付壱駄
此運賃百文ツ、
但口銭八文

一干大根　壱駄遠近ニ不限り
此運賃百文ツ、
但口銭四文ツ、

一浅草市糶荷物　壱駄ニ付
此運賃百文ツ、　但四拾貫目相定メ
但口銭八文ツ、

一同臼　但壱尺八寸壱ッ壱駄
此運賃百文ツ、
但口銭四文ツ、

一同芋　壱駄ニ付但四拾貫目相定メ
此運賃七拾弐文ツ、
但口銭三文ツ、

一松真木枯物　壱束ニ付
此運賃四文弐分ツ、
但壱駄ヲ見積束数百弐拾束ニ而運賃五百廿四文
内口銭四拾文ツ、舟問屋方江請取可申筈

一槙雑枝
横掘江積入候節貫増有之候共、口銭ニ不抱積請
候、船持請取可申筈、尤浅草大川通ハ前文之通

取引可致事

右之通今般扱人立入篤与掛合之上、船問屋舟持一同示談之上荷主方江者扱人ヲ以為対談、運賃口銭前書之通取極メ、先被　仰渡候御証文之通ハ不及申、此度対談之上取極メ候議定書問屋方ニ而相振候取斗候節者、船持ゟ何様被申立候共問屋方ニ而難渋ケ間敷義申間敷筈、且舟持方ニ而議定ニ相振候取斗致間敷、又ハ積入候荷物之内万一損シ等出来荷主方ゟ難渋申来り候節、問屋ゟ何様被申立候共一言之義申間敷筈、右様示談相整候上者相互ニ睦敷致、若荷主ゟ急キ荷物津出有之候節者、順番積送り可申筈ニハ有之候得共、荷数少分ニ而者当番相当り候船持、渡世手薄ニ相成候節者、便船ニ積送り荷物差支ニ不相成様、問屋方ニ而取斗可申筈、尤九人ニ而壱人ツヽ月行事相立、時々問屋方江罷越津出荷物承合無甲乙荷積可致積り、右船持之内留五郎・伝五右衛門・安五郎義、当時手船所持不致、借船ヲ以稼仕候間借船相返シ候節者、右三人之稼分残り舟持六人江持込順番ニ割合舟積致、当番ニ相当り候船居不申候砌者其次之番船ニ順々積送り可申筈、若六人之者居合不申差支ニ相成候節者、問屋ゟ舟持月行事江相断、問屋手船者勿論外雇舟致候而茂差支ニ不相成様問屋方ニ而取斗可申筈、不参之者後日彼是不申候筈

一生大根津出之節者拾艘ニ而壱艘ツヽ積送り、然ル上者乗付壱番ニ荷積可致筈、且大根荷物込合拾艘ニ而間ニ合兼候節者、問屋方ニ而雇舟致積送り可申筈

一荷物積入振合之義者、船力ニ依而夫々割合無依怙取斗可申筈

一下糞船当河岸江着船之節者、船問屋江相届帳面ニ相記仕来之通売捌之義者、村方世話致候者共隣村之相場振合ヲ以無依怙取斗可申筈、尤船問屋方ニ而も不実無之様心付、口銭之義者問屋方ニ而者是迄壱艘ニ付弐百文ツヽ、荷主ゟ請取来り候由申之、船持惣代惣次郎申候者村方世話人共方ニ而、前々ゟ壱艘ニ付六拾四文荷主ゟ世話人方江請取問屋方江差出来り候由申之、双方申争候処今般扱人立入荷主・問屋・世話

人示談之上、下糞壱艘ニ付問屋方江百三拾弐文ツヽ、荷主ゟ請取可申筈、村方世話致候者共江世話料与して壱艘ニ付百三拾弐文ツヽ、是亦荷主ゟ請取可申筈、前書之通取極候上者相互ニ子々孫々ニ至迄違乱申間敷候旨、一同議定為取替致聊申分無御座候間、何卒以　御慈悲先達而双方ゟ差上候御窺書御下ヶ被成下置候様奉願上候、以上

酒井主計知行所

文政九戌年四月十八日　武州新座郡下新倉村

柴宮河岸

舟問屋平五郎代　悴　平次郎

舟持八人惣代　舟持　惣次郎

名主宗無代　年寄　辰次郎

御奉行所様

前書之通相違無御座候間、訴答并扱人一同連印仕為取替置申候、以上

右下新倉村

舟問屋平五郎代　悴　平次郎

名主惣(宗)無代　年寄　辰次郎

同郡片山辻村　扱人　武兵衛

同郡大和田町　扱人　正之助

舟持八人惣代

惣次郎殿

（石田栄一家文書　33—181）

一六五　弘化五年二月　上新倉村河岸争論訴訟に付議定連印帳

（表紙）
弘化五申年二月
儀定一札連印帳
武州新座郡上新倉村
両組
（縦帳）

儀定一札之事

一武州新座郡上新倉村両組下百姓薪渡世人拾壱人者、是迄農業之間ニ少々ツヽ、御府内御屋鋪様方江相納候ニ付、何方ニ而茂槙木山買候時者其所ゟ少茂駄賃下直之場所江是迄出置候処、同州同郡下新倉村字芝宮船持平治郎船荷物請払川岸江、下新倉村隣村者不及申何方ニ而槙木買候而茂右川岸江付出候様、外々江者少茂不相成候趣右一同江申掛、左無之候ハヽ向後槙木渡世いたし候儀者相止候旨、右平治郎より当村両役宅江右之趣申来、村役人右之者一同相談いたし無拠差添村役人、右拾壱人内弐人つゝ惣代ヲ以御支配江内々御伺立ニ罷出候、諸入用右拾壱人者ニ而何程成相掛（共脱カ）候程急度無差支差出し、諸入用之儀ニ付少茂村役人惣代者江御苦労相掛申間鋪候、為後日一同連印儀定一札入置申候、仍而如件

大熊善太郎御代官所
武州新座郡上新倉村
弘化五申年二月

渡世人　佐平治㊞
同　仁兵衛㊞
同　与市㊞
同　弥右衛門㊞
同　忠右衛門㊞
同　留五郎㊞
同　小左衛門㊞
同　惣五郎㊞
同　六左衛門㊞
同　新蔵㊞
同　彦兵衛㊞

当村
村役人
惣代人　中

（桜井　晃家文書　3—52）

一六六　文政四年一二月　下新倉村船問屋争論裁許ノ御請証文

差上申一札之事

一武州新座郡下新倉村役人惣代治太夫義、同村平五郎を相手取船問屋稼之儀申立候一件、当御奉行所江差出ニ相成引合之者共をも被召出御吟味御座候処、右平五郎高瀬船壱艘所持致、安永之度ゟ船持運上与唱へ永百五拾文つゝ年々最寄御代官江相納船稼仕来候得共、実ハ内仲間之もの有之殊ニ前々ゟ議定も有之候処、平五郎一己之存寄ヲ以勝手儘之取斗いたし、其上村内善太郎外四人ヲ相手取一旦出入ニおよび、当御奉行所ニ而御吟味之上、河岸場之儀近年平五郎壱人之引受ニ相成候段双方申口も符合致候ニ付、已後其筋江申立御聞済之上船問屋と名目ヲ改家業致候義ハ格別、安永之度船数壱艘□申立船持運上相納来候上ハ平五郎手船壱艘之外ハ双方共荷主ゟ直荷物引受候義ハ勿論、平五郎引請候荷物ニ候共同人之外ニハ口銭等差出運送致間敷旨、当四月中御裁□(許カ)有之、一躰村方ハ前裁物重ニ作付致、大根等積出し候義夥敷并年貢米積出し候節、是迄之通平五郎手船而已ニてハ間合不申候間、前書御裁許船問屋と名目を改家業致候義格別ニ有之候処ヲ以、船問屋之名目を村請ニ願請候積り平五郎江及出入候得共、不取敢旨治太夫并小前惣代之もの共申之当時御吟味中御座候処、右御裁許ハ河岸場之義近来平五郎壱人之引受ニ相成候故ヲ以、同人義其筋江申立御聞済之上、船問屋名目を改家業致候儀ハ格別之義ニ而、村請ニ相願度旨治太夫并小前惣代之もの共申立候ハ筋違候段相弁已後双方共先御裁許之趣相守船問屋之義ハ平五郎ゟ其筋へ相願御聞済有之候ハヽ、諸荷物積出候義無差支様可取斗筈ニ相極メ一同無申分、尤治太夫義筋違之義強而地頭江相願、平五郎義も地頭糺中御奉行所駆込訴等致候段ハ心得違之旨、地頭江厚相詫御吟味下之儀連印書付ヲ以相願候処、願之通御下被成候段被仰渡承知奉畏候、仍御請証文差上申処如件

酒井主殿(計)知行所
武州新座郡下新倉村
名主
訴訟方　治太夫
船持平五郎煩ニ付代
相手　平次郎
御吟味ニ付差出候
同村小前惣代
丹次郎

文政四巳年十二月十五日

御奉行所

(柳下源太郎家文書　17—13)

六　鷹　場

一六七　天保七年六月　上新倉村御用蝙蝠外品々減らし願写帳

（表紙）
天保七申六月
御用蝙蝠外品々減し願写帳
天保十一子六月写也　文右衛門
（縦帳）

乍恐以書付奉願上候

山本大膳御代官所、武州新座郡上新倉村・白子村・台村・根岸村・岡村、右五ヶ村役人共奉申上候、去午年以来私共村々江生蝙蝠上納被仰付奉畏候得共、右蝙蝠之義者土地ニ生し不申、近在所々承合之所、堂社等ニ者稀見当候義も有之由ニ付、精々穿鑿仕候得共一切無御座候、依之村々申合最寄当社者勿論、川筋橋々千住辺ニ至迄人夫差出し相撫候得共、所得不申当惑至極仕候間無余義大塚町請負人方江相頼買納仕、壱疋ニ付銭三百文宛ニ相当高直之儀、尚又去未年も納数相増し被仰付、近年凶作相続候上臨時上納有之、村々小前之者共相歎候得共、御役之義ニ付同年茂買納仕候所、尚亦当年ニ至上納被　仰付難渋至極仕、且又杉葉・蓬・はこべ・海老つる虫、是又以前与違年々納数相増、其外赤蛙・袋蜘蛛・螻等納方被　仰付候得ハ、是以土地払底ニ而、何茂買納仕候得ば百石ニ付金弐両余ニ茂相当、尤草類之内正納之村方も御座候得者是又人夫相懸、実ニ難儀至極仕候間無是悲奉願上候、何卒格別之以　御慈悲、前書願之次第御憐察被成下生蝙蝠之義皆御免、其余虫類・草類之分ハ上納御減し方、被仰付置候様奉願上候、右願之通御聞済被成下置候ハヽ一同相助難有仕合奉存候、以上

山本大膳支配所
武州新座郡
上新倉村

天保七申年六月

名主　庄左衛門
白子
名主　勘　兵　衛
台村
組頭　藤　四　郎
根岸村
名主　弥　平　治
岡村
名主　庄右衛門

山本大膳様
御役所

差上申御請書之事

一両御丸様　御奥・御小納戸、其外御用杉葉并虫類・草類之儀、前々ゟ被仰付無滞是迄御上納仕候所、近年打続凶作ニ而小前ニ至迄一同難義至極仕、右御用御品之儀者大切之御用之儀ニ付、取集方相送り(ママ)候共殊之外人夫相懸、村入用等多分相掛必至与難儀仕候所、近年御品追々相増、乍恐御差支ニも相成候而ハ何共奉恐入候間可相成御儀ニ御座候ハヽ、何卒以　御慈悲を御品々御減方之儀、一同奉願上候所、右減方之義者不容易之御義御座候得共、格別之思召を以追々諸品納メ方御減可被仰付旨、被仰渡難有承知奉畏候、且又御製薬品御用生蝙蝠之義ハ遠在村々ニも有之、殊ニ土地ニ無之趣者相違之義無御座段御聞被成候、已来不　仰付趣被仰渡一同難有仕合奉存候、右之趣小前末々迄も不残様可申聞置旨被仰渡難有仕合奉存候、依之触次一同御請一札差上申所仍而如件

山本大膳様支配所
新座郡
上新倉村
庄左衛門
白子村
勘　兵　衛
台村
藤　四　郎

根岸村　弥平治
岡村　庄右衛門
酒井内蔵之助知行所
下新倉村　助右衛門

御鷹野
御役所

一両御本丸・御奥・御小納戸、其外御用杉葉并虫類・草類義、前々ゟ被仰付無滞是迄御上納仕候所、近年相続凶作ニ而小前至迄一同難渋至極仕、右御用御品之儀者大切之御用之儀ニ付、取集方持送共殊之外人夫相掛、村入用等多分相掛必至与難義仕候所、近年御品追々相増、乍恐御差支ニも相成候而者何共奉恐入候間可相成御義ニ御座候ハヽ何卒御慈悲御品々御減方之義一同奉願上候所、右減方之義ハ不容易御義ニ御座候得共、格別之思召を以追々諸品納方御減し可被仰付旨被仰渡難有承知奉畏候、且又御製薬御用生蝙蝠之義者遠在村々ニも有之、殊ニ土地ニ無之趣ハ相違も無御座段御聞御座被成下来被仰付趣被仰渡一同難有忝奉知畏、右之趣小前末々迄も不残様可申聞置候旨被仰渡難有仕合奉存候、依之触次一同御請一札差上申仍如件（所脱カ）

天保七年

御鷹野
御役所

右者中村八太夫様ゟ被仰渡之趣意候、御鷹野御役所江被仰渡御請書差上候ニ付、写を以御届奉申上候、以上

右五ヶ村
名主共

山本大膳様
御役所

覚

三尺縄ゟ
弐千□　拾把

一杉葉

内
中把 壱把中枯
四百三拾把
但シ長五寸・丸四寸
八寸三分切 七拾把
八寸把 拾五把
七寸把 三拾把
小把 弐百五拾五把
内 右之分五把

千三拾五□

此村訳

申四月朔日納
下戸田
上戸田
前野

二日
下新倉村
新曽
前野

三日
下笹目
上戸田
小豆沢

四日
新曽
大野新田
白子

五日
新曽
白子

六日
美女木
松本
下新倉

七日
美女木
田嶋

八日
美女木
曲本
田嶋

九日
鹿手袋
沼影
上新倉

十日
文蔵
内谷
上新倉

十一日
田島
西堀
上新倉

十二日
上新倉
西堀

十三日
上新倉
西堀
岡村

十四日
台村
辻村
白幡

十五日
武蔵
根岸

十六日
右村

十七日
千駄
根岸

十八日　中嶋　合村

十九日　町谷　根岸

廿日　西連寺　道場　岡村

廿一日　上新倉　岡村

廿二日　塚越　伊苅

廿三日　塚越　岡村

廿四日　芝村　合村

廿五日　芝村　根岸

廿六日　右同断

廿七日　芝村　岡村

廿八日　芝村

廿九日　右同断

卅日　右同断

右村訳書面之通り御座候、以上

大塚町触次

六鷹場

三十郎

一杉之枝木　三尺縄〆壱把
右同断　三把

一杉之は

但杉葉当申四月三日一日限り

右者御薪共数□御用ニ付、当申四月ゟ同晦日迄日数廿八日間、毎朝五ッ時ニ御春屋江上納之事

此訳

申四月三日・四日、前野村

五日　小豆沢　白子

六日　白子　下新倉

七日　右同断

八日　台村　根岸

九日　上新倉　岡村

十日　右同断

十一日　根岸　合村

十二日　岡村
十四日　右同断
十六日
十七日　新田堀之内
廿　日
廿一日　中丸村
廿五日
廿六日　池袋村
廿八日
廿九日
晦日　長　崎

十三日　上新倉村
十五日　右同断
十八日
十九日　金井窪
廿二日
廿三日
廿四日　池　袋
廿七日
長崎　池　袋

右之村訳書面之通り、相違無御座候以上

申六月五日　大塚町触次見習　三十郎

右之通近来御用品々追々増置ゆへ右組合村々一同願上、御聞済申被成下願書扣請書抄左之通御座候、以上

天保七申六月十二日写

新座郡
上新倉村

（桜井　晃家文書　2—22）

一六六　弘化三年九月　上新倉村えびつる虫取立帳

（表紙）

弘化三年
ゑひつる虫取立帳
午九月吉日

（横帳）

覚

一八拾六匁七分　利兵衛
（朱書）「百七十四文」
一六拾五匁三分　惣八郎
内三拾四匁

同三十壱匁三分不足
代六十三文
一八匁五分
一弐拾四匁壱分
一弐拾壱匁弐分
代四十三文
一拾四匁八分
一拾匁三分
一八匁八分
一百三拾八匁
「代弐百八拾四文」
一七十匁八分
代百五十六文
一七拾壱匁
十八匁請取
五十三匁不足
百十一文請取
一拾五匁

作兵衛
佐五兵衛
清兵衛
伝右衛門
七兵衛
市郎右衛門
長照寺
治兵衛
弥右衛門
い と

代三十文請取
一四拾八匁
一六拾三匁五分
「代百三拾壱文」
一拾三匁壱分
「代三拾七文」
一拾弐匁五分
「代弐拾五文」
一拾壱匁六分
「代弐拾三文」
一拾九匁三分
拾五文請取
一弐拾九匁
「五拾八文」
一百八拾三匁
代四百十五拾文（ママ）
一弐拾壱匁五分
「代四十六文」

藤七
八兵衛
□衛
清八
子
清右衛門
助右衛門
正願寺
彦兵衛（はし戸分共）
又兵衛

一弐拾四匁四分
代四十八文
一八匁八分
一七匁四分
一七匁四分
「代拾五文」
一拾壱匁五分
一弐匁
「代四文」
一三匁六分
一拾四匁
「代四拾弐文」
一三拾九匁
「代八拾七文」
一六匁弐分
「代拾九文」
一弐拾四匁
一六拾八匁

四郎左衛門
吉兵衛
三郎右衛門
清右衛門
五兵衛
半左衛門
治郎左衛門
□衛門
宗無
下
岡五郎
はしヽ戸
忠右衛門
下
織右衛門

「代弐百拾弐文」
一六拾三匁
「代百三拾文」
一拾三匁弐分
「代弐拾七文」
一四匁四分
一五拾九匁三分
内廿匁取
一八拾六匁三分
「代百七拾七文」
一四匁七分
「代拾文」
一八分六厘
「代弐文」
一弐拾八匁八分
「代五拾八文」
一四匁六分
「代九文」

兵右衛門
東林寺
喜兵衛
金兵衛
庄八
政右衛門
茂平治
平四郎
八左衛門

一三匁五分
「代七文」
一七拾八匁
「代百六拾文」
一八匁壱分
一弐拾弐匁四分
拾匁四分
廿文請取
一壱匁三分
「代三文」
一九匁四分
一九匁七分弐厘
一拾三匁壱分
一弐匁九分
一弐匁弐分
代四文取
一拾九匁八分
一拾三匁三分

□助
平十郎
伝内
佐治兵衛
彦四郎
伝兵衛
利右衛門
茂左衛門
勝五郎
伝五右衛門
三之助
与右衛門

〆引〆拾三文相渡シ
一拾壱匁弐分
「代弐拾三文」
一五匁六分弐厘
一八匁九分弐厘
一六匁弐分
一七匁七分
一拾三匁七分
「代弐拾八文」
一八匁三分
「代拾七文」
一拾弐匁
「代弐拾四文」
一六匁三分
一八匁九分
「代拾八文」
一三拾六匁九分
一六匁壱分

嘉右衛門
弥平治
□助
喜左衛門
与兵衛
市郎右衛門
勘右衛門
台村
長吉
弥治右衛門
清兵衛
善兵衛
与市

「代拾三文」
一五拾八匁弐分
七拾七文代而受取
一四匁弐分
一弐匁九分
「代六文」
一弐匁六分
「代五文」
一五拾九匁六分
代百廿四文請取
一八匁五分
「代拾七文」
一弐匁弐分
一八拾四匁
百廿八文代ニ而請取
一弐拾八匁八分
弐百三拾六文相渡し
一六匁九分

嘉兵衛
長助
浅右衛門
林右衛門
□郎
久太郎
新右衛門
藤右衛門
平六
源左衛門

「代拾四文」
一三匁八分
「代八文」
一八拾弐匁弐分
代百六十八文請取
一七分五厘
「代弐文」
一拾三匁八分
一八匁六分
一四分四厘
「代壱文」
一弐匁五分
「代五文」
一五匁九分六厘
「代拾弐文」
一三匁六分
「代七文」
一三匁三分

兵左衛門
喜平治
文治郎
喜右衛門
兵四郎
茂右衛門
佐平治
七郎右衛門
□(助カ)三郎
弥五兵衛

「代七文」
一六分
「代壱文」
一壱匁
「代弐文」
一拾弐匁九分
「代弐拾四文」
一拾四匁弐分
代弐拾九文
一弐拾六匁五分
内弐拾匁取
六匁五分不足
代
一拾四匁五分
八文不足
一拾五匁四分
三十壱文代ニ而受取
一拾壱匁九分

仁左衛門
作右衛門
佐左衛門
東林寺
重蔵
伝右衛門
文八
文七

一三匁九分四厘
一九拾九匁九分
一拾七匁六分
一拾三匁六分
弐百廿四文□
一弐拾弐匁四分
一弐匁九分
「代六文」
一弐拾七匁七分
弐匁七分
一六分四厘
「代壱文」
一五匁四分
「代拾壱文」
一四匁壱分
「代八文」
一拾八匁三分
「代三拾七文」

庄五郎
五左衛門
長兵衛
源六
□郎
佐太郎
長左衛門
又左衛門
留五郎
権右衛門
善太郎

一四匁三分四厘
一弐拾四匁七分
一弐拾弐匁六分
「代四拾五文」
一弐拾弐匁
「代四拾弐文」
一壱匁六分
「代四文」
一壱匁五分
「代三文」
一拾七匁八分
「代五拾四文」
一拾九匁七分
「代五拾九文」
一五匁三分
「代拾六文」
一五匁八分
「代拾八文」

九左衛門
惣五郎
平左衛門
平治郎
藤左衛門
半右衛門
清五郎
庄八
儀右衛門
惣吉

一弐拾五匁八分
「代七拾八文」
一四十八匁
「代百四十八文」
一弐匁三分
「代七文」
一拾四匁五分
代四十四文
一弐拾八匁
「代八拾四文」
一拾弐匁
「代三拾六文」
一五匁三分
「代拾六文」
一拾五匁九分四厘
「代四十八文」
一四拾四匁五分
「代八拾九文」

仙吉
新左衛門
勘兵衛
七右衛門
大の治郎兵衛
弥五左衛門
嘉兵衛
八左衛門
庄左衛門

一拾八匁
五匁不足
一弐拾四匁
「代四十八文」
一弐拾七匁五分
一拾五匁
「代三拾文」
一弐拾壱匁八分
一拾五匁四分
拾匁四分不足
一弐匁弐分
「代五文」
一四拾六匁九分
一三拾六匁八分
弐文返し
一四匁四分
一八拾五匁四分
代百七拾五文取

平六
勝右衛門
新吉
利左衛門
喜平治
嘉吉
善太郎
五郎右衛門
弥三郎
門三郎
小三郎

一拾七匁三分
三拾五文取
一拾五匁七分
「代三十弐文」
一八拾五匁四分
「代弐百六十四文」
一五拾九匁七分
「代百三拾四文」
一拾三匁七分
一百拾壱匁九分
弐百廿文請取
一弐拾七匁九分
代五拾弐文請取
一三匁四分
「代七文」
一九匁六分
一拾九匁壱分
一三拾弐匁弐分

善四郎
藤八
満願寺
弥左衛門
平兵衛
六左衛門
六郎左衛門
久治郎
六郎兵衛
六三郎
庄兵衛

不足分八文取
一三匁五分
「代七文」
一六匁三分
「代拾三文」
一拾匁壱分
「代弐拾壱文」
一八匁五分
五文受取
一八匁五分
四十五文受取
一拾五匁七分
「代四十七文」
一拾匁五分
「代三拾弐文」
一三拾三匁
代六十六文請取
一弐拾七匁

丑五郎
庄五郎
村持
久兵衛
市蔵
源八
万平
白子
利左衛門
伊之松

代五拾四文
一拾弐匁
壱匁五分取
代弐十壱文
一八拾九匁
「代弐百七拾五文」
一拾五匁
「代三十文」
一弐匁六分
一七匁九分
「代弐拾四文」
一六匁三分
「代拾九文」
一七匁八分
「代三十四文」
一拾四匁壱分
一弐百拾匁
代四百七拾弐文無田下分

平右衛門
茂兵衛
伊左衛門
伊之助
安五郎
万治郎
権右衛門
庄八
彦右衛門

一四拾七匁五分
内百文請取
一三拾四匁四分
一八匁七分
一六匁壱分
代八文請取
一七匁六分
一五匁六分
一壱匁壱分
一三匁九分
一弐匁六分
一拾七匁六分
一三匁六分
四十三文請取
一弐匁三分
一三拾三匁
一拾六匁七分
代百四文取

清左衛門
清吉
権右衛門
伝三郎分
伊右衛門
与惣兵衛
伊右衛門出
久八
与助
市三郎
市之助
市兵衛分
仁右衛門
三治郎
利助分

一七匁七分
一三匁五分
「代弐拾三文」
一八匁七分
「代拾八文」
一弐匁弐分
「代五文」
一五匁九分
一三拾九匁
六十弐文代〆受取
一七匁九分
「代拾六文」
一四拾壱匁
代八十弐文受取
一六拾三匁四分
「代百三拾壱文」
一三分
一七匁八分

庄右衛門
市郎左衛門
長右衛門
長左衛門
長九郎
佐右衛門
勘三郎
権兵衛
小左衛門
新右衛門
新五兵衛

一拾九匁三分
□取
代廿九文請取
一拾九匁壱分
一五匁五分
「代拾壱文」
一七匁壱分
「代拾五文」
一弐拾匁
六匁分返シ
一拾匁
一四匁
「代八文」
一三拾弐匁七分
「代六拾六文」
一五匁三分
「代拾壱文」
一六匁三分

金左衛門
紋左衛門
門左衛門
権十郎
和助
市左衛門
弁蔵
善左衛門
権左衛門
伊助

「代拾三文」
一拾三匁三分
一百拾壱匁
「代三百四十弐文」
三〆八百目
千七拾五斗割
高壱石ニ付
三匁五分五厘
壱〆七百五拾八匁
弐〆四拾三匁三分

田無
白子
平兵衛
忠左衛門
文右衛門
久太郎

（桜井　晃家文書　2—39）

一六九　宝暦五年　下新倉村御拳場村々触書請書

（表紙）
宝暦五亥年
御拳場村々江御触書
（縦帳）

覚

一御拳場之内近来猥ニ相成候様ニ相聞江、其上近頃者怪鋪疵鳥抔儀度々有之不〆り之様子ニ候、鳥殺生之儀者勿論諸事前々之通可相心得候、若如何様成義及候ハヽ、早速可申出候

右之趣御代官ゟ急度申付候様ニ可被申渡候

亥正月

右御触之趣村中大小之百姓共江申聞急度相守り可申候、若相背候者御座候ハヽ、何様ニ茂可被仰付候、為後日仍而如件

亥正月十五日

伝右衛門㊞　杢右衛門㊞
四郎右衛門㊞　八郎右衛門㊞
弥左衛門㊞　八兵衛㊞
甚五右衛門㊞　伊兵衛㊞
園右衛門㊞　徳左衛門㊞
茂兵衛㊞　宗吾㊞
左七㊞　宇右衛門㊞
半右衛門㊞　逸平㊞
七郎右衛門㊞　藤八㊞
権右衛門㊞　権兵衛㊞
門四郎㊞　後家徳右衛門㊞
又七㊞　源七㊞
喜兵衛㊞　三左衛門㊞
九左衛門㊞　伊兵衛㊞
又左衛門㊞　清左衛門㊞
折右衛門㊞　甚五兵衛㊞
仁右衛門㊞　源太郎㊞
大次郎㊞　岡右衛門㊞
伊平太㊞　長八㊞
三左衛門㊞　宇兵衛㊞
平右衛門㊞　清八㊞
彦三郎㊞　半六㊞
兵右衛門㊞　五郎兵衛㊞
半兵衛㊞　仁左衛門㊞
藤七㊞　長兵衛㊞
源次郎㊞　十郎兵衛㊞

小右衛門㊞　勝五郎㊞
七兵衛㊞　市郎兵衛㊞
七郎兵衛㊞　次郎兵衛㊞
金右衛門㊞　金兵衛㊞
佐右衛門㊞　徳左衛門㊞
沢右衛門㊞　長左衛門㊞
久次郎㊞　次右衛門㊞
善右衛門㊞　善次郎㊞
新兵衛㊞　七左衛門㊞
藤助㊞　忠左衛門㊞
浅右衛門㊞　半兵衛㊞
忠左衛門後家㊞　市郎兵衛㊞
権四郎㊞　権□（助カ）㊞
藤右衛門㊞　勘兵衛㊞
甚兵衛㊞　文五郎㊞
三郎兵衛㊞　善太郎㊞
次郎兵衛㊞　門兵衛㊞
喜左衛門㊞　八右衛門㊞

吉右衛門㊞　市十郎㊞
彦三郎㊞　市右衛門㊞
左五兵衛㊞　伊兵衛㊞
市兵衛㊞　清兵衛㊞
七右衛門㊞　伊右衛門㊞
与左衛門㊞　又兵衛㊞
勘右衛門㊞　忠兵衛㊞
権兵衛㊞　伝右衛門㊞
元右衛門㊞　市左衛門㊞
平七㊞　喜□□㊞
又市㊞　八兵衛㊞
喜平次㊞　太右衛門㊞
伊平次㊞　平助㊞
勝右衛門㊞　兵右衛門㊞
七兵衛㊞　十三郎㊞
権左衛門㊞　作兵衛㊞
佐左衛門㊞　源右衛門㊞
七左衛門㊞　金左衛門㊞

徳左衛門㊞　清右衛門㊞
柳右衛門㊞　森右衛門㊞
彦三郎㊞　次郎右衛門㊞
六郎兵衛㊞　又兵衛㊞
十左衛門㊞　仲右衛門㊞
大の市郎兵衛㊞　太郎右衛門㊞
彦三郎㊞　五郎右衛門㊞
半十郎㊞　喜平次㊞
忠兵衛㊞　権兵衛㊞
源四郎㊞　藤左衛門㊞
平左衛門㊞　善九郎㊞
文四郎㊞　彦兵衛㊞
孫兵衛㊞　庄兵衛㊞
加兵衛㊞　新右衛門㊞
次右衛門㊞　権左衛門㊞
久四郎㊞　半六㊞
半兵衛㊞　四郎兵衛㊞
次左衛門㊞　加右衛門㊞

次郎兵衛㊞　五兵衛㊞
五右衛門㊞　太兵衛㊞
伝三郎㊞　又右衛門㊞
善太郎㊞　勘左衛門㊞
庄左衛門㊞　十兵衛㊞
三四郎㊞　宇左衛門㊞
甚五左衛門㊞　平十郎㊞
伝八㊞　おささ㊞
孫右衛門㊞　勝之丞㊞
五兵衛㊞　武兵衛㊞
藤左衛門㊞　徳左衛門㊞
門十郎㊞　六右衛門㊞
弥兵衛㊞　久四郎㊞
九兵衛㊞　次兵衛㊞
長五郎㊞　清左衛門㊞
善次郎㊞　為右衛門㊞
次左衛門㊞　伝五郎㊞
小右衛門㊞　平次郎㊞

善五郎㊞　与右衛門㊞
藤左衛門㊞　権三郎㊞
一鑑寺㊞　東福寺㊞
妙典寺㊞　金泉寺㊞
東明寺㊞　松葉軒㊞
水呑
三右衛門㊞　藤四郎㊞
市三郎㊞　清左衛門㊞
弥五兵衛㊞　善四郎㊞
市兵衛㊞　八兵衛㊞
十兵衛㊞　八兵衛㊞
弥右衛門㊞　嘉兵衛㊞
佐五兵衛㊞

（柳下和夫家文書　20—55）

一七〇　文政六年六月　下新倉村御鷹場法度証文控

（表紙）
文政六未年
御鷹場御法度証文扣
六月写之　石田李右衛門
（縦帳）

御鷹場御法度手形之事

一御　成道者不及申上ル脇道橋迄茂御鳥見衆御差図次第ニ作り可申候、竹木之枝をおろし往来之障り無之様可仕候事

一於御鷹場脇鷹者不及申ニ縦　御　公儀様御鷹成共御支配之御鳥見衆無御案内候てハ御鷹為遣申間敷候事

一鳥追立申間敷候事

一餌鳥札不持雇餌差急度相改可申候、縦餌鳥札持候共雁鴨以上之大鳥者不及申ニ鷺之類水札・鷸・川鳥・鶉・雲雀等一切為取申間敷候、惣而雁鴨居申候内者池沼川野田ニ張切網、（以下欠）

右之条々村中之者ニ申渡、常々堅相守油断仕間敷候、若相背候ハヽ何様之曲事ニ茂可被　仰付候、仍而如件

武州新座郡野方領

年号月日　酒井主殿知行所
下新倉村

名主
年寄不残
百姓代壱人

差上申荒川通手形之事

一於荒川通り＝不依誰人＝鳥殺生仕候者御座候ハヽ、留置早々可申上候事

一於荒川通鳥殺生之道具持候船御座候ハヽ、留置是又可申上候事

一惣而荒川＝怪敷船相見江候ハヽ、早速立寄相改詮儀仕早々可申上候事

右之条々村中百姓共＝申渡急度相改可申候、若相背候ハヽ、何様之曲事＝茂可被　仰付候、為後日証文仍而如件

下新倉村
名主
年寄
百姓代

年号月日

差上申一札之事

一村々＝而不依何者＝怪敷者差置不申候様＝可仕候、若怪敷者及見及聞候ハヽ、他村たりといふとも早々可申上候事

一御拳場之内前々も被　仰渡候通、雇餌差之るい住居ハ不申及、一村＝四五日与逗留為仕申間敷候、若夜＝入鳥取＝罷出候由申候歟、又者及暮＝野田ハ勿論海辺川筋＝而鳥取候餌差御座候歟、又者不限昼夜海辺川筋＝而怪敷船相見江盗取仕候躰之者御座候ハヽ、立寄相改可申候、若六ヶ敷申不為相改候ハヽ、餌差たりといふ共、其段申断留置早々御訴可申上候事

一御法度手形＝差上候御拳場之内＝而、御法度証文＝有之候鳥之品々ハ不及申上、小鳥之類迄も取候者万一及見及聞候ハヽ、其村々ハ不申＝及他村成共、不移時刻御訴可申上候事

附り、先達而被　仰渡も無之御鳥見様方、御案内も無之候＝御用之由を申御法度之鳥を取候者有之候ハヽ、何様＝申候とも留置可申上候事

一雲雀之子取候者有之候ハ、捕置早速可申上候、尤雲雀子之時分ハ野田ニ有合候者共心付罷在、何卒紛敷躰ニ見懸ヶ候ハ、百姓又者子共迄茂様子相尋怪敷儀ニ候ハ、子共たりといふ共、留置早々可申上候事

一惣而村中大小之百姓下々等ニ至迄、御法度手形者勿論別紙一札之趣急度為申聞相守セ可申候、尤百姓下々子供迄茂鳥取候品之儀ニ怪敷儀も御座候歟、若無心元存候義御座候ハ、其段可申上候事

附り、村之内ニ居候もの何鳥ニよらす、一切商為致申間敷候、若小鳥ニ而も商仕候者御座候ハ、相改早々可申上候、勿論他国ゟ参り候共鳥商売人ニ者村々百姓方ニ一夜宿をも借ッ申間敷候事

一村之内ニ雇札を借り餌差仕候者一切差置申間敷候、若餌差仕候者御座候ハ、可申上候、且又雇餌差百姓方ニ親類たりといふ共、相対ニ而一宿為致申間敷候

一宿致候ハ、名主方へ留可申候、若此已後相対ニ而一宿致候儀程過承り候共、二三日ニ茂及候ハ、其訳御注進可申上候事

一鶴・白鳥・菱喰・雁・鴨村々田畑ニ代付候得者、作場江出候躰ニ而鳥寄立候様ニ被為思召候旨被　仰渡候、自今者作場江出候子共迄茂廻り道仕、鳥江障り不申候様村中水呑等迄茂急度可申付候事

附り、諸鳥共ニ落鳥・病鳥其外怪敷儀有之候ハ、早々可申上候事

一御拳場之内ニ而百姓屋敷囲之内ニ而も、新規之家作者勿論、古来之家ひき直ッ候共、御訴申上御差図請可申候、且又前々ゟ御法度手形差上候通むさと竹木植させ申間敷候、若植申度所御座候ハ、御訴申上御差図請可申候、此已後御訴不申上内証ニ而苗木等植申者御座候ハ、拙者共何分ニ茂可被　仰付候事

一御拳場之内寺社・村方・町共ニ開帳相撲之類、見物取立人集メ仕候儀御座候ハ、前方ニ早速可申上候、并出火・類火之節其外不依何事ニ相替儀御座候ハ、不限昼夜早々御訴可申上候事

右之条々村中之者ニ申渡、常々相守可申候、若見逃仕候歟、隠置外ゟ露顕仕候ハ、拙者共迄何分之曲事

ニ茂可被　仰付候、為後日仍而如件

村役人

年号月日　　三印

一御鷹場内御法度証文別紙証文之趣、村々大小百姓并無ニ下々迄行届候様得与可申聞候、村方ニ寄下々ニ至り心得違不行届儀も有之候間村役人ゟ急度可申渡候、勿論寺社并ニ抱屋敷有之村町者其屋敷江相達置可申候事

一惣而御場搾例年之通り出方ゟ申付次第無滞諸事出来候様ニ可致候事

一惣而御場所搾出来候村方ハ村々百姓共江茂申付置、御伝橋・投り渡等昼夜心付、別而出水之節流失并釘銛紛失無之様ニ可致候、万一損候歟相替儀有之候ハ、不限昼夜早々可申出候事

一御場搾之儀ニ付万一差支難儀ニおよひ候様有之候ハ、其趣出方迄相願此方江達候様可相心得候事

一諸事注進事、例年申渡候通無滞志村御役宅江早々可訴出候事

一無宿類徘徊不致候様常々相改、社地并森林等無宿之者滞留無之様追払可申候、右躰之儀ニ付難心得義及見及聞候ハ、早々御役宅江可申聞候事

一例年之通り釣留札之儀御留場内ハ不及申、所々用水・悪水堀江札相建釣人差留、御場江入込不申候様可致候、年々申渡候処、夜分遊御留場之内、忍入者有之風聞候、右躰之儀者、決而有之間敷候事ニ候得者、猶又百姓子供迄も可申付置候事

一御場内犬取捨之儀先年ゟ度々申渡、猶又宝暦十四申年ゟ年々申渡候儀ニ有之候所、不絶所々居村附ニ相見江冬鳥代付ニ相障り候ニ付、申渡候通急度取捨可申候事

一竹木伐取苗木植付候儀、届無之村方茂有之候、手抜無之様ニ相届可申候事

一村町場共ニ例年申渡候通、冬鳥者不及申ニ雲雀・鶉者勿論其外小鳥たり共、飼鳥ハ不相成事ニ候間心得違無様可申渡候事

一村々耕地道橋并切所自普請之場所、損ゞ候ハヽ時々拵往来差支無様ニ可致事

一村方ニ而寺社御朱印地之内竹木伐取、又者境内江家作致候儀、御免之寺格たり共毎年申渡候通御場内之儀ニ候間兼而寺々江茂其得申達置、名主方ゟハ時々届可有之候、且又先規ゟ家作御免之町場候共、御場之内之儀ニ付新家作者勿論建替并囲竹木等植候類も新規之分者其時之御役宅江可訴出候、右之類不訴出村町も有之候、其時者此方ゟ茂申立候間、心得違無之様ニ可訴出候事

一村方ニ而百姓無宿者住居致させ候ハヽ其村ゟ御役宅江可相届候事

一百姓新家作願、御代官地頭ゟ間合(ママ)ニ付、我等共致見分建方之様子相糺候所、一ト通之百姓居躰之由ヲ申願済候上ニ而願通りよりハ相違致、百姓不相応成家願通ゟ高相建候者茂有之候、以来右躰之儀有之おゐてハ壱通り承り糺候上ニ而取斗方有之候間、兼々急度可申渡候事

一建替萱替無沙汰ニ被致候村方茂有之、以来右躰之儀於有之者相糺候間小前百姓共ニも急度可申渡置候事

一近年飼付御用ニ付村々用水圦樋等鮒渫取申付候間、御用不済内者無沙汰ニ渫取為致間敷候事

　但惣躰用水・悪水浚候義ハ、冬鳥御用不相済内ハ不相成候間、其旨相心得浚候条、度々可申聞候事

一諸願・諸訴等村方ニ寄願人斗差越候村方茂有之候、以来村役人差添不申願書共一切請取不申候間、其旨可相心候事

一当分葭簀張、或者番小家等致候義も、前々之通り可願出候事

一此方共召抱之者、村方江罷越主人之用事之由ヲ申談難心得違儀も有之候歟(ママ)、又者召抱之者ニ者無之掛り之性名等を申難心得儀抔申者有之候ハヽ其者留置無遠慮早々知らセ可申候事

右之趣被　仰渡候ニ付、村々大小之百姓共壱人茂不残様急度申渡奉承知候、万一相背候者於有之者私共何様之御咎メニ茂可被　仰付候、為後日御銘印形左

ニ奉差上候、仍如件

文政六未年写之

志村御在宅御鳥見

朝倉左門様

村々役人連判印

（石田栄一家文書　28―3）

解説

伊藤　好一

この史料集には和光市域に関する近世の古文書を収録した。和光市域内の旧家が所蔵されている古文書で、現在までに調査された近世古文書は二、〇〇〇点に上るが、そのほとんどの一、七四三点が和光市史編さん室のマイクロフィルムに収められている（和光市史編さん資料1『文書目録1』）。本集に取上げた古文書は原則として、このマイクロフィルムに収めたものから選択した。収載史料の末尾に、その古文書の所蔵者とマイクロフィルムの巻号及び文書番号を付記した。

史料は、支配と年貢・村と生活・水利普請・産業・交通・鷹場に大別し、さらに小項目で分けた上で村別にまとめ、年代順に配列したが、一部にはこれを変えたところもある。近世における和光市域の歴史的展開を大づかみに把握したいということと、残存する史料の数量を考えての配列であるが、近世の村の支配の複雑さと、把握しにくい村のありかたは、必ずしもこの配列で所期の目的を達するとは思われない。近世の村の持つ特別な性格から生れ出る史料の限定された性質は、時には史料が問題の表現を十分に果していないことは注意しなければならぬことがらであると思われる。和光市域の近世の諸村には、その支配と村のありかたについて次のような問題があると考えられる。

近世の和光市域は上新倉村・下新倉村・白子村の三か村に分れていたが、一七世紀半ばころのこの地の支配者は板倉周防守（上新倉村）・酒井内記（下新倉村）・伊賀衆（白子村）で、一村一知行とまことにすっきりした支配の形であった（『武蔵田園簿』）。それが後になると上新倉村は上知されて代官支配所となり、白子村は新開の地及び上知された分が代官支配所となるな

どの変化を見るに至った。これに加えて、この地域は幕府の鷹場となった。享保二年（一七一七）二月に、江戸周辺の御拳場（将軍家の鷹場）が六筋に編成されると市域の村々は戸田筋に組み込まれ、御拳場に関する問題は戸田筋の触次（主として豊島郡大塚村名主）を経て戸田筋の鳥見役の役人の支配を受けた。さらに文政一〇年（一八二七）改革組合村の制度が施行されると市域の村々は大和田村組合に編入され関東取締出役の支配も受けた。こうして、二重・三重の支配を受けたことは、作製された史料が一層複雑なものとなった。

支配のありかたが近世を通じて一様でなかったように、村のありかたも変化し複雑であり、このことが作製された史料を、一様のものとしていない。たとえば近世のはじめに一か村であった白子村が後に上白子村・下白子村に分れるが、『新編武蔵風土記稿』（『和光市史 史料編一』に収載）の説明によると下白子村が本村であったので、公的な簿書等は、ただ白子村と記したという。また、村がさらに組に分れ、同じ村名で作製された同名の表題の文書・記録が組によって内容を異にしていることがある。上新倉村の例では、同村は二組に分れており、享保一五年（一七三〇）の同村の村明細帳（史料二八）が、「当村之儀ハ両組ニ相分ケ申候、御割付之儀ハ平右衛門組別段ニ前々ゟ被為仰付候」としているように、支配者からの文書も組別に作製されたのであった。本史料の使用に当っては、こうした史料の示す限界を御理解の上、御利用いただきたいと思う。

史料一から五までは支配関係のものである。史料一の新座郡元禄郷帳、及び史料二の同天保郷帳は、国立公文書館内閣文庫所蔵の元禄及び天保のそれぞれの武蔵国郷帳から新座郡の分を抄出したものである。新座郡全域にわたる郷帳についてはこのほか慶安二年（一六四九）か三年に作製された『武蔵田園簿』及び明治初年編さんの『旧高旧領取調帳』があるが、これはすでに刊行され市販されているので省いた。これら郷帳

市域3か村村高表　（合未満切捨）

	上新倉村	下新倉村	白子村	上白子村	下白子村	広沢下新田 雑丹袋
武蔵田園簿	石 500.8	石 396.969	石 145.66			
元禄郷帳	954.065	400.	341.049			
天保郷帳	1110.502	400.		260.543	350.026	39.953
旧高旧領取調帳	1110.502	450.451	354.026			

及び旧高旧領取調帳によって市域内の村の石高を示すと表の通りである。

史料五の伊賀者永代地方目録は白子村を給地として与えられた伊賀者の給地一般に関する記録である。本書の成立については奥書に「右者組頭三人相給寄合相談之上相改候、向後者自分由緒書同心ニ得心、随分大切ニ相可被持候、手跡者悪敷御座候共、書留置者茂無御座候、以後出役相勤候共、随分大切相勤可被申者也」と記しているが、『新編武蔵風土記稿』下白子村の条に「イツトナク流弊起リシニヨリ、後ニハ伊賀ノ者集議シテ収納ノ進退ヲ取扱フ事トハナリヌ」とあるのはこのことであろうか。

史料六から二六までは年貢に関するものである。一六・一七・一八の白子村の野畑取付勘定帳・野畑取付帳・勘定納帳・田畑勘定帳については、近世初期の面積表示一般に見られるような歩が部又は卍とも記されているところがあるが、ここでは歩に統一した。

二の村と生活では史料二七から四八までを村、四九から五五までを戸口、五六から八〇までを生活、八一から一〇二までを社寺と信仰に分けた。村の概況を領主に報告する村明細帳は、市域内では上新倉村の享保六年のものと、同一五年のものが残されているにすぎない。この二冊も、下書か控書と見られ、誤字・脱字が見られる。

村入用帳は村の経費を記した帳簿である。史料三九は安永三年（一七七四）の下新倉村の広沢原・雑丹袋両新田にかかわる村入用帳であるが、三六は元治元年

（一八六四）の上新倉村久太郎組の村入用帳の写しである。また三二は、このような村入用帳を作製するための覚え帳で、嘉永四年（一八五一）上新倉村文右衛門組のものである。四一は享和二年（一八〇二）、下新倉村で個々の百姓に割当てた村入用を徴収したことを記録したものであるが、経費の詳細は帳簿の前半部分に記されている。ほぼ同様の記載形式を取っているのが史料四二の文化一四年（一八一七）下新倉村入用帳であるが、これには表題を単に村入用帳と記している。

近世の農民は、その村落生活の上で、領主の規制を受ける（領主強制）と共に、百姓相互でも規制した（共同体強制）。史料三七・三八の村中法度証文・村法度証文は下新倉村のものであるが、百姓相互の規制を示す成文法である。

戸口の構成を知る史料として宗門人別帳があるが、市域では上新倉村・下新倉村のものが残されている。史料五一・五二は上新倉村の慶応三年（一八六七）の宗門人別帳である。同村は二組に分れ、村の文書・記録は組別に作製されたが、五一は利兵衛組（文右衛門組）のもので、五二は久太郎組のものである。宗門人別帳の末尾には戸口の増減を前年と比較して記されているが、その分が別冊として「人別増減帳」・「人別差引帳」などの名称で作製されることがある。史料四九・五〇の人別差引帳は、いずれも上新倉村文右衛門組のものである。下新倉村の人別改帳もまた、一村全戸を記載したものはない。史料五三は同村杢右衛門組のもので三六軒分の記載がある。同組は文化一四年に三〇軒で成り立っていたから（史料四二、村入用帳）、この人別帳には、あるいは落丁があるかもしれない。五五は下新倉村伊兵衛組二九軒の宗門人別帳で、表題は「持高人別宗門出生御改帳」となっているが、持高の記載は無く、人別と出生地が記載されている。

史料五六から八〇までは、村落生活の種々相を物語るものである。天保四年（一八三三）は天候不順による凶作の年であった。凶作の色合いが濃くなるなかで

米価は激しく上昇し、一揆が各地で発生した（青木美智男『天保騒動記』）。こうした状況下に、この年もおしつまった一二月、上新倉村で村民に一軒当り米六升ずつを給付した帳簿が史料六一の夫食割渡し帳である。村で飢饉に備えて穀物を貯えておく貯穀制度は近世中期以降の関東農村に広く見られるが、史料六三は出穀した貯穀を補充するために、弘化五年（一八四八）二月に、上新倉村で詰戻した帳簿である。七三・七四は慶応二年六月の武州世直し一揆に関する史料である。七三は打ちこわしを受けた下新倉村の名主柳下家が、その受けた損害の状況と、諸方より寄せられた見舞の記録である。七四は岡村（朝霞市）にあった打ちこわし勢が、白子村に人足と夕飯の調達を要求した触状である。

史料五七・五九・六七は上新倉村桜井家、七一は下新倉村石田家の祝儀不祝儀帳である。史料七二の天保六年の金銀諸入用覚帳は下新倉村の武蔵屋伊兵衛家（石田家）のものである。

史料八一から一〇二までは、村の社寺と村民の信仰に関するものである。八七は高野山西南院が勧進してきた一切経補欠勧進帳で上新倉の桜井晃家に残されているものである。同家にはまた、安政二年乙卯三月、高野山西南院法印全快が誌した「一切経募縁序」がある木版袋綴縦帳素表紙（表裏共七丁）の未記入の勧進帳が残されている。これは上段に戒名、下段に所書姓氏を記載する一丁一〇行の記入欄が四丁四〇行ある。四〇名まで記入できるわけであるが募縁者が四〇名をはるかに超えたために、別帳を調製したものであろう。

史料九七・九八・九九は享保三年（一七一八）、白子村の地福寺が、天台宗上野寛永寺執当の求めに応じて作製した末寺の書上である。地福寺は天台宗喜多院の末寺で、万正寺・久城寺はその塔頭、観音寺は門中である。『新編武蔵風土記稿』は万正寺・久城寺について「以上二寺ハ、何ノ頃ヨリカ廃寺トナリテ、名ノミ残レリ」とし、観音寺については「五間半ニ四間モアルベキ寮、松竹山ト号ス、天台宗、村内地福寺ノ門中

ナリ、開山開基詳ナラズ」としている。

史料一〇三から一一六までは水利及び普請に関するものである。一一〇は天保一四年（一八四三）、将軍家慶の日光社参に当って岩渕・川口間の荒川に仮橋を架設するために必要な人足・諸費用と、これを割当てられた村々の村高を書上げたものである。

史料一一七から一四一までは産業に関する史料である。これらの史料は農業、工業、商業・金融に分けたが、近世のこの地方の基本的な産業は農業であった。農業史料として一一七から一二八までをあげてみた。農民の土地所有状況や利用状況を知る史料として検地帳をあげてみた。一二七は寛永一六年（一六三九）の下白子村の田畑屋敷検地帳で、一二八は寛文四年（一六六四）の白子村畑野検地帳である。両者とも和光市役所蔵のものであるが寛永一六年の下白子村の検地帳については、白子の冨澤泰次家に「私領御水帳之写」と奥書した写し一冊がある。本史料集の作製に当っては市役所蔵のものを底本として両書を校合し、相違する文字については写しの文字を〔　〕で傍注した。但し市役所所蔵本では面積表示の歩を部・卍と記しているが、写しはすべて歩で記しており、本史料集でもこれに統一した。

寛永期には上新倉村でも検地が行われたようで、同村の享保一五年の村明細帳（史料二八）によると同村に寛永八年の検地帳が四冊あったことになり、検地役人として御勘定牧野四郎右衛門・中田重兵衛・野島六郎左衛門・坂部勘右衛門・稲垣与九郎・浅田忠右衛門・円城寺瀬兵衛・新井角兵衛・田上忠右衛門の九名を記している。また同明細帳には御勘定稲垣与九郎・円城寺瀬兵衛の名が記されている寛文六年（一六六六）の検地帳一冊と、御勘定八木半三郎・村上佐五左衛門の名が記されている享保一二年の検地帳が存在することを記しているが、これらはいずれも現在までに発見されていない。

史料一二四の広沢原雑丹袋新田検地帳は、享保一一年開発の広沢原新田と、享保一六年開発の雑丹袋新田

の両者の検地帳（写）である。広沢原新田は一七か村の入会秣場、雑丹袋新田は上新倉・下新倉二か村の入会秣場を開発したものである。その開発は、それぞれの秣場に入会っていた村々が割取って開いたものであるが、本帳はこのうち下新倉村に属したものの検地帳で、前半に広沢原新田、後半に雑丹袋新田を記している。

史料一二二・一二三は下肥値下げに関する史料である。寛政元年（一七八九）から四年にかけて江戸の周辺農村は広く連帯して肥料値下げ運動を展開した。この運動で取上げられた肥料は下肥と糠であるが、本史料は下肥に関するものである。下肥は糠と違って個々の百姓が直接江戸の町々から取得することが主であり、運動の対象となったのは町の家主が多い。一二二の史料は、この運動の開始に当り村々が、その目的や方法をとりきめたもので運動に参加した村は四八〇か村に上ると推定されるが、この運動の盛期には武蔵・下総の両国一、〇一六か村に上っている（国会図書館蔵『類従撰要』四七）。一二三の史料は、この運動の過程で下新倉村の下掃除人が家主と交渉した結果を町奉行所に報告したものの写しである。

工業として史料一二九・一三〇・一三一の水車関係の史料を掲げた。近世中期以降武蔵野地方では水車の設置が活発に行われるが、当地域に残存する水車に関する史料は化政期を溯ることは困難である。本史料は「カミノクルマ」と呼ばれた越戸川を利用する上新倉村の富岡家の経営した水車に関するものである。

史料一四二から一六六は交通に関する史料である。近世の和光市域は、川越街道が貫通していること、これに平行する中山道の宿々に近いこと、及び新河岸川・荒川の舟運を利用し得たことで交通に関する史料は豊富に残されている。川越街道の関係については、市域に白子宿が存在することから、「白子宿と川越街道」として史料一四二から一五六にまとめた。中山道宿々とのかかわりは、市域の村々が同宿々へ助郷役を負うことでかかわりを持ったので、助郷役関係史料を一五

七から一六一までにまとめた。舟運関係のものとしては下新倉村の芝宮河岸を主として一六二から一六六までにまとめた。

和光市域は、はじめに述べたように将軍家の御拳場として戸田筋に編入され、特殊の支配関係を成していたので、これに関する史料を鷹場としてまとめた。史料一六七・一六八は大奥で必要とする杉葉・虫類・草類や、鷹掛りが求める蝙蝠・えびづる虫の上納にかかわる史料である。なお天保一一年四月の上新倉村御用留（史料三）の記事の中には、かかる上納についての豊島郡大塚村の触次名主よりの触も載せられている。史料一六九と一七〇は鷹場における村々の守るべききまりであるが、一六七は御拳場のものであるのに対し、一七〇は御拳場の外周にあった尾州家の御鷹場のものである。

あとがき

昭和五三年四月、市史編さん室が設置され、市史編さん事業がその緒につきました。

史料収集は編さん室の仕事の主要な部分を占め、初期の段階においては、文書の収集が大きな仕事となりました。さいわい古文書の所在調査は市文化財委員会の手により既に行われ、今回はこれをもとに、市民各位のご協力を得てさらに追加し、所蔵各家のリストを作製して、逐次収録に着手いたしました。

史料の収集保存の仕方は、マイクロフィルムに収める方法を採りました。これは出張撮影も可能で、文書の整理保存にはたいへん有効と考えます。ただし活用にはリーダープリンターを用いますが、当然のことながら原本の様には読み易くありません。

市内には、中世文書はほとんど見当らず、近世文書も江戸中期以降に多くなる状況で、しかも市域の旧三か村に残る文書は区々別々で、同時期同事項の比較、あるいは総合することの可能な文書はほとんどまれにしか存在しません。

史料すべての散逸消滅の甚しい今日、父祖伝来の文書を大切に保存し、丁寧に所蔵されて来られたことに敬意を表しながら、マイクロに収録させていただいた近世文書は、現在までに上新倉、下新倉、白子の旧三か村合せて二三家一、七四三点にのぼります。

この膨大な史料より、市域の村々の歩んで来たあしあとを明らかにするため、極めて短期間に、一七〇点の史料を選定し構成するという困難事を、近世部門担当の編集委員伊藤好一先生が遂行されました。

文書の解読は、伊藤先生の御指導のもとに、吉田優・武井泰子・杉浦れい子・山本和加子の諸氏が当り、一部専門編集員ほかが手伝い、全体を伊藤先生が校閲されました。

縦帳、横帳、横半など多種の上に、書面の文字は大小さまざま、行間や字数は複雑多岐、これをなるべく

原文書の体裁を生かし、しかも限られた大きさの活字で表現するという骨の折れる割付を山本和加子氏にお願いしました。

伊藤先生には、本編編集の最初から最後まで、巨細となく御配慮、御指示をいただき、そのためほぼ計画通りここに上梓することができました。先生はじめ編集に参与されました前記の方々および関係の各位に深甚な感謝の意を表します。

収集した文書のうち、今回割愛した文書もあり、この史料編構成後に収録した文書もあり、更に今後収録の文書も期待されますので、これらは次の刊行の機会を待ちたいと考えます。

貴重な史料の収載を快く承諾され、度々の文書借用に多大の便宜を図ってくださった所蔵者各位に心からお礼を申し上げます。また、紙面に限りがあり本編には収載できませんでしたが、収集にご協力賜り、近世文書をご提供いただきました方々に深く感謝申し上げます。

史料提供者（五十音順）

石田　栄一　内山　昌明　加藤　博　桜井　晃
桜井　作治　地福　寺東　明寺　冨岡　栄蔵
冨岡　九内　冨岡　實　冨澤俊一郎　冨澤　泰次
鳥井　由雄　星野　茂　堀内　益衛　本橋　昭平
本橋　喬　柳下　和夫　柳下　愿二　柳下源太郎
柳下　廓次　柳下　満　山田　利明　和光市教委
国立公文書館内閣文庫

市史編さん室

市史編さん関係者（敬称略）

編さん委員

委員長　六ッ崎道文（市議会総務常任委員長）
副　同　林　富雄（市教育長）
委　員　萩原　龍夫（市史監修者）
同　冨岡　吾良（市文化財保護委員長）
同　新井　好一（市総務部長）
前委員長　加山由太郎（市議会総務常任委員長）
同　五十嵐一男（　同　）
前　委　員　野浦　正二（市文化財保護委員長）

監修者・編集委員

監修者　萩原　龍夫（明治大学教授）　中世
編集委員　新井　鎮久（専修大学教授）　自然
同　谷井　彪（埼玉県埋蔵文化財調査事業団第三課長）　原始
同　原島　礼二（埼玉大学教授）　古代
同　伊藤　好一（前明治大学講師）　近世
同　渡辺　隆喜（明治大学教授）　近代
同　藤田　昭造（明治高等学校教諭）　同
同　粟屋憲太郎（立教大学助教授）　現代
同　福田アジオ（武蔵大学助教授）　民俗
前編集委員　須崎　慎一（神戸大学講師）

専門編集員

永長　海晃（前社会教育課長）

専門調査員

自然部門　久保田孝一（千葉商科大学講師）
山口　雅功（立正大学短期大学部講師）
原始部門　鈴木　敏弘（東京電機大学付属高校講師）
中・近世部門　小花波平六（板橋区教育委員会文化財担当）
井田　実（練馬区立旭町小学校教諭）

近世部門　斎藤　貞夫（県立川越高等学校教諭）
　　吉田　優（明治大学大学院生）
現代部門　小倉　裕児（一ッ橋大学大学院生）
　　平野　孝（明治大学大学院生）
民俗部門　田中　正明（二松学舎大学付属高校教諭）
　　新谷　尚紀（日本民俗学会会員）
　　佐藤　良博（県立和光高等学校教諭）

調査協力員

井口幸一郎　上原　昭二　山田　正光　山田　利明
星野　茂　斎藤　安雄　川島　義朝　冨岡　九内
冨岡　俊二　冨岡　實　鈴木　勲二　大熊　嘉雄
野浦　正二　柳下　廓次　柳下　稔　石田　栄一
田中　育三　深野　栄治　安藤　和江　故田中　荘造
深井　茂吉　柳下　和夫　堀内　益衛　落合　富蔵
柳下源太郎　田中　栄一　加藤　信晴　榎本　一二
栗原　明　冨澤　婦志　柴崎　建治　新坂勝右衛門
網野　喜平　加山市太郎　冨澤俊一郎　冨澤　利貞

冨澤　富誉

市史編さん室

室長　人見　昭男
主査　冨岡　五郎
主任　星野　秀夫
専門編集員　冨岡　吾良
専門調査員　今村　和之
前室長　浜田　信二

和光市史　史料編二　近世

昭和五七年五月二七日　発行

編集
発行　和　光　市

埼玉県和光市中央一―七―二七

印刷　第一法規出版株式会社

東京都港区南青山二―一―一七

和光市史

年代表

西暦	干支	年号	西暦	干支	年号	西暦	干支	年号
1598	戊戌	慶長 3	1644	甲申	正保 1	1690	庚午	元禄 3
1599	己亥	4	1645	乙酉	2	1691	辛未	4
1600	庚子	5	1646	丙戌	3	1692	壬申	5
1601	辛丑	6	1647	丁亥	4	1693	癸酉	6
1602	壬寅	7	1648	戊子	慶安 1	1694	甲戌	7
1603	癸卯	8	1649	己丑	2	1695	乙亥	8
1604	甲辰	9	1650	庚寅	3	1696	丙子	9
1605	乙巳	10	1651	辛卯	4	1697	丁丑	10
1606	丙午	11	1652	壬辰	承応 1	1698	戊寅	11
1607	丁未	12	1653	癸巳	2	1699	己卯	12
1608	戊申	13	1654	甲午	3	1700	庚辰	13
1609	己酉	14	1655	乙未	明暦 1	1701	辛巳	14
1610	庚戌	15	1656	丙申	2	1702	壬午	15
1611	辛亥	16	1657	丁酉	3	1703	癸未	16
1612	壬子	17	1658	戊戌	万治 1	1704	甲申	宝永 1
1613	癸丑	18	1659	己亥	2	1705	乙酉	2
1614	甲寅	19	1660	庚子	3	1706	丙戌	3
1615	乙卯	元和 1	1661	辛丑	寛文 1	1707	丁亥	4
1616	丙辰	2	1662	壬寅	2	1708	戊子	5
1617	丁巳	3	1663	癸卯	3	1709	己丑	6
1618	戊午	4	1664	甲辰	4	1710	庚寅	7
1619	己未	5	1665	乙巳	5	1711	辛卯	正徳 1
1620	庚申	6	1666	丙午	6	1712	壬辰	2
1621	辛酉	7	1667	丁未	7	1013	癸巳	3
1622	壬戌	8	1668	戊申	8	1714	甲午	4
1623	癸亥	9	1669	己酉	9	1715	乙未	5
1624	甲子	寛永 1	1670	庚戌	10	1716	丙申	享保 1
1625	乙丑	2	1671	辛亥	11	1717	丁酉	2
1626	丙寅	3	1672	壬子	12	1718	戊戌	3
1627	丁卯	4	1673	癸丑	延宝 1	1719	己亥	4
1628	戊辰	5	1674	甲寅	2	1720	庚子	5
1629	己巳	6	1675	乙卯	3	1721	辛丑	6
1630	庚午	7	1676	丙辰	4	1722	壬寅	7
1631	辛未	8	1677	丁巳	5	1723	癸卯	8
1632	壬申	9	1678	戊午	6	1724	甲辰	9
1633	癸酉	10	1679	己未	7	1725	乙巳	10
1634	甲戌	11	1680	庚申	8	1726	丙午	11
1635	乙亥	12	1681	辛酉	天和 1	1727	丁未	12
1636	丙子	13	1682	壬戌	2	1728	戊申	13
1637	丁丑	14	1683	癸亥	3	1729	己酉	14
1638	戊寅	15	1684	甲子	貞享 1	1730	庚戌	15
1639	己卯	16	1685	乙丑	2	1731	辛亥	16
1640	庚辰	17	1686	丙寅	3	1732	壬子	17
1641	辛巳	18	1687	丁卯	4	1733	癸丑	18
1642	壬午	19	1688	戊辰	元禄 1	1734	甲寅	19
1643	癸未	20	1689	己巳	2	1735	乙卯	20

西暦	干支	年号	西暦	干支	年号	西暦	干支	年号
1736	丙辰	元文 1	1782	壬寅	天明 2	1828	戊子	文政11
1737	丁巳	2	1783	癸卯	3	1829	己丑	12
1738	戊午	3	1784	甲辰	4	1830	庚寅	天保 1
1739	己未	4	1785	乙巳	5	1831	辛卯	2
1740	庚申	5	1786	丙午	6	1832	壬辰	3
1741	辛酉	寛保 1	1787	丁未	7	1833	癸巳	4
1742	壬戌	2	1788	戊申	8	1834	甲午	5
1743	癸亥	3	1789	己酉	寛政 1	1835	乙未	6
1744	甲子	延享 1	1790	庚戌	2	1836	丙申	7
1745	乙丑	2	1791	辛亥	3	1837	丁酉	8
1746	丙寅	3	1792	壬子	4	1838	戊戌	9
1747	丁卯	4	1793	癸丑	5	1839	己亥	10
1748	戊辰	寛延 1	1794	甲寅	6	1840	庚子	11
1749	己巳	2	1795	乙卯	7	1841	辛丑	12
1750	庚午	3	1796	丙辰	8	1842	壬寅	13
1751	辛未	宝暦 1	1797	丁巳	9	1843	癸卯	14
1752	壬申	2	1798	戊午	10	1844	甲辰	弘化 1
1753	癸酉	3	1799	己未	11	1845	乙巳	2
1754	甲戌	4	1800	庚申	12	1846	丙午	3
1755	乙亥	5	1801	辛酉	享和 1	1847	丁未	4
1756	丙子	6	1802	壬戌	2	1848	戊申	嘉永 1
1757	丁丑	7	1803	癸亥	3	1849	己酉	2
1758	戊寅	8	1804	甲子	文化 1	1850	庚戌	3
1759	己卯	9	1805	乙丑	2	1851	辛亥	4
1760	庚辰	10	1806	丙寅	3	1852	壬子	5
1761	辛巳	11	1807	丁卯	4	1853	癸丑	6
1762	壬午	12	1808	戊辰	5	1854	甲寅	安政 1
1763	癸未	13	1809	己巳	6	1855	乙卯	2
1764	甲申	明和 1	1810	庚午	7	1856	丙辰	3
1765	乙酉	2	1811	辛未	8	1857	丁巳	4
1766	丙戌	3	1812	壬申	9	1858	戊午	5
1767	丁亥	4	1813	癸酉	10	1859	己未	6
1768	戊子	5	1814	甲戌	11	1860	庚申	万延 1
1769	己丑	6	1815	乙亥	12	1861	辛酉	文久 1
1770	庚寅	7	1816	丙子	13	1862	壬戌	2
1771	辛卯	8	1817	丁丑	14	1863	癸亥	3
1772	壬辰	安永 1	1818	戊寅	文政 1	1864	甲子	元治 1
1773	癸巳	2	1819	己卯	2	1865	乙丑	慶応 1
1774	甲午	3	1820	庚辰	3	1866	丙寅	2
1775	乙未	4	1821	辛巳	4	1867	丁卯	3
1776	丙申	5	1822	壬午	5	1868	戊辰	明治 1
1777	丁酉	6	1823	癸未	6	1869	己巳	2
1778	戊戌	7	1824	甲申	7	1870	庚午	3
1779	己亥	8	1825	乙酉	8	1871	辛未	4
1780	庚子	9	1826	丙戌	9	1872	壬申	5
1781	辛丑	天明 1	1827	丁亥	10	1873	癸酉	6